厚生労働省「令和５年度 老人保健健康増進等事業」成果物

訪問介護事業における
サービス提供の実態等に関する調査研究事業

調 査 結 果 報 告 書

令和 6 年 3 月

株式会社 浜銀総合研究所

目　次

第１章　調査研究の背景と目的、調査の概要 1

（１）　本調査研究の背景と目的、本報告書について 1

（２）　本調査研究の内容・流れ 2

（３）　有識者研究委員会 3

（４）　アンケート調査の概要 4

（５）　先進事例等調査(ヒアリング調査)の概要 8

第２章　アンケート調査結果（管理者向け調査） 11

（１）　管理者向け調査に関するまとめ 11

（２）　調査対象・回答事業所の概要 14

（３）　サービス提供状況 27

（４）　サービス提供状況（個人の状況） 43

（５）　サービス提供にあたっての地域の範囲・移動等の状況 55

（６）　経営状況、事業継続に向けた取組等 75

第３章　アンケート調査結果（訪問介護員向け調査） 92

（１）　訪問介護員向け調査に関するまとめ 92

（２）　回答者の属性 93

（３）　勤務状況、移動に関する状況 97

（４）　ICT の利用 114

（５）　訪問介護員の仕事について 117

（６）　サービス提供にあたっての課題認識 122

第４章　先進事例等調査（ヒアリング調査）……124
（１）　ヒアリング調査結果に関するまとめ……124
（２）　訪問介護事業者向けヒアリング調査結果……126
（３）　自治体向けヒアリング調査結果……136
第５章　調査研究結果を踏まえた提言……147
◇ 資 料 編……151
【資料１】　訪問介護員向け調査回答依頼状の配付手順書……153
【資料２】　訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧……157
【資料３】　訪問介護員向け調査　調査項目一覧……171
【資料４】　訪問介護事業所管理者向け調査　単純集計結果……177
【資料５】　訪問介護員向け調査　単純集計結果……225
【資料６】　普及啓発用冊子……239

第1章 調査研究の背景と目的、調査の概要

（1） 本調査研究の背景と目的、本報告書について

○ 地域包括ケアシステムを推進する上で、訪問介護は在宅要介護者の生活を支える重要なサービスである一方で、他サービスと比較して事業規模が小さいことなどから「事業所の収入が少ない」、「近年利用者数・利用者当たりの単価が低下傾向にある」、「訪問介護員が人材不足で定着しにくい」、「訪問介護員が高齢化している」、などの課題が大きくなってきている状況にある。

○ また、医療的なケアが必要な方や看取り期にある要介護者への対応、その他生活の困りごと等への相談対応など、サービスの質や内容の高度化、多能工化が求められている状況にもあると考えられる。

○ このほか、特に中山間地域では訪問介護にかかる「移動」について他の地域よりも多く労力等を要する状況にあると考えられるが、その移動にかかるコストが報酬上に反映されにくく、地域によっては、訪問介護サービスの継続的な提供が困難になっているケースもあると考えられる。

○ これらの状況を踏まえて、本調査研究事業では、訪問介護のサービス提供の実態等を多角的に把握し、訪問介護サービスの持続的な提供方策や、提供体制・経営安定等に関する取組・支援のあり方等に関する議論に資するデータを得ることを目的として実施した。

○ 特に、本調査研究事業においては下記の点に着目した調査・分析を行った。本報告書は、本調査研究で実施した各種の調査により得られた結果・知見等のとりまとめを行ったものである。

①訪問介護サービスの提供状況・訪問介護員等の業務内容の実態をあらためて多角的に把握する。

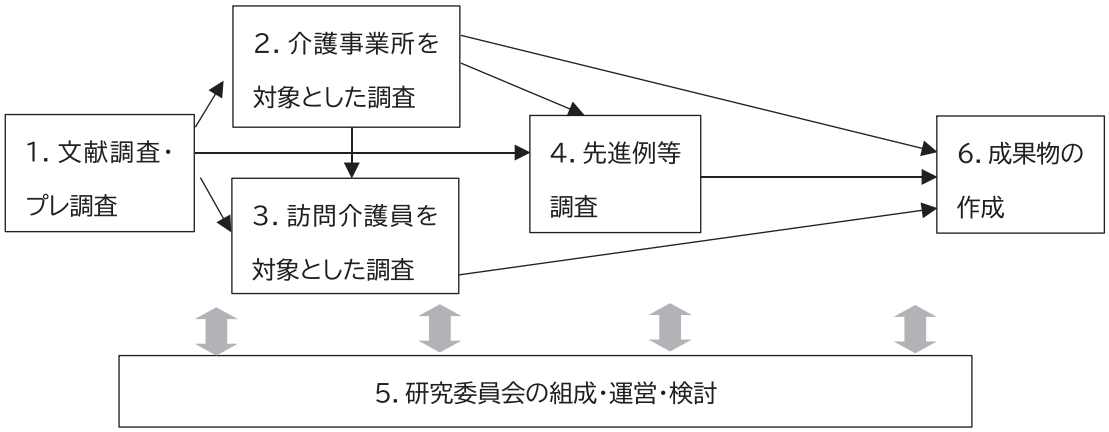
②上記①の点について、利用者の要介護度別や状態等別の違い、地域別の違い等の特徴等を明らかにする。

③訪問介護のサービス提供・事業継続のために各事業所や自治体において意識的に取り組んでいる事項を明らかにし、先進事例等について情報を把握・整理する（中山間地域における事例にも着目する）

（2） 本調査研究の内容・流れ

○ 本調査研究事業では、大きく次の調査等を実施した。

○ 下記のうち、「2.」の結果を本報告書の第 2 章、「3.」の結果を第 3 章、「4.」の結果を第 4 章に掲載している。また、成果物については、本報告書のほかに、「4.」の結果を基にした事例集を作成しており、その内容については本報告書の「参考資料」に掲載した。



1. 調査票検討や事例収集のための文献調査・プレ調査

○ 訪問介護サービスや中山間地域をテーマに先行して行われている調査研究や論文、報告資料、新聞・雑誌記事等を参照して、調査方法・調査内容等の検討を行った[1]。

○ 一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会（民介協）を通じて、3つの訪問介護事業所にプレ調査（ヒアリング）に協力していただき、主にアンケート調査の方法・内容の精査等を行った。

2. 全国の訪問介護事業所を対象とした調査（アンケート調査）

○ 上記1. で検討・精査した調査内容に基づき、全国の訪問介護事業所の管理者に対し、訪問介護サービス提供状況・訪問介護員等の業務内容の実態や、サービス提供・事業継続のために意識的に取り組んでいる事項等を把握するためのアンケート調査を実施した。

3. 訪問介護員を対象とした調査（アンケート調査）

○ 上記2. の介護事業所を対象とした調査実施の際に、その事業所に所属する訪問介護員を対象とするアンケート調査について併せて依頼を行った。

4. 訪問介護サービスの提供・事業継続に関する先進事例等調査（ヒアリング調査）

○ 上記1. や2. の調査を通じて把握された情報を踏まえ、訪問介護事業の事業継続に向けて先進的な取組を行っていると考えられる事業所や、効果的な施策を実施していると考えられた自治体について、その取組の内容等を具体的に把握することを目的とした調査（ヒアリング調査）を実施した。

5. 研究委員会の組成・運営・検討

○ 訪問介護サービスの現状に精通する有識者（学識経験者）や、事業者団体等により組織する委員会（研究委員会）を組成し、調査方法・内容等について検討を行うとともに、調査結果について議論・検討した。

---

[1] 本調査研究事業の実施当初は、訪問介護員の方を対象としてインターネットモニター調査を実施することや、タイムスタディ調査を行うことを検討して情報収集等も行った。その後、有識者研究委員会でより実効性の高い方法等について議論をいただき、訪問介護員の方についての調査は介護事業所を介して依頼・実施を行う方法に変更した。

（3） 有識者研究委員会

○ 訪問介護サービスの現状に精通する有識者、訪問介護事業者、事業者団体関係者、自治体職員などからなる有識者研究委員会を組成し、各種調査研究の実施方法、成果物の内容などについて議論をいただいた。

○ 本調査研究事業において、同委員会は計 4 回開催した。

図表 1-3-1 有識者研究委員会 委員・オブザーバー・事務局 名簿

【有識者研究委員】（敬称略・五十音順・令和 6 年 3 月末時点）

御名前	御所属・御役職
井上 由起子	日本社会事業大学専門職大学院 教授
今井 準幸	JA 高齢者福祉ネットワーク 事務局長
黒松 基子	日本ホームヘルパー協会 副会長
小中 凌	隠岐広域連合 介護保険課
田島 裕大	一般社団法人 日本在宅介護協会 訪問介護部会 委員
鍋谷 晴子	全国ホームヘルパー協議会 副会長
馬袋 秀男	兵庫県立大学大学院社会科学研究科 客員教授（有識者研究委員会 委員長）
松田 吉時	一般社団法人 全国介護事業者連盟 生産性向上推進委員会 副委員長

【オブザーバー】（敬称略）

御名前	御所属・御役職
山越 圭祐	一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会（民介協） 本部理事 事務局長
厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課	

【事務局】

氏名	所属
有海 拓巳	（株）浜銀総合研究所 地域戦略研究部 上席主任研究員
加藤 善崇	（株）浜銀総合研究所 地域戦略研究部 副主任研究員
樽田 俊祐	（株）浜銀総合研究所 地域戦略研究部 副主任研究員
古舘 茜	（株）浜銀総合研究所 地域戦略研究部 研究員
田中 知宏	（株）浜銀総合研究所 地域戦略研究部 上席主任研究員

図表 1-3-2 有識者研究委員会の開催日、主な議題

回数	日付	主な議題
第 1 回	令和 5 年 8 月 2 日	調査の実施方法、アンケート調査項目について
第 2 回	令和 5 年 9 月 26 日	アンケート調査結果速報
第 3 回	令和 6 年 1 月 24 日	先進事例調査（ヒアリング調査）結果速報、成果物のとりまとめの方向性について
第 4 回	令和 6 年 3 月 11 日	成果物のとりまとめ内容について

（4） アンケート調査の概要

①調査の実施目的

○ 訪問介護サービスの提供状況や訪問介護員等の業務実態の多角的な把握、利用者の要介護度別・状態等別のサービス提供内容の違い、地域別の特徴などを明らかにすることを目的としてアンケート調査を実施した。

○ 調査は、訪問介護事業所の管理者向け、ならびに訪問介護員向けの 2 種類の調査を実施した [2]。（以下、それぞれ「管理者向け調査」、「訪問介護員向け調査」と表記）

②調査実施概要

■ 実施時期

2023 年 8 月 29 日～9 月 28 日（到着分まで）

※調査実施期間中に、対象事業所にお礼状兼督促状を1回郵送した。

■ 調査対象

【管理者向け調査】

・ 厚生労働省ホームページに掲載されている「介護サービス情報の公表システムデータのオープンデータ」における公表データ「110.訪問介護」（2023 年 6 月末時点）に記載されている訪問介護事業所を母集団とした上で、母集団名簿における事業所所在地（都道府県）別の構成比を算出した。

・ その後、抽出数 5,000 事業所を所在地構成比で按分する比例配分を行い、各都道府県の配分数を母集団名簿から無作為で抽出し、本アンケート調査の対象事業所を決定した。

【訪問介護員向け調査】

・ 管理者向け調査の対象となった各事業所において、「訪問介護員向け調査回答依頼状の配付手順書」[3]を踏まえて、対象となる訪問介護員を最大 5 名選定していただき、調査回答のための URL 等をご案内いただいた。

■ 調査票の配布方法

郵送により依頼状等を配布し、回答は管理者向け調査・訪問介護員向け調査いずれも WEB 回答ページにより回答いただいた。

---

[2] それぞれの調査の調査内容については、本報告書の「参考資料」に示した調査項目一覧を参照。

[3] 本資料については本報告書の「参考資料」に掲載した。

③回収状況

○　回収状況については、下記のとおり。

図表 1-4-1　アンケート調査の配付・回収状況

調査票の種類	A:配布数	B:回収数	C:回収率(%) (B／A)
管理者向け調査	5,000 件 ※1	856 件	17.1% ※1
訪問介護員向け調査	25,000 件 ※2	2,967 件 ※3	11.9% ※2

※1:不着等で戻ってきた調査票のほか、電話にて、訪問介護事業は既に廃業している旨をご連絡いただいた事業所もあった。このようなことから、ここでの配布数及び回収率は厳密なものではない。

※2:不着等で戻ってきたものや訪問介護事業を廃業していた事業所があるほか、対象事業所の訪問介護員が5人未満の場合もあるため、ここでの配布数及び回収率は厳密なものではない。各事業所での実際の配布件数は把握していない。

※3:総回答件数は 2,983件であったが、重複回答がみられた場合や、1 事業所当たり 6 件以上回答があった場合について一部を無効回答とした。

④集計分析について

○　管理者向け調査・訪問介護員向け調査それぞれについて、回答全体の傾向を把握するための単純集計に加えて、下記のような観点を基本的項目と位置付けてクロス集計を行った[4]。

○　単純集計結果及びクロス集計結果については本報告書の「参考資料」として掲載した。また、本報告書第 2 章には管理者向け調査、第 3 章には訪問介護員向け調査の結果を掲載している。各章では、単純集計で得られた結果をグラフ化して示すことを基本とし、加えて、クロス集計結果について特徴的な結果が得られていると考えられた点についてはグラフ化し、コメントを付す形で掲載をした。

図表 1-4-2　管理者向け調査のクロス集計を実施した軸となる項目

収支の状況別	「黒字」、「収支均衡」、「赤字」の 3 分類 (「2023 年度に事業所を開設したため、回答不可」の事業者は除く)
地域区分別	地域区分 A～D の 4 分類
利用者の居住形態(高齢者住宅や集合住宅への居住等)の状況別	各事業所がサービスを提供する利用者のうち、高齢者住宅(特定施設を除くサ高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)、シルバーハウジング等)や集合住宅(マンション・アパート・団地など)に住む利用者の割合について、「①高齢者住宅や集合住宅に住む利用者へのサービス提供は実施していない」、「②1 割未満」、「③1 割以上 3 割未満」、「④3 割以上 7 割未満」、「⑤7 割以上」の 5 つに分類。

[4] クロス集計の際の分類においては、集計に使用する設問への回答が無回答である票は原則として集計に含めていない。

図表 1-4-3 訪問介護員向け調査のクロス集計を実施した軸となる項目

雇用形態別	「常勤」、「非常勤」、「登録ヘルパー」の 3 分類
地域区分別	地域区分 A～D の 4 分類
利用者の居住形態（高齢者住宅や集合住宅への居住等）の状況別	2023年7月に担当した指定訪問介護の利用者数のうち、高齢者住宅や集合住宅に住む利用者の割合を算出し、回答件数の分布を踏まえ、「①0%」、「②30%未満」、「③30%以上 100%未満」、「④100%」の4つに分類 [5]。

■ 地域区分について

調査対象の事業所が立地する地域性について、事業所の所在地の情報を基に [6]、まず、下記のⅠ～Ⅴの 5 つの地域区分に分類した。

その上で、地域区分Ⅰは本調査研究で実施したアンケートの対象としては該当件数が少ない [7]ことも踏まえ、地域区分Ⅳとあわせる形とし、集計は A～D の 4 つの地域区分により行った。

地域区分Ⅰ：離島振興法・奄美群島開発特別措置法・沖縄振興特別措置法・小笠原諸島振興開発特別措置法のいずれかに指定されている地域を持つ自治体のうち、その区域が島しょ部（北海道・本州・四国・九州・沖縄本島以外の島）のみから構成される自治体

地域区分Ⅱ：「山村振興法」、「半島振興法」、「特定農山村法」、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（過疎法）」のいずれかで、事業所の位置する市区町村の全域が指定されている自治体・地区（地域区分Ⅰを除く）

地域区分Ⅲ：「山村振興法」、「半島振興法」、「特定農山村法」、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（過疎法）」の事業所の位置する市区町村の一部が指定されている自治体・地区（地域区分Ⅱを除く）

地域区分Ⅳ：地域区分Ⅰ～Ⅲ、地域区分Ⅴのいずれにも該当しない自治体・地区

地域区分Ⅴ：①東京 23 区、②政令指定都市、③介護保険の地域区分3級地までの自治体のいずれかに該当する自治体・地区（ただし、地域区分Ⅲにも該当する下記の地区は地域区分Ⅲとして分類）

宮城県仙台市青葉区、宮城県仙台市太白区、宮城県仙台市泉区、神奈川県相模原市緑区、新潟県新潟市西蒲区、静岡県静岡市葵区、静岡県浜松市北区、静岡県浜松市天竜区、京都府京都市右京区、岡山県岡山市北区、広島県広島市安佐南区、広島県広島市安佐北区、広島県広島市安芸区、広島県広島市佐伯区、福岡県福岡市早良区

[5] 管理者向け調査では選択肢から該当するものを 1 つ選んで回答を得た情報を基に分類しているのに対して、訪問介護員向け調査においては、担当している利用者数と、そのうち高齢者住宅や集合住宅に住む利用者数とをそれぞれ尋ねた情報を基に割合を算出し、分類を行った。

[6] 管理者向け調査の調査項目として、選択式により回答者に地域特性を尋ねる項目も設定したが、「わからない」の回答が一定割合でみられたことなどから、アンケート内で回答いただいた事業所所在地（市区町村）に基づく判別を行った。

[7] 「調査実施概要」に示したように、本調査研究では全国事業所から無作為抽出を行っている関係で、いわゆる「離島」に位置する事業所数は限られている。これらの事業所については「中山間地域」にある事業所とはまた異なる特性を持つものと考えられたことから、地域区分Ⅱや Ⅲに含めるのではなく、Ⅳの地域と合わせて、全国的な状況を意味する、参照地域の位置付けとして集計を行った。

図表 1-4-4 本報告書でクロス集計を行う際の地域区分

地域区分	A	B	C	D
地域区分Ⅰ～Ⅴとの対応関係	地域区分Ⅱ	地域区分Ⅲ	地域区分Ⅰ・Ⅳ	地域区分Ⅴ
考え方	中山間地域【全域】	中山間地域【一部】	全国地域（参照地域）	都市部地域
管理者向け調査該当件数	91 件	232 件	240 件 （地域区分Ⅰ：6 件） （地域区分Ⅳ：234 件）	293 件
訪問介護員向け調査該当件数※1	258 件	649 件	644 件 （地域区分Ⅰ：12 件） （地域区分Ⅳ：632 件）	684 件

※1：訪問介護員向け調査は、回答の際の ID 番号を基に、管理者向け調査とデータを紐づけた上で地域区分の判別をしている。その関係で、管理者向け調査とのデータの紐づけができなかった回答（ID の入力間違いや、訪問介護員向け調査のみ回答があり管理者向け調査には回答がなされていなかったケースなど）については地域分類の判別が不可能であり、そのようなケースは集計の対象外としている。

⑤集計結果の表示方法

○ 第 2 章・第 3 章では、原則として各調査票の設問順に沿って集計結果を掲載している。ただし、アンケート調査の中で地域分類を尋ねた項目や、一部集計対象件数が非常に少ない項目については掲載を省略したものがある [8]。

○ 文章中及び図表内の「n＝○○」という表記は、その設問についての有効回答数、「SA」は単一回答形式、「MA」は複数回答形式、「NU」は数値記入形式である旨を示している。

○ 集計結果は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、「SA」の設問であっても数値の合計が 100.0%にならない場合がある。また、「MA」の設問は、その設問の有効回答数を分母として回答割合を算出しているため、すべての選択肢の回答割合を合計すると、100.0%を超える場合がある。

○ 「SA」の設問について、複数の選択肢の回答割合の合計に言及する場合は、小数点以下第 2 位を四捨五入した値を合計している。

[8] 上述のように、管理者向け調査の調査項目として、選択式により回答者に地域特性を尋ねる項目も設定したが、「わからない」の回答が一定割合でみられているなど、住所ベースの分類と矛盾する回答もみられたことから、この部分の結果については掲載を省略した。また、条件に該当する事業所のみ回答する設問について、結果として対象件数が非常に少なかった項目についての集計結果については、「参考資料」の集計表には掲載したが、本文中のグラフ・コメントについては省略した。

（5） 先進事例等調査（ヒアリング調査）の概要

① 調査の実施目的

○ 文献等から得られた情報や、アンケート調査の回答結果をふまえ、訪問介護事業の事業継続に向けて先進的な取組を行っていると考えられる事業所や、効果的な施策を実施していると考えられた自治体について、その取組の内容等を具体的に把握することを目的とした調査（ヒアリング調査）を実施した。

②調査実施概要

■ ヒアリング先の抽出、及び実施方法

・ 有識者研究委員会の委員からの紹介・推薦、アンケート調査への回答先、その他文献調査等から、本研究事業のテーマに関連する課題を抱える訪問介護事業者、訪問介護の事業継続に向けて有効な取組を実施する事業者、及び訪問介護の継続に向けた施策を展開する自治体等の情報を収集し、調査対象先候補リストを作成した。

・ その上でリスト所収の事業者・自治体に対し、調査の趣旨とヒアリング項目を送付した上で調査への協力を打診し、承諾を得られた先にヒアリングを実施した。

■ ヒアリングの実施方法

・ ウェブ会議システムを使用したリモート形式を基本とした。なお、一部については、書面による調査（質問事項の書面送付・書面回答）によった。

・ 1 回当たりのヒアリング時間は 1～1.5 時間程度。

■ 調査対象

・ 次の 6 事業者、5 自治体を対象に実施した。

図表 1-5-1 ヒアリング調査対象（事業者）

実施日	ヒアリング実施先	所在地
2023/11/28	株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ	東京都新宿区
2023/11/29	有限会社あらたケアサービス	高知県四万十市
2023/11/29	A 法人（※）	北陸地方
2023/11/29	株式会社アカリエ	神奈川県横浜市
2023/11/30	社会福祉法人御嵩町社会福祉協議会	岐阜県御嵩町
20223/12/8	ニチイケアセンター三沢（株式会社ニチイ学館）	青森県三沢市

※ 本法人からは、報告書への結果等の掲載の許可が得られなかった。そのため、法人名及びヒアリング記録は本報告書及び別冊の事例集には掲載していない。

図表 1-5-2 ヒアリング調査対象（自治体）

実施日	ヒアリング実施先	担当課
2023/12/4	高知県	長寿社会課
2023/12/8	東京都	介護保険課
2024/1/10	岐阜県	高齢福祉課
2024/1/11	岡山県岡山市	医療政策推進課
書面にて実施	静岡県静岡市	介護保険課

■ ヒアリング項目

・ ヒアリング調査におけるヒアリング項目については下記の通り。

【事業者向け】

・法人・事業所属性等
・訪問介護事業の法人内の位置付け
・訪問介護事業の規模（利用者数、職員数、拠点数等）
・訪問介護サービスに対するニーズの変化・利用者の状況の変化（身体・生活のニーズ変化）
・訪問介護事業の継続に向けた課題
・訪問介護事業の継続に向けて実施する取組の具体的な内容
・取組を始めるに至った背景、過去から現在までの状況変化
・上記の取組の準備段階：検討体制・職員等への周知・準備にかかった時間や費用
・上記の取組の実施段階：取組体制・運用時の課題や留意点・実施にかかった費用
・上記の取組の評価段階：具体的な効果・今後の改善点
・他法人・他事業所が同種の取組等を実施する上で留意すべき点
・今後の訪問介護事業の運営において重要になる点、経営上の取組事項
・行政等への支援ニーズ　など

【自治体向け】

・自治体の概況（人口、高齢化率、要介護認定者数等）
・自治体内の介護保険サービスに対するニーズの現状と変化
・自治体内の訪問介護の状況（ニーズ、事業所数、事業所からの要望等）
・自治体内における訪問介護サービスの継続に向けた課題
・訪問介護サービスの継続に向けて実施されている施策の内容と施策の経緯
・施策の利活用の状況や事業者からの反応
・施策を展開する上での課題
・他自治体が同種の取組等を実施する上で留意すべき点
・今後の地域の訪問介護事業者との連携や支援の意向
・国や介護事業者への期待事項　など

③ 結果のとりまとめについて

○ 各対象のヒアリング結果の概要は、本報告書第 4 章に掲載した。

○ このほか、ヒアリング結果を踏まえて、各対象の取組内容等を紹介する事例集（タイトル：訪問介護事業の継続に向けて）を作成した（内容については本報告書の「参考資料」に掲載）。

○ 事例集は、別途印刷・製本の上、全国の都道府県、アンケート調査に回答いただいた事業所、有識者研究委員会に協力いただいた委員の方が所属する団体等に配布をした。

第2章 アンケート調査結果（管理者向け調査）

（1） 管理者向け調査に関するまとめ

① 訪問介護事業継続にあたっての全般的な状況

○ 訪問介護事業所の収支差の状況として、「赤字」との回答が 34.5%と最も割合が高かった（図表 2-6-2）。

○ 今後のサービス需要の見通しとして「減少する」と回答する割合（図表 2-6-12）や、事業継続の見通しとして「続けていくことは難しい」の回答割合（図表 2-6-14）も 1 割以上となっており、事業継続が難しい状況にある事業所が少なくない。

○ 事業運営に関する課題認識として、「訪問介護員の確保・定着難」や「訪問介護員の高齢化」を挙げる事業者の割合は 8 割以上となっており（図表 2-6-16）、大きな課題となっている。

○ 利用者宅への訪問に関する課題としては、「天候不順時の負担・不安が大きい」、「訪問介護員の高齢化に伴い移動の負担・不安が大きい」、「ガソリン代の負担が大きい」の回答割合が高くなっている（図表 2-5-26）。

○ 近年の変化としては、「認知症のある利用者へのケア」や「独居の利用者へのケア」が増えているとの回答割合が高くなっている（図表 2-3-14）。

② 要介護度別の生活援助利用者の状況

○ 各事業所において生活援助を利用している方の認知症の有無・程度は、いずれの要介護度においても「なし」の割合が最も高いが、要介護度が高いほど日常生活自立度の程度が重い方の割合が高い傾向にある（図表 2-4-3）。

○ 同居家族の有無・同居者は、いずれの要介護度においても同居者が「なし」の割合が高いが、要介護度が高いほど「配偶者」や「子」が同居している割合が高い傾向にある（図表 2-4-4）。

○ サービス提供の内容として、要介護1～要介護4の方については「掃除」の回答割合が最も高く、要介護5の方については「排泄・食事介助」の回答割合が最も高くなっている（図表 2-4-12）。

③ 地域性の違いに関連する課題

○ 地域区分別の集計の結果、特に中山間地域におけるサービス提供・事業継続上の課題が大きいことが明らかになった。

○ 「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所では、今後のサービス需要の見通しとして「減少する」（図表 2-6-13）、事業継続の見通しとして「続けていくことは難しい」と回答する割合が他の地域と比べ高くなっている（図表 2-6-15）。収支差の状況として、「赤字」との回答割合も高い（図表 2-6-3）。

○ また、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」においては、「常勤の訪問介護員1人・1日当たりの一般的な移動時間（1 日の合計）」（図表 2-5-23）や「常勤の訪問介護員1人・1日当たりの一般的な移動距離（1 日の合計）」（図表 2-5-24）の平均値が高いという結果であった。

○ 地域性の違いにより、移動にかかる効率化を図ることが難しい状況にあるとも考えられ、「地域区分 A（中山間地機【全域】）」の事業所では「可能な限り利用者宅の近くに住む職員が訪問するよう調整」や「利用者宅との直行直帰を多くするよう調整」の割合が他の地域と比べ低くなっている（図表 2-5-33）。また、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所においては、その他の訪問系サービスの利用者も組み合わせてルートを作成するようにしているという割合が他の地域の事業所と比べて高くなっている（図表 2-5-6）。

○ このほか、利用者宅への訪問に関する課題として、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所においては「移動時間が長く業務負担が大きい」、「十分に整備されていない道など、悪路が多い」、「積雪時の雪かきの負担が大きい」などの回答割合が高くなっている（図表 2-5-27）。

○ 「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所においては、「高齢者住宅や集合住宅に住む利用者へのサービス提供の割合について「実施していない」や「1 割未満」の回答割合が高くなっており（図表 2-2-16）、このような利用者の住まいの形態の違いが効率性の違いに関連している可能性もあると考えられる（図表 2-3-9、図表 2-5-17、図表 2-5-18）。

○ 「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所においては、事業の実施地域について「自治体との協議等により決めている」の割合が他の地域の事業所と比べて高くなっており（図表 2-5-2）、実施範囲が複数の市町村にまたがるという割合も高くなっている（図表 2-5-4）。また、利用者宅への移動時間や距離を理由としてサービス提供を断ることがしづらいという状況にあることもうかがえる（図表 2-5-30）

④ 経営改善に向けた課題・方策

○ 収支差の状況別に集計を行った結果から、収支差が「黒字」の事業所においては、通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数が「赤字」の事業所に比べて多い傾向にあり（図表 2-5-13）、また、要介護度がより高い利用者の人数が相対的に多いという状況にあった（図表 2-3-3）。なお、これらの傾向は地域区分別に集計を行っても同様にみられる。

○ 「黒字」の事業所では、各種の加算を取得している割合が高くなっている（図表 2-2-6）。

○ また、「黒字」の事業所においては、事業継続や業務改善に向けて取り組んでいることとして、「身体介護や重度者への注力」、「アセスメントの強化やADLの改善を通じたサービスの見直し」、「訪問介護員の介護技術の育成・多様な状況に臨機応変に対応できる対応力の強化」、「サービス提供責任者の確保・育成」、「訪問介護員の定着に向けた働きやすい環境づくり」、「ICT機器等の活用による業務効率化・負担軽減」などの割合が他の事業所に比べて高くなっている（図表 2-6-20）。

○ 「身体介護や重度者への注力」という点については、「身体介護中心」、「生活援助中心」、「両方のサービスを提供」の 3 つの分類で、サービスの利用状況別の利用者数の回答を得たところ、例えば同じ「要介護 1」の方について、「黒字」の事業所ではより「身体介護中心」のサービスを行っている傾向にある（「赤字」の事業所では、より「生活援助中心」のサービスを行っている傾向にある）ことが把握された（図表 2-3-5）。

○ ICT機器やサービスの利用に関しては、「チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有」、「記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用」、「訪問シフト・訪問ルートの効率化・自動化を図るアプリの活用」、「職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用」のそれぞれについて、利用していると回答した事業者においては「大きな効果が出ている」と「効果が出ている」を合わせた割合が約 8 割となっている（図表 2-6-23）。

（2） 調査対象・回答事業所の概要

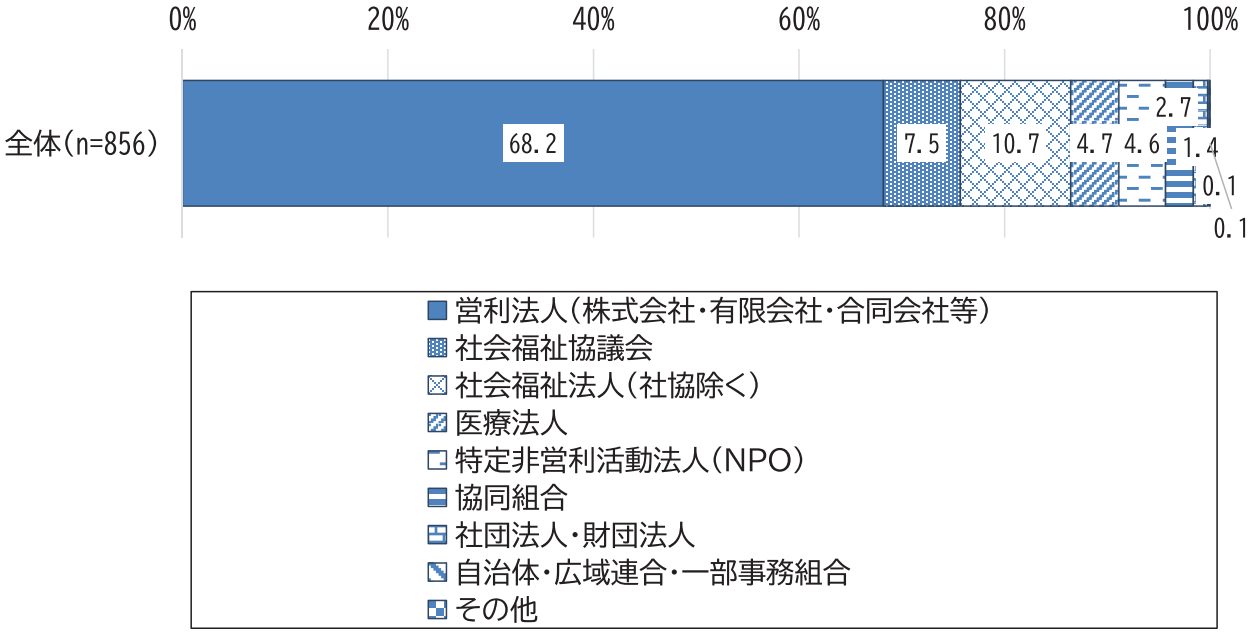
① 運営法人

「貴事業所を運営する法人の法人種別を教えてください」と尋ねた設問については、「営利法人（株式会社・有限会社・合同会社等）」の回答割合が 68.2%と最も高く、次いで「社会福祉法人（社協除く）」の回答割合が 10.7%、「社会福祉協議会」の回答割合が 7.5%となっている。

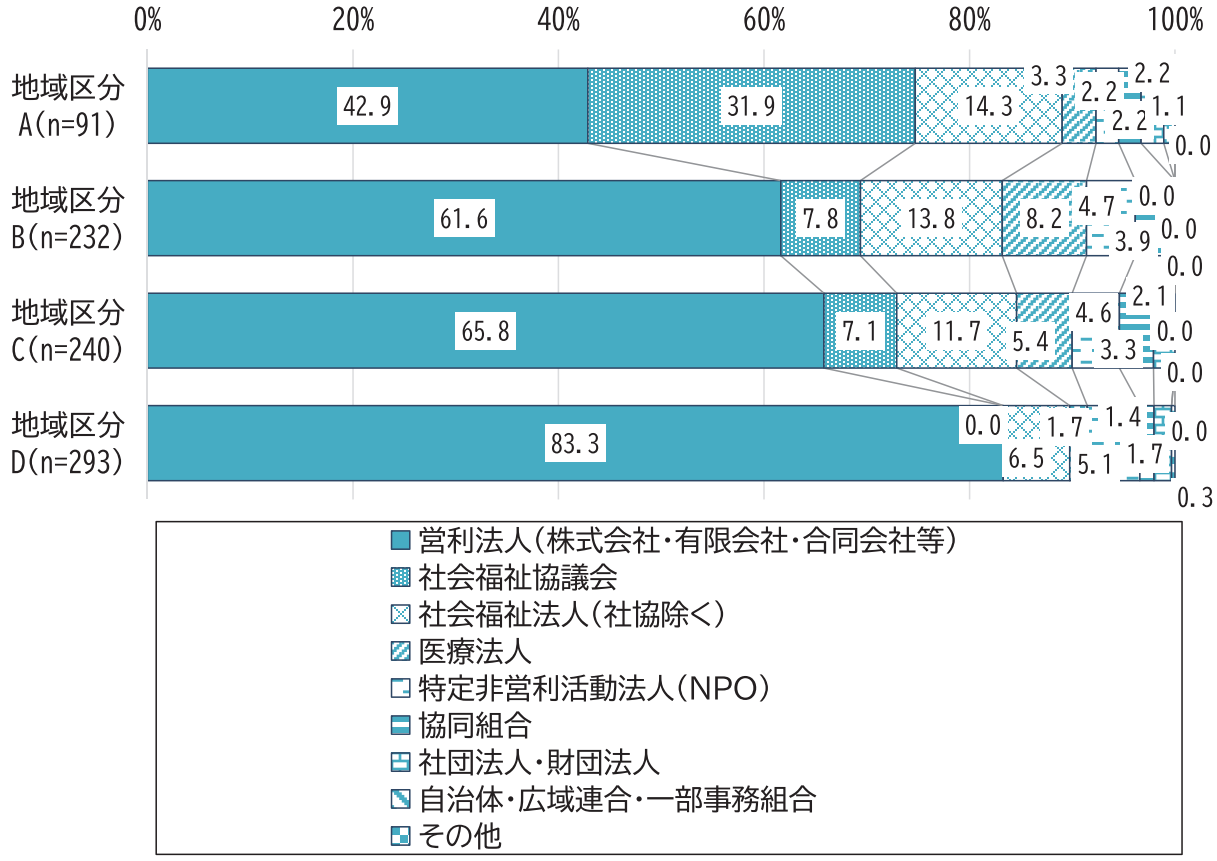
地域区分別の集計では、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所において「営利法人（株式会社・有限会社・合同会社等）」の回答割合が低く、「社会福祉協議会」の回答割合が高くなっている。「地域区分 D（都市部地域）」の事業所では、「営利法人（株式会社・有限会社・合同会社等）」の回答割合が高くなっている。

【管理者向け調査 Q1】 貴事業所を運営する法人の法人種別を教えてください。（SA）

図表 2-2-1 事業所の運営法人



図表 2-2-2　事業所の運営法人（地域区分別）



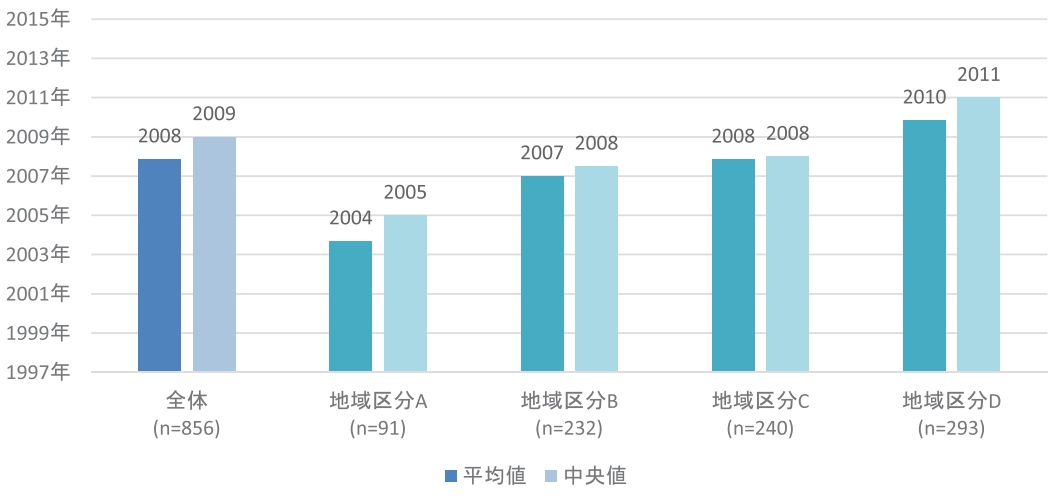
② 開設年

「貴事業所の開設年を教えてください」と尋ねた設問について、平均値では 2008 年、中央値では 2009 年であった。

地域区分別の集計では、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所では平均として開設年が比較的古く、「地域区分 D（都市部地域）」の事業所では比較的新しいという傾向にある。

【管理者向け調査 Q2_1】 貴事業所の開設年を教えてください。（NU）

図表 2-2-3　事業所の開設年（全体、地域区分別）



③ 事業所の所在地

「貴事業所の所在地を教えてください」と尋ねた設問については、「大阪府」の回答割合が 15.2%と最も高く、次いで「東京都」の回答割合が 7.4%となっている [9]。

【管理者向け調査 Q3A】 貴事業所の所在地を教えてください。／都道府県（SA）

図表 2-2-4 事業所の所在地

都道府県	回答件数	割合（%）	都道府県	回答件数	割合（%）
北海道	32	3.7	滋賀県	6	0.7
青森県	14	1.6	京都府	19	2.2
岩手県	13	1.5	大阪府	130	15.2
宮城県	9	1.1	兵庫県	45	5.3
秋田県	5	0.6	奈良県	13	1.5
山形県	7	0.8	和歌山県	10	1.2
福島県	20	2.3	鳥取県	2	0.2
茨城県	12	1.4	島根県	6	0.7
栃木県	7	0.8	岡山県	10	1.2
群馬県	12	1.4	広島県	19	2.2
埼玉県	33	3.9	山口県	6	0.7
千葉県	29	3.4	徳島県	9	1.1
東京都	63	7.4	香川県	4	0.5
神奈川県	58	6.8	愛媛県	15	1.8
新潟県	14	1.6	高知県	5	0.6
富山県	5	0.6	福岡県	27	3.2
石川県	9	1.1	佐賀県	2	0.2
福井県	3	0.4	長崎県	13	1.5
山梨県	4	0.5	熊本県	14	1.6
長野県	15	1.8	大分県	7	0.8
岐阜県	17	2.0	宮崎県	16	1.9
静岡県	12	1.4	鹿児島県	14	1.6
愛知県	52	6.1	沖縄県	6	0.7
三重県	13	1.5	合計	856	100.0

[9] 調査では、都道府県に続いて市区町村についても選択式（プルダウン形式）で回答を得た。本調査研究では、この市区町村に関する回答情報を基に地域区分を分類・判別した。なお、この設問のあと、地域性について「級地区分」（Q4）、「国の関連する地域指定種類」（Q5）、「特別地域加算・中山間地域等の加算の状況」（Q6、Q7）について尋ねる項目を設定して調査したが、「わからない」との回答割合が高いことや、一部所在地情報との矛盾等がみられたことから、集計結果の掲載を省略した。

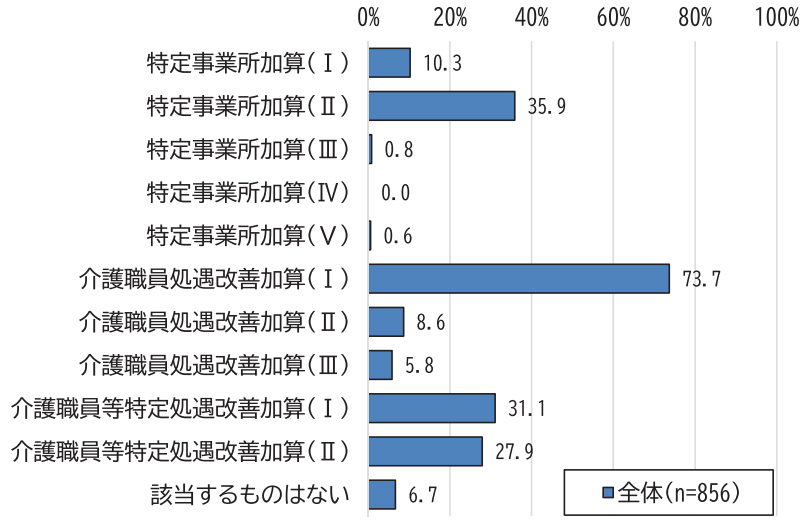
④ 特定事業所加算等の加算の有無

「特別地域加算・中山間地域等の加算以外で、次のうち加算算定しているものを教えてください」と尋ねた設問については、「介護職員処遇改善加算（Ⅰ）」の回答割合が 73.7%と最も高く、次いで「特定事業所加算（Ⅱ）」の回答割合が 35.9%となっている。

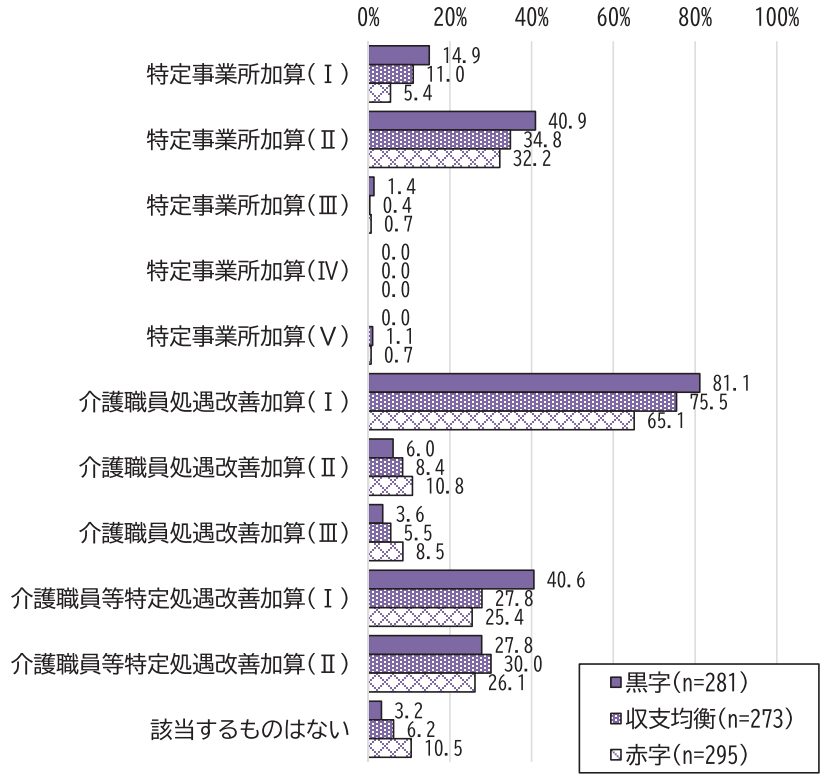
収支差の状況別の集計では、「黒字」の事業所において、各種の加算を取得している割合がそのほかの事業所と比べて高い傾向にある。

【管理者向け調査 Q8】 特別地域加算・中山間地域等の加算以外で、次のうち加算算定しているものを教えてください。（MA）

図表 2-2-5 特定事業所加算等の加算の有無



図表 2-2-6 特定事業所加算等の加算の有無（収支差の状況別）

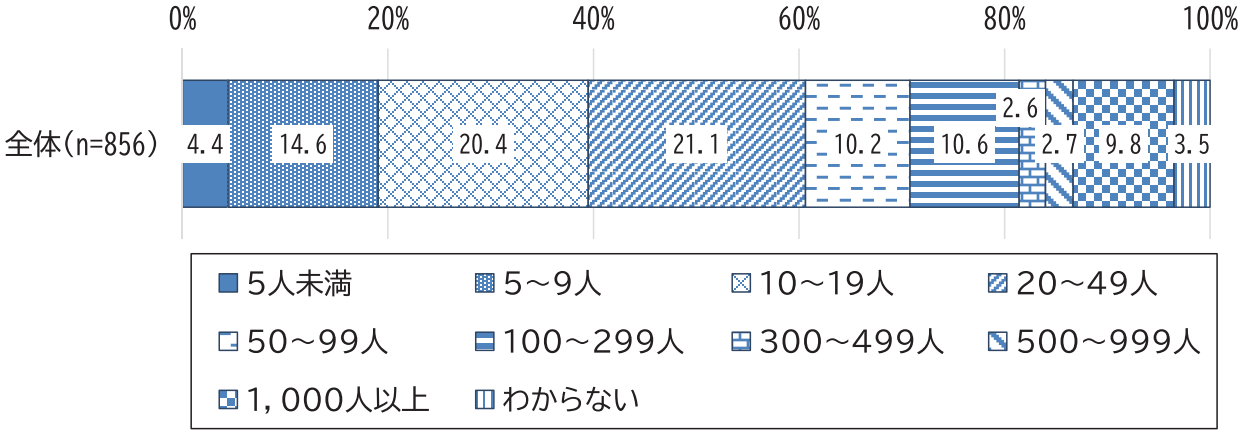


⑤ 法人の規模（従業員数）

「貴事業所が所属する法人全体の介護事業従事者数（非常勤を含む）について教えてください」と尋ねた設問については、「20～49人」の回答割合が 21.1%と最も高く、次いで「10～19人」の回答割合が20.4%となっている。

【管理者向け調査 Q9】 貴事業所が所属する法人全体の介護事業従事者数（非常勤を含む）について教えてください。（SA）

図表 2-2-7 法人の規模（従業員数）

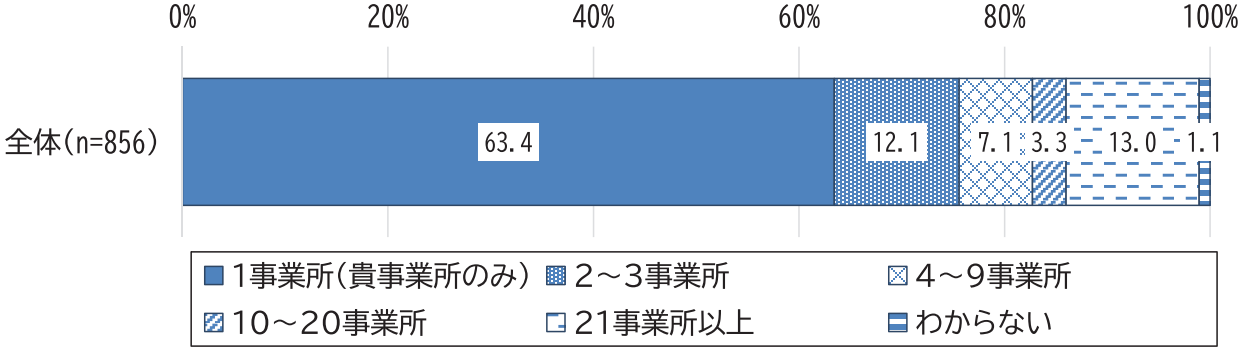


⑥ 事業規模（展開している事業所数）

「貴事業所を運営する法人が展開している、訪問介護事業所数を教えてください」と尋ねた設問については、「1事業所（貴事業所のみ）」の回答割合が 63.4%と最も高く、次いで「21事業所以上」の回答割合が13.0%となっている。

【管理者向け調査 Q10】 貴事業所を運営する法人が展開している、訪問介護事業所数を教えてください。（SA）

図表 2-2-8 事業規模（展開している事業所数）

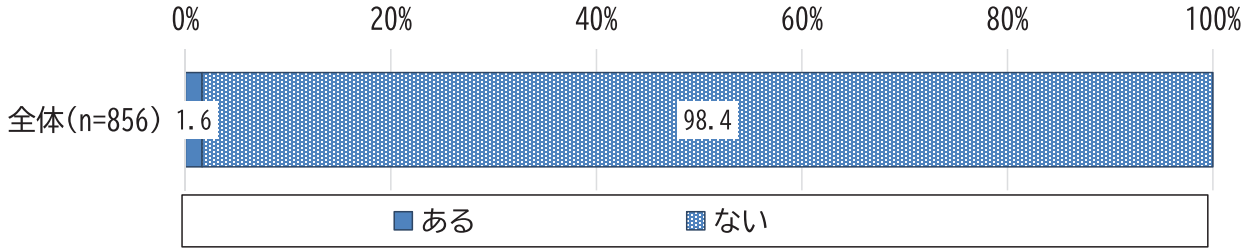


⑦ サテライト事業所（出張所）の有無

「サテライト事業所（出張所）をもっていますか」と尋ねた設問については、「ない」の回答割合が 98.4%、「ある」の回答割合は 1.6%（14 事業所）となっている [10]。

【管理者向け調査 Q11】 サテライト事業所（出張所）をもっていますか。（SA）

図表 2-2-9 サテライト事業所（出張所）の有無



⑧ 事業所の職員数

事業所の従業員数について、「サービス提供責任者」、「訪問介護員」、「その他」のそれぞれについて「常勤」、「非常勤」の別の人数と、「常勤換算」について尋ねた [11]。人数の平均値・中央値の結果は次のようになっている。

このうち訪問介護員の人数について地域区分別の集計では、「地域区分 A（中山間地域・全域）」の事業所において、非常勤の人数の平均値が低くなっている（常勤換算の人数には大きな違いはみられない）。

【管理者向け調査 Q13】 2023 年 7 月における、貴事業所の職員数を教えてください。（NU）

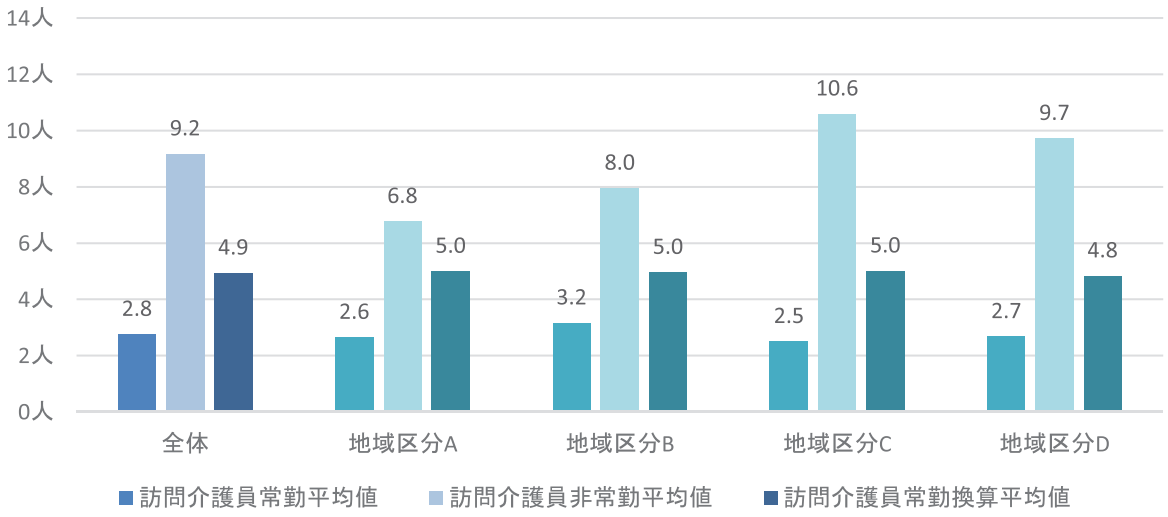
図表 2-2-10 事業所の従業員数

		集計件数	平均値	中央値
サービス提供責任者	常勤	855	2.3 人	2.0 人
	非常勤	855	0.3 人	0.0 人
	常勤換算	711	2.2 人	2.0 人
訪問介護員	常勤	853	2.8 人	1.0 人
	非常勤	853	9.2 人	7.0 人
	常勤換算	741	4.9 人	3.5 人
その他	常勤	852	0.3 人	0.0 人
	非常勤	852	0.5 人	0.0 人
	常勤換算	745	0.4 人	0.0 人

[10] 調査では、サテライト事業所（出張所）がある場合に、設置箇所数と、本体事業所からの距離・移動時間について尋ねる項目を設定して調査したが、集計対象の件数が非常に少ないことから、集計結果の掲載を省略した（「参考資料」には結果を掲載している）。

[11] 常勤換算の人数については、0 人といった回答など、適切な回答がされていないと考えられたものは集計対象外としているため、集計対象の件数が若干少なくなっている。

図表 2-2-11 事業所の従業員数(訪問介護員人数の平均値、全体・地域区分別)



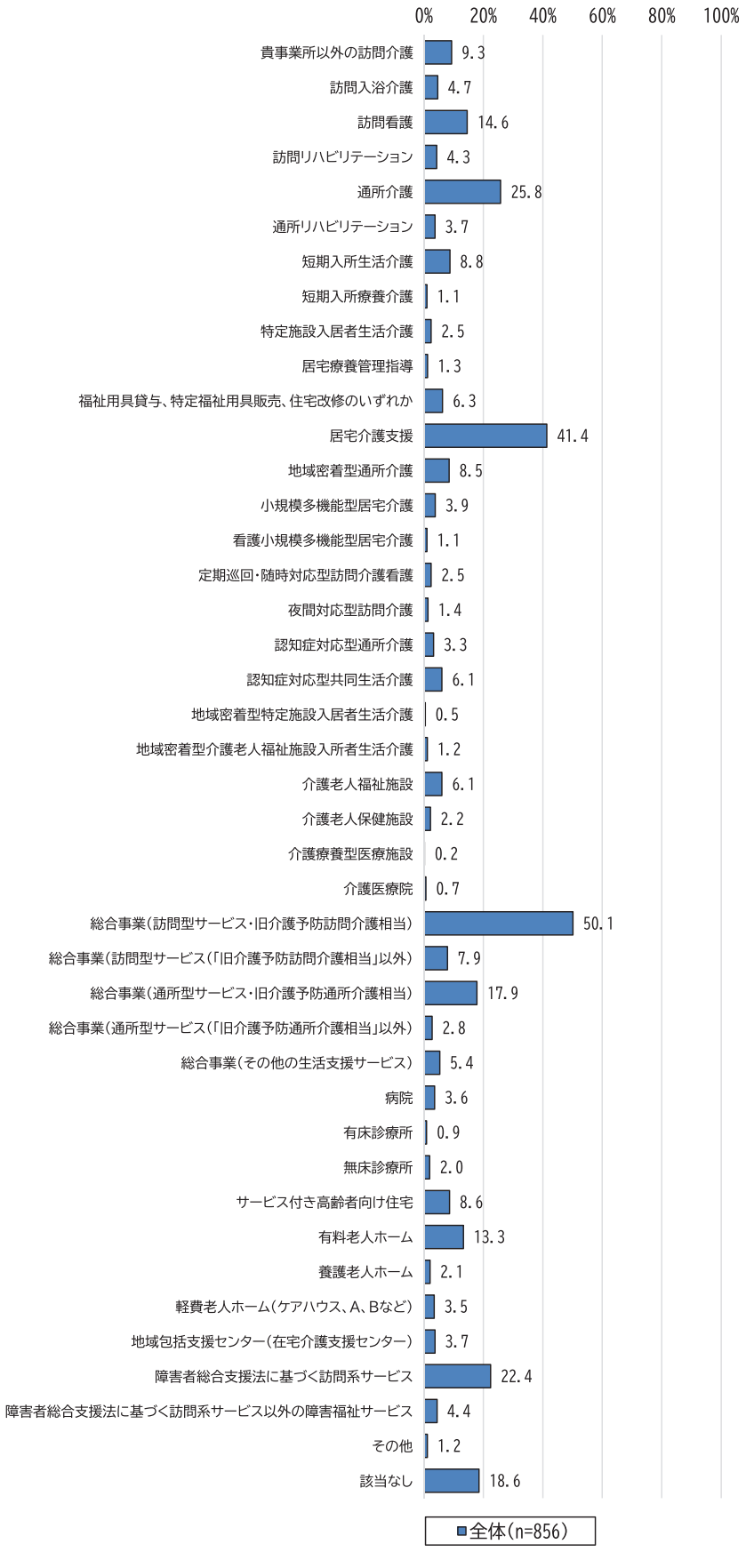
⑨ 併設サービス等の状況

「貴事業所と併設、あるいは隣接敷地にある介護保険サービス・その他高齢者福祉サービス等の事業所を教えてください」と尋ねた設問について、同一法人が運営しているものとしては、「総合事業(訪問型サービス・旧介護予防訪問介護相当)」の回答割合が 50.1%と最も高く、次いで「居宅介護支援」の回答割合が 41.4%、「通所介護」が 25.8%、「障害者総合支援法に基づく訪問系サービス」が 22.4%となっている。

関連法人が運営しているものについては「該当なし」の回答割合が 91.8%と最も高く、次いで「居宅介護支援」の回答割合が 2.7%となっている。同様に、他法人が運営しているものについては、「該当なし」の回答割合が 90.2%と最も高く、次いで「居宅介護支援」の回答割合が 4.9%となっている。

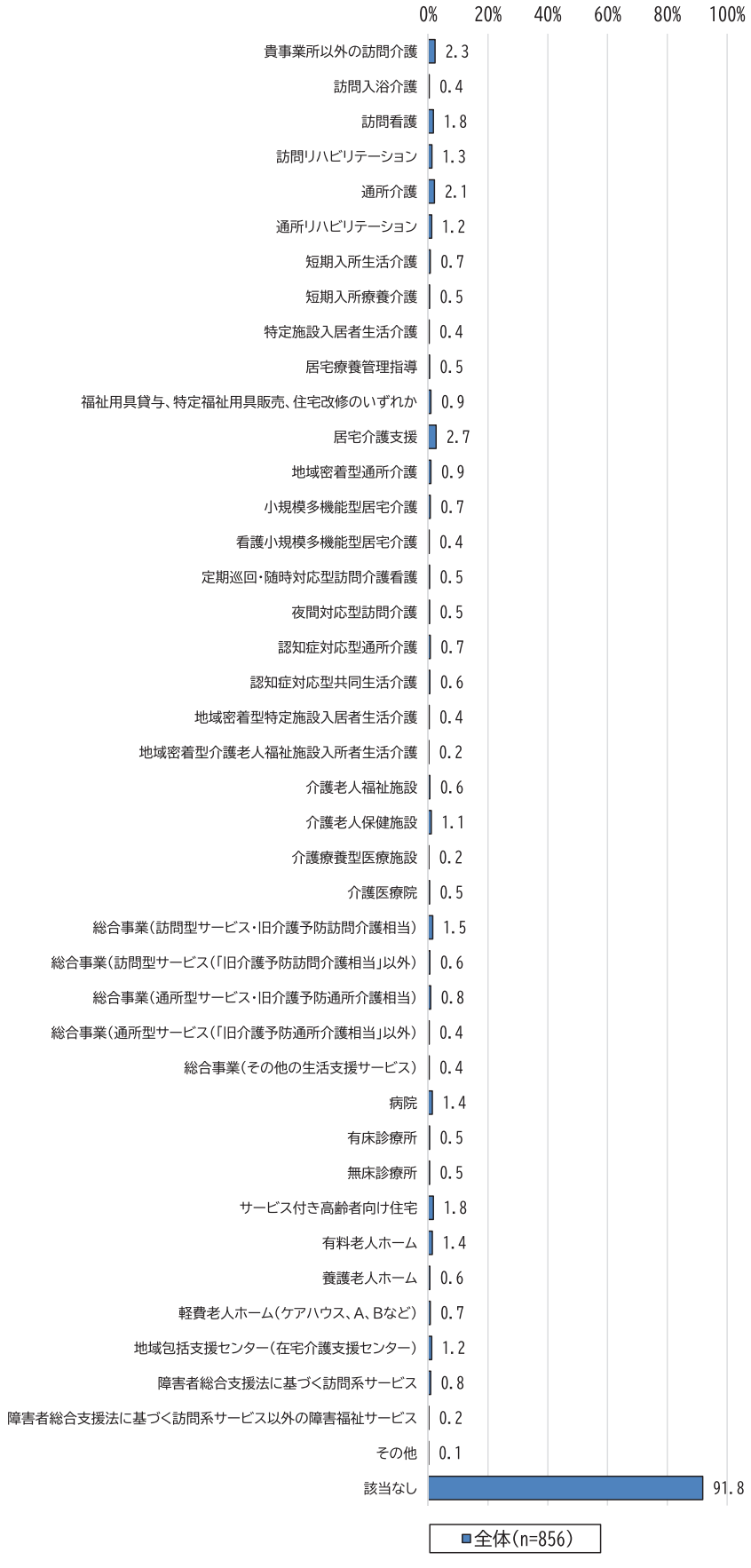
【管理者向け調査 Q14_1】 貴事業所と併設、あるいは隣接敷地にある介護保険サービス・その他高齢者福祉サービス等の事業所を教えてください。／自法人の運営（MA）

図表 2-2-12 併設サービス等の状況（自法人の運営）



【管理者向け調査 Q14_2】 貴事業所と併設、あるいは隣接敷地にある介護保険サービス・その他高齢者福祉サービス等の事業所を教えてください。／関連法人の運営（MA）

図表 2-2-13 併設サービス等の状況（関連法人の運営）



【管理者向け調査 Q14_3】 貴事業所と併設、あるいは隣接敷地にある介護保険サービス・その他高齢者福祉サービス等の事業所を教えてください。／他法人の運営（MA）

図表 2-2-14 併設サービス等の状況（他法人の運営）



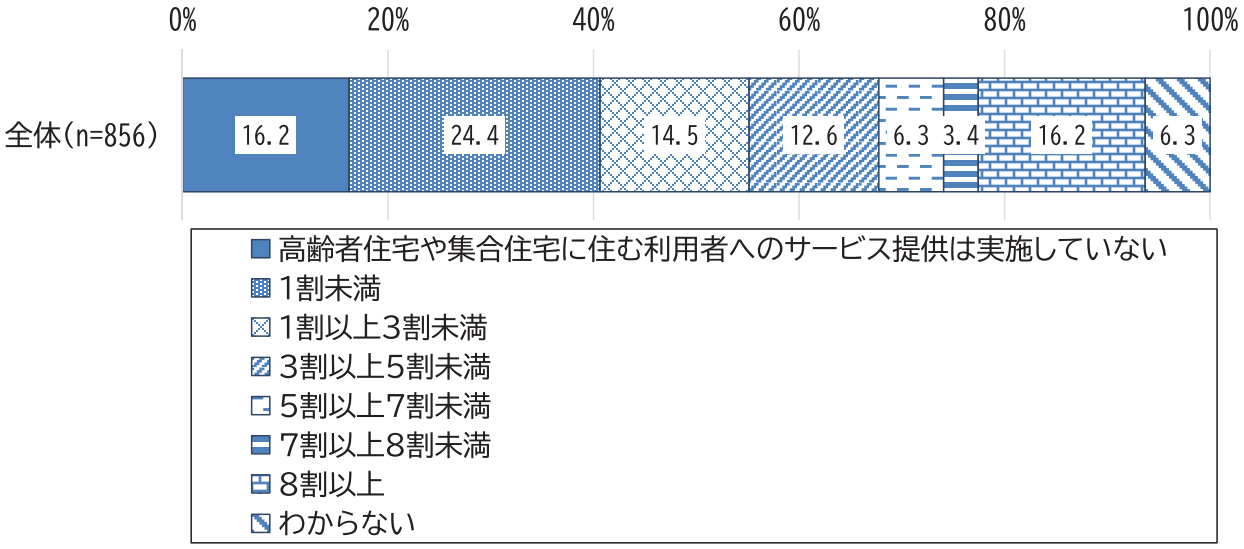
⑩ 利用者の住まいの状況

「貴事業所が指定訪問介護サービスを提供する利用者のうち、高齢者住宅(特定施設を除くサ高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)、シルバーハウジング等)や集合住宅(マンション・アパート・団地など)に住む利用者の大まかな割合を教えてください」と尋ねた設問については、「1割未満」の回答割合が 24.4%と最も高く、次いで「高齢者住宅や集合住宅に住む利用者へのサービス提供は実施していない」と「8割以上」の回答割合がそれぞれ 16.2%となっている[12]。

地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「高齢者住宅や集合住宅に住む利用者へのサービス提供は実施していない」や「1 割未満」の回答割合が高くなっている。他方で、「地域区分 D(都市部地域)」の事業所ではその割合は低くなっている。

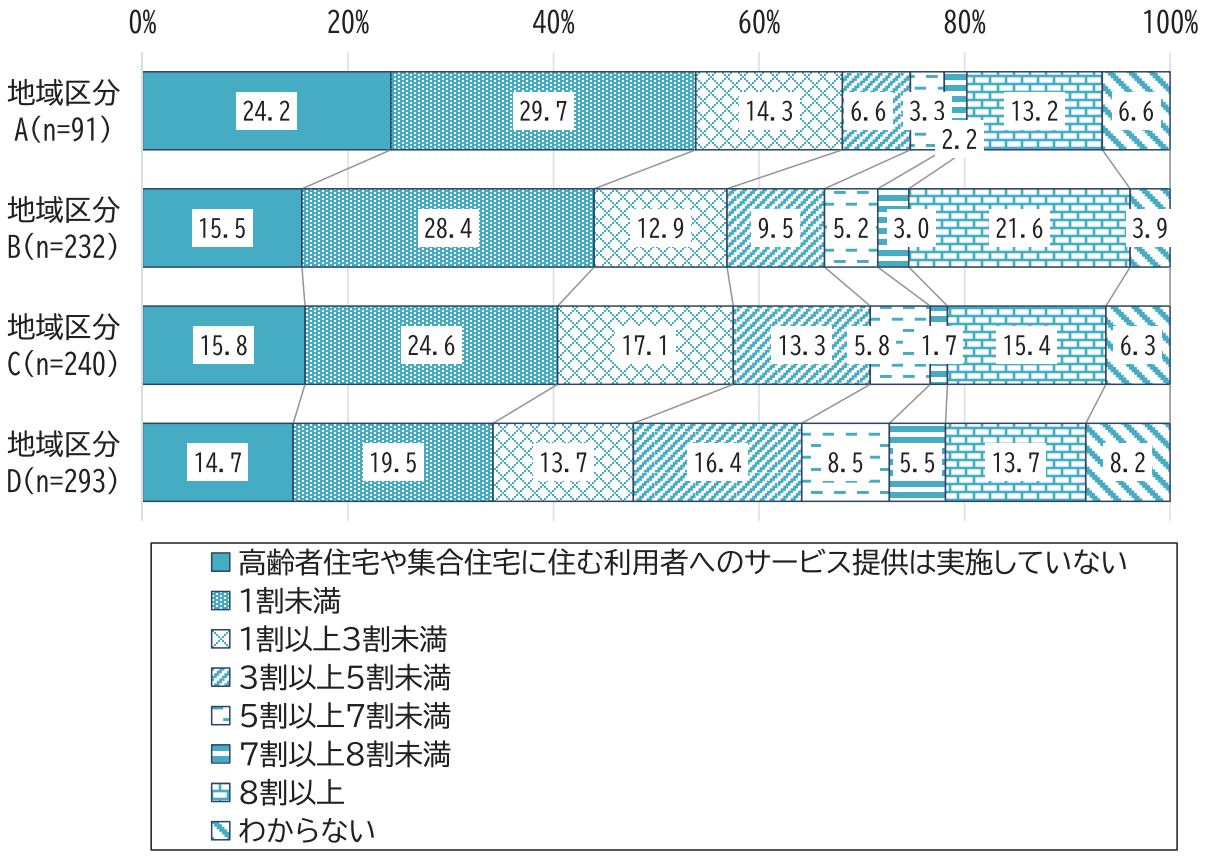
【管理者向け調査 Q15】 貴事業所が指定訪問介護サービスを提供する利用者のうち、高齢者住宅(特定施設を除くサ高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)、シルバーハウジング等)や集合住宅(マンション・アパート・団地など)に住む利用者の大まかな割合を教えてください。(SA)

図表 2-2-15 利用者の住まいの状況



[12] 本調査研究では、この利用者の住まいの状況に関する回答情報(選択肢から 1 つを選ぶ形式の回答)を基に、「わからない」の回答は除き、「高齢者住宅や集合住宅に住む利用者へのサービス提供は実施していない」、「1 割未満」、「1 割以上 3 割未満」、「3 割以上 7 割未満」、「7 割以上」の 5 つに再分類して、クロス集計を行う際の軸の 1 つとした。

図表 2-2-16　利用者の住まいの状況(地域区分別)

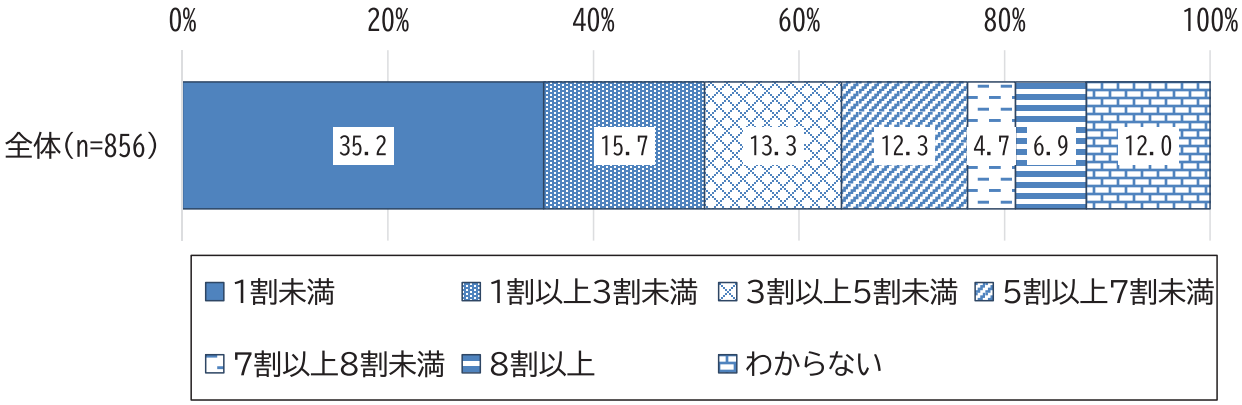


⑪ ケアマネジャーとの連携等の状況

「貴事業所が指定訪問介護サービスを提供する利用者のうち、貴法人内部のケアマネジャーが担当している割合はおおよそどの程度ですか」と尋ねた設問については、「1割未満」の回答割合が 35.2%と最も高く、次いで「1割以上3割未満」の回答割合が 15.7%となっている。

【管理者向け調査 Q16】 貴事業所が指定訪問介護サービスを提供する利用者のうち、貴法人内部のケアマネジャーが担当している割合はおおよそどの程度ですか。(SA)

図表 2-2-17 ケアマネジャーとの連携等の状況



（3） サービス提供状況

① 要介護度別、サービスの利用状況別利用者数

「2023年7月における、貴事業所の実利用者数を教えてください。また、そのうち①身体介護中心型のサービスのみを提供している実利用者数、②生活援助中心型のサービスのみを提供している実利用者数、③両方のサービスを提供している実利用者数についても教えてください。」と尋ねた設問について、要介護度別の人数の平均値・中央値の結果は次のようになっている。

各事業所の利用者人数の平均的な状況としては、要介護度別には要介護1・2の方が多くなっている（要介護 1:11.6 人、要介護 2:10.6 人）。また、要介護1の利用者においては、サービス利用の状況の内訳として、「生活援助中心型のみ」の平均人数が 4.4 人で最も多くなっている（「両方のサービスを提供」と同程度）[13]。要介護2の利用者では「両方のサービスを提供」の平均人数が 4.3 人と最も多く、要介護3では「身体介護中心型のみ」（2.6 人）と「両方のサービスを提供」（2.7 人）が同程度、要介護4・5の利用者では「身体介護中心型のみ」の平均人数が多くなっている（要介護 4・5 ともに 2.4 人）。

収支差の状況別の集計では、「黒字」の事業所において全体としての平均人数が多いこともさることながら、利用者の内訳として相対的に要介護度が高い利用者数が多い傾向にある。なお、このような傾向は地域区分別に集計を行っても同様にみられる。

また、要介護度別に利用者のサービス利用の状況をみたときに、「黒字」の事業所においては、同じ要介護度の利用者についてより「身体介護中心」のサービスを行っている傾向にある（「赤字」の事業所では、より「生活援助中心」のサービスを行っている傾向にある）と考えられる [14]。

【管理者向け調査 Q17】 2023年7月における、貴事業所の実利用者数を教えてください。また、そのうち①身体介護中心型のサービスのみを提供している実利用者数②生活援助中心型のサービスのみを提供している実利用者数③両方のサービスを提供している実利用者数についても教えてください。【要介護度別】（NU）

図表 2-3-1 要介護度別利用者数

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
集計件数	850	850	850	850	850	850	850
平均値	5.0 人	6.7 人	11.6 人	10.6 人	6.5 人	5.2 人	3.9 人
中央値	2.0 人	4.0 人	8.0 人	7.0 人	4.0 人	3.0 人	2.0 人

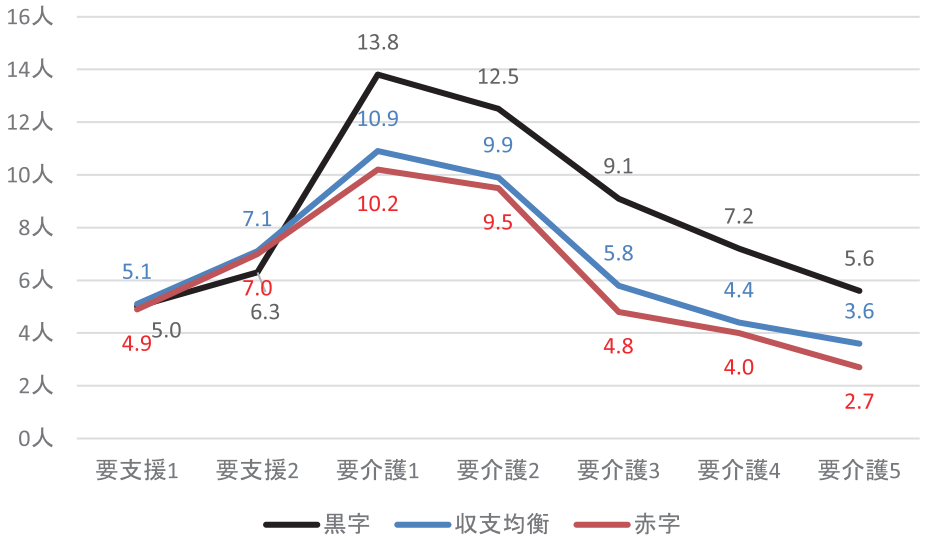
[13] サービスの利用状況別の内訳については、無回答であった場合など、適切な回答がされていないと考えられたものは集計対象外としているため、実利用者数の集計に比べて、集計対象の件数が若干少なくなっている。

[14] 要介護1～要介護3の利用者についての集計結果を示した。

図表 2-3-2　要介護度別、サービスの利用状況別利用者数

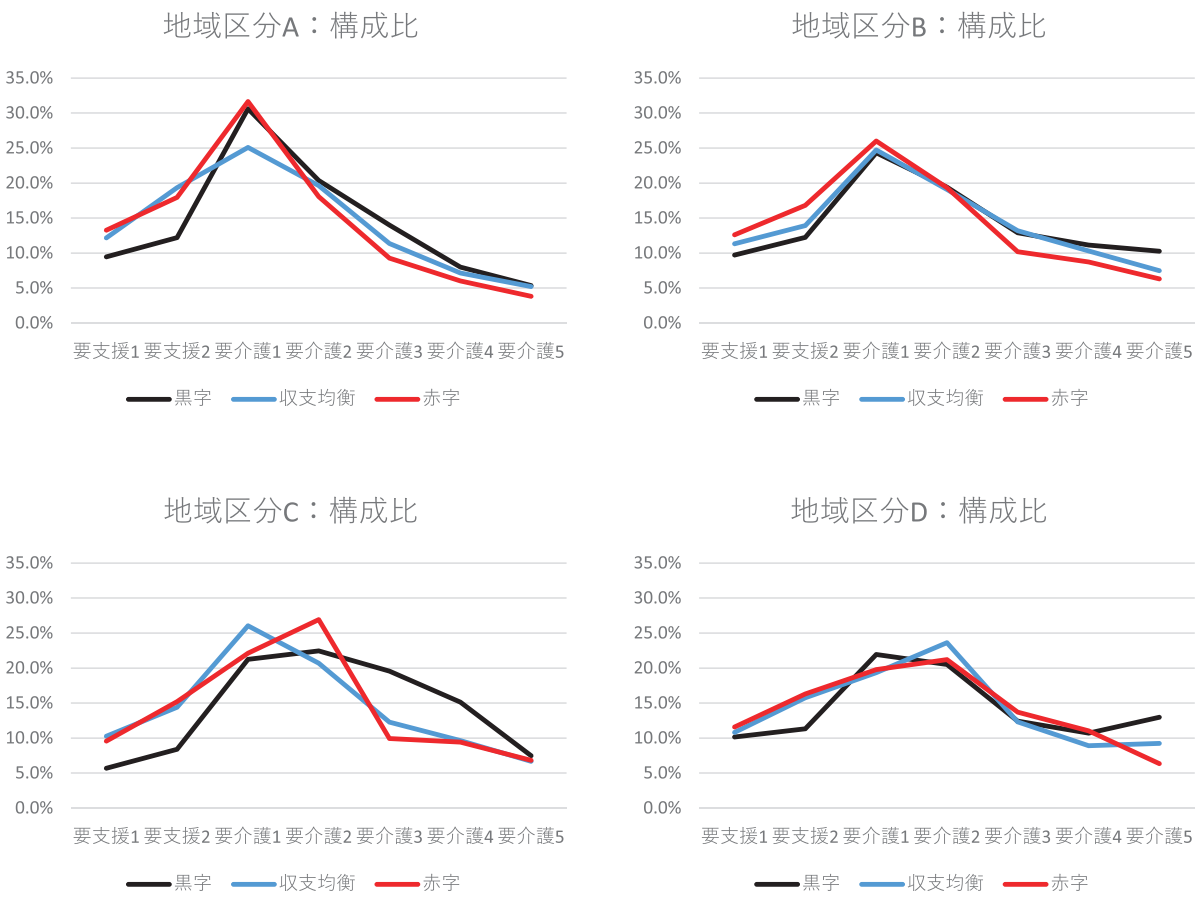
		集計件数	平均値	中央値
要介護 1	身体介護中心	795	2.4 人	1.0 人
	生活援助中心		4.4 人	2.0 人
	両方のサービスを提供		4.4 人	3.0 人
要介護 2	身体介護中心	802	2.8 人	1.0 人
	生活援助中心		2.9 人	1.0 人
	両方のサービスを提供		4.3 人	3.0 人
要介護 3	身体介護中心	811	2.6 人	1.0 人
	生活援助中心		0.9 人	0.0 人
	両方のサービスを提供		2.7 人	1.0 人
要介護 4	身体介護中心	815	2.4 人	1.0 人
	生活援助中心		0.4 人	0.0 人
	両方のサービスを提供		2.0 人	1.0 人
要介護 5	身体介護中心	822	2.4 人	1.0 人
	生活援助中心		0.2 人	0.0 人
	両方のサービスを提供		1.2 人	0.0 人

図表 2-3-3　要介護度別利用者数（平均値、収支差の状況別）[15]

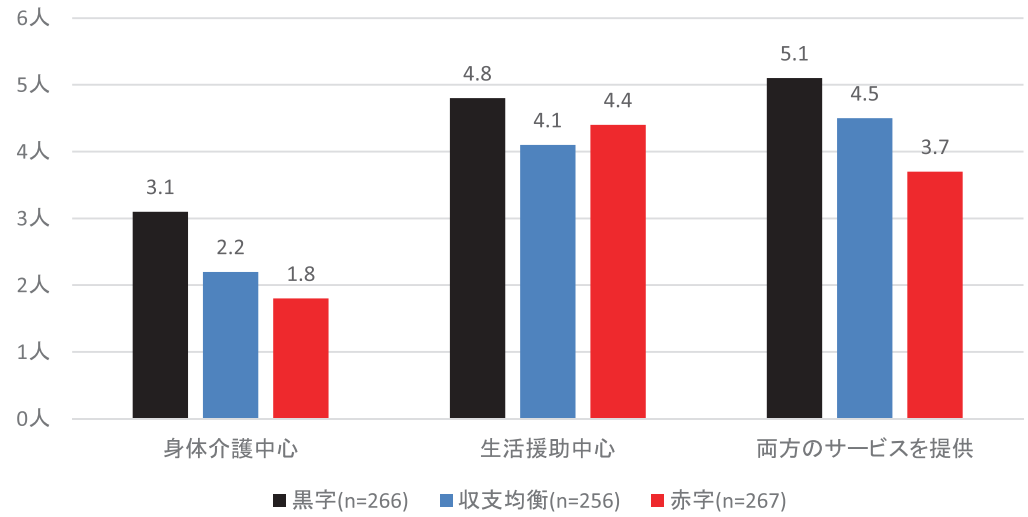


[15] 煩雑になることから、集計対象件数の表記を省略している。詳細は「参考資料」を参照。

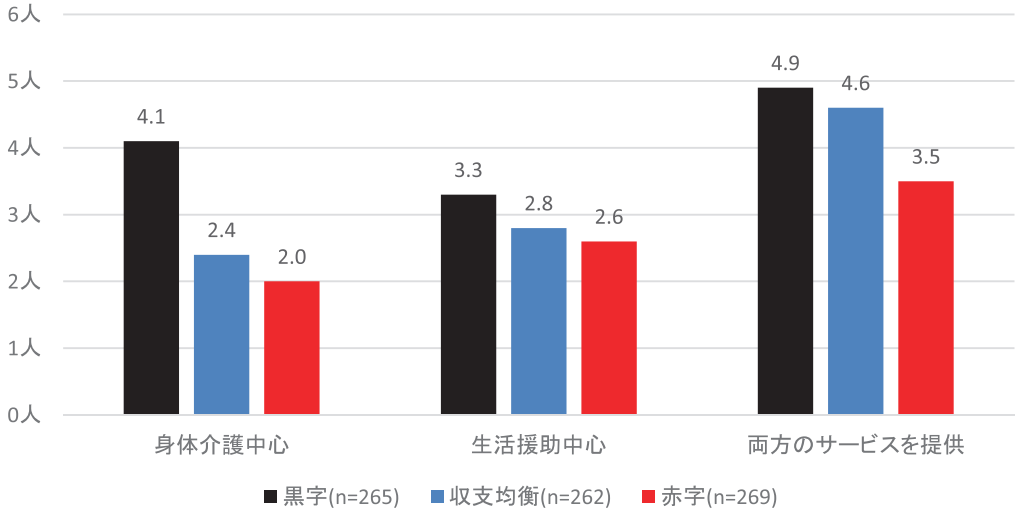
図表 2-3-4　要介護度別利用者構成（地域区分別、収支差の状況別）



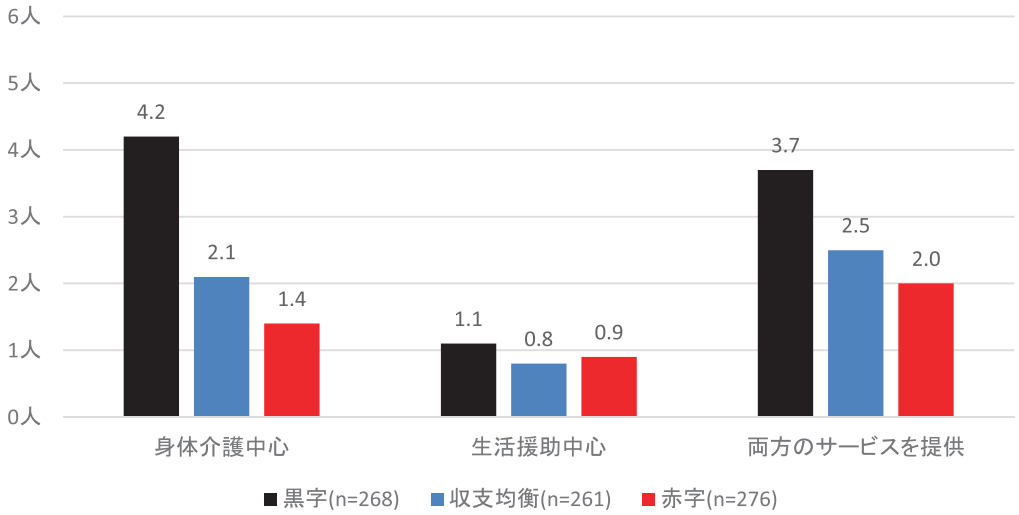
図表 2-3-5　要介護1の利用者の、サービスの利用状況別利用者数（平均値、収支差の状況別）



図表 2-3-6　要介護 2 の利用者の、サービスの利用状況別利用者数（平均値、収支差の状況別）



図表 2-3-7　要介護 3 の利用者の、サービスの利用状況別利用者数（平均値、収支差の状況別）



② 1か月の延べ訪問回数

「2023年7月における、貴事業所の指定訪問介護サービス（要介護1～5の方を対象としたもの）の延べ訪問回数を教えてください」と尋ねた設問について、平均値は 708.4 回、中央値は 398.0 回であった。

また、1か月の訪問回数のうち、20 分未満の身体介護の提供回数を尋ねた設問への回答としては、平均値は 195.5 回、中央値は 0.0 回であった。これらの回答を基に、全訪問回数に占める 20 分未満の身体介護の提供回数の割合を求めると、平均値は 12.0%であった。

収支差の状況別の集計では、「赤字」の事業所においては訪問回数の平均値が少なく、また、訪問回数に占める 20 分未満の身体介護の提供回数の割合が他の事業所と比べて低くなっている（8.7%）。

また、集合住宅割合別の集計では、利用者に占める集合住宅居住者の割合が「7割以上」の事業所においては訪問回数の平均値が高く、かつ、訪問回数に占める 20 分未満の身体介護の提供回数の割合が高くなっている（33.8%）。

【管理者向け調査 Q18】 2023年7月における、貴事業所の指定訪問介護サービス（要介護1～5の方を対象としたもの）の延べ訪問回数を教えてください。（月の合計訪問回数を記入／うち、20分未満の身体介護の提供回数）（NU）

図表 2-3-8 1か月の延べ訪問回数

	集計件数	2023年7月の延べ訪問回数（A）	うち、20分未満の身体介護の提供回数（B）	20分未満の身体介護の提供回数の割合（B／A）[16]
平均値	849	708.4	195.5	12.0%
中央値		398.0	0.0	0.0%

図表 2-3-9 1か月の延べ訪問回数（平均値、収支差の状況別・集合住宅割合別）

	集計件数	2023年7月の延べ訪問回数（A）	うち、20分未満の身体介護の提供回数（B）	20分未満の身体介護の提供回数の割合（B／A）
黒字	280	985.2	292.3	12.6%
収支均衡	271	697.3	223.7	15.2%
赤字	291	456.2	76.1	8.7%
いない	136	289.1	11.6	2.6%
1割未満	209	476.7	27.8	4.6%
3割未満	123	482.7	28.3	7.7%
7割未満	161	666.6	125.6	10.2%
7割以上	168	1553.6	716.0	33.8%

[16] 回答事業所ごとに全訪問回数に占める 20 分未満の身体介護の提供回数の割合を算出した上での平均値である。収支差の状況別、集合住宅割合別の集計についても同様である。

③ 訪問1回当たりの、平均的なサービス提供時間

要介護度別に訪問1回当たりの平均的なサービス提供時間を尋ねた設問について、身体介護・生活援助の時間の平均値・中央値はそれぞれ次のようになっている。

1 回当たりの平均的なサービス提供時間として、要介護度が低い場合には生活援助の時間が比較的長く、要介護度が高い場合には身体介護の提供時間が長い傾向がある。

【管理者向け調査 Q19】 訪問1回当たりの、平均的なサービス提供時間（NU）

図表 2-3-10 要介護度別、訪問1回当たりの平均的なサービス提供時間

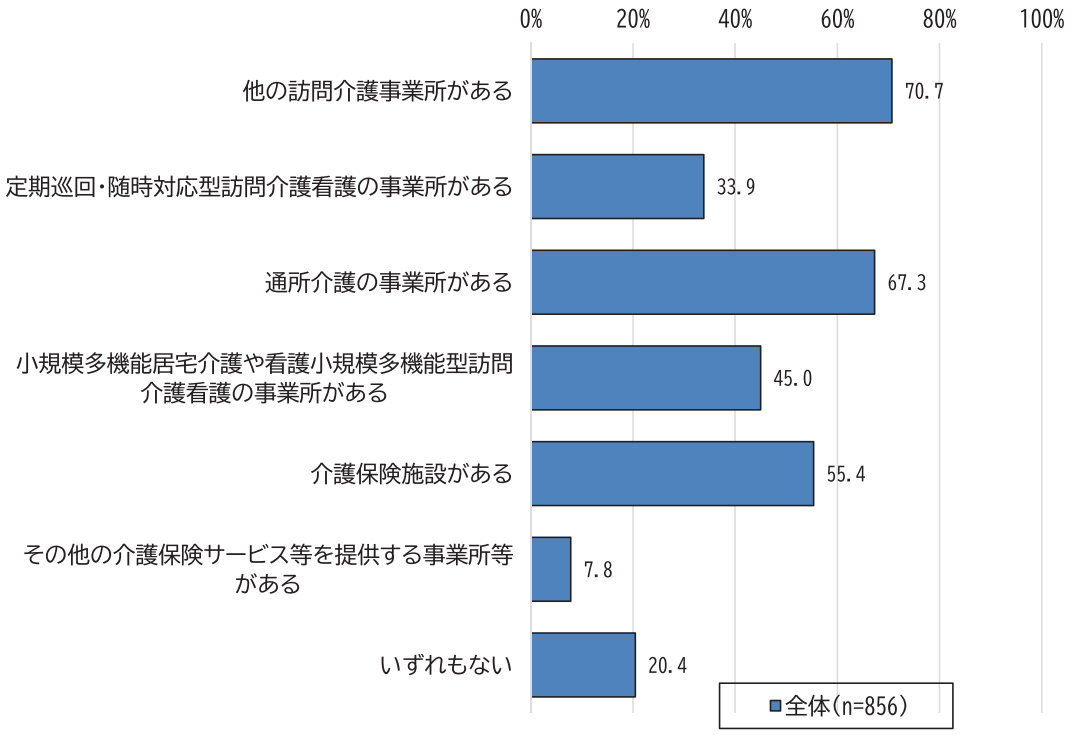
		集計件数	平均値	中央値
要介護 1	身体介護	716	27.7 分	30.0 分
	生活援助		31.6 分	30.0 分
要介護 2	身体介護	746	30.4 分	30.0 分
	生活援助		30.5 分	30.0 分
要介護 3	身体介護	707	31.5 分	30.0 分
	生活援助		25.9 分	30.0 分
要介護 4	身体介護	660	33.4 分	30.0 分
	生活援助		20.7 分	20.0 分
要介護 5	身体介護	626	39.4 分	30.0 分
	生活援助		13.6 分	0.0 分

④ 周辺地域の他の介護保険サービスの有無・内容

「貴事業所のサービス提供地域において、他に介護保険サービス等を提供する事業所等はありますか」と尋ねた設問については、「他の訪問介護事業所がある」の回答割合が 70.7%と最も高く、次いで「通所介護の事業所がある」の回答割合が 67.3%となっている。「いずれもない」の回答割合は 20.4%であった。

【管理者向け調査 Q20】 貴事業所のサービス提供地域において、他に介護保険サービス等を提供する事業所等はありますか。(MA)

図表 2-3-11 周辺地域の他の介護保険サービスの有無・内容

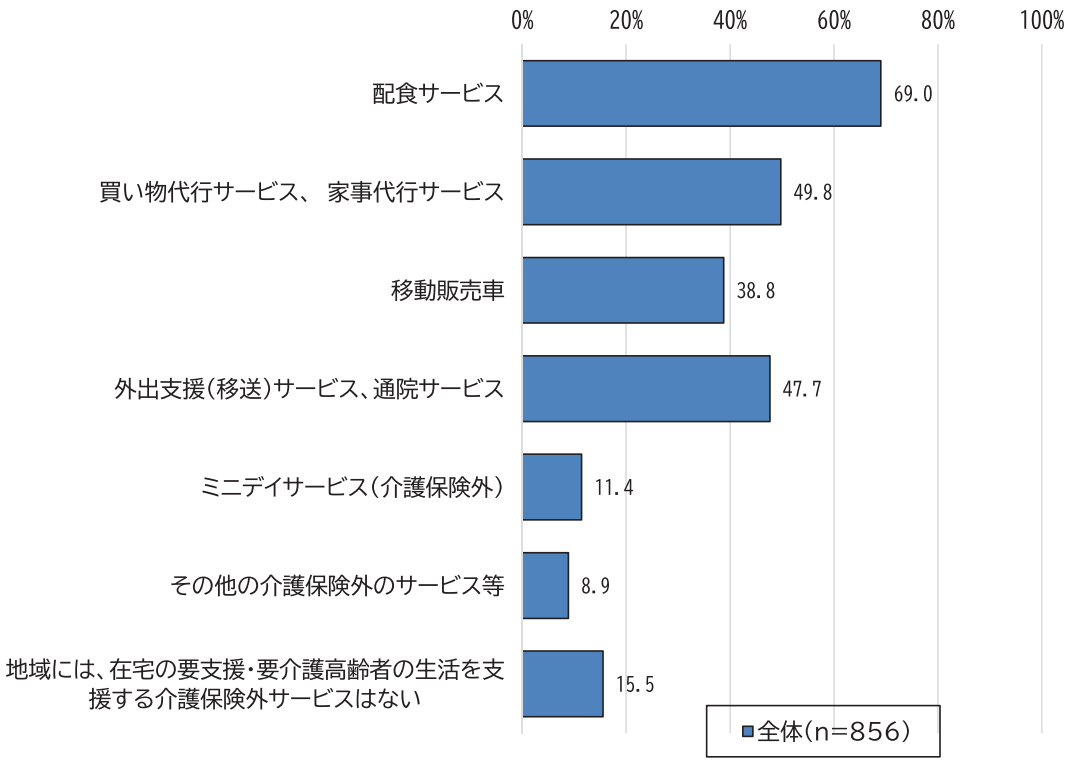


⑤ 周辺地域の他の介護保険外サービスの有無・内容

「貴事業所のサービス提供地域において、他に地域で提供されている介護保険外のサービス等はありますか」と尋ねた設問については、「配食サービス」の回答割合が 69.0%と最も高く、次いで「買い物代行サービス、家事代行サービス」の回答割合が 49.8%となっている。「地域には、在宅の要支援・要介護高齢者の生活を支援する介護保険外サービスはない」の回答割合は 15.5%であった。

【管理者向け調査 Q21】 貴事業所のサービス提供地域において、他に地域で提供されている介護保険外のサービス等はありますか。(MA)

図表 2-3-12 周辺地域の他の介護保険外サービスの有無・内容

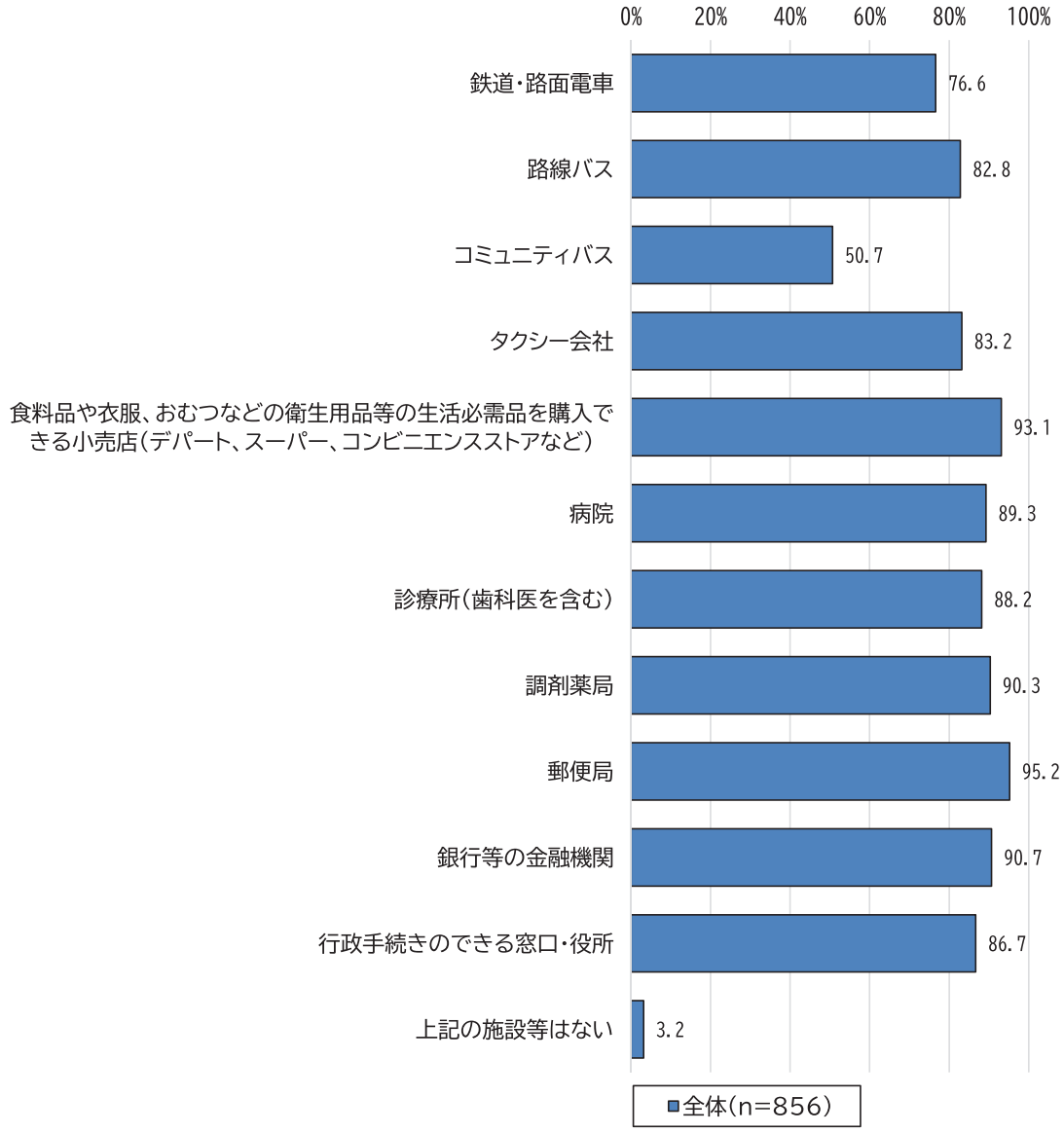


⑥ サービス提供地域における生活利便施設の有無・内容

「貴事業所のサービス提供地域には、以下に挙げるような施設等はありますか」と尋ねた設問については、「郵便局」の回答割合が 95.2%と最も高くなっている。

【管理者向け調査 Q22】 貴事業所のサービス提供地域には、以下に挙げるような施設等はありますか。（MA）

図表 2-3-13 サービス提供地域における生活利便施設の有無・内容



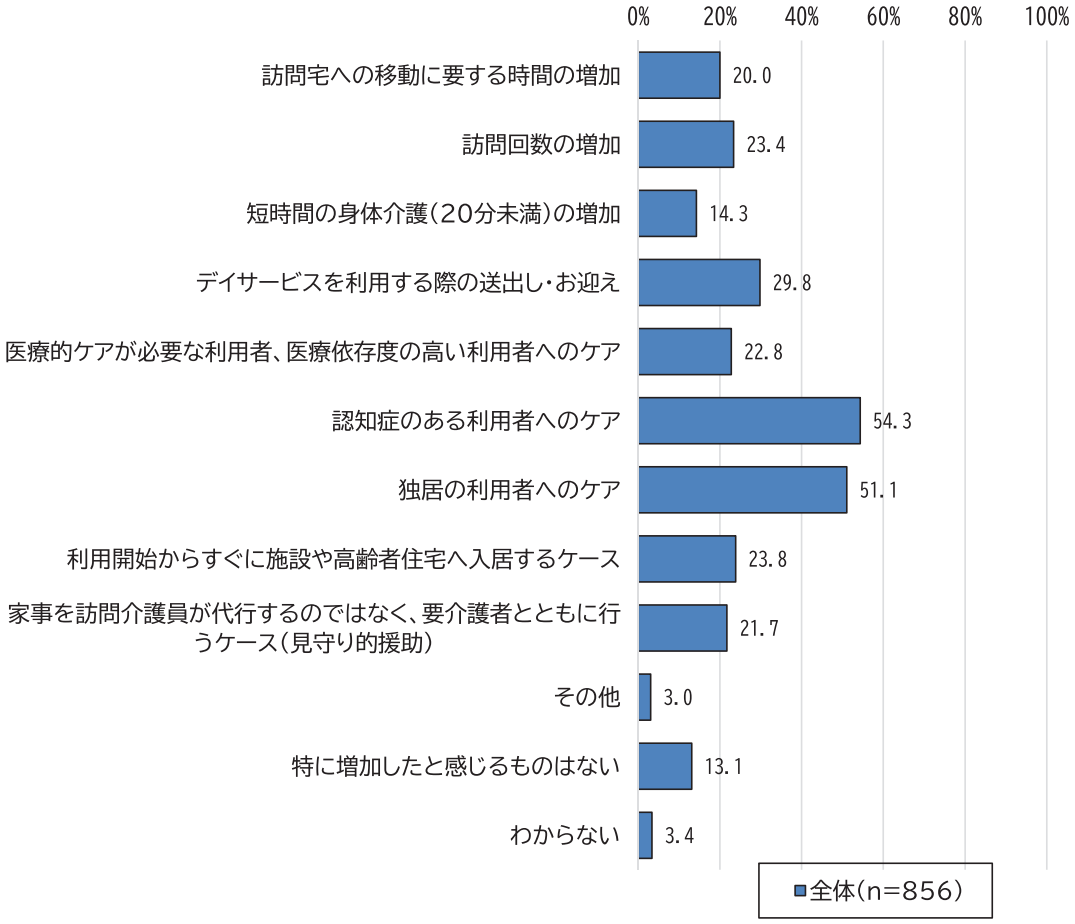
⑦ 近年の課題・変化等についての認識

「最近、特に増加したと感じる業務の内容を教えてください」と尋ねた設問については、「認知症のある利用者へのケア」の回答割合が 54.3%と最も高く、次いで「独居の利用者へのケア」の回答割合が 51.1%となっている。なお、「訪問回数の増加」の回答割合は 23.4%であった。

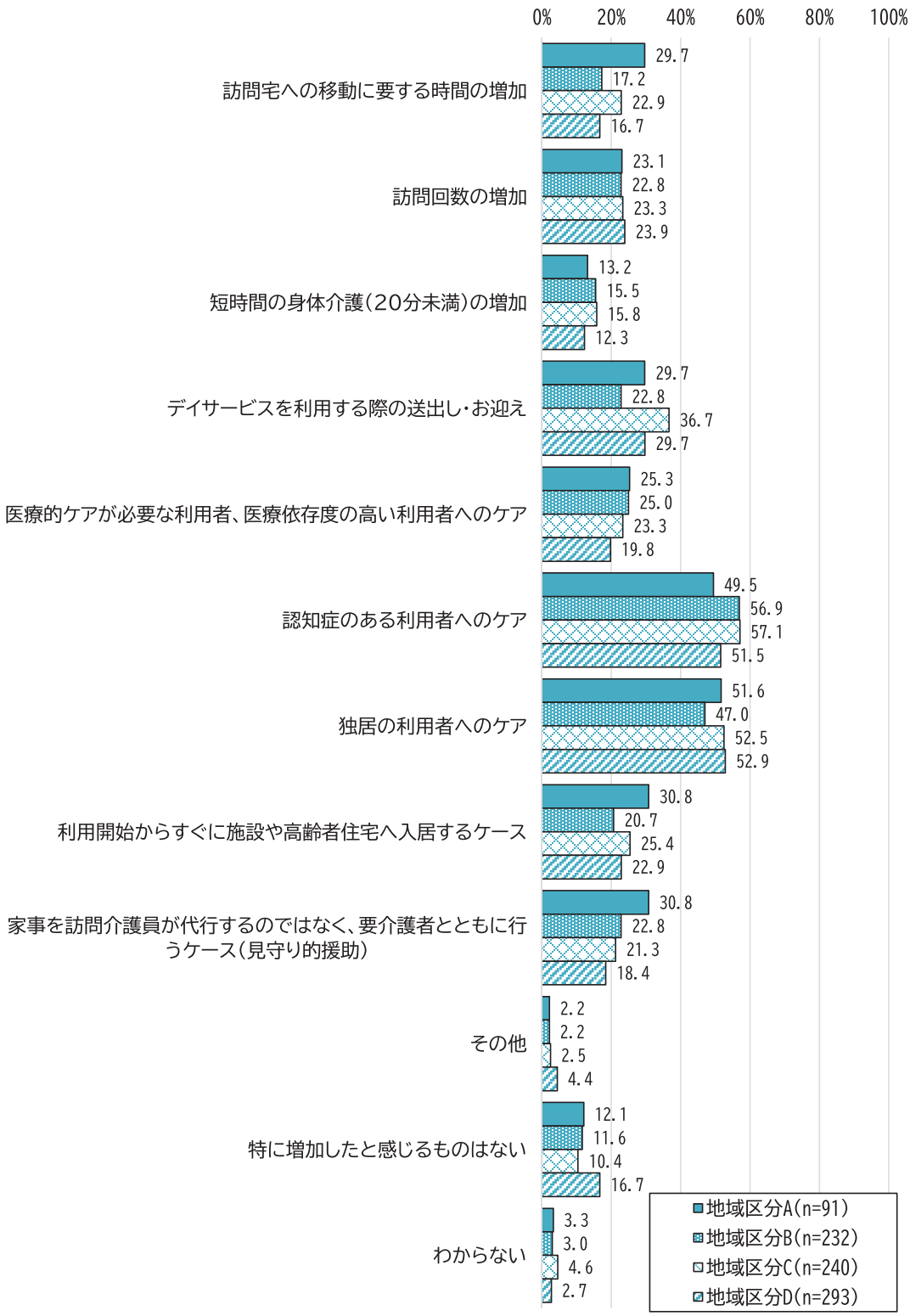
地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「訪問宅への移動に要する時間の増加」や「利用開始からすぐに施設や高齢者住宅へ入居するケース」の回答割合が他の地域の事業所に比べて高い傾向にある。また、「家事を訪問介護員が代行するのではなく、要介護者とともに行うケース(見守り的援助)」の回答割合も、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所において、増加したと回答する割合が高くなっている。

【管理者向け調査 Q23】 最近、特に増加したと感じる業務の内容を教えてください。(MA)

図表 2-3-14 近年の課題・変化等についての認識



図表 2-3-15　近年の課題・変化等についての認識（地域区分別）



⑧ 訪問回数の増加の要因・理由に関する認識

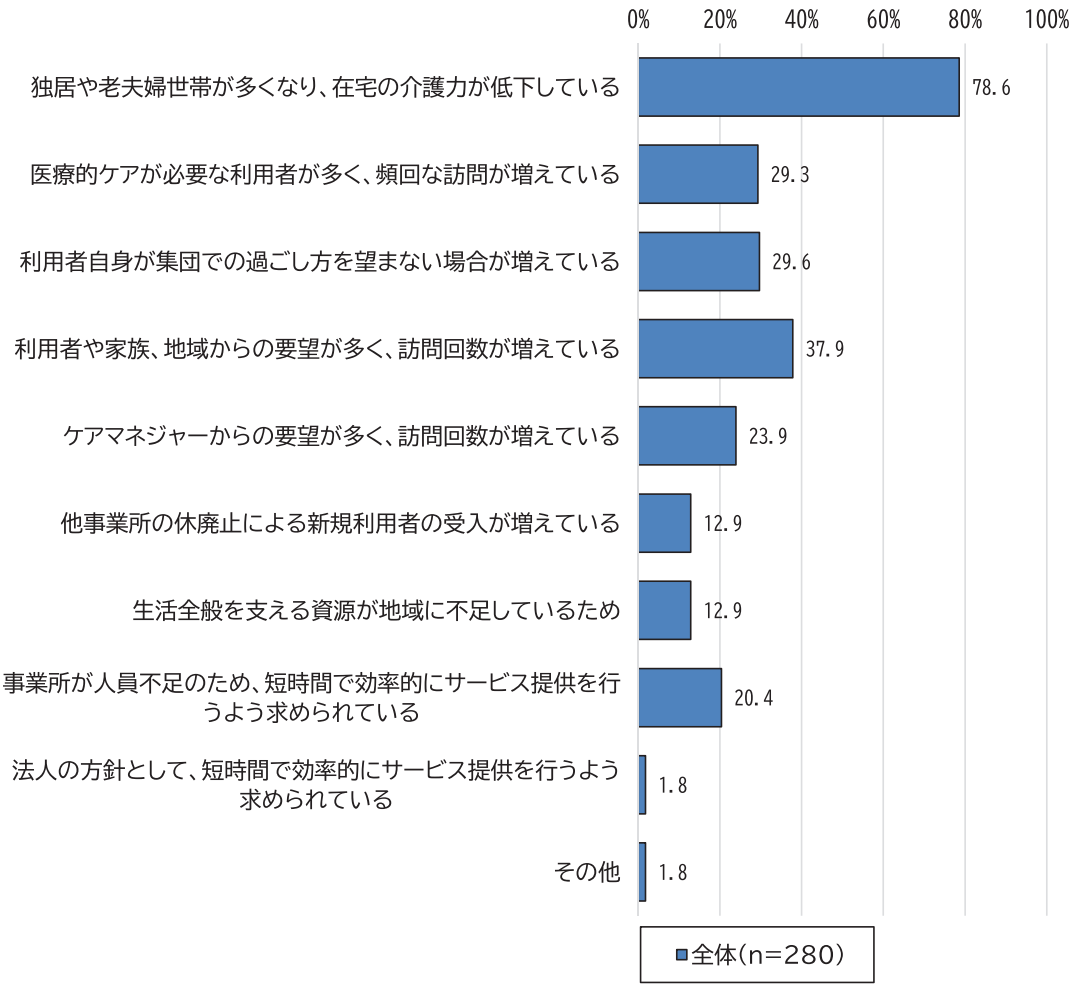
近年の課題・変化等についての認識として「訪問回数の増加」を回答した事業所に、「増加した要因として、該当するものの中で上位3つを回答してください」と尋ねた。

この設問への回答については、「独居や老夫婦世帯が多くなり、在宅の介護力が低下している」の回答割合が 78.6%と最も高く、次いで「利用者や家族、地域からの要望が多く、訪問回数が増えている」の回答割合が 37.9%となっている。

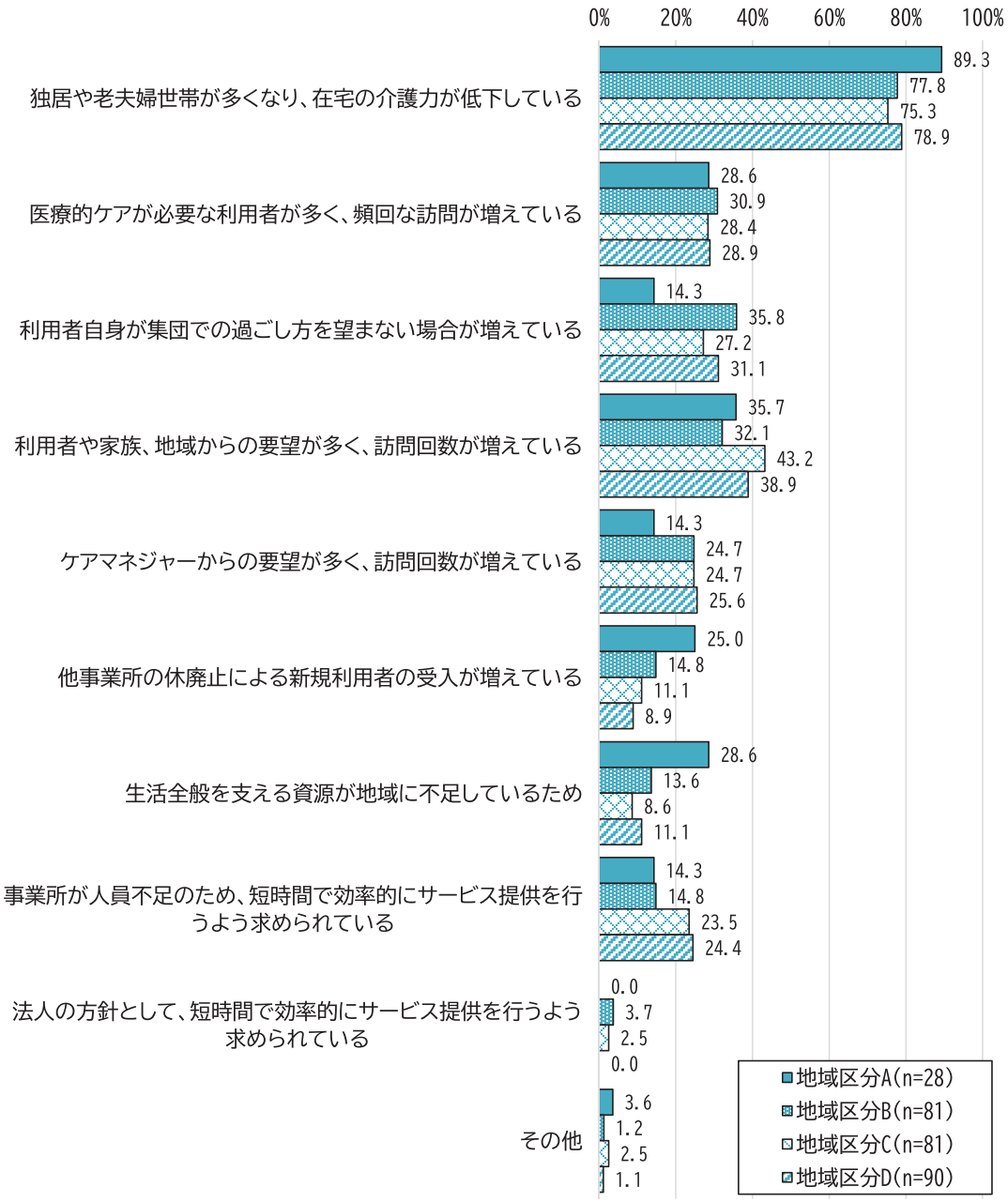
地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「独居や老夫婦世帯が多くなり、在宅の介護力が低下している」や「他事業所の休廃止による新規利用者の受入が増えている」、「生活全般を支える資源が地域に不足しているため」の回答割合が、他の地域の事業所に比べて高い傾向にある。

【管理者向け調査 Q24】 増加した要因として、該当するものの中で上位3つを回答してください。(MA)

図表 2-3-16 訪問回数の増加の要因・理由に関する認識



図表 2-3-17　訪問回数の増加の要因・理由に関する認識（地域区分別）



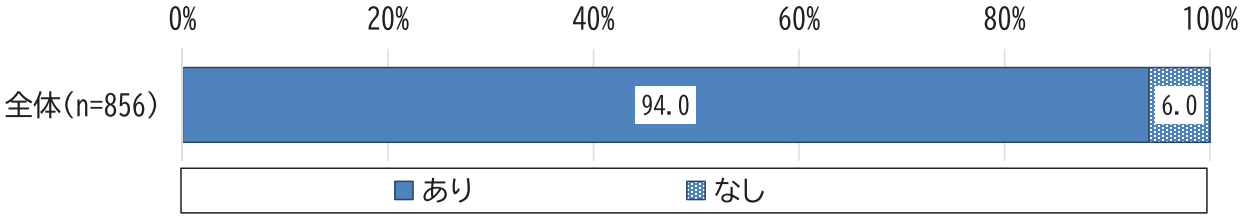
⑨ 直近１年間の利用終了者の有無・人数

「2022年8月～2023年7月の1年間において、訪問介護サービスの利用が終了した利用者の有無と人数を教えてください」と尋ねた設問について、サービスの利用終了が「あり」の回答は 94.0%となっている。該当する利用者の人数については、平均値が 14.4 人、中央値は 10.0 人であった。

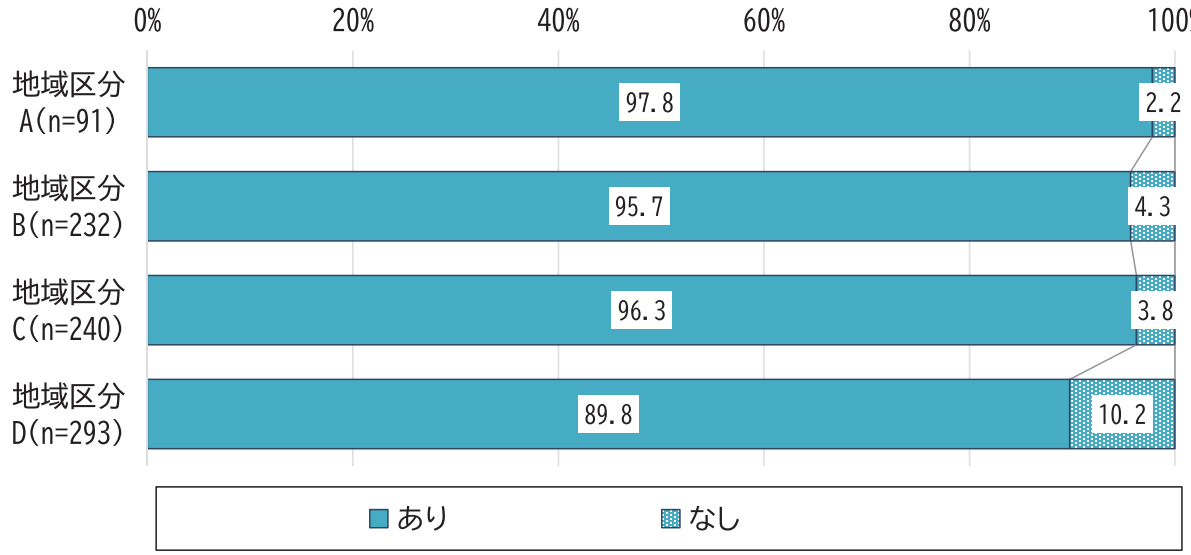
地域区分別の集計では、「地域区分 D（都市部地域）」の事業所においては「あり」の割合が低く、また、「あり」と回答した場合に関しても、人数の平均値が低い傾向にある。

【管理者向け調査 Q25】 2022年8月～2023年7月の1年間において、訪問介護サービスの利用が終了した利用者の有無と人数を教えてください。（SA／NU）

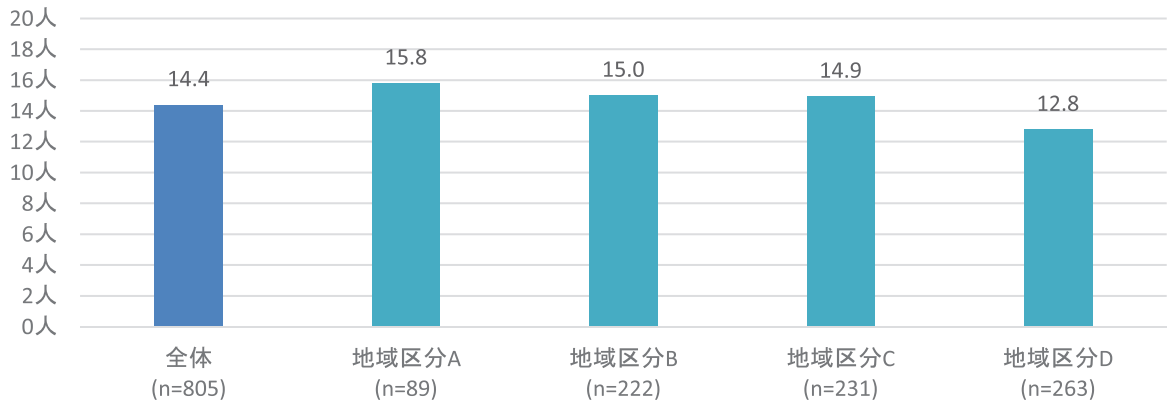
図表 2-3-18 直近１年間の利用終了者の有無



図表 2-3-19 直近１年間の利用終了者の有無（地域区分別）



図表 2-3-20 直近１年間の利用終了者の人数の平均値（全体、地域区分別）



⑩ 直近１年間の利用終了者の終了後の状況（人数の内訳）

訪問介護サービスの利用が終了した利用者がいる場合に、利用終了後の状況について人数の内訳を尋ねた。平均人数が多いのは、「施設・居住系サービスへの移行」と「死亡（サービス終了の契機が死亡の場合）」がそれぞれ 4.8 人となっている。

【管理者向け調査 Q26】 利用終了後の状況について教えてください。（NU）

図表 2-3-21 直近１年間の利用終了者の終了後の状況（人数の内訳）

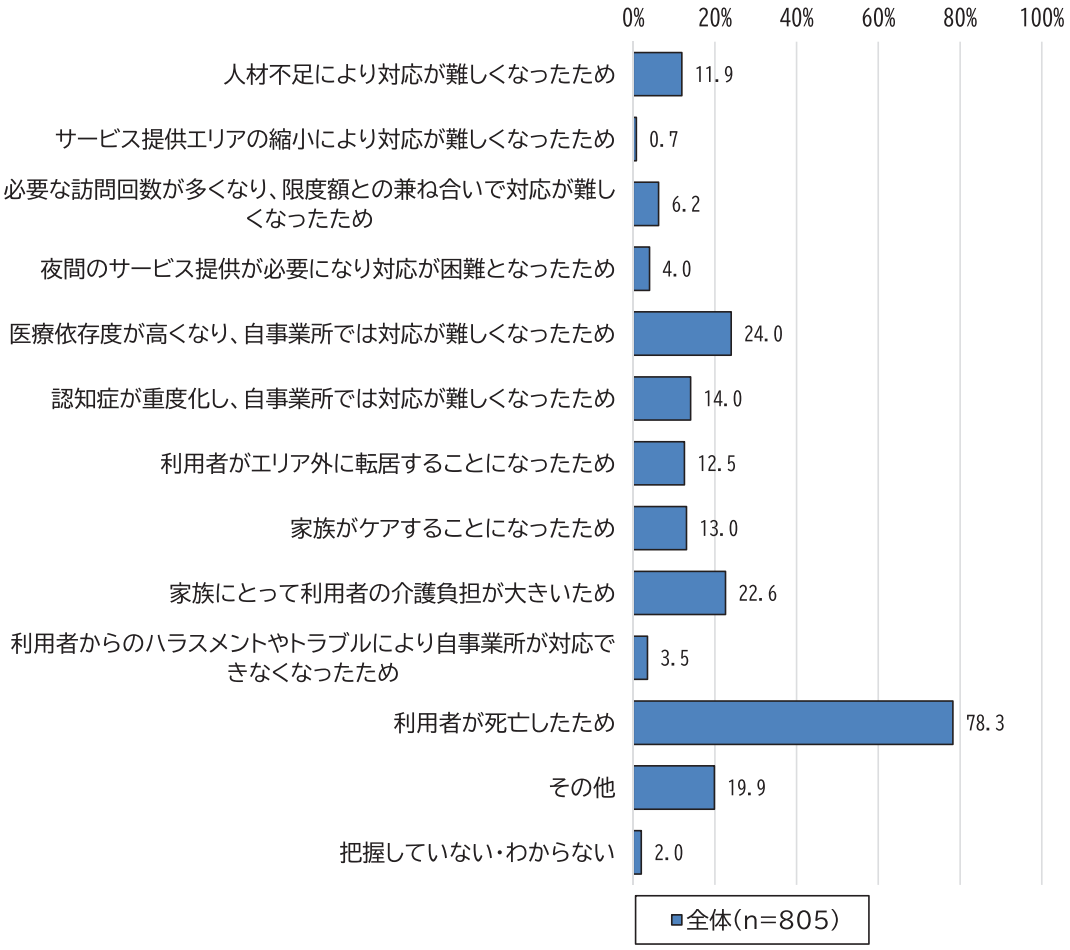
	集計件数	平均値	中央値
在宅（介護保険サービスの終了、別の在宅サービス等への移行）	805	1.7 人	0.0 人
施設・居住系サービスへの移行		4.8 人	3.0 人
医療機関へ入院		2.4 人	1.0 人
死亡（サービス終了の契機が死亡の場合）		4.8 人	3.0 人
わからない		0.4 人	0.0 人
その他		0.3 人	0.0 人
合計		14.4 人	10.0 人

⑪ 直近1年間の利用終了者の終了理由

訪問介護サービスの利用が終了した利用者がいる場合に、「利用を終了した利用者のうち、直近5人について、利用を終了した理由はどのようなものですか」と尋ねた。この設問の回答としては、「利用者が死亡したため」の回答割合が 78.3%と最も高く、次いで「医療依存度が高くなり、自事業所では対応が難しくなったため」の回答割合が 24.0%となっている。

【管理者向け調査 Q27】 利用を終了した利用者のうち、直近5人について、利用を終了した理由はどのようなものですか。(MA)

図表 2-3-22 直近1年間の利用終了者の終了理由



（4） サービス提供状況（個人の状況）

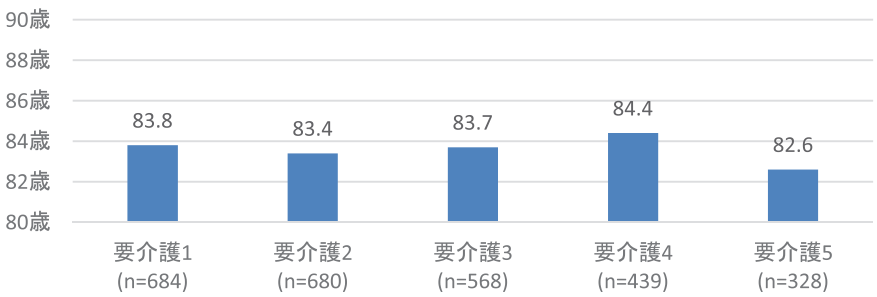
※以下に示す「(3)サービス提供状況(個人の状況)」の内容は、調査対象事業所において 2023 年 7 月に生活援助を利用している要介護1～要介護5の利用者個人(それぞれ特定の方1名)について回答を得た情報について集計を行ったものである。なお、2023 年 7 月に生活援助を利用した方がいない場合など、「該当する利用者がいない」と回答があった場合には集計の対象外としている。

① 利用者個人に関する基礎情報：年齢

各事業所において生活援助を利用している方の年齢の平均値は、いずれの要介護度の場合も 83 歳前後となっている。

【管理者向け調査 Q28_1】 生活援助を利用している利用者個人の年齢(NU)

図表 2-4-1 生活援助を利用している利用者個人の年齢

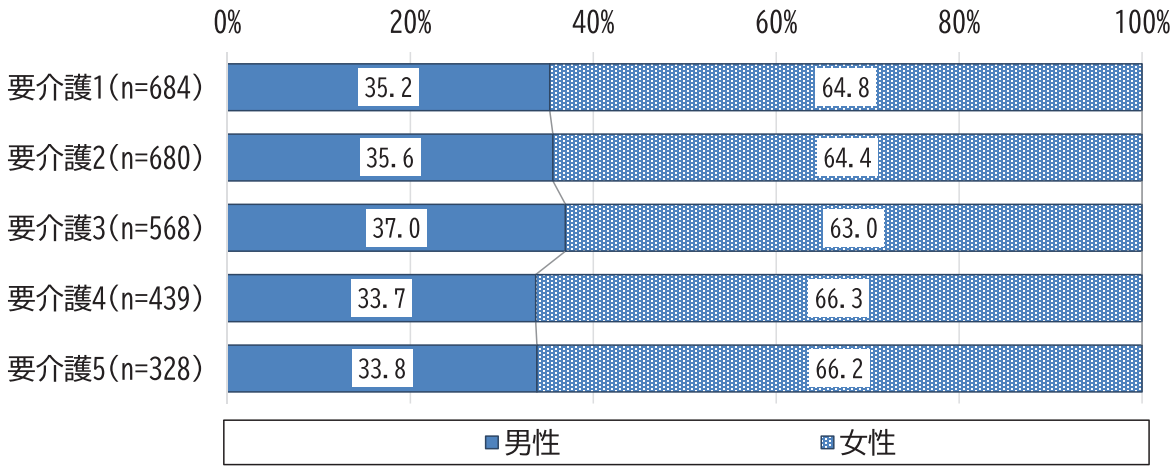


② 利用者個人に関する基礎情報：性別

各事業所において生活援助を利用している方の性別は、いずれの要介護度の場合も女性の割合が 6 割以上となっている。

【管理者向け調査 Q28_2】 生活援助を利用している利用者個人の性別(SA)

図表 2-4-2 生活援助を利用している利用者個人の性別

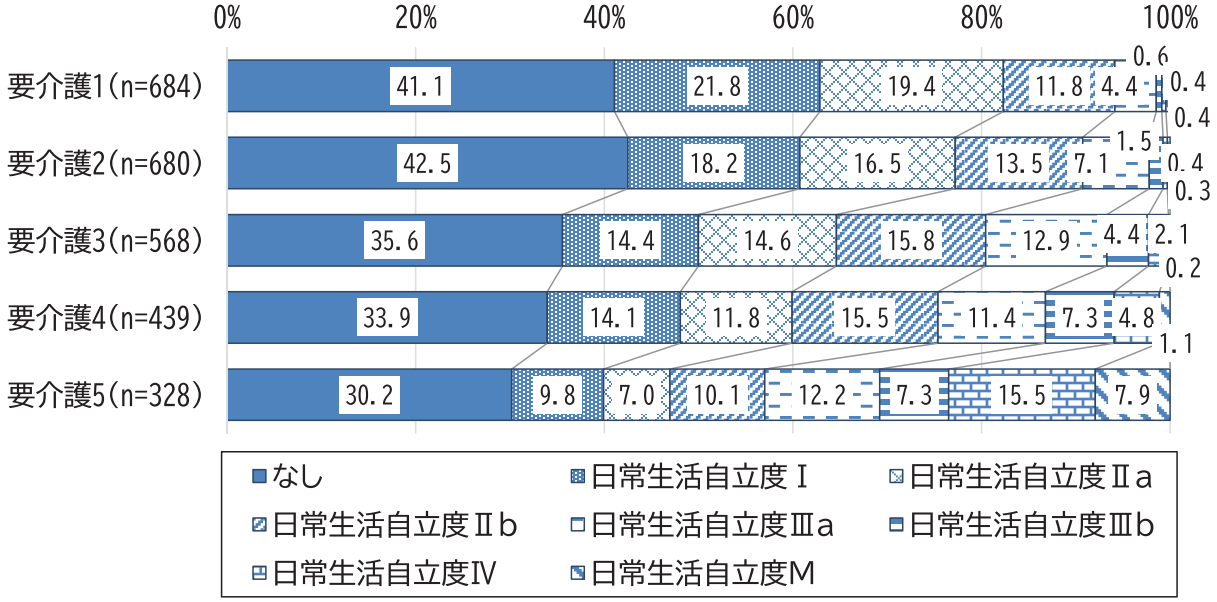


③ 利用者個人に関する基礎情報：認知症の有無・程度

各事業所において生活援助を利用している方の認知症の有無・程度は、いずれの要介護度においても「なし」の割合が最も高いが、要介護度が高いほど「なし」の割合は低く、他方で日常生活自立度の程度が重い方の割合が高い傾向にある。

【管理者向け調査 Q28_3】 生活援助を利用している利用者個人の認知症の有無・程度（SA）

図表 2-4-3 生活援助を利用している利用者個人の認知症の有無・程度

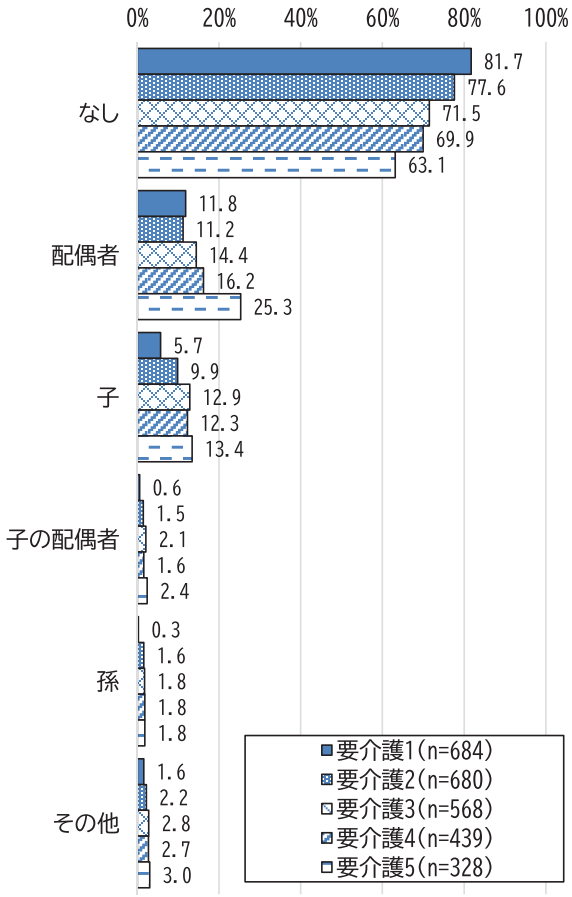


④ 利用者個人に関する基礎情報：同居家族の有無・同居者

各事業所において生活援助を利用している方の同居家族の有無・同居者は、いずれの要介護度においても同居者が「なし」の割合が高いが、要介護度が高いほど「なし」の割合は低く、他方で「配偶者」や「子」が同居している割合が高い傾向にある。

【管理者向け調査 Q28_4】 生活援助を利用している利用者個人の同居家族の有無・同居者（MA）

図表 2-4-4 生活援助を利用している利用者個人の同居家族の有無・同居者

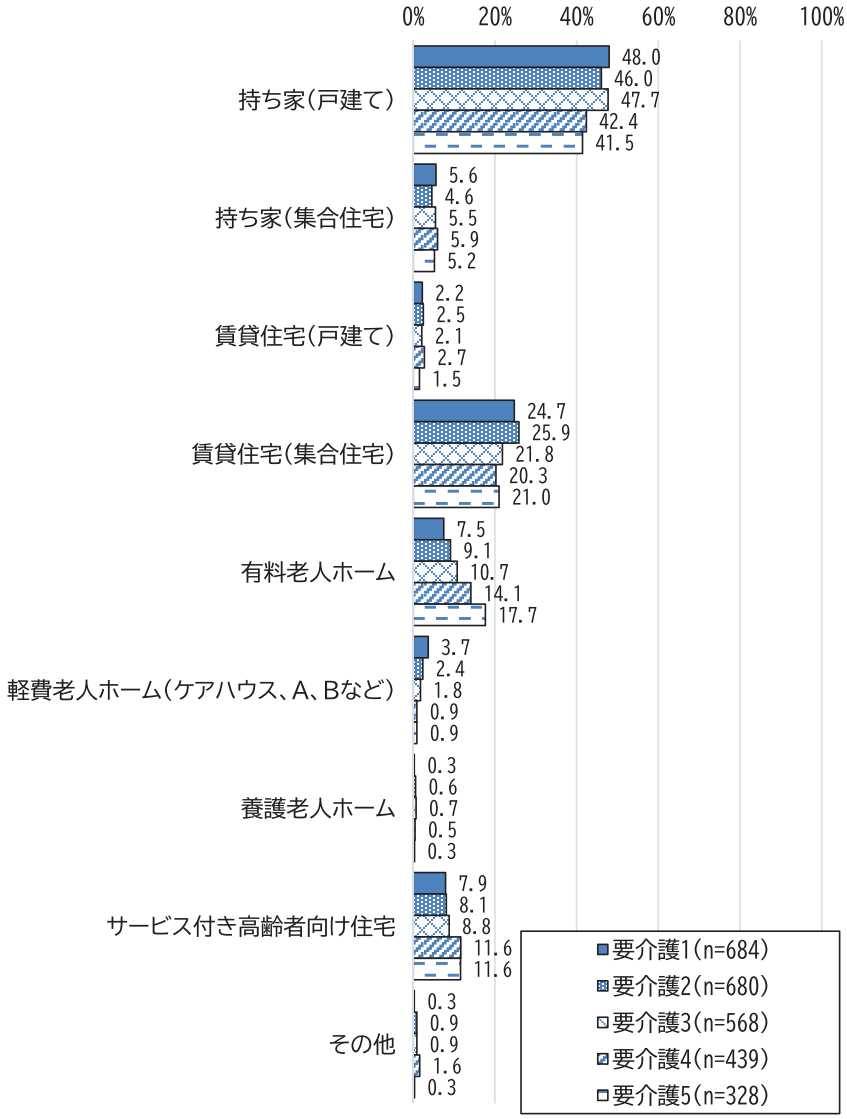


⑤ 利用者個人に関する基礎情報：住まい

各事業所において生活援助を利用している方の住まいは、いずれの要介護度においても「持ち家（戸建て）」の割合が最も高いが、要介護度が高いほど「有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者住宅」の割合が高い傾向にある。

【管理者向け調査 Q28_5】 生活援助を利用している利用者個人の住まい（SA）

図表 2-4-5 生活援助を利用している利用者個人の住まい

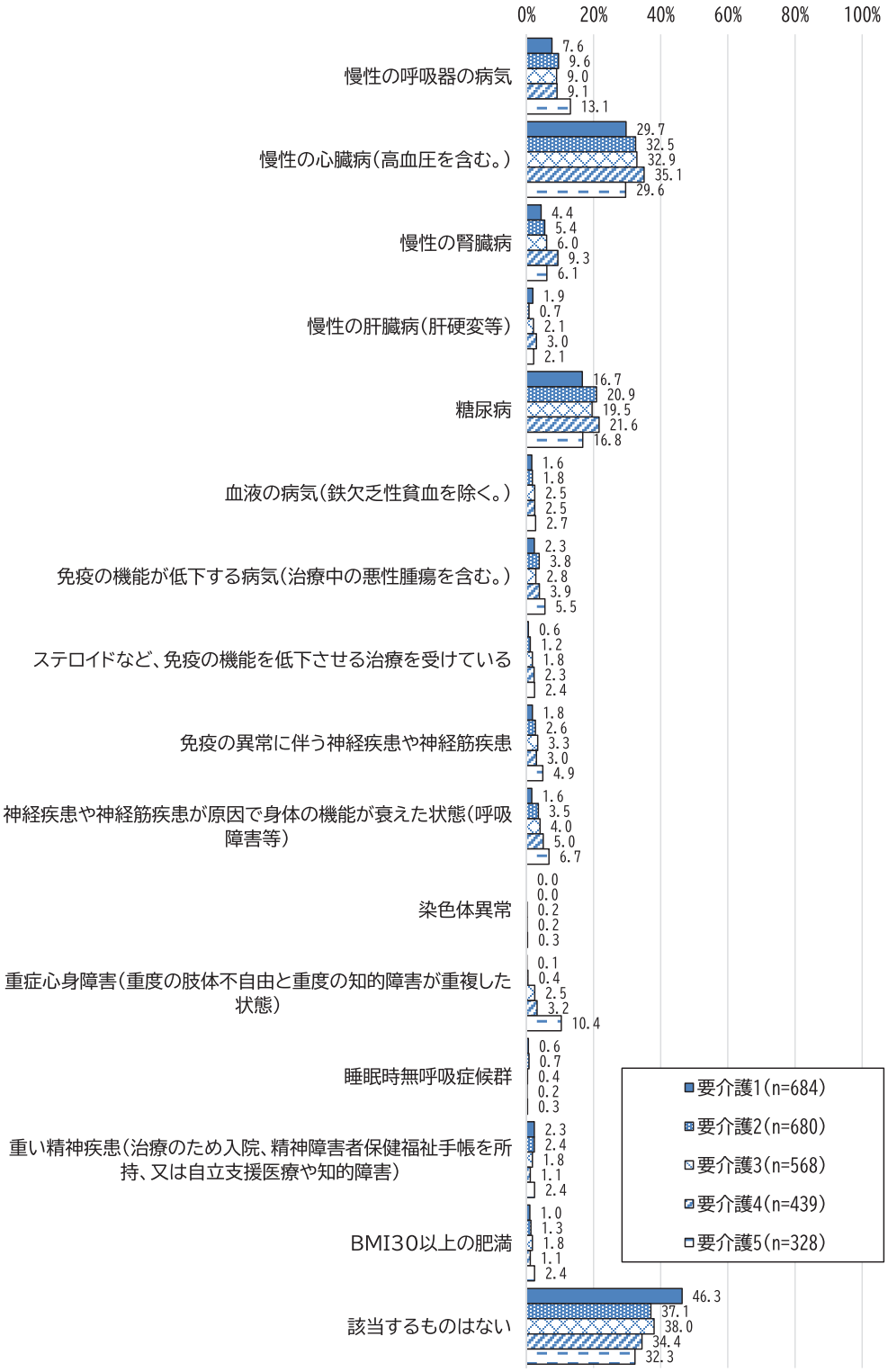


⑥ 利用者個人に関する基礎情報：基礎疾患の有無・内容

各事業所において生活援助を利用している方の基礎疾患の有無・内容は、要介護度が低いほど「該当するものはない」の回答割合が高い傾向にある。疾患がある場合の内容としては、「慢性の心臓病（高血圧を含む。）」や「糖尿病」の割合が高くなっている。

【管理者向け調査 Q28_6】 生活援助を利用している利用者個人の基礎疾患の有無・内容（MA）

図表 2-4-6 生活援助を利用している利用者個人の基礎疾患の有無・内容

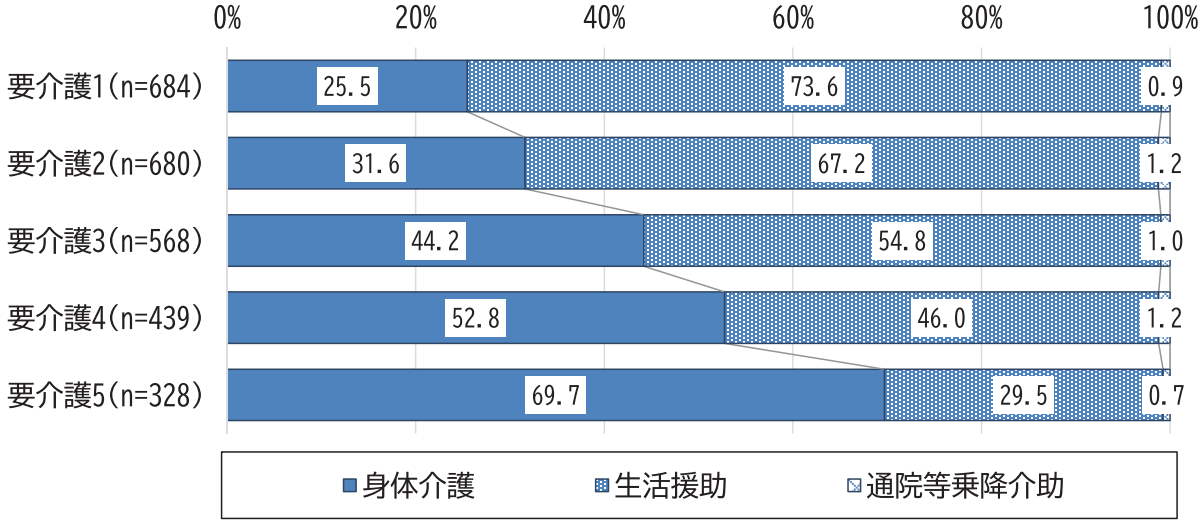


⑦ サービス提供時間の構成比

「当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください」と尋ねた設問については、要介護度が低いほど「身体介護」の割合が低く、「生活援助」の割合が高い傾向にある[17]。

【管理者向け調査 Q29】 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。(身体介護／生活援助／通院等乗降介助)(NU)

図表 2-4-7 生活援助を利用している利用者についてサービス提供時間の構成比



[17] 「身体介護」、「生活援助」、「通院等乗降介助」のそれぞれについて、足し合わせると 100 になるような形で、数値で回答を得たものの平均値を集計した結果を示している。

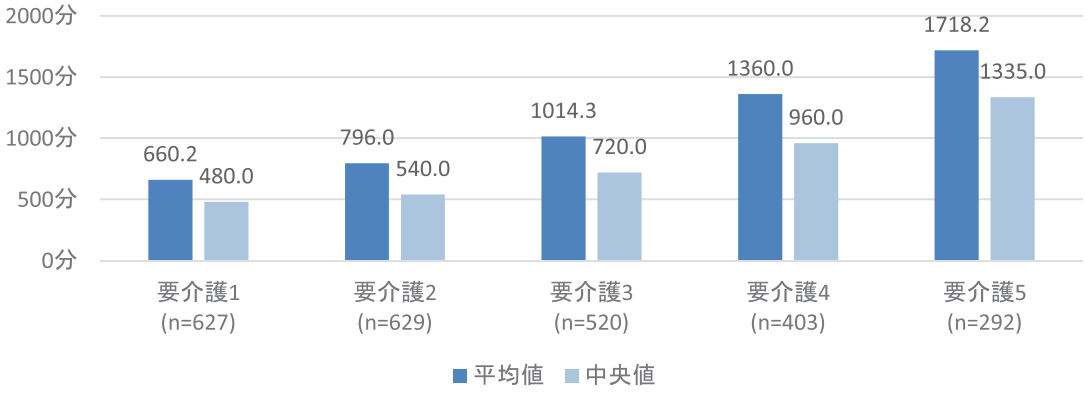
⑧ サービス提供時間や訪問回数

「当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください」と尋ねた設問については、要介護度が高いほど提供時間・回数ともに平均値が高い傾向にある。

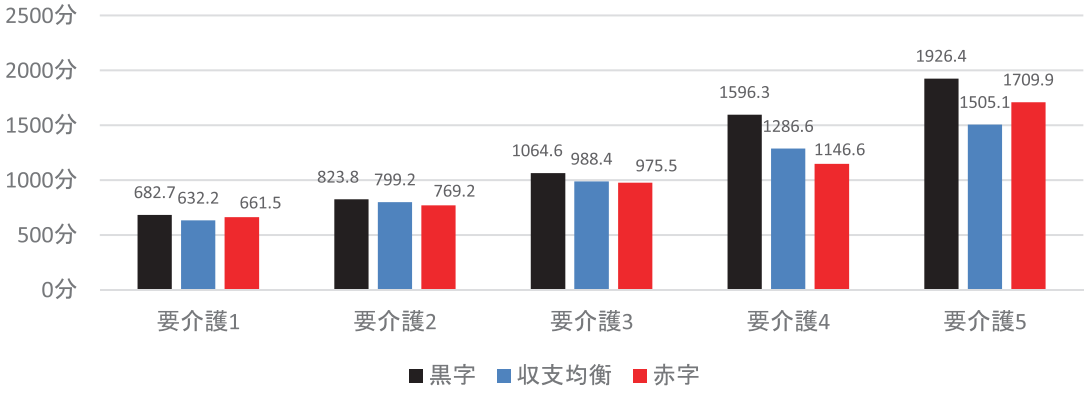
収支差の状況別の集計では、「黒字」の事業所においては、いずれの要介護度の利用者についても「収支均衡」や「赤字」の事業所と比べて提供時間・回数ともに平均値が高い傾向がある。

【管理者向け調査 Q30_1】 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。
（2023 年7月の延べ時間／分）（NU）

図表 2-4-8 生活援助を利用している利用者についてのサービス提供時間
（2023年7月の延べ時間／分）



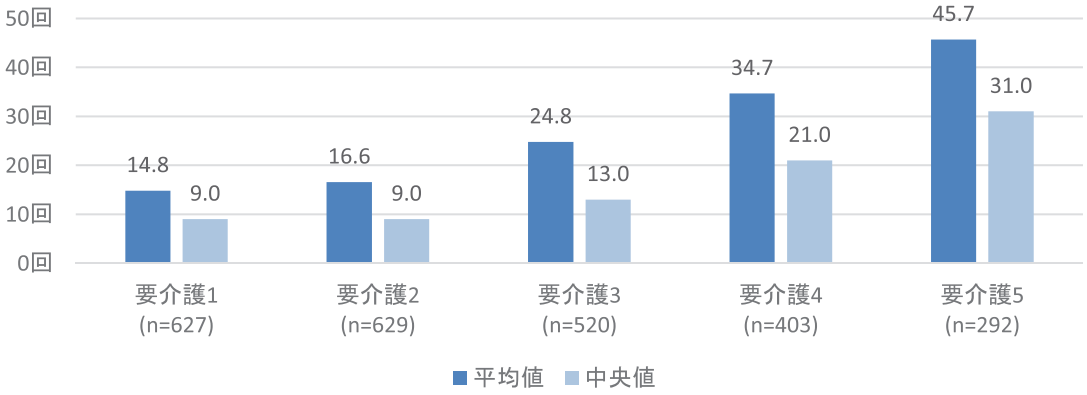
図表 2-4-9 生活援助を利用している利用者についてのサービス提供時間
（2023年7月の延べ時間／分、平均値、収支差の状況別）[18]



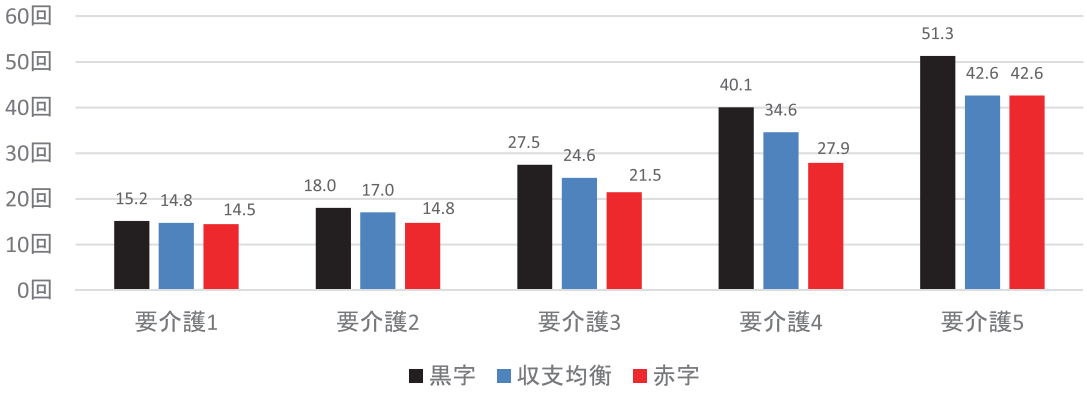
[18] 煩雑になることから、集計対象件数の表記を省略している。詳細は「参考資料」を参照。

【管理者向け調査 Q30_2】 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。
（2023 年7月の延べ回数／回）（NU）

図表 2-4-10 生活援助を利用している利用者についての訪問回数
（2023年7月の延べ回数／回）



図表 2-4-11 生活援助を利用している利用者についての訪問回数
（2023年7月の延べ回数／回、平均値、収支差の状況別）

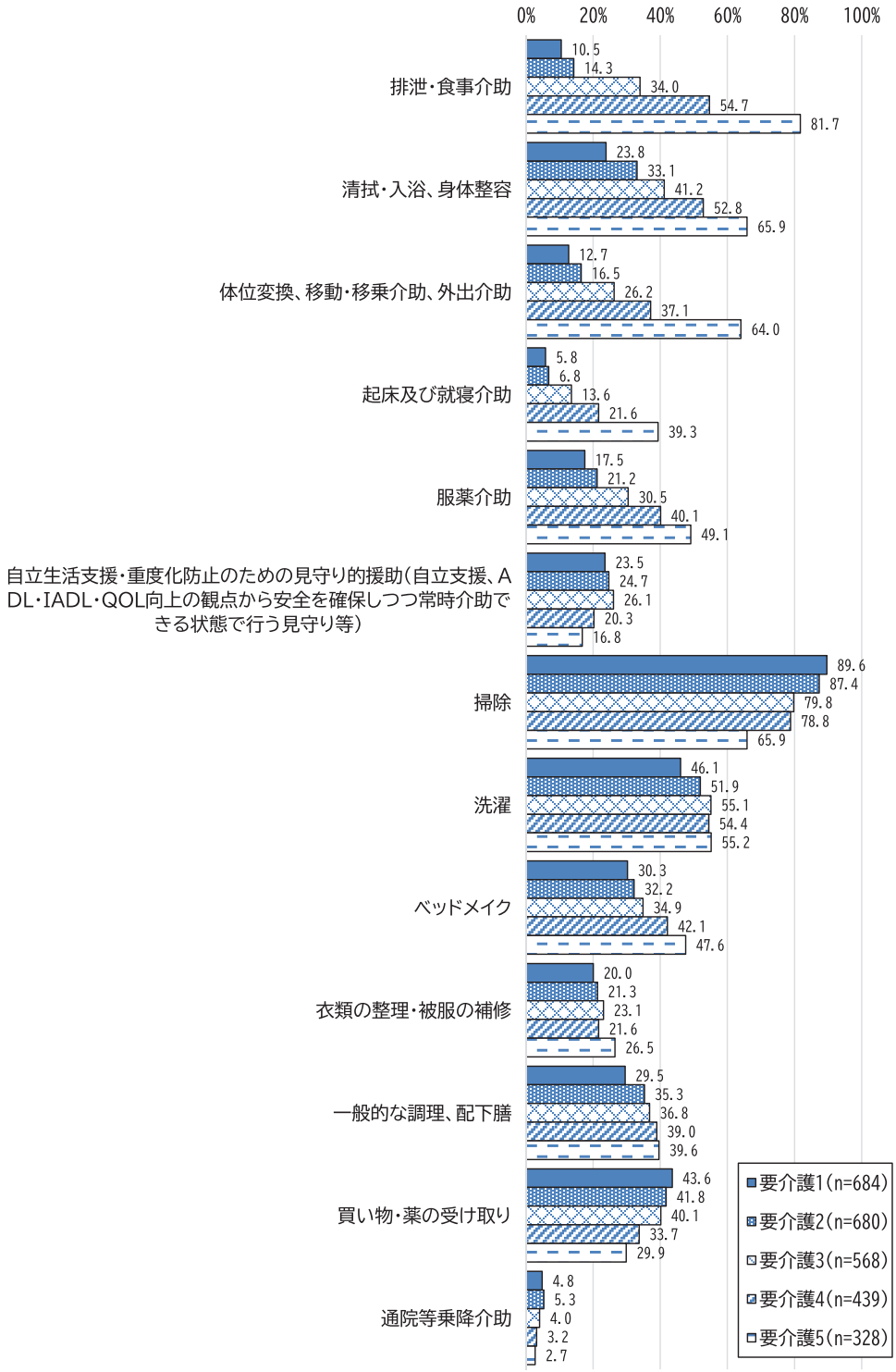


⑨ サービス提供の内容

「当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください」と尋ねた設問について、要介護1～要介護4の方については「掃除」の回答割合が最も高く、要介護5の方については「排泄・食事介助」の回答割合が最も高くなっている。

【管理者向け調査 Q31】 当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。(MA)

図表 2-4-12 生活援助を利用している利用者についてのサービス提供の内容

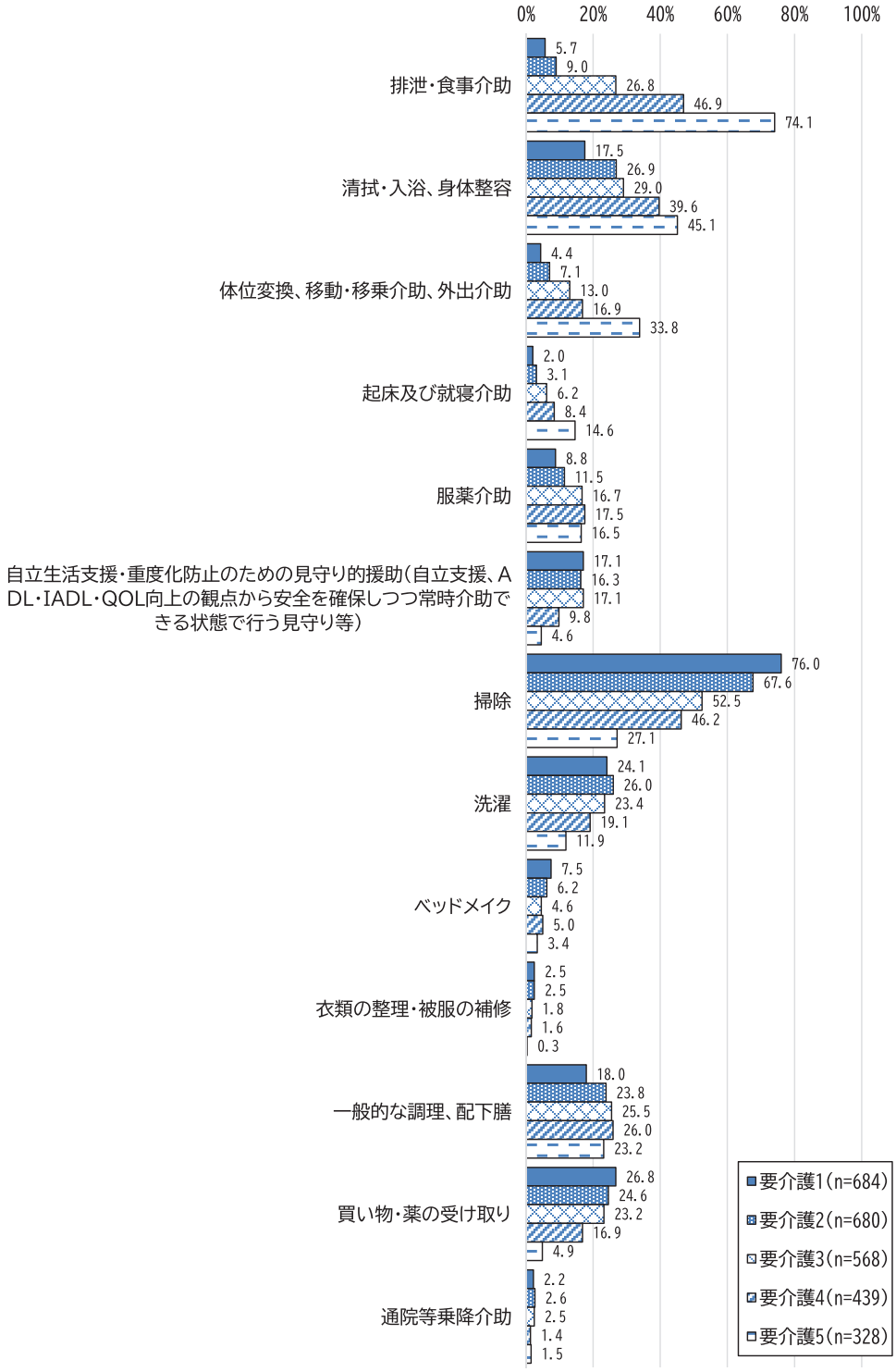


⑩ サービス提供の内容（中心的に行われている内容）

「当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください（3 つまで回答）」と尋ねた設問への回答としては、要介護1～要介護3の方については「掃除」の回答割合が最も高く、要介護4・要介護5の方については「排泄・食事介助」の回答割合が最も高くなっている。

【管理者向け調査 Q32】 当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。（MA）

図表 2-4-13 生活援助を利用している利用者についてのサービス提供の内容（中心的に行われている内容）

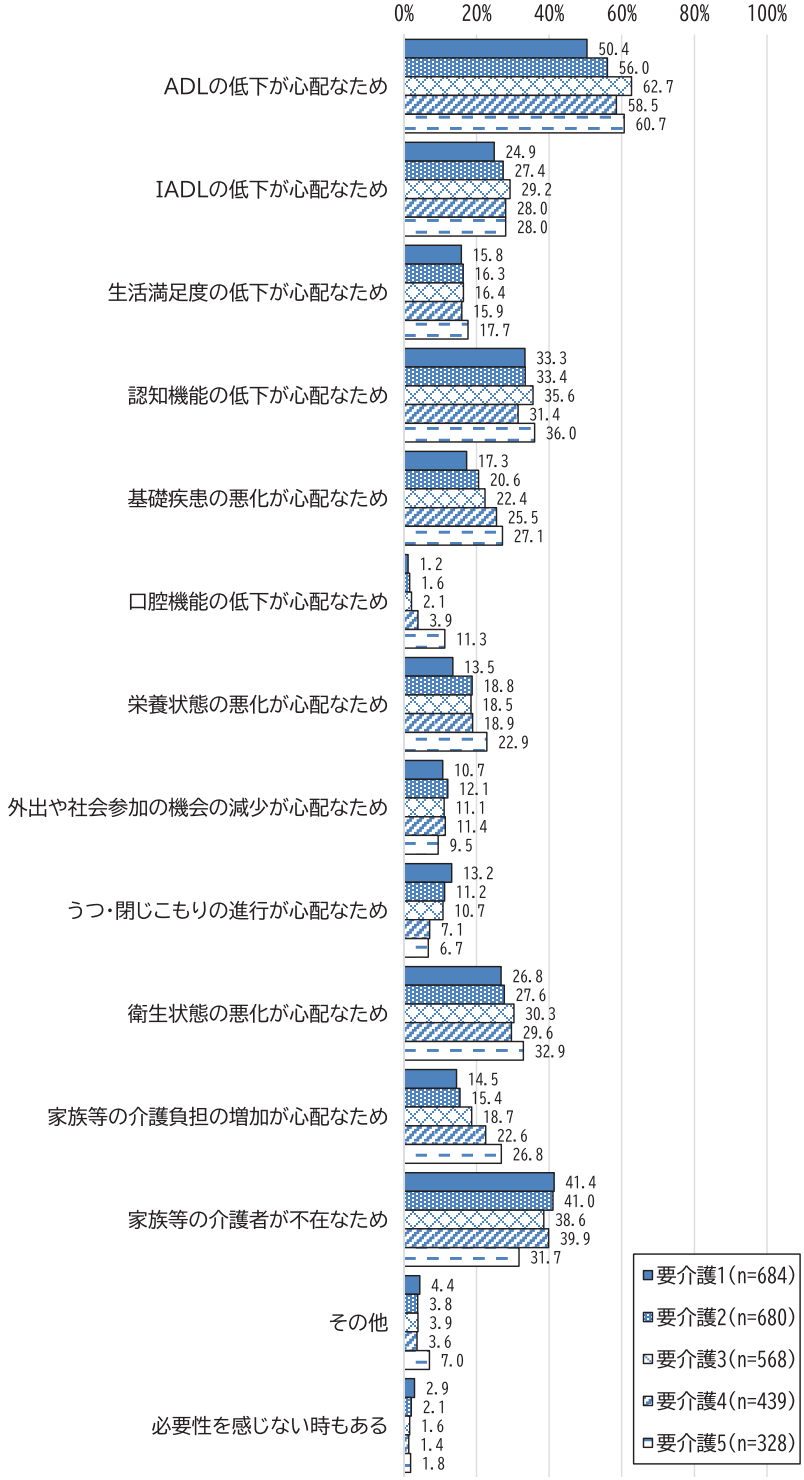


⑪ 生活援助の提供が必要と考える理由

「当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください」と尋ねた設問については、いずれの要介護度の方についても「ADLの低下が心配なため」の回答割合が最も高くなっている[19]。

【管理者向け調査 Q33】 当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。(MA)

図表 2-4-14 生活援助を利用している利用者について生活援助の提供が必要と考える理由



[19] 調査では、生活援助の提供について「必要性を感じない時もある」と回答した場合に、その理由を尋ねる項目を設定して調査したが、集計対象の件数が非常に少ないことから、集計結果の掲載を省略した(「参考資料」には結果を掲載している)。

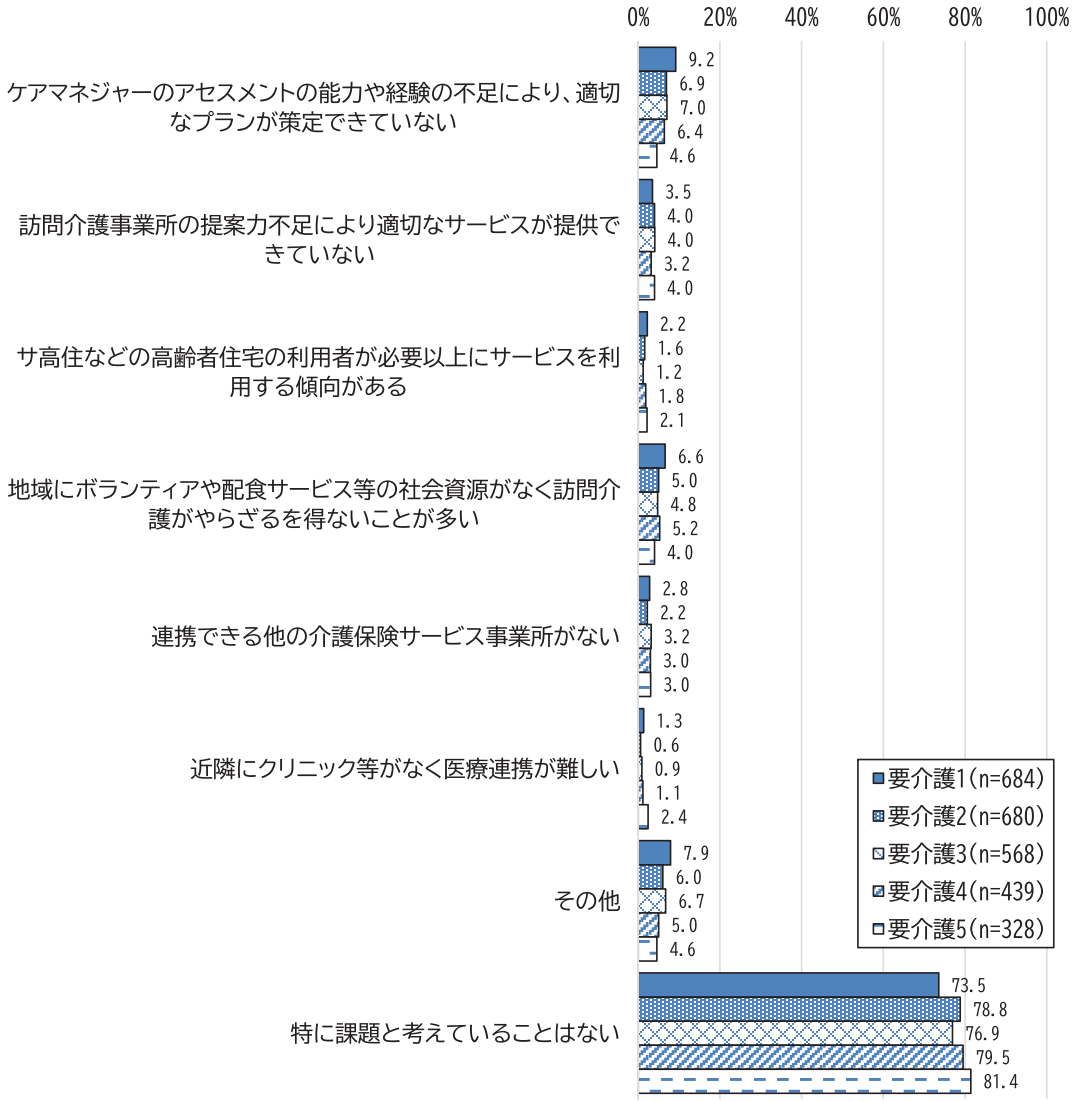
⑫ 状態に即した訪問介護サービスの提供に関する課題

「当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか」と尋ねた設問については、いずれの要介護度の方についても「特に課題と考えていることはない」の回答割合が最も高くなっている。

他方で、「ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できていない」については1割弱の事業所が回答しており、特に要介護度が低い方についてその割合が若干高い傾向がみられる。

【管理者向け調査 Q35】 当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。(MA)

図表 2-4-15 生活援助を利用している利用者について訪問介護サービスの提供に関する課題



（５） サービス提供にあたっての地域の範囲・移動等の状況

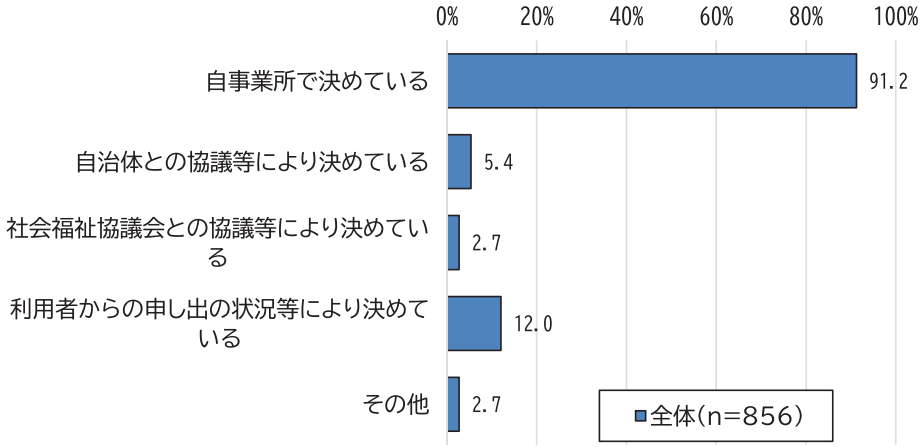
① 運営規程に定める通常の事業の実施地域の決め方

「貴事業所で定めている運営規程において、通常の事業の実施地域の範囲はどのように決められていますか」と尋ねた設問については、「自事業所で決めている」の回答割合が 91.2%と最も高く、次いで「利用者からの申し出の状況等により決めている」の回答割合が 12.0%となっている。

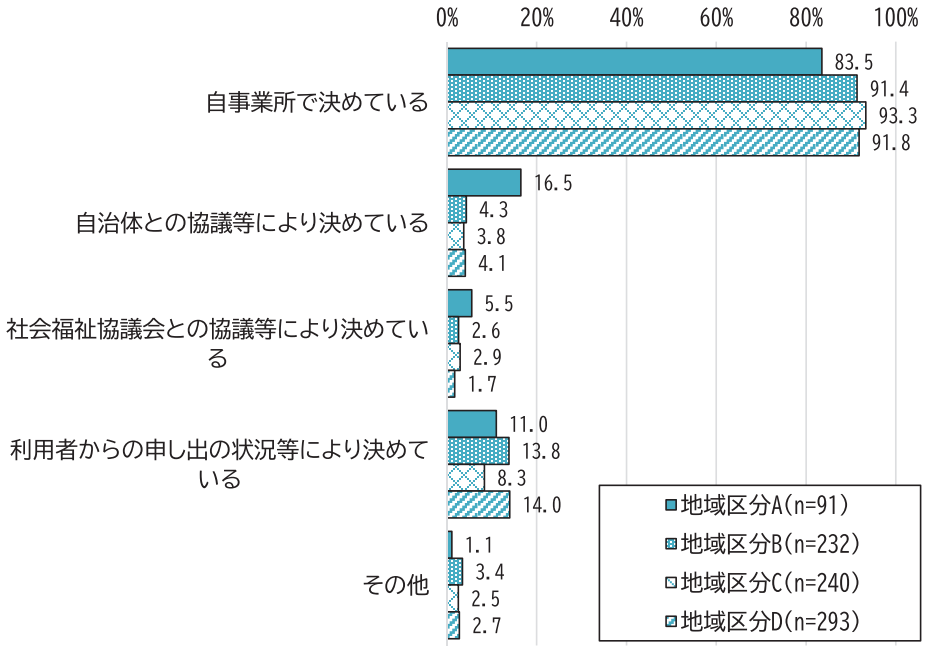
地域区分別の集計では、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所においては、「自治体との協議等により決めている」の割合が他の地域の事業所と比べて高くなっている。

【管理者向け調査 Q36】 貴事業所で定めている運営規程において、通常の事業の実施地域の範囲はどのように決められていますか。（MA）

図表 2-5-1 運営規程に定める通常の事業の実施地域の決め方



図表 2-5-2 運営規程に定める通常の事業の実施地域の決め方（地域区分別）



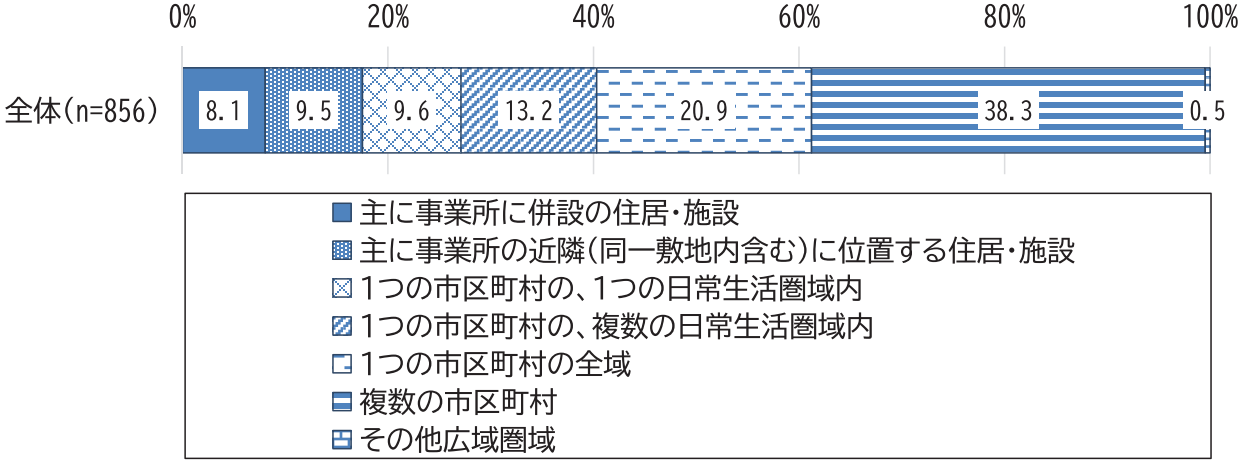
② 運営規程に定める通常の事業の実施地域

「貴事業所の運営規程に定める通常の事業の実施地域の範囲はどの程度ですか」と尋ねた設問については、「複数の市区町村」の回答割合が 38.3%と最も高く、次いで「1つの市区町村の全域」の回答割合が20.9%となっている。

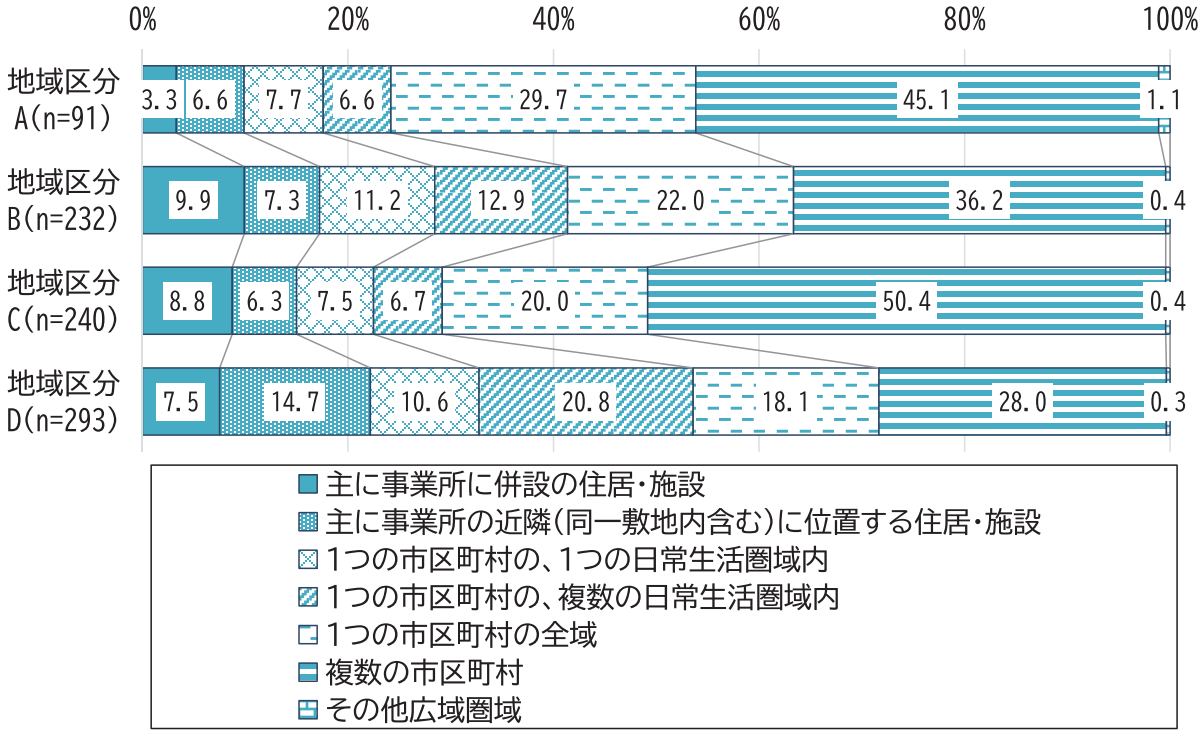
地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「1つの市区町村の全域」や「複数の市区町村」の回答割合が高くなっている。「地域区分 D(都市部地域)」の事業所では、「主に事業所の近隣(同一敷地内含む)に位置する住居・施設」の回答割合が他の地域の事業所と比べて高くなっている。

【管理者向け調査 Q37】 貴事業所の運営規程に定める通常の事業の実施地域の範囲はどの程度ですか。(SA)

図表 2-5-3 運営規程に定める通常の事業の実施地域



図表 2-5-4 運営規程に定める通常の事業の実施地域(地域区分別)



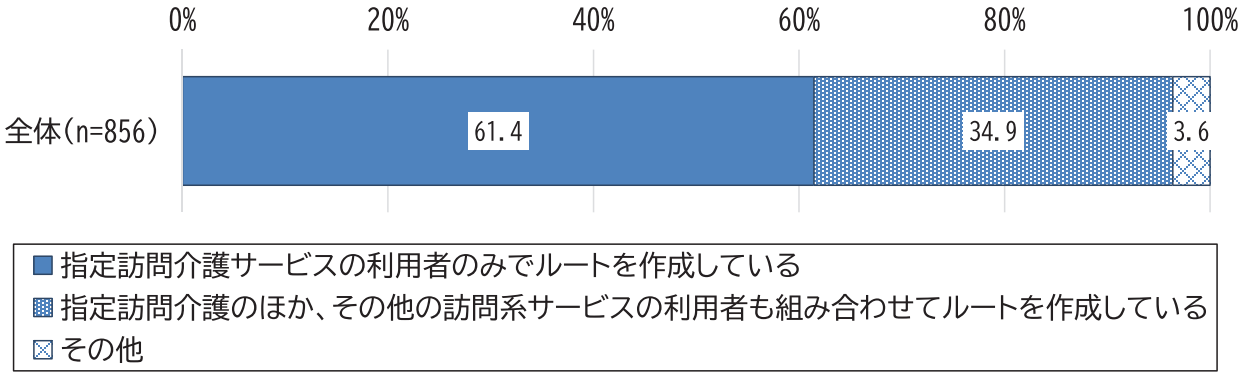
③ 訪問介護サービスの提供に関する訪問ルートの作成方法

「訪問介護サービスの提供に関する訪問経路について、どのように作成していますか」と尋ねた設問については、「指定訪問介護サービスの利用者のみでルートを作成している」の回答割合が 61.4%、「指定訪問介護のほか、その他の訪問系サービスの利用者も組み合わせてルートを作成している」の回答割合が34.9%となっている。

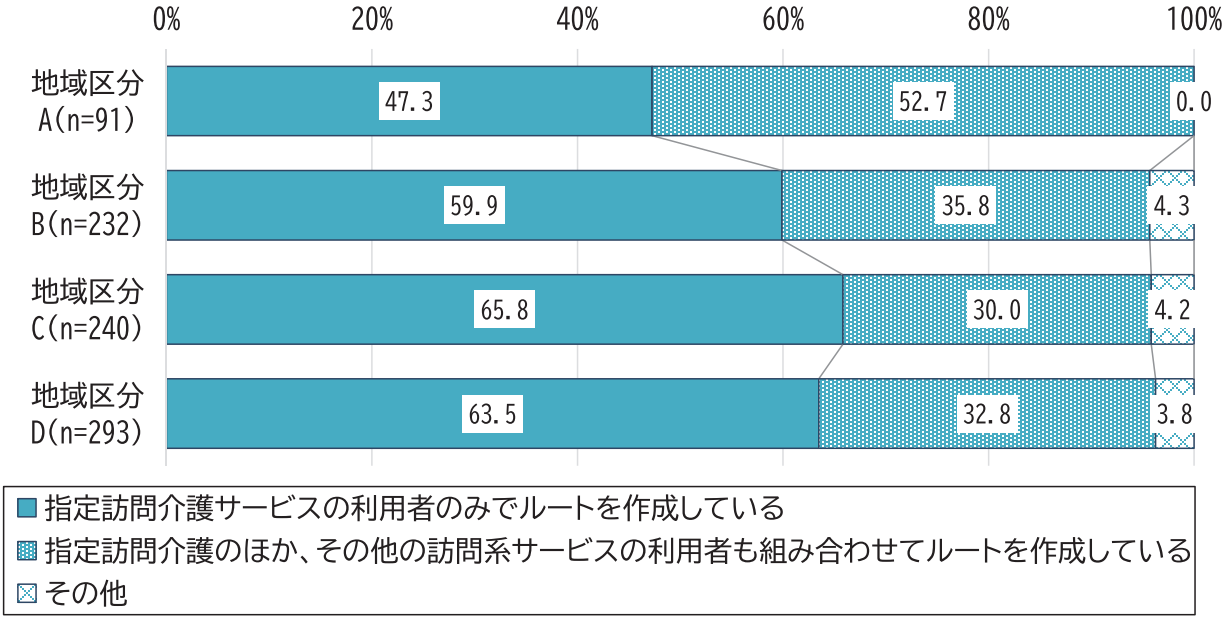
地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては、「指定訪問介護のほか、その他の訪問系サービスの利用者も組み合わせてルートを作成している」の割合が他の地域の事業所と比べて高くなっている。

【管理者向け調査 Q38】 訪問介護サービスの提供に関する訪問経路について、どのように作成していますか。(SA)

図表 2-5-5 訪問介護サービスの提供に関する訪問ルートの作成方法



図表 2-5-6 訪問介護サービスの提供に関する訪問ルートの作成方法(地域区分別)



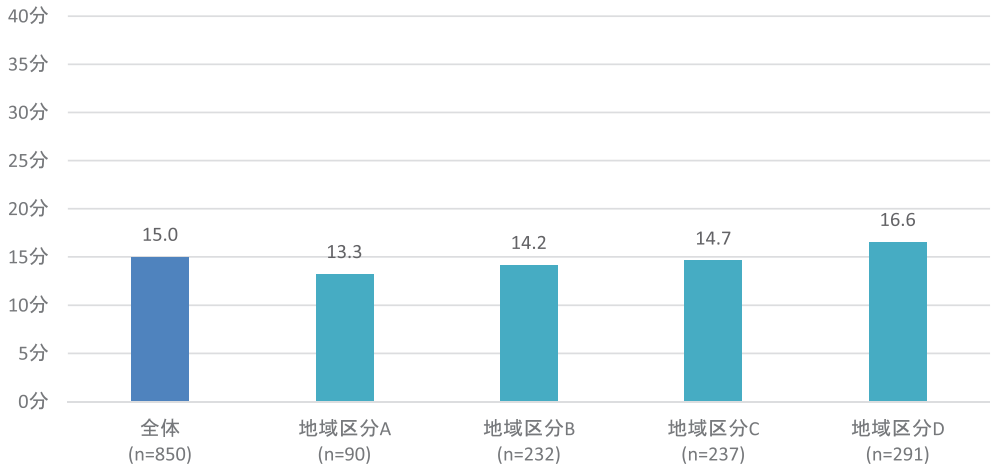
④ 運営規程に定める通常の実施地域の範囲

「通常の事業の実施地域は、事業所からどのくらいの時間及び距離の範囲で設定していますか」と尋ねた設問について、「利用者宅までの一般的な移動時間(片道)」の平均値は 15.0 分、「利用者宅までの一般的な移動距離(片道)」の平均値は 5.3 ㎞であった。また、「通常の事業の実施地域の範囲内で最も遠い利用者宅までの移動時間(片道)」の平均値は 25.7 分、「通常の事業の実施地域の範囲内で最も遠い利用者宅までの距離(片道)」の平均値は 10.3 ㎞であった。

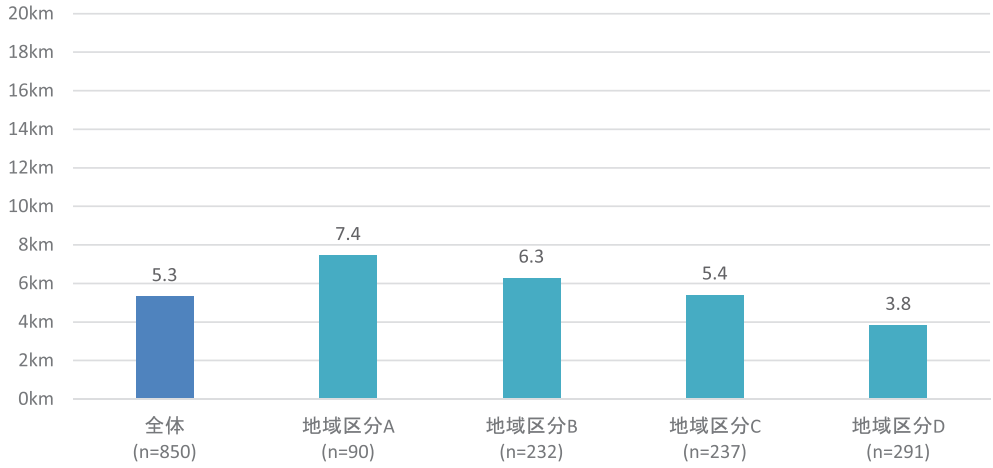
地域区分別の集計では、移動時間については「地域区分 D(都市部地域)」の事業所のほうが平均値が若干高い傾向にあるが、移動距離については「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所で平均値が高くなっている[20]。

【管理者向け調査 Q39】 通常の事業の実施地域は、事業所からどのくらいの時間及び距離の範囲で設定していますか。(NU)

図表 2-5-7 運営規程に定める通常の実施地域の範囲
(利用者宅までの一般的な移動時間(片道)、平均値、全体・地域区分別)



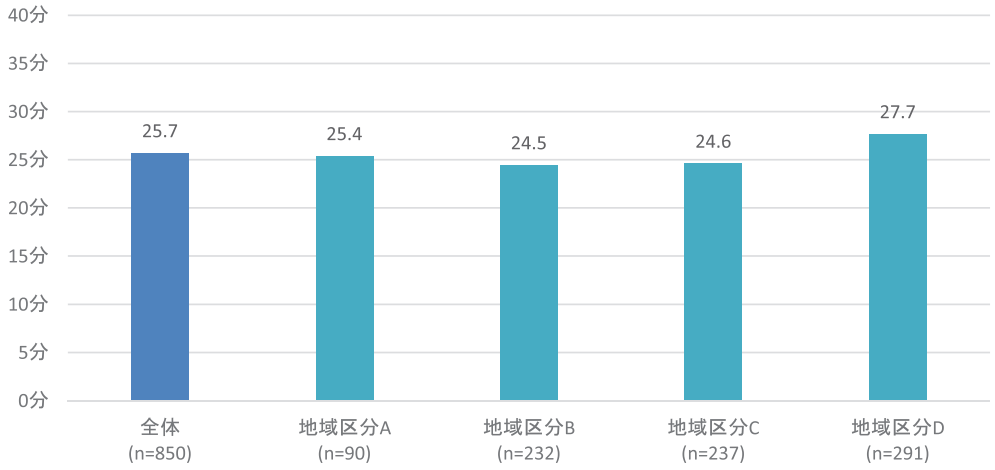
図表 2-5-8 運営規程に定める通常の実施地域の範囲
(利用者宅までの一般的な移動距離(片道)、平均値、全体・地域区分別)



[20] この設問では「運営規程に定める通常の実施地域の範囲」を尋ねるものであり、実際に訪問する際に、ルートごとにどの程度時間を要するのかについての設問は訪問介護員向け調査においても調査を行った。

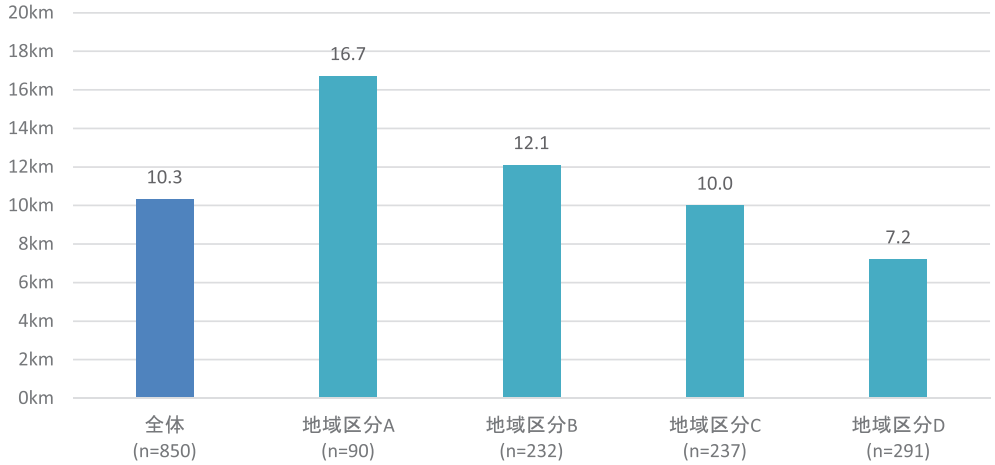
図表 2-5-9　運営規程に定める通常の実施地域の範囲

（通常の事業の実施地域の範囲内で最も遠い利用者宅までの移動時間（片道）、平均値、全体・地域区分別）



図表 2-5-10　運営規程に定める通常の実施地域の範囲

（通常の事業の実施地域の範囲内で最も遠い利用者宅までの移動距離（片道）、平均値、全体・地域区分別）



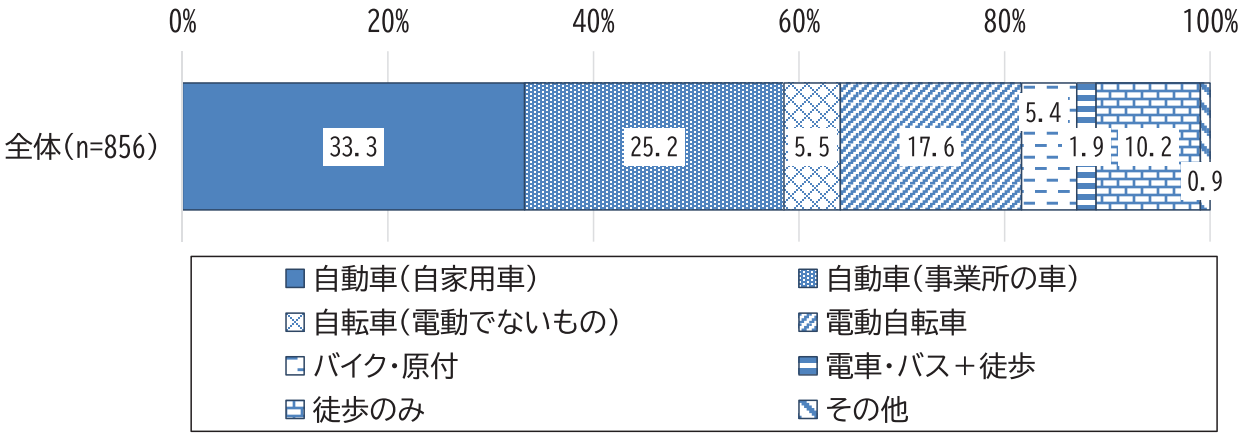
⑤ 主な移動手段（訪問手段）

「利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください」と尋ねた設問については、「自動車（自家用車）」の回答割合が 33.3%と最も高く、次いで「自動車（事業所の車）」の回答割合が 25.2%となっている。

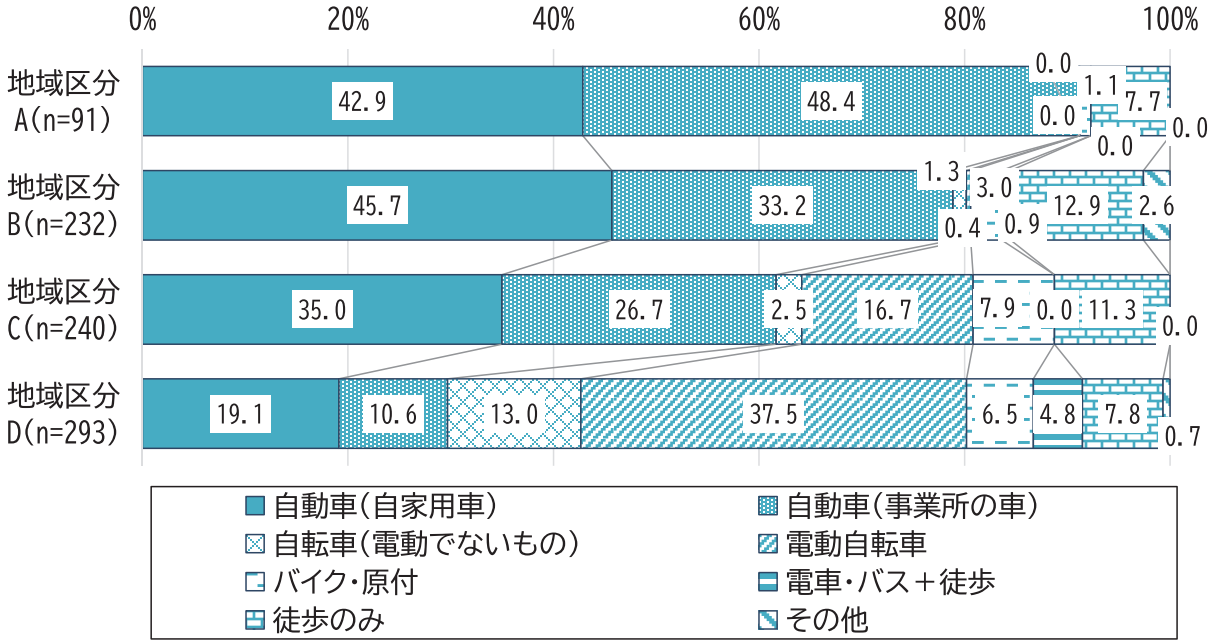
地域区分別の集計では、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」や「地域区分 B（中山間地域【一部】）」の事業所では「自動車」の回答割合が高く、「地域区分 D（都市部地域）」の事業所では「電動自転車」の回答割合が高くなっている。

【管理者向け調査 Q40】 利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください。（SA）

図表 2-5-11 利用者宅を訪問する際の主な交通手段



図表 2-5-12 利用者宅を訪問する際の主な交通手段（地域区分別）



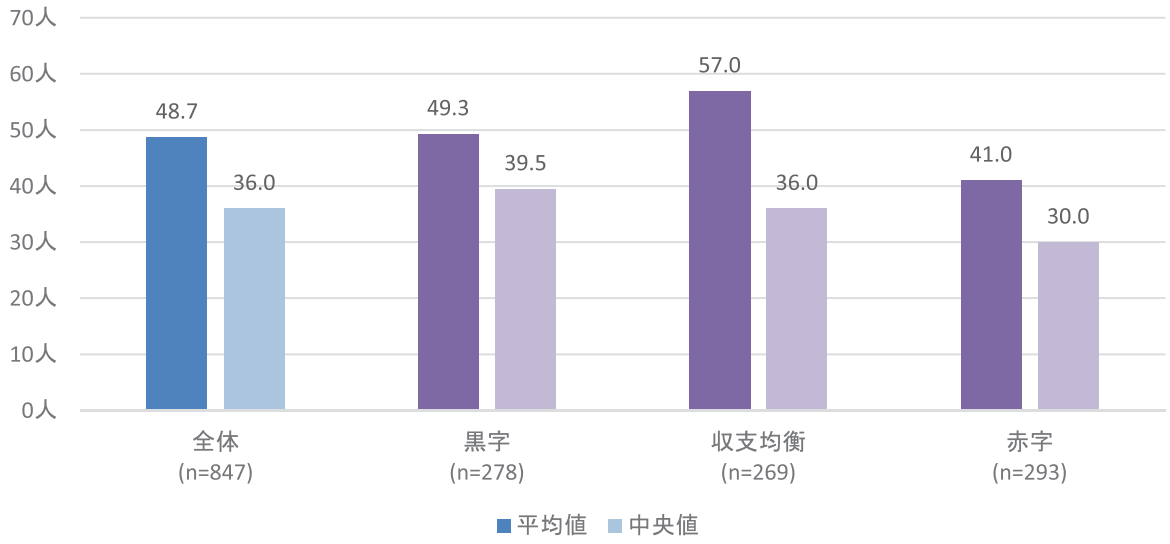
⑥ 通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数

「2023年7月現在の利用者のうち、通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数を教えてください」と尋ねた設問について、平均値は 48.7 人、中央値は 36.0 人であった。

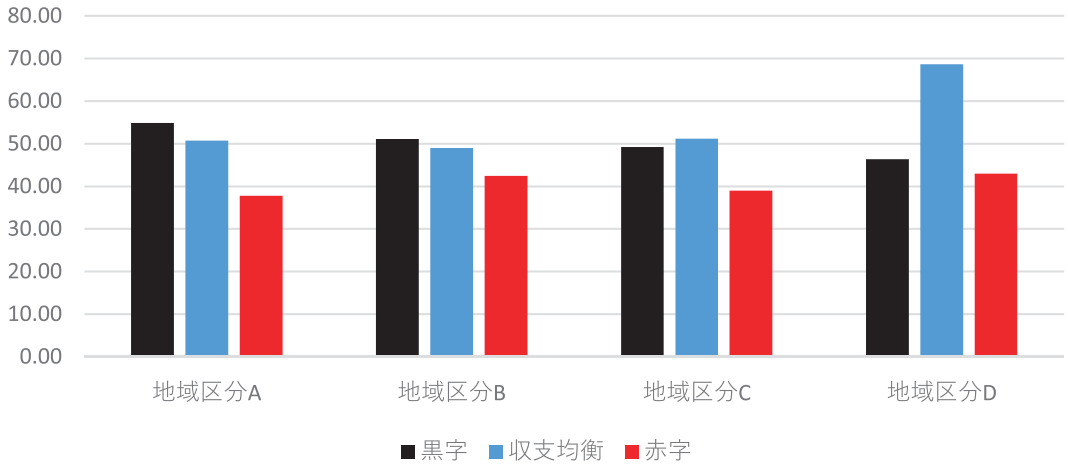
収支差の状況別の集計では、「赤字」の事業所においては人数の平均値が低くなっている。このような傾向は地域区分別に集計を行っても同様にみられる。

【管理者向け調査 Q41】 2023年7月現在の利用者のうち、通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数を教えてください。(NU)

図表 2-5-13 通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数の平均値
（全体、収支差の状況別）



図表 2-5-14 通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数の平均値
（地域区分別、収支差の状況別）

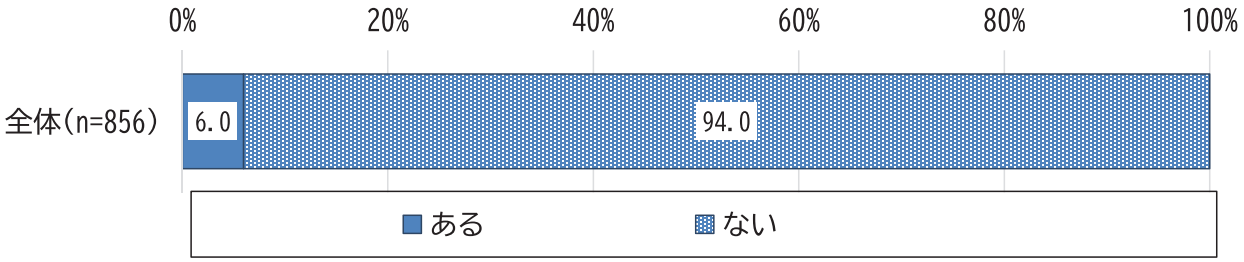


⑦ 通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供の有無

「運営規程に定める通常の事業の実施地域を超えるサービス提供地域はありますか」と尋ねた設問については、「ない」の回答が 94.0%、「ある」の回答は 6.0%であった [21]。

【管理者向け調査 Q42】 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超えるサービス提供地域はありますか。(SA)

図表 2-5-15 通常の事業の実施地域を超えるサービス提供の有無



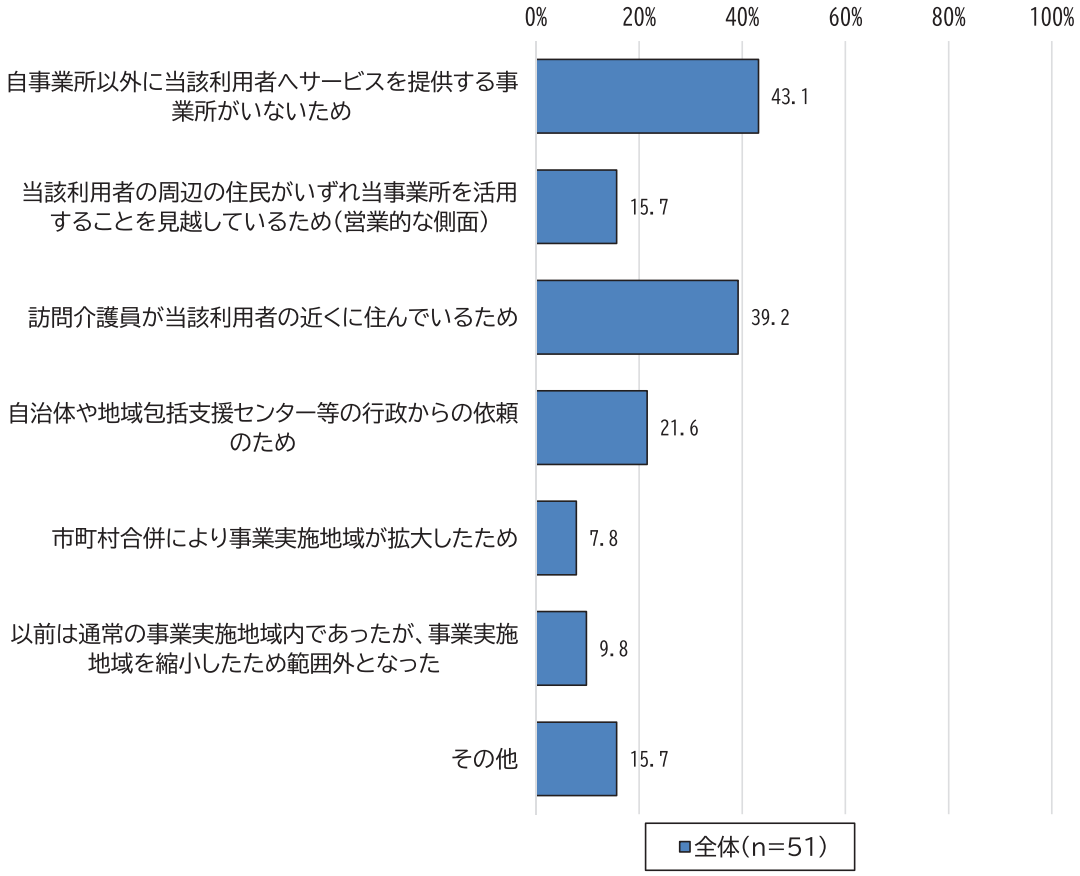
[21] 調査では、運営規程に定める通常の事業の実施地域を超えるサービス提供地域が「ある」と回答した場合に、「事業所からその範囲の利用者の居宅までの時間及び距離」、「通常の事業の実施地域外に居住する利用登録者数」、「当該利用者への訪問回数」を尋ねる項目を設定して調査したが、集計対象の件数が少ないことなどから、集計結果の掲載を省略した(「参考資料」には結果を掲載している)。

⑧ 通常の事業の実施地域を超えてサービス提供する理由

「運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供について、通常の事業の実施地域外の利用者に対してサービス提供をしている理由は何かを教えてください」と尋ねた設問については、「自事業所以外に当該利用者へサービスを提供する事業所がいないため」の回答割合が 43.1%と最も高く、次いで「訪問介護員が当該利用者の近くに住んでいるため」の回答割合が 39.2%となっている。

【管理者向け調査 Q44】 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供について、通常の事業の実施地域外の利用者に対してサービス提供をしている理由は何かを教えてください。（MA）

図表 2-5-16 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超えてサービス提供する理由



⑨ 利用者宅間の移動時間及び距離（一般・最長）

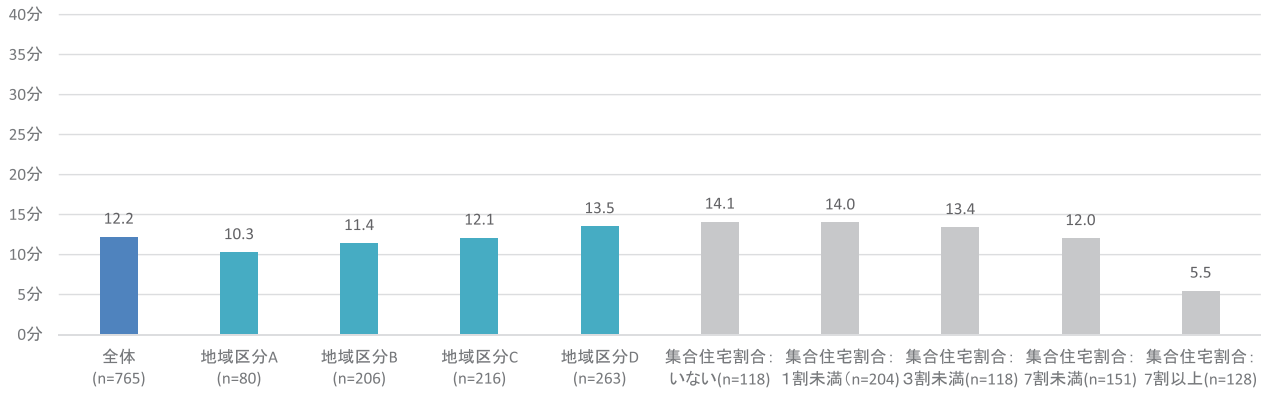
「サービス提供時の利用者宅間の移動について、一般的な時間及び距離を教えてください。また、サービス提供時の利用者宅間の移動について、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。」と尋ねた設問について、「一般的な移動時間（片道）」の平均値は 12.2 分、「利用者宅までの一般的な移動距離（片道）」の平均値 4.1 ㎞であった。また、「最も長い場合の移動時間（片道）」の平均値は 25.0 分、「最も長い場合の移動距離（片道）」の平均値は 10.0 ㎞であった。

地域区分別の集計では、移動時間については「地域区分 D（都市部地域）」の事業所のほうが平均値が高いが、移動距離については「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所で平均値が高くなっている。

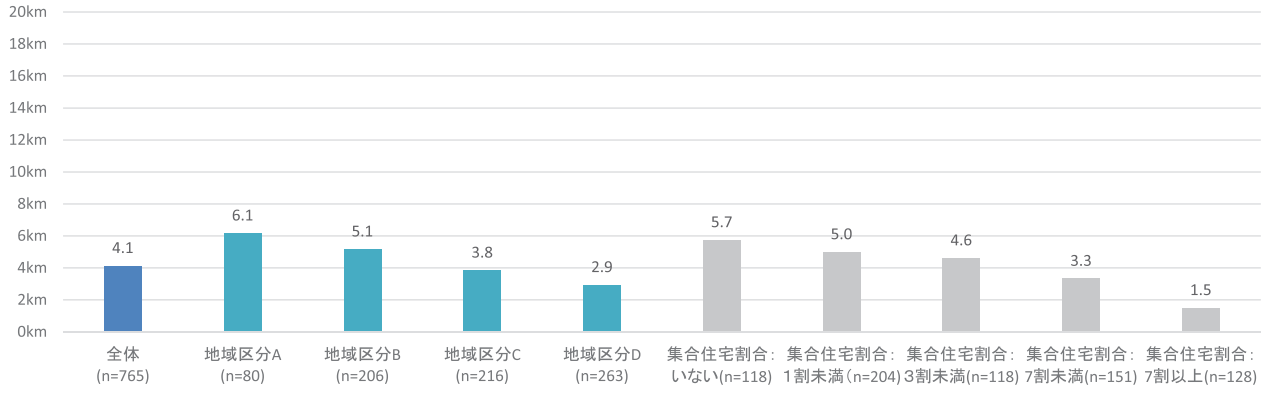
集合住宅割合別の集計では、集合住宅居住者へのサービス割合が「7 割以上」の事業者では、移動時間・移動距離ともに平均値が他の事業者と比べて低くなっている。

【管理者向け調査 Q46】 サービス提供時の利用者宅間の移動について、一般的な時間及び距離を教えてください。また、サービス提供時の利用者宅間の移動について、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。（NU）

図表 2-5-17 サービス提供時の利用者宅間の移動
（一般的な移動時間（片道）、平均値、全体・地域区分別）

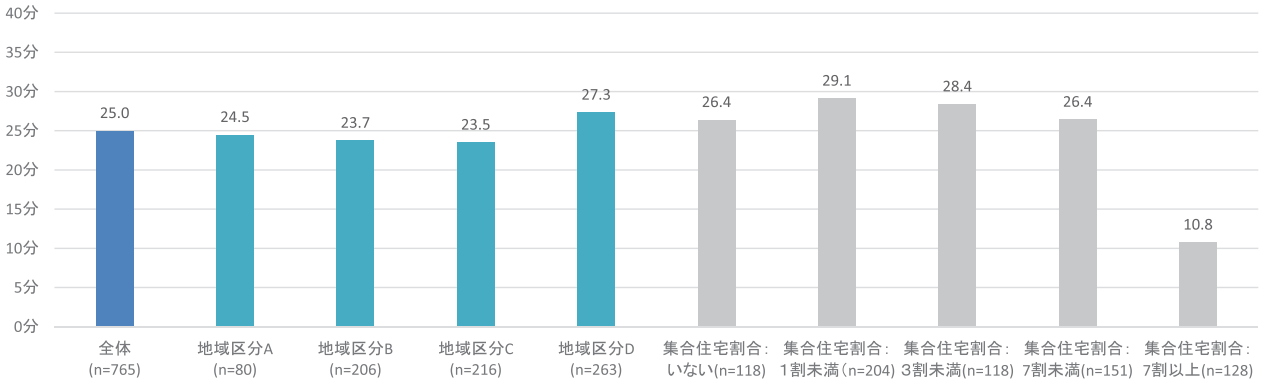


図表 2-5-18 サービス提供時の利用者宅間の移動
（一般的な移動距離（片道）、平均値、全体・地域区分別）



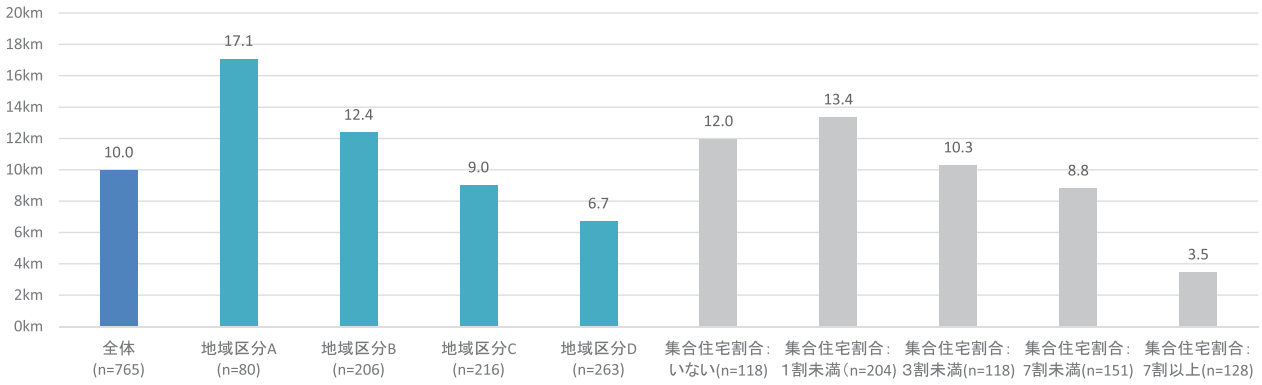
図表 2-5-19　サービス提供時の利用者宅間の移動

（最も長い場合の移動時間（片道）、平均値、全体・地域区分別）



図表 2-5-20　サービス提供時の利用者宅間の移動

（最も長い場合の移動距離（片道）、平均値、全体・地域区分別）



⑩ 常勤の訪問介護員１人当たりの状況

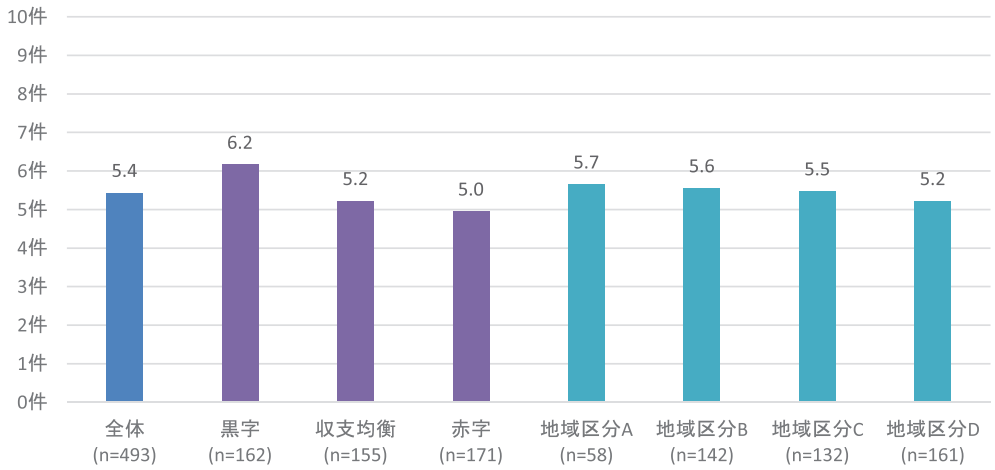
「2023年7月の状況を踏まえて、常勤の訪問介護員1人・1日当たりの勤務の状況等について教えてください」と尋ねた設問の回答結果の平均値は、「1 日当たりの一般的な訪問件数」は 5.4 件、「1 日当たりの一般的なサービス提供時間（1 日の合計）」は 264.2 分、「1 日当たりの一般的な移動時間（1 日の合計）」は 66.9 分、「1 日当たりの一般的な移動距離（1 日の合計）」は 17.0 ㎞、「1 日当たりの最長移動距離（1 日の合計）」は 27.7 ㎞であった [22]。

収支差の状況別の集計では、「赤字」の事業所においては「1 日当たりの一般的な訪問件数」や「1 日当たりの一般的なサービス提供時間（1 日の合計）」の平均値が低く、他方で「1 日当たりの一般的な移動時間（1 日の合計）」や「1 日当たりの一般的な移動距離（1 日の合計）」の平均値は高くなっている。

また、地域区分別の集計では、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所においては、「1 日当たりの一般的な訪問件数」や「1 日当たりの一般的なサービス提供時間（1 日の合計）」の平均値は高い傾向にあり、「1 日当たりの一般的な移動時間（1 日の合計）」や「1 日当たりの一般的な移動距離（1 日の合計）」の平均値も高くなっている。

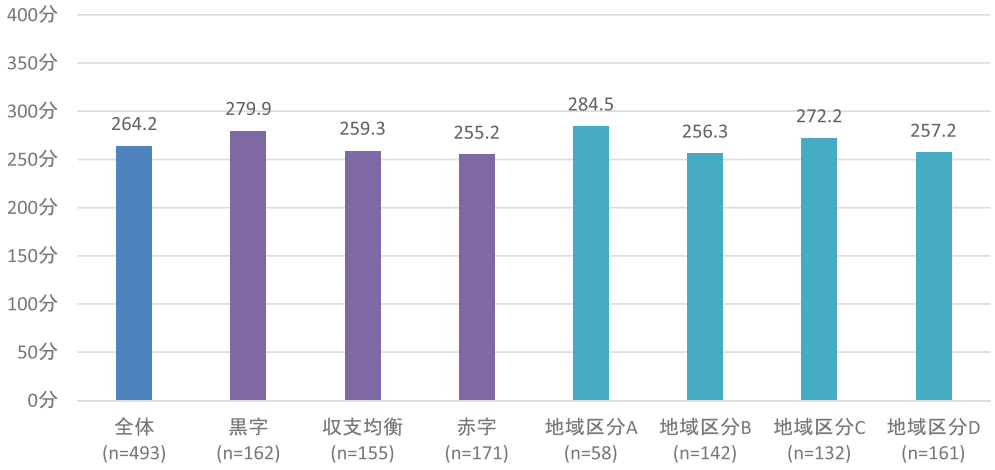
【管理者向け調査 Q47】 2023年7月の状況を踏まえて、常勤の訪問介護員1人・1日当たりの勤務の状況等について教えてください。（NU）

図表 2-5-21 常勤の訪問介護員1人・1日当たりの一般的な訪問件数
（平均値、全体・収支差の状況別、地域区分別）

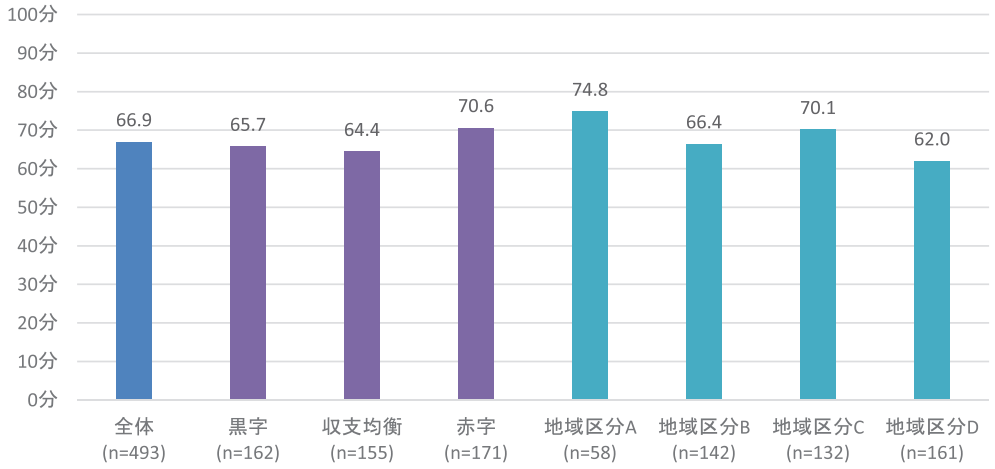


[22] 各項目に無回答であった場合などを集計の対象外としている。また、「1 日当たりの最長移動距離（1 日の合計）」については、「1 日当たりの一般的な移動距離（1 日の合計）」と矛盾がみられた回答は集計の対象外としたため、集計対象件数が若干少なくなっている。

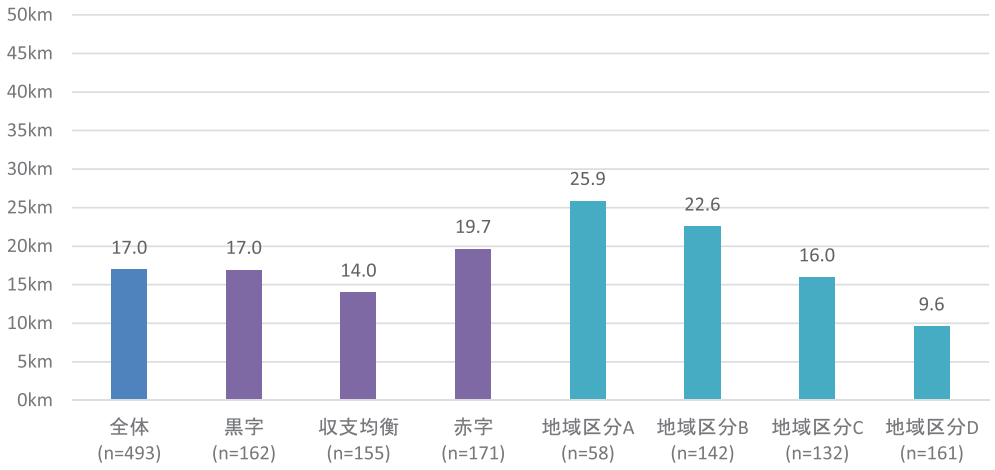
図表 2-5-22　常勤の訪問介護員1人・1日当たりの一般的なサービス提供時間（1 日の合計）
（平均値、全体・収支差の状況別、地域区分別）



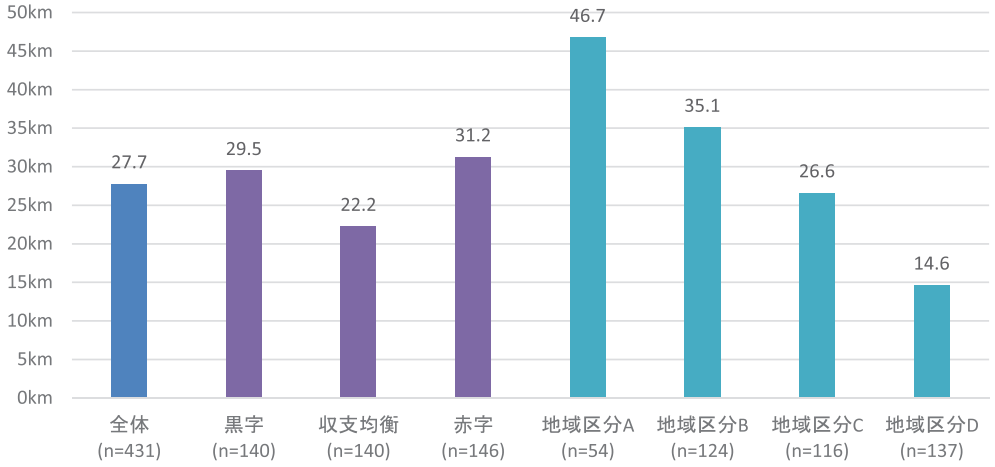
図表 2-5-23　常勤の訪問介護員1人・1日当たりの一般的な移動時間（1 日の合計）
（平均値、全体・収支差の状況別、地域区分別）



図表 2-5-24　常勤の訪問介護員1人・1日当たりの一般的な移動距離（1 日の合計）
（平均値、全体・収支差の状況別、地域区分別）



図表 2-5-25　常勤の訪問介護員1人・1日当たりの最長移動距離（1 日の合計）
（平均値、全体・収支差の状況別、地域区分別）



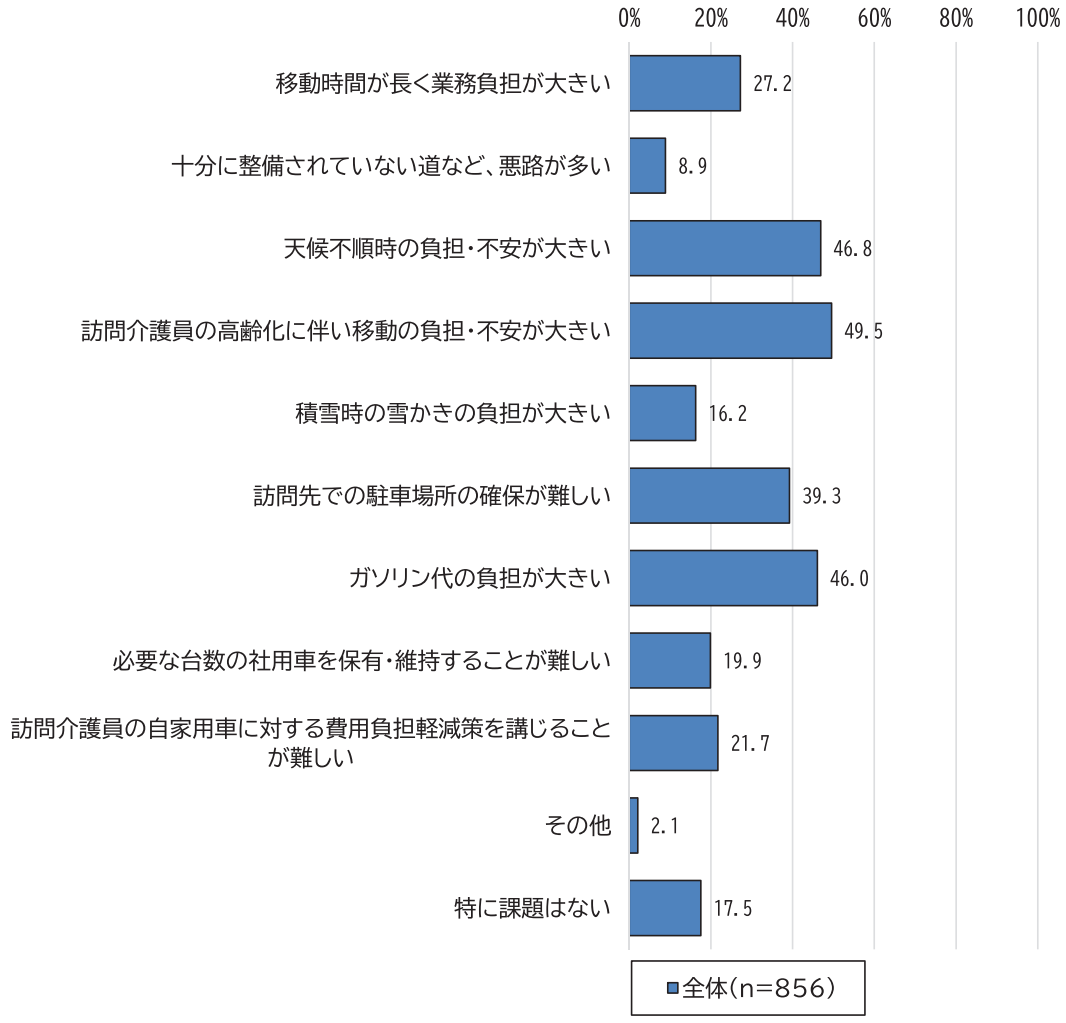
⑪ 利用者宅への訪問に関する課題

「利用者宅への訪問に関し、課題となっていることがあれば教えてください」と尋ねた設問については、「訪問介護員の高齢化に伴い移動の負担・不安が大きい」の回答割合が 49.5%と最も高く、次いで「天候不順時の負担・不安が大きい」の回答割合が 46.8%、「ガソリン代の負担が大きい」の回答割合が 46.0%となっている。

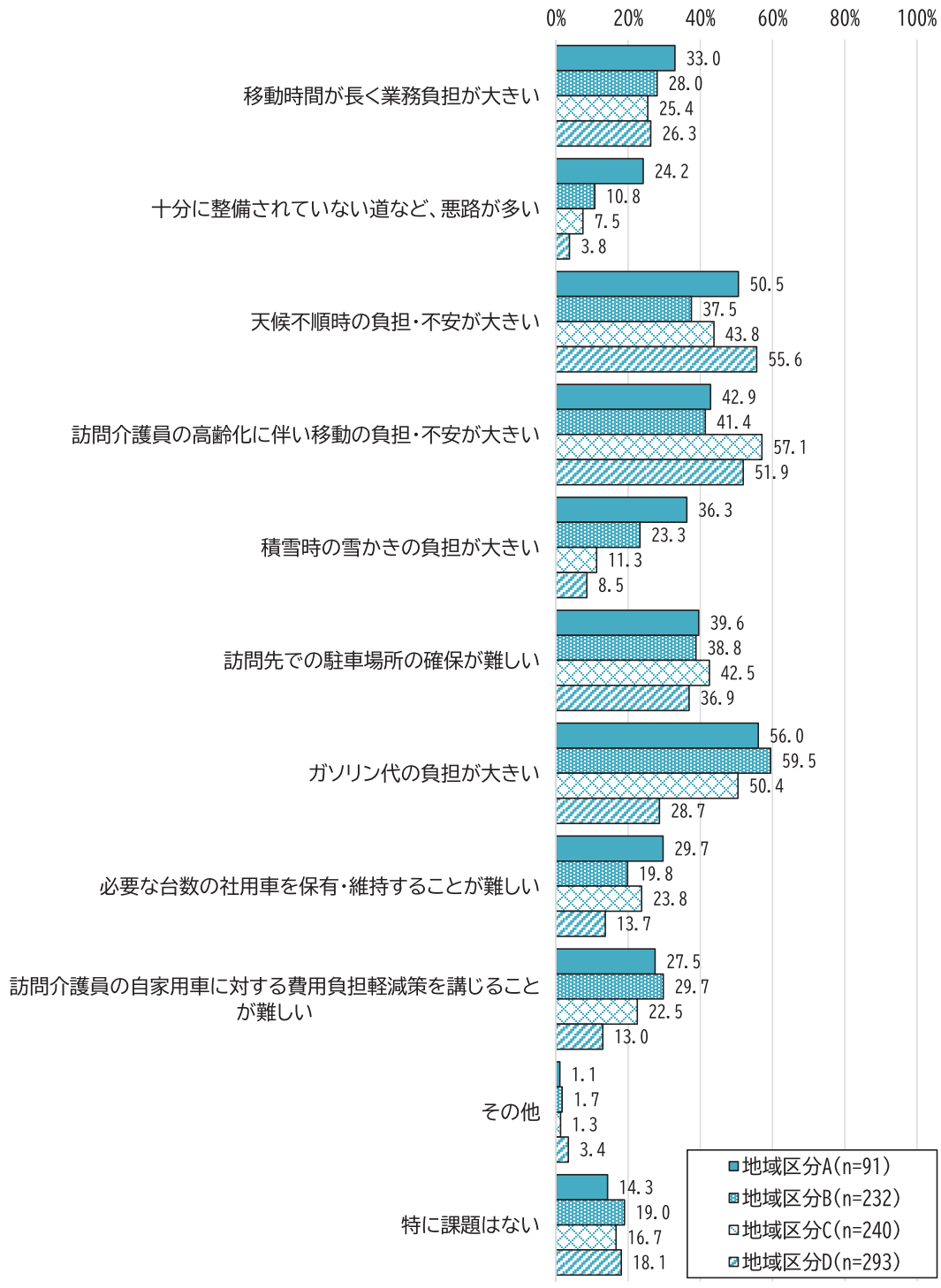
地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「移動時間が長く業務負担が大きい」、「十分に整備されていない道など、悪路が多い」、「積雪時の雪かきの負担が大きい」などの回答割合が高くなっている。

【管理者向け調査 Q48】 利用者宅への訪問に関し、課題となっていることがあれば教えてください。(MA)

図表 2-5-26 利用者宅への訪問に関する課題



図表 2-5-27 利用者宅への訪問に関する課題(地域区分別)

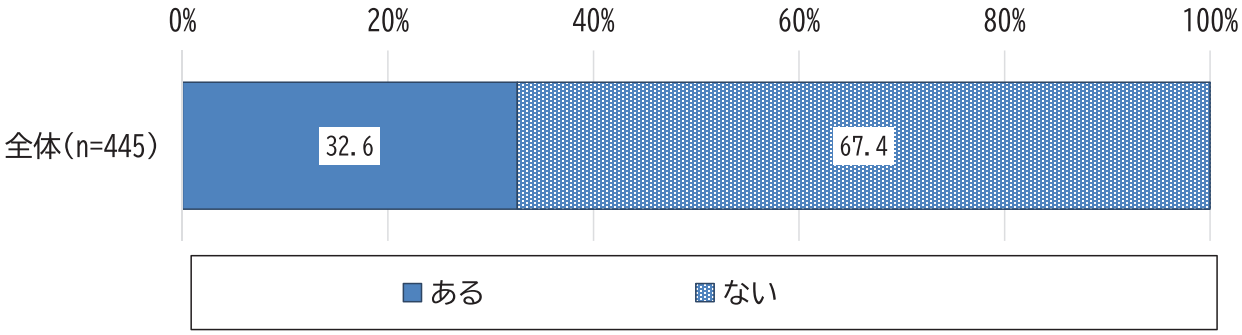


⑫ 天候不順・積雪時の交通手段の変更の有無

利用者宅への訪問に関する課題として「天候不順時の負担・不安が大きい」または「積雪時の雪かきの負担が大きい」と回答した場合に、「天候不順や積雪が生じた場合、利用者宅を訪問する際の主な交通手段に変更がありますか」と尋ねた。この設問の回答は、「ない」の回答割合が 67.4%、「ある」の回答割合は32.6%であった。

【管理者向け調査 Q49】 天候不順や積雪が生じた場合、利用者宅を訪問する際の主な交通手段に変更がありますか。(SA)

図表 2-5-28 天候不順・積雪時の交通手段の変更の有無



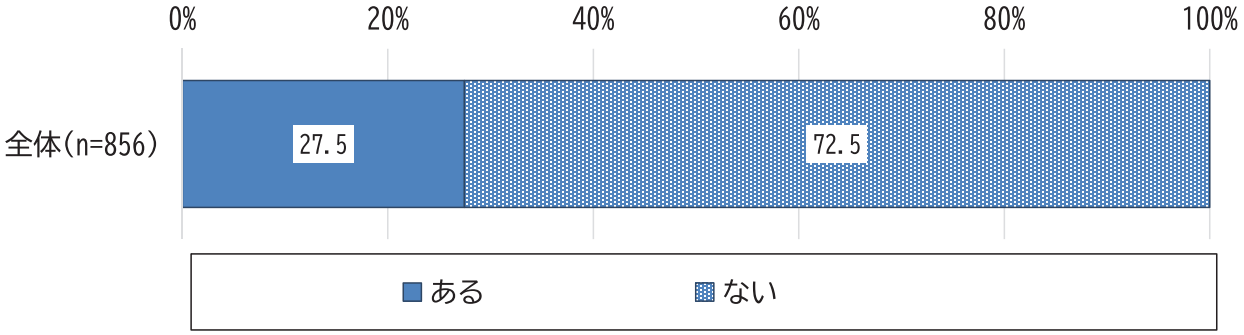
⑬ 移動時間や距離を理由として利用を断ったことの有無・年間の件数

「利用者宅への移動時間や距離を理由として、サービス提供を断ることはありますか」と尋ねた設問については、「ない」の回答割合が 72.5%、「ある」の回答割合は 27.5%であった。また、「ある」と回答した場合の年間の平均件数としては、平均値 3.8 件、中央値 3.0 件であった。

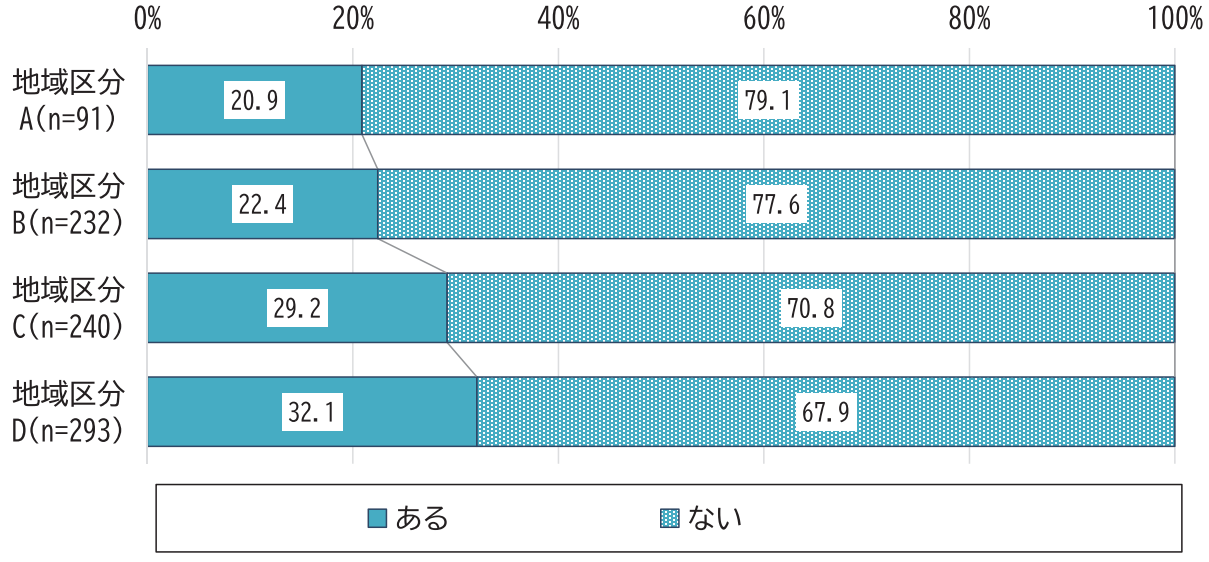
地域区分別の集計では、利用者宅への移動時間や距離を理由としてサービス提供を断ることが「ある」の回答割合は、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所では低く、「地域区分 D(都市部地域)」の事業所では高くなっている。

【管理者向け調査 Q50】 利用者宅への移動時間や距離を理由として、サービス提供を断ることはありますか。(SA／NU)

図表 2-5-29 移動時間や距離を理由として利用を断ったことの有無



図表 2-5-30 移動時間や距離を理由として利用を断ったことの有無(地域区分別)



⑭ 移動を効率的に行うための工夫等

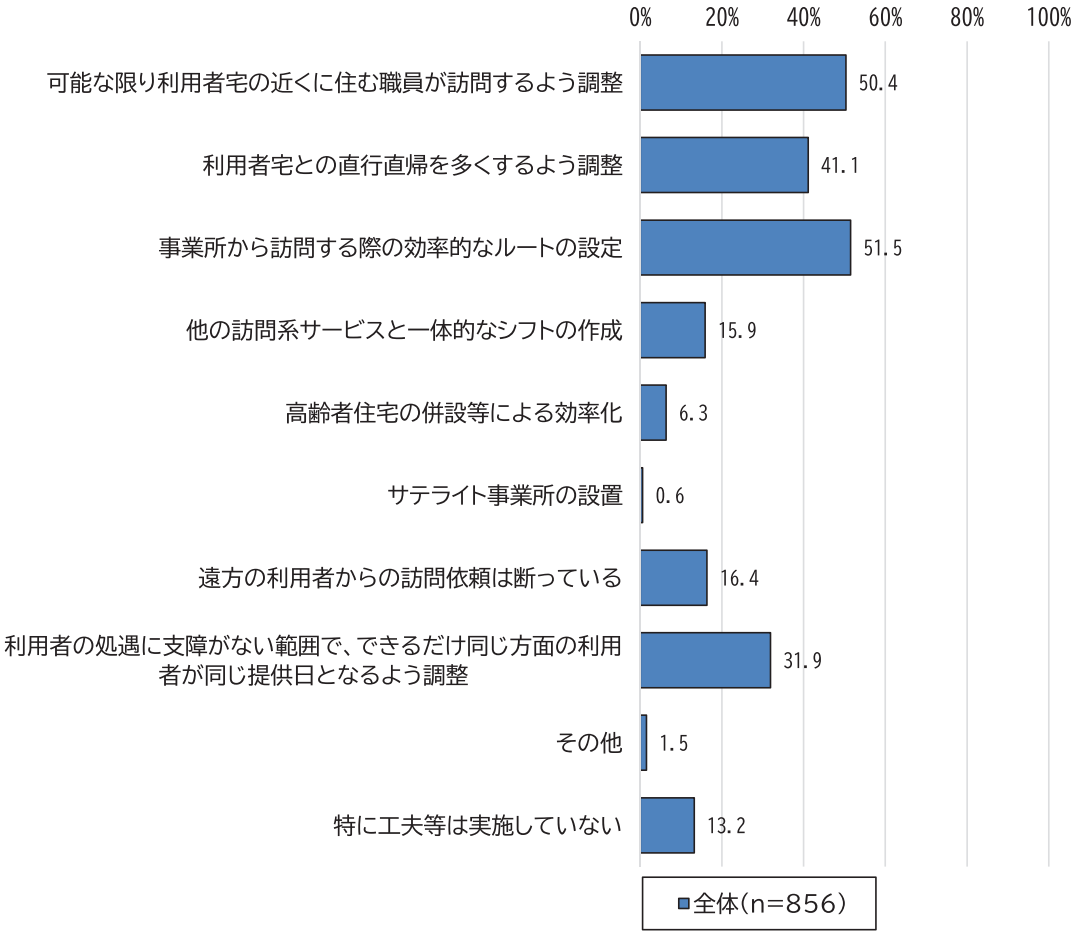
「サービス提供のための移動を効率的に行うために、工夫していることはありますか」と尋ねた設問については、「事業所から訪問する際の効率的なルートの設定」の回答割合が 51.5%と最も高く、次いで「可能な限り利用者宅の近くに住む職員が訪問するよう調整」の回答割合が 50.4%となっている。

収支差の状況別の集計では、「黒字」の事業所においては、「可能な限り利用者宅の近くに住む職員が訪問するよう調整」や「事業所から訪問する際の効率的なルートの設定」の回答割合が高くなっている。

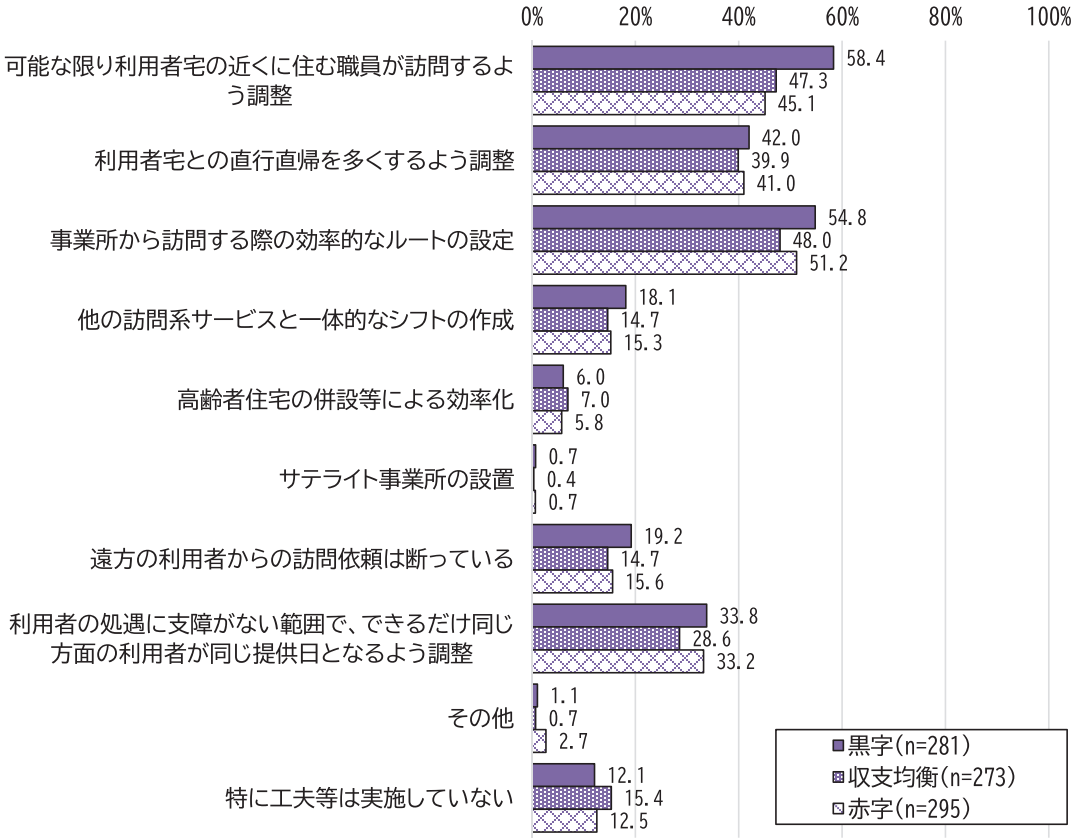
地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「他の訪問系サービスと一体的なシフトの作成」や「利用者の処遇に支障がない範囲で、できるだけ同じ方面の利用者が同じ提供日となるよう調整」の回答割合は他の地域の事業所と比べて高いが、「可能な限り利用者宅の近くに住む職員が訪問するよう調整」や「利用者宅との直行直帰を多くするよう調整」などの回答割合は低くなっている。「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「遠方の利用者からの訪問依頼は断っている」の回答割合も低く、他方で「特に工夫等は実施していない」の回答割合が高い傾向にある。

【管理者向け調査 Q51】 サービス提供のための移動を効率的に行うために、工夫していることはありますか。(MA)

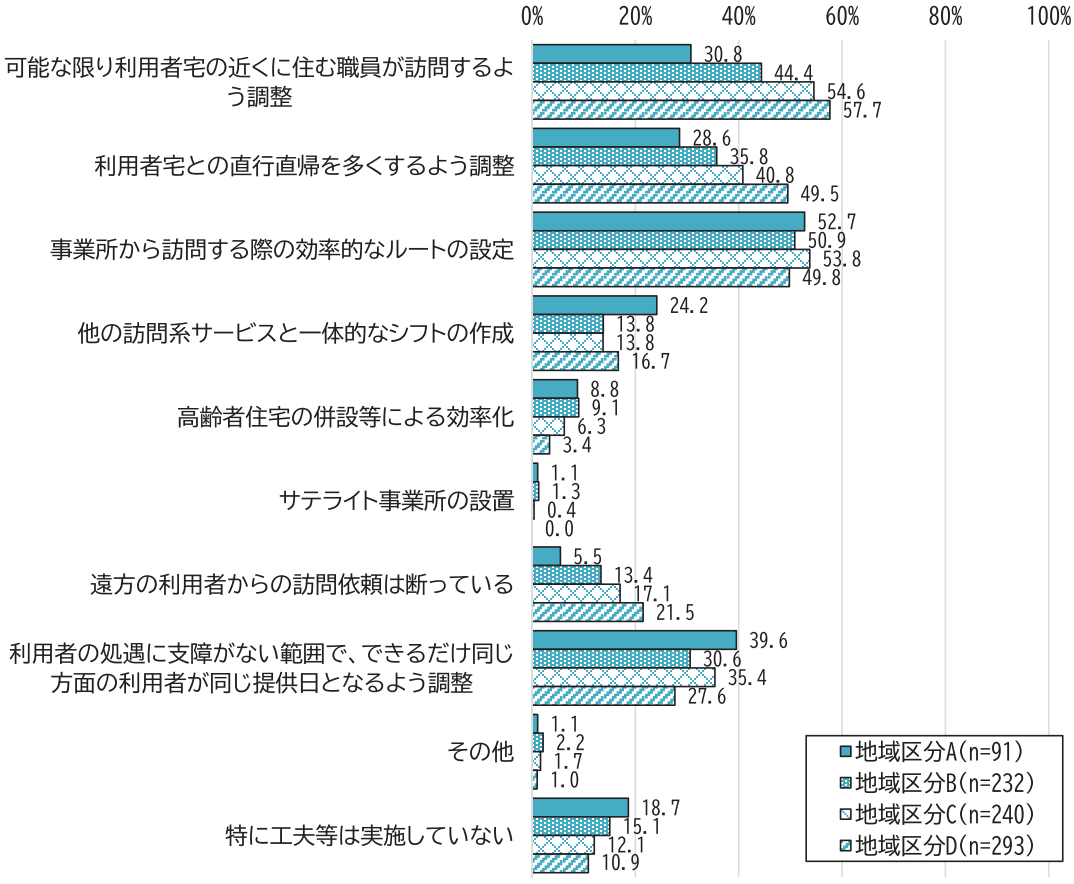
図表 2-5-31 移動を効率的に行うための工夫等



図表 2-5-32 移動を効率的に行うための工夫等(収支差の状況別)



図表 2-5-33 移動を効率的に行うための工夫等(地域区分別)



（6） 経営状況、事業継続に向けた取組等

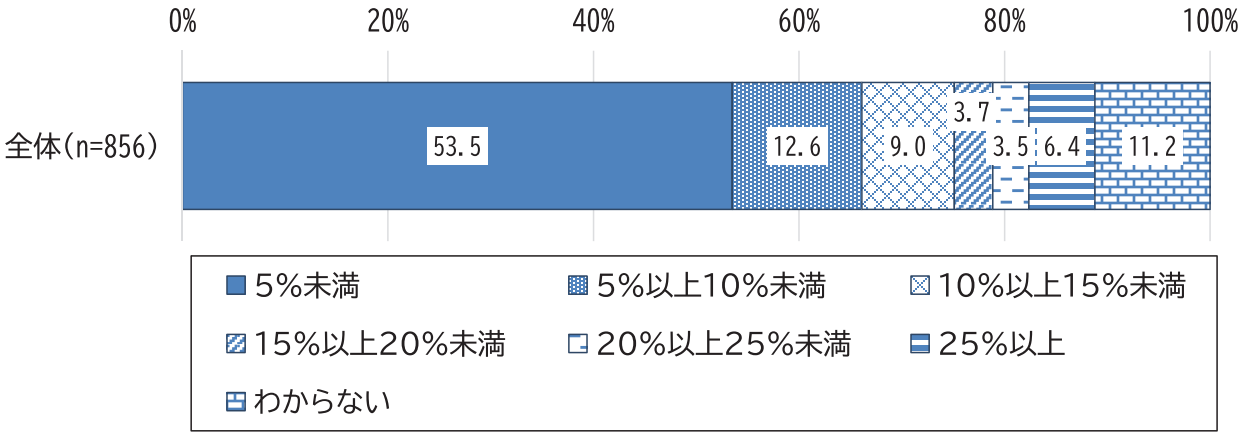
① 離職者数、離職率、新規入職者数

「2022 年度における、①訪問介護事業所の離職者数、②訪問介護事業所の離職率、③新規入職者数を教えてください」と尋ねた設問について、常勤職員の離職者数の平均値は 0.8 人、非常勤職員の離職者数の平均値は 1.3 人であった。また、新規入職者数の平均値は 1.6 人であった。

離職率は、「5%未満」の回答割合が 53.5%と最も高く、次いで「5%以上10%未満」の回答割合が12.6%となっている。

【管理者向け調査 Q53】 離職者数・離職率・新規入職者数（NU／SA／NU）

図表 2-6-1 2022 年度の離職率



② 収支差

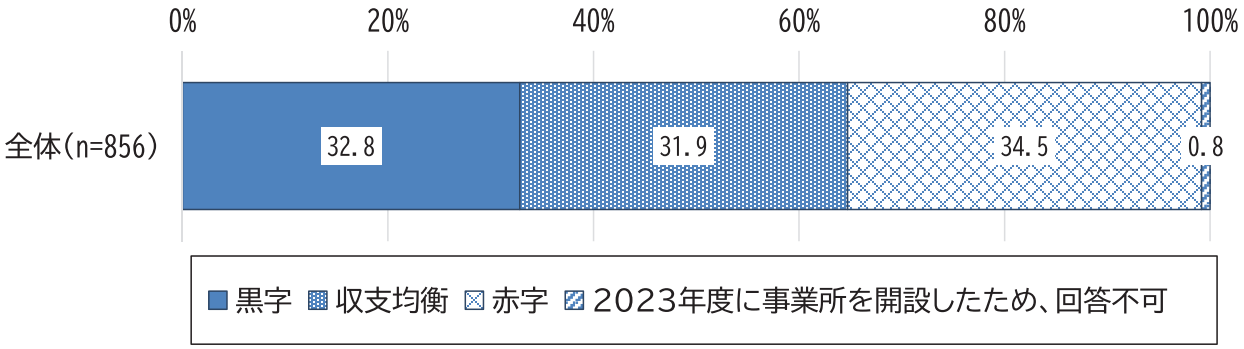
「2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の収支差の状況を教えてください」と尋ねた設問については、「赤字」の回答割合が 34.5%、「黒字」の回答割合が 32.8%、「収支均衡」の回答割合が31.9%であった[23]。

地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所において「赤字」の回答割合が他の地域の事業所に比べて高くなっている。

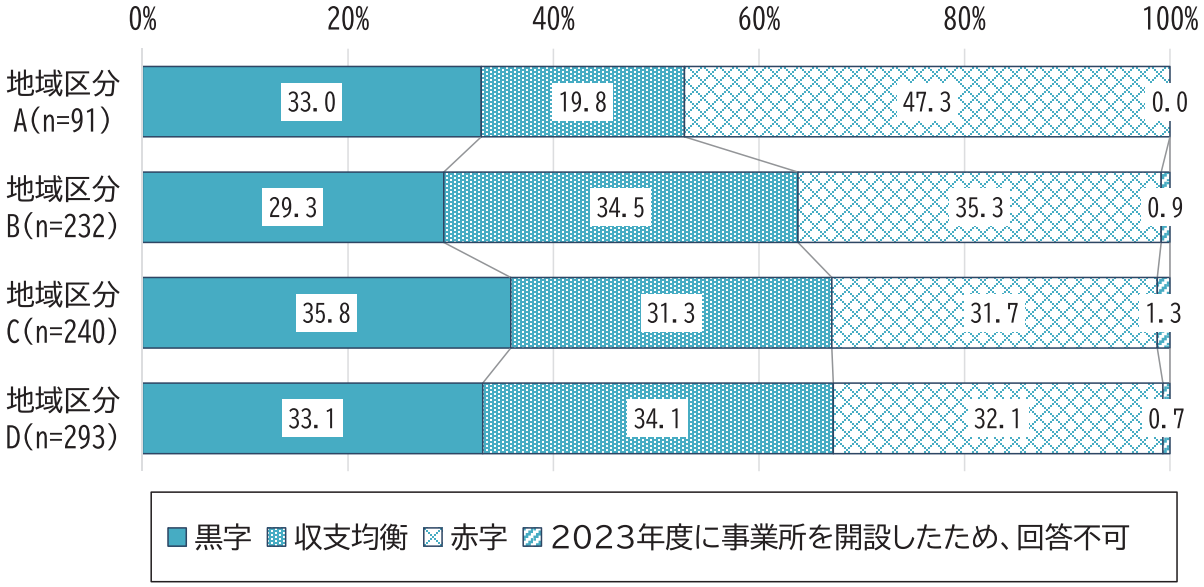
また、集合住宅割合別の集計では、集合住宅居住者へのサービスを「実施していない」と回答した事業所など、割合が低い事業所のほうが「赤字」の回答割合が高い傾向がある。

【管理者向け調査 Q54】 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の収支差の状況を教えてください。(SA)

図表 2-6-2 2022 年度決算期の収支差

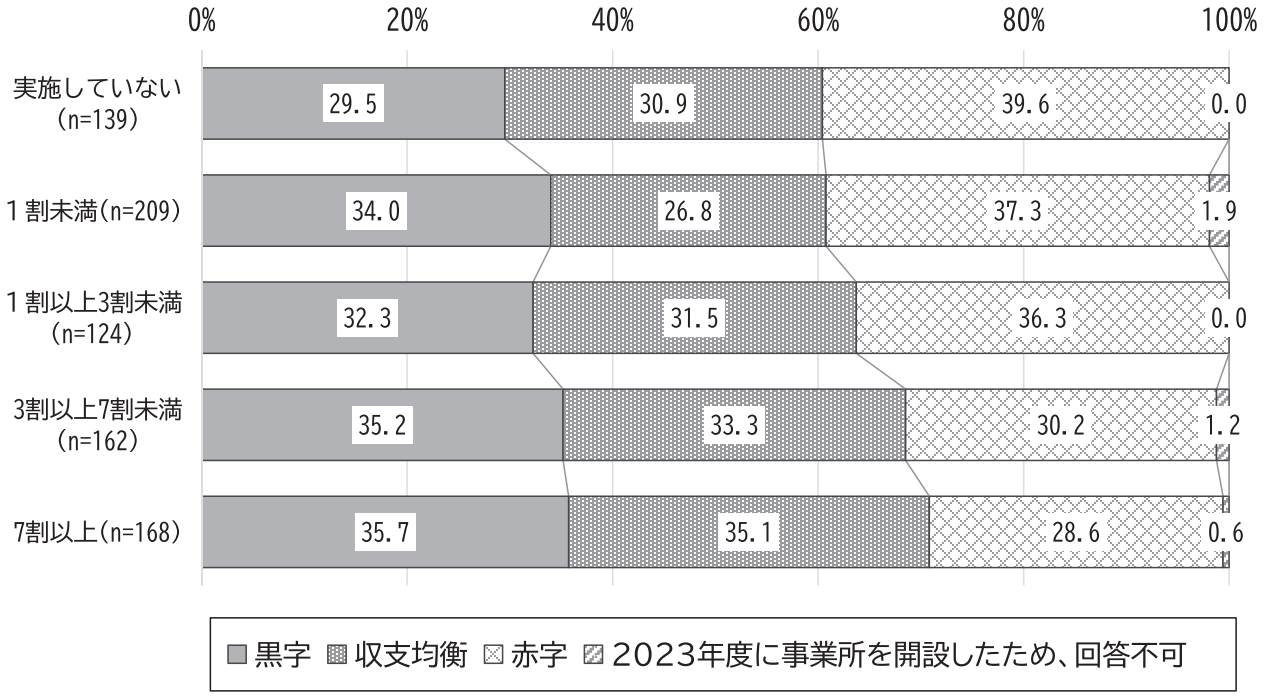


図表 2-6-3 2022 年度決算期の収支差(地域区分別)



[23] 本調査研究では、この 2022 年度決算期の収支差に関する回答情報を基に、「2023 年度に事業所を開設したため、回答不可」の回答は除き、クロス集計を行う際の軸の 1 つとした。

図表 2-6-4　2022 年度決算期の収支差（集合住宅割合別）



③ 収入・支出

「2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の収入額(事業活動収入合計または売上高(全ての事業活動収入))を教えてください」と尋ねた設問について、平均値は 4,010.4 万円、中央値は 2,505.1 万円であった。

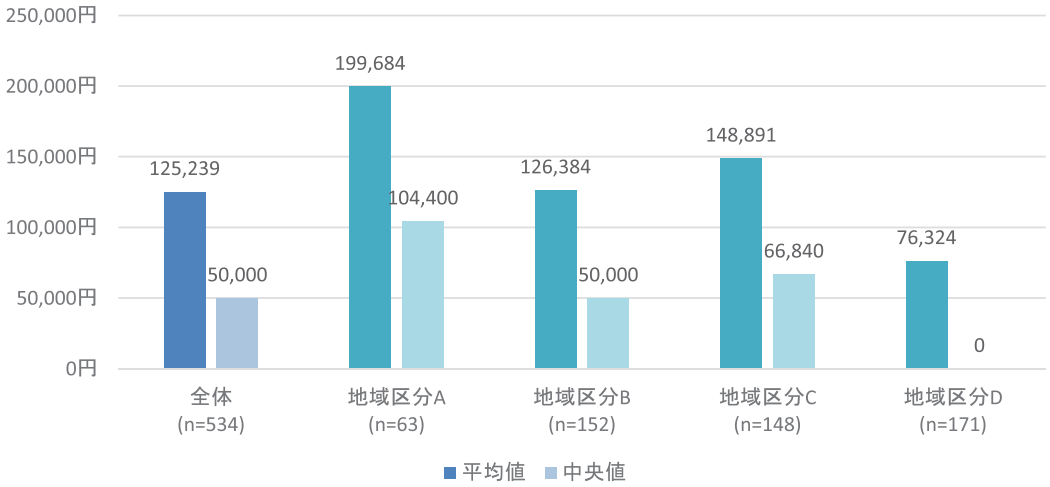
また、「2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額(事業活動支出合計)を教えてください。また、支出のうち、車両に関する費用(ガソリン代、修理費、車検費、リース代等)について教えてください。」と尋ねた設問について、支出項目別の平均値は、「車両保険料」は 12.5 万円、「車両購入費用(減価償却費用)又はリース代」は 28.5 万円、「車両燃料費用(従業員へのガソリン代補助を含む)」は 37.0 万円、「駐車料金」は 9.1 万円、「自動車税」は 4.1 万円、「車両点検、修繕費用」は 8.4 万円、「その他車両関連費用」は 8.1 万円であった [24]。

地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「車両保険料」、「車両燃料費用(従業員へのガソリン代補助を含む)」、「車両点検、修繕費用」の平均額について他の地域の事業所に比べて平均額が高くなっている。「地域区分 D(都市部地域)」の事業所では、全般的に平均額が低い項目が多いが、「駐車料金」は他の地域に比べて平均額が高くなっている。

【管理者向け調査 Q55】 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の収入額(事業活動収入合計または売上高(全ての事業活動収入))を教えてください。(NU)

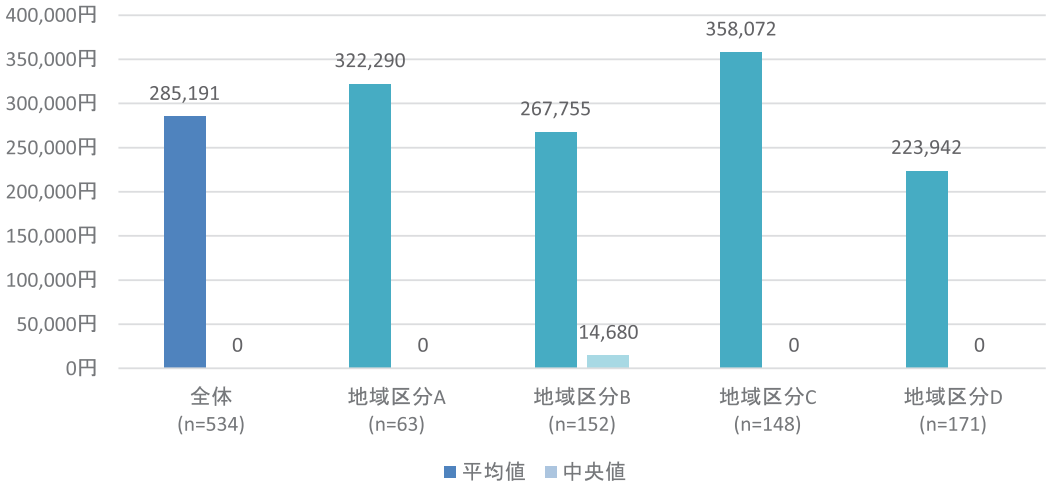
【管理者向け調査 Q56】 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額(事業活動支出合計)を教えてください。また、支出のうち、車両に関する費用(ガソリン代、修理費、車検費、リース代等)について教えてください。(NU)

図表 2-6-5 「車両保険料」の年間支出額(全体・地域区分別)

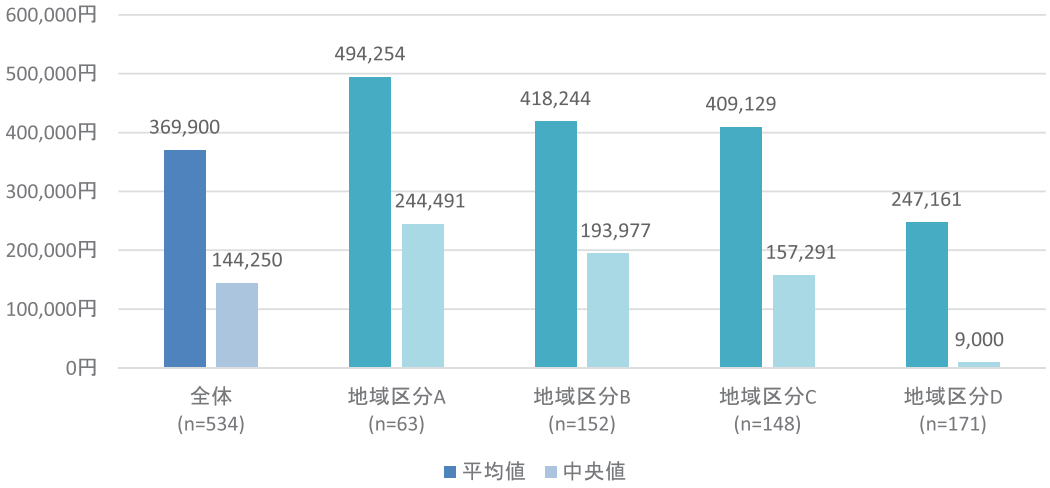


[24] 各項目に費用がかかっていない(「0 円」)の事業所の回答も集計対象に含んでいる。

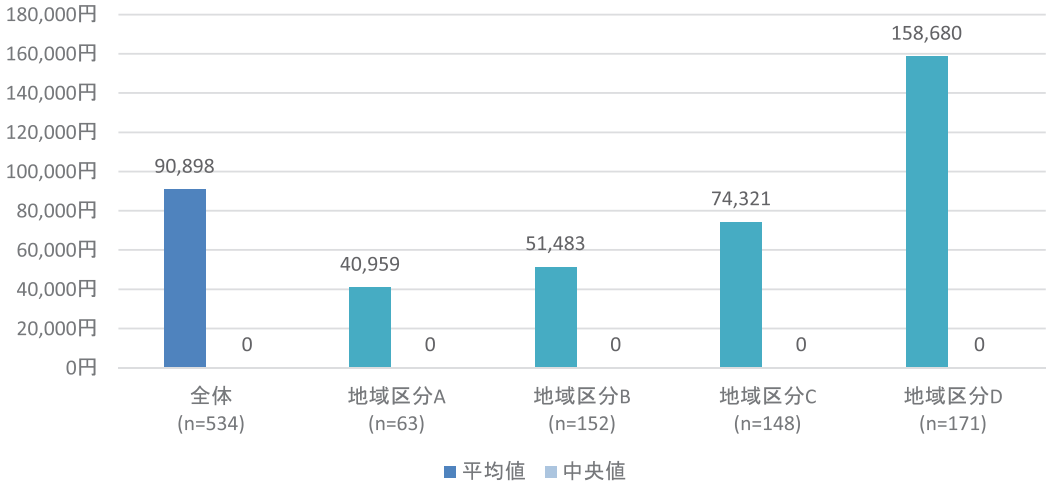
図表 2-6-6 「車両購入費用(減価償却費用)又はリース代」の年間支出額(全体・地域区分別)



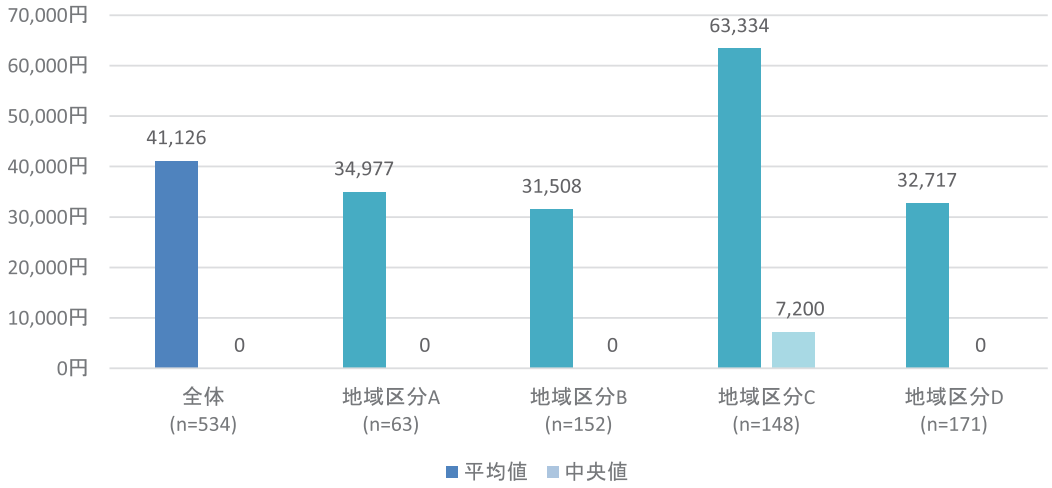
図表 2-6-7 「車両燃料費用(従業員へのガソリン代補助を含む)」の年間支出額(全体・地域区分別)



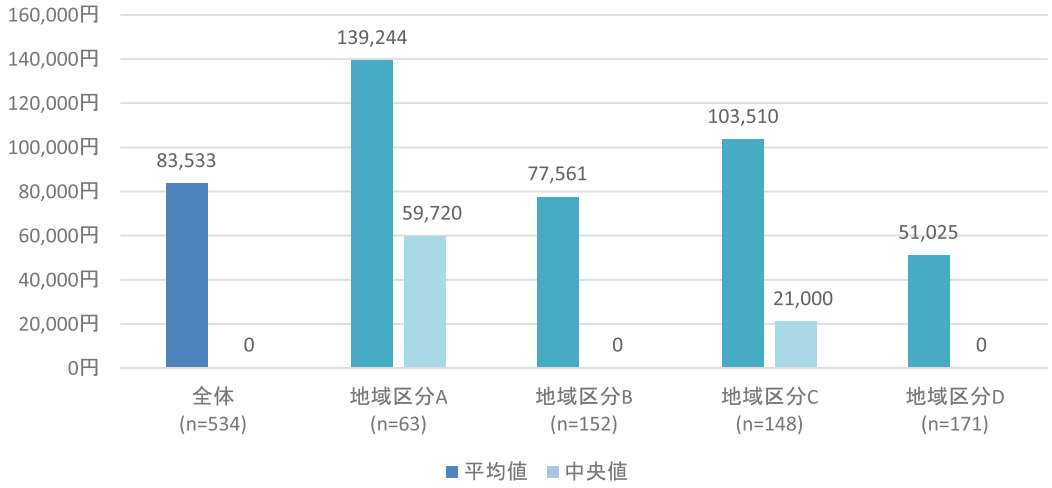
図表 2-6-8 「駐車料金」の年間支出額(全体・地域区分別)



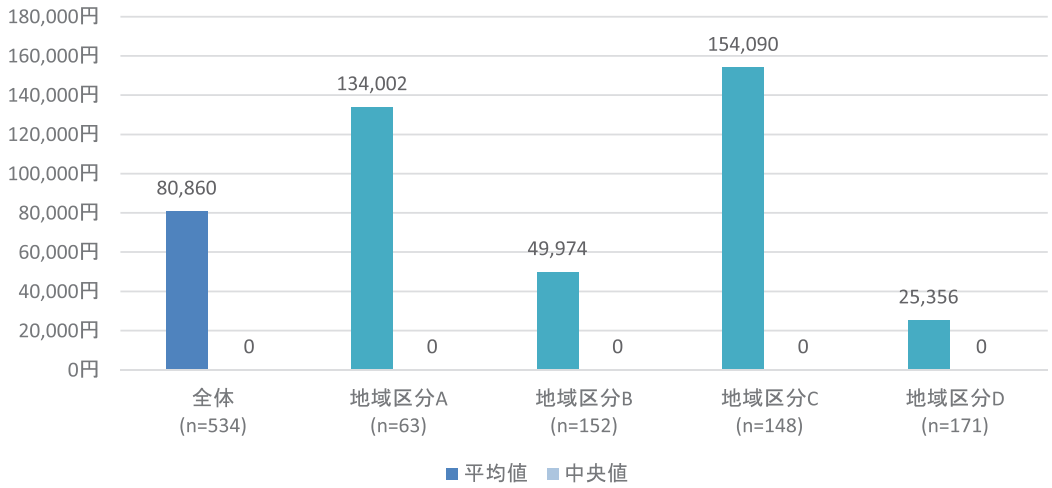
図表 2-6-9 「自動車税」の年間支出額(全体・地域区分別)



図表 2-6-10 「車両点検、修繕費用」の年間支出額(全体・地域区分別)



図表 2-6-11 「その他車両関連費用」の年間支出額(全体・地域区分別)



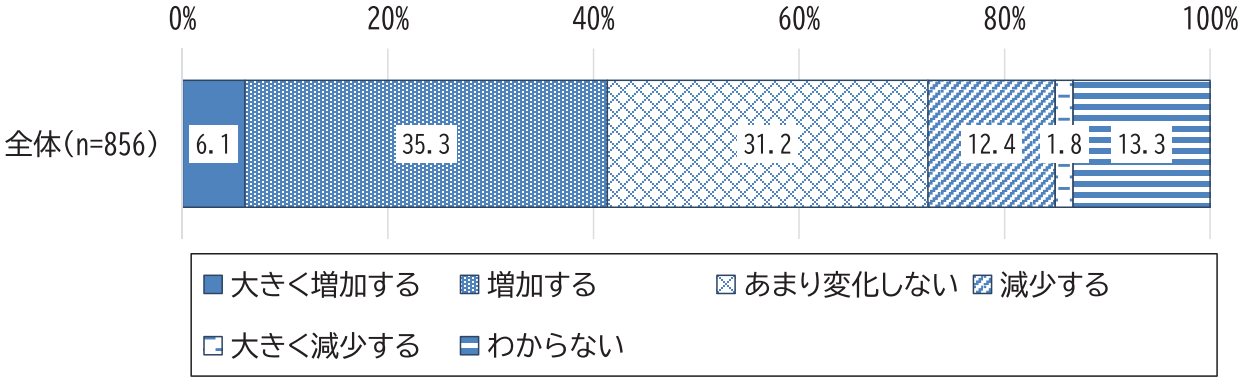
④ 今後の訪問介護サービスの需要の見通し

「今後、現在事業を展開されている地域において、訪問介護サービスの需要をどのように見込んでいますか」と尋ねた設問については、「増加する」の回答割合が 35.3%と最も高く、次いで「あまり変化しない」の回答割合が 31.2%となっている。

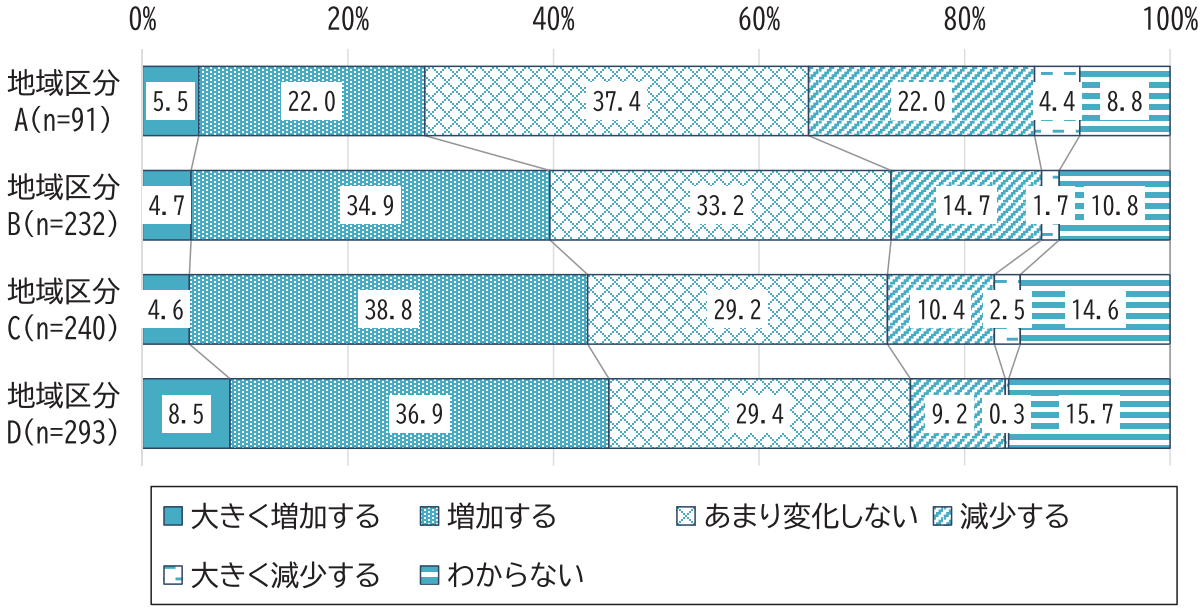
地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「減少する」と「大きく減少する」の回答割合が他の地域の事業所に比べて高くなっている。

【管理者向け調査 Q57】 今後、現在事業を展開されている地域において、訪問介護サービスの需要をどのように見込んでいますか。(SA)

図表 2-6-12 今後の訪問介護サービスの需要の見通し



図表 2-6-13 今後の訪問介護サービスの需要の見通し(地域区分別)



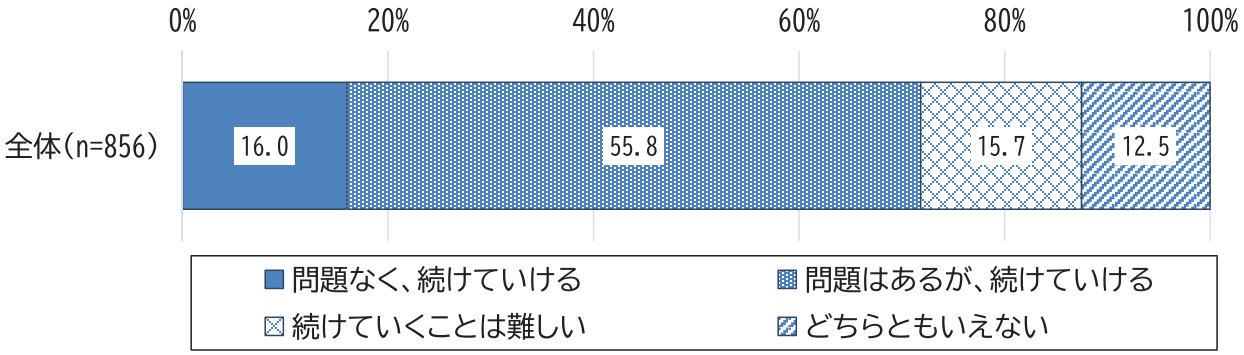
⑤ 今後の事業継続の見通し

「今後5年程度の期間について、訪問介護サービスの提供を続けていくことができると考えていますか」と尋ねた設問については、「問題はあるが、続けていける」の回答割合が 55.8%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の回答割合が 16.0%となっている。

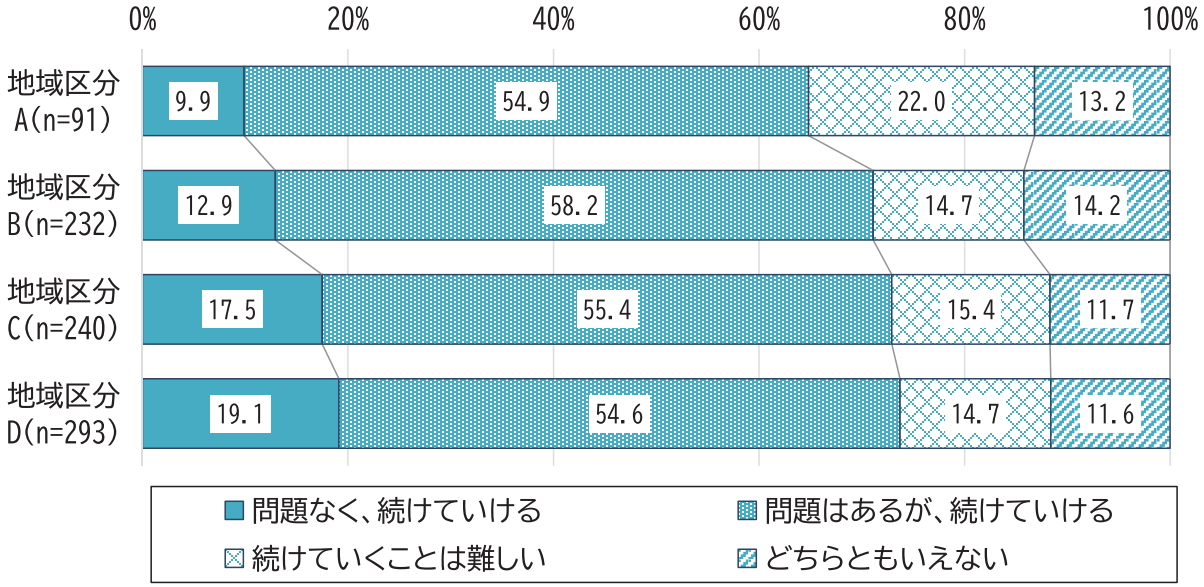
地域区分別の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所においては「続けていくことは難しい」の回答割合が他の地域の事業所に比べて高くなっている。

【管理者向け調査 Q58】 今後5年程度の期間について、訪問介護サービスの提供を続けていくことができると考えていますか。(SA)

図表 2-6-14 今後の事業継続の見通し



図表 2-6-15 今後の事業継続の見通し(地域区分別)



⑥ 事業運営に関する課題意識

「今後の事業継続や事業運営において課題と考えていることを教えてください」と尋ねた設問については、「訪問介護員の確保・定着難」の回答割合が 88.6%と最も高く、次いで「訪問介護員の高齢化」の回答割合が 82.0%となっている。

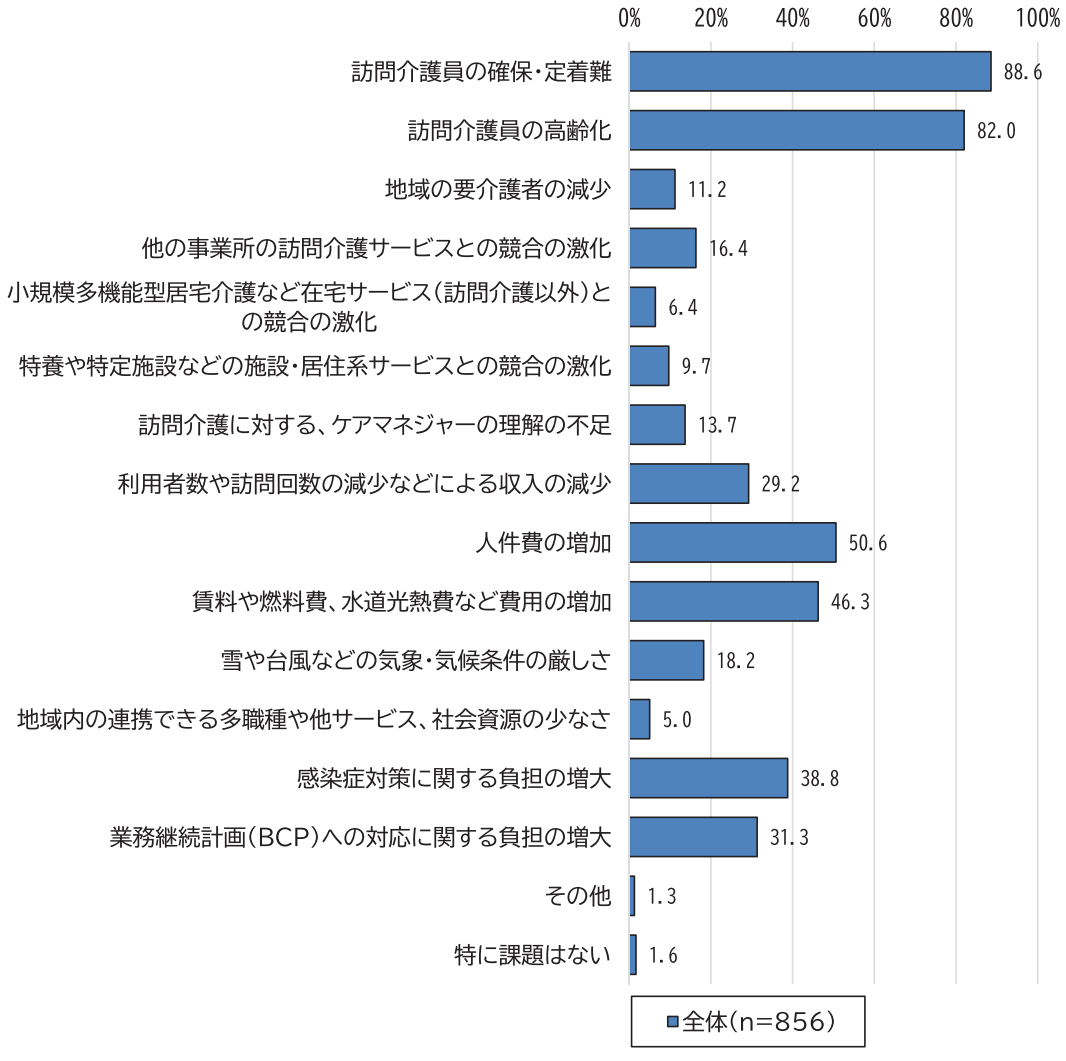
収支差の状況別の集計では、「赤字」の事業所においては「地域の要介護者の減少」、「他の事業所の訪問介護サービスとの競合の激化」、「利用者数や訪問回数の減少などによる収入の減少」、「人件費の増加」などの割合が他の地域の事業所に比べて高くなっている。

また、地域区分の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】の事業所において、「地域の要介護者の減少」、「特養や特定施設などの施設・居住系サービスとの競合の激化」、「利用者数や訪問回数の減少などによる収入の減少」、「賃料や燃料費、水道光熱費など費用の増加」、「雪や台風などの気象・気候条件の厳しさ」、「地域内の連携できる多職種や他サービス、社会資源の少なさ」、「感染症対策に関する負担の増大」の割合が他の地域の事業所と比べて高くなっている。

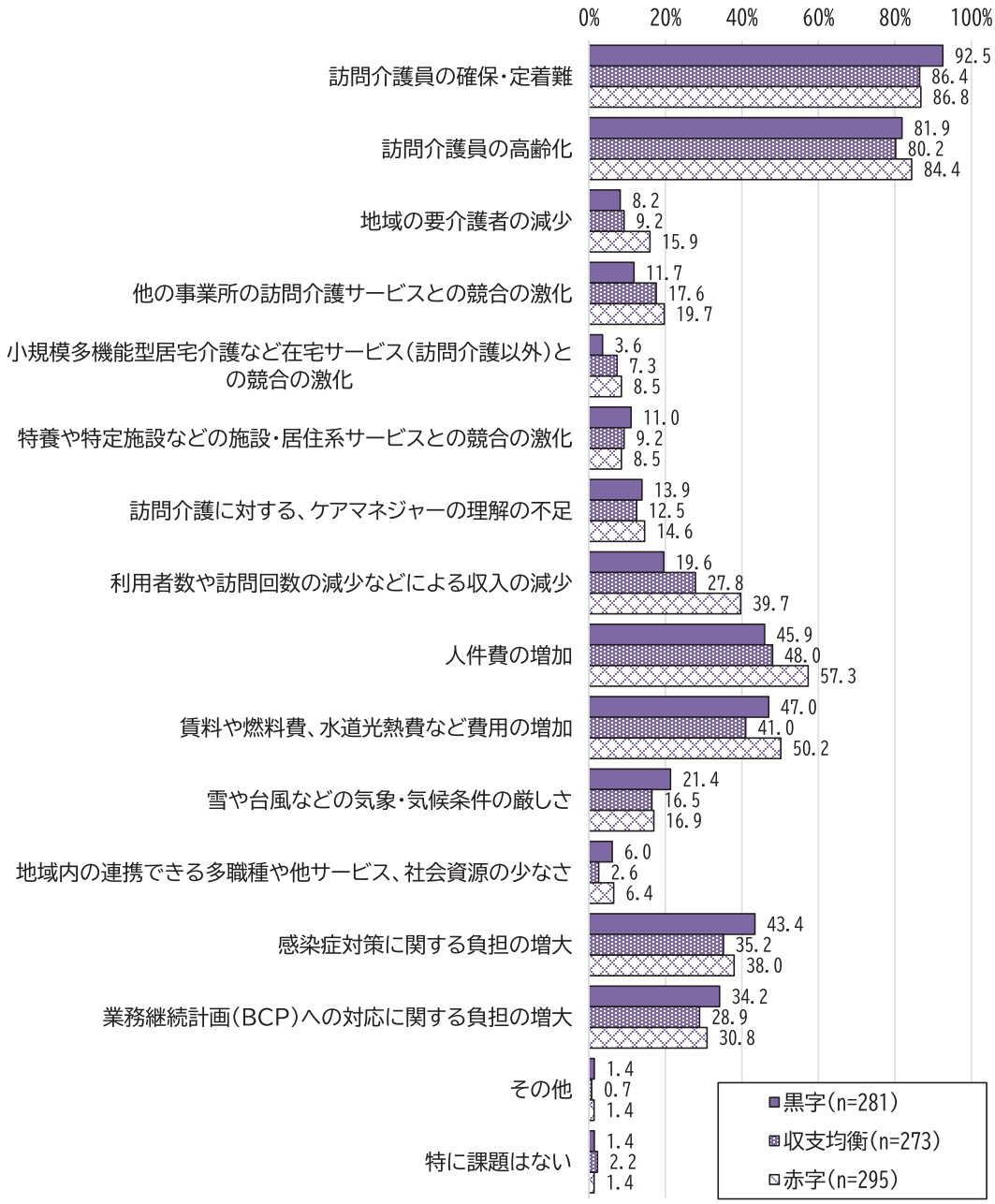
なお、「訪問介護員の確保・定着難」と「訪問介護員の高齢化」については、収支差の状況別・地域区分別のいずれの分類においても回答割合が 8 割以上となっている。

【管理者向け調査 Q59】 今後の事業継続や事業運営において課題と考えていることを教えてください。
(MA)

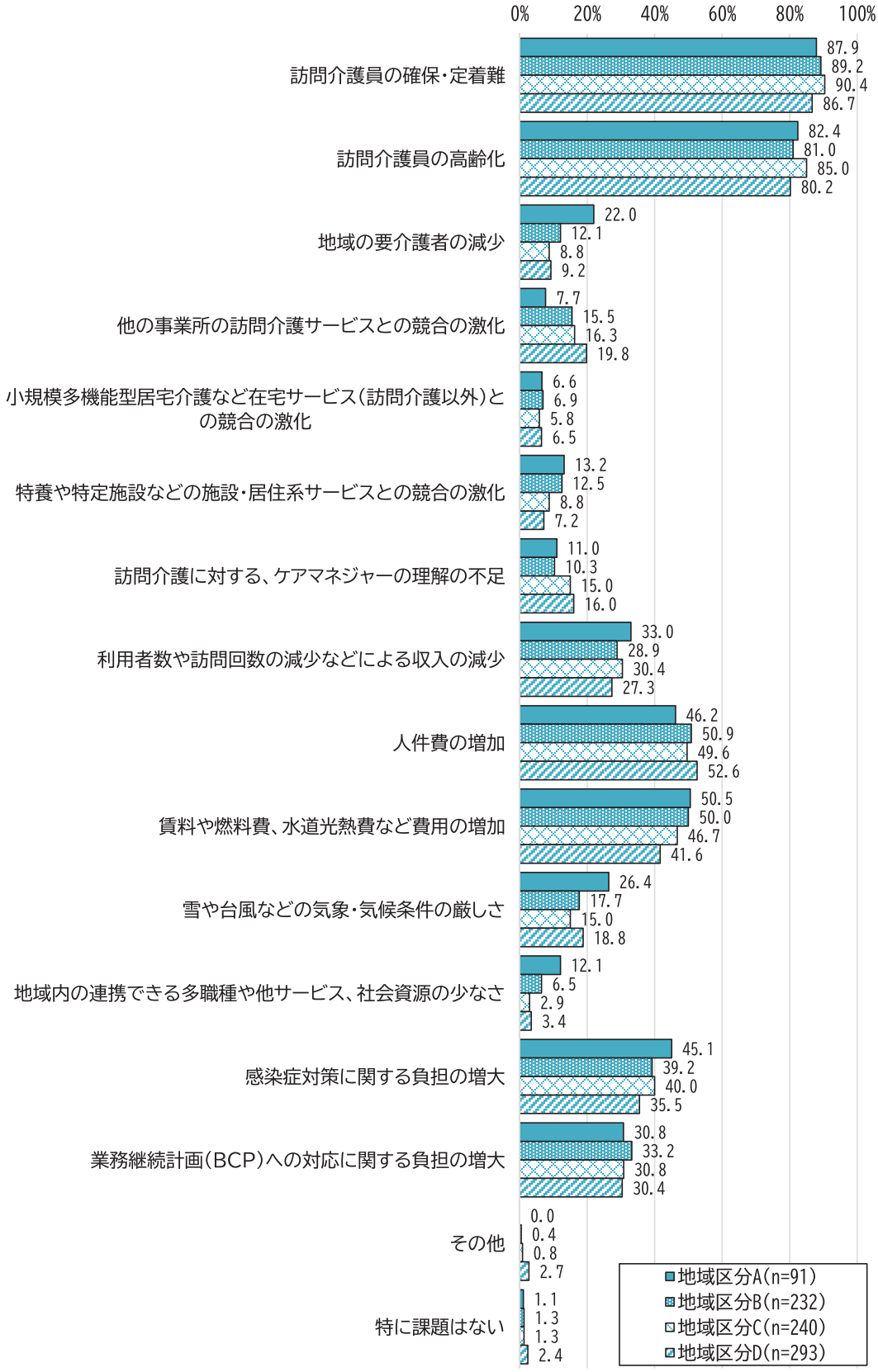
図表 2-6-16 事業運営に関する課題意識



図表 2-6-17 事業運営に関する課題意識(収支差の状況別)



図表 2-6-18　事業運営に関する課題意識（地域区分別）



⑦ 事業継続や業務改善に向けて取り組んでいること

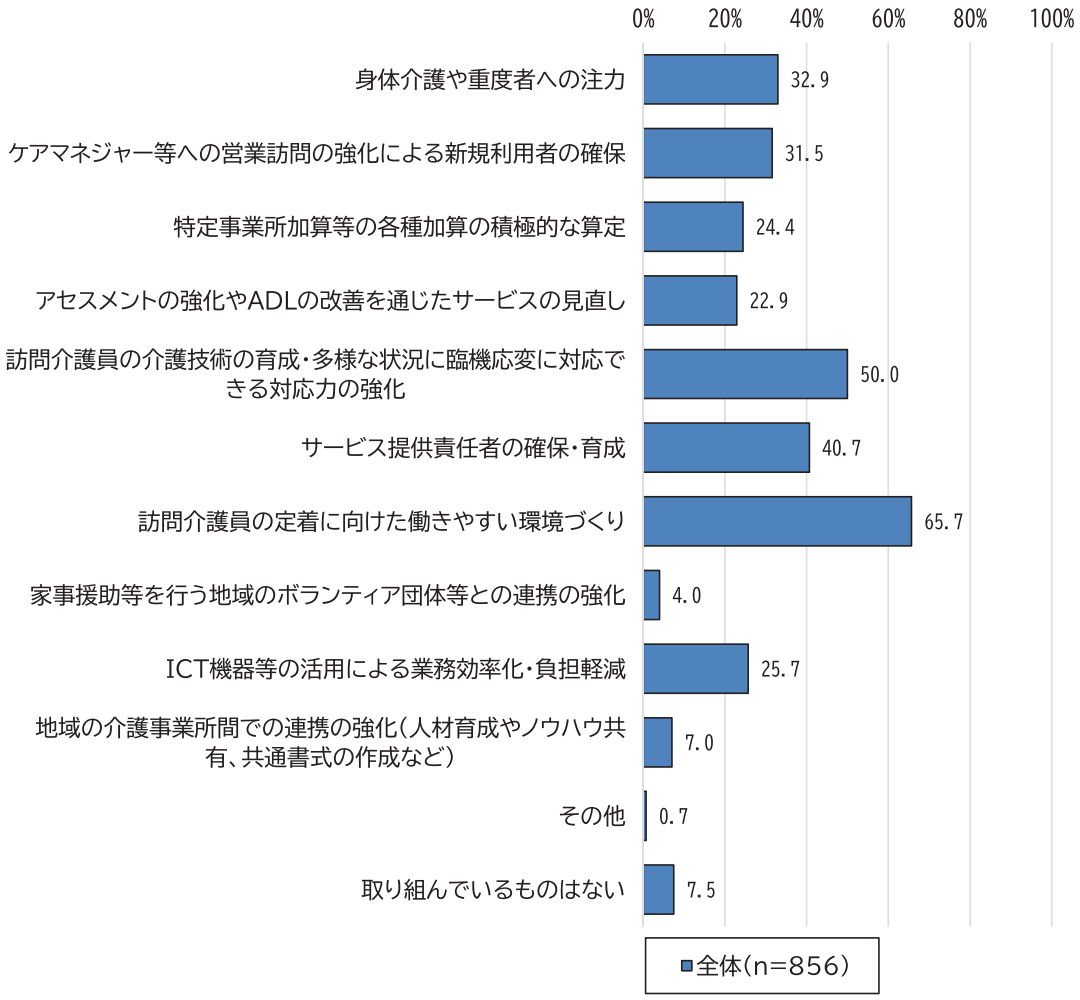
「今後の事業継続や業務効率の改善等に向けて、取り組んでいることはありますか」と尋ねた設問については、「訪問介護員の定着に向けた働きやすい環境づくり」の回答割合が 65.7%と最も高く、次いで「訪問介護員の介護技術の育成・多様な状況に臨機応変に対応できる対応力の強化」の回答割合が 50.0%となっている。

収支差の状況別の集計では、「黒字」の事業所においては「身体介護や重度者への注力」、「アセスメントの強化やADLの改善を通じたサービスの見直し」、「訪問介護員の介護技術の育成・多様な状況に臨機応変に対応できる対応力の強化」、「サービス提供責任者の確保・育成」、「訪問介護員の定着に向けた働きやすい環境づくり」、「ICT機器等の活用による業務効率化・負担軽減」などの割合が他の事業所に比べて高くなっている。

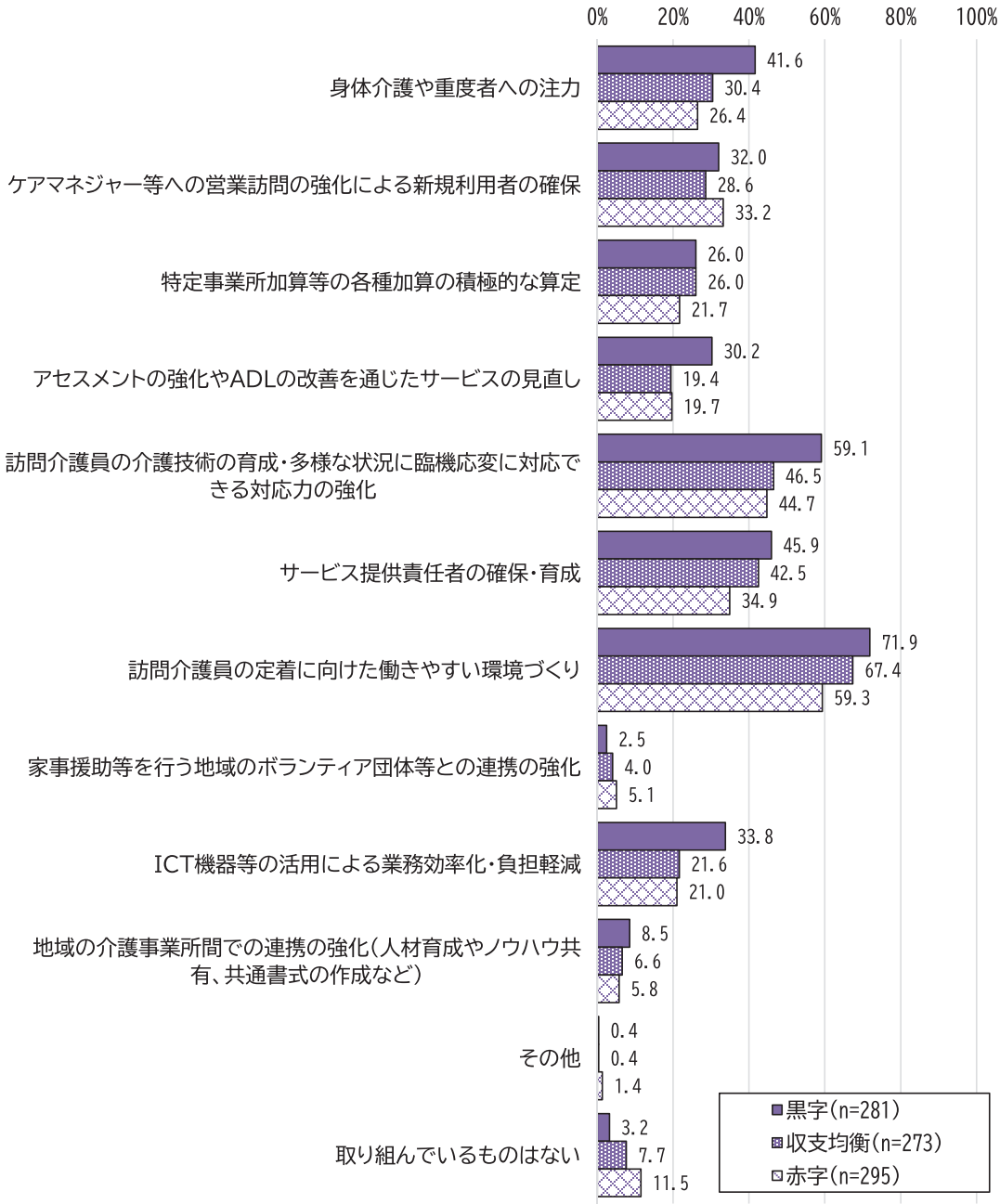
また、地域区分の集計では、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所において、「特定事業所加算等の各種加算の積極的な算定」の回答割合が他の地域の事業所に比べて若干高くなっている。

【管理者向け調査 Q60】 今後の事業継続や業務効率の改善等に向けて、取り組んでいることはありますか。(MA)

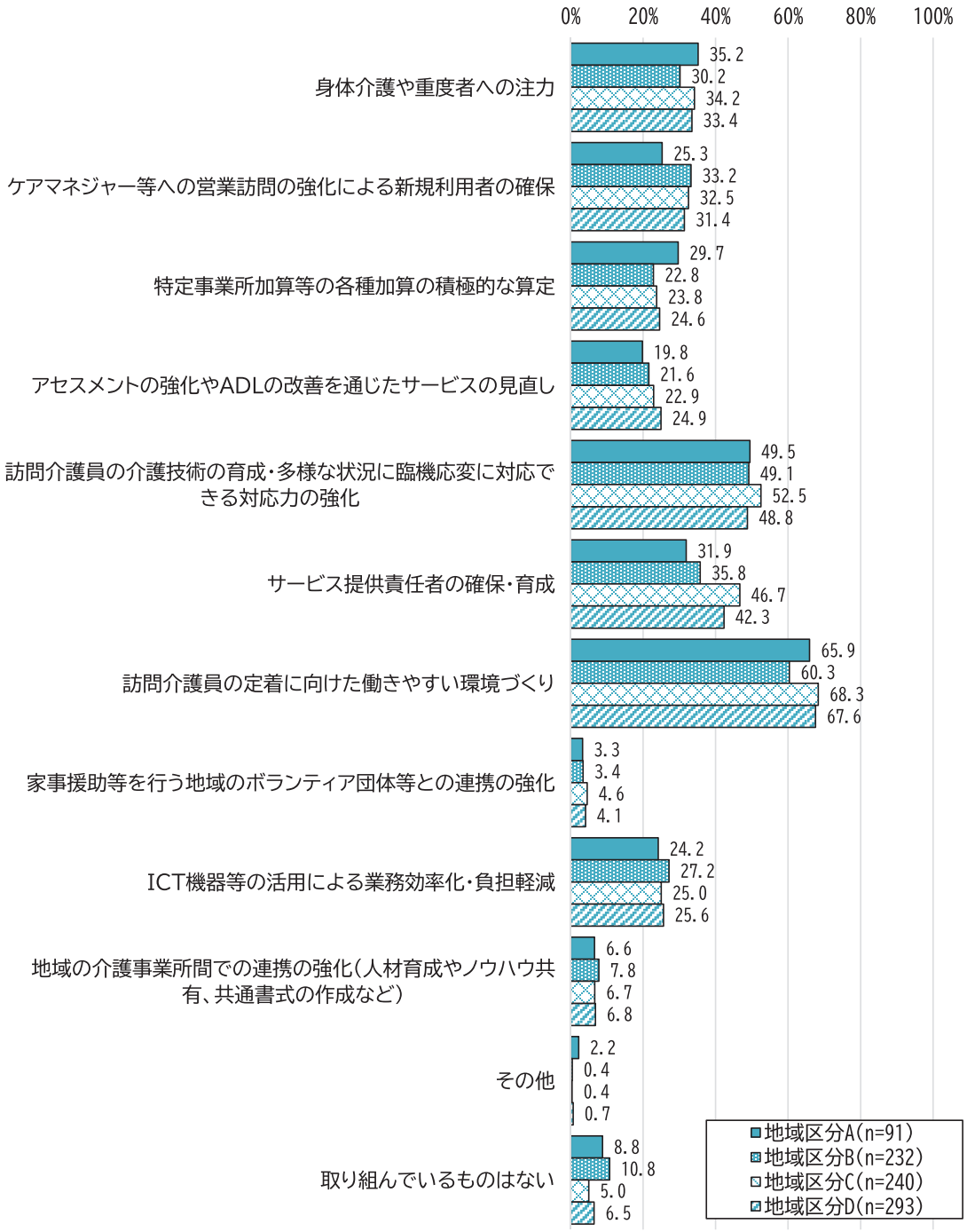
図表 2-6-19 事業継続や業務改善に向けて取り組んでいること



図表 2-6-20 事業継続や業務改善に向けて取り組んでいること（収支差の状況別）



図表 2-6-21　事業継続や業務改善に向けて取り組んでいること（地域区分別）



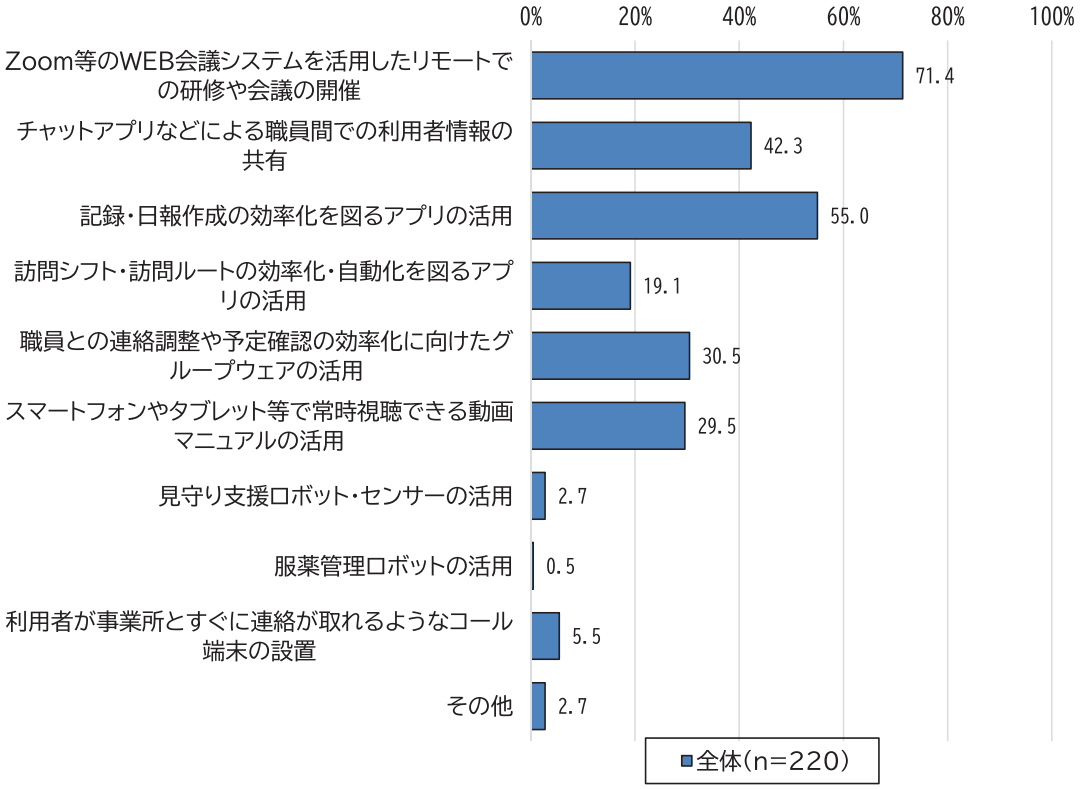
⑧ 利用しているICT機器やサービス

今後の事業継続や業務効率の改善等に向けて取り組んでいることとして「ICT機器等の活用による業務効率化・負担軽減」と回答した場合に、「訪問介護サービスの提供に当たり貴事業所が利用しているICT機器やサービスを教えてください」と尋ねた。

この設問の回答については、「Zoom等のWEB会議システムを活用したリモートでの研修や会議の開催」の回答割合が 71.4%と最も高く、次いで「記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用」の回答割合が55.0%、「チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有」の回答割合が 42.3%となっている。

【管理者向け調査 Q61】 訪問介護サービスの提供に当たり貴事業所が利用しているICT機器やサービスを教えてください。(MA)

図表 2-6-22 利用しているICT機器やサービス



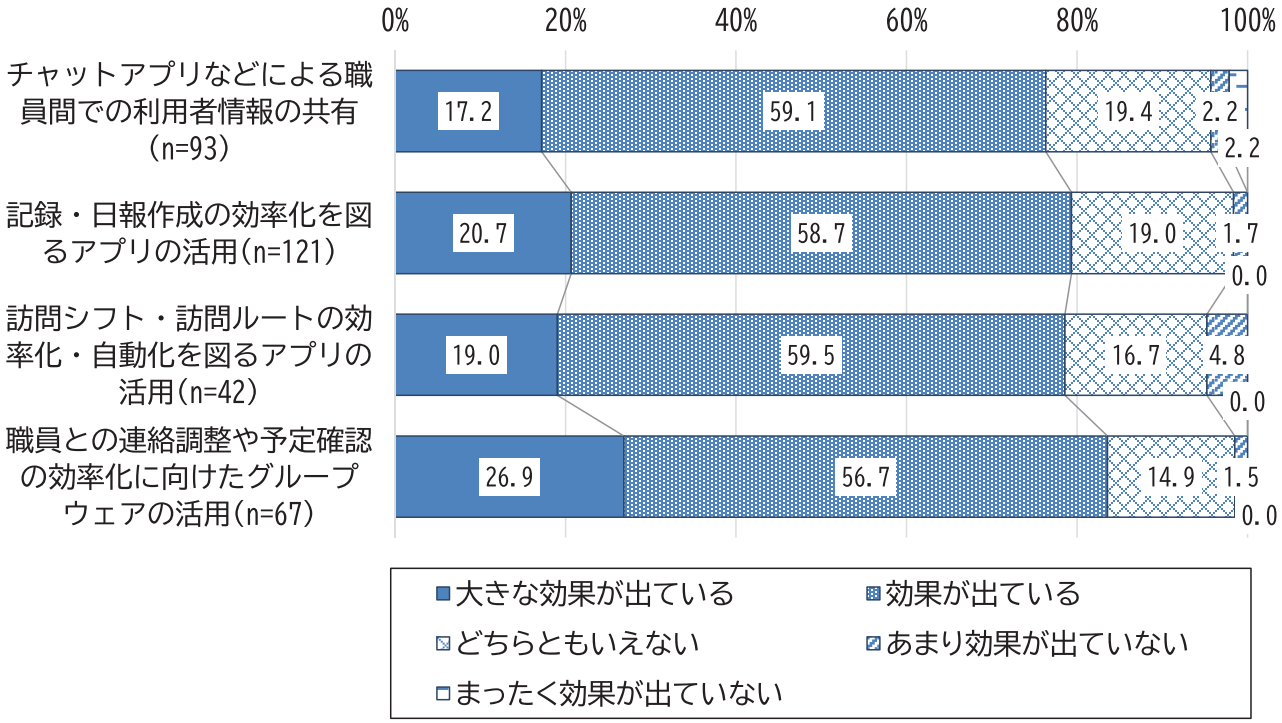
⑨ ICT 機器やサービス利用にあたっての効果の認識

ICT機器やサービスの利用に関して、「チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有」、「記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用」、「訪問シフト・訪問ルートの効率化・自動化を図るアプリの活用」、「職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用」のそれぞれについて利用していると回答した事業者には、「貴事業所で利用しているICT機器やサービスについて、訪問介護員の移動に関する業務負担の軽減に効果が出ていると感じるものはありますか」と尋ねた。

この設問に対する回答は、それぞれ、「大きな効果が出ている」と「効果が出ている」を合わせた割合が約8 割となっており、「職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用」については「大きな効果が出ている」の割合が若干高くなっている。

【管理者向け調査 Q62】 貴事業所で利用しているICT機器やサービスについて、訪問介護員の移動に関する業務負担の軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。(SA)

図表 2-6-23 ICT 機器やサービス利用にあたっての効果の認識

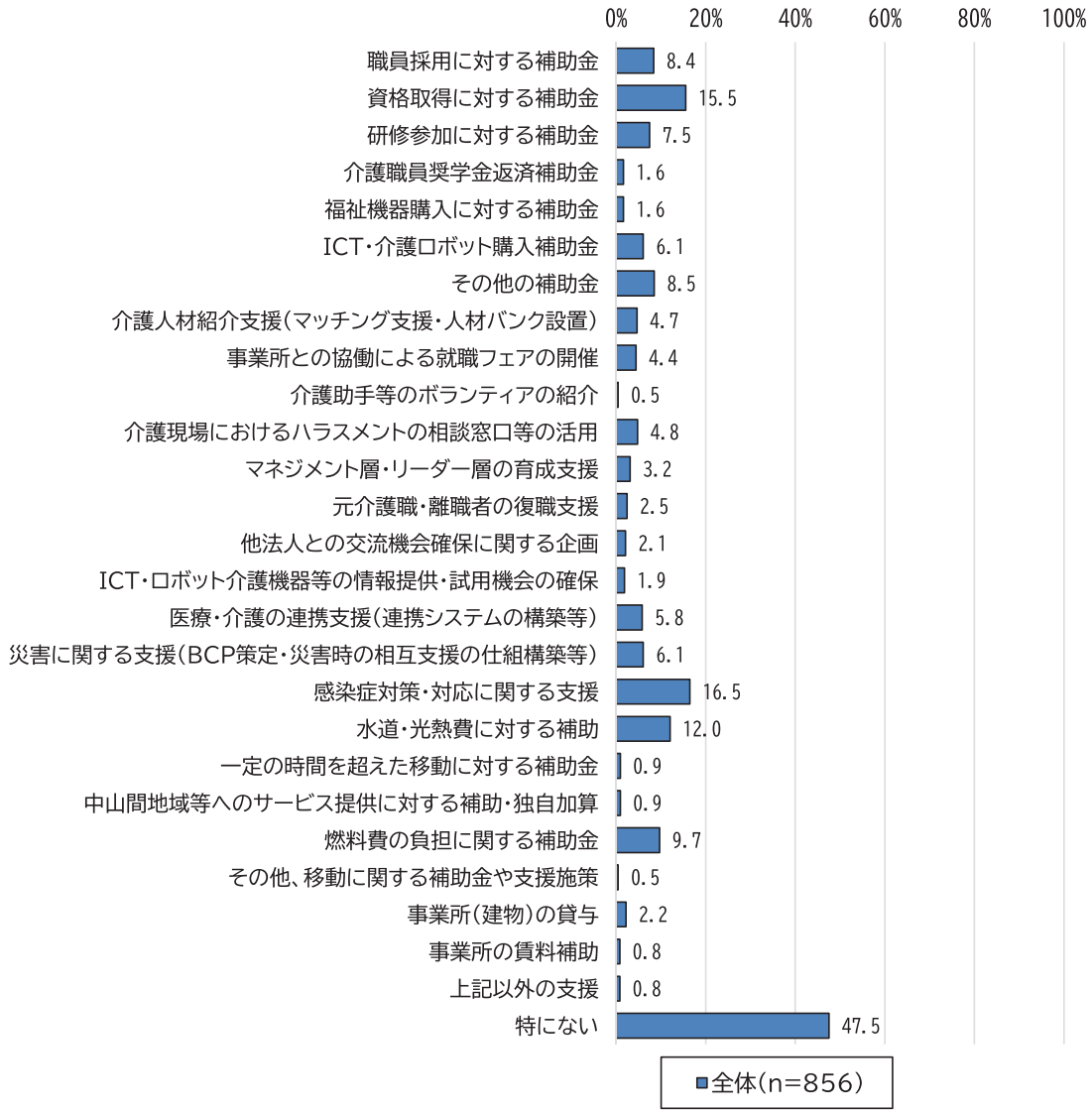


⑩ 活用している自治体等の支援策

「貴事業所において、現在、活用している自治体等の支援策がありましたら教えてください」と尋ねた設問については、「特にない」の回答割合が 47.5%と最も高いが、このほかでは、「感染症対策・対応に関する支援」の回答割合が 16.5%、「資格取得に対する補助金」の回答割合が 15.5%、「水道・光熱費に対する補助」の回答割合が 12.0%、「燃料費の負担に関する補助金」の回答割合が 9.7%となっている。

【管理者向け調査 Q64】 貴事業所において、現在、活用している自治体等の支援策がありましたら教えてください。(MA)

図表 2-6-24 活用している自治対応の支援策



第3章 アンケート調査結果（訪問介護員向け調査）

（1） 訪問介護員向け調査に関するまとめ

① 人材像

○ アンケート回答者の年齢について、「登録ヘルパー」の方については「60 歳代」の割合が最も高いという状況であった（図表 3-2-2）。また、「70 歳代」や「80 歳代以上」の回答が合わせて 15.8%となっている。

○ 性別は女性の方の割合が高く（図表 3-2-3）、訪問介護員の経験年数は「10年以上」の回答割合が 4 割以上であった（図表 3-2-5）。

② 勤務状況、移動に関する状況

○ 1 日の勤務の状況について「常勤」、「非常勤」、「登録ヘルパー」のそれぞれについて地域区分別に集計すると、「常勤」の方に関しては、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所において「1 日当たりの訪問件数」や「1 日当たりの移動距離」の平均値が他の地域の事業所に比べて高く、「1 日当たりの事務的業務」の時間の平均値は低くなっている（図表 3-3-8）。

○ また、「非常勤」や「登録ヘルパー」の方に関しても、「1 日当たりの移動距離」に関して「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の場合には、他の地域に比べて平均値が高くなっている（図表 3-3-9、図表 3-3-10）。

○ 利用者宅への直行直帰の有無について、雇用形態別の集計では、「登録ヘルパー」の方の場合においては「ある（自宅から直行直帰のみである）」の回答割合が 6 割以上となっている（図表 3-3-12）。また、直行直帰を行うことが「ない」の割合を、「常勤」、「非常勤」、「登録ヘルパー」のそれぞれについて地域区分別に集計すると、「常勤」と「非常勤」の方に関して、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所では他の地域の事業所に比べてその割合が高くなっている（図表 3-3-13 、図表 3-3-14）。

○ 利用者宅への訪問に関する課題については、「天候不順時の負担・不安が大きい」の回答割合が約 4 割、「ガソリン代の負担が大きい」の回答割合が約 3 割となっている（図表 3-3-34）。

③ 業務に関する満足度・負担感

○ 「訪問介護員の仕事に対する総合的な満足感」については、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合が 34.6%、「不満」と「やや不満」を合わせた回答割合は 16.8%であった（図表 3-5-11）。

○ また、「仕事の内容・やりがい」については「満足」と「やや満足」を合わせた割合が 5 割を超える（図表 3-5-1）が、負担感について、「身体的な負担の水準」については約 4 割（図表 3-5-9）、「精神的な負担の水準」については約 5 割（図表 3-5-10）の方が「負担が大きい」または「やや負担が大きい」という回答であった。

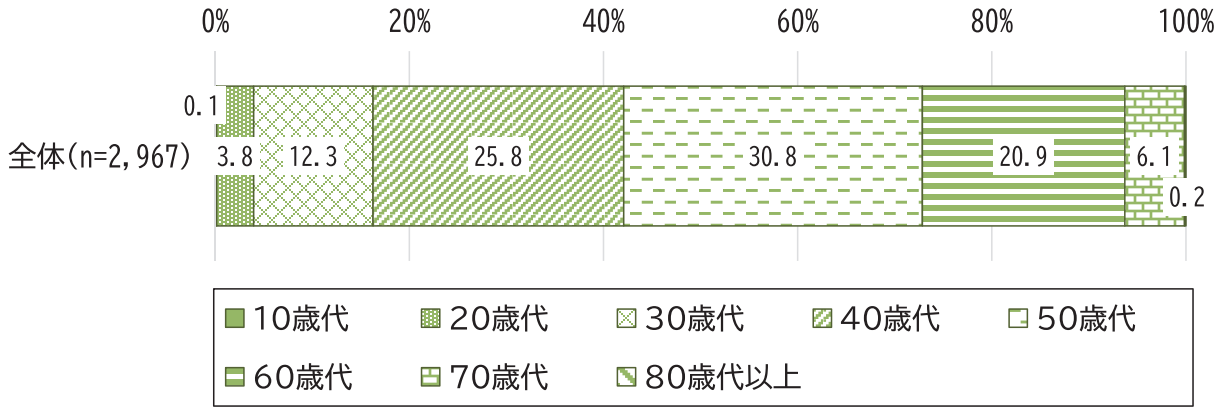
（2） 回答者の属性

① 年齢

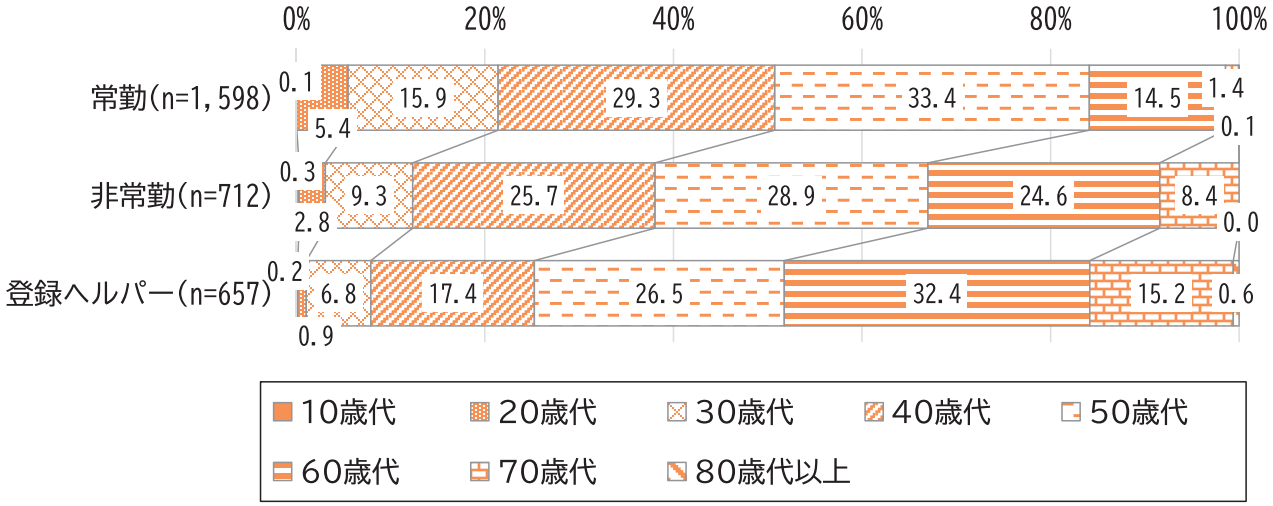
「あなたの年齢を教えてください」と尋ねた設問については、「50歳代」の回答割合が 30.8%と最も高く、次いで「40歳代」の回答割合が 25.8%となっている。
雇用形態別の集計では、「登録ヘルパー」の方においては「60 歳代」の回答割合が最も高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q1】 あなたの年齢を教えてください。(SA)

図表 3-2-1 回答者の年齢



図表 3-2-2 回答者の年齢(雇用形態別)

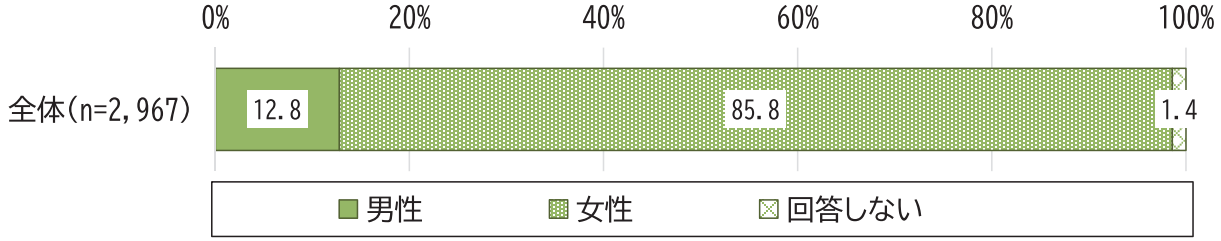


② 性別

「あなたの性別を教えてください」と尋ねた設問については、「女性」の回答割合が 85.8%、「男性」の回答割合が 12.8%となっている。

【訪問介護員向け調査 Q2】 あなたの性別を教えてください。(SA)

図表 3-2-3 回答者の性別

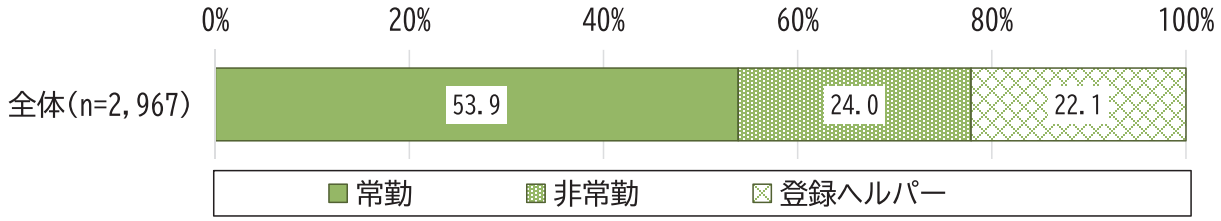


③ 雇用形態

「あなたの雇用形態について教えてください」と尋ねた設問については、「常勤」の回答割合が 53.9%、「非常勤」の回答割合が 24.0%、「登録ヘルパー」の回答割合が 22.1%となっている。

【訪問介護員向け調査 Q3】 あなたの雇用形態について教えてください。(SA)

図表 3-2-4 回答者の雇用形態

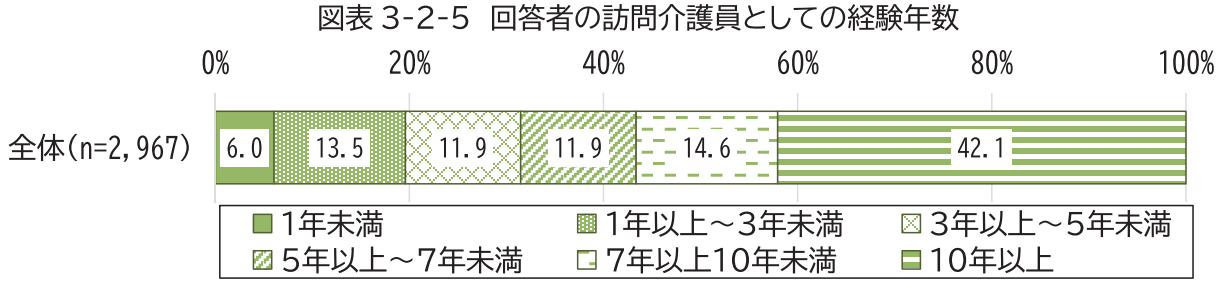


④ 訪問介護員としての経験年数

「あなたの訪問介護員としての経験年数を教えてください」と尋ねた設問については、「10年以上」の回答割合が 42.1%と最も高く、次いで「7年以上10年未満」の回答割合が 14.6%となっている。

【訪問介護員向け調査 Q4】 あなたの訪問介護員としての経験年数を教えてください。(SA)

図表 3-2-5 回答者の訪問介護員としての経験年数



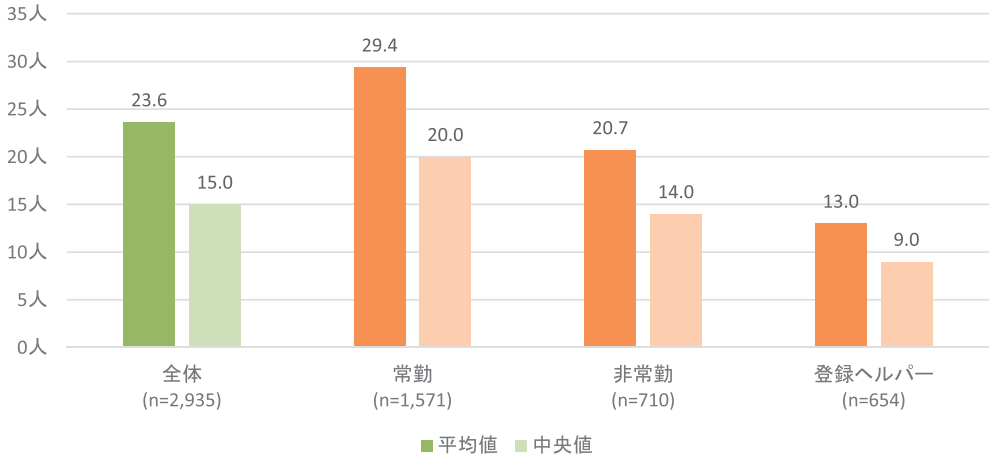
⑤ 担当している利用者の人数、利用者の住まいの状況

「あなたが2023年7月に担当した、指定訪問介護の利用者数(実人数)を教えてください」と尋ねた設問について、平均値は 23.6 人、中央値は 15.0 人であった。雇用形態別では、「常勤」の方の平均は 29.4 人、「非常勤」の方の平均は 20.7 人、「登録ヘルパー」の方の平均は 13.0 人となっている。

また、「あなたが2023年7月に担当した利用者のうち、高齢者住宅(特定施設を除くサ高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)、シルバーハウジング等)や集合住宅(マンション・アパート・団地など)に住む利用者人数(実人数)を教えてください」と尋ねた設問について、平均値は 9.4 人、中央値は 3.0 人であった [25]。

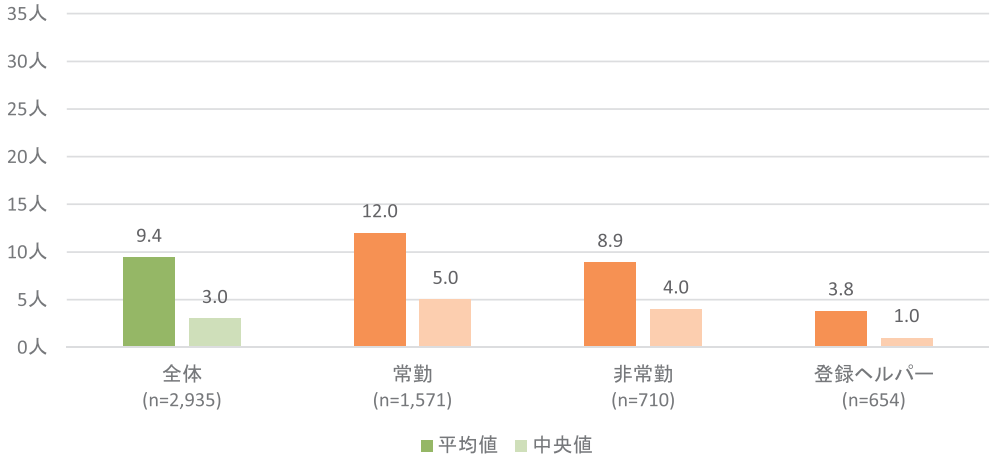
【訪問介護員向け調査 Q5】 あなたが2023年7月に担当した、指定訪問介護の利用者数(実人数)を教えてください。(NU)

図表 3-2-6 2023 年 7 月に担当した利用者の人数(全体・雇用形態別)



【訪問介護員向け調査 Q6】 あなたが2023年7月に担当した利用者のうち、高齢者住宅(特定施設を除くサ高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)、シルバーハウジング等)や集合住宅(マンション・アパート・団地など)に住む利用者人数(実人数)を教えてください。(NU)

図表 3-2-7 2023 年 7 月に担当した利用者のうち集合住宅に住む利用者人数(全体・雇用形態別)



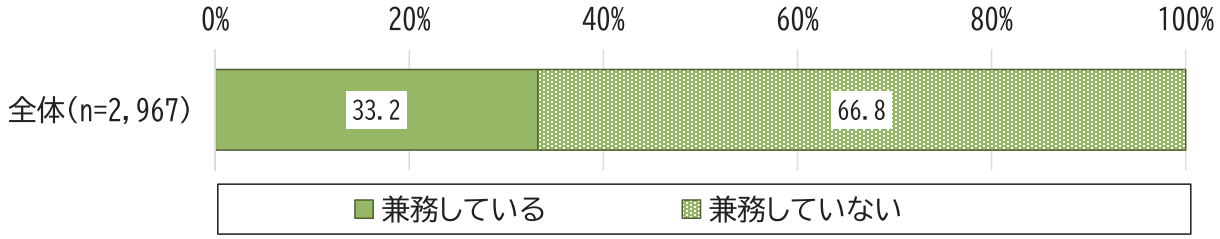
[25] 本調査研究では、この利用者のうち集合住宅に住む利用者人数に関する回答情報を基に、利用者全体に占める割合を算出し、回答件数の分布を踏まえ「①0%」、「②30%未満」、「③30%以上 100%未満」、「④100%」の4つに分類し、クロス集計を行う際の軸の 1 つとした。

⑥ サービス提供責任者との兼務状況

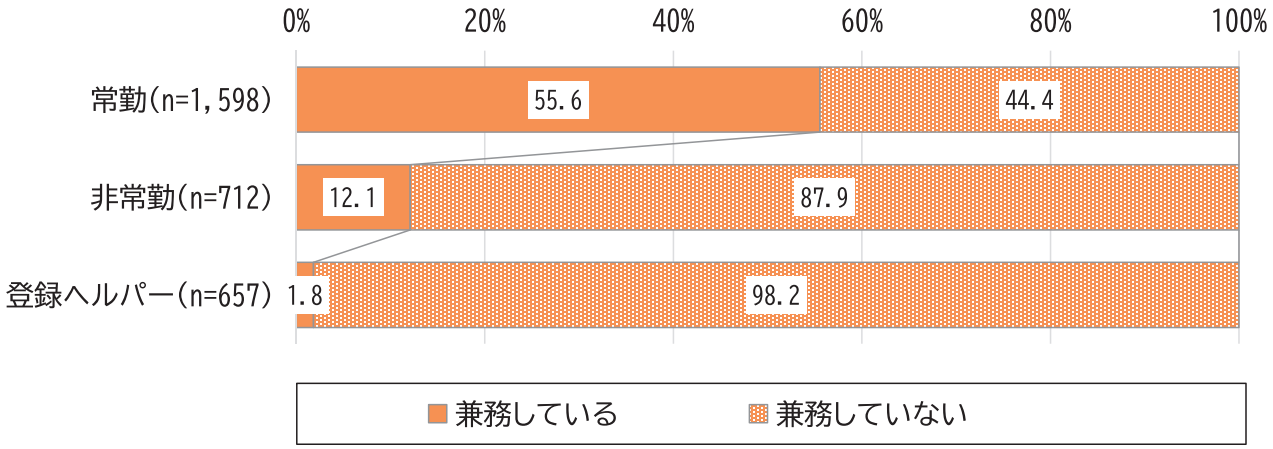
「あなたはサービス提供責任者と訪問介護員を兼務していますか」と尋ねた設問については、「兼務していない」の回答割合が 66.8%、「兼務している」の回答割合は 33.2%であった。
雇用形態別では、「常勤」の方において「兼務している」の回答は 55.6%であった。

【訪問介護員向け調査 Q7】 あなたはサービス提供責任者と訪問介護員を兼務していますか。(SA)

図表 3-2-8 サービス提供責任者との兼務状況



図表 3-2-9 サービス提供責任者との兼務状況(雇用形態別)

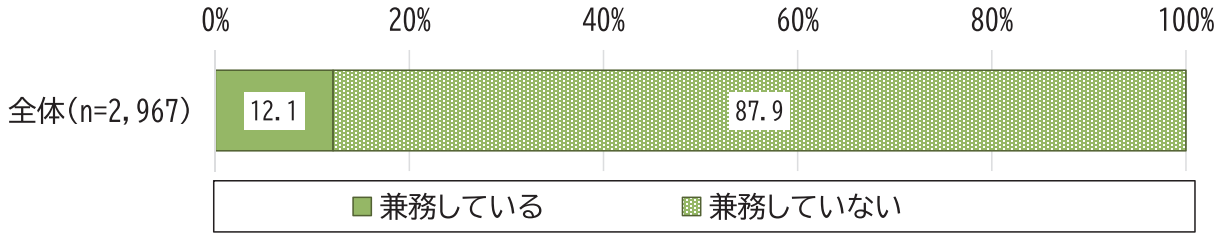


⑦ 訪問介護以外の介護保険サービス事業所との兼務状況

「あなたは、同一法人内で訪問介護以外の介護保険サービス事業所との兼務をしていますか」と尋ねた設問については、「兼務していない」の回答割合が 87.9%、「兼務している」の回答割合は 12.1%であった。

【訪問介護員向け調査 Q8】 あなたは、同一法人内で訪問介護以外の介護保険サービス事業所との兼務をしていますか。(SA)

図表 3-2-10 訪問介護以外の介護保険サービス事業所との兼務状況



（3） 勤務状況、移動に関する状況

① １日の勤務状況

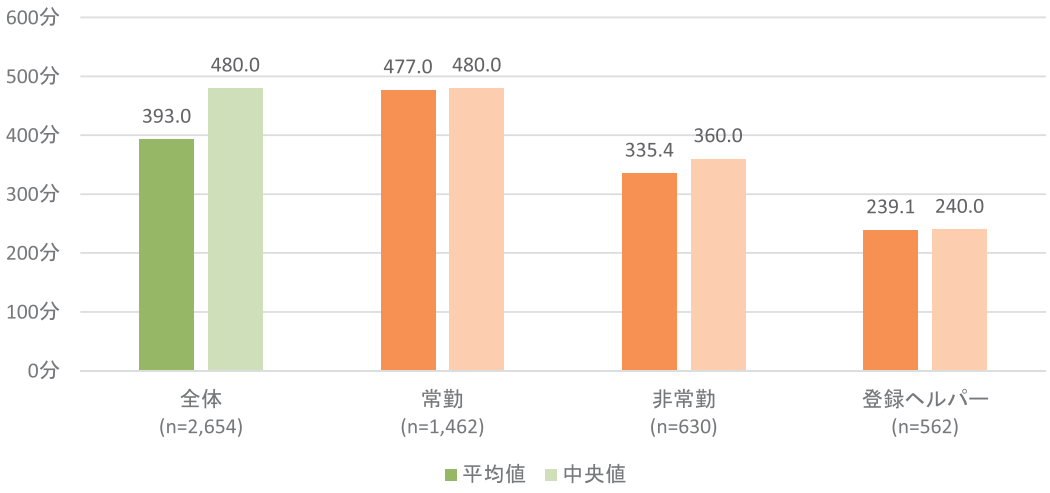
「あなたの業務内容について、1日当たりの一般的な状況を教えてください」と尋ねた設問の回答結果の平均値は、「1 日当たりの一般的な労働時間」は 393.0 分、「1日当たりの一般的な訪問件数」は 4.8 件、「1日当たりの一般的なサービス提供時間(1日の合計)」は 228.8 分、「1日当たりの一般的な事務的業務の時間(1日の合計)」は 94.1 分、「1日当たりの一般的な移動時間(1日の合計)」は 66.0 分、「1日当たりの一般的な待機時間(1日の合計)」は 46.5 分、「1日当たりの一般的な移動距離(1日の合計)」は 16.6 ㎞であった。

雇用形態別の集計では、雇用形態別に各項目に関して平均値の差が大きくなっており、「待機時間」以外では、「常勤」の方の場合に平均値が高くなっている。

この結果も踏まえ、「常勤」、「非常勤」、「登録ヘルパー」のそれぞれについて地域区分別に集計すると[26]、「常勤」の方に関しては、「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の事業所において「1 日当たりの訪問件数」や「1 日当たりの移動距離」の平均値が他の地域の事業所に比べて高く、「1 日当たりの事務的業務」の時間の平均値は低くなっている。また、「非常勤」や「登録ヘルパー」の方に関しても、「1 日当たりの移動距離」に関して「地域区分 A(中山間地域【全域】)」の場合には、他の地域に比べて平均値が高くなっている。

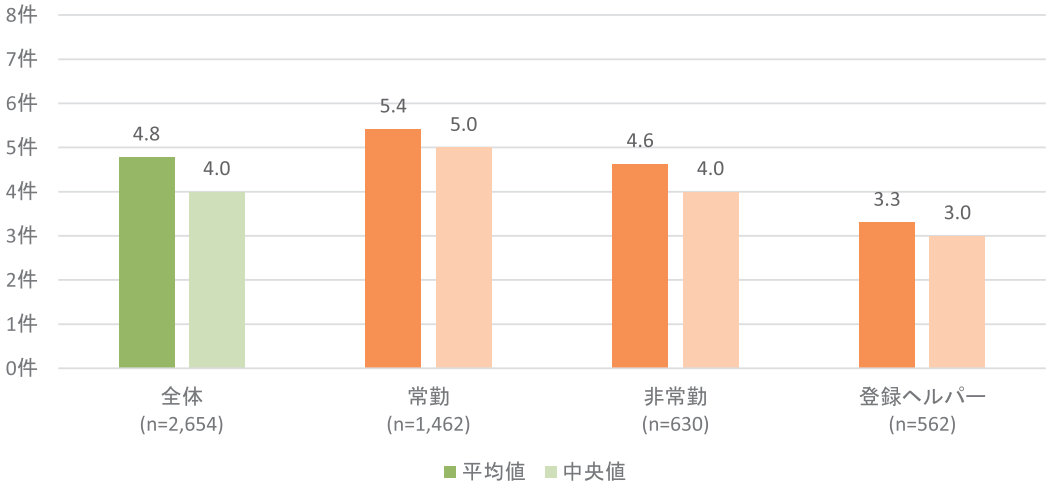
【訪問介護員向け調査 Q9】 あなたの業務内容について、1日当たりの一般的な状況を教えてください。（NU）

図表 3-3-1 １日当たりの一般的な労働時間(全体・雇用形態別)

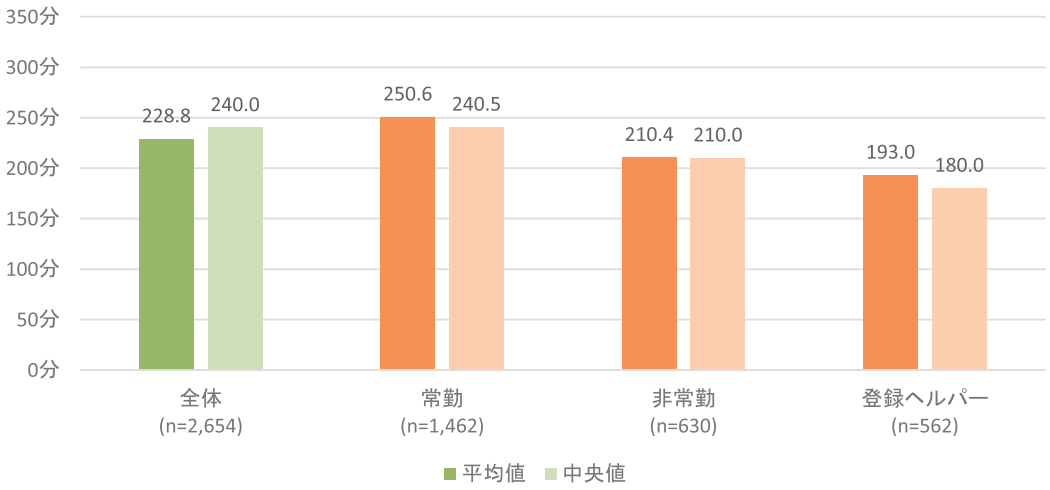


[26] 本報告書の「参考資料」には非掲載の集計内容である。

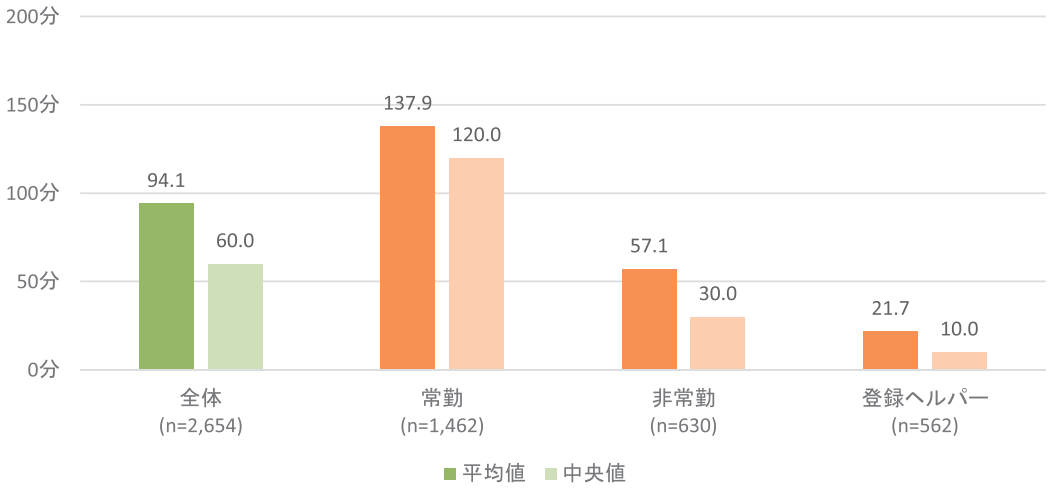
図表 3-3-2　1日当たりの一般的な訪問件数（全体・雇用形態別）



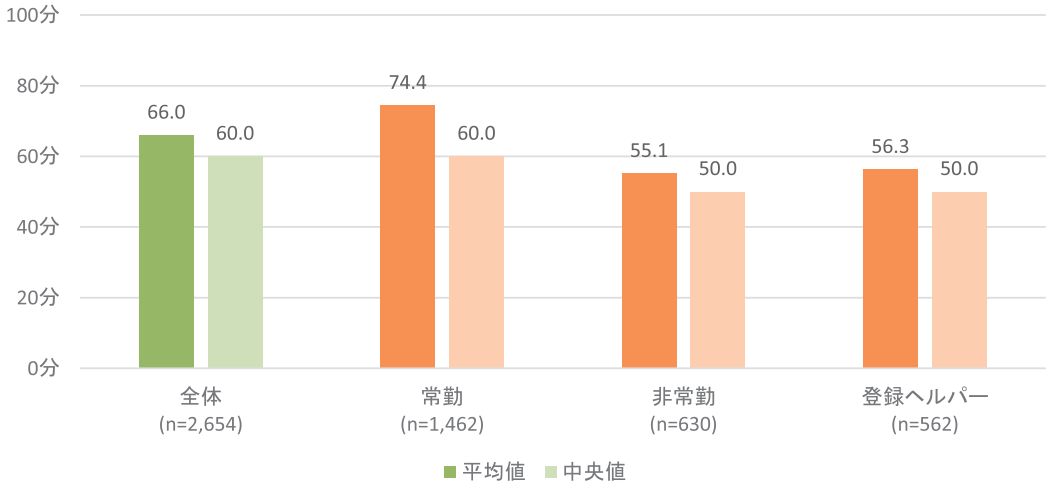
図表 3-3-3　1日当たりの一般的なサービス提供時間（1日の合計）（全体・雇用形態別）



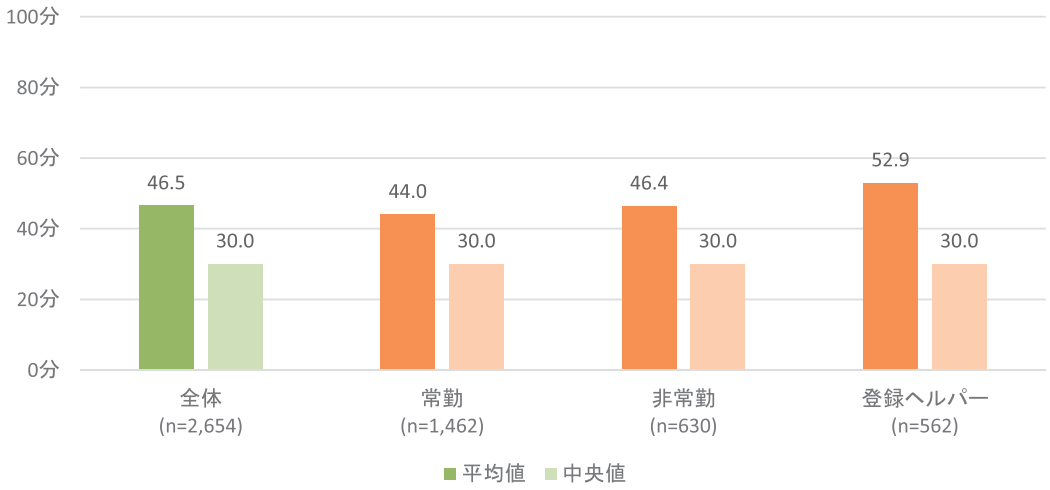
図表 3-3-4　1日当たりの一般的な事務的業務の時間（1日の合計）（全体・雇用形態別）



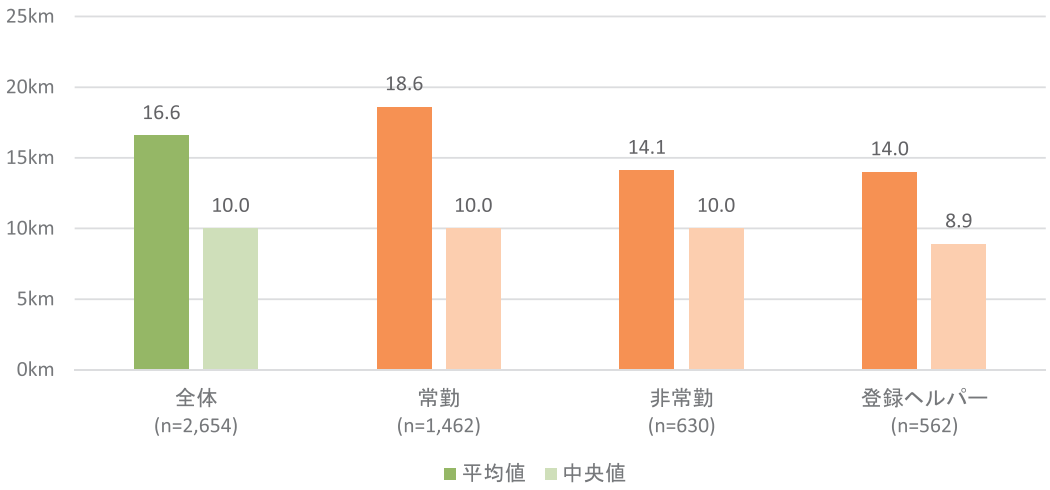
図表 3-3-5　1日当たりの一般的な移動時間(1日の合計)(全体・雇用形態別)



図表 3-3-6　1日当たりの一般的な待機時間(1日の合計)(全体・雇用形態別)



図表 3-3-7　1日当たりの一般的な移動距離(1日の合計)(全体・雇用形態別)



図表 3-3-8 「常勤」の方の１日当たりの一般的な勤務状況（平均値、全体・地域区分別）

	全体	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D
	n=1,462	n=149	n=338	n=291	n=304
１日当たりの労働時間（分）	477.0	469.3	476.4	476.4	478.6
1日当たりの訪問件数（件）	5.4	6.1	5.2	5.3	5.0
1日当たりのサービス提供時間（分）	250.6	255.5	240.9	237.4	258.9
1日当たりの事務的業務の時間（分）	137.9	130.6	134.1	144.8	142.6
1日当たりの移動時間（分）	74.4	67.2	69.6	75.4	77.4
1日当たりの待機時間（分）	44.0	47.5	40.8	46.5	44.6
1日当たりの移動距離（㎞）	18.6	24.1	22.3	18.2	12.2

図表 3-3-9 「非常勤」の方の１日当たりの一般的な勤務状況（平均値、全体・地域区分別）

	全体	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D
	n=630	n=56	n=153	n=164	n=136
１日当たりの労働時間（分）	335.4	390.3	321.0	336.6	319.1
1日当たりの訪問件数（件）	4.6	5.2	4.7	4.4	3.8
1日当たりのサービス提供時間（分）	210.4	224.8	204.1	212.8	202.3
1日当たりの事務的業務の時間（分）	57.1	63.8	48.3	64.3	50.3
1日当たりの移動時間（分）	55.1	55.8	54.2	61.2	48.4
1日当たりの待機時間（分）	46.4	49.3	48.8	43.4	41.6
1日当たりの移動距離（㎞）	14.1	17.7	16.7	15.7	8.2

図表 3-3-10 「登録ヘルパー」の方の１日当たりの一般的な勤務状況（平均値、全体・地域区分別）

	全体	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D
	n=562	n=33	n=102	n=125	n=158
１日当たりの労働時間（分）	239.1	204.8	251.0	237.1	226.1
1日当たりの訪問件数（件）	3.3	3.0	3.2	3.7	2.8
1日当たりのサービス提供時間（分）	193.0	187.1	199.9	190.7	184.7
1日当たりの事務的業務の時間（分）	21.7	32.4	18.6	16.6	21.6
1日当たりの移動時間（分）	56.3	49.5	53.3	59.8	49.9
1日当たりの待機時間（分）	52.9	31.1	60.2	66.4	37.8
1日当たりの移動距離（㎞）	14.0	23.3	17.9	15.7	7.4

② 利用者宅への直行直帰の有無

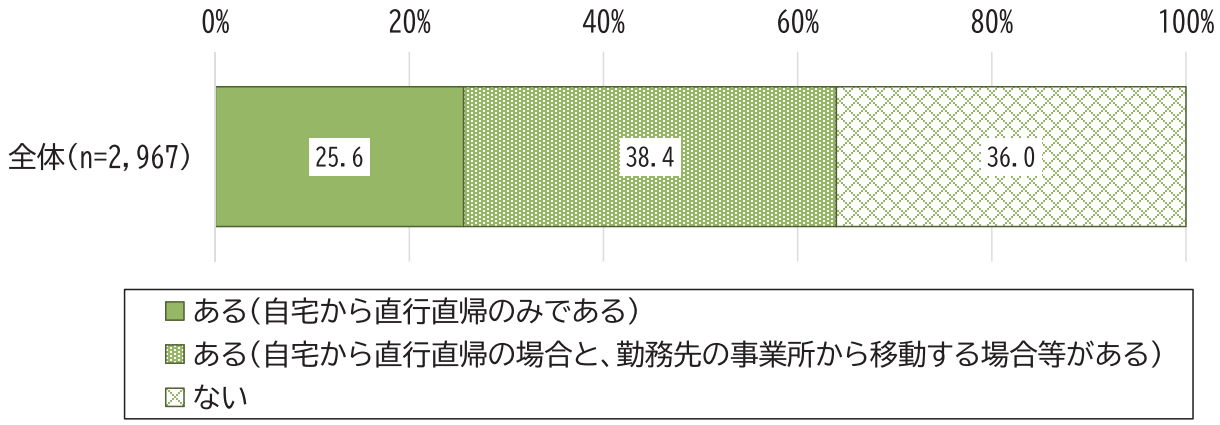
「利用者宅への訪問について、自宅から直行直帰で行うことはありますか」と尋ねた設問については、「ある（自宅から直行直帰のみである）」の回答割合が 25.6%、「ある（自宅から直行直帰の場合と、勤務先の事業所から移動する場合等がある）」の回答割合が 38.4%、「ない」の回答割合が 36.0%となっている。

雇用形態別の集計では、「登録ヘルパー」の方の場合においては「ある（自宅から直行直帰のみである）」の回答割合が 63.9%となっている。

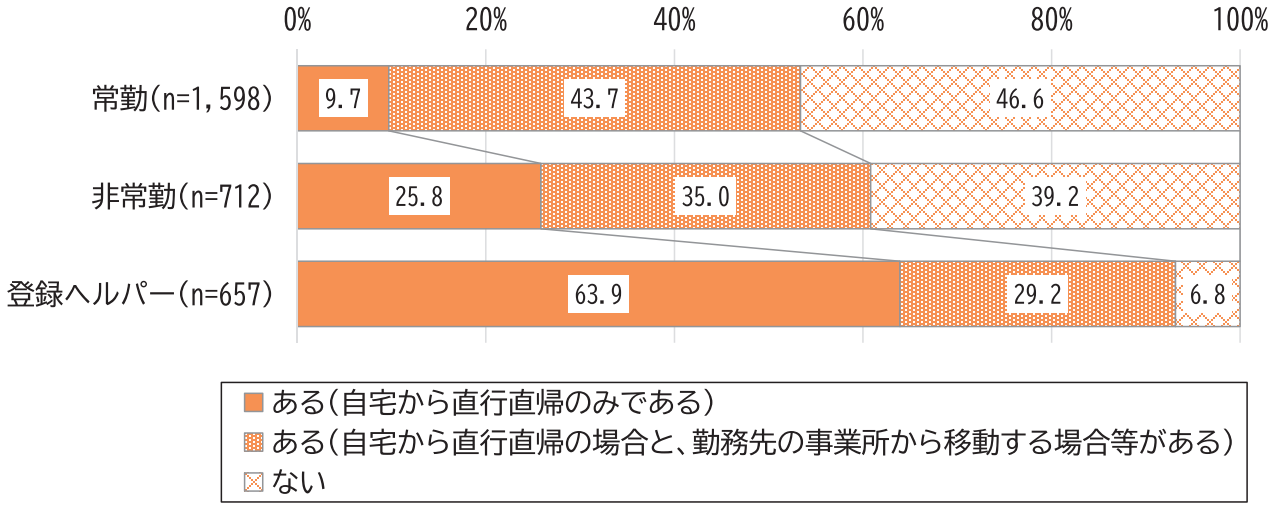
また、直行直帰を行うことが「ない」の割合を、「常勤」、「非常勤」、「登録ヘルパー」のそれぞれについて地域区分別に集計すると[27]、「常勤」と「非常勤」の方に関して、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」の事業所では他の地域の事業所に比べてその割合が高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q10】 利用者宅への訪問について、自宅から直行直帰で行うことはありますか。（SA）

図表 3-3-11 利用者宅への直行直帰の有無

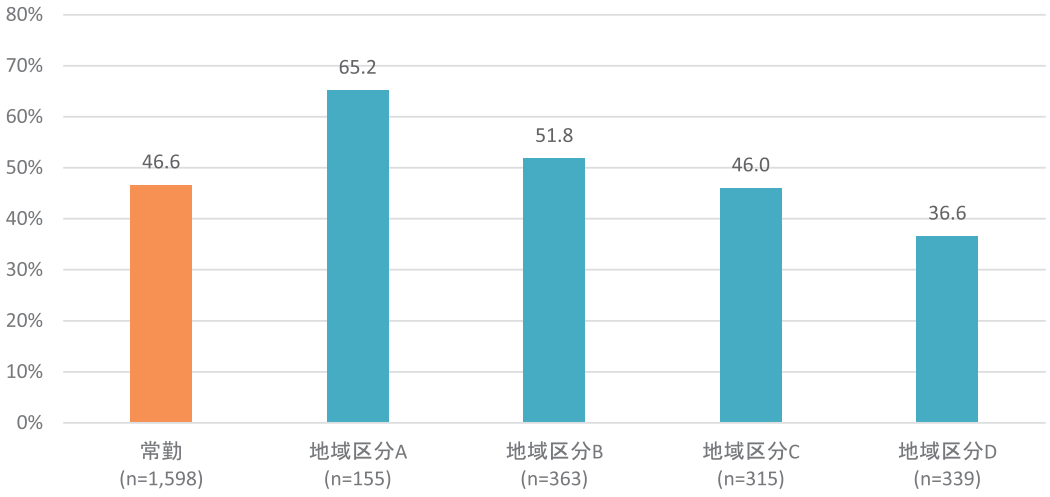


図表 3-3-12 利用者宅への直行直帰の有無（雇用形態別）

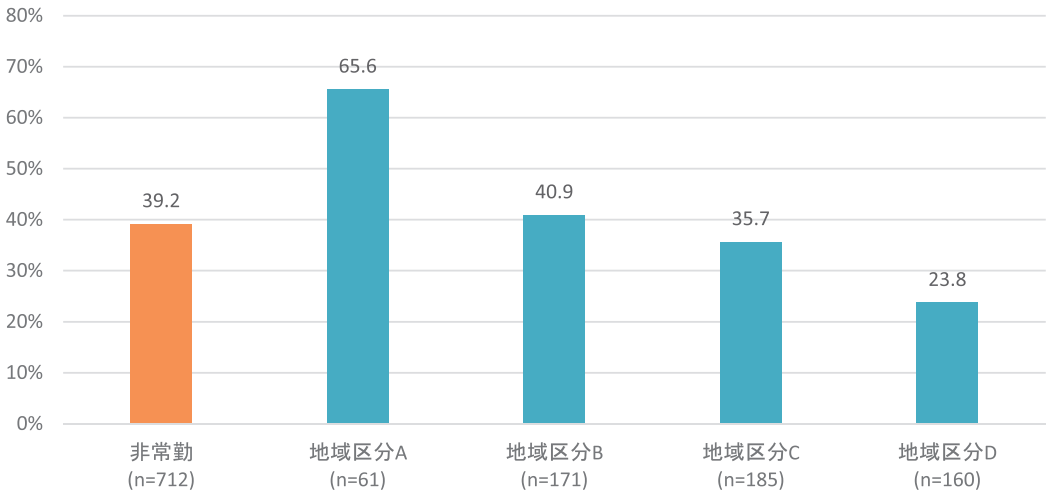


[27] 本報告書の「参考資料」には非掲載の集計内容である。

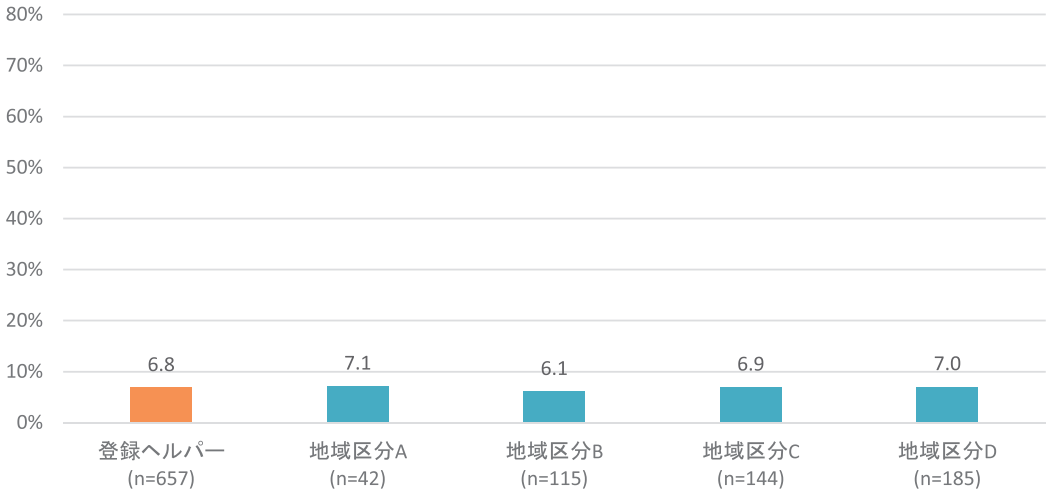
図表 3-3-13 「常勤」の方の利用者宅への直行直帰の有無
（直行直帰を行うことが「ない」の割合、全体・地域区分別）



図表 3-3-14 「非常勤」の方の利用者宅への直行直帰の有無
（直行直帰を行うことが「ない」の割合、全体・地域区分別）



図表 3-3-15 「登録ヘルパー」の方の利用者宅への直行直帰の有無
（直行直帰を行うことが「ない」の割合、全体・地域区分別）

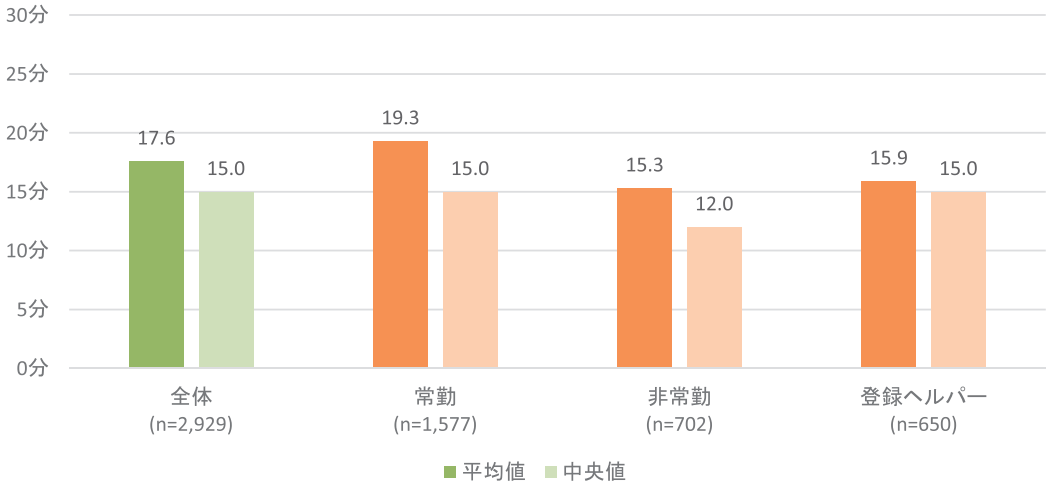


③ 自宅から勤務先事業所までの時間・距離

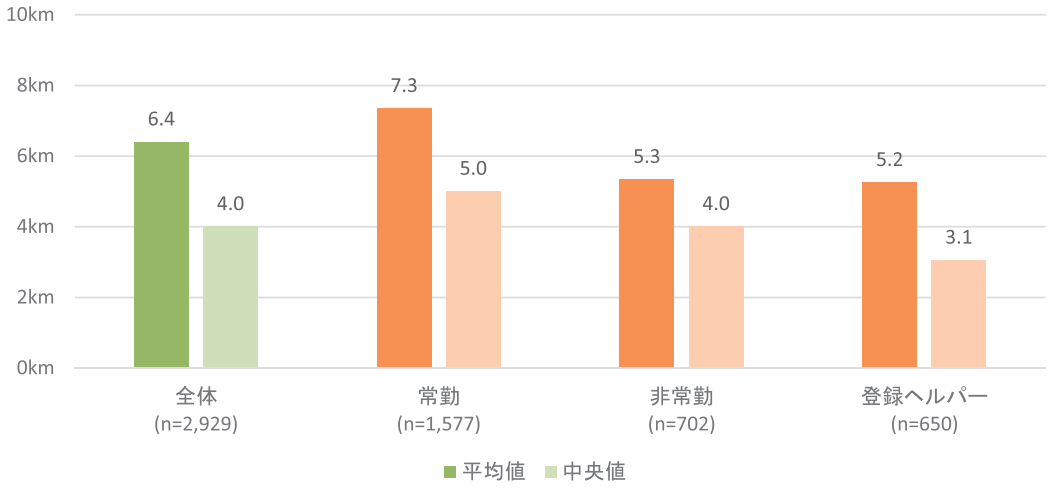
「ご自宅から勤務先事業所までの時間及び距離を教えてください」と尋ねた設問について、時間の平均値は 17.6 分、中央値は 15.0 分であった。距離の平均値は、6.4 ㎞、中央値は 4.0 ㎞であった。
雇用形態別の集計では、「常勤」の方のほうが時間・距離ともに平均値が高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q11】 ご自宅から勤務先事業所までの時間及び距離を教えてください。(NU)

図表 3-3-16 自宅から勤務先事業所までの時間(全体・雇用形態別)



図表 3-3-17 自宅から勤務先事業所までの距離(全体・雇用形態別)



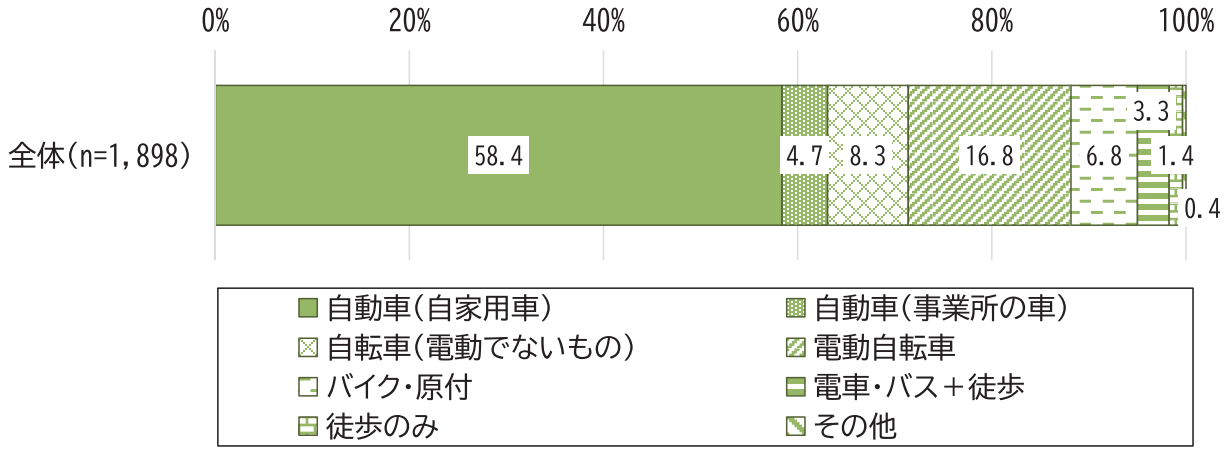
④ 直行直帰の場合に利用者宅を訪問する際の主な交通手段

「利用者宅への訪問について、自宅から直行直帰で行うことはありますか」と尋ねた設問について、「ある（自宅から直行直帰のみである）」または「ある（自宅から直行直帰の場合と、勤務先の事業所から移動する場合等がある）」と回答した場合に、「直行直帰の場合に利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください」と尋ねた。この設問の回答は、「自動車（自家用車）」の回答割合が 58.4%と最も高く、次いで「電動自転車」の回答割合が 16.8%となっている。

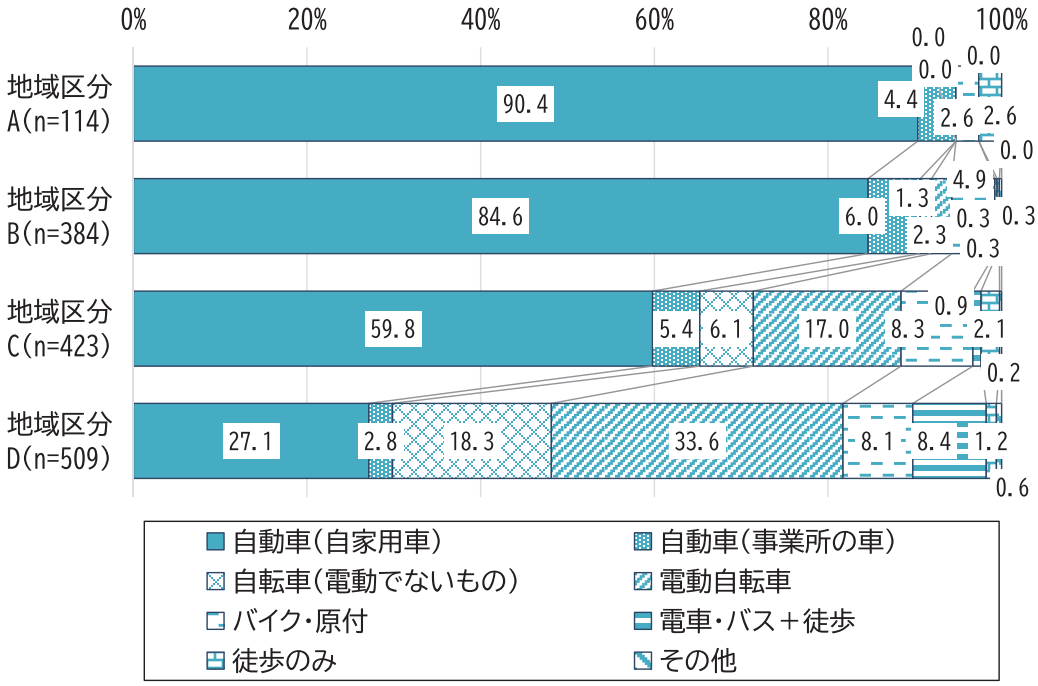
地域区分別の集計では、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」や「地域区分 B（中山間地域【一部】）」の事業所においては「自動車（自家用車）」の回答割合が 8 割以上と高く、「地域区分 D（都市部地域）」の事業所では「電動自転車」の回答割合が高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q12】 直行直帰の場合に利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください。（SA）

図表 3-3-18 直行直帰の場合に利用者宅を訪問する際の主な交通手段



図表 3-3-19 直行直帰の場合に利用者宅を訪問する際の主な交通手段（地域区分別）



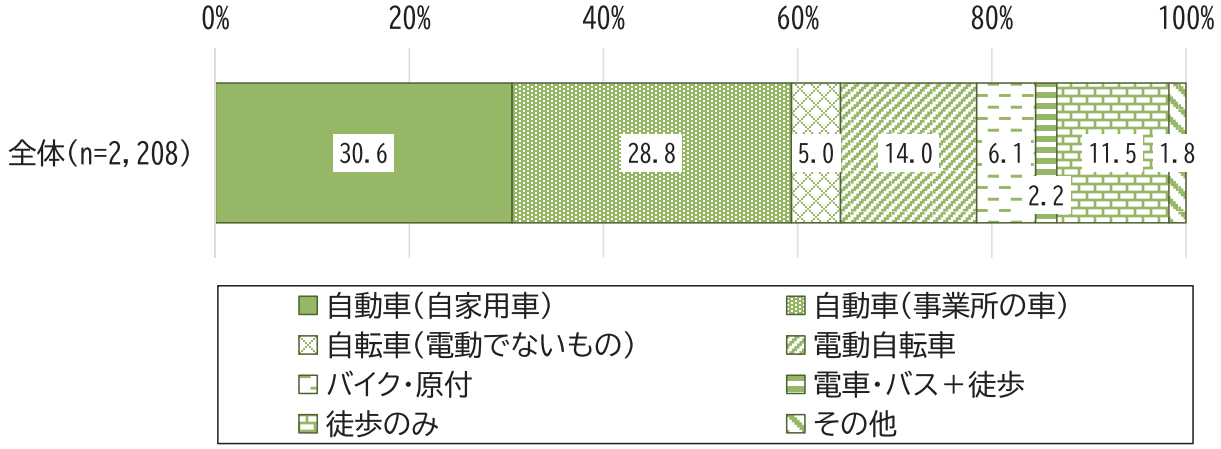
⑤ 事業所から利用者宅を訪問する際の主な交通手段

「利用者宅への訪問について、自宅から直行直帰で行うことはありますか」と尋ねた設問について、「ある（自宅から直行直帰の場合と、勤務先の事業所から移動する場合等がある）」または「ない」と回答した場合に、「事業所から利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください」と尋ねた。この設問の回答は、「自動車（自家用車）」の回答割合が 30.6%と最も高く、次いで「自動車（事業所の車）」の回答割合が28.8%となっている。

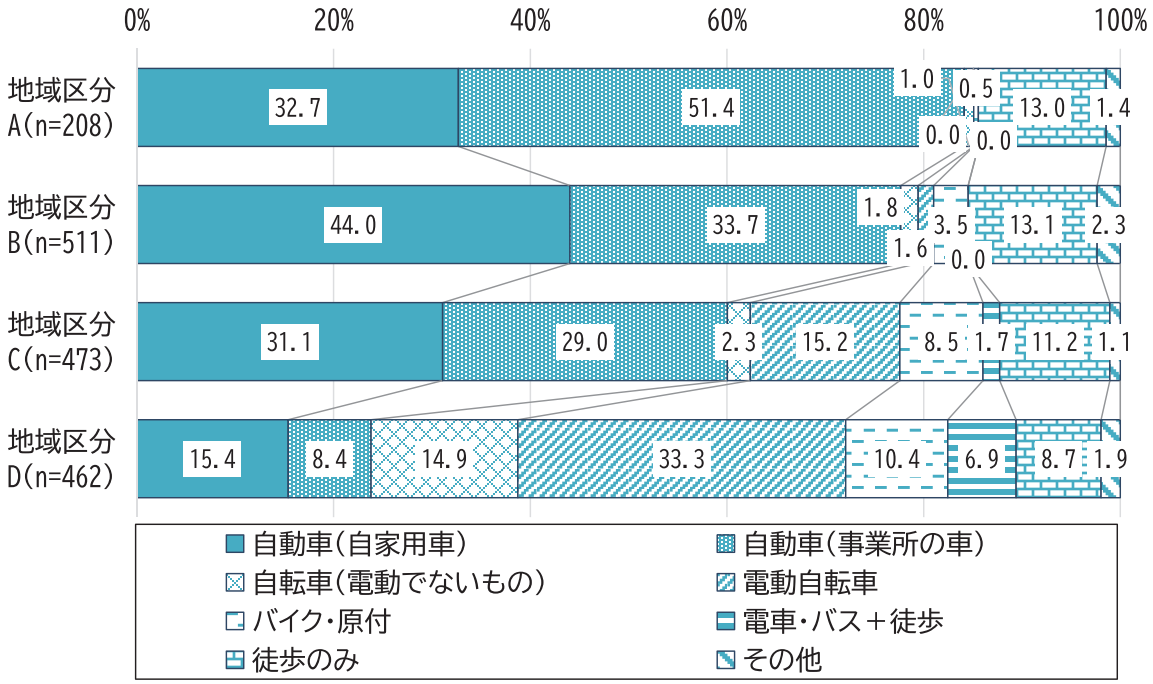
地域区分別の集計では、「地域区分 A（中山間地域【全域】）」では「自動車（事業所の車）」の回答割合が51.4%と高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q13】 事業所から利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください。（SA）

図表 3-3-20 事業所から利用者宅を訪問する際の主な交通手段



図表 3-3-21 事業所から利用者宅を訪問する際の主な交通手段（地域区分別）



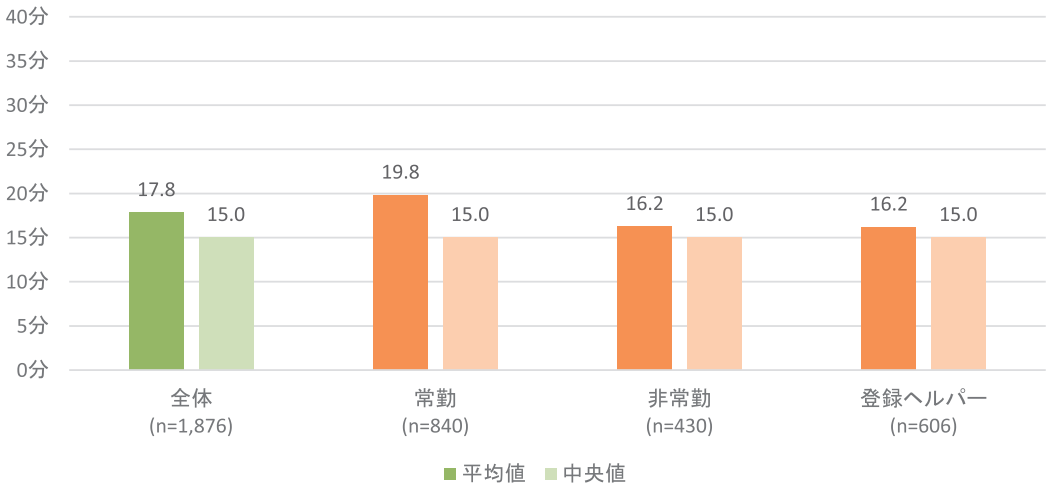
⑥ 直行直帰する際の移動時間・距離

「利用者宅への訪問について、自宅から直行直帰で行うことはありますか」と尋ねた設問について、「ある（自宅から直行直帰のみである）」または「ある（自宅から直行直帰の場合と、勤務先の事業所から移動する場合等がある）」と回答した場合に、「自宅から利用者宅までにかかる平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。」と尋ねた。この設問の回答結果の平均値について、「平均的な時間」は 17.8 分、「平均的な距離」は 6.5 ㎞、「最遠の時間」は 26.3 分、「最遠の距離」は 10.3 ㎞であった。

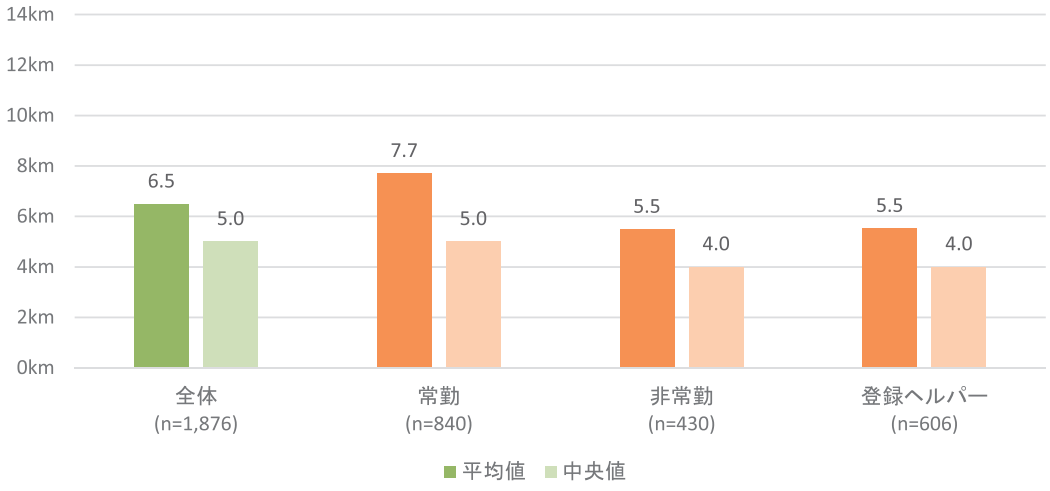
雇用形態別の集計では、「常勤」の方のほうが時間・距離ともに平均値が高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q14】 自宅から利用者宅までにかかる平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。（NU）

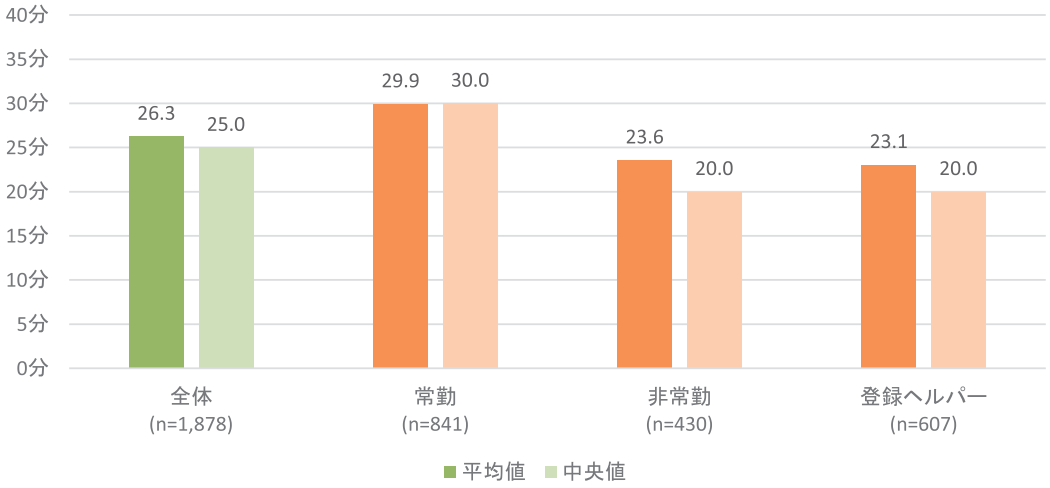
図表 3-3-22 自宅から利用者宅までにかかる平均的な時間（全体・雇用形態別）



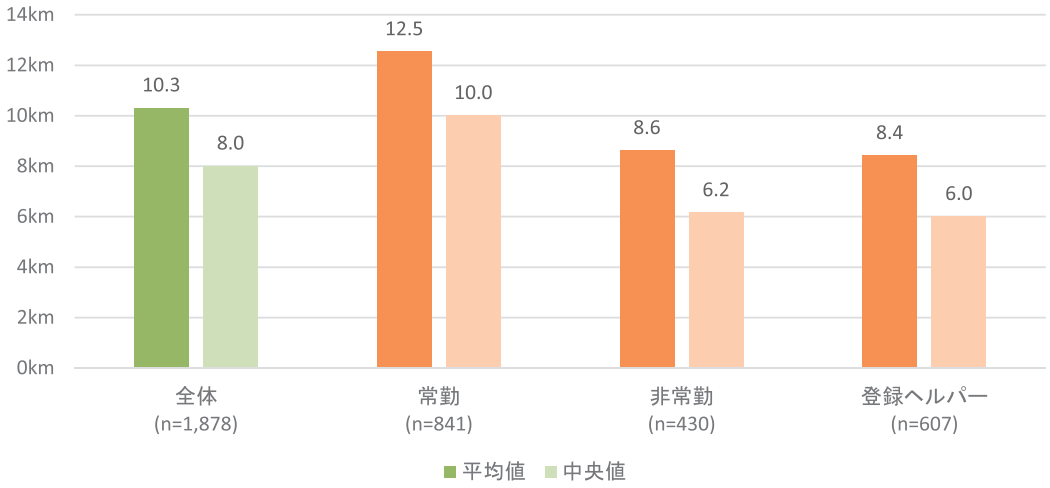
図表 3-3-23 自宅から利用者宅までにかかる平均的な距離（全体・雇用形態別）



図表 3-3-24　自宅から利用者宅までにかかる最遠の時間（全体・雇用形態別）



図表 3-3-25　自宅から利用者宅までにかかる最遠の距離（全体・雇用形態別）



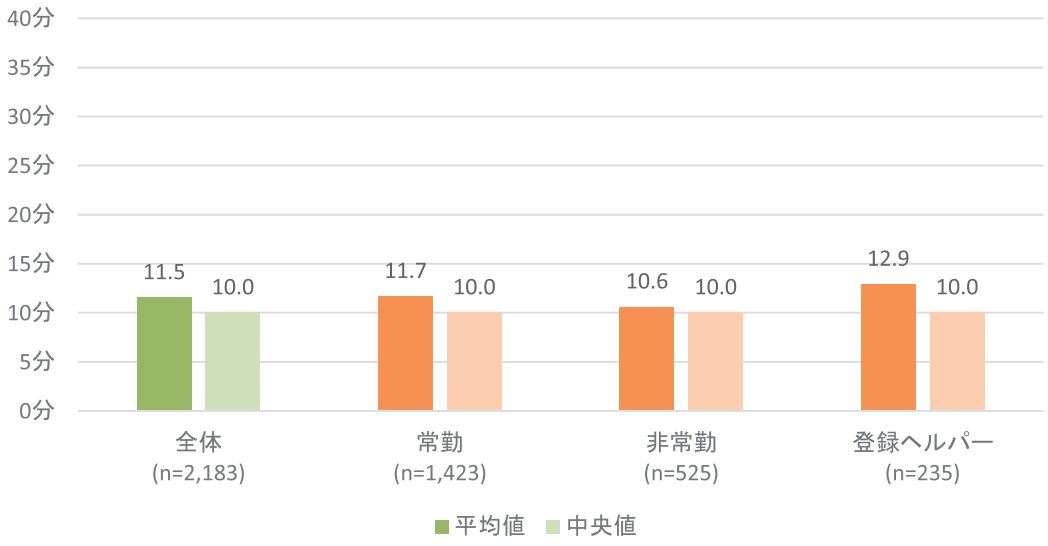
⑦ 勤務先の事業所から利用者宅までの移動時間・距離

「利用者宅への訪問について、自宅から直行直帰で行うことはありますか」と尋ねた設問について、「ある（自宅から直行直帰の場合と、勤務先の事業所から移動する場合等がある）」または「ない」と回答した場合に、「勤務先の事業所から利用者宅までの移動について、平均的な時間及び距離について教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。」と尋ねた。この設問の回答結果の平均値について、「平均的な時間」は11.5分、「平均的な距離」は4.4㎞、「最遠の時間」は19.4分、「最遠の距離」は8.2㎞であった。

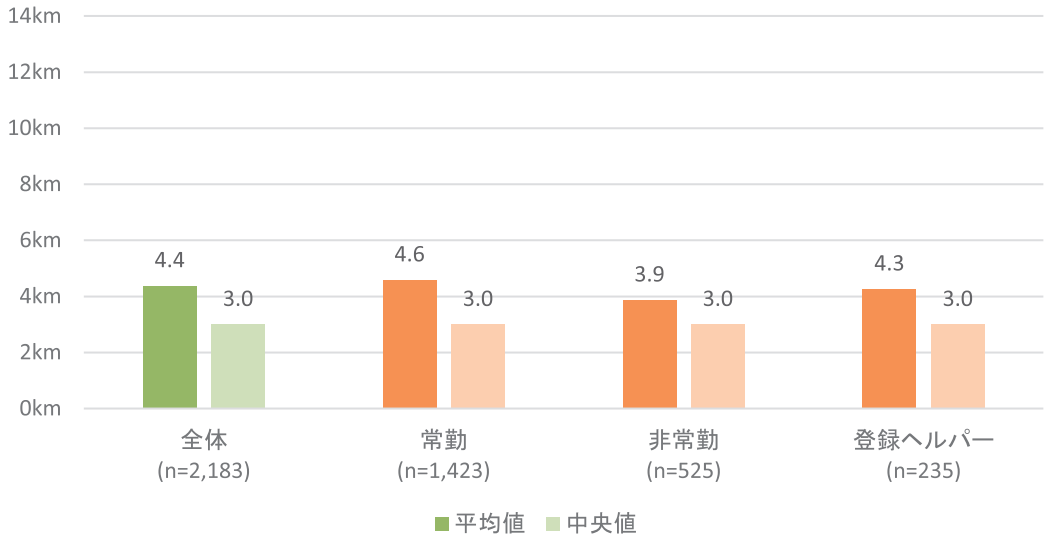
雇用形態別の集計では、「時間」については雇用形態別にはっきりとした傾向の違いはみられないが、特に「最遠の距離」については「常勤」の方のほうが平均値が高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q15】 勤務先の事業所から利用者宅までの移動について、平均的な時間及び距離について教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。（NU）

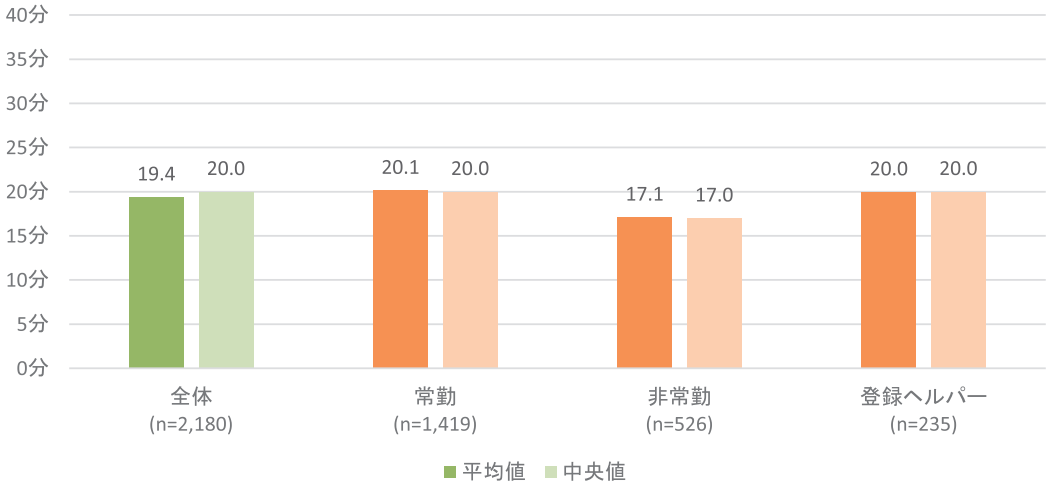
図表 3-3-26 勤務先の事業所から利用者宅までにかかる平均的な時間（全体・雇用形態別）



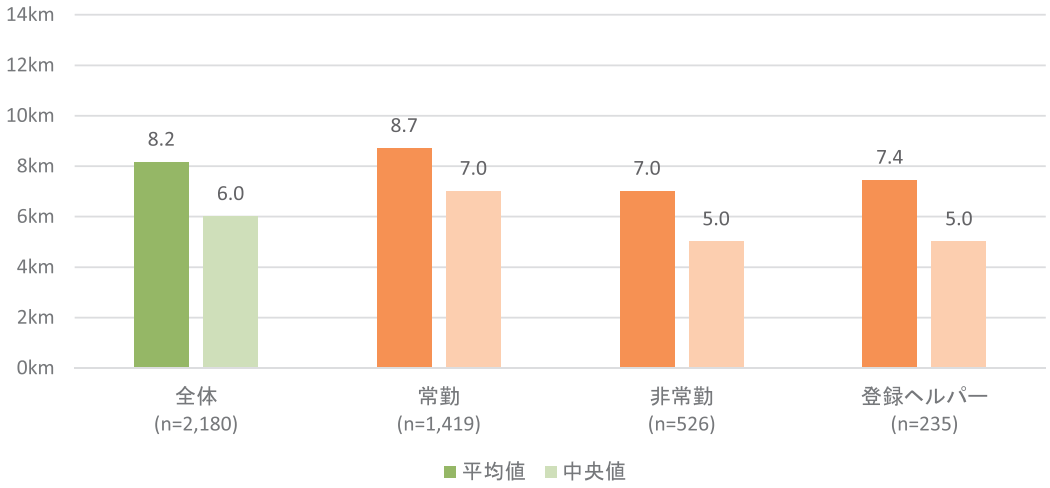
図表 3-3-27 勤務先の事業所から利用者宅までにかかる平均的な距離（全体・雇用形態別）



図表 3-3-28　勤務先の事業所から利用者宅までにかかる最遠の時間（全体・雇用形態別）



図表 3-3-29　勤務先の事業所から利用者宅までにかかる最遠の距離（全体・雇用形態別）



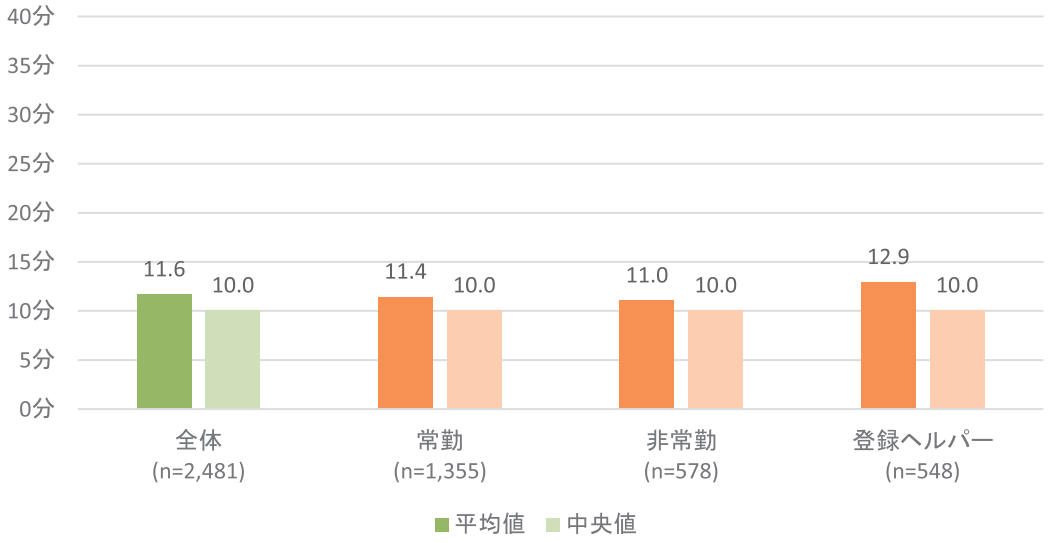
⑧ サービス提供時の利用者宅間の移動にかかる時間・距離

「サービス提供時の利用者宅間の移動について、平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。」と尋ねた設問について、回答結果の平均値は、「平均的な 1 区間当たりの時間」は 11.6 分、「平均的な 1 区間当たりの距離」は 4.3 ㎞、「最遠の 1 区間当たりの時間」は 20.8 分、「最遠の 1 区間当たりの距離」は 8.7 ㎞であった。

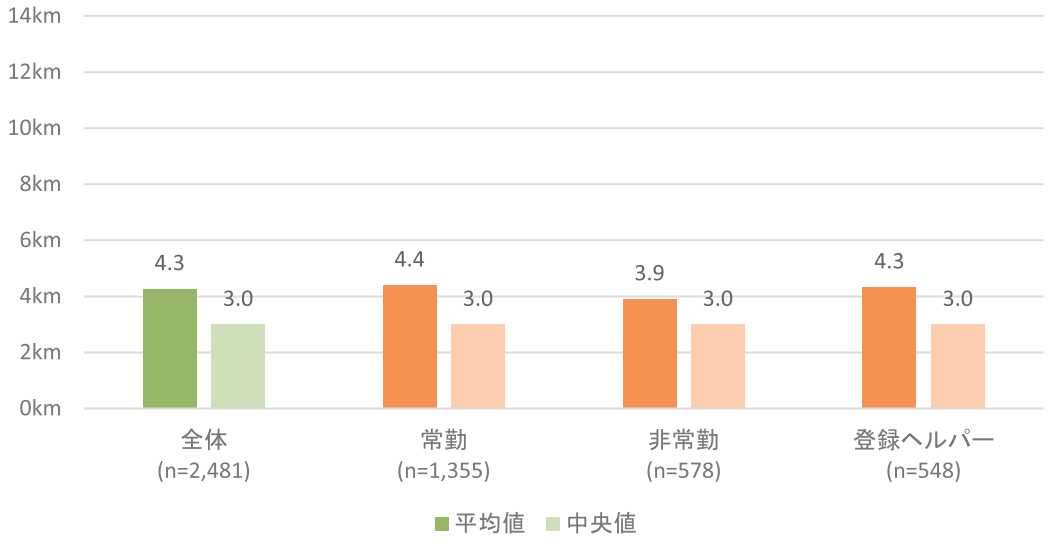
雇用形態別の集計では、「最遠の距離」については「常勤」の方のほうが平均値が高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q16】 サービス提供時の利用者宅間の移動について、平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。(NU)

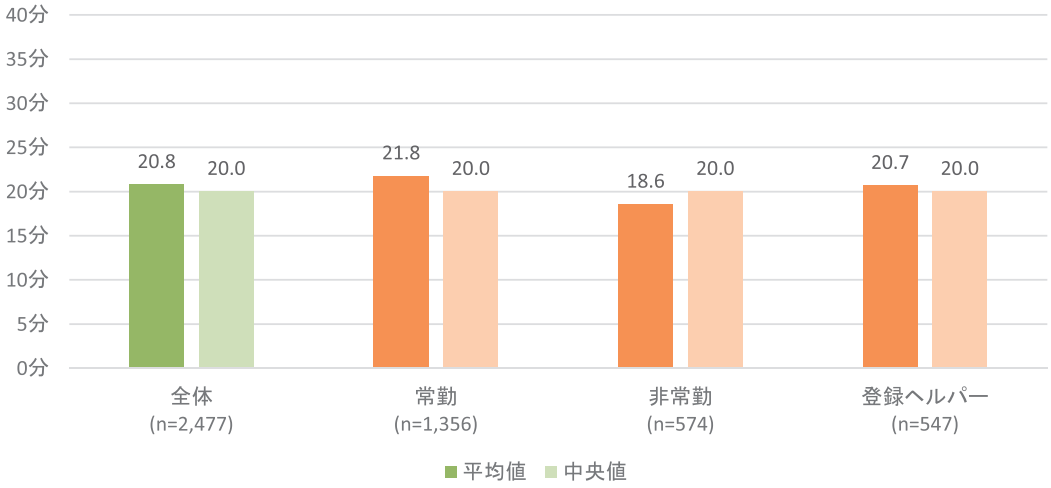
図表 3-3-30 サービス提供時の利用者宅間の移動にかかる平均的な 1 区間当たりの時間（全体・雇用形態別）



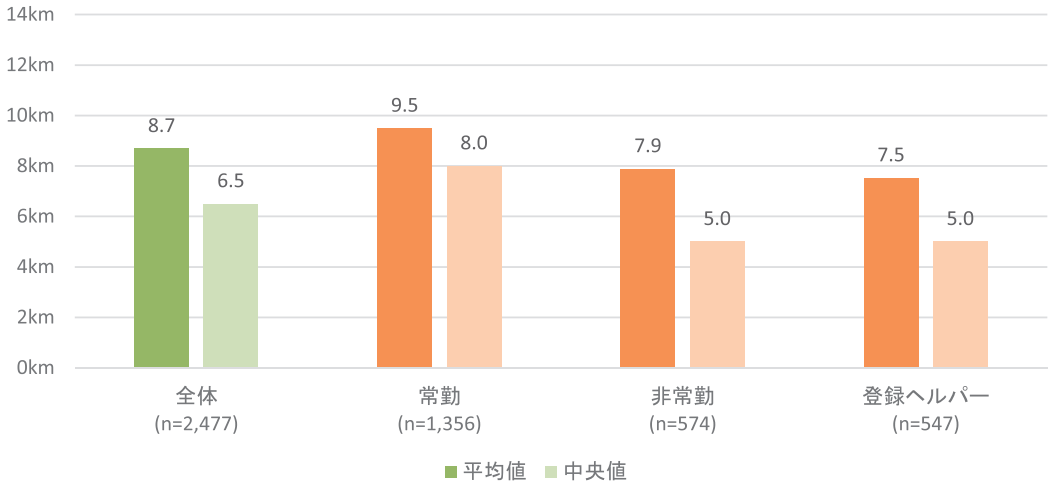
図表 3-3-31 サービス提供時の利用者宅間の移動にかかる平均的な 1 区間当たりの距離（全体・雇用形態別）



図表 3-3-32　サービス提供時の利用者宅間の移動にかかる最遠の１区間当たりの時間
（全体・雇用形態別）



図表 3-3-33　サービス提供時の利用者宅間の移動にかかる最遠の１区間当たりの距離
（全体・雇用形態別）



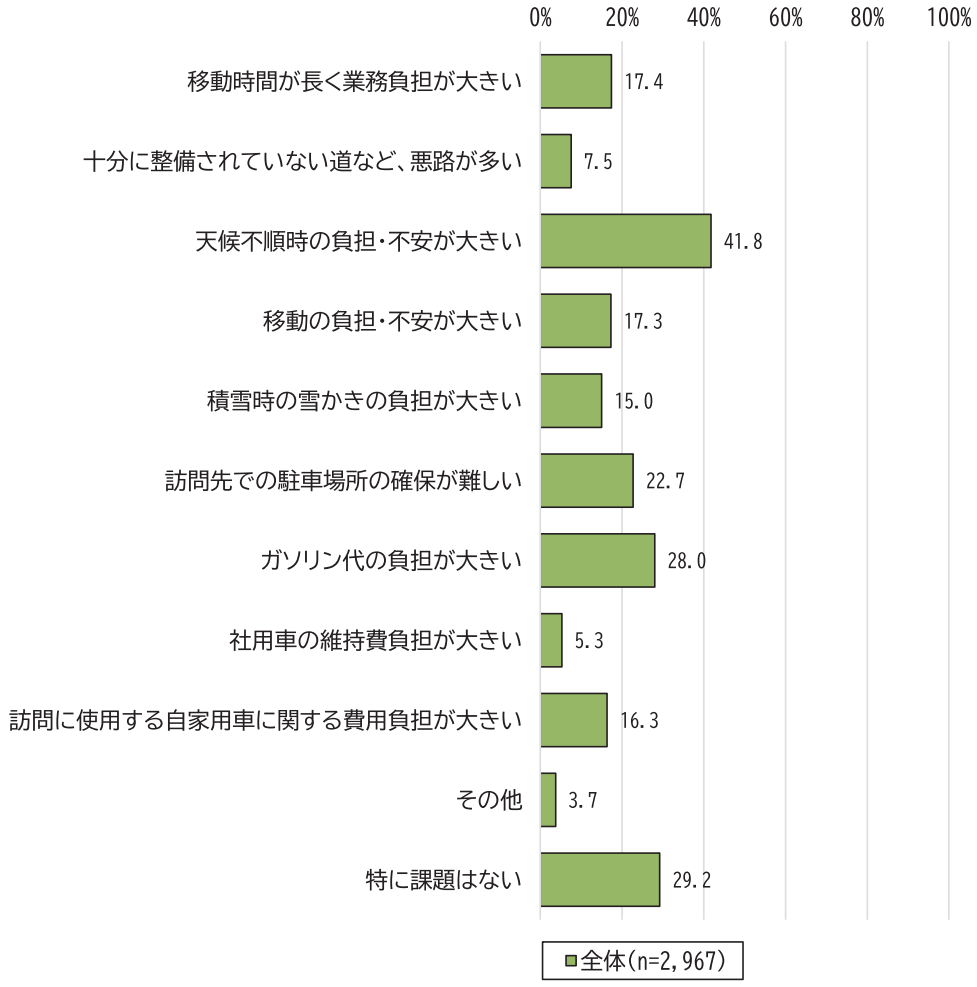
⑨ 利用者宅への訪問に関する課題

「利用者宅への訪問に関し、課題となっていることがあれば教えてください」と尋ねた設問については、「特に課題はない」の回答割合が 29.2%であるが、このほか、「天候不順時の負担・不安が大きい」の回答割合が 41.8%、「ガソリン代の負担が大きい」の回答割合が 28.0%となっている。

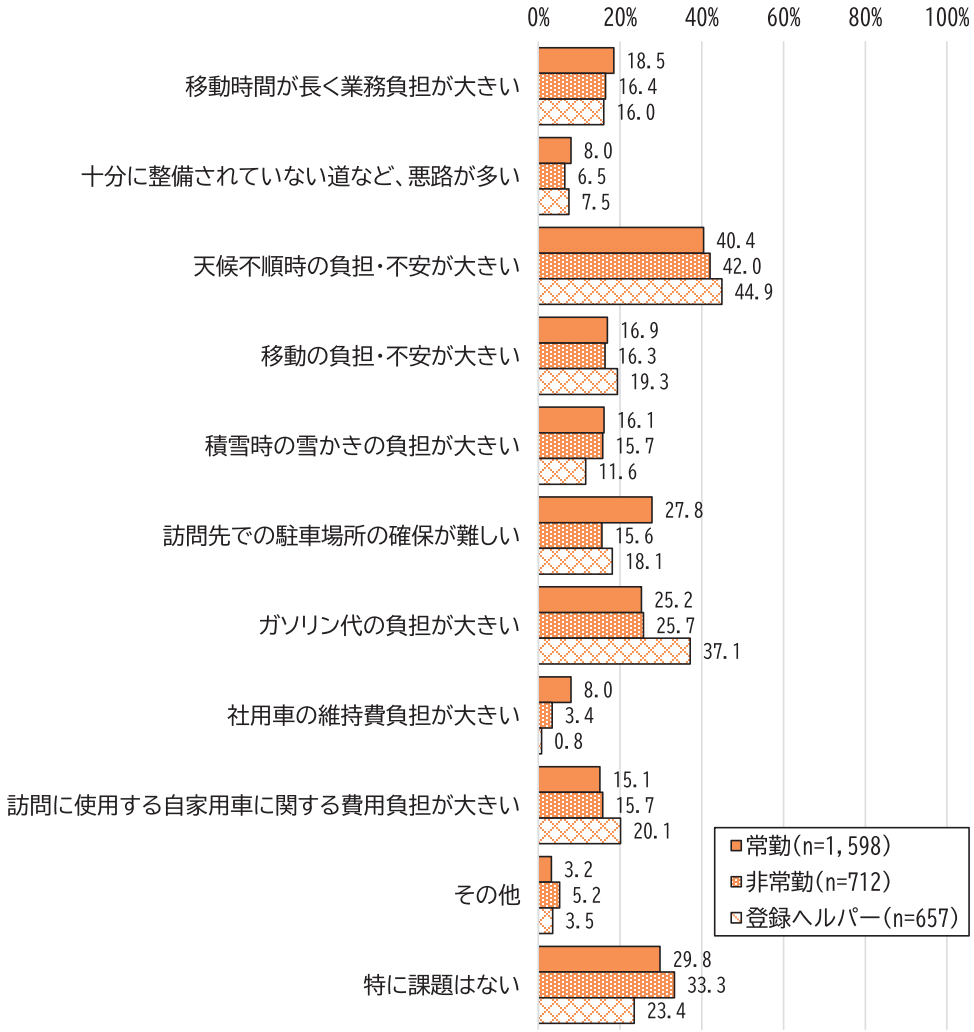
雇用形態別の集計では、「登録ヘルパー」の方について、「ガソリン代の負担が大きい」の回答割合が他と比べて高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q17】 利用者宅への訪問に関し、課題となっていることがあれば教えてください。（MA）

図表 3-3-34 利用者宅への訪問に関する課題



図表 3-3-35　利用者宅への訪問に関する課題(雇用形態別)

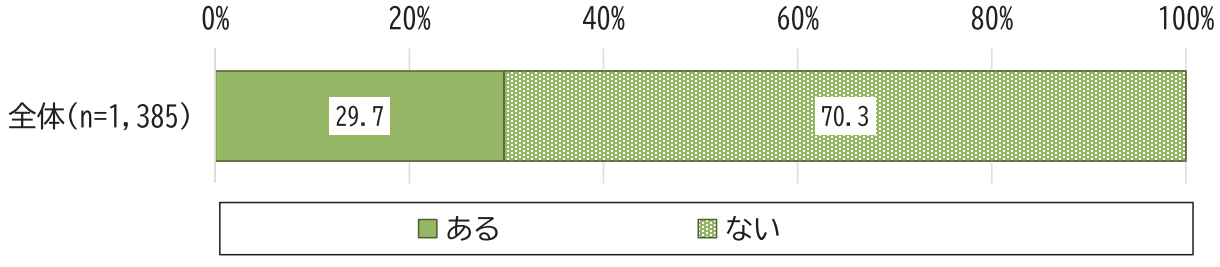


⑩ 天候不順や積雪時の交通手段の変更の有無

利用者宅への訪問に関する課題として、「天候不順時の負担・不安が大きい」または「積雪時の雪かきの負担が大きい」と回答した場合に、「天候不順や積雪が生じた場合、利用者宅を訪問する際の主な交通手段に変更がありますか」と尋ねた。この設問の回答は、「ない」の回答割合が 70.3%、「ある」の回答割合は29.7%であった。

【訪問介護員向け調査 Q18】 天候不順や積雪が生じた場合、利用者宅を訪問する際の主な交通手段に変更がありますか。(SA)

図表 3-3-36　天候不順や積雪時の交通手段の変更の有無



（4） ICT の利用

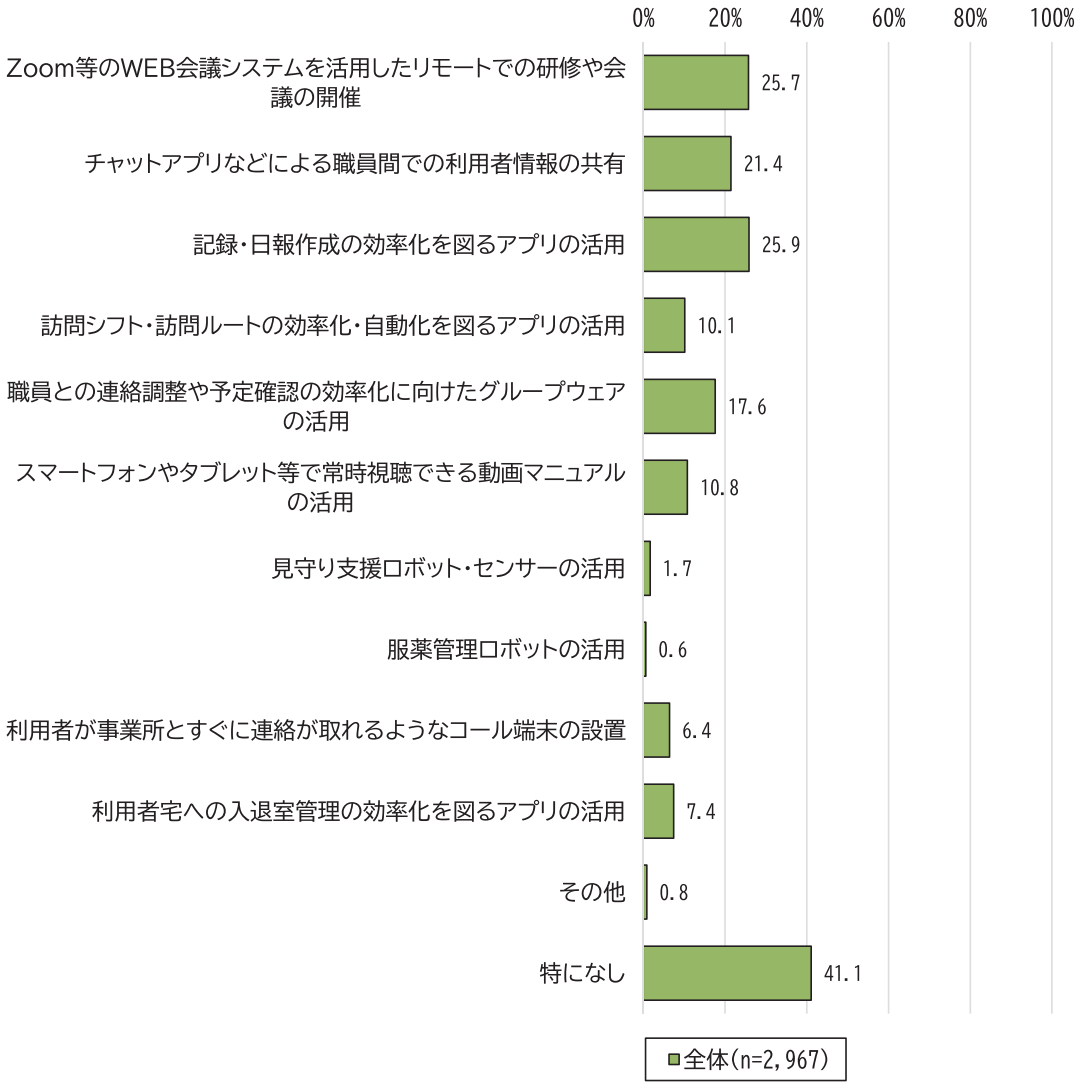
① 訪問介護サービスの提供に当たり利用しているICT機器やサービス

「訪問介護サービスの提供に当たりあなたが利用しているICT機器やサービスを教えてください」と尋ねた設問については、「特になし」の回答割合が 41.1%であるが、このほか、「記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用」の回答割合が 25.9%、「Zoom等のWEB会議システムを活用したリモートでの研修や会議の開催」の回答割合が 25.7%となっている。

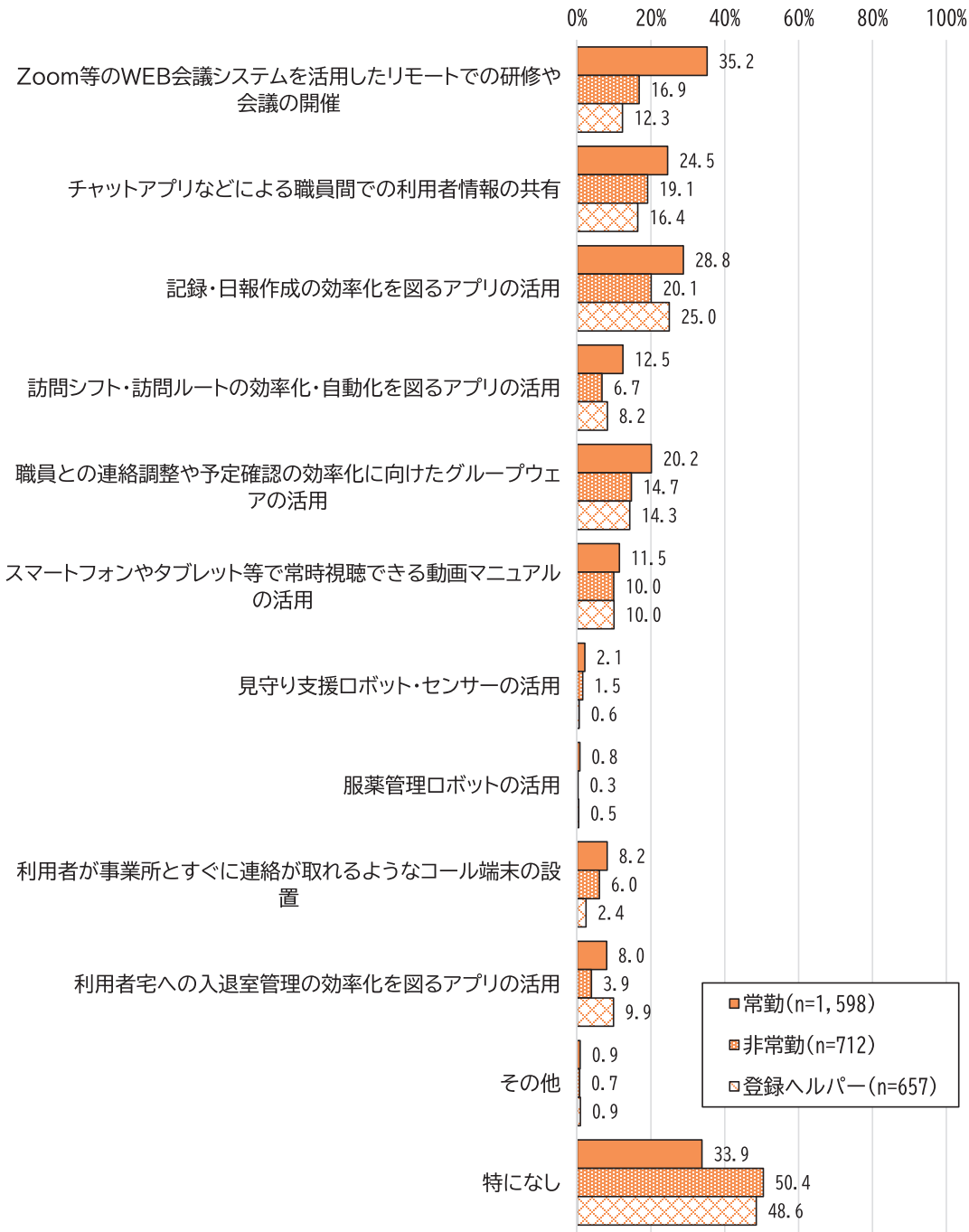
雇用形態別の集計では、「常勤」の方について「Zoom等のWEB会議システムを活用したリモートでの研修や会議の開催」や「記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用」などの回答割合が他の場合と比べて高く、他方で「非常勤」の方や「登録ヘルパー」の方については「特になし」の回答割合が高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q19】 訪問介護サービスの提供に当たりあなたが利用しているICT機器やサービスを教えてください。(MA)

図表 3-4-1 訪問介護サービスの提供に当たり利用しているICT機器やサービス



図表 3-4-2 訪問介護サービスの提供に当たり利用しているICT機器やサービス（雇用形態別）



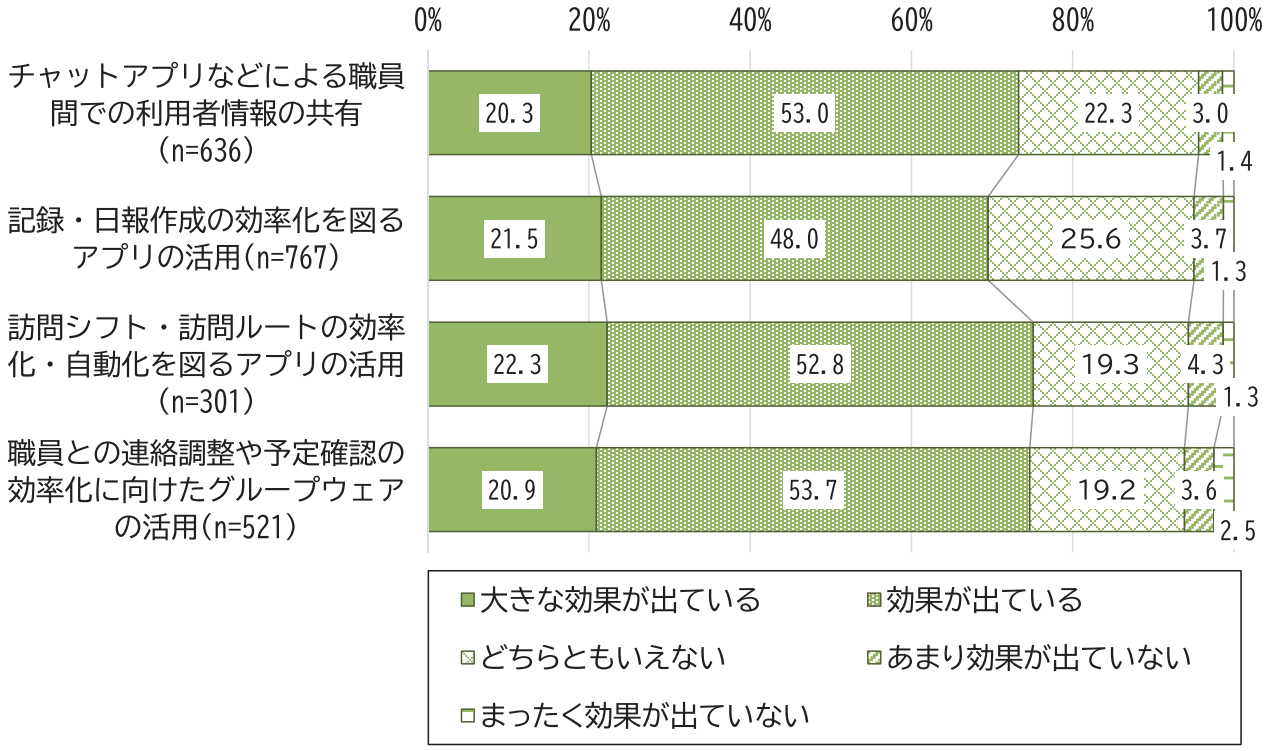
② ICT 機器やサービス利用にあたっての効果の認識

ICT機器やサービスの利用に関して、「チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有」、「記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用」、「訪問シフト・訪問ルートの効率化・自動化を図るアプリの活用」、「職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用」のそれぞれについて利用していると回答した方には、「利用しているICT機器やサービスについて、ご自身の移動に関する業務の負担軽減に効果が出ていると感じるものはありますか」と尋ねた。

この設問の回答結果は、それぞれ、「大きな効果が出ている」と「効果が出ている」を合わせた割合が7～8 割となっている。

【訪問介護員向け調査 Q20】 利用しているICT機器やサービスについて、ご自身の移動に関する業務の負担軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。(SA)

図表 3-4-3　ICT 機器やサービス利用にあたっての効果の認識



（5） 訪問介護員の仕事について

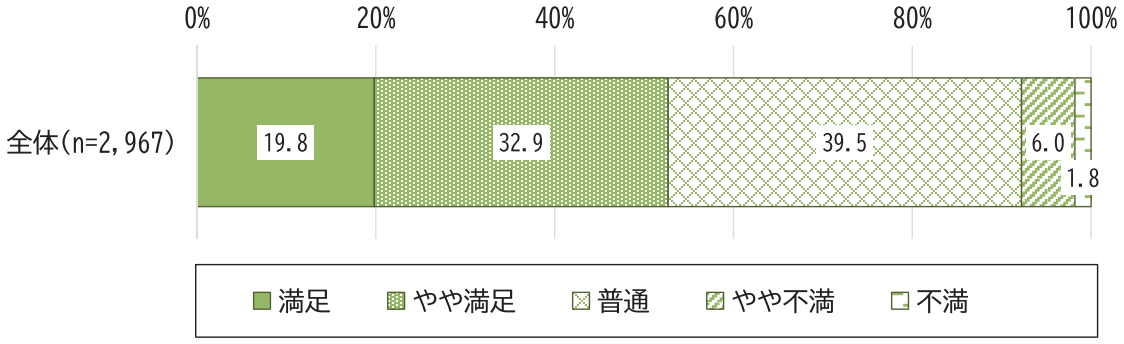
① 訪問介護の業務に関する満足度・負担感

「訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください」と尋ねた設問について、「仕事の内容・やりがい」について「不満」または「やや不満」の回答割合は合わせて 1 割未満であるが、「能力や仕事ぶりに応じた賃金の水準」に関してその割合は 3 割以上、「訪問介護員の仕事に対する社会的評価」に関しては 4 割以上となっている。

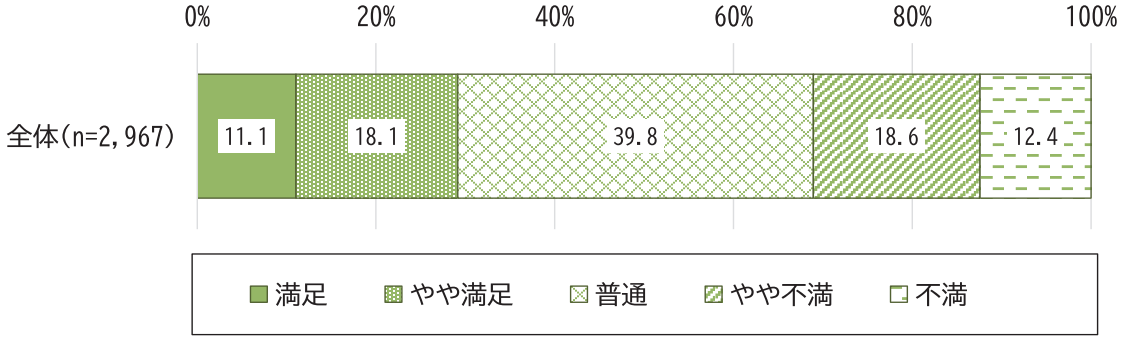
また、「身体的な負担の水準」について「負担が大きい」と「やや負担が大きい」の回答割合は合わせて約 4 割、「精神的な負担の水準」についてその割合は約 5 割となっている。

【訪問介護員向け調査 Q22】 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。（SA）

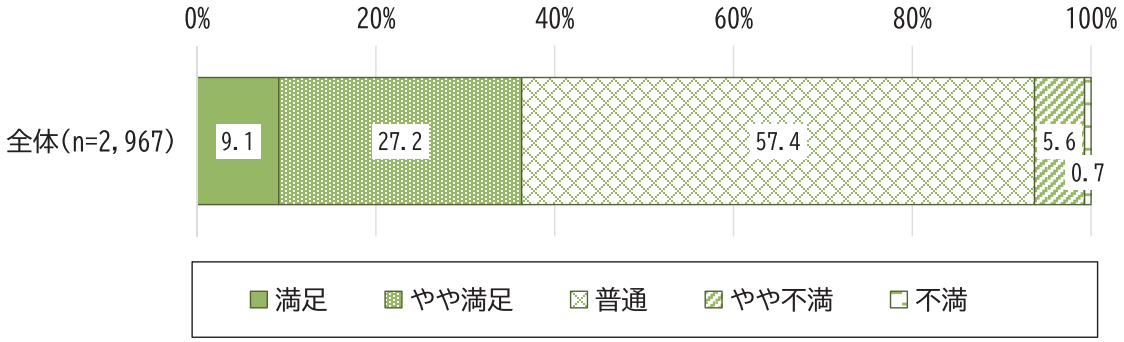
図表 3-5-1 訪問介護の業務に関する満足度・負担感「仕事の内容・やりがい」



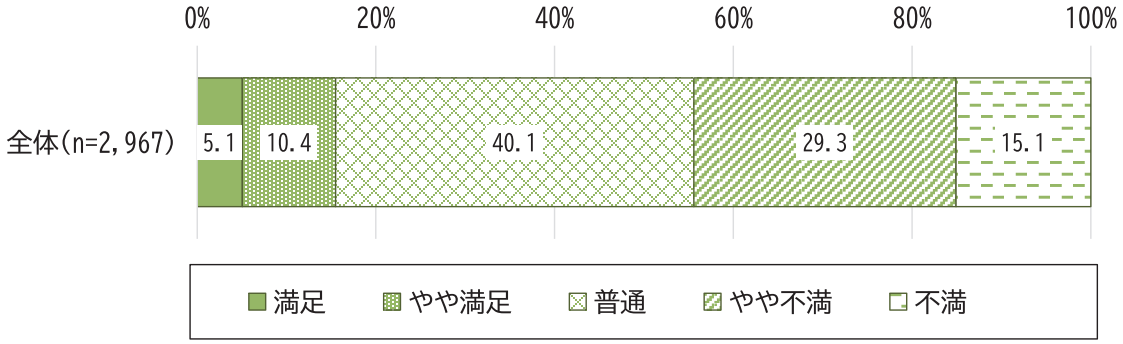
図表 3-5-2 訪問介護の業務に関する満足度・負担感「能力や仕事ぶりに応じた賃金の水準」



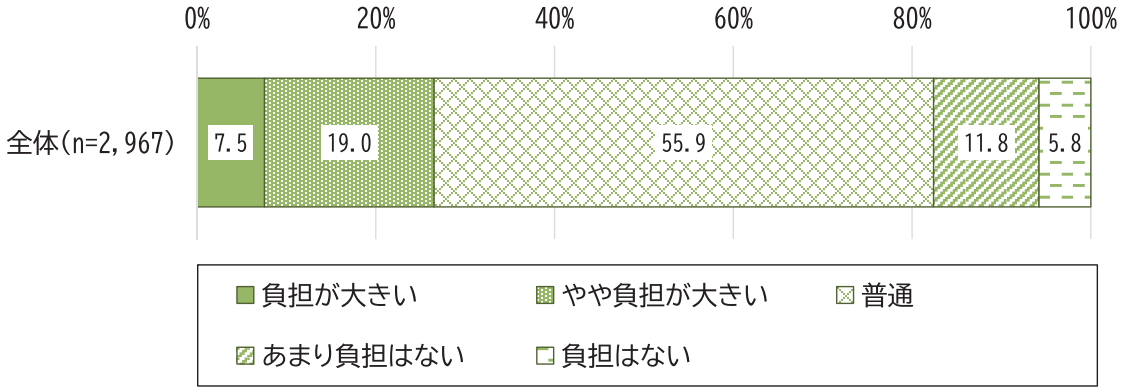
図表 3-5-3 訪問介護の業務に関する満足度・負担感「自身の利用者への対応力」



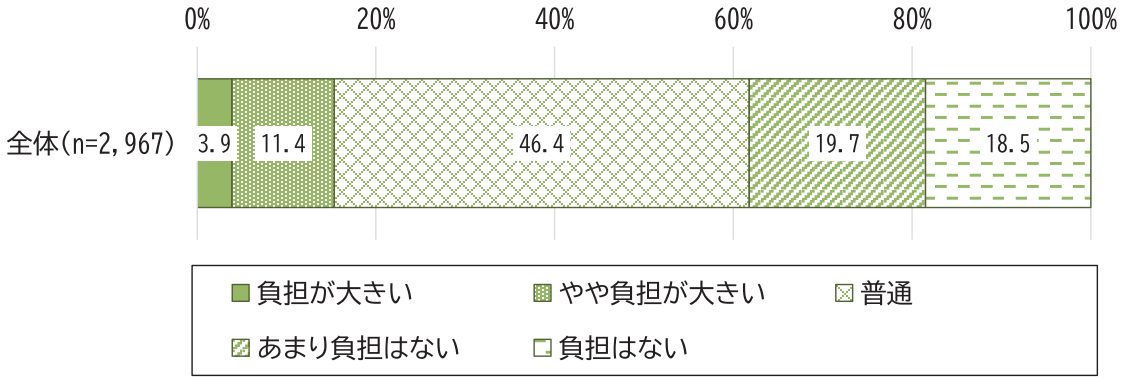
図表 3-5-4　訪問介護の業務に関する満足度・負担感「訪問介護員の仕事に対する社会的評価」



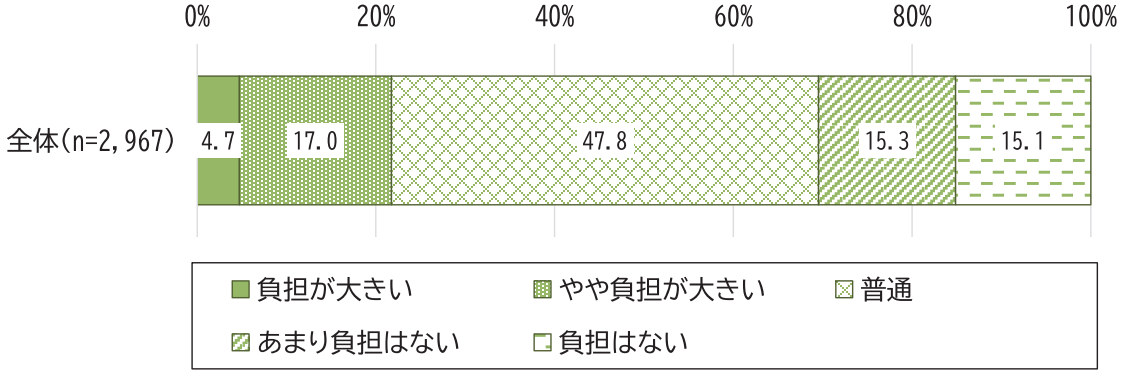
図表 3-5-5　訪問介護の業務に関する満足度・負担感「労働時間の長さ」



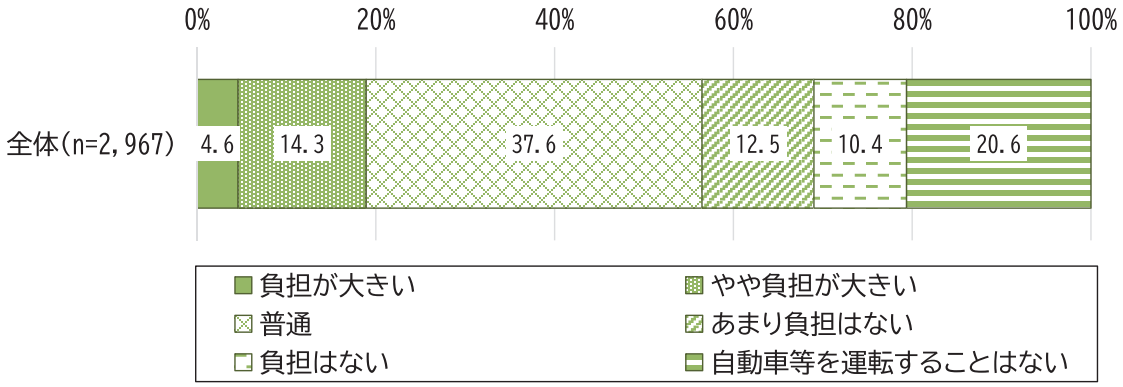
図表 3-5-6　訪問介護の業務に関する満足度・負担感「通勤時間の長さ」



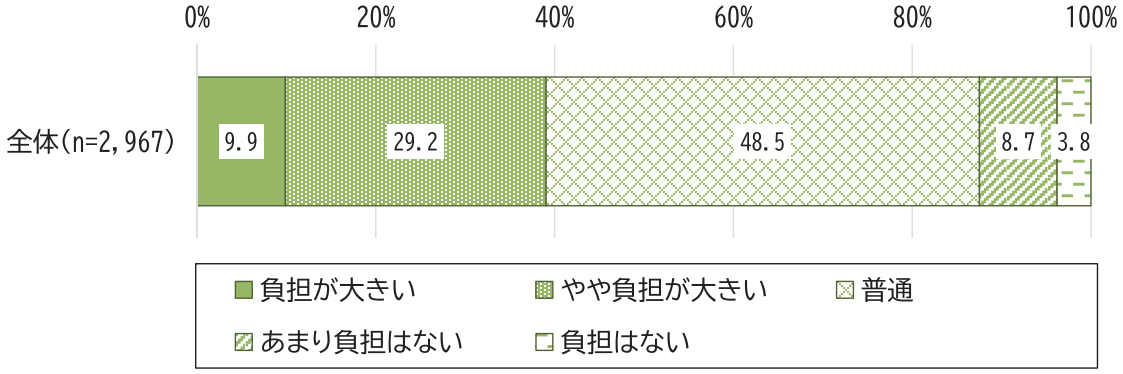
図表 3-5-7　訪問介護の業務に関する満足度・負担感「訪問にかかる移動時間の長さ」



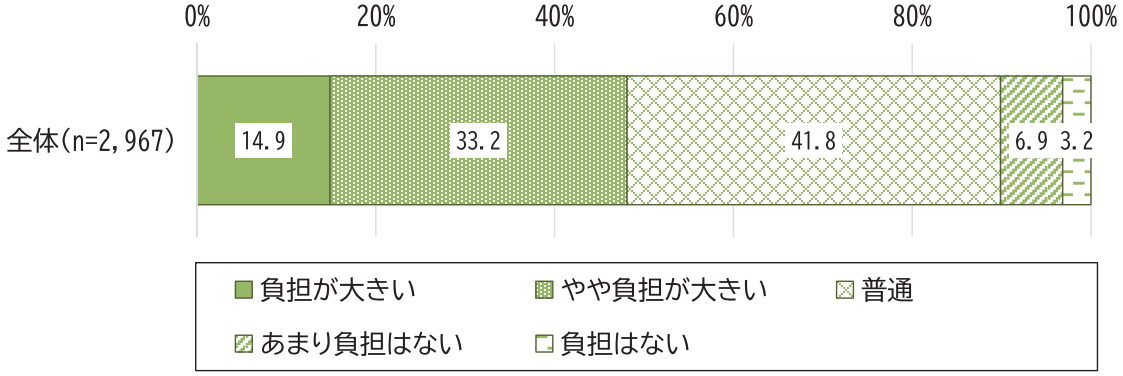
図表 3-5-8　訪問介護の業務に関する満足度・負担感「移動の際の自動車等の運転」



図表 3-5-9　訪問介護の業務に関する満足度・負担感「身体的な負担の水準」



図表 3-5-10　訪問介護の業務に関する満足度・負担感「精神的な負担の水準」



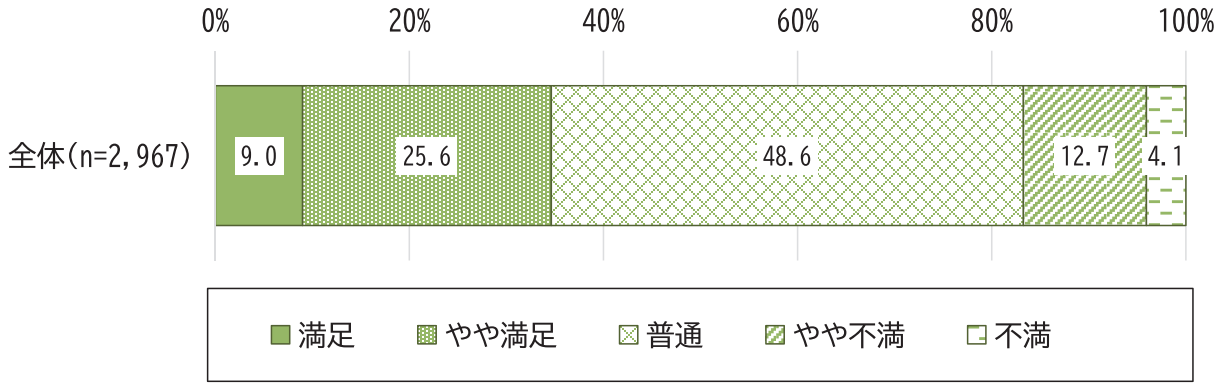
② 訪問介護員の仕事に対する総合的な満足感

「訪問介護員の仕事に対する総合的な満足感」については、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合が34.6%、「不満」と「やや不満」を合わせた回答割合は16.8%であった。

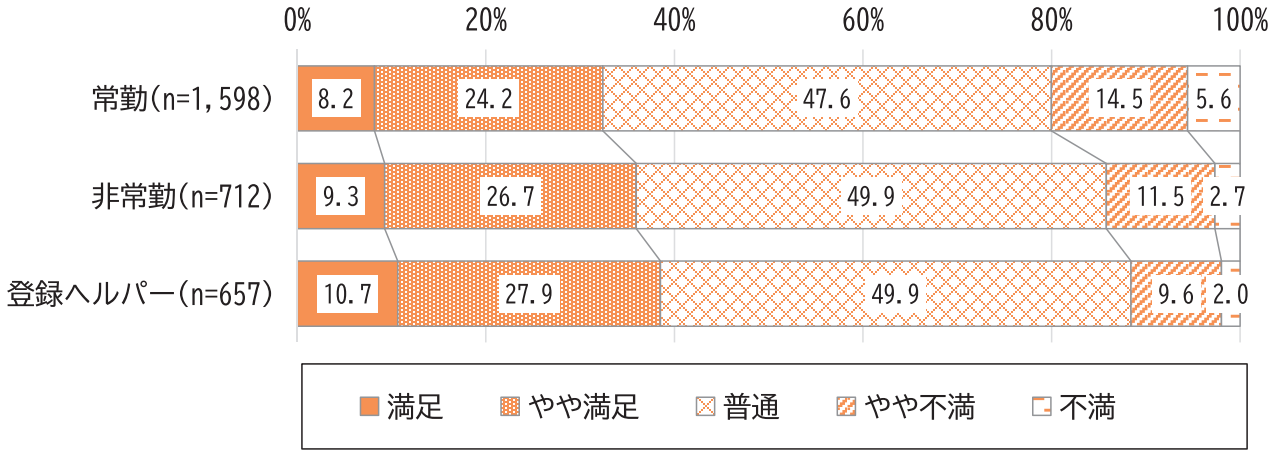
雇用形態別の集計では、「登録ヘルパー」の方のほうが、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合が若干高くなっている。

【訪問介護員向け調査 Q22】 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。(SA)

図表 3-5-11 訪問介護の業務に関する満足度・負担感「総合的な満足感」



図表 3-5-12 訪問介護の業務に関する満足度・負担感「総合的な満足感」(雇用形態別)

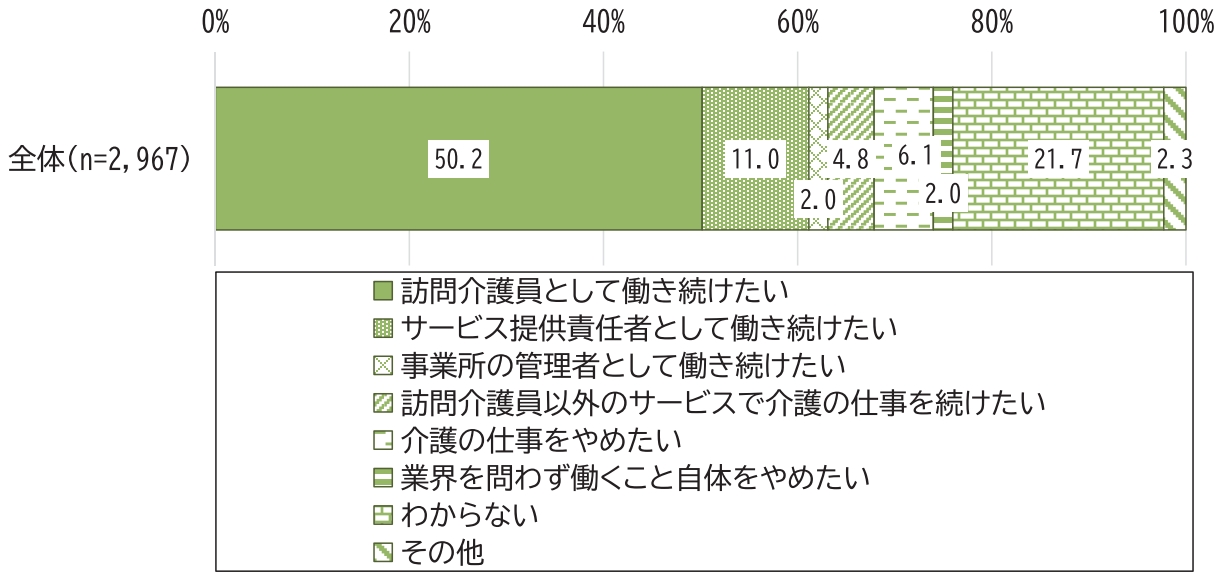


③ 就業継続意向

「あなたの訪問介護員としての就業継続意向を教えてください」と尋ねた設問については、「訪問介護員として働き続けたい」の回答割合が 50.2%と最も高く、次いで「わからない」の回答割合が 21.7%となっている。「介護の仕事をやめたい」の回答割合は 6.1%であった。

【訪問介護員向け調査 Q23】 あなたの訪問介護員としての就業継続意向を教えてください。(SA)

図表 3-5-13 就業継続意向



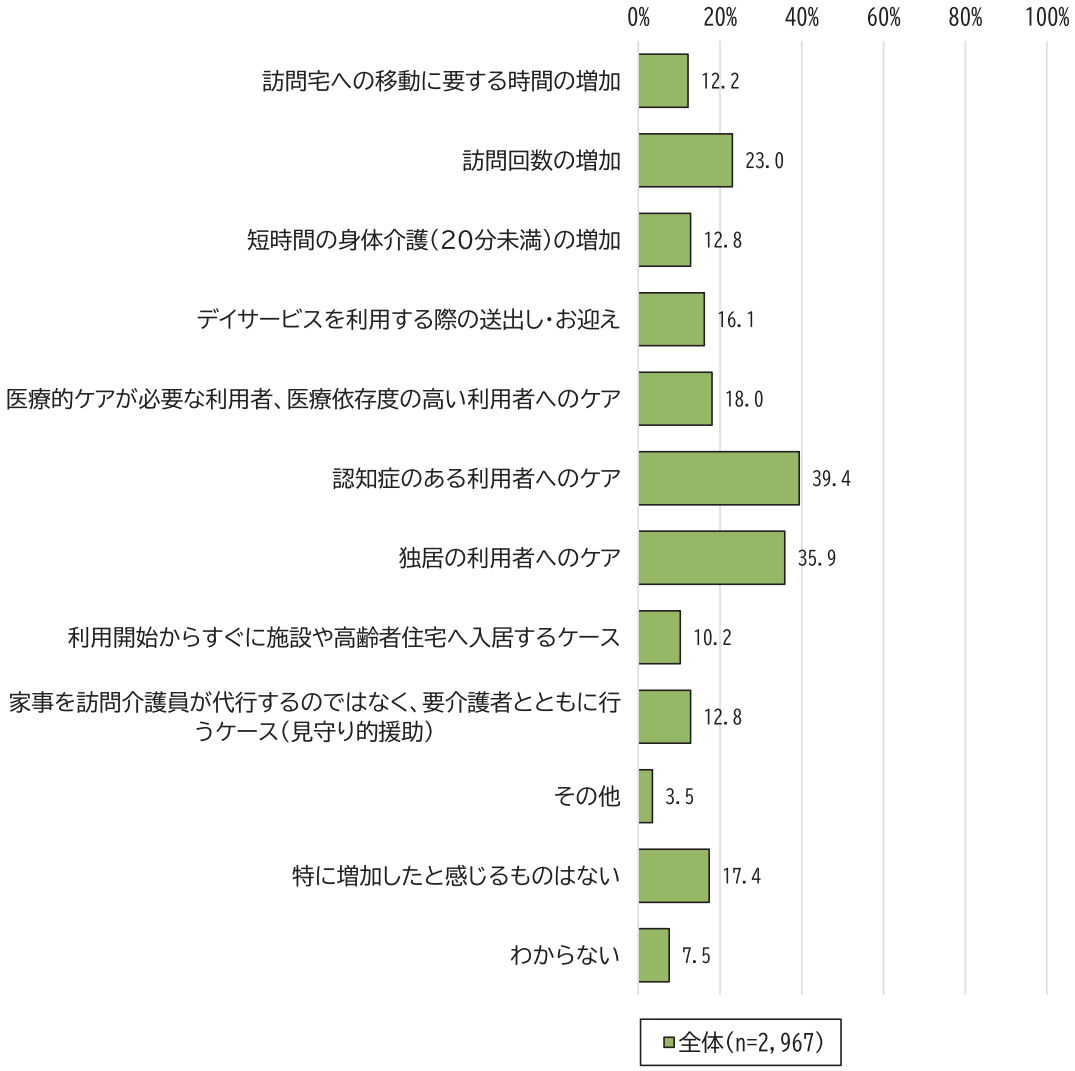
（6） サービス提供にあたっての課題認識

① 近年の課題・変化等についての認識

「あなたが訪問介護員として働き始めた当初と比較して、最近、特に増加したと感じる業務の内容を教えてください」と尋ねた設問については、「認知症のある利用者へのケア」の回答割合が 39.4%と最も高く、次いで「独居の利用者へのケア」の回答割合が 35.9%となっている。

【訪問介護員向け調査 Q24】 あなたが訪問介護員として働き始めた当初と比較して、最近、特に増加したと感じる業務の内容を教えてください。(MA)

図表 3-6-1 近年の課題・変化等についての認識

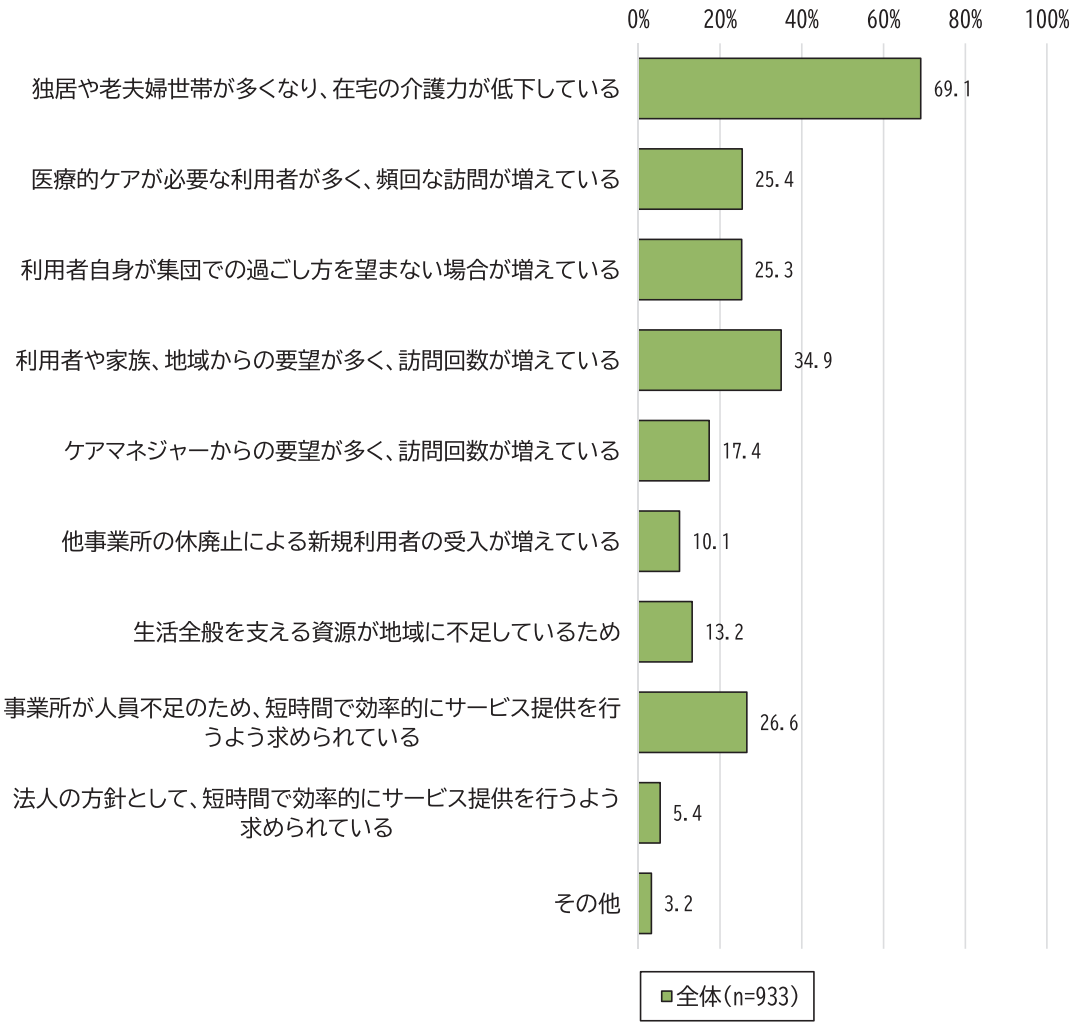


① 訪問回数の増加の要因・理由に関する認識

近年の課題・変化等についての認識として「訪問回数の増加」を回答した方に、「増加した要因として、該当するものの中で上位3つを回答してください」と尋ねた。この設問の回答については、「独居や老夫婦世帯が多くなり、在宅の介護力が低下している」の回答割合が 69.1%と最も高く、次いで「利用者や家族、地域からの要望が多く、訪問回数が増えている」の回答割合が 34.9%となっている。

【訪問介護員向け調査 Q25】 増加した要因として、該当するものの中で上位3つを回答してください。(MA)

図表 3-6-2 訪問回数の増加の要因・理由に関する認識



第４章 先進事例等調査（ヒアリング調査）

（1） ヒアリング調査結果に関するまとめ

① 訪問介護事業の現状

○ 今回ヒアリングを実施した訪問介護事業所においては、特に地方部において、高齢者数の減少や施設に入所する要介護者の増加（それに伴う中重度の利用者の減少）など事業環境に一定の変化が生じているとの意見が聞かれた。

○ また、独居の要介護者や認知症のある要介護者、看取り期の方へのサービスニーズが高まっているとの意見も複数の事業者から聞かれた。

○ なお、生活援助に対するニーズについては、入浴支援の通所介護での利用、中重度者の施設入所、買い物をする小売店の閉店などの影響から依然として根強く残っている様子がうかがわれた。

○ 自治体へのヒアリングにおいては、域内に中山間地域等を抱える自治体において、当該地域へ訪問する事業所が不足しているとの声が聞かれた。

② 訪問介護事業の継続に向けた課題

○ 訪問介護事業の課題としては、事業所・自治体いずれにおいても、訪問介護員の確保が困難であること（特に登録型のヘルパー）、及び同職の高齢化が進んでいることを指摘する意見が聞かれた。

○ また、事業所向けのヒアリングにおいて、中山間地域等へのサービス提供に係る移動については、移動の時間と距離、当該地域の利用者へのサービス提供に係る採算の確保、訪問介護員の運転に対する不安などが課題として挙げられていた。

○ 加えて、同じく事業所向けのヒアリングでは、一部地域で施設への入所がしやすくなったことによる中重度の利用者の減少や、人件費等の高騰などの影響から収益の確保が難しくなってきているとの意見が聞かれた。

③ 訪問介護事業の継続に向けた取組

○ ヒアリング先の事業所においては、②に記載したような課題への対応策として、いくつかの特徴的な取組が行われていた。

○ まず人材確保の問題については、常勤職員の採用の強化、採用方法の多様化（新卒者対象の採用、SNS 等の活用、高校生へのアプローチなど）、職場の雰囲気の改革、キャリアパスの構築、処遇の改善、初任者研修受講に係る負担の軽減などの取組が進められていた。

○ また、人材確保を後押しする自治体の施策もみられ、例えば、東京都による「介護職員奨学金返済・育成支援事業」や「介護職員宿舎借り上げ支援事業」などが特にユニークなものとして挙げられる。

○ 次に、中山間地域等の移動負担の問題に対しては、高知県や静岡市において当該地域での訪問系サービスの確保に向けて、事業所に対する独自の加算や補助金を給付する施策が講じられていた。

○ 収益確保の問題については、特定事業所加算の算定、より報酬単価の高い身体介護への注力、ケアマネジャーとの信頼関係構築による利用者の確保といった基本的な取組が行われているほか、職員のアイドルタイムを削減する観点から ICT の活用なども複数事業所で進められていた。

④ 訪問介護事業の展望・行政等への支援ニーズ

○ 訪問介護事業の今後の展望については、大都市部以外は利用者数の減少が予測されることから、一定以上の事業規模を確保しなければ継続が難しいのではないかとの意見が複数聞かれた。

○ また、行政等への支援ニーズとしては、訪問介護員の評価・地位の向上に向けた取組、処遇改善に向けた施策の継続、人材採用に対する支援の充実、中山間地域等へのサービス提供に係る自治体独自の加算との支援などを求める意見がみられた。

（2） 訪問介護事業者向けヒアリング調査結果

① 株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ

事業者・事業所名 （所在地・実施日）	株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ （東京都新宿区・2023 年 11 月 28 日実施）
訪問介護サービスに対するニーズやニーズの変化	―
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ 登録ヘルパーは勤務時間等の業務上の制約があることに加え、管理工数が正規職員と比較すると多い。 ○ 労働力人口が減少している上に、介護業界を希望する人も少なく、業界全体の人手が不足している。正規職員を希望する人は IT 業界のようにいろいろ学べる業界に、パートを希望する人は小売業等に行ってしまう。 ○ 自転車での移動負担、悪天候下での移動負担などがある。警報級の大雨や強風の時は、サービス実施日の延期や自転車から徒歩移動への変更などで対応。降雪時はタクシー移動に変更とし、費用は会社が全額負担している。
訪問介護事業の継続に向けた取組	◆ 正規職員中心の採用 ○ 人材確保の方策として、いち早く正規職員中心の採用を実施。現在、正規職員と登録ヘルパーの比率は 9 対 1。 ◆ 新卒採用への注力 ○ 新卒者専門の人材紹介会社向けに、求める人材像を伝える会社説明会を実施。介護業界と親和性の高い業界（接客等）を希望する大学生に範囲を広げ、人材を紹介してもらっている。 ○ 学生と近い年齢層の職員が面談する機会を設け、学生の会社の実情を知りたいというニーズに対応している。 ◆ 自社負担による初任者研修等の実施 ○ 新卒採用の場合は、資格の有無に関わらず入職前研修として実務者研修を実施している。 ○ 中途採用の場合は、資格保持者は実務を通じて指導を行い、資格を持っていない場合は初任者研修を受けて頂く。研修費は、新卒は無料、中途は 1 年以内に辞めた場合は受講者負担としている。 ◆ 入社後のキャリアパスの複線化 ○ マネジャー志向の新卒者とそれ以外の新卒者それぞれの希望を踏まえたキャリアパスを提示している。 ◆ 他業界と遜色ない給与額の設定

	○ 新卒者については 23 万円/月、サービス提供責任者は年収 400 万円が見える額の給与額を設定している。 ◆ 訪問介護に従事する職員の給与体系の工夫 ○ 訪問介護の仕事にかかる負荷を考慮し、給与を通所介護より 1 万円高く設定。 ○ 稼働に応じて変動する賞与設定。 ◆ ICT 活用等の業務効率化への取組 ○ コールセンターの設置。各事業所が2コール以内に電話に出ない場合、コールセンターに転送され、センターが対応（利用者データや職員の動きをセンターが把握できるようなシステムを構築）。 ○ 自社独自の請求システムを構築。
今後の訪問介護事業の展望・取組	○ 代表が最終的な事業規模について 1,000 億円を目指すと言っている。約 1 兆円の訪問介護市場のうち、10%のシェアを獲得することは低いハードルではない。そのため、現在主軸としている訪問介護事業がもう少し展開した後、別事業を展開する可能性はある。 ○ 1 事業所だけで採用と教育を行うことは難しい。1 法人 1 事業所のような規模感では経営が難しく、ある程度統合がされないと、効率化や人材問題は解決できないと考える。 ○ 人材不足のため、訪問介護だけができることを打ち出すという意味で、財源の面から生活援助サービスのある程度の切りつめと他のサービスへの移行は必要と考える。自治体・行政がデータ上で、本当に必要な生活援助サービスか否かの判断をすることは難しいと考える。
行政等への支援ニーズ	—
補足・備考等	○ ニーズの変化ではないが、法改正で生活援助の回数に応じたケアプラン提出が義務付けられた後、「ともに行う介護」（身体 1-6）が増えた。 ○ 最低でも月の売上が 300～400 万円ないと新卒を採用できない。長期的には、数年で約 5 事業所、10 年で約 20 事業所に増やし、1 事業所当たり 600～700 万円の売上が計上できるくらいの事業展開をしないとキャリアパスの面で社員のポジションが変わらず、辞める可能性がある。

② 有限会社あらたケアサービス

事業者・事業所名 （所在地・実施日）	有限会社あらたケアサービス （高知県四万十市・2023 年 11 月 29 日実施）
訪問介護サービスに対するニーズやニーズの変化	○ 四万十市は令和３年くらいから高齢者数が減少に転じ、今後、訪問介護だけでやっていけるのかという不安を感じている。 ○ 最近では高齢者単身の世帯、「認認介護」の世帯が増えた感じがある。 ○ 以前はお盆や正月等は家族が介護するので訪問介護はキャンセルというケースが多かったが、最近ではお正月など特別な日こそ訪問介護を利用し、家族が休息するという使い方に変わってきた印象がある。 ○ 小売店等の閉店が続き、移動販売しかないような地域もある。そうした地域では買物は生活援助で対応するしかない。かえって、生活援助が増えているところもある。
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ 全県的・全国的に中山間地域の訪問介護事業者が休廃止している。 ○ 移動で片道 30 分かかるような地域の利用者もいる。最初はそうしたエリアにも複数の利用者がいたが、亡くなったり、入所が進んだ結果、当該地域に利用者が 1 人だけになってしまった。 ○ 登録ヘルパーが確保できない。また、訪問介護員の高齢化も進んでおり、夜間の運転等に不安を感じて、夕方のシフトには入りたくないという職員もいる。 ○ 利用者一人当たりの単価が低下している。この背景には、重度の方が施設に入所しやすくなったこと、総合事業の利用者が増えていることなどがある。
訪問介護事業の継続に向けた取組	◆常勤職員の採用 ○ 登録ヘルパーの採用が難しい中、常勤職員であれば多少の応募がある。そこで常勤の採用を始めた。ただ、常勤の訪問介護員だけで利用者に対応するのは難しい（既存の登録ヘルパーが仕事がないと辞めてしまう）ため、稼働管理が複雑になる。 ◆介護職員認証評価制度の取得 ○ 常勤職員を増やすにあたり、キャリアパスを作った。 ○ 高校生が就職先を探す際、認証評価制度を取得している事業所か否かが一つの目安になっていると聞く。常勤職員を採用していくためにも評価制度は必要と思う。 ◆高知の在宅ケアを守る会の設立 ○ 県内の介護事業者が集まり、一般社団法人を設立。訪問介護の事業継続に向けて様々な活動をしていきたいと考えている。
今後の訪問介護事業の展望・取組	○ 中山間地域等における訪問介護事業所の閉鎖が相次いでおり、行政も問題意識を持っているのではないか。

	○ 特に中山間地域等では、1 法人 1 事業所のような規模で事業を継続していくのは難しいのではないか。 ○ 大規模化を進めていく、例えば高知市に本社があり、そこで一元的に管理をして各地方に訪問介護員を派遣するような事業のやり方に移っていくのではないかと思う。 ○ 1 事業所あたりで利用者数が 50 人ほど確保できて、収支がようやく均衡するような状態ではないか。
行政等への支援ニーズ	○ 中山間地域等の利用者へのサービス提供については、経営面での負担が大きい。自治体が独自のインセンティブを強化していくことを期待したい。 ○ 人材確保に向けて、訪問介護でも普通の生活ができる、家族を養うことができるという点や訪問介護の魅力を伝え、訪問介護員あるいは訪問介護のステータスの向上を図るための取組が必要と考える。
補足・備考等	○ 高知県の在宅ケアを守る会の取組として、高校生やその保護者を対象とした入門的研修や生活援助従事者研修などを取得してもらい、アルバイトを兼ねて訪問介護のことを身近に感じてもらうような取組を企画している。

③ 株式会社アカリエ

事業者・事業所名 (所在地・実施日)	株式会社アカリエ(ツクイグループ) (神奈川県横浜市・2023 年 11 月 29 日(水))
訪問介護サービスに対するニーズやニーズの変化	○ 国の財源が厳しい影響かもしれないが、要介護認定が厳しくなってきている印象を受ける。例えば、従来なら要介護 3 と認定された人が要支援や要介護 2 に認定されるケースがみられる。 ○ 国として、地域包括ケアシステムを推進しているので、在宅介護に対するニーズは増加している印象がある。 ○ 認知症や看取りに対するニーズは着実に増えてきている。
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ 訪問介護サービスが介護業界内でも最も人材が不足しており、有効求人倍率も 15 倍を超えている。需要のニーズは増加している中において、新しい人を採用することが難しい。ツクイグループにおける訪問介護員の平均年齢が 59 歳と業界の平均年齢(54.8 歳)よりも高く、高齢化が進んでいる。 ○ 訪問介護を運営するにあたっての経費の高騰や、職員の処遇改善を実施したことによる人件費の高騰の影響から収益が厳しくなってきている。訪問介護の介護給付費は年々増加している状況だが、(ツクイグループの)訪問介護の売上はあまり変わっていない。 ○ 訪問介護については、ICT の活用が他の介護サービスに比べて非常に遅れている。
訪問介護事業の継続に向けた取組	◆若手人材の確保に向けた各種取組(無資格者採用・処遇改善、SNS での情報発信など) ○ 無資格者や介護未経験者でも採用している。採用後、職員は初任者研修を受講するが、受講代は同法人が支払うため、負担はない。 ○ 待遇面において、介護業界平均の 3 割増しの年収を支払っている。 ○ 20～30 代は SNS に関心が非常に高いことから、採用活動にはインスタグラムを積極的に活用して情報を提供している。 ○ 利用者に対する接遇マナーやホスピタリティを身に着けていれば、職員の服装や髪型に制限はない。 ○ ケアに入れる時間が増える、いわゆる事業所の売上に貢献する時間が多いほど、賃金が上がる成果報酬型の給与制度を構築しており、職員のモチベーションを高めている。 ○ 福利厚生にも力を入れている(図書購入制度:介護に関連する書籍は同社負担で購入可など)。 ◆身体介護比率を意識した KPI の設定

	○ 単価の高い身体介護の比率を高めている。身体介護をメインで、サービスを組み立てるという運用モデルにして、この部分を意識した KPI を設定。 ◆ICT 機器の活用による業務の効率化 ○ ICT の活用にはかなり力を入れており、実際のケアを除く基本的な業務に関してはスマホで完結できるように行っている。また、ケアマネジャーに対しても情報を電子媒体で共有する等の工夫を行い、少しずつケアマネジャーからの依頼を増やしている。 ○ 社内には介護事業部と IT 事業部があるので、介護の現場の困りごとを IT で解決しようという風土が醸成されている。介護×IT による相乗効果が発揮できる環境にある。
今後の訪問介護事業の展望・取組	○ 事業モデルとオペレーションを 20～30 代の若い人材で運用することを大前提に置いているので、若い人材が通勤しやすいことを重点的に置いていく。 ○ 2023 年 12 月に神奈川で新規に 2 事業所を開設するとともに、2024 年には中部地域で新規の事業所を立ち上げる計画である。 ○ 現在は新しいモデルについて試行状態である。複数の事業所を運営することにより、取組の効果や課題がより浮き彫りになる。それらを通じて、いずれは、今後のグループ全体の訪問介護事業のビジネスモデルを構築していきたい。
行政等への支援ニーズ	○ 採用に対する支援がさほど多くない。例えば、一定の条件を満たせば、採用コストの何割か補助する制度等があると、非常にありがたい。採用コストに対する支援は介護事業者にとって非常に有益と考える。
補足・備考等	○ 当社はツクイグループにおける訪問介護の新しいビジネスモデル・スタイルを検討するプロジェクトとして試行的な取組を実施している。 ○ 様々な取組を実施した結果、20～30 代の応募状況は月に 30～50 件程度まで増加しており、採用戦略は一定の成果があったと考えている。 ○ 他方、営業件数はある程度予想通りだが、成約件数（営業を通じて契約に結び付く件数）は想定を下回っている。要因としては、職員の訪問介護の経験が少ないことにより、ケアマネジャーのニーズに的確に対応しきれていない部分がある。そのため、職員研修は改善をしなくてはいけないと感じている。

④ 社会福祉法人御嵩町社会福祉協議会

事業者・事業所名 (所在地・実施日)	社会福祉法人御嵩町社会福祉協議会 (岐阜県御嵩町・2023 年 11 月 30 日(木))
訪問介護サービスに対するニーズやニーズの変化	○ 従来は身体介護(特に入浴介助)のニーズが多かったが、施設の整備が進んできていることや訪問介護と同時に通所介護も利用するため、入浴介助のニーズは減ってきている。 ○ 通所介護を利用することを拒否するが、見守りが必要なため、訪問介護に入ってほしいケースや、他人と接することが難しいため、まずはヘルパーと接点(コミュニケーション)を持ってほしいという依頼が多くなってきている。
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ 人材不足から依頼を断っているケースもある。 ○ 介護保険における訪問介護員がいまだに「お手伝い」のように扱われていることが課題である。 ○ 夫婦世帯で 1 人が要介護、もう 1 人が非要介護者といった場合、調理や洗濯を 1 人分だけできるのかという問題等、生活援助は捉え方が非常に難しい。 ○ 初めてサービスに入る時、「ゴミ屋敷」のような状態となっているケースもある。しかし、当事者や家族からの依頼がないと我々は動くことができず、もう少し早い段階で支援に入れればと感じることもある。 ○ 赤字状況が続いていたことから、事業所の閉鎖や統合の話もあった。 ○ 訪問介護は介護の技術が商品であり、利用者と接することや、チームで力を合わせること、他職種と連携をとることも全て「人と人」のつながりであるので、職員間の人間関係やコミュニケーションがなによりも大事と考えている。 ○ 日程、時間帯、派遣する訪問介護員によっては移動距離が長くなり、身体的な負担が大きい。
訪問介護事業の継続に向けた取組	◆無資格者の採用と法人負担による初任者研修の実施 ○ 初任者研修の資格所有者のみを採用していたが、人材が集まらないため、無資格でも採用することを決めた。加えて、補助金を活用して、初任者研修を実施し、人材を募集した。他方、研修開催はある程度の費用と日数がかかってしまうため、頻繁に行うことは難しい。 ◆短時間巡回型訪問の実施 ○ 県が推進している「短時間巡回型訪問介護基盤強化事業」を活用して、「身体介護 0」の支援を実施している。訪問介護の利用に消極的な利用者に対して、「身体介護 0」でサービスに入って様子を観察すると、様々な支援が必要であることが分かり、結果、「身体介護1」等に移行する場合もある。反対に、途中から支援が 20 分未満で済むケースになった場合は、「身体介護 1」から「身体介護 0」にケアプランを変更してもらうこともある。

	◆経費節減 ○ 備品購入等にかかる経費を削減した（制服支給の凍結、定期購入図書の廃止等）。 ◆特定事業所加算の算定等による売上高の拡大 ○ 加算を算定していなかったため、特定事業所加算Ⅱを算定（後にⅠを算定）。 ○ 同加算Ⅰを算定する際には、ケアマネジャーへ要介護度が重い方の紹介、（生活援助が必要な利用者であっても「生活援助3」をなくし）「身体1生活1」での対応を依頼した。 ◆効率的な訪問ルートの策定・アイドリングタイムの削減 ○ 訪問件数が多いため、30 分支援して 10 分移動という形を基本としており、なるべくアイドリングタイムは作らないように訪問ルートを決めている。 ○ 訪問間の時間が空いた場合、事務所での PC 作業、出先での研修動画の視聴などをしてもらい、その時間が無駄にならないような工夫をしている。 ◆ICT 機器の活用による業務効率化 ○ ICT 機器の導入補助金を活用して、1 人 1 台タブレットを導入した。 ○ 移動途中での記録作成が可能となり、残業時間の削減等につながった。 ○ また、利用者の写真等をケアマネジャーへ送信したり、外傷の様子等を訪問看護事業所と共有し、その場で判断を仰ぐなど情報共有の効率化とケアの質の向上につながっている。
今後の訪問介護事業の展望・取組	○ 人材確保として、雇用形態を見直していき、短時間でも働きやすい職場としてアピールしていきたいと考える。
行政等への支援ニーズ	○ 障害の方は 65 歳になると介護保険に移行するため、担当者（相談支援専門員からケアマネジャー）の変更等が生じるが、障害分野と介護分野では、利用者に対する考え方が異なる。重層的支援体制整備事業を進めるのであれば、障害と高齢がもう少しつながりやすい仕組みを提案してくれると助かる。 ○ 処遇改善などの加算については今後も継続してほしい。 ○ 訪問介護員の地位が大分低いように感じる。訪問介護員の地位の向上に向けた支援があればよいと思う。
補足・備考等	－

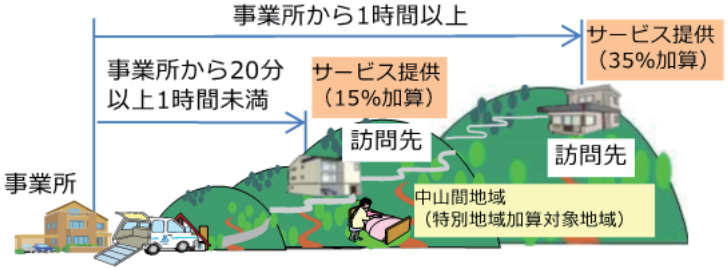
⑤ ニチイケアセンター三沢（株式会社ニチイ学館）

事業者・事業所名 （所在地・実施日）	ニチイケアセンター三沢 （青森県三沢市・2023 年 12 月 8 日実施）
訪問介護サービスに対するニーズやニーズの変化	○ 地域全体として少し要介護度が重くなると有料老人ホームなどの施設へ入所することが多い。その結果、在宅の中重度の方が減り、要支援の利用者が増えている。 ○ また、特に身体介護が必要な重度の方の入所が進んだこと、土地柄として入浴は通所介護で利用するケースが多いことなどから、訪問介護に対するニーズとして生活援助は根強い。
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ 少しずつ職員の平均年齢が上がり、訪問介護員の高齢化が進んでいる。 ○ 最近は有料老人ホームが多数開設されている。働く側とすれば、移動負担もなく、効率的に稼げ、困ったときには周囲のスタッフに聞けるという環境を選ぶのではないか。結果として、職員採用の難しさに拍車がかかっている。 ○ 就業環境や求められるスキルの特殊性から、訪問介護人材の育成は時間がかかる。 ○ 利用者が 50 人のうち 11 人が中山間地域に住んでいる。移動だけで片道 25 分～30 分かかり（冬季はさらに時間がかかる）、それに大きく時間を取られている。移動の時間を短くできれば利用者が増やせるが、難しい状況。移動時間に給与が支払われないため、登録ヘルパーはやはりそうしたシフトに入ることに消極的になる。 ○ 訪問用の車両は持ち込みのため、事故などを起こすと個人の保険で対応してもらうことになる。また、ガソリン代なども高騰しているため、非常勤の職員が遠方の利用者に対応することはリスクや負担が大きい。遠方の利用者の対応は常勤職員が中心になる。 ○ 周辺自治体の訪問介護事業所が新規利用者に対応できない場合、当事業所に依頼が来る。近隣の事業所のサービスを受けられれば利用者の負担も少なく済むが、現状、利用者も中山間加算等の負担をしてサービスを受けている状況ではないか。
訪問介護事業の継続に向けた取組	◆遠方へのサービス提供時の社用車の貸出 ○ 遠方の利用者へのサービス提供について、非常勤の訪問介護員のガソリン代の負担などを考慮し、社用車の利用を認めることもある。そうすることで、非常勤の訪問介護員でも遠方の利用者に対応してもらいやすくなる。 ◆ケアマネジャーとの関係構築

	○ 大手の法人としての信頼感、これまで長く事業を行ってきた実績などから、地域のケアマネジャーとは「何かあればまずニチイに相談」という関係を構築できている。 ○ 採算や効率性の観点から厳しい依頼などを受けることもあるが、地域のために対応していきたいと考えている。 ◆自社が運営する初任者研修受講者への声掛け ○ 全社的に自社が運営する初任者研修の受講者への声掛けを通じた採用を進めている。 ○ 初任者研修の受講料は、参加しやすいよう 4 万 4 千円と比較的安価に設定。さらに自社に入ると勤務時間や勤務日数に応じてキャッシュバックする制度を設けている。 ◆友人・知人の紹介キャンペーンの実施 ○ 職員の友人・知人が入社し、一定の勤務実績を残せば紹介料を紹介者・紹介を受けて入社した職員の双方に支給している。 ◆ICT 機器の活用による業務の効率化 ○ 会社として 2023 年 11 月に記録作成等の効率化のためのシステムを導入した。導入したばかりということもあり、どの程度、職員の負担が軽減されるかは未知数。
今後の訪問介護事業の展望・取組	○ 三沢市においては、今後、訪問介護の利用者が大きく増加するとは考えていない。
行政等への支援ニーズ	○ 訪問介護は在宅生活を支える上で重要なサービスである。人材育成にも丁寧な OJT が必要で、時間がかかる。サービス提供の時間が45分・1時間などと決められており、移動時間もあることから効率化も図りづらい。 ○ この点、訪問介護の価値を報酬等において適切に評価してもらいたい。
補足・備考等	―

（3） 自治体向けヒアリング調査結果

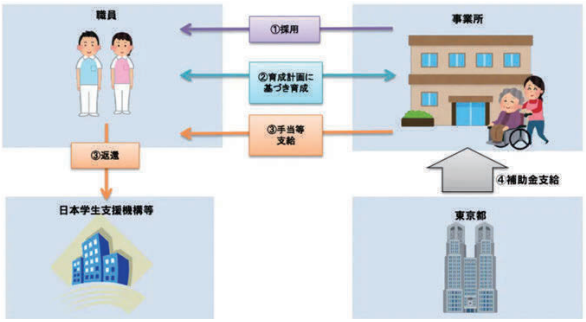
① 高知県

自治体名（実施日）	高知県子ども・福祉政策部長寿社会課 （2023 年 12 月 4 日実施）
自治体内の訪問介護の状況	○ 県内ほとんどの地域で今後も高齢化や過疎化が進んでいくことが見込まれる。 ○ 近年、中山間地域における人材不足や事業所の地域偏在が進み、中山間地域の介護サービス確保がますます困難になっている。
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ サービス需要量は今後も増加見込みであり、在宅サービスを支えるホームヘルパーの高齢化など、特に中山間地域における介護人材の確保は喫緊の課題。
訪問介護事業の継続に向けた支援施策	【中山間地域介護サービス確保対策事業費補助金】 ○ 中山間地域等における介護サービスの充実と経営の安定のため、サービス対象者が点在する業務効率の悪い中山間地域に居住する利用者にサービス提供した事業者に対し、移動時間に応じた基本報酬への上乗せ補助等を実施。（平成 23 年度～） ＜サービス提供の確保＞ ・ 訪問先が中山間地域（特別地域加算対象地域）であり、事業所から20分以上1時間未満の場合には、基本報酬の15%、1時間以上の場合は35%を加算。 ＜介護人材の確保＞ ・ ケアマネジャーやホームヘルパーの確保が特に困難な中山間地域において、事業者の新規雇用職員に対して、一時金や転居費用を支給した場合の補助制度を新設。（令和 5 年度～） **中山間地域の介護サービスの確保** **○中山間地域介護サービス確保対策事業費補助金** ・中山間地域の介護サービスの充実を図るため、訪問及び送迎に要する時間や地域の利用者数に応じた支援を実施 （補助対象介護サービス） 訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリ、通所介護、通所リハビリ、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所  出所：高知県提供資料

国や介護事業者へ期待すること	○ 特別地域加算対象地域の利用者負担の考え方や非効率な中山間地域でのサービス提供など、地域の実情に合った報酬への反映。
補足・備考等	○ ICT の導入は積極的に進めているが、小規模な訪問介護事業者では職員の高齢化もあり、導入が進まない状況もある。

② 東京都

自治体名（実施日）	東京都福祉局高齢者施策推進部介護保険課 （2023 年 12 月 8 日実施）
自治体内の訪問介護の状況	○ 2025 年に団塊の世代が 75 歳以上になるので、全国的にはそこがピークということが1つあるが、東京都では 2040 年まで高齢者の数自体が増えていく状況にある。 ○ 施設の少なかった東京都では、近年は特養整備に力を入れていたが、状況は変わってきており、施設ニーズが以前より落ち着いている。 ○ 人材不足が事業者の関心ごととして強い。訪問介護に関しては、今すぐ足りていないとまでは言えないが、高齢化が進んでいて今後が心配な状況。ケアマネジャーも訪問介護事業所を探すことに苦労しているという話も聞く。
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ 他産業でも人件費が高くなっており、介護事業所が人を獲得できていない。東京都は他の地域に比べると人はいるかもしれないが、他産業との人の取り合いが激しい。 ○ 以前は介護は「マイナスイメージ」と言われていたが、今はマイナスイメージすらない（それほど介護の仕事が知られておらず、求職者の意識に上らない）という状況かもしれない。 ○ 訪問介護は常勤職員が採用しづらい報酬制度になっているのではないか。登録ヘルパーの担い手であった専業の主婦層が減るなかで、どういう雇用形態が望ましいかということも考えなければいけない。
訪問介護事業の継続に向けた支援施策	【介護職員奨学金返済・育成支援事業】 ○ 大学等の新卒者をターゲットとして考え、福祉系以外の一般の大学を卒業した方が福祉の業界に入りやすくすることを目的として平成 30 年度から実施。 ○ 介護保険事業所等が常勤介護職員（有期雇用を除く）として就職した介護業務未経験者等を育成計画に基づき計画的に育成するとともに、キャリアアップできる環境を確保するため、在学中に奨学金の貸与を受けた者に対して返済金相当額を手当として支給する場合に、都が事業者に対して補助を行う制度。 ○ 1 人当たり年 60 万円を上限として補助。

	 出所：東京都「令和 5 年度　介護職員奨学金返済・育成支援事業費補助金説明資料Ⅱ補助金の申請手続き等について」より転載
訪問介護事業の継続に向けた支援施策	【介護職員宿舎借り上げ支援事業】 ○ 介護職員の宿舎の借り上げを支援することで、働きやすい職場環境を実現し、介護人材の確保定着を図るとともに、事業所による防災の取組を計画的に進め、地域の災害福祉拠点として、災害時の迅速な対応を推進することを目的として平成28 年度から実施（当時は訪問介護事業所は対象外）。 ○ 助成対象経費と助成基準額（1戸当たり月 82,000 円）を比較し、少ない方の額に助成率7/8を乗じた金額を助成、または、助成率1/2を乗じた金額を助成。 ○ 令和 4 年度～在宅系のサービス事業者など、福祉避難所の指定を受けていない事業者にも適用。訪問介護事業所は 1 事業者あたり4戸を上限として助成。
国や介護事業者へ期待すること	○ 報酬の体系として、移動時間が含まれないとか、急なキャンセルにも補償がないなど、登録ヘルパーが仕事をして安定した収入を得られない仕組みになってきているようにも思われる。 ○ 小規模な事業所が多いという現状をどうするかということも考えなければならない。人材が足りないなら効率化を考えなくてはいけないが、国の挙げている連携法人なども簡単に作れない。大規模化だけが効率化ではないが、今は事業所が少ない中で、どう効率化するかということを制度の中で考えなければならない。 ○ 訪問介護は、介護の仕事のなじみが薄くなっている中で、ひとりで他人の家に行き仕事をするので、何をするか不安、イメージわかないという課題も増えている。国を中心に、訪問介護に特化した PR などの取り組みがあるといい。
補足・備考等	○ 訪問介護では初任者研修の受講が必須であるため、東京都では初任者研修を無料で取得できる支援もしており、東京都が区市町村の取り組みを補助する制度もある。区市町村の方でも資格取得の支援などを積極的にやってほしいと呼びかけしている。多くの方が負担なく初任者研修を受けられる状況を作っていきたい。 ○ 就業促進事業も実施している。無資格・未経験の方を雇った場合は、6 か月は都から給与が出る仕組みで、その間に初任者研修を受講していただくようにしており、受講費も都が補助している。

	○ 訪問介護は ICT やソフトを入れて管理することが有効であるが、なかなか進まないのが現状。大きい事業者は導入しているが、小さい事業所は導入していないところが多い。何を入れていいかわからないとか、運用面の見直しに関するハードルが高いと認識されている。また、訪問介護は高齢の職員が多く、PC やタブレットを使い慣れていない、使い方がわからない方が多いことも課題になっている。

③ 岐阜県

自治体名(実施日)	岐阜県健康福祉部 高齢福祉課 (2024 年 1 月 10 日実施)
自治体内の訪問介護の状況	○ 各市町村の介護保険事業計画を見る限り、現状で通所介護や訪問介護のニーズが伸びている。一方、県の北部や中山間地等では事業者が少ない状況にあるなど、サービスの供給力については地域によって差が見られ、一部では需給ギャップも生じている。
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ 事業運営上の課題として、人材の確保が挙げられる。
訪問介護事業の継続に向けた支援施策	【短時間巡回型訪問介護基盤強化事業】 【在宅介護普及啓発支援事業】 【訪問介護強化事業によるアドバイザー派遣】 ○ 岐阜県では在宅でのケアに重点を置くという考えを持っており、制度改正により短時間巡回型の訪問介護が可能になったことを受け、各地域で効率的にケアを行うための有効な手段として着目。人手不足という課題もあり、効率化を図ることが重要であると考えている。 ○ 短時間巡回型訪問介護基盤強化事業は平成 26 年度より実施(交付要領の施行は平成 25 年 11 月)されていた事業で、短時間巡回型の訪問介護を盛り込んだケアプランに対し、1 件につき新規申請時に 1,000 円、以後 500 円/月の助成金を給付(本給付は終了)。 ○ 上記に加え、「在宅介護普及啓発支援事業」の中で、事業者を対象とした圏域単位の会合(県内の全 5 圏域で実施)にて、事例発表や意見交換等を通じ、短時間巡回型の訪問介護について普及促進を図ってきた。また、訪問介護強化事業により、市町村と連携し、20 分未満の短時間訪問介護サービス導入を希望する事業所等に対しアドバイザーの派遣等を実施。 ○ 令和 5 年度からは、圏域会議の対象者を市町村・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所のケアマネジャー・訪問介護事業所のヘルパーなどとして継続中であり、実施に当たっては岐阜県居宅介護支援事業協議会とも連携している。
国や介護事業者へ期待すること	○ 上記のような取組の結果として、全体としてはあまり短時間巡回介護の普及は進んでいないが、中にはうまく対応し、独自に取組を進めている事業者も出てきている。少しずつではあるが、芽が出てきているという印象。なお、市町村の第 8 期介護保険事業計画に短時間巡回型の訪問介護の推進が盛り込まれている事例も見られる(例:飛騨市)。

	○ 取組が広がらない背景としては、訪問介護事業者やケアマネジャーにあまり経験やノウハウがなく、ケアプランの中にどのように取り入れてよいかがわからないという事情があるものと考えられる。 ○ また、巡回の効率的なルートの構築が難しいという課題もあると思われる。
補足・備考等	○ 訪問介護の支援について、実際の取組については各市町村や支援事務所を中心に進められており、訪問介護の事業運営上の課題に関する相談等の状況について、県の高齢福祉課ではあまり把握できていないとのこと。

④ 岡山県岡山市

自治体名(実施日)	岡山市医療政策推進課 (2024 年 1 月 11 日実施)
自治体内の訪問介護の状況	○ 市内に約 200 の訪問介護事業所があるが、不足している。
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ 人材確保について、根深い問題があると聞く。 ○ 移動に関する課題について事業者等から直接聞くことはないが、中山間地域も離島もある地域なので、移動に関する負担があると思われる。
訪問介護事業の継続に向けた支援施策	【訪問介護インセンティブ事業】 ○ 訪問介護員がさまざま専門職との連携を通じてより適切に利用者の状態を見られるようになること、またその人に合ったサービス提供から利用者の状態維持・改善に繋がることを目的として実施(令和元年度より総合特区の事業として実施)。 ○ 市が事業所に無償で派遣する専門職(OT・PT、歯科衛生士、管理栄養士)が訪問に同行し、実際に利用者の状態像を確認した上で、訪問介護員に対して利用者の状態維持・改善に繋がる助言をする。 ○ 同行訪問の回数は、利用者一人につき PT 又は OT との同行訪問が 2 回、歯科衛生士又は管理栄養士との同行訪問が 1 回。PT や OT は 2 回の訪問でそれぞれ Barthel Index(BI:バーセルインデックス)という指標を用いて利用者の状態を点数化する。 ○ 年度末に年間を通じて事業に取り組み、①専門職との同行訪問、②専門職との同行訪問後の訪問介護計画見直し(見直した結果、計画を変更しない場合も OK)③市が主催する研修会への参加(年 1 回)を達成した事業所を表彰。特に改善度合いの高かった上位 10 事業所は表彰状と奨励金(10 万円)を授与。 ○ 訪問介護事業所からは、今まで提供してきたサービスが自立につながっていたことがわかり励みになるという声や、勉強になったという声を頂いた。 ○ 約 200 の市内の訪問介護事業所のうち、令和 4 年度は 15 事業所が参加(リピート参加の事業所が多い傾向)。
国や介護事業者へ期待すること	―
補足・備考等	○ 参加事業所が伸び悩んでいる。理由として、訪問介護事業所が不足しているため、インセンティブ事業に参加して他事業所と差別化する必要性がないこと、登録

	ヘルパーが多いため、多職種連携することを難しく感じている可能性があること、行政主導の事業のため事業所に意図が伝わらなかった可能性があることが考えられる。 ○ 全員が PC を持っているわけではないので、全事業所に案内のメール、郵送を行い、集団指導の場で直接PRをしている。

⑤ 静岡県静岡市

自治体名(実施日)	静岡市保健福祉長寿局健康福祉部介護保険課 (書面にて 2023 年 12 月 12 日に回答を受領)
自治体内の訪問介護の状況	○ 市内の要介護認定者数は 2030 年代後半にピークアウトを迎える。今後大規模な施設整備等は予定しておらず、在宅要介護者(特に重度者)を支える仕組みづくりが必要。 ○ 令和 4 年度から訪問介護事業所数は増加傾向にあるが、近年の廃止事業所の状況として、理由の多くが人員不足によるものであり、他の施設系サービス等の介護職員と比べても人材難が大きな課題となっている。 ○ 訪問介護は 65 歳以上労働者の比率が他サービスの2倍近くとなっている。
訪問介護事業の継続に向けた課題	○ 市域の大半を山間地が占めるものの、サービス提供を受ける市民、サービス提供を行う事業者の大半は市街地にいることから、山間地域に住む市民へのサービスの確保・提供が課題。 ○ 認定率は政令市平均と同程度であるが、人口に対する施設系サービスや訪問系サービス、定期巡回の事業所数は政令市平均と比較して少ない。 ○ 中山間地域に事業所を構える訪問介護事業所が少ない。
訪問介護事業の継続に向けた支援施策	【静岡市山間地域介護報酬加算補助金】 ○ 山間地域におけるサービス提供は、事業所から利用者居宅への移動距離が長く、また対象者が少数で地域的にも散在していることで事業効率が悪く、人件費負担等の負担により採算が合わないことがサービス提供を阻害する要因ではないかという考えのもと、山間地への介護サービス提供の確保を図ることを目的として開始(平成 15 年度～)。 ○ 山間地域(山村振興法(昭和 40 年法律第 64 号)第7条第1項の規定により振興山村の指定を受けた区域)に居住する居宅要介護被保険者等に関して、介護サービスの実施に係る事業所と当該介護サービスの対象となる対象者の居所との距離が 20 キロメートル以上ある場合、または地理的状況等により介護サービスの確保が困難であると市長が認める対象者については当該距離が 10 キロメートル以上ある場合に補助を行う。(20 キロメートル以上の場合は 1 回 2,100 円、10 キロメートルの基準の場合は 1 回 1,200 円)。 ○ 10 キロメートルの基準は、山間地域にある訪問介護事業所がより奥地へのサービス提供を誘導するため設定したもの。 ○ 補助額は、要綱策定当時のサービスごとの人件費や移動時間、燃料費等を積算し、設定したもの。

国や介護事業者へ期待すること	○ 訪問介護に限らず、介護事業所との意見交換や現場を知ることが大切だと考えている。 ○ 文書事務については簡素化に向けた取組が必要だと考える。 ○ 国には報酬の見直しや処遇改善を期待する。今後危機的な状況になることが予想される。
補足・備考等	○ 「静岡市山間地域介護報酬加算補助金」の直近3年間の交付額、交付事業者数、利用者数(延べ) 令和2年度:4,828,100 円、9事業所、443 人 令和3年度:3,716,000 円、10 事業所、401 人 令和4年度:3,202,700 円、9事業所、433 人 ○ 訪問介護に限らず、各種人材確保事業や現場の生産性向上に係る事業を実施(初任者研修受講就労助成金、入門的研修、従事者向け研修、要介護度改善評価事業、介護現場の機器導入の伴走支援事業) ○ その他、国モデル事業への参加(ケアプランデータ連携システムの利用促進)、実証を希望する企業への協力や市HPへの掲載等を実施。

第５章 調査研究結果を踏まえた提言

○ 本調査研究事業では、訪問介護のサービス提供の実態等を多角的に把握し、訪問介護サービスの持続的な提供方策や、提供体制・経営安定等に関する取組・支援のあり方等に関する議論に資するデータを得ることを目的として、アンケート調査及びヒアリング調査、有識者による議論等を実施した。

○ アンケート調査では、訪問介護事業所における地域別の移動の現状とその負担の内容、利用者の要介護度によるサービス提供内容の差異、事業継続上の課題全般とその対応策などについて情報を収集し、分析を行った。

○ ヒアリング調査においては、訪問介護のサービス提供・事業継続のために各事業所や自治体で実施されている取組について聞き取りを行った。

○ その結果、人材確保難や利用者の減少、利用者当たりの単価の低下などの要因から、収支の悪化や事業継続に関する一定の課題を抱えている事業所が少なくないことが明らかとなった。

○ また、本調査研究事業の大きなテーマであった移動の問題についても、特に中山間地域において、移動時間・距離が長くなりがちであり、訪問シフトの効率性の低下や追加的に発生する各種経費などの影響により、採算の確保やサービスの継続が難しくなっている状況がみられた。

○ こうした現状に対し、個々の訪問介護事業所や各地の自治体において事業継続に向けた取組が行われており、前者においては、常勤職員を中心とした採用の強化、ICTの積極的な活用、特定事業所加算の算定などが進められている。合わせて、自治体においては中山間地域等でのサービスの確保・継続の観点から、当該地域への訪問に対する独自加算や補助金の交付、身体介護への対応力の強化に向けた施策などが講じられている。

○ さらに、国でも職員の処遇改善に向けた施策が継続的に行われているほか、令和６年度の介護報酬改定において訪問介護に係る特定事業所加算の見直しが行われ、中山間地域等へのサービス提供が同加算の算定要件の中に新たに位置付けられた。

○ 他方、ヒアリング調査等において指摘を受けた事項の中で、今後、行政による施策、あるいは事業者独自の取組としてさらなる対応が必要と考えられる課題等も残されている。本章では、それらに対する提言を整理し、報告書全体のまとめとしたい。

① 特定事業所加算の算定に係るケアマネジャーや要介護者等への理解促進

○ 利用者の確保難や利用者単価の下落、人材不足による利用者拡大の制約などに直面する事業所が収支の改善を図るためには、特定事業所加算の算定を進めることが重要。

○ 他方、利用者の負担増などを懸念し、同加算の算定事業所に対する利用者の紹介に消極的な居宅介護支援事業所も一部に存在。

○ 中山間地域等へのサービス提供事業所による同加算の算定を推進し、当該地域でのサービス提供の確保・継続を図る観点からも、ケアマネジャー等への特定事業所加算の意義や算定事業所が提供するサービスの質の高さなどの啓発を図り、加算の算定が行いやすい環境を整えていくことが重要。

○ なお、居宅介護支援事業所等が特定事業所加算の算定事業所への利用者紹介に消極的となる背景の一つには、同加算が区分支給限度額の枠内となっていることがある。例えば、他サービスにおけるサービス提供体制強化加算のような形で、特定事業所加算を区分支給限度額の枠外とし、活用の促進を図ることも考えられる。

② 訪問介護や訪問介護員の仕事に対する社会的な評価の向上

○ 人材確保における障壁の 1 つとして、訪問介護や訪問介護員の仕事の意義や重要性が要介護者等や社会全体において十分に進んでいないとの意見が聞かれた。

○ また、①とも関連するが、利用者の個別性を踏まえて訪問介護を効果的にケアプランへ位置付けるための知識や経験が乏しいケアマネジャーも、一定数いると考えられる。

○ 人材確保やサービスの適正利用、特定事業所加算の算定の推進、多職種協働の質の向上などの観点から、地域ケア会議等で訪問介護に対するニーズや利用のあり方、訪問介護員の役割の検討などを図り、同サービスに対する「お手伝い」「家政婦」とのイメージを払しょくしていくためのさらなる取組が重要。

○ 加えて、一定以上の賃金水準を確保することも社会的なイメージの向上や人材確保に寄与すると考えられることから、訪問介護事業所に対する各種処遇改善加算の上乗せなど、さらなる賃金水準の引き上げに向けた施策も検討すべき。

③ 採用力強化に向けた ICT 活用の推進

○ 近年の国における介護現場でのテクノロジー活用の推進に向けた施策などが奏功し、訪問介護事業所においても記録や研修の効率化などに向けた ICT 機器の活用が進んでいる。

○ また、業務効率化を目的としたものだけでなく、ヒアリング調査では、若年層に訴求するための方策として SNS の活用なども一部で進んでいる様子がうかがわれた。

○ 限られた訪問介護員による増大する需要への対応、あるいは若手人材の採用促進の観点から、今後、ICT 活用はより一層重要性を増してくると推察される。

○ そこで、既存の ICT 導入補助金などの継続を図るとともに、特に採用や定着面での ICT 機器の活用事例等の周知を進めて行くことも重要と考えられる。

○ 併せて、ICT 機器の活用においては、一定のランニングコストがかかることから、導入時のみなら

ず、機器導入後の業務の効率化や質の高いケアの実現を評価し、経済的な負担の軽減を図る施策なども検討の余地がある。

④ 継続に向けて一定の事業規模が求められる点を踏まえた事業者間連携の推進

○ 国においても、介護事業所の大規模化に向けた議論が進められているが、今回のヒアリング調査では、訪問介護事業所からも一定の規模を確立しなければ今後の事業継続が難しいとの意見が聞かれた。

○ 今後、M&A もより活発化していくものと推測されるが、そのほか、事業所間のより緩やかな連携を通じた、採用や研修、訪問介護に関する啓発、災害対応などの取組、1 つのケアプランに対して複数の事業所からサービスを提供する取組なども各地で進む可能性がある。

○ 中小零細規模の事業所の業務効率化等とひいては地域における訪問介護の継続に向けて、行政や介護事業者団体等において、こうした事業者間連携の好事例の周知や連携スキームの構築支援などを行うことも考えられる。

⑤ 地域の特性を踏まえた自治体独自の訪問介護支援策の充実

○ 自治体の財政規模や在宅介護に対する政策上の位置付けなどの違いから、自治体ごとに訪問介護事業者に対する支援施策は大きく異なっていた。

○ また、ヒアリング調査の対象先を探索する中で、我々が調べた限りにおいては訪問介護に対する特段の支援策が講じられていないと思われる自治体も散見された。

○ 地域包括ケアシステムの深化を図る上で重要な役割を担う訪問介護事業の継続に向けて、各地域の特性や地域資源の現状などを踏まえ、既存の制度を組み合わせ、地域をデザインするという視点を持った自治体独自の支援の方法を検討・強化していくことが必要。

○ 併せて、事業者において一定のニーズがある訪問介護における出張所（いわゆる「サテライト事業所」）の開設について、地域の実情を踏まえて柔軟な対応を進めていくことも重要。

⑥ 実態を踏まえた訪問介護事業の報酬に関する検討

○ 訪問介護事業においては、生活援助と身体介護を専門的な知識を持つ職員が一体的に提供することで、利用者の ADL や QOL の維持・改善を図り、在宅生活の継続を支えていくサービスである。

○ 他方、報酬体系が生活援助と身体介護に分かれ、また、サービス提供時間により細分化されている。こうした報酬体系について、実態に合わせる形で包括報酬化などを検討していくことも必要ではないか。そうすることにより、現行の体系では基本報酬が低い生活援助のニーズが多い事業

所であっても経営が安定化することが期待される。

○ また、サービス付き高齢者向け住宅などを併設する訪問介護事業所において、地域の利用者を中心にサービス提供をしている事業所と比較して収支差等が高くなる傾向がある。この点を踏まえ、報酬体系や介護経営実態調査等において両者を一律に「訪問介護」と取り扱うのではなく、個別性を踏まえた議論を進めていくことも必要なのではないか。

資 料 編

【資料１】　訪問介護員向け調査回答依頼状の配付手順書 153

【資料２】　訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧 157

【資料３】　訪問介護員向け調査　調査項目一覧 171

【資料４】　訪問介護事業所管理者向け調査　単純集計結果 177

【資料５】　訪問介護員向け調査　単純集計結果 225

【資料６】　普及啓発用冊子 239

【資料１】

訪問介護員向け調査回答依頼状の配付手順書

訪問介護員向け調査回答依頼状の配付手順書

「訪問介護員向け調査回答依頼状」（ピンク色）は、下記を踏まえ、貴事業所で勤務する訪問介護員に配付をお願いします。
対象となる方にはサービス提供責任者を兼務している方、非常勤・登録ヘルパーの方、他事業所で兼務している方を含みますが、管理者を兼務している方は除いてください。

1 貴事業所に対象となる訪問介護員の方が６名以上いる場合

貴事業所に調査の対象となる訪問介護員の方が6名以上いる場合、下記の選定方法（※）に沿ってその中から５名を選定し、調査回答依頼状の配付をお願いします。

【選定方法】

① 貴事業所訪問介護員（非常勤・登録ヘルパーを含む）のお名前を五十音順で並べる。



② 前から５名の勤務形態、雇用形態によって、次の通り配付してください。

A 常勤の方と非常勤・登録ヘルパーが混在している場合又は事業所に非常勤・登録ヘルパーがいない場合

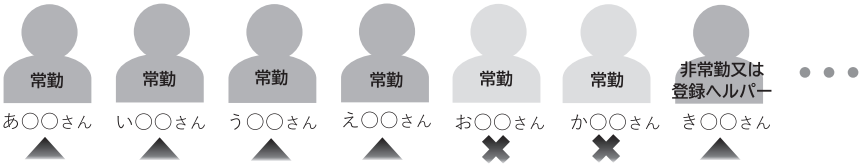
前から５名に配付してください。



※事業所に非常勤・登録ヘルパーがいない場合は全員常勤。

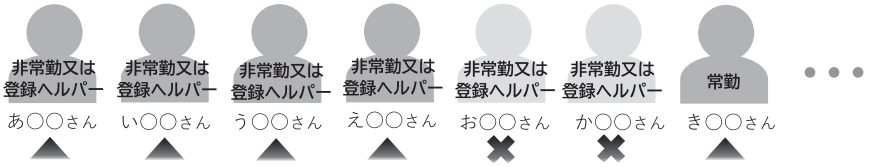
B 非常勤・登録ヘルパーがいる事業所で、前から５名が全員常勤職員であった場合

前から４名に配付し、５人目は非常勤・登録ヘルパーの中で最も順番が早い１名に配付してください。



C 前から５名が全員非常勤・登録ヘルパーであった場合

前から４名に配付し、５人目は常勤の中で最も順番が早い１名に配付してください。



2 貴事業所で対象となる訪問介護員の方が5名以下の場合

全員に調査回答依頼状の配付をお願いいたします。
（管理者を兼務している方は除く。）

対象の方が４名以下の場合、お手数ですが、残部は廃棄してください。



【資料２】

訪問介護事業所管理者向け調査

調査項目一覧

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
0	回答ID	回答ID	「訪問介護事業所管理者向け回答依頼状」に記載されている６桁のID番号を入力してください。	数値回答	ID【　　】
1	事業所の概要	運営法人	貴事業所を運営する法人の法人種別を教えてください。	単一回答	1．営利法人（株式会社・有限会社・合同会社等）　2．社会福祉協議会　3．社会福祉法人（社協除く）　4．医療法人　5．特定非営利活動法人（ＮＰＯ） 6．協同組合　7．社団法人・財団法人　8．自治体・広域連合・一部事務組合　9．その他
2		開設年月	貴事業所の開設年を教えてください。	数値回答	西暦【　　】年
3		事業所の所在地（都道府県・市区町村）	貴事業所の所在地を教えてください。	単一回答	都道府県・市区町村をプルダウンにより選択
4			貴事業所の地域区分を教えてください。	単一回答	1．1級地　2．2級地　3．3級地　4．4級地　5．5級地　6．6級地　7．7級地　8．その他
5		地域特性について	事業所が立地する地区の種類（国の関連する地域指定種類別）について、該当するものを教えてください。 該当するものが不明な場合には「わからない」を選択してください。	複数回答	1．離島振興対策実施地域 （「離島振興法」による、沖縄、奄美、小笠原等を除く、77地域256島） 2．奄美群島 3．豪雪地帯及び特別豪雪地帯 （全国のうち532市町村が豪雪地帯、うち201の市町村が特別豪雪地帯として指定） 4．辺地 （「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」において、「交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、他の地域に比較して住民の生活文化水準が著しく低い山間地、離島その他へんぴな地域で、住民の数その他政令で定める要件に該当している地域」とされている地域） 5．振興山村 （「山村振興法」に基づき、「山村」のうち、国土交通大臣・総務大臣・農林水産大臣が指定した地域。全部山村とされている市町村は200、一部山村とされているのは534となっている） 6．小笠原諸島 7．半島振興対策実施地域 （「半島振興法」により、194市町村が指定） 8．特定農山村地域 （「特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律」により、959市町村が該当） 9．過疎地域 （「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」により、885市町村が該当） 10．沖縄の離島 11．該当するものはない 12．わからない
6		地域特性について	貴事業所の所在する地域に関して、関連する加算で対象地域に該当するものがあればお答えください。	複数回答	1.特別地域加算（15%）　2.中山間地域等における小規模事業所加算（10%）　3.中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算（5%）　4.上記の加算対象地域ではない
7		地域特性について	対象地域となっている加算に関して、実際に加算算定しているものを教えてください。	複数回答	1.特別地域加算（15%） 2.中山間地域等における小規模事業所加算（10%） 3.中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算(5%) 4.いずれの加算も算定していない
8		特別地域加算・中山間地域等の加算の有無	特別地域加算・中山間地域等の加算以外で、次のうち加算算定しているものを教えてください。	複数回答	1．特定事業所加算（Ⅰ）　2．特定事業所加算（Ⅱ）　3．特定事業所加算（Ⅲ）　4．特定事業所加算（Ⅳ）　5．特定事業所加算（Ⅴ） 6．介護職員処遇改善加算（Ⅰ）　7．介護職員処遇改善加算（Ⅱ）　8．介護職員処遇改善加算（Ⅲ）　9．介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）　10．介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ） 11．該当するものはない
9		法人の規模（従業員数）	貴事業所が所属する法人全体の介護事業従事者数（非常勤を含む）について教えてください。	単一回答	1．5人未満　2．5～9人　3．10～19人　4．20～49人　5．50～99人　6．100～299人　7．300～499人　8．500～999人　9．1,000人以上 10．わからない
10		事業規模（展開している事業所数）	貴事業所を運営する法人が展開している、訪問介護事業所数を教えてください。	単一回答	1．1事業所（貴事業所のみ）　2．2～3事業所　3．4～9事業所　4．10～20事業所　5．21事業所以上　6．わからない
11		サテライト事業所（出張所）の有無	サテライト事業所（出張所）をもっていますか。	単一回答, 数値回答	1.ある　【　　】か所 2.ない
12		サテライト事業所（出張所）の立地	（サテライト事業所（出張所）がある場合） 本体事業所から最も遠いところにあるサテライト事業所（出張所）について、本体事業所からの時間及び距離を教えてください。	数値回答	片道約【　　】分 片道約【　　】キロメートル （注）通常の経路及び方法による移動時間や距離
13		事業所の従業員規模	2023年7月における、貴事業所の職員数を教えてください。 （訪問介護サービスに従事する人員の実数をご回答ください。また、該当する人員が不在の場合は「0」とご記入ください）	数値回答	サービス提供責任者　常勤【　　】人　非常勤【　　】人　常勤換算【　　】人 訪問介護員　常勤【　　】人　非常勤【　　】人　常勤換算【　　】人 その他の職員　常勤【　　】人　非常勤【　　】人　常勤換算【　　】人

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
14	事業所の概要	併設サービス等の状況	貴事業所と併設、あるいは隣接敷地にある介護保険サービス・その他高齢者福祉サービス等の事業所を教えてください。	複数回答	（※自法人の運営、関連法人の運営、他法人の運営の区別についても回答） 【介護保険サービス】 1.貴事業所以外の訪問介護　2.訪問入浴介護　3.訪問看護　4.訪問リハビリテーション 5.通所介護　6.通所リハビリテーション　7.短期入所生活介護　8.短期入所療養介護 9.特定施設入居者生活介護　10.居宅療養管理指導　11.福祉用具貸与、特定福祉用具販売、住宅改修のいずれか 12.居宅介護支援　13. 地域密着型通所介護　14.小規模多機能型居宅介護　15.看護小規模多機能型居宅介護 16.定期巡回・随時対応型訪問介護看護　17. 夜間対応型訪問介護　18.認知症対応型通所介護　19.認知症対応型共同生活介護 20.地域密着型特定施設入居者生活介護　21.地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護　22.介護老人福祉施設　23.介護老人保健施設 24.介護療養型医療施設　25.介護医療院 【総合事業】 26.総合事業（訪問型サービス・旧介護予防訪問介護相当）　27.総合事業（訪問型サービス（「旧介護予防訪問介護相当」以外）　28.総合事業（通所型サービス・旧介護予防通所介護相当） 29.総合事業（通所型サービス（「旧介護予防通所介護相当」以外）　30.総合事業（その他の生活支援サービス） 【医療サービス】 31.病院　32.有床診療所　33.無床診療所 【その他】 34.サービス付き高齢者向け住宅　35.有料老人ホーム　36.養護老人ホーム 37.軽費老人ホーム（ケアハウスA、Bなど）　38.地域包括支援センター（在宅介護支援センター）　39.障害者総合支援法に基づく居宅介護サービス 40.障害者総合支援法に基づく居宅介護サービス以外の障害福祉サービス（　　）　41.その他（　　） 42.該当なし
15		利用者の住まいの状況	貴事業所が指定訪問介護サービスを提供する利用者のうち、高齢者住宅(特定施設を除くサ高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)、シルバーハウジング等)や集合住宅(マンション・アパート・団地など)に住む利用者の大まかな割合を教えてください。	単一回答	1．高齢者住宅や集合住宅に住む利用者へのサービス提供は実施していない 2．1割未満 3．1割以上3割未満 4．3割以上5割未満 5．5割以上7割未満 6．7割以上8割未満 7．8割以上 8．わからない
16		ケアマネジャーとの連携等の状況	貴事業所が指定訪問介護サービスを提供する利用者のうち、貴法人内部のケアマネジャーが担当している割合はおおよそどの程度ですか。	単一回答	1．1割未満　2．1割以上3割未満　3．3割以上5割未満　4．5割以上7割未満　5．7割以上8割未満　6．8割以上　7．わからない
17	サービス提供状況	利用者数、利用回数	2023年7月における、貴事業所の実利用者数（要介護度別）を教えてください。また、そのうち①身体介護中心型のサービスのみを提供している実利用者数（要介護度別）②生活援助中心型のサービスのみを提供している実利用者数（要介護度別）、③両方のサービスを提供している実利用者数（要介護度別）についても教えてください。 ※要支援１、要支援２には総合事業の利用者数等をご記入ください	数値回答	要支援１　実利用者数【　　】人 要支援２　実利用者数【　　】人 要介護１　実利用者数【　　】人（身体介護中心型のみ【　　】人　生活援助中心型のみ【　　】人　両方のサービスを提供【　　】人） 要介護２　実利用者数【　　】人（身体介護中心型のみ【　　】人　生活援助中心型のみ【　　】人　両方のサービスを提供【　　】人） 要介護３　実利用者数【　　】人（身体介護中心型のみ【　　】人　生活援助中心型のみ【　　】人　両方のサービスを提供【　　】人） 要介護４　実利用者数【　　】人（身体介護中心型のみ【　　】人　生活援助中心型のみ【　　】人　両方のサービスを提供【　　】人） 要介護５　実利用者数【　　】人（身体介護中心型のみ【　　】人　生活援助中心型のみ【　　】人　両方のサービスを提供【　　】人）
18			2023年7月における、貴事業所の指定訪問介護サービス（要介護1～5の方を対象としたもの）の延べ訪問回数を教えてください。	数値回答	月の合計訪問回数を記入【　　】回　（うち、20分未満の身体介護の提供回数【　　】回）
19		平均的なサービス提供時間/回	訪問１回当たりの、平均的なサービス提供時間を教えてください。 ※指定訪問介護サービスのみ ※各要介護度の利用者への1か月間の総訪問時間数÷訪問回数で算出	数値回答	要介護１　訪問１回当たりの、平均的なサービス提供時間【　　】分　（身体介護平均提供時間【　　】分　生活援助平均提供時間【　　】分） 要介護２　訪問１回当たりの、平均的なサービス提供時間【　　】分　（身体介護平均提供時間【　　】分　生活援助平均提供時間【　　】分） 要介護３　訪問１回当たりの、平均的なサービス提供時間【　　】分　（身体介護平均提供時間【　　】分　生活援助平均提供時間【　　】分） 要介護４　訪問１回当たりの、平均的なサービス提供時間【　　】分　（身体介護平均提供時間【　　】分　生活援助平均提供時間【　　】分） 要介護５　訪問１回当たりの、平均的なサービス提供時間【　　】分　（身体介護平均提供時間【　　】分　生活援助平均提供時間【　　】分）
20		貴事業所以外の介護保険サービスの有無	貴事業所のサービス提供地域において、他に介護保険サービス等を提供する事業所等はありますか。	複数回答	1．他の訪問介護事業所がある　2．定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所がある 3．通所介護の事業所がある　4．小規模多機能居宅介護や看護小規模多機能型訪問介護看護の事業所がある 5．介護保険施設がある　6．その他の介護サービス等を提供する事業所等がある（　　） 7．いずれもない
21		貴事業所以外の介護保険外サービスの有無	貴事業所のサービス提供地域において、他に地域で提供されている介護保険外のサービス等はありますか。	複数回答	1．配食サービス　2．買い物代行サービス、 家事代行サービス　3．移動販売車 4．外出支援（移送）サービス、通院サービス　5．ミニデイサービス（介護保険外）　6．その他の介護保険外のサービス（　　） 7．その他、自己負担によるサービス（　　）　8．地域には、在宅の要支援・介護高齢者の生活を支援する介護保険外サービスはない

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
22	サービス提供状況	サービス提供地域における生活利便施設の有無	貴事業所のサービス提供地域には、以下に挙げるような施設等はありますか。	複数回答	【公共交通機関等】 1．鉄道・路面電車　2．路線バス　3．コミュニティバス　4．タクシー会社 【商店】 5．食料品や衣服、おむつなどの衛生用品等の生活必需品を購入できる小売店（デパート、スーパー、コンビニエンスストアなど） 【医療機関等】 6．病院　7．診療所（歯科医を含む）　8．調剤薬局 【その他】 9．郵便局　10．銀行等の金融機関　11．行政手続きのできる窓口・役所　12．上記の施設等はない
23		近年の課題・変化等についての認識	最近、特に増加したと感じる業務の内容を教えてください。	複数回答	1．訪問宅への移動に要する時間の増加 2．訪問回数の増加 3．短時間の身体介護（20分未満）の増加 4．デイサービスを利用する際の送出し・お迎え 5．医療的ケアが必要な利用者、医療依存度の高い利用者へのケア 6．認知症のある利用者へのケア 7．独居の利用者へのケア 8．利用開始からすぐに施設や高齢者住宅へ入居するケース 9．家事を訪問介護員が代行するのではなく、要介護者とともに行うケース（見守り的援助） 10．その他（　　） 11．特に増加したと感じるものはない 12．わからない
24		訪問回数の増加に関する認識	（上記の設問で2または3を選択した場合） 増加した要因として、該当するものの中で上位３つを回答してください。	複数回答 （3つまで）	1．独居や老夫婦世帯が多くなり、在宅の介護力が低下している 2．医療的ケアが必要な利用者が多く、頻回な訪問が増えている 3．利用者自身が集団での過ごし方を望まない場合が増えている 4．利用者や家族、地域からの要望が多く、訪問回数が増えている 5．ケアマネジャーからの要望が多く、訪問回数が増えている 6．他事業所の休廃止による新規利用者の受入が増えている 7．生活全般を支える資源が地域に不足しているため 8．事業所が人員不足のため、短時間で効率的にサービス提供を行うよう求められている 9．法人の方針として、短時間で効率的にサービス提供を行うよう求められている 10．その他（　　）
25		直近1年間の利用終了者の有無	2022年8月～2023年7月の1年間において、訪問介護サービスの利用が終了した利用者の有無と人数を教えてください。	単一回答, 数値回答	1．あり　【　　】人 2．なし ※「利用が終了」とは、何らかの理由により、契約が終了または解除されるなど、以後サービス提供を行わないことが決定した利用者を指します。
26		直近1年間の利用終了者の終了後の状況	（利用が終了した利用者の有無について「あり」を選択した場合） 利用終了後の状況について教えてください。	数値回答	1．在宅（介護保険サービスの終了、別の在宅サービス等への移行）　【　　】人 2．施設・居住系（※）サービスへの移行　【　　】人 3．医療機関へ入院　【　　】人 4．死亡（サービス終了の契機が死亡の場合）　【　　】人 5．わからない　【　　】人 6．その他　【　　】人 ⇒その他の具体的な内容（　　） ※　介護老人福祉施設（地域密着型含む）、介護老人保健施設、介護医療院・介護療養型医療施設、特定施設入居者生活介護（地域密着型含む）、認知症対応型共同生活介護を指します。
27		直近１年間の利用終了者の終了理由	（利用が終了した利用者の有無について「あり」を選択した場合） 利用を終了した利用者のうち、直近５人について、利用を終了した理由はどのようなものですか。	複数回答	1．人材不足により対応が難しくなったため 2．サービス提供エリアの縮小により対応が難しくなったため 3．必要な訪問回数が多くなり、限度額との兼ね合いで対応が難しくなったため 4．夜間のサービス提供が必要になり対応が困難となったため 5．医療依存度が高くなり、自事業所では対応が難しくなったため 6．認知症が重度化し、自事業所では対応が難しくなったため 7．利用者がエリア外に転居することになったため 8．家族がケアすることになったため 9．家族にとって利用者の介護負担が大きいため 10．利用者からのハラスメントやトラブルにより自事業所が対応できなくなったため 11．利用者が死亡したため 12．その他（　　） 13．把握していない・わからない

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
28 ①	サービス提供状況 （個人の状態）	※下記の「利用者個人に関する基礎情報」から「生活援助の提供に関する課題」までの内容について、貴事業所で生活援助を利用している要介護１～５の利用者をそれぞれ1名ずつ（利用者名の50音順で順番が早い方）をお選びいただき、その方について、それぞれお答えください。			
		サービス提供状況 （個人の状態） 【要介護度１】	貴事業所で生活援助を利用している要介護１の方（特定の方1名）についてお尋ねします。	単一回答	1．生活援助を利用している要介護１の方について回答する　　2．該当する方がいない（⇒要介護2の方の回答へ）
		利用者個人に関する基礎情報	回答いただく利用者の方の基本属性等について教えてください。 （1）年齢	数値回答	【　　】歳
			（2）性別	単一回答	1．男性　　2．女性
			（3）認知症の有無	単一回答	1．なし　　2．日常生活自立度Ⅰ　　3．日常生活自立度Ⅱa　　4．日常生活自立度Ⅱb　　5．日常生活自立度Ⅲa　　6．日常生活自立度Ⅲb　　7．日常生活自立度Ⅳ　　8．日常生活自立度M
			（4）同居家族の有無 ※同居している人をすべて選択	複数回答	1．なし　　2．配偶者　　3．子　　4．子の配偶者　　5．孫　　6．その他（　　）
			（5）住まい	単一回答	1．持ち家（戸建て）　　2．持ち家（集合住宅）　　3．賃貸住宅（戸建て）　　4．賃貸住宅（集合住宅） 5．有料老人ホーム　　6．ケアハウス　　7．軽費老人ホーム　　8．養護老人ホーム 9．サービス付き高齢者向け住宅　　10．その他（　　）
			（6）基礎疾患の有無 ※該当するものをすべて選択	複数回答	1．慢性の呼吸器の病気　　2．慢性の心臓病（高血圧を含む。） 3．慢性の腎臓病　　4．慢性の肝臓病（肝硬変等） 5．糖尿病　　6．血液の病気（鉄欠乏性貧血を除く。） 7．免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）　　8．ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている 9．免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患　　10．神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等） 11．染色体異常　　12．重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態） 13．睡眠時無呼吸症候群　　14．重い精神疾患（治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害） 15．BMI30以上の肥満　　16．該当するものはない
29 ①		サービス提供時間の構成比（時間）	当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	身体介護【　　】％　　生活援助【　　】％　　通院等乗降介助【　　】％
30 ①		サービス提供時間や訪問回数	当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	2023年7月の延べ時間【　　】分 2023年7月の延べ回数【　　】回
31 ①		サービス提供の内容	当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。	複数回答	【身体介護】 1．排泄・食事介助　　2．清拭・入浴、身体整容　　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　　4．起床及び就寝介助　　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　　8．洗濯　　9．ベッドメイク　　10．衣類の整理・被服の補修　　11．一般的な調理、配下膳　　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
32 ①		中心的に行われている内容	当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。 （3つまで回答）	複数回答 （3つまで）	【身体介護】 1．排泄・食事介助　　2．清拭・入浴、身体整容　　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　　4．起床及び就寝介助　　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　　8．洗濯　　9．ベッドメイク　　10．衣類の整理・被服の補修　　11．一般的な調理、配下膳　　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
33 ①		生活援助の必要性について	当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。	複数回答	1．ADLの低下が心配なため　　2．IADLの低下が心配なため　　3．生活満足度の低下が心配なため　　4．認知機能の低下が心配なため 5．基礎疾患の悪化が心配なため　　6．口腔機能の低下が心配なため　　7．栄養状態の悪化が心配なため　　8．外出や社会参加の機会の減少が心配なため 9．うつ・閉じこもりの進行が心配なため　　10．衛生状態の悪化が心配なため　　11．家族等の介護負担の増加が心配なため　　12．家族等の介護者が不在なため 13．その他（　　）　　14．必要性を感じない時もある
34 ①			（上記設問で「14．必要性を感じない時もある」と回答した場合） 必要性を感じない理由を教えてください。	複数回答	1：利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていないため 2：同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため 3：介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため 4：その他（　　）
35 ①		生活援助の提供に関する課題	当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。	複数回答	1．ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できていない 2．訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない 3．サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある 4．地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い 5．連携できる他の介護保険サービス事業所がない 6．近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい 7．その他（　　） 8．特に課題と考えていることはない

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
28 ②	サービス提供状況（個人の状態）	サービス提供状況（個人の状態） 【要介護度２】	貴事業所で生活援助を利用している要介護２の方（特定の方1名）についてお尋ねします。	単一回答	1．生活援助を利用している要介護２の方について回答する　　2．該当する方がいない（⇒要介護3の方の回答へ）
		利用者個人に関する基礎情報	回答いただく利用者の方の基本属性等について教えてください。 （1）年齢	数値回答	【　　】歳
			（2）性別	単一回答	1．男性　　2．女性
			（3）認知症の有無	単一回答	1．なし　2．日常生活自立度Ⅰ　3．日常生活自立度Ⅱa　4．日常生活自立度Ⅱb　5．日常生活自立度Ⅲa　6．日常生活自立度Ⅲb　7．日常生活自立度Ⅳ　8．日常生活自立度M
			（4）同居家族の有無 ※同居している人をすべて選択	複数回答	1．なし　2．配偶者　3．子　4．子の配偶者　5．孫　6．その他（　　）
			（5）住まい	単一回答	1．持ち家（戸建て）　2．持ち家（集合住宅）　3．賃貸住宅（戸建て）　4．賃貸住宅（集合住宅） 5．有料老人ホーム　6．ケアハウス　7．軽費老人ホーム　8．養護老人ホーム 9．サービス付き高齢者向け住宅　10．その他（　　）
			（6）基礎疾患の有無 ※該当するものをすべて選択	複数回答	1．慢性の呼吸器の病気　2．慢性の心臓病（高血圧を含む。） 3．慢性の腎臓病　4．慢性の肝臓病（肝硬変等） 5．糖尿病　6．血液の病気（鉄欠乏性貧血を除く。） 7．免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）　8．ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている 9．免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患　10．神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等） 11．染色体異常　12．重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態） 13．睡眠時無呼吸症候群　14．重い精神疾患（治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害） 15．BMI30以上の肥満　16．該当するものはない
29 ②		サービス提供時間の構成比（時間）	当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	身体介護【　　】％　生活援助【　　】％　通院等乗降介助【　　】％
30 ②		サービス提供時間や訪問回数	当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	2023年7月の延べ時間【　　】分 2023年7月の延べ回数【　　】回
31 ②	サービス提供状況（個人の状態）	サービス提供の内容	当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。	複数回答	【身体介護】 1．排泄・食事介助　2．清拭・入浴、身体整容　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　4．起床及び就寝介助　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　8．洗濯　9．ベッドメイク　10．衣類の整理・被服の補修　11．一般的な調理、配下膳　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
32 ②		中心的に行われている内容	当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。 （3つまで回答）	複数回答 （3つまで）	【身体介護】 1．排泄・食事介助　2．清拭・入浴、身体整容　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　4．起床及び就寝介助　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　8．洗濯　9．ベッドメイク　10．衣類の整理・被服の補修　11．一般的な調理、配下膳　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
33 ②		生活援助の必要性について	当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。	複数回答	1．ADLの低下が心配なため　2．IADLの低下が心配なため　3．生活満足度の低下が心配なため　4．認知機能の低下が心配なため 5．基礎疾患の悪化が心配なため　6．口腔機能の低下が心配なため　7．栄養状態の悪化が心配なため　8．外出や社会参加の機会の減少が心配なため 9．うつ・閉じこもりの進行が心配なため　10．衛生状態の悪化が心配なため　11．家族等の介護負担の増加が心配なため　12．家族等の介護者が不在なため 13．その他（　　）　14．必要性を感じない時もある
34 ②			（上記設問で「14．必要性を感じない時もある」と回答した場合） 必要性を感じない理由を教えてください。	複数回答	1：利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていないため 2：同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため 3：介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため 4：その他（　　）
35 ②		生活援助の提供に関する課題	当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。	複数回答	1．ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できていない 2．訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない 3．サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある 4．地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い 5．連携できる他の介護保険サービス事業所がない 6．近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい 7．その他（　　） 8．特に課題と考えていることはない

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
28 ③	サービス提供状況（個人の状態）	サービス提供状況（個人の状態） 【要介護度３】	貴事業所で生活援助を利用している要介護３の方（特定の方1名）についてお尋ねします。	単一回答	1．生活援助を利用している要介護３の方について回答する　　2．該当する方がいない（⇒要介護4の方の回答へ）
		利用者個人に関する基礎情報	回答いただく利用者の方の基本属性等について教えてください。 （1）年齢	数値回答	【　　】歳
			（2）性別	単一回答	1．男性　　2．女性
			（3）認知症の有無	単一回答	1．なし　2．日常生活自立度Ⅰ　3．日常生活自立度Ⅱa　4．日常生活自立度Ⅱb　5．日常生活自立度Ⅲa　6．日常生活自立度Ⅲb　7．日常生活自立度Ⅳ　8．日常生活自立度M
			（4）同居家族の有無 ※同居している人をすべて選択	複数回答	1．なし　2．配偶者　3．子　4．子の配偶者　5．孫　6．その他（　　）
			（5）住まい	単一回答	1．持ち家（戸建て）　2．持ち家（集合住宅）　3．賃貸住宅（戸建て）　4．賃貸住宅（集合住宅） 5．有料老人ホーム　6．ケアハウス　7．軽費老人ホーム　8．養護老人ホーム 9．サービス付き高齢者向け住宅　10．その他（　　）
			（6）基礎疾患の有無 ※該当するものをすべて選択	複数回答	1．慢性の呼吸器の病気　2．慢性の心臓病（高血圧を含む。） 3．慢性の腎臓病　4．慢性の肝臓病（肝硬変等） 5．糖尿病　6．血液の病気（鉄欠乏性貧血を除く。） 7．免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）　8．ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている 9．免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患　10．神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等） 11．染色体異常　12．重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態） 13．睡眠時無呼吸症候群　14．重い精神疾患（治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害） 15．BMI30以上の肥満　16．該当するものはない
29 ③		サービス提供時間の構成比（時間）	当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	身体介護【　　】%　生活援助【　　】%　通院等乗降介助【　　】%
30 ③		サービス提供時間や訪問回数	当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	2023年7月の延べ時間【　　】分 2023年7月の延べ回数【　　】回
31 ③	サービス提供状況（個人の状態）	サービス提供の内容	当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。	複数回答	【身体介護】 1．排泄・食事介助　2．清拭・入浴、身体整容　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　4．起床及び就寝介助　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　8．洗濯　9．ベッドメイク　10．衣類の整理・被服の補修　11．一般的な調理、配下膳　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
32 ③		中心的に行われている内容	当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。 （3つまで回答）	複数回答 (3つまで)	【身体介護】 1．排泄・食事介助　2．清拭・入浴、身体整容　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　4．起床及び就寝介助　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　8．洗濯　9．ベッドメイク　10．衣類の整理・被服の補修　11．一般的な調理、配下膳　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
33 ③		生活援助の必要性について	当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。	複数回答	1．ADLの低下が心配なため　2．IADLの低下が心配なため　3．生活満足度の低下が心配なため　4．認知機能の低下が心配なため 5．基礎疾患の悪化が心配なため　6．口腔機能の低下が心配なため　7．栄養状態の悪化が心配なため　8．外出や社会参加の機会の減少が心配なため 9．うつ・閉じこもりの進行が心配なため　10．衛生状態の悪化が心配なため　11．家族等の介護負担の増加が心配なため　12．家族等の介護者が不在なため 13．その他（　　）　14．必要性を感じない時もある
34 ③			（上記設問で「14．必要性を感じない時もある」と回答した場合） 必要性を感じない理由を教えてください。	複数回答	1：利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていないため 2：同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため 3：介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため 4：その他（　　）
35 ③		生活援助の提供に関する課題	当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。	複数回答	1．ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できていない 2．訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない 3．サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある 4．地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い 5．連携できる他の介護保険サービス事業所がない 6．近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい 7．その他（　　） 8．特に課題と考えていることはない

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
28 ④	サービス提供状況（個人の状態）	サービス提供状況（個人の状態） 【要介護度４】	貴事業所で生活援助を利用している要介護４の方（特定の方1名）についてお尋ねします。	単一回答	1．生活援助を利用している要介護４の方について回答する　　2．該当する方がいない（⇒要介護5の方の回答へ）
		利用者個人に関する基礎情報	回答いただく利用者の方の基本属性等について教えてください。 （1）年齢	数値回答	【　　】歳
			（2）性別	単一回答	1．男性　　2．女性
			（3）認知症の有無	単一回答	1．なし　2．日常生活自立度Ⅰ　3．日常生活自立度Ⅱa　4．日常生活自立度Ⅱb　5．日常生活自立度Ⅲa　6．日常生活自立度Ⅲb　7．日常生活自立度Ⅳ　8．日常生活自立度M
			（4）同居家族の有無 ※同居している人をすべて選択	複数回答	1．なし　2．配偶者　3．子　4．子の配偶者　5．孫　6．その他（　　）
			（5）住まい	単一回答	1．持ち家（戸建て）　2．持ち家（集合住宅）　3．賃貸住宅（戸建て）　4．賃貸住宅（集合住宅） 5．有料老人ホーム　6．ケアハウス　7．軽費老人ホーム　8．養護老人ホーム 9．サービス付き高齢者向け住宅　10．その他（　　）
			（6）基礎疾患の有無 ※該当するものをすべて選択	複数回答	1．慢性の呼吸器の病気　2．慢性の心臓病（高血圧を含む。） 3．慢性の腎臓病　4．慢性の肝臓病（肝硬変等） 5．糖尿病　6．血液の病気（鉄欠乏性貧血を除く。） 7．免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）　8．ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている 9．免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患　10．神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等） 11．染色体異常　12．重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態） 13．睡眠時無呼吸症候群　14．重い精神疾患（治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害） 15．BMI30以上の肥満　16．該当するものはない
29 ④		サービス提供時間の構成比（時間）	当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	身体介護【　　】％　生活援助【　　】％　通院等乗降介助【　　】％
30 ④		サービス提供時間や訪問回数	当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	2023年7月の延べ時間【　　】分 2023年7月の延べ回数【　　】回
31 ④	サービス提供状況（個人の状態）	サービス提供の内容	当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。	複数回答	【身体介護】 1．排泄・食事介助　2．清拭・入浴、身体整容　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　4．起床及び就寝介助　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　8．洗濯　9．ベッドメイク　10．衣類の整理・被服の補修　11．一般的な調理、配下膳　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
32 ④		中心的に行われている内容	当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。 （3つまで回答）	複数回答 （3つまで）	【身体介護】 1．排泄・食事介助　2．清拭・入浴、身体整容　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　4．起床及び就寝介助　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　8．洗濯　9．ベッドメイク　10．衣類の整理・被服の補修　11．一般的な調理、配下膳　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
33 ④		生活援助の必要性について	当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。	複数回答	1．ADLの低下が心配なため　2．IADLの低下が心配なため　3．生活満足度の低下が心配なため　4．認知機能の低下が心配なため 5．基礎疾患の悪化が心配なため　6．口腔機能の低下が心配なため　7．栄養状態の悪化が心配なため　8．外出や社会参加の機会の減少が心配なため 9．うつ・閉じこもりの進行が心配なため　10．衛生状態の悪化が心配なため　11．家族等の介護負担の増加が心配なため　12．家族等の介護者が不在なため 13．その他（　　）　14．必要性を感じない時もある
34 ④			（上記設問で「14．必要性を感じない時もある」と回答した場合） 必要性を感じない理由を教えてください。	複数回答	1：利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていないため 2：同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため 3：介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため 4：その他（　　）
35 ④		生活援助の提供に関する課題	当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。	複数回答	1．ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できていない 2．訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない 3．サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある 4．地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い 5．連携できる他の介護保険サービス事業所がない 6．近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい 7．その他（　　） 8．特に課題と考えていることはない

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
28 ⑤	サービス提供状況（個人の状態）	サービス提供状況（個人の状態） 【要介護度５】	貴事業所で生活援助を利用している要介護５の方（特定の方1名）についてお尋ねします。	単一回答	1．生活援助を利用している要介護５の方について回答する　　2．該当する方がいない（⇒「移動等の状況」に関する回答へ）
		利用者個人に関する基礎情報	回答いただく利用者の方の基本属性等について教えてください。 （1）年齢	数値回答	【　　】歳
			（2）性別	単一回答	1．男性　　2．女性
			（3）認知症の有無	単一回答	1．なし　2．日常生活自立度Ⅰ　3．日常生活自立度Ⅱa　4．日常生活自立度Ⅱb　5．日常生活自立度Ⅲa　6．日常生活自立度Ⅲb　7．日常生活自立度Ⅳ　8．日常生活自立度M
			（4）同居家族の有無 ※同居している人をすべて選択	複数回答	1．なし　2．配偶者　3．子　4．子の配偶者　5．孫　6．その他（　　）
			（5）住まい	単一回答	1．持ち家（戸建て）　2．持ち家（集合住宅）　3．賃貸住宅（戸建て）　4．賃貸住宅（集合住宅） 5．有料老人ホーム　6．ケアハウス　7．軽費老人ホーム　8．養護老人ホーム 9．サービス付き高齢者向け住宅　10．その他（　　）
			（6）基礎疾患の有無 ※該当するものをすべて選択	複数回答	1．慢性の呼吸器の病気　2．慢性の心臓病（高血圧を含む。） 3．慢性の腎臓病　4．慢性の肝臓病（肝硬変等） 5．糖尿病　6．血液の病気（鉄欠乏性貧血を除く。） 7．免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）　8．ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている 9．免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患　10．神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等） 11．染色体異常　12．重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態） 13．睡眠時無呼吸症候群　14．重い精神疾患（治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害） 15．BMI30以上の肥満　16．該当するものはない
29 ⑤		サービス提供時間の構成比（時間）	当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	身体介護【　　】％　生活援助【　　】％　通院等乗降介助【　　】％
30 ⑤		サービス提供時間や訪問回数	当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。 ※介護給付のみ	数値回答	2023年7月の延べ時間【　　】分 2023年7月の延べ回数【　　】回
31 ⑤	サービス提供状況（個人の状態）	サービス提供の内容	当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。	複数回答	【身体介護】 1．排泄・食事介助　2．清拭・入浴、身体整容　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　4．起床及び就寝介助　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　8．洗濯　9．ベッドメイク　10．衣類の整理・被服の補修　11．一般的な調理、配下膳　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
32 ⑤		中心的に行われている内容	当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。 （3つまで回答）	複数回答 （3つまで）	【身体介護】 1．排泄・食事介助　2．清拭・入浴、身体整容　3．体位変換、移動・移乗介助、外出介助　4．起床及び就寝介助　5．服薬介助 6．自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等） 【生活援助】 7．掃除　8．洗濯　9．ベッドメイク　10．衣類の整理・被服の補修　11．一般的な調理、配下膳　12．買い物・薬の受け取り 【通院等乗降介護】 13．通院等乗降介助
33 ⑤		生活援助の必要性について	当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。	複数回答	1．ADLの低下が心配なため　2．IADLの低下が心配なため　3．生活満足度の低下が心配なため　4．認知機能の低下が心配なため 5．基礎疾患の悪化が心配なため　6．口腔機能の低下が心配なため　7．栄養状態の悪化が心配なため　8．外出や社会参加の機会の減少が心配なため 9．うつ・閉じこもりの進行が心配なため　10．衛生状態の悪化が心配なため　11．家族等の介護負担の増加が心配なため　12．家族等の介護者が不在なため 13．その他（　　）　14．必要性を感じない時もある
34 ⑤			（上記設問で「14．必要性を感じない時もある」と回答した場合） 必要性を感じない理由を教えてください。	複数回答	1：利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていないため 2：同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため 3：介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため 4：その他（　　）
35 ⑤		生活援助の提供に関する課題	当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。	複数回答	1．ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できていない 2．訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない 3．サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある 4．地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い 5．連携できる他の介護保険サービス事業所がない 6．近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい 7．その他（　　） 8．特に課題と考えていることはない

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
※再び、事業所全体のことについて伺います。					
36	移動等の状況	運営規程に定める通常の事業の実施地域の決め方	貴事業所で定めている運営規程において、通常の事業の実施地域の範囲はどのように決められていますか。	複数回答	1．自事業所で決めている 2．自治体との協議等により決めている 3．社会福祉協議会との協議等により決めている 4．利用者からの申し出の状況等により決めている 5．その他（　　）
37		運営規程に定める通常の事業の実施地域（おおよその範囲）	貴事業所の運営規程に定める通常の事業の実施地域の範囲はどの程度ですか。	単一回答	1.主に事業所に併設の住居・施設　2.主に事業所の近隣（同一敷地内含む）に位置する住居・施設　3.１つの市区町村の、１つの日常生活圏域内 4.１つの市区町村の、複数の日常生活圏域内　5.１つの市町村の全域　6.複数の市町村 7.その他広域圏域（　　）
38		訪問介護サービスの提供に関する訪問ルートをどのように作成しているか	訪問介護サービスの提供に関する訪問経路について、どのように作成していますか。	単一回答	1．指定訪問介護サービスの利用者のみでルートを作成している 2．指定訪問介護のほか、その他の訪問系サービスの利用者も組み合わせてルートを作成している 3．その他（　　）
39		運営規程に定める通常の実施地域の範囲	通常の事業の実施地域は、事業所からどのくらいの時間及び距離の範囲で設定していますか。 ※利用者全体の訪問実態を踏まえ、一般的と考えられる移動時間や移動距離についてご回答ください	単一回答	利用者宅までの一般的な移動時間　片道約【　　】分 利用者宅までの一般的な移動距離　片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） 通常の事業の実施地域の範囲内で最も遠い利用者宅までの移動時間　片道約【　　】分 通常の事業の実施地域の範囲内で最も遠い利用者宅までの距離　片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） （注）通常の経路及び方法による移動時間や距離
40		主な移動手段（訪問手段）	利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください。	単一回答	1．自動車（自家用車）　2．自動車（事業所の車）　3．自転車（電動でないもの）　4．電動自転車 5．バイク　6．電車・バス+徒歩　7．徒歩のみ　8．その他（　　）
41		運営規程に定める通常の事業の実施地域の範囲（対象人数）	2023年7月現在の利用者のうち、通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数	数値回答	【　　】人
42		運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供の有無	運営規程に定める通常の事業の実施地域を超えるサービス提供地域はありますか。	単一回答	1.ある 2.ない
43		運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域の範囲へのサービス提供の有無	（通常の事業の実施地域を超えるサービス提供地域がある場合） 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供について、事業所からその範囲の利用者の居宅までの時間及び距離はどのくらいですか。	数値回答	一般的な移動時間　片道約【　　】分 一般的な移動距離　片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） 最も遠い利用者宅までの移動時間　片道約【　　】分 最も遠い利用者宅までの移動距離　片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） （注）通常の経路及び方法による移動時間や距離
44		運営規程に定める通常の事業の実施地域を超えてサービス提供する理由	（通常の事業の実施地域を超えるサービス提供地域がある場合） 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供について、通常の事業の実施地域外の利用者に対してサービス提供をしている理由は何かを教えてください。	複数回答	1．自事業所以外に当該利用者へサービスを提供する事業所がいないため 2．当該利用者の周辺の住民がいずれ当事業所を活用することを見越しているため（営業的な側面） 3．訪問介護員が当該利用者の近くに住んでいるため 4．自治体や地域包括支援センター等の行政からの依頼のため 5．市町村合併により事業実施地域が拡大したため 6．以前は通常の事業実施地域内であったが、事業実施地域を縮小したため範囲外となった 7．その他（　　）
45		運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域の範囲（対象人数）	2023年7月現在の利用者のうち、通常の事業の実施地域外に居住する利用登録者数を教えてください。また、2023年7月の当該利用者への訪問回数（累計）を教えてください。	数値回答	通常の事業の実施地域外に居住する利用登録者数【　　】人 当該利用者への訪問回数（2023年7月の累計）　【　　】回
46		利用者宅間の移動時間及び距離（平均・最長）	サービス提供時の利用者宅間の移動について、一般的な時間及び距離を教えてください。 また、サービス提供時の利用者宅間の移動について、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。 ※全体の経路にかかる時間・距離ではなく、個別の利用者宅の間の時間・距離をお答えください ※利用者にサ高住等の利用者が含まれる場合、同住宅の居室を「利用者宅」と見なし、ご回答ください ※1日に担当する利用者が1人の場合など、利用者宅間での移動が発生しない方については、「利用者宅間の移動は発生しない」をお選びください	数値回答	一般的な移動時間　１区間あたり片道約【　　】分 一般的な移動距離　１区間あたり片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） 最も長い移動時間　1区間あたり片道約　【　　】分 最も長い移動距離　1区間あたり片道約　【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） （注）通常の経路及び方法による移動時間や距離

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
47	移動等の状況	常勤の訪問介護員1人当たりの状況	2023年7月の状況を踏まえて、常勤の訪問介護員（※）1人・1日当たりの勤務の状況等について教えてください。 ※管理業務等を担わない、専ら訪問介護サービスの提供に従事している訪問介護員 （該当する方がいない場合には回答不要）	数値回答	1日あたりの一般的な訪問件数　【　　】件 1日あたりの一般的なサービス提供時間（１日の合計）【　　】時間【　　】分 1日あたりの一般的な移動時間（１日の合計）【　　】時間【　　】分 1日あたりの一般的な移動距離（１日の合計）【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） 1日あたりの最長移動距離（１日の合計）【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）
48		移動に関する課題	利用者宅への訪問に関し、課題となっていることがあれば教えてください。	複数回答	1．移動時間が長く業務負担が大きい　2．十分に整備されていない道など、悪路が多い 3．天候不順時の負担・不安が大きい　4．訪問介護員の高齢化に伴い移動の負担・不安が大きい 5．積雪時の雪かきの負担が大きい　6．訪問先での駐車場所の確保が難しい 7．ガソリン代の負担が大きい　8．必要な台数の社用車を保有・維持することが難しい 9．訪問介護員の自家用車に対する費用負担軽減策を講じることが難しい　10．その他（　　） 11．特に課題はない
49		天候不順・積雪時の課題	（上記で３．または５．と回答した場合）天候不順や積雪が生じた場合、利用者宅を訪問する際の主な交通手段に変更がありますか。	単一回答、自由記述	1．ある　（手段変更の内容等　　） 2．ない
50		利用を断ったことの有無等	利用者宅への移動時間や距離を理由として、サービス提供を断ることはありますか。	単一回答，数値回答	1．ある　（年間【　　】件程度） 2．ない
51		移動を効率的に行うための工夫等	サービス提供のための移動を効率的に行うために、工夫していることはありますか。	複数回答	1．可能な限り利用者宅の近くに住む職員が訪問するよう調整　2．利用者宅との直行直帰を多くするよう調整 3．事業所から訪問する際の効率的なルートの設定　4．他の訪問系サービスと一体的なシフトの作成 5．高齢者住宅の併設等による効率化　6．サテライト事業所の設置 7．遠方の利用者からの訪問依頼は断っている　8．利用者の処遇に支障がない範囲で、できるだけ同じ方面の利用者が同じ提供日となるよう調整 9．その他（　　）　10．特に工夫等は実施していない
52		移動の効率化や負担軽減のために実行できそうなこと	サービス提供のための移動を効率的に行うために、今後工夫・検討の余地等はありますか。今後実施ができうることがあれば教えてください。	自由記述	自由記述
53	経営状況	離職者数	2022年度における、①訪問介護事業所の離職者数、②訪問介護事業所の離職率、③新規入職者数を教えてください。 ※離職率は以下のように算出してください 2022年度の離職者数（年度内の合計）÷2022年度初めの在籍者数×100	単一回答，数値回答	①離職者数：【　　】人（常勤／非常勤それぞれ記入） ②離職率：1，5%未満　2，5%以上10%未満　3，10%以上15%未満　4，15%以上20%未満　5，20%以上25%未満　6，25%以上　7，わからない ③新規入職者数：【　　】人
54		収支差	2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の収支差の状況を教えてください。	単一回答	1，黒字 2，収支均衡 3，赤字
55		収入	2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の収入額（事業活動収入合計または売上高（全ての事業活動収入））を教えてください。 ※.調査対象サービス以外のサービス等に係る費用を区分せず一体で計上している場合には、事業所の他のサービス等と合わせた全体の実績を案分して記入ください。	数値回答	年間の事業活動収入合計または売上高（全ての事業活動収入） 【　　】円 ※介護料収入（収益）（１割の利用者負担分を含む）、保険外の利用料収入、その他事業収入（補助金、市町村特別事業収入）等をいずれも含みます。
56		支出	2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額（事業活動支出合計）を教えてください。 また、支出のうち、車両に関する費用（ガソリン代、修理費、車検費、リース代等）について教えてください。 ※貴事業所において調査対象サービスと他サービスの費用を一体的に計上している場合、売上や人員規模、事業所の面積等で調査対象サービスに要する費用を按分し、ご記入ください。	数値回答	年間の事業活動支出額 【　　】円 うち、車両保険料　【　　】円 車両購入費用（減価償却費用）又はリース代　【　　】円 車両燃料費用（従業員へのガソリン代補助を含む）【　　】円 駐車料金　【　　】円 自動車税　【　　】円 車両点検、修繕費用　【　　】円 その他車両関連費用　【　　】円 （従業員が自家用車を使用することに対するガソリン代補助以外の手当等を含む）

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
57	事業継続に向けた取組等	今後の利用者数の見通し（増える見込みはあるか）	今後、現在事業を展開されている地域において、訪問介護サービスの需要をどのように見込んでいますか。	単一回答	1.大きく増加する　2.増加する　3.あまり変化しない　4.減少する　5.大きく減少する　6.わからない
58		今後の事業継続の見通し（事業継続は可能か）	今後5年程度の期間について、訪問介護サービスの提供を続けていくことができると考えていますか。	単一回答	1.問題なく、続けていける　2.問題はあるが、続けていける　3.続けていくことは難しい　4.どちらともいえない
59		事業運営に関する課題意識	今後の事業継続や事業運営において課題と考えていることをを教えてください。	複数回答	1．訪問介護員の確保・定着難 2．訪問介護員の高齢化 3．地域の要介護者の減少 4．他の事業所の訪問介護サービスとの競合の激化 5．小規模多機能型居宅介護など在宅サービス（訪問介護以外）との競合の激化 6．特養や特定施設などの施設・居住系サービスとの競合の激化 7．訪問介護に対する、ケアマネジャーの理解の不足 8．利用者数や訪問回数の減少などによる収入の減少 9．人件費の増加 10．賃料や燃料費、水道光熱費など費用の増加 11．雪や台風などの気象・気候条件の厳しさ 12．地域内の連携できる多職種や他サービス、社会資源の少なさ 13．感染症対策に関する負担の増大 14．業務継続計画（BCP）への対応に関する負担の増大 15．その他（　　） 16．特に課題はない
60		事業継続や業務改善に向けて取り組んでいること	今後の事業継続や業務効率の改善等に向けて、取り組んでいることはありますか。	複数回答	1．身体介護や重度者への注力 2．ケアマネジャー等への営業訪問の強化による新規利用者の確保 3．特定事業所加算等の各種加算の積極的な算定 4．アセスメントの強化やADLの改善を通じたサービスの見直し 5．訪問介護員の介護技術の育成・多様な状況に臨機応変に対応できる対応力の強化 6．サービス提供責任者の確保・育成 7．訪問介護員の定着に向けた働きやすい環境づくり 8．家事援助等を行う地域のボランティア団体等との連携の強化 9．ICT機器等の活用による業務効率化・負担軽減 10．地域の介護事業所間での連携の強化（人材育成やノウハウ共有、共通書式の作成など） 11．その他（　　） 12．取り組んでいるものはない
61		利用しているICT機器やサービス	（上の設問で「ICT機器等の活用による業務効率化・負担軽減」を選択した事業所のみ） 訪問介護サービスの提供に当たり貴事業所が利用しているICT機器やサービスを教えてください。	複数回答	1．Zoom等のWEB会議システムを活用したリモートでの研修や会議の開催 2．チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有 3．記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用 4．訪問シフト・訪問ルートの効率化・自動化を図るアプリの活用 5．職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用 6．スマートフォンやタブレット等で常時視聴できる動画マニュアルの活用 7．見守り支援ロボット・センサーの活用 8．服薬管理ロボットの活用 9．利用者が事業所とすぐに連絡が取れるようなコール端末の設置 10．その他
62			（特定のICT機器等を活用している場合） 貴事業所で利用しているICT機器やサービスについて、訪問介護員の移動に関する業務負担の軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。	それぞれ単一回答	上記選択肢「2.」～「5.」のうち、「利用している」と回答したものについて、それぞれ以下の選択肢から１つ選択 1．大きな効果が出ている　2．効果が出ている　3．どちらともいえない　4．あまり効果が出ていない　5．まったく効果が出ていない
63			（上の設問で「ICT機器等の活用による業務効率化・負担軽減」を選択した事業所のみ） 利用しているICT機器やサービスについて、特に役に立ったと思うものがあれば教えてください。	自由記述	自由記述
64	自治体との関係、受けている支援等	自治体から受けている支援	貴事業所において、現在、活用している自治体等の支援策がありましたら教えてください。	複数回答	1．職員採用に対する補助金 2．資格取得に対する補助金 3．研修参加に対する補助金 4．介護職員奨学金返済補助金 5．福祉機器購入に対する補助金 6．ICT・介護ロボット購入補助金 7．その他の補助金 8．介護人材紹介支援（マッチング支援・人材バンク設置） 9．事業所との協働による就職フェアの開催 10．介護助手等のボランティアの紹介 11．介護現場におけるハラスメントの相談窓口等の活用 12．マネジメント層・リーダー層の育成支援 13．元介護職・離職者の復職支援 14．他法人との交流機会確保に関する企画 15．ICT・ロボット介護機器等の情報提供・試用機会の確保 16．医療・介護の連携支援（連携システムの構築等） 17．災害に関する支援（BCP策定・災害時の相互支援の仕組構築等） 18．感染症対策・対応に関する支援 19．水道・光熱費に対する補助 20．　一定の時間を超えた移動に対する補助金 21．中山間地域等へのサービス提供に対する補助・独自加算 22．燃料費の負担に関する補助金 23．その他、移動に関する補助金や支援施策（具体的内容　　） 24．事業所（建物）の貸与 25．事業所の賃料補助 26．上記以外の支援（具体的内容　　） 27．特にない
65		自治体から受けている支援（詳細）	自治体等から受けている支援策等について、訪問介護サービスの提供に当たり、意義がある、効果的と認識しているものがあればどのような内容か具体的に教えてください。	自由記述	自由記述
66		自治体に働きかけていること	訪問介護サービスの提供に当たり、事業所側から自治体に働きかけや提案をしていることがあれば教えてください。	自由記述	自由記述
67		自治体との関係で困っていること	訪問介護サービスの提供に当たり、地元の自治体との関係で困っていることがあれば教えてください。	自由記述	自由記述
68		自治体からの支援として望ましいもの	今後、訪問介護サービスの提供に当たり、自治体等の支援策として望ましいことがあれば教えてください。	自由記述	自由記述

訪問介護事業所管理者向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
69	ヒアリング	ヒアリング協力の可否	アンケート調査に回答いただいた内容について、より詳細にお話を伺うことを目的としたヒアリング調査の実施も予定しています。 貴事業所は、このヒアリング調査にもご協力いただくことは可能ですか。なお、実施は1～2時間程度で、日程調整の上、電話またはオンライン会議システムを用いて実施をさせていただく想定です。	単一回答	1．ヒアリング調査に協力が可能である 2．ヒアリング調査への協力は難しい
70		協力可能な場合の連絡先	ヒアリング調査に協力いただける場合、連絡の担当者と連絡先をお教えください。	自由記述	【法人・事業所名：　　】 【担当者名　　：　　】 【電話番号　　：　　】 【メールアドレス：　　】

【資料３】

訪問介護員向け調査

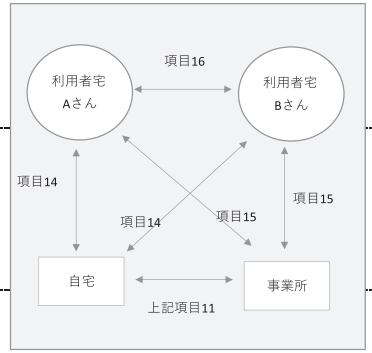
調査項目一覧

訪問介護員向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
0	回答者ID	回答者ID	「訪問介護員向け調査回答依頼状」に記載されている８桁の番号を入力してください。（ハイフンは含みません）	数値回答	ID【　　】
1	回答者の属性	年齢	あなたの年齢を教えてください。	単一回答	１．10歳代　２．20歳代　３．30歳代　４．40歳代　５．50歳代　６．60歳代　７．70歳代　８．80歳代以上
2		性別	あなたの性別を教えてください。	単一回答	１．男性　２．女性　３．回答しない
3		勤務形態（フルタイム／パートタイム）	あなたの雇用形態について教えてください。 ※複数の訪問介護事業所にお勤めの場合、回答依頼を受けた事業所のことをご回答ください	単一回答	１．常勤　２．非常勤　３．登録ヘルパー ※登録ヘルパーは、「指定居宅サービス等及び指定介護予防サービス等に関する基準について」（平成11年9月17日老企第25号）に規定する「登録訪問介護員等」（勤務時間及び勤務日が不定期な訪問介護員等）を指す。
4		勤続年数（現在の事業所に限らず）	あなたの訪問介護員としての経験年数を教えてください。	単一回答	１．１年未満　２．１年以上～３年未満　３．３年以上～５年未満　４．５年以上～７年未満　５．７年以上10年未満　６．10年以上
5		担当している利用者の人数	あなたが2023年8月に担当した、指定訪問介護の利用者数を教えてください。	数値回答	【　　】人
6		利用者の住まいの状況	あなたが2023年7月に担当した利用者のうち、高齢者住宅(特定施設を除くサ高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)、シルバーハウジング等)や集合住宅(マンション・アパート・団地など)に住む利用者人数(実人数)を教えてください。	数値回答	【　　】人
7		サ責との兼務状況	あなたはサービス提供責任者と訪問介護員を兼務していますか。	単一回答	１．兼務している ２．兼務していない
8		他の介護保険サービス提供との兼務状況	あなたは、同一法人内で訪問介護以外の介護保険サービス事業所との兼務をしていますか。	単一回答	１．携わっている ２．携わっていない
9	勤務状況、移動に関する状況	１日の勤務状況（各業務の時間配分）	あなたの業務内容について、１日当たりの一般的な状況を教えてください。 （業務量が一般的であった直近の勤務月1か月間を想定しご回答ください。）	数値回答	1日あたりの一般的な労働時間　【　　】時間【　　】分 1日あたりの一般的な訪問件数　【　　】件 1日あたりの一般的なサービス提供時間（1日の合計）【　　】時間【　　】分 1日あたりの一般的な事務的業務の時間（1日の合計）【　　】時間【　　】分 1日あたりの一般的な移動時間　（1日の合計）【　　】時間【　　】分 1日あたりの一般的な待機時間　（1日の合計）【　　】時間【　　】分 1日あたりの一般的な移動距離　（1日の合計）【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）
10		利用者宅への直行直帰の有無	利用者宅への訪問について、自宅から直行直帰で行うことはありますか。	単一回答	１．ある（自宅から直行直帰のみである） ２．ある（自宅から直行直帰の場合と、勤務先の事業所から移動する場合等がある） ３．ない
11		事業所までの移動時間	ご自宅から勤務先事業所までの時間及び距離を教えてください。	数値回答	片道約【　　】分 片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）
12		利用者宅までの移動に用いる主な交通手段 （直行直帰の働き方の場合）	（通番10で1及び2を回答した方） 直行直帰の場合に利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください。	単一回答	１．自動車（自家用車）　２．自動車（事業所の車）　３．自転車（電動でないもの）　４．電動自転車 ５．バイク　６．電車・バス+徒歩　７．徒歩のみ　８．その他（　　）
13		利用者宅までの移動に用いる主な交通手段 （事業所から訪問する場合）	（通番10で2及び3を回答した方） 事業所から利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください。 ※ふだんの業務が直行直帰の方において、研修や書類提出等で事業所に入った後、そのままシフトに入るケースがある場合などは、その際の利用者宅への交通手段をお答えください	単一回答	１．自動車（自家用車）　２．自動車（事業所の車）　３．自転車（電動でないもの）　４．電動自転車 ５．バイク　６．電車・バス+徒歩　７．徒歩のみ　８．その他（　　）

訪問介護員向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
14	勤務状況、移動に関する状況	直行直帰する際の移動時間（平均、最長）	（通番10で1及び2を回答した方） 自宅から利用者宅までにかかる平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。 ※全体の経路にかかる時間・距離ではなく、個別の利用者宅と自宅の間の時間・距離をお答えください ※あなたが担当する利用者にサ高住等の利用者が含まれる場合、同住宅の居室を「利用者宅」と見なし、ご回答ください	数値回答	平均で片道約【　　】分 平均で片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） 最遠で片道約【　　】分 最遠で片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）
15		利用者宅までの移動時間（平均、最長）	（通番10で2及び3を回答した方） 勤務先の事業所から利用者宅までの移動について、平均的な時間及び距離について教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。 ※全体の経路にかかる時間・距離ではなく、個別の利用者宅と事業所の間の時間・距離をお答えください ※あなたが担当する利用者にサ高住等の利用者が含まれる場合、同住宅の居室を「利用者宅」と見なし、ご回答ください	数値回答	平均で片道約【　　】分 平均で片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） 最遠で片道約【　　】分 最遠で片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）
16		利用者宅間の移動時間（平均、最長）	サービス提供時の利用者宅間の移動について、平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。 ※全体の経路にかかる時間・距離ではなく、個別の利用者宅の間の時間・距離をお答えください ※あなたが担当する利用者にサ高住等の利用者が含まれる場合、同住宅の居室を「利用者宅」と見なし、ご回答ください ※1日に担当する利用者が1人の場合など、利用者宅間での移動が発生しない方については、「利用者宅間の移動は発生しない」をお選びください	数値回答	平均で１区間あたり片道約【　　】分 平均で１区間あたり片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入） 最遠で１区間あたり片道約【　　】分 最遠で１区間あたり片道約【　　】キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）
17		利用者宅までの移動に関する課題や悩みごと等	利用者宅への訪問に関し、課題となっていることがあれば教えてください。	複数回答	１．移動時間が長く業務負担が大きい ２．十分に整備されていない道など、悪路が多い ３．天候不順時の負担・不安が大きい ４．移動の負担・不安が大きい ５．積雪時の雪かきの負担が大きい ６．訪問先での駐車場所の確保が難しい ７．ガソリン代の負担が大きい ８．社用車の維持費負担が大きい ９．訪問に使用する自家用車に関する費用負担が大きい 10．その他（　　） 11．特に課題はない
18		天候不順・積雪時の課題	（上記で３．または５．と回答した場合） 天候不順や積雪が生じた場合、利用者宅を訪問する際の主な交通手段に変更がありますか。	単一回答、自由記述	１．ある　（手段変更の内容等　　） ２．ない
19	ICTの利用	利用しているICT機器やサービス	訪問介護サービスの提供に当たりあなたが利用しているICT機器やサービスを教えてください。	複数回答	１．Zoom等のWEB会議システムを活用したリモートでの研修や会議の開催 ２．チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有 ３．記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用 ４．訪問シフト・訪問ルートの効率化・自動化を図るアプリの活用 ５．職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用 ６．スマートフォンやタブレット等で常時視聴できる動画マニュアルの活用 ７．見守り支援ロボット・センサーの活用 ８．服薬管理ロボットの活用 ９．利用者が事業所とすぐに連絡が取れるようなコール端末の設置 10．利用者宅への入退室管理の効率化を図るアプリの活用 11．その他 12．特になし
20			（特定のICT機器等を活用している場合） 利用しているICT機器やサービスについて、ご自身の移動に関する業務の負担軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。	それぞれ単一回答	上記選択肢「2.」～「5.」のうち、「利用している」と回答したものについて、それぞれ以下の選択肢から１つ選択 １．大きな効果が出ている　２．効果が出ている　３．どちらともいえない　４．あまり効果が出ていない　５．まったく効果が出ていない
21			（項目19で何かしら利用していると回答した場合） 利用しているICT機器やサービスについて、特に役に立ったと思うものがあれば教えてください。	自由記述	自由記述



訪問介護員向け調査　調査項目一覧

整理番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	選択肢
22	訪問介護員の仕事について感じること	訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。	仕事の内容・やりがい	単一回答	1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満
			能力や仕事ぶりに応じた賃金の水準	単一回答	1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満
			自身の利用者への対応力	単一回答	1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満
			訪問介護員の仕事に対する社会的評価	単一回答	1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満
			労働時間の長さ	単一回答	1．負担が大きい　2．やや負担が大きい　3．普通　4．あまり負担はない　5．負担はない
			通勤時間の長さ	単一回答	1．負担が大きい　2．やや負担が大きい　3．普通　4．あまり負担はない　5．負担はない
			訪問にかかる移動時間の長さ	単一回答	1．負担が大きい　2．やや負担が大きい　3．普通　4．あまり負担はない　5．負担はない
			移動の際の自動車等の運転	単一回答	1．負担が大きい　2．やや負担が大きい　3．普通　4．あまり負担はない　5．負担はない　6．自動車等を運転することはない
			身体的な負担の水準	単一回答	1．負担が大きい　2．やや負担が大きい　3．普通　4．あまり負担はない　5．負担はない
			精神的な負担の水準	単一回答	1．負担が大きい　2．やや負担が大きい　3．普通　4．あまり負担はない　5．負担はない
			訪問介護員の仕事に対する総合的な満足感	単一回答	1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満
23	就労継続意向	就労継続意向	あなたの訪問介護員としての就業継続意向を教えてください。	単一回答	1．訪問介護員として働き続けたい　2．サービス提供責任者として働き続けたい　3．事業所の管理者として働き続けたい 4．訪問介護員以外のサービスで介護の仕事を続けたい　5．介護の仕事をやめたい　6．業界を問わず働くこと自体をやめたい 7．わからない　8．その他
24	サービス提供に当たっての課題認識	近年の課題・変化等についての認識	あなたが訪問介護員として働き始めた当初と比較して、最近、特に増加したと感じる業務の内容を教えてください。	複数回答	1．訪問宅への移動に要する時間の増加　2．訪問回数の増加 3．短時間の身体介護（20分未満）の増加　4．デイサービスを利用する際の送出し・お迎え 5．医療的ケアが必要な利用者、医療依存度の高い利用者へのケア　6．認知症のある利用者へのケア 7．独居の利用者へのケア　8．利用開始からすぐに施設や高齢者住宅へ入居するケース 9．家事を訪問介護員が代行するのではなく、要介護者とともに行うケース（見守り的援助）　10．その他（　　） 11．特に増加したと感じるものはない　12．わからない
25		訪問回数の増加に関する認識	（上記で2または3を選択した場合） 増加した要因として、該当するものの中で上位３つを回答してください。	複数回答 (3つまで)	1．独居や老夫婦世帯が多くなり、在宅の介護力が低下している　2．医療的ケアが必要な利用者が多く、頻回な訪問が増えている 3．利用者自身が集団での過ごし方を望まない場合が増えている　4．利用者や家族、地域からの要望が多く、訪問回数が増えている 5．ケアマネジャーからの要望が多く、訪問回数が増えている　6．他事業所の休廃止による新規利用者の受入が増えている 7．生活全般を支える資源が地域に不足しているため　8．事業所が人員不足のため、短時間で効率的にサービス提供を行うよう求められている 9．法人の方針として、短時間で効率的にサービス提供を行うよう求められている　10．その他（　　）

【資料４】

訪問介護事業所管理者向け調査

単純集計結果

Q1 貴事業所を運営する法人の法人種別を教えてください。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
営利法人(株式会社・有限会社・合同会社等)	584	68.2	74.4	70.0	60.0	42.9	61.6	65.8	83.3	61.2	66.0	58.9	72.8	77.4
社会福祉協議会	64	7.5	5.3	5.9	11.2	31.9	7.8	7.1	0.0	11.5	13.9	8.9	2.5	0.6
社会福祉法人(社協除く)	92	10.7	10.3	9.9	12.2	14.3	13.8	11.7	6.5	9.4	8.1	19.4	16.0	6.5
医療法人	40	4.7	2.5	5.9	5.8	3.3	8.2	5.4	1.7	3.6	2.4	1.6	4.3	10.1
特定非営利活動法人(NPO)	39	4.6	4.6	4.8	4.4	2.2	4.7	4.6	5.1	6.5	5.7	5.6	3.1	1.8
協同組合	23	2.7	1.8	2.2	4.1	2.2	3.9	3.3	1.4	5.8	3.3	2.4	0.6	1.2
社団法人・財団法人	12	1.4	0.7	1.1	2.4	2.2	0.0	2.1	1.7	2.2	0.5	2.4	0.6	1.8
自治体・広域連合・一部事務組合	1	0.1	0.4	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
その他	1	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q2_1 貴事業所の開設年を教えてください。／西暦／年(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
平均値	—	2007.9	2008.5	2008.5	2006.4	2003.7	2007.0	2007.9	2009.8	2007.0	2006.4	2005.3	2007.8	2012.2
中央値	—	2009.0	2010.0	2010.0	2007.0	2005.0	2007.5	2008.0	2011.0	2008.0	2006.0	2005.5	2007.0	2014.0
最小値	—	1942.0	1968.0	1959.0	1942.0	1966.0	1959.0	1968.0	1942.0	1964.0	1966.0	1942.0	1968.0	1969.0
最大値	—	2023.0	2022.0	2022.0	2023.0	2022.0	2023.0	2023.0	2023.0	2022.0	2023.0	2022.0	2022.0	2023.0

Q3A 貴事業所の所在地を教えてください。／都道府県

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
北海道	32	3.7	3.9	3.3	4.1	14.3	2.6	1.7	3.1	5.0	1.4	4.8	3.7	6.0
青森県	14	1.6	1.4	1.8	1.7	6.6	3.0	0.4	0.0	1.4	2.4	0.8	0.6	1.8
岩手県	13	1.5	1.4	1.5	1.7	4.4	3.4	0.4	0.0	0.0	1.4	2.4	1.2	3.0
宮城県	9	1.1	1.1	0.7	1.4	0.0	2.2	0.8	0.7	1.4	1.4	1.6	1.2	0.0
秋田県	5	0.6	0.0	0.0	1.7	4.4	0.4	0.0	0.0	1.4	0.5	0.8	0.0	0.6
山形県	7	0.8	0.4	0.4	1.7	1.1	2.2	0.4	0.0	1.4	0.5	0.0	1.2	0.0
福島県	20	2.3	1.8	3.3	2.0	3.3	7.3	0.0	0.0	2.2	2.4	4.0	1.9	1.2
茨城県	12	1.4	1.1	1.5	1.7	1.1	0.9	3.8	0.0	2.2	2.9	0.8	1.2	0.0
栃木県	7	0.8	0.7	0.4	0.7	0.0	1.3	1.7	0.0	1.4	1.9	0.0	0.0	0.6
群馬県	12	1.4	0.4	1.8	2.0	2.2	1.7	2.5	0.0	1.4	1.4	0.8	0.6	2.4
埼玉県	33	3.9	5.0	2.9	3.4	0.0	0.4	9.6	3.1	5.0	3.3	3.2	4.3	1.8
千葉県	29	3.4	3.9	2.9	3.4	1.1	2.2	9.2	0.3	2.9	5.7	4.8	2.5	1.2
東京都	63	7.4	6.4	9.2	6.8	0.0	0.0	1.7	20.1	7.9	4.8	8.1	15.4	1.2
神奈川県	58	6.8	9.6	6.6	4.1	0.0	0.4	7.5	13.3	4.3	6.7	6.5	10.5	5.4
新潟県	14	1.6	1.4	1.5	2.0	2.2	3.9	0.4	0.7	1.4	1.9	4.0	0.6	0.6
富山県	5	0.6	1.1	0.0	0.7	2.2	0.4	0.8	0.0	0.7	1.4	0.0	0.0	0.6
石川県	9	1.1	1.8	1.1	0.3	1.1	3.0	0.4	0.0	2.9	0.5	0.0	0.6	1.2
福井県	3	0.4	0.0	0.7	0.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.6
山梨県	4	0.5	0.4	0.4	0.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.7	0.5	1.6	0.0	0.0
長野県	15	1.8	3.2	1.1	1.0	6.6	3.9	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	3.7	2.4
岐阜県	17	2.0	1.4	2.6	1.7	0.0	1.7	5.4	0.0	1.4	1.4	1.6	1.2	4.8
静岡県	12	1.4	1.8	1.8	0.7	1.1	1.7	0.8	1.7	0.7	1.0	3.2	1.2	1.2
愛知県	52	6.1	6.0	7.3	5.1	0.0	4.3	8.3	7.5	2.2	7.2	11.3	4.9	6.0
三重県	13	1.5	1.8	1.8	1.0	3.3	3.4	0.8	0.0	2.2	1.9	0.8	0.0	2.4
滋賀県	6	0.7	0.7	1.1	0.3	0.0	2.6	0.0	0.0	1.4	1.0	0.8	0.0	0.6
京都府	19	2.2	2.1	2.2	2.4	0.0	1.7	0.8	4.4	2.2	3.3	3.2	0.0	1.8
大阪府	130	15.2	17.1	16.8	11.9	1.1	0.0	20.8	27.0	16.5	12.4	11.3	16.7	19.0
兵庫県	45	5.3	5.3	4.4	6.1	3.3	2.6	5.0	8.2	6.5	4.3	5.6	6.2	3.6
奈良県	13	1.5	1.8	1.8	1.0	2.2	2.2	2.5	0.0	1.4	1.4	2.4	0.6	1.8
和歌山県	10	1.2	1.4	0.7	1.0	5.5	0.0	2.1	0.0	0.7	1.9	1.6	0.6	1.2
鳥取県	2	0.2	0.0	0.0	0.7	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
島根県	6	0.7	0.7	1.1	0.3	2.2	1.3	0.4	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.6
岡山県	10	1.2	0.4	1.8	1.4	2.2	1.7	0.8	0.7	0.0	1.0	1.6	1.9	1.2
広島県	19	2.2	2.1	1.8	2.7	3.3	4.3	0.0	2.0	2.2	2.9	1.6	3.1	1.2
山口県	6	0.7	0.0	2.2	0.0	0.0	1.7	0.8	0.0	0.0	1.0	0.0	1.9	0.6
徳島県	9	1.1	1.1	0.4	1.7	2.2	0.9	2.1	0.0	2.9	1.4	0.8	0.0	0.6
香川県	4	0.5	0.4	0.4	0.7	0.0	1.3	0.4	0.0	0.0	0.5	0.8	0.0	1.2
愛媛県	15	1.8	1.4	1.1	2.7	4.4	4.7	0.0	0.0	1.4	1.9	1.6	1.2	2.4
高知県	5	0.6	0.4	0.7	0.7	0.0	2.2	0.0	0.0	0.7	0.0	0.8	0.6	0.6
福岡県	27	3.2	2.1	3.3	4.1	4.4	2.6	0.8	5.1	2.2	3.8	0.0	3.7	4.2
佐賀県	2	0.2	0.0	0.4	0.3	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.6	0.0
長崎県	13	1.5	2.1	0.7	1.7	2.2	3.9	0.8	0.0	1.4	2.4	1.6	1.2	1.2
熊本県	14	1.6	2.1	0.7	2.0	2.2	2.2	0.4	2.0	2.2	1.9	0.8	0.6	3.0
大分県	7	0.8	0.7	0.0	1.7	2.2	2.2	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.6	1.2
宮崎県	16	1.9	0.7	1.5	3.4	1.1	5.6	0.8	0.0	2.2	0.5	0.8	1.2	4.8
鹿児島県	14	1.6	1.4	1.8	1.7	6.6	1.7	1.7	0.0	1.4	1.0	3.2	1.2	2.4
沖縄県	6	0.7	0.0	0.4	1.7	0.0	0.0	2.5	0.0	0.7	0.5	0.0	1.2	1.2
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

地域区分

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
地域区分A	91	10.6	10.7	6.6	14.6	100.0	0.0	0.0	0.0	15.8	12.9	10.5	5.6	8.3
地域区分B	232	27.1	24.2	29.3	27.8	0.0	100.0	0.0	0.0	25.9	31.6	24.2	21.0	33.9
地域区分C	240	28.0	30.6	27.5	25.8	0.0	0.0	100.0	0.0	27.3	28.2	33.1	28.4	24.4
地域区分D	293	34.2	34.5	36.6	31.9	0.0	0.0	0.0	100.0	30.9	27.3	32.3	45.1	33.3
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q8 特別地域加算・中山間地域等の加算以外で、次のうち加算算定しているものを教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
特定事業所加算(Ⅰ)	88	10.3	14.9	11.0	5.4	11.0	12.1	7.9	10.6	7.9	10.0	12.1	10.5	10.7
特定事業所加算(Ⅱ)	307	35.9	40.9	34.8	32.2	40.7	35.8	43.3	28.3	31.7	42.1	50.8	35.8	25.0
特定事業所加算(Ⅲ)	7	0.8	1.4	0.4	0.7	1.1	0.9	0.8	0.7	2.2	1.4	0.0	0.6	0.0
特定事業所加算(Ⅳ)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定事業所加算(Ⅴ)	5	0.6	0.0	1.1	0.7	2.2	1.3	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.6	0.6
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	631	73.7	81.1	75.5	65.1	69.2	76.3	77.5	70.0	68.3	77.0	75.0	72.2	77.4
介護職員処遇改善加算(Ⅱ)	74	8.6	6.0	8.4	10.8	12.1	6.9	7.9	9.6	7.9	10.0	4.8	9.9	8.9
介護職員処遇改善加算(Ⅲ)	50	5.8	3.6	5.5	8.5	5.5	6.9	4.6	6.1	8.6	4.3	8.1	4.9	4.2
介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)	266	31.1	40.6	27.8	25.4	35.2	29.7	36.7	26.3	23.7	36.4	42.7	31.5	27.4
介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)	239	27.9	27.8	30.0	26.1	24.2	29.7	25.8	29.4	27.3	28.7	20.2	26.5	35.1
該当するものはない	57	6.7	3.2	6.2	10.5	7.7	4.7	4.2	9.9	7.9	5.3	6.5	7.4	4.8
全体	856	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q9 貴事業所が所属する法人全体の介護事業従事者数(非常勤を含む)について教えてください。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
5人未満	38	4.4	1.8	2.6	8.8	7.7	3.4	2.5	5.8	6.5	3.3	5.6	5.6	1.2
5～9人	125	14.6	9.3	16.8	16.9	13.2	10.8	13.8	18.8	27.3	10.5	12.1	11.7	13.1
10～19人	175	20.4	19.2	19.0	22.4	16.5	18.5	19.6	23.9	20.9	25.8	13.7	17.3	19.6
20～49人	181	21.1	21.0	24.5	18.3	17.6	24.6	20.8	19.8	17.3	16.3	18.5	26.5	27.4
50～99人	87	10.2	10.0	10.3	10.5	15.4	11.2	10.0	7.8	8.6	12.0	7.3	10.5	11.3
100～299人	91	10.6	12.5	7.7	11.9	18.7	10.3	12.5	6.8	7.2	9.1	14.5	10.5	14.3
300～499人	22	2.6	2.8	2.9	2.0	3.3	3.4	2.1	2.0	2.2	3.3	2.4	0.6	4.8
500～999人	23	2.7	1.1	4.8	2.4	0.0	4.7	3.8	1.0	2.9	3.3	4.0	1.2	3.0
1，000人以上	84	9.8	18.9	7.0	4.1	3.3	10.3	11.3	10.2	5.0	14.8	16.1	11.7	3.6
わからない	30	3.5	3.6	4.4	2.7	4.4	2.6	3.8	3.8	2.2	1.4	5.6	4.3	1.8
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q10 貴事業所を運営する法人が展開している、訪問介護事業所数を教えてください。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
1事業所(貴事業所のみ)	543	63.4	49.8	64.1	75.6	69.2	61.2	62.1	64.5	73.4	59.8	54.8	67.9	63.7
2～3事業所	104	12.1	10.0	14.7	11.5	16.5	14.2	9.6	11.3	12.2	12.4	9.7	11.1	16.1
4～9事業所	61	7.1	8.9	8.1	4.7	4.4	8.2	7.5	6.8	5.0	6.7	11.3	5.6	7.7
10～20事業所	28	3.3	5.7	2.6	1.7	3.3	3.9	3.8	2.4	1.4	2.9	4.8	2.5	5.4
21事業所以上	111	13.0	23.1	9.9	6.4	5.5	11.2	15.8	14.3	7.2	18.2	17.7	12.3	6.5
わからない	9	1.1	2.5	0.7	0.0	1.1	1.3	1.3	0.7	0.7	0.0	1.6	0.6	0.6
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q11 サテライト事業所(出張所)をもっていますか。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
ある	14	1.6	1.8	1.8	1.4	2.2	3.4	0.8	0.7	0.7	1.9	2.4	3.1	0.0
ない	842	98.4	98.2	98.2	98.6	97.8	96.6	99.2	99.3	99.3	98.1	97.6	96.9	100.0
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q11_SNT1_1 サテライト事業所(出張所)をもっていますか。／ある(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=14	n=5	n=5	n=4	n=2	n=8	n=2	n=2	n=1	n=4	n=3	n=5	n=0
平均値	—	1.5	1.6	1.8	1.0	1.0	1.1	2.5	2.5	1.0	1.0	1.3	1.6	−
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	−
最小値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	−
最大値	—	4.0	4.0	4.0	1.0	1.0	2.0	4.0	4.0	1.0	1.0	2.0	4.0	−

Q12_1 本体事業所から最も遠いところにあるサテライト事業所（出張所）について、本体事業所からの時間及び距離を教えてください。／片道約／分（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=14	n=5	n=5	n=4	n=2	n=8	n=2	n=2	n=1	n=4	n=3	n=5	n=0
平均値	—	23.9	21.0	25.0	26.3	27.5	18.8	35.0	30.0	15.0	26.3	10.0	31.0	-
中央値	—	20.0	15.0	20.0	25.0	27.5	17.5	35.0	30.0	15.0	25.0	10.0	30.0	-
最小値	—	5.0	15.0	5.0	15.0	15.0	5.0	10.0	30.0	15.0	15.0	5.0	15.0	-
最大値	—	60.0	30.0	60.0	40.0	40.0	30.0	60.0	30.0	15.0	40.0	15.0	60.0	-

Q12_2 本体事業所から最も遠いところにあるサテライト事業所（出張所）について、本体事業所からの時間及び距離を教えてください。／片道約／キロメートル（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=14	n=5	n=5	n=4	n=2	n=8	n=2	n=2	n=1	n=4	n=3	n=5	n=0
平均値	—	10.5	8.4	10.2	13.5	16.0	9.4	14.5	5.5	10.0	14.8	4.3	11.4	-
中央値	—	10.0	10.0	10.0	13.0	16.0	10.0	14.5	5.5	10.0	13.0	5.0	10.0	-
最小値	—	2.0	3.0	2.0	6.0	10.0	2.0	5.0	3.0	10.0	11.0	2.0	3.0	-
最大値	—	24.0	11.0	24.0	22.0	22.0	15.0	24.0	8.0	10.0	22.0	6.0	24.0	-

Q13_1_1 サービス提供責任者／常勤（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=855	n=280	n=273	n=295	n=91	n=232	n=239	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=167
平均値	—	2.3	2.5	2.3	2.0	2.1	2.3	2.2	2.3	1.9	2.6	2.7	2.3	1.9
中央値	—	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0
最大値	—	21.0	21.0	12.0	11.0	10.0	21.0	9.0	8.0	6.0	11.0	21.0	10.0	10.0

Q13_1_2 サービス提供責任者／非常勤（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=855	n=280	n=273	n=295	n=91	n=232	n=239	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=167
平均値	—	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	16.0	16.0	3.0	6.0	3.0	16.0	4.0	4.0	3.0	16.0	4.0	3.0	4.0

Q13_1_3 サービス提供責任者／常勤換算（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=711	n=238	n=221	n=245	n=80	n=194	n=202	n=235	n=116	n=171	n=110	n=135	n=140
平均値	—	2.2	2.4	2.3	2.0	2.1	2.2	2.1	2.4	1.9	2.5	2.6	2.4	1.8
中央値	—	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0
最小値	—	0.1	0.1	0.4	0.3	0.5	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4
最大値	—	11.0	10.0	11.0	11.0	10.0	11.0	9.0	8.0	5.0	11.0	11.0	10.0	10.0

Q13_2_1 訪問介護員／常勤（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=853	n=281	n=272	n=293	n=91	n=231	n=240	n=291	n=139	n=208	n=124	n=160	n=168
平均値	—	2.8	3.2	2.9	2.2	2.6	3.2	2.5	2.7	2.3	1.6	2.1	2.0	5.6
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	42.0	28.0	42.0	24.0	24.0	28.0	42.0	26.0	42.0	16.0	19.0	24.0	28.0

Q13_2_2 訪問介護員／非常勤（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=853	n=281	n=272	n=293	n=91	n=231	n=240	n=291	n=139	n=208	n=124	n=160	n=168
平均値	—	9.2	11.1	8.6	7.9	6.8	8.0	10.6	9.7	6.7	10.2	10.8	10.2	8.5
中央値	—	7.0	8.0	6.0	6.0	4.0	6.0	8.0	7.0	6.0	8.0	8.0	7.0	6.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	80.0	80.0	59.0	60.0	80.0	59.0	65.0	60.0	23.0	37.0	59.0	60.0	80.0

Q13_2_3 訪問介護員／常勤換算（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=741	n=247	n=231	n=256	n=78	n=204	n=211	n=248	n=125	n=178	n=112	n=138	n=150
平均値	—	4.9	5.7	4.9	4.2	5.0	5.0	5.0	4.8	3.9	4.2	5.1	4.7	6.9
中央値	—	3.5	3.9	3.5	3.1	4.0	3.6	3.5	3.3	2.9	3.2	3.5	3.5	5.0
最小値	—	0.1	0.1	0.2	0.1	0.7	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.7
最大値	—	49.0	40.0	44.0	49.0	40.0	28.0	44.0	49.0	44.0	24.5	49.0	26.1	40.0

Q13_3_1 その他の職員／常勤（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=852	n=279	n=272	n=294	n=91	n=232	n=239	n=290	n=138	n=209	n=123	n=162	n=167
平均値	—	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	5.0	5.0	5.0	4.0	2.0	5.0	5.0	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	5.0

Q13_3_2 その他の職員／非常勤（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=852	n=279	n=272	n=294	n=91	n=232	n=239	n=290	n=138	n=209	n=123	n=162	n=167
平均値	—	0.5	0.7	0.5	0.4	0.2	0.5	0.4	0.8	0.4	0.7	0.3	0.3	0.8
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	25.0	20.0	25.0	14.0	3.0	14.0	19.0	25.0	11.0	25.0	8.0	15.0	15.0

Q13_3_3 その他の職員／常勤換算（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=745	n=241	n=239	n=259	n=85	n=205	n=204	n=251	n=120	n=170	n=109	n=145	n=156
平均値	—	0.4	0.5	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.5
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	13.0	13.0	4.0	8.6	3.0	8.6	5.1	13.0	3.7	13.0	8.0	4.0	10.0

Q14_1 貴事業所と併設、あるいは隣接敷地にある介護保険サービス・その他高齢者福祉サービス等の事業所を教えてください。／自法人の運営（複数回答）

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
貴事業所以外の訪問介護	80	9.3	9.3	8.8	9.8	7.7	7.3	11.3	9.9	12.9	8.6	12.1	6.8	6.0
訪問入浴介護	40	4.7	4.6	5.1	4.4	9.9	4.3	6.3	2.0	5.8	7.2	5.6	1.9	1.8
訪問看護	125	14.6	17.4	11.7	14.6	13.2	15.1	20.4	9.9	10.8	10.5	18.5	13.6	20.8
訪問リハビリテーション	37	4.3	3.2	6.2	3.7	3.3	5.6	5.8	2.4	3.6	3.3	5.6	4.3	4.2
通所介護	221	25.8	22.4	29.3	26.4	31.9	33.6	32.5	12.3	19.4	23.9	35.5	31.5	22.6
通所リハビリテーション	32	3.7	3.2	4.0	4.1	5.5	6.5	3.8	1.0	5.8	1.9	2.4	4.3	3.6
短期入所生活介護	75	8.8	7.1	8.1	11.2	14.3	9.9	10.0	5.1	10.1	5.3	15.3	14.8	1.8
短期入所療養介護	9	1.1	1.1	1.5	0.7	3.3	1.3	0.4	0.7	2.2	0.5	1.6	0.6	0.6
特定施設入居者生活介護	21	2.5	2.5	2.9	2.0	1.1	4.3	2.5	1.4	2.9	0.5	4.8	3.7	1.2
居宅療養管理指導	11	1.3	1.1	2.2	0.7	1.1	0.4	1.3	2.0	2.9	1.4	0.0	1.2	0.6
福祉用具貸与、特定福祉用具販売、住宅改修のいずれか	54	6.3	7.1	7.3	4.4	1.1	6.9	8.8	5.5	5.0	8.6	4.8	5.6	4.8
居宅介護支援	354	41.4	39.1	41.8	43.4	56.0	43.5	42.5	34.1	36.7	44.0	46.8	56.2	24.4
地域密着型通所介護	73	8.5	8.5	8.8	7.8	17.6	9.9	7.5	5.5	8.6	8.1	10.5	13.0	3.6
小規模多機能型居宅介護	33	3.9	3.6	2.9	5.1	4.4	4.7	3.8	3.1	3.6	3.8	4.0	4.3	1.8
看護小規模多機能型居宅介護	9	1.1	1.4	0.4	1.4	0.0	1.3	1.3	1.0	0.7	0.5	2.4	1.9	0.6
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21	2.5	3.2	1.8	2.4	1.1	3.0	1.7	3.1	1.4	2.9	2.4	2.5	2.4
夜間対応型訪問介護	12	1.4	2.5	1.5	0.3	0.0	0.0	1.7	2.7	1.4	1.4	1.6	1.2	1.2
認知症対応型通所介護	28	3.3	2.8	2.9	4.1	3.3	4.7	3.8	1.7	5.0	1.9	4.8	3.7	1.8
認知症対応型共同生活介護	52	6.1	5.0	7.0	6.4	8.8	9.9	4.2	3.8	5.8	4.3	8.1	4.3	7.7
地域密着型特定施設入居者生活介護	4	0.5	0.0	0.7	0.7	1.1	0.4	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	10	1.2	0.0	0.7	2.7	2.2	1.7	1.3	0.3	2.9	0.5	3.2	0.6	0.0
介護老人福祉施設	52	6.1	5.7	5.9	6.8	11.0	7.3	7.1	2.7	9.4	4.3	10.5	7.4	0.6
介護老人保健施設	19	2.2	1.8	2.9	2.0	5.5	3.4	1.7	0.7	4.3	1.0	2.4	1.9	1.2
介護療養型医療施設	2	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.4	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.6	0.0
介護医療院	6	0.7	0.0	1.5	0.7	1.1	0.9	0.8	0.3	0.7	0.5	0.0	1.2	1.2
総合事業（訪問型サービス・旧介護予防訪問介護相当）	429	50.1	47.7	49.8	52.9	57.1	47.4	50.0	50.2	54.0	52.6	49.2	59.9	35.1
総合事業（訪問型サービス（「旧介護予防訪問介護相当」以外）	68	7.9	8.5	8.8	6.4	8.8	7.3	7.1	8.9	12.9	7.7	8.1	6.8	4.2
総合事業（通所型サービス・旧介護予防通所介護相当）	153	17.9	16.4	18.7	18.6	29.7	23.7	20.4	7.5	19.4	18.7	24.2	23.5	9.5
総合事業（通所型サービス（「旧介護予防通所介護相当」以外）	24	2.8	2.8	3.7	2.0	2.2	3.4	2.9	2.4	5.8	2.9	3.2	1.9	0.6
総合事業（その他の生活支援サービス）	46	5.4	5.7	5.5	4.7	4.4	5.2	4.6	6.5	8.6	6.2	8.9	2.5	1.8
病院	31	3.6	2.5	4.0	4.4	4.4	6.0	2.5	2.4	5.0	1.9	1.6	3.1	4.8
有床診療所	8	0.9	0.4	2.2	0.3	0.0	0.4	2.1	0.7	2.2	0.0	1.6	1.9	0.0
無床診療所	17	2.0	1.1	2.6	2.4	2.2	3.0	1.7	1.4	5.0	1.0	1.6	0.0	3.0
サービス付き高齢者向け住宅	74	8.6	7.1	13.2	5.8	8.8	9.5	13.3	4.1	2.9	2.4	7.3	11.1	20.8
有料老人ホーム	114	13.3	13.5	15.0	11.9	11.0	20.3	12.1	9.6	5.0	3.3	4.8	13.6	38.7
養護老人ホーム	18	2.1	1.8	3.7	1.0	3.3	3.0	1.7	1.4	1.4	2.4	3.2	1.9	1.2
軽費老人ホーム（ケアハウス、A、Bなど）	30	3.5	2.1	4.4	4.1	3.3	6.0	3.3	1.7	2.2	1.4	7.3	6.8	2.4
地域包括支援センター（在宅介護支援センター）	32	3.7	1.8	4.4	5.1	1.1	3.4	7.5	1.7	2.2	3.3	9.7	3.7	0.6
障害者総合支援法に基づく訪問系サービス	192	22.4	24.2	21.2	21.7	20.9	19.8	20.8	26.3	30.2	26.3	23.4	21.0	14.3
障害者総合支援法に基づく訪問系サービス以外の障害福祉サービス	38	4.4	4.3	4.0	5.1	2.2	2.6	7.5	4.1	8.6	4.8	4.8	3.7	1.2
その他	10	1.2	1.4	1.1	1.0	1.1	0.9	1.3	1.4	2.2	1.0	0.8	1.9	0.6
該当なし	159	18.6	18.5	19.0	18.3	11.0	16.8	16.7	23.9	20.9	21.1	21.0	14.2	13.7
全体	856	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q14_2 貴事業所と併設、あるいは隣接敷地にある介護保険サービス・その他高齢者福祉サービス等の事業所を教えてください。／関連法人の運営（複数回答）

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
貴事業所以外の訪問介護	20	2.3	2.5	1.8	2.7	3.3	0.9	3.3	2.4	3.6	1.9	1.6	1.2	2.4
訪問入浴介護	3	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0
訪問看護	15	1.8	1.4	1.8	1.7	2.2	1.3	1.7	2.0	2.9	0.5	1.6	2.5	2.4
訪問リハビリテーション	11	1.3	0.7	1.8	1.0	3.3	0.9	0.4	1.7	1.4	0.5	0.8	3.1	0.6
通所介護	18	2.1	2.5	2.6	1.4	2.2	1.7	3.3	1.4	3.6	0.5	2.4	3.1	1.8
通所リハビリテーション	10	1.2	1.4	1.5	0.7	3.3	0.4	0.8	1.4	2.2	1.0	0.8	1.9	0.0
短期入所生活介護	6	0.7	0.4	1.5	0.3	1.1	0.4	0.8	0.7	1.4	0.0	0.0	1.2	0.6
短期入所療養介護	4	0.5	0.4	0.7	0.3	2.2	0.0	0.0	0.7	0.7	0.5	0.0	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	3	0.4	0.0	0.7	0.3	1.1	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
居宅療養管理指導	4	0.5	0.0	1.1	0.3	1.1	0.0	0.4	0.7	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉用具貸与、特定福祉用具販売、住宅改修のいずれか	8	0.9	1.4	1.5	0.0	1.1	0.4	1.3	1.0	1.4	0.0	0.0	1.9	0.6
居宅介護支援	23	2.7	2.5	2.2	3.1	2.2	2.2	3.8	2.4	4.3	0.5	3.2	4.9	2.4
地域密着型通所介護	8	0.9	1.8	0.7	0.3	1.1	0.0	1.3	1.4	2.2	0.5	0.0	2.5	0.0
小規模多機能型居宅介護	6	0.7	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	1.3	1.0	2.2	0.0	0.0	1.9	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.0	0.0	0.4	0.7	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4	0.5	0.4	0.7	0.3	1.1	0.0	0.4	0.7	1.4	0.0	0.8	0.0	0.0
夜間対応型訪問介護	4	0.5	0.4	1.1	0.0	1.1	0.0	0.4	0.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症対応型通所介護	6	0.7	0.7	1.1	0.3	2.2	0.0	0.0	1.4	1.4	0.5	0.0	0.6	0.6
認知症対応型共同生活介護	5	0.6	1.1	0.4	0.3	0.0	0.9	0.8	0.3	1.4	0.0	0.0	0.0	1.8
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.4	0.4	0.3	0.7	0.5	0.8	0.0	0.0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.4	0.0	0.3	0.7	0.0	0.8	0.0	0.0
介護老人福祉施設	5	0.6	0.0	1.1	0.7	0.0	0.9	0.8	0.3	1.4	0.5	0.0	0.6	0.6
介護老人保健施設	9	1.1	0.7	1.5	1.0	3.3	0.9	1.3	0.3	1.4	1.4	0.8	1.2	0.0
介護療養型医療施設	2	0.2	0.0	0.7	0.0	1.1	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
介護医療院	4	0.5	0.4	1.1	0.0	1.1	0.4	0.4	0.3	0.7	0.5	0.0	0.0	0.6
総合事業（訪問型サービス・旧介護予防訪問介護相当）	13	1.5	2.1	2.6	0.0	1.1	1.3	1.7	1.7	3.6	0.5	1.6	1.9	1.2
総合事業（訪問型サービス（「旧介護予防訪問介護相当」以外）	5	0.6	0.4	1.5	0.0	1.1	0.4	0.8	0.3	2.9	0.0	0.0	0.6	0.0
総合事業（通所型サービス・旧介護予防通所介護相当）	7	0.8	0.7	1.5	0.3	1.1	0.4	1.3	0.7	2.2	0.0	0.0	1.2	1.2
総合事業（通所型サービス（「旧介護予防通所介護相当」以外）	3	0.4	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
総合事業（その他の生活支援サービス）	3	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	1.4	0.0	0.8	0.0	0.0
病院	12	1.4	0.7	1.8	1.7	2.2	1.3	0.8	1.7	2.9	0.5	0.8	1.9	1.2
有床診療所	4	0.5	0.0	1.1	0.3	0.0	0.4	0.4	0.7	2.2	0.0	0.0	0.6	0.0
無床診療所	4	0.5	0.4	0.7	0.3	1.1	0.0	0.0	1.0	1.4	0.0	0.0	0.6	0.6
サービス付き高齢者向け住宅	15	1.8	2.1	1.8	1.4	2.2	2.2	1.3	1.7	2.2	0.5	1.6	3.7	1.2
有料老人ホーム	12	1.4	2.1	0.7	1.4	0.0	1.3	1.3	2.0	2.9	1.0	0.0	1.9	1.2
養護老人ホーム	5	0.6	0.7	1.1	0.0	1.1	0.4	0.0	1.0	1.4	0.5	0.8	0.0	0.0
軽費老人ホーム（ケアハウス、A、Bなど）	6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	0.4	1.3	0.7	2.2	1.0	0.0	0.0	0.6
地域包括支援センター（在宅介護支援センター）	10	1.2	2.1	0.7	0.7	1.1	0.0	0.8	2.4	3.6	0.5	0.8	0.6	0.6
障害者総合支援法に基づく訪問系サービス	7	0.8	0.7	1.5	0.3	0.0	0.4	0.8	1.4	2.2	1.0	0.0	1.2	0.0
障害者総合支援法に基づく訪問系サービス以外の障害福祉サービス	2	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.7	0.0	0.0	0.6	0.0
その他	1	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
該当なし	786	91.8	90.4	91.6	93.6	89.0	93.5	89.6	93.2	91.4	94.7	93.5	87.7	91.1
全体	856	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q14.3 貴事業所と併設、あるいは隣接敷地にある介護保険サービス・その他高齢者福祉サービス等の事業所を教えてください。／他法人の運営（複数回答）

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
貴事業所以外の訪問介護	39	4.6	2.1	7.3	4.4	4.4	3.4	5.4	4.8	6.5	2.9	5.6	3.7	4.8
訪問入浴介護	18	2.1	2.1	3.3	1.0	0.0	0.9	2.9	3.1	1.4	1.0	2.4	3.1	3.0
訪問看護	41	4.8	2.5	7.7	4.4	5.5	2.6	5.0	6.1	7.9	2.4	5.6	3.7	5.4
訪問リハビリテーション	29	3.4	2.1	5.9	2.4	2.2	1.7	3.8	4.8	3.6	1.9	4.8	3.1	3.6
通所介護	36	4.2	3.6	5.5	3.7	5.5	2.6	4.2	5.1	5.8	1.9	6.5	2.5	5.4
通所リハビリテーション	30	3.5	2.5	6.2	2.0	4.4	1.7	3.8	4.4	3.6	2.4	3.2	3.7	4.2
短期入所生活介護	29	3.4	2.1	4.8	3.4	5.5	1.7	3.3	4.1	3.6	2.9	4.0	4.3	2.4
短期入所療養介護	23	2.7	2.5	4.4	1.4	4.4	0.9	2.9	3.4	2.2	1.9	2.4	4.3	2.4
特定施設入居者生活介護	19	2.2	1.8	3.7	1.4	3.3	0.9	2.1	3.1	1.4	1.9	2.4	2.5	2.4
居宅療養管理指導	22	2.6	1.8	4.4	1.7	2.2	1.7	3.3	2.7	2.2	1.4	3.2	3.7	3.0
福祉用具貸与、特定福祉用具販売、住宅改修のいずれか	24	2.8	2.1	4.8	1.7	3.3	1.3	3.3	3.4	2.9	1.0	4.0	3.1	4.2
居宅介護支援	42	4.9	4.3	6.2	4.4	7.7	3.9	4.6	5.1	5.8	1.9	5.6	4.9	7.1
地域密着型通所介護	18	2.1	1.4	4.0	1.0	3.3	1.3	2.5	2.0	1.4	1.4	2.4	2.5	2.4
小規模多機能型居宅介護	18	2.1	1.8	3.7	1.0	1.1	1.3	2.5	2.7	2.2	1.4	1.6	3.7	1.8
看護小規模多機能型居宅介護	12	1.4	1.8	2.6	0.0	0.0	0.4	1.7	2.4	0.7	1.4	1.6	1.9	1.8
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14	1.6	2.1	2.6	0.3	1.1	0.4	1.7	2.7	1.4	1.4	1.6	2.5	1.8
夜間対応型訪問介護	13	1.5	1.8	2.6	0.3	0.0	0.4	1.7	2.7	1.4	1.4	0.8	2.5	1.8
認知症対応型通所介護	17	2.0	1.8	2.9	1.4	1.1	1.3	2.1	2.7	1.4	1.4	2.4	3.1	2.4
認知症対応型共同生活介護	18	2.1	2.5	2.6	1.4	3.3	1.3	2.1	2.4	0.7	1.0	1.6	3.1	4.2
地域密着型特定施設入居者生活介護	12	1.4	1.8	2.2	0.3	0.0	0.4	1.7	2.4	0.7	1.4	0.8	1.9	2.4
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	13	1.5	2.1	2.2	0.3	0.0	0.9	1.7	2.4	0.7	1.4	2.4	1.9	1.8
介護老人福祉施設	24	2.8	1.8	4.0	2.7	3.3	1.3	3.3	3.4	4.3	1.4	3.2	4.3	2.4
介護老人保健施設	25	2.9	2.5	4.4	2.0	3.3	1.3	2.9	4.1	2.9	1.9	4.8	3.1	3.0
介護療養型医療施設	13	1.5	1.8	2.9	0.0	1.1	0.4	1.3	2.7	0.7	1.4	0.8	2.5	1.8
介護医療院	12	1.4	1.8	2.2	0.3	0.0	0.0	2.1	2.4	1.4	1.0	0.8	1.9	2.4
総合事業（訪問型サービス・旧介護予防訪問介護相当）	27	3.2	2.5	4.0	3.1	4.4	2.2	3.3	3.4	5.0	1.9	3.2	3.1	4.2
総合事業（訪問型サービス（「旧介護予防訪問介護相当」以外）	15	1.8	2.1	2.6	0.7	2.2	1.3	2.1	1.7	2.9	0.5	0.8	3.1	2.4
総合事業（通所型サービス・旧介護予防通所介護相当）	19	2.2	2.1	2.9	1.7	2.2	1.7	2.9	2.0	2.9	1.0	2.4	3.1	3.0
総合事業（通所型サービス（「旧介護予防通所介護相当」以外）	13	1.5	1.8	2.6	0.3	1.1	0.4	2.5	1.7	1.4	0.5	1.6	2.5	2.4
総合事業（その他の生活支援サービス）	11	1.3	1.4	1.8	0.7	1.1	0.9	1.3	1.7	1.4	0.5	0.0	2.5	2.4
病院	38	4.4	4.6	5.1	3.7	4.4	2.6	4.6	5.8	5.8	2.9	4.0	3.7	6.0
有床診療所	19	2.2	2.5	3.3	1.0	2.2	0.4	2.5	3.4	4.3	1.0	0.8	3.1	3.0
無床診療所	24	2.8	3.6	3.7	1.4	2.2	2.2	2.9	3.4	3.6	1.4	2.4	3.7	4.2
サービス付き高齢者向け住宅	26	3.0	3.2	3.7	2.4	2.2	2.2	2.1	4.8	2.9	1.9	5.6	2.5	2.4
有料老人ホーム	23	2.7	1.8	3.3	3.1	4.4	1.3	2.1	3.8	2.9	1.4	3.2	2.5	3.0
養護老人ホーム	18	2.1	1.8	2.9	1.7	3.3	0.9	2.1	2.7	2.9	1.4	1.6	3.1	1.8
軽費老人ホーム（ケアハウス、A、Bなど）	16	1.9	1.8	2.9	1.0	0.0	0.4	2.1	3.4	2.2	1.4	0.8	4.3	1.2
地域包括支援センター（在宅介護支援センター）	28	3.3	3.6	4.4	2.0	4.4	1.3	3.8	4.1	4.3	1.4	4.8	4.3	2.4
障害者総合支援法に基づく訪問系サービス	16	1.9	0.7	3.7	1.4	2.2	0.4	2.1	2.7	2.9	1.4	0.8	3.1	1.8
障害者総合支援法に基づく訪問系サービス以外の障害福祉サービス	6	0.7	0.0	1.5	0.7	0.0	0.4	1.3	0.7	1.4	0.5	0.8	0.6	0.6
その他	3	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.7	0.0	0.0	0.6	0.6
該当なし	772	90.2	91.8	86.8	91.5	87.9	91.4	89.2	90.8	89.2	93.8	90.3	90.7	86.3
全体	856	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q15 貴事業所が指定訪問介護サービスを提供する利用者のうち、高齢者住宅や特定施設を除く高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス、A、Bなど）、シルバーハウジング等の集合住宅（マンション・アパート・団地など）に住む利用者の人数が占める割合を教えてください。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
高齢者住宅や集合住宅に住む利用者へのサービス提供は実施していない	139	16.2	14.6	15.8	18.6	24.2	15.5	15.8	14.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1割未満	209	24.4	25.3	20.5	26.4	29.7	28.4	24.6	19.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
1割以上3割未満	124	14.5	14.2	14.3	15.3	14.3	12.9	17.1	13.7	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
3割以上5割未満	108	12.6	13.5	13.2	11.2	6.6	9.5	13.3	16.4	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
5割以上7割未満	54	6.3	6.8	6.6	5.4	3.3	5.2	5.8	8.5	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
7割以上8割未満	29	3.4	3.9	4.0	2.4	2.2	3.0	1.7	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	17.3
8割以上	139	16.2	17.4	17.6	13.9	13.2	21.6	15.4	13.7	0.0	0.0	0.0	0.0	82.7
わからない	54	6.3	4.3	8.1	6.8	6.6	3.9	6.3	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q16 貴事業所が指定訪問介護サービスを提供する利用者のうち、貴法人内部のケアマネジャーが担当している割合はおおよそどの程度ですか。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
1割未満	301	35.2	39.9	31.9	33.6	22.0	37.9	30.8	40.6	41.0	40.2	33.1	24.7	42.9
1割以上3割未満	134	15.7	18.5	13.9	14.9	12.1	15.9	21.3	11.9	12.2	19.1	26.6	15.4	8.3
3割以上5割未満	114	13.3	12.8	13.6	13.6	19.8	15.5	12.1	10.6	10.1	19.1	14.5	17.9	4.8
5割以上7割未満	105	12.3	10.7	13.6	12.9	18.7	8.6	12.9	12.6	8.6	8.6	15.3	18.5	12.5
7割以上8割未満	40	4.7	3.6	6.6	3.7	3.3	5.2	6.7	3.1	4.3	2.4	3.2	6.8	7.7
8割以上	59	6.9	6.8	5.9	8.1	15.4	5.2	4.6	7.5	7.9	1.9	2.4	8.0	13.1
わからない	103	12.0	7.8	14.7	13.2	8.8	11.6	11.7	13.7	15.8	8.6	4.8	8.6	10.7
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q17_1 2023年7月における、貴事業所の実利用者数(要介護度別)を教えてください。また、そのうち①身体介護中心型のサービスのみを提供している実利用者数(要介護度別)②生活援助中心型のサービスのみを提供している実利用者数(要介護度別)③両方のサービスを提供している実利用者数(要介護度別)についても教えてください。／要支援1実利用者数／人(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=269	n=293	n=91	n=228	n=240	n=291	n=135	n=208	n=124	n=162	n=168
平均値	—	5.0	5.0	5.1	4.9	5.8	5.1	4.7	4.9	3.8	6.8	6.1	6.2	1.6
中央値	—	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	4.0	3.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	63.0	63.0	55.0	47.0	47.0	55.0	29.0	63.0	46.0	63.0	44.0	40.0	19.0

Q17_2 2023年7月における、貴事業所の実利用者数(要介護度別)を教えてください。また、そのうち①身体介護中心型のサービスのみを提供している実利用者数(要介護度別)②生活援助中心型のサービスのみを提供している実利用者数(要介護度別)③両方のサービスを提供している実利用者数(要介護度別)についても教えてください。／要支援2実利用者数／人(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=269	n=293	n=91	n=228	n=240	n=291	n=135	n=208	n=124	n=162	n=168
平均値	—	6.7	6.3	7.1	7.0	8.0	6.5	6.9	6.4	4.9	9.0	9.5	7.6	2.2
中央値	—	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	3.0	4.0	3.0	2.0	6.0	6.0	5.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	107.0	50.0	72.0	107.0	72.0	62.0	107.0	57.0	50.0	72.0	62.0	47.0	20.0

Q17_3_1 要介護1／実利用者数(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=269	n=293	n=91	n=228	n=240	n=291	n=135	n=208	n=124	n=162	n=168
平均値	—	11.6	13.8	10.9	10.2	15.2	11.3	13.2	9.4	8.8	13.2	14.2	14.2	7.6
中央値	—	8.0	9.0	9.0	7.0	11.0	8.0	9.5	6.0	6.0	11.0	13.0	10.0	4.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	234.0	234.0	77.0	101.0	229.0	77.0	234.0	220.0	220.0	63.0	77.0	229.0	234.0

Q17_3_2 要介護1／身体介護中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=795	n=266	n=256	n=267	n=83	n=213	n=229	n=270	n=128	n=195	n=116	n=154	n=157
平均値	—	2.4	3.1	2.2	1.8	2.8	2.2	3.3	1.5	1.8	2.8	2.7	2.3	2.1
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.5	2.0	2.0	1.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	211.0	211.0	18.0	16.0	18.0	15.0	211.0	17.0	18.0	18.0	16.0	17.0	211.0

Q17_3_3 要介護1／生活援助中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=795	n=266	n=256	n=267	n=83	n=213	n=229	n=270	n=128	n=195	n=116	n=154	n=157
平均値	—	4.4	4.8	4.1	4.4	7.6	4.4	4.4	3.5	2.7	5.6	5.9	6.7	1.3
中央値	—	2.0	1.0	2.0	2.0	3.0	2.0	3.0	1.0	1.0	3.0	3.0	3.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	227.0	227.0	46.0	54.0	227.0	54.0	31.0	42.0	21.0	46.0	54.0	227.0	25.0

Q17_3_4 要介護1／両方のサービスを提供(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=795	n=266	n=256	n=267	n=83	n=213	n=229	n=270	n=128	n=195	n=116	n=154	n=157
平均値	—	4.4	5.1	4.5	3.7	4.6	5.0	4.9	3.5	2.7	4.9	5.8	4.9	3.9
中央値	—	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	1.0	3.0	4.0	3.0	2.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	40.0	40.0	40.0	23.0	40.0	40.0	31.0	24.0	24.0	31.0	40.0	24.0	40.0

Q17_4_1 要介護2／実利用者数(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=269	n=293	n=91	n=228	n=240	n=291	n=135	n=208	n=124	n=162	n=168
平均値	—	10.6	12.5	9.9	9.5	9.9	8.7	13.5	9.9	8.1	10.8	11.3	11.6	9.5
中央値	—	7.0	9.0	8.0	6.0	8.0	7.0	9.0	7.0	5.0	9.0	10.0	9.0	6.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	377.0	337.0	50.0	377.0	61.0	47.0	377.0	164.0	164.0	40.0	50.0	61.0	337.0

Q17_4_2 要介護2／身体介護中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=802	n=265	n=262	n=269	n=85	n=213	n=229	n=275	n=128	n=195	n=117	n=156	n=158
平均値	—	2.8	4.1	2.4	2.0	2.9	2.3	4.0	2.1	2.4	3.0	2.9	2.5	3.2
中央値	—	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	306.0	306.0	22.0	12.0	20.0	14.0	306.0	85.0	85.0	22.0	11.0	14.0	306.0

Q17_4_3 要介護2／生活援助中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=802	n=265	n=262	n=269	n=85	n=213	n=229	n=275	n=128	n=195	n=117	n=156	n=158
平均値	—	2.9	3.3	2.8	2.6	3.1	2.3	3.2	3.0	2.5	3.2	3.7	4.3	1.1
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	79.0	79.0	30.0	53.0	60.0	24.0	53.0	79.0	79.0	23.0	31.0	60.0	31.0

Q17_4_4 要介護2／両方のサービスを提供(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=802	n=265	n=262	n=269	n=85	n=213	n=229	n=275	n=128	n=195	n=117	n=156	n=158
平均値	—	4.3	4.9	4.6	3.5	3.7	4.0	4.7	4.4	2.8	4.5	4.5	4.9	5.0
中央値	—	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	3.0	4.0	3.0	3.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	46.0	46.0	30.0	20.0	46.0	30.0	36.0	29.0	17.0	36.0	30.0	29.0	46.0

Q17_5_1 要介護3／実利用者数(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=269	n=293	n=91	n=228	n=240	n=291	n=135	n=208	n=124	n=162	n=168
平均値	—	6.5	9.1	5.8	4.8	6.0	5.5	8.6	5.8	4.2	6.0	6.5	6.2	9.4
中央値	—	4.0	6.0	5.0	3.0	4.0	4.0	5.0	4.0	3.0	5.0	6.0	5.0	4.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	578.0	578.0	60.0	81.0	47.0	60.0	578.0	99.0	99.0	31.0	60.0	29.0	578.0

Q17_5_2 要介護3／身体介護中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=811	n=268	n=261	n=276	n=85	n=217	n=228	n=281	n=128	n=199	n=115	n=158	n=162
平均値	—	2.6	4.2	2.1	1.4	2.0	2.1	4.4	1.6	1.7	2.4	2.5	1.9	4.3
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	2.0	2.0	1.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	512.0	512.0	30.0	10.0	30.0	11.0	512.0	56.0	56.0	18.0	12.0	11.0	512.0

Q17_5_3 要介護3／生活援助中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=811	n=268	n=261	n=276	n=85	n=217	n=228	n=281	n=128	n=199	n=115	n=158	n=162
平均値	—	0.9	1.1	0.8	0.9	1.3	0.7	1.0	0.9	0.8	0.9	1.1	1.2	0.8
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	48.0	48.0	9.0	15.0	28.0	9.0	48.0	20.0	20.0	11.0	9.0	28.0	48.0

Q17_5_4 要介護3／両方のサービスを提供(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=811	n=268	n=261	n=276	n=85	n=217	n=228	n=281	n=128	n=199	n=115	n=158	n=162
平均値	—	2.7	3.7	2.5	2.0	2.6	2.4	2.8	3.0	1.4	2.5	2.3	3.0	4.3
中央値	—	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	47.0	47.0	19.0	26.0	47.0	22.0	31.0	26.0	23.0	31.0	14.0	22.0	47.0

Q17_6_1 要介護4／実利用者数(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=269	n=293	n=91	n=228	n=240	n=291	n=135	n=208	n=124	n=162	n=168
平均値	—	5.2	7.2	4.4	4.0	3.6	4.6	7.0	4.7	3.1	4.2	4.0	4.6	9.0
中央値	—	3.0	4.0	3.0	2.0	2.0	3.0	4.0	3.0	1.0	3.0	3.0	4.0	5.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	393.0	393.0	30.0	126.0	48.0	25.0	393.0	99.0	99.0	21.0	33.0	20.0	393.0

Q17_6_2 要介護4／身体介護中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=815	n=270	n=263	n=276	n=88	n=218	n=230	n=279	n=131	n=198	n=118	n=155	n=162
平均値	—	2.4	3.7	2.0	1.7	1.7	2.3	4.0	1.5	1.1	2.6	2.2	2.1	3.9
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	2.0	1.0	1.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	375.0	375.0	30.0	25.0	30.0	16.0	375.0	25.0	12.0	16.0	25.0	15.0	375.0

Q17_6_3 要介護4／生活援助中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=815	n=270	n=263	n=276	n=88	n=218	n=230	n=279	n=131	n=198	n=118	n=155	n=162
平均値	—	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.5	0.4	0.2	0.3	0.5	0.4	0.7
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	19.0	19.0	8.0	15.0	4.0	19.0	18.0	15.0	4.0	5.0	7.0	8.0	19.0

Q17_6_4 要介護4／両方のサービスを提供(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=815	n=270	n=263	n=276	n=88	n=218	n=230	n=279	n=131	n=198	n=118	n=155	n=162
平均値	—	2.0	2.7	1.9	1.3	1.5	1.7	2.0	2.3	0.7	1.3	1.2	1.9	4.5
中央値	—	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	2.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	47.0	47.0	28.0	18.0	47.0	25.0	18.0	28.0	7.0	15.0	8.0	19.0	47.0

Q17_7_1 要介護5／実利用者数(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=269	n=293	n=91	n=228	n=240	n=291	n=135	n=208	n=124	n=162	n=168
平均値	—	3.9	5.7	3.6	2.7	2.4	3.6	4.1	4.5	3.8	3.1	3.1	3.3	6.0
中央値	—	2.0	3.0	3.0	1.0	1.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	3.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	245.0	245.0	30.0	65.0	30.0	30.0	79.0	245.0	245.0	19.0	22.0	25.0	79.0

Q17_7_2 要介護5／身体介護中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=822	n=273	n=263	n=279	n=88	n=221	n=231	n=282	n=130	n=201	n=120	n=158	n=163
平均値	—	2.4	3.5	2.3	1.6	1.6	2.4	2.6	2.6	2.9	2.3	2.4	2.1	2.5
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	185.0	185.0	30.0	20.0	30.0	30.0	75.0	185.0	185.0	16.0	18.0	20.0	75.0

Q17_7_3 要介護5／生活援助中心型のみ(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=822	n=273	n=263	n=279	n=88	n=221	n=231	n=282	n=130	n=201	n=120	n=158	n=163
平均値	—	0.2	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.0	0.2	0.1	0.3
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	44.0	44.0	4.0	7.0	1.0	9.0	14.0	44.0	44.0	1.0	6.0	2.0	14.0

Q17_7_4 要介護5／両方のサービスを提供(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=822	n=273	n=263	n=279	n=88	n=221	n=231	n=282	n=130	n=201	n=120	n=158	n=163
平均値	—	1.2	1.8	1.2	0.7	0.8	1.1	1.0	1.6	0.5	0.7	0.5	1.0	3.3
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	50.0	50.0	18.0	15.0	19.0	20.0	15.0	50.0	16.0	14.0	6.0	11.0	50.0

Q18_1 2023年7月における、貴事業所の指定訪問介護サービス(要介護1～5の方を対象としたもの)の延べ訪問回数を教えてください。／月の合計訪問回数を記入／回(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=849	n=280	n=271	n=291	n=91	n=229	n=237	n=292	n=136	n=209	n=123	n=161	n=168
平均値	—	708.4	985.2	697.3	456.2	762.5	736.6	710.0	668.0	289.1	476.7	482.7	666.6	1553.6
中央値	—	398.0	508.0	411.0	272.0	315.0	438.0	460.0	349.0	227.5	394.0	426.0	397.0	1096.5
最小値	—	4.0	4.0	4.0	7.0	11.0	12.0	7.0	4.0	4.0	15.0	4.0	7.0	10.0
最大値	—	11520.0	10700.0	11520.0	4732.0	11520.0	4956.0	6200.0	10700.0	1600.0	2806.0	3322.0	4732.0	10700.0

Q18_2 2023年7月における、貴事業所の指定訪問介護サービス(要介護1～5の方を対象としたもの)の延べ訪問回数を教えてください。／(うち、20分未満の身体介護の提供回数／回)(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=849	n=280	n=271	n=291	n=91	n=229	n=237	n=292	n=136	n=209	n=123	n=161	n=168
平均値	—	195.5	292.3	223.7	76.1	262.5	197.0	192.7	175.6	11.6	27.8	28.3	125.6	716.0
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	164.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	10740.0	9559.0	10740.0	3045.0	10740.0	3400.0	3496.0	9559.0	433.0	1000.0	465.0	3045.0	9559.0

Q19_1_1 要介護1／訪問1回当たりの、平均的なサービス提供時間(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=740	n=247	n=238	n=249	n=87	n=197	n=214	n=242	n=109	n=195	n=112	n=150	n=129
平均値	—	59.6	58.6	58.4	61.9	55.8	58.3	60.0	61.7	61.4	60.9	61.4	60.0	54.7
中央値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	52.0
最小値	—	10.0	10.0	13.0	12.0	13.0	10.0	10.0	12.0	20.0	20.0	15.0	10.0	10.0
最大値	—	150.0	140.0	150.0	123.0	150.0	123.0	140.0	131.0	131.0	140.0	121.0	150.0	120.0

Q19_1_2 要介護1／身体介護の平均的なサービス提供時間(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=716	n=244	n=232	n=234	n=82	n=187	n=209	n=238	n=104	n=191	n=108	n=147	n=123
平均値	—	27.7	28.1	26.3	28.8	26.0	29.3	27.8	27.1	28.9	26.4	28.0	29.0	27.7
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	120.0	120.0	90.0	90.0	90.0	68.0	120.0	90.0	120.0	80.0	71.0	90.0	60.0

Q19_1_3 要介護1／生活援助の平均的なサービス提供時間(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=716	n=244	n=232	n=234	n=82	n=187	n=209	n=238	n=104	n=191	n=108	n=147	n=123
平均値	—	31.6	30.1	31.5	33.5	29.7	29.1	31.6	34.2	32.3	34.0	33.9	30.7	26.3
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	29.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	80.0	60.0	60.0	80.0	60.0	80.0	63.0	64.0	60.0	63.0	80.0	60.0	64.0

Q19_2_1 要介護2／訪問1回当たりの、平均的なサービス提供時間(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=771	n=257	n=245	n=263	n=86	n=201	n=220	n=264	n=122	n=196	n=113	n=153	n=141
平均値	—	60.9	59.9	60.0	63.0	56.3	58.9	62.7	62.5	65.0	62.2	62.3	61.4	53.5
中央値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0
最小値	—	10.0	10.0	13.0	14.0	13.0	15.0	10.0	15.0	20.0	17.0	19.0	15.0	10.0
最大値	—	165.0	165.0	160.0	150.0	150.0	160.0	160.0	165.0	165.0	160.0	130.0	150.0	120.0

Q19_2_2 要介護2／身体介護の平均的なサービス提供時間(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=746	n=255	n=238	n=248	n=83	n=190	n=216	n=257	n=118	n=191	n=108	n=149	n=136
平均値	—	30.4	30.5	30.0	30.6	29.1	30.5	30.9	30.1	31.0	31.9	31.2	29.6	27.2
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	160.0	95.0	160.0	120.0	120.0	160.0	95.0	90.0	90.0	160.0	120.0	90.0	78.0

Q19_2_3 要介護2／生活援助の平均的なサービス提供時間(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=746	n=255	n=238	n=248	n=83	n=190	n=216	n=257	n=118	n=191	n=108	n=149	n=136
平均値	—	30.5	29.1	29.7	32.8	27.2	28.5	31.0	32.6	33.5	30.2	31.8	31.4	26.2
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	29.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	90.0	75.0	90.0	80.0	60.0	88.0	70.0	90.0	90.0	88.0	80.0	88.0	75.0

Q19_3_1 要介護3／訪問1回当たりの、平均的なサービス提供時間(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=727	n=252	n=229	n=240	n=79	n=197	n=209	n=242	n=100	n=191	n=107	n=147	n=137
平均値	—	57.9	57.2	55.5	60.8	53.9	54.2	58.6	61.7	62.3	58.8	59.8	58.2	51.8
中央値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	45.0
最小値	—	10.0	10.0	13.0	14.0	13.0	15.0	10.0	15.0	20.0	17.0	19.0	19.0	10.0
最大値	—	240.0	120.0	127.0	240.0	150.0	127.0	120.0	240.0	240.0	150.0	127.0	120.0	120.0

Q19_3_2 要介護3／身体介護の平均的なサービス提供時間(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=707	n=248	n=223	n=230	n=74	n=189	n=204	n=240	n=95	n=187	n=103	n=145	n=133
平均値	—	31.5	31.3	29.6	33.2	30.4	31.6	30.7	32.4	32.9	33.2	33.6	30.8	26.6
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	28.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	240.0	75.0	90.0	240.0	99.0	90.0	60.0	240.0	240.0	90.0	75.0	79.0	60.0

Q19_3_3 要介護3／生活援助の平均的なサービス提供時間(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=707	n=248	n=223	n=230	n=74	n=189	n=204	n=240	n=95	n=187	n=103	n=145	n=133
平均値	—	25.9	25.2	24.9	27.7	23.7	22.5	27.0	28.4	29.5	24.9	25.9	26.2	24.8
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	26.5	25.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	25.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	75.0	60.0	67.0	75.0	60.0	75.0	75.0	72.0	75.0	60.0	67.0	70.0	75.0

Q19_4_1 要介護4／訪問1回当たりの、平均的なサービス提供時間（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=678	n=246	n=217	n=209	n=63	n=188	n=197	n=230	n=83	n=177	n=97	n=131	n=145
平均値	—	54.9	55.0	54.6	55.0	49.9	48.4	54.8	61.5	54.5	55.9	56.0	56.4	51.4
中央値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0	45.5	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	45.0
最小値	—	1.0	10.0	1.0	12.0	10.0	1.0	10.0	12.0	20.0	16.0	10.0	1.0	10.0
最大値	—	206.0	206.0	127.0	138.0	90.0	130.0	160.0	206.0	120.0	160.0	127.0	206.0	138.0

Q19_4_2 要介護4／身体介護の平均的なサービス提供時間（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=660	n=243	n=209	n=202	n=59	n=183	n=193	n=225	n=80	n=174	n=95	n=127	n=141
平均値	—	33.4	33.8	32.1	34.2	33.4	31.7	33.6	34.8	35.2	36.1	35.6	33.4	28.2
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	27.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
最大値	—	160.0	160.0	60.0	65.0	65.0	100.0	160.0	90.0	85.0	160.0	65.0	60.0	100.0

Q19_4_3 要介護4／生活援助の平均的なサービス提供時間（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=660	n=243	n=209	n=202	n=59	n=183	n=193	n=225	n=80	n=174	n=95	n=127	n=141
平均値	—	20.7	20.1	21.3	20.8	16.3	16.1	20.6	25.7	19.3	19.0	20.1	21.3	22.9
中央値	—	20.0	20.0	20.0	20.5	13.0	10.0	22.0	30.0	18.5	20.0	20.0	29.0	20.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	90.0	65.0	90.0	84.0	52.0	67.0	65.0	90.0	90.0	60.0	67.0	70.0	84.0

Q19_5_1 要介護5／訪問1回当たりの、平均的なサービス提供時間（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=640	n=229	n=210	n=194	n=60	n=170	n=190	n=220	n=98	n=160	n=90	n=123	n=128
平均値	—	53.6	54.3	52.9	53.0	45.7	49.7	53.0	59.4	55.0	53.8	53.5	55.7	50.8
中央値	—	57.0	50.0	60.0	59.5	38.5	46.5	57.5	60.0	60.0	60.0	49.5	60.0	45.0
最小値	—	10.0	10.0	13.0	16.0	13.0	10.0	10.0	16.0	20.0	10.0	19.0	16.0	10.0
最大値	—	210.0	210.0	120.0	120.0	94.0	168.0	210.0	180.0	168.0	133.0	180.0	120.0	160.0

Q19_5_2 要介護5／身体介護の平均的なサービス提供時間（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=626	n=227	n=203	n=189	n=56	n=165	n=189	n=216	n=95	n=158	n=88	n=120	n=125
平均値	—	39.4	40.8	38.1	38.7	34.6	39.0	39.0	41.3	45.5	41.2	44.4	39.2	29.1
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	31.0	42.0	33.0	35.0	30.0	29.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	0.0
最大値	—	180.0	180.0	120.0	120.0	90.0	130.0	120.0	180.0	120.0	90.0	180.0	120.0	130.0

Q19_5_3 要介護5／生活援助の平均的なサービス提供時間（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=626	n=227	n=203	n=189	n=56	n=165	n=189	n=216	n=95	n=158	n=88	n=120	n=125
平均値	—	13.6	12.9	13.9	13.9	10.1	10.0	13.0	17.8	9.6	11.8	8.6	15.5	20.9
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	89.0	89.0	60.0	77.0	60.0	89.0	60.0	77.0	60.0	89.0	60.0	60.0	77.0

Q20 貴事業所のサービス提供地域において、他に介護保険サービス等を提供する事業所等はありますか。（複

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
他の訪問介護事業所がある	605	70.7	77.6	68.1	67.5	72.5	74.1	71.7	66.6	72.7	71.8	80.6	79.0	55.4
定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所がある	290	33.9	38.8	31.5	31.9	25.3	32.3	31.3	39.9	30.9	34.9	46.8	36.4	25.0
通所介護の事業所がある	576	67.3	72.2	63.4	67.1	75.8	73.7	68.8	58.4	64.0	70.3	77.4	75.9	56.5
小規模多機能居宅介護や看護小規模多機能型訪問介護看護の事業所がある	385	45.0	50.5	40.7	44.4	39.6	48.3	47.5	42.0	38.1	49.8	51.6	55.6	34.5
介護保険施設がある	474	55.4	60.5	50.2	55.9	60.4	61.6	56.3	48.1	52.5	56.0	66.1	64.2	46.4
その他の介護保険サービス等を提供する事業所等がある	67	7.8	8.2	5.9	9.2	12.1	9.9	7.9	4.8	6.5	9.1	11.3	6.8	7.7
いずれもない	175	20.4	13.2	24.2	23.1	13.2	16.4	18.8	27.3	20.9	20.1	11.3	13.0	30.4
全体	856	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q21 貴事業所のサービス提供地域において、他に地域で提供されている介護保険外のサービス等はありますか。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
配食サービス	591	69.0	72.2	65.9	69.5	82.4	72.0	67.1	64.2	66.9	76.6	80.6	73.5	51.8
買い物代行サービス、 家事代行サービス	426	49.8	57.7	46.9	44.7	44.0	53.4	46.7	51.2	50.4	55.5	58.9	51.9	37.5
移動販売車	332	38.8	42.0	36.3	38.6	64.8	50.9	33.3	25.6	40.3	50.2	42.7	35.2	26.2
外出支援(移送)サービス、通院サービス	408	47.7	50.2	47.6	45.8	51.6	53.9	47.5	41.6	48.9	57.4	54.0	49.4	33.9
ミニデイサービス(介護保険外)	98	11.4	9.6	11.4	13.6	11.0	11.2	11.3	11.9	15.8	11.5	13.7	8.6	8.9
その他の介護保険外のサービス等	76	8.9	6.4	7.3	12.9	8.8	10.3	7.9	8.5	8.6	10.5	8.9	8.6	7.1
地域には、在宅の要支援・要介護高齢者の生活を支援する介護保険外サービスは	133	15.5	13.5	17.2	15.3	5.5	9.5	17.9	21.5	18.0	7.2	9.7	12.3	28.0
全体	856	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q22 貴事業所のサービス提供地域には、以下に挙げるような施設等はありますか。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
鉄道・路面電車	656	76.6	79.4	77.7	72.9	60.4	74.1	77.5	82.9	69.1	78.9	84.7	81.5	72.0
路線バス	709	82.8	84.7	81.7	82.4	76.9	81.9	78.3	89.1	79.1	85.6	91.1	84.0	79.8
コミュニティバス	434	50.7	50.9	53.1	48.1	60.4	53.0	61.7	36.9	56.8	55.5	54.0	54.9	38.1
タクシー会社	712	83.2	85.4	82.1	81.7	85.7	84.9	82.9	81.2	80.6	85.6	91.1	88.3	77.4
食料品や衣服、おむつなどの衛生用品等の生活必需品を購入できる小売店(デパ	797	93.1	95.4	94.1	90.2	95.6	89.7	94.6	93.9	90.6	96.2	96.0	95.1	89.9
病院	764	89.3	92.2	89.4	86.4	80.2	86.6	89.6	93.9	82.0	90.4	91.1	96.9	86.9
診療所(歯科医を含む)	755	88.2	91.5	86.8	86.4	90.1	87.1	89.2	87.7	86.3	90.9	93.5	90.7	82.7
調剤薬局	773	90.3	92.9	90.1	88.1	89.0	89.2	91.3	90.8	86.3	93.3	95.2	91.4	86.9
郵便局	815	95.2	96.4	95.6	93.9	98.9	94.4	95.0	94.9	92.8	96.7	98.4	96.9	93.5
銀行等の金融機関	776	90.7	94.3	90.8	87.1	91.2	89.2	91.3	91.1	87.8	94.7	95.2	94.4	82.7
行政手続きのできる窓口・役所	742	86.7	88.3	85.3	86.8	97.8	86.6	85.0	84.6	86.3	94.7	91.1	90.1	73.2
上記の施設等はない	27	3.2	2.5	3.3	3.7	1.1	4.7	3.3	2.4	5.0	1.9	1.6	1.9	4.2
全体	856	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q23 最近、特に増加したと感じる業務の内容を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
訪問宅への移動に要する時間の増加	171	20.0	18.5	19.0	22.0	29.7	17.2	22.9	16.7	23.7	26.8	16.9	20.4	6.0
訪問回数の増加	200	23.4	26.7	23.1	20.7	23.1	22.8	23.3	23.9	19.4	24.4	30.6	21.0	20.2
短時間の身体介護(20分未満)の増加	122	14.3	15.3	13.6	13.9	13.2	15.5	15.8	12.3	6.5	15.8	12.1	13.0	21.4
デイサービスを利用する際の送出し・お迎え	255	29.8	31.3	31.1	27.5	29.7	22.8	36.7	29.7	28.1	36.4	32.3	37.7	14.9
医療的ケアが必要な利用者、医療依存度の高い利用者へのケア	195	22.8	28.5	18.7	21.0	25.3	25.0	23.3	19.8	18.7	18.7	18.5	22.8	32.1
認知症のある利用者へのケア	465	54.3	57.3	55.3	50.5	49.5	56.9	57.1	51.5	46.8	56.0	50.0	57.4	59.5
独居の利用者へのケア	437	51.1	51.2	54.9	48.1	51.6	47.0	52.5	52.9	55.4	58.4	53.2	61.1	27.4
利用開始からすぐに施設や高齢者住宅へ入居するケース	204	23.8	27.0	19.8	24.4	30.8	20.7	25.4	22.9	26.6	33.0	24.2	24.7	5.4
家事を訪問介護員が代行するのではなく、要介護者とともに行うケース(見守り的援	186	21.7	24.9	19.8	20.7	30.8	22.8	21.3	18.4	19.4	27.3	29.8	25.9	8.3
その他	26	3.0	2.8	2.6	3.4	2.2	2.2	2.5	4.4	2.2	2.4	8.1	4.3	0.6
特に増加したと感じるものはない	112	13.1	11.0	12.8	14.9	12.1	11.6	10.4	16.7	15.8	9.1	14.5	9.9	18.5
わからない	29	3.4	1.8	3.7	4.4	3.3	3.0	4.6	2.7	5.0	1.9	1.6	3.7	2.4
全体	856	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q24 増加した要因として、該当するものの中で上位3つを回答してください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=280	n=103	n=85	n=90	n=28	n=81	n=81	n=90	n=34	n=74	n=47	n=49	n=56
独居や老夫婦世帯が多くなり、在宅の介護力が低下している	220	78.6	76.7	77.6	81.1	89.3	77.8	75.3	78.9	79.4	87.8	83.0	87.8	51.8
医療的ケアが必要な利用者が多く、頻回な訪問が増えている	82	29.3	31.1	22.4	33.3	28.6	30.9	28.4	28.9	17.6	29.7	19.1	34.7	39.3
利用者自身が集団での過ごし方を望まない場合が増えている	83	29.6	30.1	25.9	32.2	14.3	35.8	27.2	31.1	29.4	33.8	40.4	30.6	12.5
利用者や家族、地域からの要望が多く、訪問回数が増えている	106	37.9	40.8	41.2	32.2	35.7	32.1	43.2	38.9	38.2	35.1	42.6	28.6	44.6
ケアマネジャーからの要望が多く、訪問回数が増えている	67	23.9	24.3	29.4	18.9	14.3	24.7	24.7	25.6	26.5	23.0	21.3	24.5	25.0
他事業所の休廃止による新規利用者の受入が増えている	36	12.9	12.6	12.9	13.3	25.0	14.8	11.1	8.9	23.5	16.2	10.6	14.3	5.4
生活全般を支える資源が地域に不足しているため	36	12.9	10.7	10.6	16.7	28.6	13.6	8.6	11.1	14.7	13.5	12.8	12.2	14.3
事業所が人員不足のため、短時間で効率的にサービス提供を行うよう求められてい	57	20.4	19.4	18.8	22.2	14.3	14.8	23.5	24.4	11.8	18.9	21.3	18.4	28.6
法人の方針として、短時間で効率的にサービス提供を行うよう求められている	5	1.8	1.9	2.4	1.1	0.0	3.7	2.5	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	7.1
その他	5	1.8	3.9	1.2	0.0	3.6	1.2	2.5	1.1	2.9	1.4	2.1	4.1	0.0
全体	280	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q25 2022年8月～2023年7月の1年間において、訪問介護サービスの利用が終了した利用者の有無と人数を教えてください。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
あり	805	94.0	95.7	92.3	94.2	97.8	95.7	96.3	89.8	87.8	96.7	96.0	96.9	93.5
なし	51	6.0	4.3	7.7	5.8	2.2	4.3	3.8	10.2	12.2	3.3	4.0	3.1	6.5
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q25_SNT1_1 2022年8月～2023年7月の1年間において、訪問介護サービスの利用が終了した利用者の有無と人数を教えてください。／あり（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=805	n=269	n=252	n=278	n=89	n=222	n=231	n=263	n=122	n=202	n=119	n=157	n=157
平均値	—	14.4	16.6	13.4	13.1	15.8	15.0	14.9	12.8	10.0	17.2	17.9	15.5	10.6
中央値	—	10.0	11.0	10.0	10.0	12.0	10.0	11.0	10.0	6.0	15.0	13.0	10.0	8.0
最小値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
最大値	—	120.0	120.0	96.0	66.0	80.0	96.0	120.0	100.0	80.0	120.0	96.0	100.0	60.0

Q26_1 利用終了後の状況について教えてください。／在宅（介護保険サービスの終了、別の在宅サービス等への移行）（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=805	n=269	n=252	n=278	n=89	n=222	n=231	n=263	n=122	n=202	n=119	n=157	n=157
平均値	—	1.7	1.9	1.5	1.8	1.8	1.6	1.7	1.8	1.0	2.0	2.9	2.1	0.8
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0	1.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	35.0	15.0	35.0	22.0	13.0	35.0	17.0	29.0	17.0	20.0	29.0	22.0	35.0

Q26_2 利用終了後の状況について教えてください。／施設・居住系（※）サービスへの移行（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=805	n=269	n=252	n=278	n=89	n=222	n=231	n=263	n=122	n=202	n=119	n=157	n=157
平均値	—	4.8	5.5	4.3	4.5	6.0	4.8	5.0	4.0	3.5	6.1	6.4	5.4	2.3
中央値	—	3.0	3.0	2.0	3.0	4.0	3.0	3.0	2.0	2.0	4.5	4.0	3.0	1.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	57.0	57.0	46.0	25.0	23.0	57.0	40.0	40.0	30.0	40.0	46.0	57.0	23.0

Q26_3 利用終了後の状況について教えてください。／医療機関へ入院（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=805	n=269	n=252	n=278	n=89	n=222	n=231	n=263	n=122	n=202	n=119	n=157	n=157
平均値	—	2.4	2.9	2.2	2.2	2.7	2.9	2.6	1.8	1.6	3.0	3.1	2.4	2.1
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	2.0	1.0	1.0	1.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	50.0	50.0	30.0	24.0	20.0	30.0	50.0	20.0	20.0	50.0	30.0	20.0	28.0

Q26_4 利用終了後の状況について教えてください。／死亡（サービス終了の契機が死亡の場合）（数値での回

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=805	n=269	n=252	n=278	n=89	n=222	n=231	n=263	n=122	n=202	n=119	n=157	n=157
平均値	—	4.8	5.7	4.8	3.9	4.7	5.0	5.0	4.5	3.3	5.2	4.9	4.8	5.2
中央値	—	3.0	4.0	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	4.0	3.0	3.0	3.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	59.0	59.0	25.0	25.0	24.0	29.0	59.0	40.0	18.0	30.0	25.0	40.0	59.0

Q26_5 利用終了後の状況について教えてください。／わからない（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=805	n=269	n=252	n=278	n=89	n=222	n=231	n=263	n=122	n=202	n=119	n=157	n=157
平均値	—	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.5	0.3	0.3	0.1
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	14.0	14.0	10.0	14.0	14.0	14.0	12.0	11.0	14.0	14.0	6.0	10.0	9.0

Q26_6 利用終了後の状況について教えてください。／その他（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=805	n=269	n=252	n=278	n=89	n=222	n=231	n=263	n=122	n=202	n=119	n=157	n=157
平均値	—	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	0.5	0.1
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	20.0	8.0	7.0	20.0	5.0	20.0	13.0	7.0	7.0	20.0	7.0	16.0	5.0

Q27 利用を終了した利用者のうち、直近5人について、利用を終了した理由はどのようなものですか。（複数回

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=805	n=269	n=252	n=278	n=89	n=222	n=231	n=263	n=122	n=202	n=119	n=157	n=157
人材不足により対応が難しくなったため	96	11.9	12.3	9.1	14.4	5.6	7.7	13.0	16.7	8.2	15.3	17.6	12.1	5.7
サービス提供エリアの縮小により対応が難しくなったため	6	0.7	0.4	1.2	0.7	0.0	0.0	1.3	1.1	0.8	0.5	0.0	1.9	0.6
必要な訪問回数が多くなり、限度額との兼ね合いで対応が難しくなったため	50	6.2	5.9	6.7	6.1	3.4	6.8	6.9	6.1	4.1	6.9	2.5	9.6	7.0
夜間のサービス提供が必要になり対応が困難となったため	32	4.0	2.6	4.8	4.7	2.2	5.4	2.6	4.6	3.3	4.0	4.2	5.7	3.2
医療依存度が高くなり、自事業所では対応が難しくなったため	193	24.0	23.0	20.2	28.1	29.2	25.7	25.5	19.4	16.4	22.8	16.8	24.2	36.9
認知症が重度化し、自事業所では対応が難しくなったため	113	14.0	13.0	13.1	16.2	19.1	11.3	15.6	13.3	10.7	17.3	7.6	14.6	15.9
利用者がエリア外に転居することになったため	101	12.5	14.1	11.1	12.6	16.9	11.3	10.8	13.7	8.2	15.3	11.8	14.6	11.5
家族がケアすることになったため	105	13.0	10.8	14.3	14.0	12.4	14.4	12.1	12.9	6.6	13.9	16.0	17.8	10.2
家族にとって利用者の介護負担が大きいため	182	22.6	22.3	20.2	25.5	30.3	22.5	20.8	21.7	30.3	32.2	29.4	19.7	3.2
利用者からのハラスメントやトラブルにより自事業所が対応できなくなったため	28	3.5	2.6	3.6	4.3	2.2	0.9	5.6	4.2	0.0	5.4	4.2	4.5	3.2
利用者が死亡したため	630	78.3	80.7	80.2	74.1	75.3	81.1	76.2	78.7	77.0	82.7	78.2	77.7	75.8
その他	160	19.9	19.3	19.4	20.5	20.2	19.8	17.7	21.7	26.2	19.8	28.6	19.7	11.5
把握していない・わからない	16	2.0	0.7	2.4	2.9	3.4	0.9	2.2	2.3	3.3	1.0	0.8	0.6	1.9
全体	805	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q28_1 貴事業所で生活援助を利用している要介護1の方（特定の方1名）についてお尋ねします。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
生活援助を利用している要介護1の方について回答する	684	79.9	82.2	81.3	76.6	85.7	76.7	85.0	76.5	66.9	89.0	88.7	87.7	69.0
該当する方がいない	172	20.1	17.8	18.7	23.4	14.3	23.3	15.0	23.5	33.1	11.0	11.3	12.3	31.0
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_1_1_1 年齢／歳（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=161	n=150	n=125	n=78	n=178	n=204	n=224	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
平均値	—	83.8	83.8	85.3	84.4	85.6	83.3	84.0	83.5	83.6	83.3	82.8	85.2	86.8
中央値	—	85.0	85.0	86.5	86.0	87.0	85.0	85.0	84.0	84.0	84.0	86.0	85.0	88.0
最小値	—	46.0	62.0	58.0	45.0	67.0	51.0	46.0	66.0	68.0	61.0	45.0	62.0	65.0
最大値	—	116.0	104.0	103.0	105.0	104.0	99.0	98.0	116.0	102.0	101.0	105.0	102.0	104.0

Q28_1_2 性別

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
男性	241	35.2	32.5	36.0	37.2	34.6	37.1	32.8	36.2	38.7	37.1	38.2	30.3	29.3
女性	443	64.8	67.5	64.0	62.8	65.4	62.9	67.2	63.8	61.3	62.9	61.8	69.7	70.7
全体	684	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_1_3 認知症の有無

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
なし	281	41.1	40.7	42.8	39.4	29.5	33.1	43.1	49.6	39.8	47.3	45.5	35.9	26.7
日常生活自立度Ⅰ	149	21.8	22.5	22.1	21.2	23.1	25.3	18.6	21.4	22.6	21.0	24.5	21.8	22.4
日常生活自立度Ⅱa	133	19.4	19.5	17.1	21.7	20.5	21.9	20.6	16.1	14.0	21.0	16.4	22.5	22.4
日常生活自立度Ⅱb	81	11.8	12.6	11.3	11.5	19.2	12.4	12.3	8.5	15.1	7.5	5.5	14.8	20.7
日常生活自立度Ⅲa	30	4.4	3.9	4.1	5.3	6.4	3.9	4.9	3.6	6.5	2.7	6.4	3.5	5.2
日常生活自立度Ⅲb	4	0.6	0.4	0.9	0.4	0.0	2.2	0.0	0.0	1.1	0.0	0.9	0.7	0.9
日常生活自立度Ⅳ	3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.0	1.1	0.5	0.0	1.1	0.0	0.9	0.0	0.9
日常生活自立度M	3	0.4	0.0	1.4	0.0	1.3	0.0	0.0	0.9	0.0	0.5	0.0	0.7	0.9
全体	684	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_1_4 同居家族の有無(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
なし	559	81.7	81.0	81.5	82.3	79.5	81.5	84.8	79.9	75.3	83.9	80.0	81.0	87.1
配偶者	81	11.8	11.7	13.1	11.1	14.1	10.1	9.3	14.7	12.9	10.8	17.3	10.6	6.0
子	39	5.7	6.1	5.9	5.3	6.4	7.3	4.9	4.9	8.6	4.8	4.5	6.3	6.9
子の配偶者	4	0.6	0.9	0.5	0.4	1.3	1.7	0.0	0.0	1.1	0.0	0.9	0.7	0.9
孫	2	0.3	0.0	0.5	0.4	0.0	1.1	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	11	1.6	1.7	0.9	2.2	2.6	2.8	1.5	0.4	4.3	1.1	0.9	2.1	0.9
全体	684	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q28_1_5 住まい

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
持ち家(戸建て)	328	48.0	46.3	46.8	50.4	59.0	53.9	49.0	38.4	59.1	65.6	53.6	42.3	11.2
持ち家(集合住宅)	38	5.6	6.9	4.5	5.3	0.0	2.8	6.4	8.9	10.8	6.5	3.6	6.3	1.7
賃貸住宅(戸建て)	15	2.2	3.0	1.4	1.8	5.1	1.7	2.0	1.8	4.3	2.7	1.8	1.4	0.0
賃貸住宅(集合住宅)	169	24.7	25.1	23.0	26.5	11.5	14.6	21.1	40.6	22.6	19.4	28.2	31.7	19.8
有料老人ホーム	51	7.5	8.7	8.1	5.8	7.7	9.0	7.8	5.8	0.0	0.5	0.0	5.6	36.2
軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)	25	3.7	3.5	3.6	4.0	7.7	5.6	2.5	1.8	1.1	2.7	7.3	4.9	3.4
養護老人ホーム	2	0.3	0.4	0.5	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9
サービス付き高齢者向け住宅	54	7.9	5.6	11.7	6.2	6.4	11.8	10.8	2.7	2.2	2.7	4.5	7.7	25.0
その他	2	0.3	0.4	0.5	0.0	0.0	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
全体	684	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_1_6 基礎疾患の有無(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
慢性の呼吸器の病気	52	7.6	7.8	5.9	9.3	6.4	8.4	6.4	8.5	7.5	8.1	10.0	6.3	6.9
慢性の心臓病(高血圧を含む。)	203	29.7	26.8	28.8	32.7	42.3	34.8	30.9	20.1	33.3	26.9	35.5	30.3	26.7
慢性の腎臓病	30	4.4	4.8	4.1	4.4	5.1	4.5	2.5	5.8	3.2	4.8	5.5	6.3	2.6
慢性の肝臓病(肝硬変等)	13	1.9	0.9	2.7	2.2	1.3	1.7	1.5	2.7	4.3	2.2	1.8	0.7	1.7
糖尿病	114	16.7	18.2	18.9	13.3	19.2	15.7	16.7	16.5	14.0	16.7	20.0	16.2	14.7
血液の病気(鉄欠乏性貧血を除く。)	11	1.6	1.3	0.5	3.1	1.3	1.7	0.5	2.7	2.2	1.6	2.7	0.7	0.9
免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む。)	16	2.3	0.9	3.6	2.7	2.6	1.7	1.5	3.6	2.2	3.2	0.0	2.8	1.7
ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている	4	0.6	0.4	0.9	0.4	0.0	1.1	1.0	0.0	0.0	0.5	0.9	1.4	0.0
免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患	12	1.8	0.9	1.8	2.7	2.6	2.2	1.0	1.8	2.2	3.2	0.9	1.4	0.9
神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)	11	1.6	1.3	1.4	2.2	0.0	1.7	2.0	1.8	2.2	1.1	1.8	2.1	0.9
染色体異常	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)	1	0.1	0.0	0.0	0.4	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
睡眠時無呼吸症候群	4	0.6	0.4	0.5	0.9	1.3	0.0	1.0	0.4	1.1	0.5	0.9	0.7	0.0
重い精神疾患(治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害)	16	2.3	2.6	1.4	3.1	1.3	2.8	3.4	1.3	3.2	1.6	3.6	2.1	0.9
BMI30以上の肥満	7	1.0	0.9	1.4	0.9	0.0	0.6	2.0	0.9	0.0	0.5	0.9	1.4	2.6
該当するものはない	317	46.3	49.8	47.3	42.0	39.7	42.7	47.1	50.9	46.2	48.4	37.3	48.6	50.9
全体	684	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q29_1_1 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／身体介護(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
平均値	—	25.5	28.0	25.0	23.5	20.5	28.0	22.7	27.8	20.6	18.6	21.9	23.3	47.7
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_1_2 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／生活援助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
平均値	—	73.6	71.2	74.1	75.4	78.0	71.3	76.2	71.5	78.7	80.5	77.1	75.6	51.5
中央値	—	90.0	90.0	95.0	90.0	100.0	80.0	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0	100.0	48.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_1_3 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／通院等乗降介助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
平均値	—	0.9	0.8	0.8	1.1	1.5	0.8	1.1	0.7	0.7	0.9	0.9	1.0	0.8
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	40.0	40.0	30.0	40.0	20.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	30.0

Q30_1_1 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ時間／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=627	n=214	n=199	n=209	n=71	n=164	n=191	n=201	n=89	n=171	n=97	n=134	n=102
平均値	—	660.2	682.7	632.2	661.5	624.4	733.5	643.2	629.2	800.3	513.4	619.9	563.5	986.0
中央値	—	480.0	480.0	465.0	480.0	480.0	540.0	480.0	450.0	495.0	405.0	480.0	375.0	727.5
最小値	—	10.0	45.0	10.0	45.0	50.0	10.0	30.0	45.0	30.0	10.0	60.0	60.0	45.0
最大値	—	7650.0	7500.0	6000.0	7650.0	6900.0	7290.0	7500.0	7650.0	7500.0	4950.0	6900.0	6000.0	7650.0

Q30_1_2 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ回数／回(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=627	n=214	n=199	n=209	n=71	n=164	n=191	n=201	n=89	n=171	n=97	n=134	n=102
平均値	—	14.8	15.2	14.8	14.5	15.0	16.4	13.2	15.0	15.5	9.8	12.1	12.6	27.9
中央値	—	9.0	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	8.0	8.0	9.0	8.0	8.0	8.0	16.0
最小値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0
最大値	—	200.0	125.0	200.0	180.0	180.0	200.0	125.0	177.0	136.0	50.0	180.0	163.0	200.0

Q31_1 当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
排泄・食事介助	72	10.5	12.1	9.9	9.7	11.5	12.9	8.8	9.8	7.5	8.6	8.2	5.6	24.1
清拭・入浴、身体整容	163	23.8	25.1	23.0	23.5	24.4	28.7	22.1	21.4	20.4	14.0	18.2	15.5	59.5
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	87	12.7	13.0	11.7	12.8	12.8	12.9	8.8	16.1	12.9	9.7	12.7	12.0	15.5
起床及び就寝介助	40	5.8	6.5	6.3	4.4	3.8	5.1	6.4	6.7	4.3	2.7	4.5	1.4	18.1
服薬介助	120	17.5	19.9	16.7	16.4	15.4	16.3	16.7	20.1	14.0	12.9	17.3	16.2	27.6
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	161	23.5	22.9	23.4	24.3	21.8	20.8	19.6	29.9	18.3	26.9	23.6	22.5	22.4
掃除	613	89.6	91.8	89.2	87.6	96.2	89.3	89.2	87.9	83.9	90.3	90.0	87.3	95.7
洗濯	315	46.1	42.4	49.1	46.9	51.3	53.9	44.6	39.3	34.4	34.9	51.8	41.5	74.1
ベッドメイク	207	30.3	26.8	34.7	29.2	37.2	34.8	29.4	25.0	26.9	17.7	25.5	21.1	67.2
衣類の整理・被服の補修	137	20.0	16.5	22.1	22.1	29.5	18.5	22.1	16.1	23.7	14.0	22.7	14.8	31.0
一般的な調理、配下膳	202	29.5	26.0	27.9	34.5	41.0	31.5	27.0	26.3	51.6	26.9	37.3	22.5	13.8
買い物・薬の受け取り	298	43.6	45.0	41.4	44.2	35.9	38.2	42.2	51.8	58.1	48.9	37.3	39.4	29.3
通院等乗降介助	33	4.8	3.9	5.0	5.8	7.7	5.1	4.9	3.6	6.5	5.4	4.5	3.5	3.4
全体	684	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q32_1 当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
排泄・食事介助	39	5.7	7.4	5.4	4.4	9.0	5.1	4.9	5.8	4.3	5.4	1.8	4.2	12.1
清拭・入浴、身体整容	120	17.5	19.9	18.0	14.6	17.9	21.9	17.2	14.3	19.4	10.2	12.7	11.3	44.8
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	30	4.4	3.9	4.5	4.9	3.8	4.5	3.4	5.4	5.4	3.8	4.5	4.9	2.6
起床及び就寝介助	14	2.0	3.0	2.3	0.9	1.3	2.2	2.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.7	11.2
服薬介助	60	8.8	7.4	9.9	9.3	6.4	8.4	8.8	9.8	6.5	6.5	9.1	9.9	9.5
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	117	17.1	16.9	16.2	18.1	15.4	15.7	12.3	23.2	15.1	17.2	20.0	19.7	13.8
掃除	520	76.0	77.1	76.6	74.3	79.5	77.5	73.5	75.9	63.4	76.3	78.2	77.5	82.8
洗濯	165	24.1	24.7	23.0	24.3	30.8	33.1	23.5	15.2	14.0	19.9	23.6	23.9	41.4
ベッドメイク	51	7.5	6.1	8.6	8.0	10.3	9.6	7.8	4.5	8.6	5.4	4.5	7.0	11.2
衣類の整理・被服の補修	17	2.5	1.7	3.6	2.2	3.8	1.7	3.4	1.8	5.4	1.6	0.0	2.8	2.6
一般的な調理、配下膳	123	18.0	12.6	18.0	23.0	26.9	20.2	16.7	14.3	32.3	18.8	25.5	12.7	4.3
買い物・薬の受け取り	183	26.8	26.0	25.2	28.8	20.5	21.3	28.9	31.3	32.3	31.2	22.7	28.9	13.8
通院等乗降介助	15	2.2	1.3	2.3	3.1	1.3	2.2	3.4	1.3	1.1	2.2	3.6	2.1	0.9
全体	684	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q33_1 当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
ADLの低下が心配なため	345	50.4	47.2	49.1	54.9	43.6	44.9	48.0	59.4	53.8	50.5	41.8	51.4	54.3
IADLの低下が心配なため	170	24.9	27.7	26.1	20.4	25.6	25.3	21.6	27.2	20.4	19.9	26.4	29.6	31.9
生活満足度の低下が心配なため	108	15.8	17.3	17.1	12.4	10.3	15.7	14.2	19.2	14.0	16.7	16.4	15.5	15.5
認知機能の低下が心配なため	228	33.3	35.5	34.2	30.5	41.0	33.7	31.4	32.1	33.3	27.4	30.9	38.7	37.9
基礎疾患の悪化が心配なため	118	17.3	16.0	18.9	15.9	16.7	21.3	13.7	17.4	18.3	18.3	23.6	16.2	10.3
口腔機能の低下が心配なため	8	1.2	0.9	0.9	1.8	1.3	1.1	1.0	1.3	2.2	1.1	0.9	0.7	0.9
栄養状態の悪化が心配なため	92	13.5	13.0	11.7	15.5	14.1	14.6	13.2	12.5	20.4	12.4	14.5	13.4	6.0
外出や社会参加の機会の減少が心配なため	73	10.7	6.9	9.9	15.0	12.8	9.6	10.3	11.2	9.7	8.1	12.7	12.0	12.9
うつ・閉じこもりの進行が心配なため	90	13.2	11.3	10.8	16.8	10.3	12.4	14.7	13.4	12.9	16.1	10.9	11.3	13.8
衛生状態の悪化が心配なため	183	26.8	25.1	27.5	27.9	26.9	24.7	29.9	25.4	23.7	21.0	30.0	26.8	33.6
家族等の介護負担の増加が心配なため	99	14.5	13.9	14.4	15.5	19.2	15.7	13.2	12.9	16.1	13.4	21.8	14.8	8.6
家族等の介護者が不在なため	283	41.4	44.6	36.9	41.6	46.2	47.8	42.6	33.5	48.4	43.5	38.2	40.1	37.9
その他	30	4.4	4.3	5.0	4.0	5.1	3.4	3.9	5.4	1.1	3.8	4.5	7.0	2.6
必要性を感じない時もある	20	2.9	4.8	2.3	1.8	1.3	3.4	3.9	2.2	2.2	3.8	3.6	2.1	0.9
全体	684	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q34_1 必要性を感じない理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=20	n=11	n=5	n=4	n=1	n=6	n=8	n=5	n=2	n=7	n=4	n=3	n=1
利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていな	14	70.0	63.6	80.0	75.0	0.0	66.7	75.0	80.0	0.0	85.7	75.0	33.3	100.0
同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため	2	10.0	18.2	0.0	0.0	0.0	16.7	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため	6	30.0	36.4	20.0	25.0	100.0	16.7	50.0	0.0	50.0	28.6	0.0	66.7	0.0
その他	2	10.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	20.0	50.0	14.3	0.0	0.0	0.0
全体	20	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q35_1 当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。(複数

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=684	n=231	n=222	n=226	n=78	n=178	n=204	n=224	n=93	n=186	n=110	n=142	n=116
ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定でき	63	9.2	11.7	6.8	9.3	3.8	8.4	9.8	11.2	7.5	12.4	9.1	6.3	6.9
訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない	24	3.5	3.9	3.6	3.1	7.7	1.7	2.0	4.9	3.2	2.2	3.6	3.5	5.2
サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある	15	2.2	3.0	1.4	2.2	0.0	2.2	2.9	2.2	1.1	1.1	0.9	2.1	5.2
地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い	45	6.6	10.0	3.6	6.2	10.3	7.9	6.4	4.5	6.5	8.1	3.6	6.3	6.9
連携できる他の介護保険サービス事業所がない	19	2.8	2.6	2.3	3.5	2.6	3.4	2.5	2.7	2.2	4.3	3.6	1.4	1.7
近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい	9	1.3	1.3	0.9	1.8	1.3	1.7	0.0	2.2	0.0	2.2	1.8	1.4	0.0
その他	54	7.9	9.1	5.9	8.8	6.4	8.4	8.3	7.6	10.8	8.1	8.2	7.0	7.8
特に課題と考えていることはない	503	73.5	68.4	79.3	72.6	73.1	73.6	74.0	73.2	73.1	68.3	75.5	77.5	75.0
全体	684	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q28_2 貴事業所で生活援助を利用している要介護2の方（特定の方1名）についてお尋ねします。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
生活援助を利用している要介護2の方について回答する	680	79.4	81.9	79.9	77.6	79.1	76.3	85.4	77.1	74.8	83.3	86.3	85.2	72.6
該当する方がいない	176	20.6	18.1	20.1	22.4	20.9	23.7	14.6	22.9	25.2	16.7	13.7	14.8	27.4
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_2_1_1 年齢／歳（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
平均値	—	83.4	83.2	83.5	83.3	83.6	83.4	83.8	82.9	82.7	82.7	84.3	82.4	85.5
中央値	—	84.0	85.0	84.0	83.0	85.0	84.0	85.0	83.0	84.0	83.0	85.0	83.0	87.0
最小値	—	50.0	56.0	55.0	50.0	65.0	50.0	58.0	56.0	50.0	62.0	55.0	56.0	60.0
最大値	—	102.0	102.0	100.0	99.0	97.0	100.0	98.0	102.0	97.0	97.0	100.0	98.0	102.0

Q28_2_2 性別

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
男性	242	35.6	38.3	39.0	29.3	34.7	42.4	31.2	34.5	38.5	28.7	33.6	40.6	36.9
女性	438	64.4	61.7	61.0	70.7	65.3	57.6	68.8	65.5	61.5	71.3	66.4	59.4	63.1
全体	680	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_2_3 認知症の有無

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
なし	289	42.5	45.7	42.2	40.2	38.9	32.2	42.9	51.3	51.9	43.7	40.2	39.9	32.0
日常生活自立度Ⅰ	124	18.2	17.0	20.2	17.5	8.3	19.8	19.0	19.5	14.4	21.8	22.4	17.4	13.1
日常生活自立度Ⅱa	112	16.5	13.5	17.9	17.9	22.2	23.7	13.2	11.9	15.4	15.5	13.1	17.4	23.0
日常生活自立度Ⅱb	92	13.5	13.5	12.4	14.8	16.7	11.9	16.6	11.1	12.5	8.6	14.0	16.7	18.9
日常生活自立度Ⅲa	48	7.1	8.3	4.6	7.9	12.5	9.6	6.3	4.0	3.8	8.0	8.4	5.8	10.7
日常生活自立度Ⅲb	10	1.5	1.3	1.8	1.3	0.0	1.7	1.5	1.8	1.0	1.7	0.9	2.2	1.6
日常生活自立度Ⅳ	3	0.4	0.4	0.5	0.4	1.4	0.6	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0	0.7	0.8
日常生活自立度M	2	0.3	0.4	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0	0.4	1.0	0.0	0.9	0.0	0.0
全体	680	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_2_4 同居家族の有無（複数回答）

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
なし	528	77.6	80.0	76.6	76.4	76.4	80.2	76.6	77.0	71.2	79.9	74.8	73.2	88.5
配偶者	76	11.2	12.2	9.6	11.8	13.9	9.0	11.2	11.9	13.5	9.8	13.1	13.0	5.7
子	67	9.9	7.8	12.4	9.2	9.7	9.0	9.3	11.1	14.4	10.3	10.3	10.1	4.1
子の配偶者	10	1.5	0.9	2.8	0.9	1.4	2.3	1.0	1.3	2.9	1.7	1.9	0.7	0.0
孫	11	1.6	0.9	2.8	1.3	1.4	2.8	1.5	0.9	4.8	0.6	1.9	1.4	0.0
その他	15	2.2	2.2	1.8	2.6	1.4	1.1	4.9	0.9	2.9	0.6	1.9	5.1	1.6
全体	680	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q28_2_5 住まい

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
持ち家（戸建て）	313	46.0	43.9	43.6	50.7	63.9	52.0	42.4	38.9	57.7	63.8	49.5	39.1	11.5
持ち家（集合住宅）	31	4.6	5.2	6.9	1.7	0.0	0.6	6.8	7.1	2.9	5.2	4.7	7.2	1.6
賃貸住宅（戸建て）	17	2.5	2.2	0.9	4.4	1.4	1.7	3.4	2.7	4.8	1.1	2.8	2.9	1.6
賃貸住宅（集合住宅）	176	25.9	26.1	25.7	25.8	13.9	19.8	22.4	37.6	31.7	24.1	27.1	33.3	14.8
有料老人ホーム	62	9.1	11.3	9.6	6.6	6.9	10.2	8.8	9.3	1.0	1.1	3.7	5.1	38.5
軽費老人ホーム（ケアハウス、A、Bなど）	16	2.4	1.3	1.8	3.9	2.8	4.0	3.4	0.0	0.0	1.7	5.6	2.2	3.3
養護老人ホーム	4	0.6	1.3	0.5	0.0	4.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	1.9	0.0	0.8
サービス付き高齢者向け住宅	55	8.1	7.4	10.1	6.6	6.9	10.2	12.2	3.1	1.0	1.7	4.7	10.1	24.6
その他	6	0.9	1.3	0.9	0.4	0.0	1.1	0.5	1.3	1.0	0.6	0.0	0.0	3.3
全体	680	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_2_6 基礎疾患の有無(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
慢性の呼吸器の病気	65	9.6	8.7	8.7	10.9	9.7	10.7	8.8	9.3	10.6	8.6	8.4	8.7	10.7
慢性の心臓病(高血圧を含む。)	221	32.5	30.4	31.2	35.4	38.9	28.2	38.5	28.3	30.8	36.8	35.5	30.4	30.3
慢性の腎臓病	37	5.4	3.9	4.6	7.4	5.6	3.4	5.9	6.6	4.8	2.9	5.6	8.7	5.7
慢性の肝臓病(肝硬変等)	5	0.7	1.3	0.0	0.9	1.4	0.6	1.0	0.4	0.0	1.7	0.0	0.0	1.6
糖尿病	142	20.9	19.6	25.2	18.3	27.8	19.8	20.0	20.4	29.8	21.3	16.8	18.8	18.0
血液の病気(鉄欠乏性貧血を除く。)	12	1.8	1.7	2.3	1.3	0.0	1.7	2.0	2.2	3.8	0.0	2.8	2.9	0.8
免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む。)	26	3.8	3.0	5.0	3.1	4.2	4.0	2.0	5.3	6.7	2.3	6.5	4.3	0.8
ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている	8	1.2	1.3	0.0	2.2	1.4	1.1	0.5	1.8	1.0	0.0	0.0	3.6	1.6
免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患	18	2.6	2.6	2.8	2.6	2.8	4.0	2.0	2.2	3.8	1.1	1.9	4.3	3.3
神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)	24	3.5	3.0	3.2	4.4	1.4	4.5	3.4	3.5	3.8	2.9	1.9	6.5	1.6
染色体異常	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)	3	0.4	0.4	0.0	0.9	0.0	1.1	0.0	0.4	1.0	0.0	1.9	0.0	0.0
睡眠時無呼吸症候群	5	0.7	0.4	0.9	0.9	1.4	0.6	0.5	0.9	0.0	1.7	0.0	0.7	0.8
重い精神疾患(治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害)	16	2.4	3.0	1.4	2.6	4.2	2.8	2.9	0.9	2.9	1.1	3.7	2.2	2.5
BMI30以上の肥満	9	1.3	1.3	0.9	1.7	1.4	1.7	1.0	1.3	1.0	1.1	0.0	2.2	1.6
該当するものはない	252	37.1	42.6	35.8	32.8	30.6	41.8	32.7	39.4	31.7	36.2	38.3	37.7	38.5
全体	680	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q29_2_1 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／身体介護(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
平均値	—	31.6	32.5	31.9	30.0	28.6	31.8	32.9	31.1	25.3	26.1	26.8	30.3	52.7
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	5.0	30.0	30.0	30.0	15.0	20.0	30.0	20.0	60.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_2_2 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／生活援助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
平均値	—	67.2	67.2	66.8	67.9	69.7	66.1	66.2	68.1	73.4	71.9	72.4	68.6	46.7
中央値	—	70.0	70.0	70.0	70.0	85.0	67.0	70.0	70.0	77.5	77.5	70.0	80.0	40.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_2_3 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／通院等乗降介助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
平均値	—	1.2	0.3	1.2	2.1	1.7	2.0	0.9	0.7	1.3	2.0	0.8	1.1	0.6
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	90.0	25.0	90.0	90.0	90.0	90.0	30.0	80.0	80.0	90.0	30.0	40.0	20.0

Q30_2_1 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ時間／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=629	n=212	n=198	n=216	n=69	n=164	n=195	n=201	n=100	n=162	n=96	n=131	n=108
平均値	—	796.0	823.8	799.2	769.2	826.8	818.5	697.2	863.0	845.7	733.5	561.7	682.6	1215.5
中央値	—	540.0	540.0	540.0	540.0	540.0	600.0	540.0	540.0	639.5	495.0	450.0	540.0	858.0
最小値	—	8.0	8.0	15.0	15.0	60.0	15.0	15.0	8.0	40.0	8.0	45.0	15.0	120.0
最大値	—	7830.0	4915.0	4500.0	7830.0	4140.0	4915.0	3420.0	7830.0	4140.0	4400.0	3000.0	3150.0	7830.0

200

Q30_2_2 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ回数／回(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=629	n=212	n=198	n=216	n=69	n=164	n=195	n=201	n=100	n=162	n=96	n=131	n=108
平均値	—	16.6	18.0	17.0	14.8	19.9	16.8	15.4	16.3	15.5	12.7	9.8	12.9	33.6
中央値	—	9.0	10.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0	9.0	12.0	9.0	8.0	9.0	18.0
最小値	—	1.0	2.0	1.0	2.0	4.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	3.0	2.0	2.0
最大値	—	192.0	119.0	90.0	192.0	192.0	119.0	80.0	174.0	75.0	88.0	50.0	80.0	174.0

Q31_2 当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
排泄・食事介助	97	14.3	14.3	16.5	11.4	18.1	11.3	14.1	15.5	13.5	8.6	14.0	9.4	30.3
清拭・入浴、身体整容	225	33.1	33.5	30.3	34.9	29.2	36.2	36.1	29.2	26.0	23.6	25.2	29.7	63.9
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	112	16.5	16.5	14.2	18.3	15.3	13.0	14.6	21.2	16.3	13.8	16.8	18.1	19.7
起床及び就寝介助	46	6.8	8.7	7.8	3.9	4.2	7.9	6.3	7.1	3.8	1.7	2.8	4.3	24.6
服薬介助	144	21.2	23.9	23.4	16.6	19.4	19.8	20.5	23.5	20.2	17.2	16.8	18.8	34.4
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	168	24.7	27.4	25.7	21.0	23.6	22.0	23.9	27.9	24.0	28.7	28.0	21.0	24.6
掃除	594	87.4	87.0	87.2	87.8	91.7	85.9	85.4	88.9	83.7	85.1	91.6	80.4	98.4
洗濯	353	51.9	53.5	52.8	48.9	58.3	50.3	54.6	48.7	51.9	40.2	51.4	49.3	76.2
ベッドメイク	219	32.2	28.7	30.7	37.1	44.4	30.5	32.2	29.6	34.6	20.1	23.4	29.7	61.5
衣類の整理・被服の補修	145	21.3	21.3	18.8	23.6	30.6	23.2	20.0	18.1	24.0	11.5	19.6	17.4	40.2
一般的な調理、配下膳	240	35.3	35.7	35.8	34.9	48.6	36.2	32.7	32.7	51.9	39.7	34.6	29.7	18.9
買い物・薬の受け取り	284	41.8	41.7	36.2	46.3	44.4	33.3	37.1	51.8	50.0	41.4	37.4	50.7	27.9
通院等乗降介助	36	5.3	2.2	6.9	7.0	6.9	5.1	6.3	4.0	5.8	5.2	6.5	4.3	4.1
全体	680	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q32_2 当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
排泄・食事介助	61	9.0	8.7	11.9	6.1	11.1	7.3	8.8	9.7	7.7	5.2	8.4	6.5	19.7
清拭・入浴、身体整容	183	26.9	25.7	24.3	30.1	23.6	27.7	31.2	23.5	23.1	20.1	18.7	23.9	51.6
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	48	7.1	6.1	7.3	7.9	1.4	6.2	9.8	7.1	9.6	5.2	9.3	7.2	5.7
起床及び就寝介助	21	3.1	3.9	3.7	1.7	2.8	4.5	2.4	2.7	1.0	0.6	0.0	3.6	11.5
服薬介助	78	11.5	14.3	12.8	7.4	9.7	11.9	9.8	13.3	10.6	12.6	9.3	9.4	14.8
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	111	16.3	19.1	15.6	14.0	15.3	15.3	16.1	17.7	13.5	20.7	19.6	13.8	14.8
掃除	460	67.6	64.8	67.4	70.7	70.8	68.9	63.4	69.5	58.7	66.1	73.8	63.0	77.0
洗濯	177	26.0	25.2	26.6	25.8	26.4	29.9	25.9	23.0	24.0	17.8	23.4	28.3	42.6
ベッドメイク	42	6.2	4.8	6.0	7.9	11.1	7.3	5.9	4.0	6.7	2.9	7.5	7.2	9.0
衣類の整理・被服の補修	17	2.5	1.3	3.7	2.6	2.8	4.0	2.0	1.8	3.8	2.3	1.9	2.9	1.6
一般的な調理、配下膳	162	23.8	24.8	24.8	22.3	33.3	29.4	19.5	20.4	37.5	30.5	21.5	16.7	11.5
買い物・薬の受け取り	167	24.6	22.6	23.9	27.1	18.1	20.9	21.5	32.3	27.9	25.3	17.8	34.1	12.3
通院等乗降介助	18	2.6	0.9	2.8	4.4	4.2	3.4	2.9	1.3	2.9	2.3	2.8	2.9	1.6
全体	680	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q33_2 当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
ADLの低下が心配なため	381	56.0	55.7	57.8	54.1	47.2	49.2	56.1	64.2	63.5	48.3	57.0	60.1	58.2
IADLの低下が心配なため	186	27.4	29.1	29.8	23.6	31.9	27.1	25.4	27.9	32.7	21.8	25.2	29.0	32.0
生活満足度の低下が心配なため	111	16.3	19.1	16.1	14.0	8.3	13.6	14.1	23.0	18.3	10.9	14.0	18.8	22.1
認知機能の低下が心配なため	227	33.4	33.0	33.9	33.2	33.3	32.2	37.6	30.5	27.9	32.2	33.6	37.0	39.3
基礎疾患の悪化が心配なため	140	20.6	22.6	15.6	22.7	25.0	20.9	16.6	22.6	22.1	24.7	14.0	19.6	20.5
口腔機能の低下が心配なため	11	1.6	0.4	2.8	1.7	2.8	1.7	0.5	2.2	3.8	2.3	0.0	0.0	2.5
栄養状態の悪化が心配なため	128	18.8	16.5	18.8	21.4	23.6	18.6	14.6	21.2	26.0	23.0	13.1	18.8	14.8
外出や社会参加の機会の減少が心配なため	82	12.1	12.6	9.6	13.5	11.1	6.2	15.6	13.7	16.3	11.5	13.1	13.8	6.6
うつ・閉じこもりの進行が心配なため	76	11.2	6.1	14.7	12.7	5.6	9.6	15.1	10.6	11.5	12.1	13.1	11.6	9.8
衛生状態の悪化が心配なため	188	27.6	26.5	28.0	28.4	36.1	33.9	24.9	22.6	27.9	25.3	22.4	31.2	29.5
家族等の介護負担の増加が心配なため	105	15.4	12.2	13.8	20.1	22.2	10.7	16.6	15.9	20.2	17.8	13.1	20.3	4.1
家族等の介護者が不在なため	279	41.0	36.1	41.3	45.4	43.1	45.8	38.5	38.9	43.3	46.0	42.1	42.0	30.3
その他	26	3.8	4.3	2.8	4.4	2.8	5.1	2.0	4.9	6.7	2.9	2.8	1.4	7.4
必要性を感じない時もある	14	2.1	2.2	1.4	2.6	2.8	1.1	1.5	3.1	1.9	2.9	2.8	1.4	0.8
全体	680	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q34_2 必要性を感じない理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=14	n=5	n=3	n=6	n=2	n=2	n=3	n=7	n=2	n=5	n=3	n=2	n=1
利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていない	7	50.0	80.0	33.3	33.3	0.0	50.0	66.7	57.1	50.0	40.0	66.7	50.0	100.0
同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため	6	42.9	20.0	33.3	66.7	0.0	50.0	33.3	57.1	0.0	60.0	100.0	0.0	0.0
介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため	2	14.3	0.0	33.3	16.7	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
その他	2	14.3	0.0	33.3	16.7	50.0	0.0	33.3	0.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0
全体	14	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q35_2 当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。(複数

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=680	n=230	n=218	n=229	n=72	n=177	n=205	n=226	n=104	n=174	n=107	n=138	n=122
ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できず	47	6.9	7.0	5.0	8.7	8.3	7.3	5.9	7.1	6.7	9.8	4.7	5.1	5.7
訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない	27	4.0	4.3	2.8	4.8	6.9	6.2	2.0	3.1	6.7	4.0	4.7	2.2	3.3
サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある	11	1.6	2.6	0.9	1.3	1.4	1.7	2.0	1.3	1.0	0.6	1.9	0.7	4.1
地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い	34	5.0	5.7	3.7	5.7	9.7	4.0	7.8	1.8	2.9	6.3	4.7	5.1	5.7
連携できる他の介護保険サービス事業所がない	15	2.2	1.3	2.3	3.1	4.2	2.3	2.9	0.9	2.9	2.9	2.8	0.0	3.3
近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい	4	0.6	0.4	0.5	0.9	0.0	1.7	0.0	0.4	1.0	1.1	0.0	0.7	0.0
その他	41	6.0	7.8	6.4	3.9	2.8	5.1	6.3	7.5	5.8	8.0	6.5	5.1	4.9
特に課題と考えていることはない	536	78.8	76.1	82.6	77.7	73.6	77.4	77.1	83.2	80.8	71.8	80.4	84.8	78.7
全体	680	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q28_3 貴事業所で生活援助を利用している要介護3の方(特定の方1名)についてお尋ねします。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
生活援助を利用している要介護3の方について回答する	568	66.4	73.7	65.9	60.3	65.9	61.6	71.3	66.2	55.4	66.5	74.2	72.8	65.5
該当する方がいない	288	33.6	26.3	34.1	39.7	34.1	38.4	28.8	33.8	44.6	33.5	25.8	27.2	34.5
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_3_1_1 年齢／歳(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
平均値	—	83.7	83.6	84.3	83.1	84.5	83.2	83.3	84.0	83.1	83.3	83.7	83.9	85.3
中央値	—	85.0	85.0	86.0	85.0	86.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	86.5
最小値	—	45.0	50.0	52.0	45.0	62.0	57.0	45.0	50.0	52.0	50.0	61.0	45.0	62.0
最大値	—	104.0	104.0	99.0	102.0	104.0	102.0	101.0	100.0	100.0	100.0	104.0	102.0	101.0

Q28_3_2 性別

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
男性	210	37.0	32.9	38.3	40.4	28.3	33.6	41.5	38.1	29.9	37.4	32.6	40.7	37.3
女性	358	63.0	67.1	61.7	59.6	71.7	66.4	58.5	61.9	70.1	62.6	67.4	59.3	62.7
全体	568	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_3_3 認知症の有無

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
なし	202	35.6	34.8	31.7	39.9	23.3	28.0	35.1	45.4	44.2	36.7	38.0	36.4	19.1
日常生活自立度Ⅰ	82	14.4	15.5	14.4	13.5	15.0	9.1	18.1	14.9	9.1	18.0	14.1	15.3	11.8
日常生活自立度Ⅱa	83	14.6	13.0	18.9	12.4	16.7	15.4	16.4	11.9	13.0	15.1	12.0	14.4	17.3
日常生活自立度Ⅱb	90	15.8	16.9	17.8	12.9	20.0	21.7	12.3	13.4	13.0	14.4	19.6	16.1	19.1
日常生活自立度Ⅲa	73	12.9	15.0	10.6	12.4	20.0	18.9	9.9	8.8	9.1	13.7	10.9	12.7	20.0
日常生活自立度Ⅲb	25	4.4	2.4	5.0	6.2	3.3	4.9	4.1	4.6	10.4	0.7	3.3	2.5	9.1
日常生活自立度Ⅳ	12	2.1	2.4	1.7	2.2	1.7	1.4	4.1	1.0	1.3	1.4	1.1	2.5	3.6
日常生活自立度M	1	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
全体	568	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_3_4 同居家族の有無(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
なし	406	71.5	73.4	72.8	68.0	63.3	69.2	73.7	73.7	57.1	65.5	65.2	75.4	90.0
配偶者	82	14.4	15.0	11.1	17.4	16.7	16.1	14.6	12.4	23.4	14.4	18.5	13.6	4.5
子	73	12.9	10.6	15.0	12.9	16.7	16.8	8.8	12.4	20.8	16.5	17.4	7.6	4.5
子の配偶者	12	2.1	1.4	3.3	1.7	3.3	3.5	0.6	2.1	3.9	0.7	4.3	3.4	0.0
孫	10	1.8	0.0	3.3	2.2	5.0	1.4	0.0	2.6	2.6	2.2	2.2	1.7	0.9
その他	16	2.8	1.4	2.8	4.5	6.7	2.1	3.5	1.5	2.6	4.3	2.2	3.4	1.8
全体	568	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q28_3_5 住まい

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
持ち家(戸建て)	271	47.7	42.5	43.9	57.3	61.7	56.6	51.5	33.5	64.9	65.5	63.0	43.2	8.2
持ち家(集合住宅)	31	5.5	6.8	7.8	1.7	1.7	0.0	4.1	11.9	7.8	3.6	9.8	4.2	3.6
賃貸住宅(戸建て)	12	2.1	2.9	1.7	1.7	1.7	3.5	1.2	2.1	2.6	2.9	1.1	2.5	0.9
賃貸住宅(集合住宅)	124	21.8	24.2	21.7	19.7	10.0	11.2	16.4	38.1	19.5	23.7	13.0	30.5	13.6
有料老人ホーム	61	10.7	12.6	10.0	9.6	13.3	11.9	9.4	10.3	0.0	0.0	2.2	6.8	44.5
軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)	10	1.8	1.9	0.6	2.8	1.7	2.1	3.5	0.0	2.6	0.7	3.3	0.8	2.7
養護老人ホーム	4	0.7	1.4	0.6	0.0	5.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	2.2	0.0	0.9
サービス付き高齢者向け住宅	50	8.8	6.3	12.8	7.3	5.0	12.6	12.9	3.6	1.3	2.2	4.3	11.9	23.6
その他	5	0.9	1.4	1.1	0.0	0.0	1.4	1.2	0.5	1.3	0.7	1.1	0.0	1.8
全体	568	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_3_6 基礎疾患の有無(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
慢性の呼吸器の病気	51	9.0	9.7	9.4	7.9	8.3	6.3	10.5	9.8	18.2	7.2	6.5	6.8	10.9
慢性の心臓病(高血圧を含む。)	187	32.9	31.4	30.6	36.5	38.3	30.8	31.0	34.5	29.9	28.8	35.9	33.9	38.2
慢性の腎臓病	34	6.0	5.3	6.1	6.7	6.7	4.9	7.0	5.7	9.1	7.9	5.4	4.2	3.6
慢性の肝臓病(肝硬変等)	12	2.1	1.9	2.8	1.7	0.0	3.5	2.3	1.5	3.9	2.2	3.3	1.7	0.9
糖尿病	111	19.5	21.7	17.2	19.1	18.3	19.6	19.9	19.6	20.8	20.1	19.6	17.8	18.2
血液の病気(鉄欠乏性貧血を除く。)	14	2.5	2.9	1.7	2.8	3.3	3.5	1.2	2.6	2.6	1.4	2.2	2.5	2.7
免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む。)	16	2.8	1.0	3.3	3.9	0.0	3.5	2.9	3.1	1.3	0.7	8.7	4.2	0.9
ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている	10	1.8	1.0	3.3	1.1	0.0	2.1	2.3	1.5	3.9	0.7	2.2	1.7	0.9
免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患	19	3.3	1.4	5.0	3.9	6.7	3.5	1.8	3.6	3.9	3.6	4.3	2.5	2.7
神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)	23	4.0	4.8	3.3	3.9	6.7	5.6	2.3	3.6	2.6	5.0	7.6	2.5	3.6
染色体異常	1	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)	14	2.5	1.9	2.8	2.8	3.3	4.2	2.3	1.0	1.3	0.0	4.3	5.1	1.8
睡眠時無呼吸症候群	2	0.4	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	0.5	0.0	0.7	1.1	0.0	0.0
重い精神疾患(治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害)	10	1.8	1.9	0.6	2.8	3.3	2.1	1.8	1.0	0.0	2.9	1.1	2.5	1.8
BMI30以上の肥満	10	1.8	0.5	2.2	2.8	3.3	1.4	2.9	0.5	1.3	2.9	3.3	1.7	0.0
該当するものはない	216	38.0	37.2	42.8	34.8	33.3	36.4	42.7	36.6	31.2	43.2	30.4	42.4	38.2
全体	568	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q29_3_1 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／身体介護(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
平均値	—	44.2	46.9	45.3	39.3	43.4	49.4	45.1	39.8	32.4	42.7	38.7	39.2	64.6
中央値	—	50.0	50.0	50.0	43.5	50.0	50.0	50.0	50.0	30.0	50.0	40.0	50.0	75.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_3_2 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／生活援助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
平均値	—	54.8	52.3	54.2	59.0	56.0	49.8	53.2	59.7	64.5	57.1	61.0	59.4	34.6
中央値	—	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	60.0	50.0	25.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_3_3 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／通院等乗降介助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
平均値	—	1.0	0.8	0.6	1.7	0.7	0.8	1.8	0.5	3.1	0.2	0.3	1.3	0.7
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	30.0	100.0	23.0	50.0	100.0	90.0	100.0	10.0	10.0	100.0	30.0

Q30_3_1 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ時間／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=520	n=191	n=161	n=165	n=57	n=131	n=160	n=172	n=72	n=126	n=83	n=112	n=99
平均値	—	1014.3	1064.6	988.4	975.5	1176.1	940.4	1118.4	920.1	716.5	946.3	880.4	968.3	1524.8
中央値	—	720.0	780.0	720.0	540.0	660.0	780.0	810.0	540.0	540.0	645.0	588.0	720.0	1440.0
最小値	—	13.0	45.0	13.0	16.0	150.0	16.0	30.0	13.0	16.0	27.0	45.0	30.0	13.0
最大値	—	10475.0	3660.0	4960.0	10475.0	10475.0	3565.0	4960.0	3480.0	2520.0	4960.0	4788.0	4200.0	10475.0

Q30_3_2 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ回数／回(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=520	n=191	n=161	n=165	n=57	n=131	n=160	n=172	n=72	n=126	n=83	n=112	n=99
平均値	—	24.8	27.5	24.6	21.5	28.8	25.5	26.9	21.0	13.9	17.6	19.1	21.4	50.4
中央値	—	13.0	13.0	13.0	11.0	13.0	16.0	14.0	9.5	9.0	11.5	12.0	12.5	44.0
最小値	—	1.0	1.0	2.0	1.0	3.0	3.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0
最大値	—	180.0	141.0	111.0	180.0	180.0	128.0	111.0	141.0	66.0	70.0	180.0	93.0	141.0

Q31_3 当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
排泄・食事介助	193	34.0	33.8	34.4	33.7	31.7	39.2	36.8	28.4	22.1	30.2	37.0	26.3	53.6
清拭・入浴、身体整容	234	41.2	46.4	32.2	43.3	35.0	39.2	46.2	40.2	31.2	35.3	39.1	34.7	68.2
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	149	26.2	29.5	26.7	21.9	20.0	21.0	24.6	33.5	22.1	22.3	22.8	26.3	36.4
起床及び就寝介助	77	13.6	12.1	17.2	11.2	15.0	14.7	15.8	10.3	5.2	5.8	5.4	9.3	41.8
服薬介助	173	30.5	31.4	32.2	27.5	25.0	25.9	33.9	32.5	23.4	25.2	34.8	25.4	43.6
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	148	26.1	27.1	28.9	21.9	26.7	26.6	25.7	25.8	28.6	30.2	28.3	21.2	24.5
掃除	453	79.8	80.2	80.0	78.7	73.3	76.9	79.5	84.0	72.7	71.9	79.3	82.2	93.6
洗濯	313	55.1	56.0	58.3	50.0	55.0	60.8	54.4	51.5	45.5	44.6	50.0	57.6	79.1
ベッドメイク	198	34.9	35.3	40.6	28.7	43.3	31.5	36.3	33.5	24.7	16.5	28.3	37.3	68.2
衣類の整理・被服の補修	131	23.1	22.2	25.0	21.9	38.3	18.2	24.0	21.1	29.9	10.1	16.3	18.6	47.3
一般的な調理、配下膳	209	36.8	35.3	32.8	42.1	50.0	36.4	35.7	34.0	46.8	46.0	44.6	33.1	15.5
買い物・薬の受け取り	228	40.1	38.2	41.7	40.4	31.7	30.1	41.5	49.0	46.8	49.6	38.0	40.7	23.6
通院等乗降介助	23	4.0	2.9	3.3	6.2	8.3	2.8	5.3	2.6	2.6	2.2	5.4	4.2	4.5
全体	568	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q32_3 当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
排泄・食事介助	152	26.8	28.0	25.6	27.0	26.7	31.5	28.1	22.2	16.9	25.9	25.0	21.2	42.7
清拭・入浴、身体整容	165	29.0	33.3	22.2	30.3	20.0	31.5	33.3	26.3	24.7	23.7	21.7	26.3	51.8
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	74	13.0	14.0	15.0	9.6	11.7	10.5	14.0	14.4	10.4	11.5	10.9	16.9	13.6
起床及び就寝介助	35	6.2	4.3	9.4	4.5	6.7	7.7	5.8	5.2	2.6	2.2	0.0	5.1	20.9
服薬介助	95	16.7	18.8	16.1	15.2	16.7	15.4	16.4	18.0	11.7	17.3	21.7	12.7	19.1
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	97	17.1	18.8	18.3	13.5	16.7	18.9	15.8	17.0	14.3	23.0	19.6	16.1	10.9
掃除	298	52.5	49.3	53.9	55.1	51.7	51.0	51.5	54.6	45.5	48.2	52.2	53.4	61.8
洗濯	133	23.4	19.8	25.0	25.3	28.3	33.6	19.3	18.0	22.1	20.1	20.7	26.3	30.0
ベッドメイク	26	4.6	4.3	6.1	3.4	11.7	2.1	2.9	5.7	3.9	3.6	5.4	6.8	4.5
衣類の整理・被服の補修	10	1.8	1.9	3.3	0.0	1.7	2.1	2.3	1.0	0.0	0.0	2.2	3.4	3.6
一般的な調理、配下膳	145	25.5	22.7	25.0	29.2	33.3	26.6	25.7	22.2	37.7	30.9	29.3	25.4	6.4
買い物・薬の受け取り	132	23.2	23.7	24.4	21.9	20.0	15.4	22.2	30.9	28.6	30.2	26.1	23.7	6.4
通院等乗降介助	14	2.5	1.0	2.2	4.5	6.7	2.8	2.3	1.0	2.6	1.4	2.2	2.5	2.7
全体	568	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q33_3 当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
ADLの低下が心配なため	356	62.7	61.8	67.8	57.9	48.3	60.1	66.7	65.5	63.6	59.0	62.0	64.4	68.2
IADLの低下が心配なため	166	29.2	30.4	31.1	25.8	41.7	24.5	28.1	29.9	29.9	24.5	28.3	33.1	32.7
生活満足度の低下が心配なため	93	16.4	21.3	12.8	14.0	13.3	11.9	18.7	18.6	15.6	15.1	18.5	14.4	20.0
認知機能の低下が心配なため	202	35.6	35.7	42.2	28.7	43.3	35.0	39.2	30.4	27.3	28.1	31.5	39.0	50.0
基礎疾患の悪化が心配なため	127	22.4	20.3	22.8	24.2	16.7	19.6	24.6	24.2	26.0	25.2	19.6	23.7	18.2
口腔機能の低下が心配なため	12	2.1	1.9	3.3	1.1	0.0	2.8	1.8	2.6	2.6	1.4	1.1	1.7	4.5
栄養状態の悪化が心配なため	105	18.5	18.8	17.2	19.1	25.0	21.0	15.8	17.0	19.5	27.3	18.5	16.9	7.3
外出や社会参加の機会の減少が心配なため	63	11.1	10.1	11.7	11.2	15.0	11.2	14.0	7.2	10.4	12.2	10.9	8.5	12.7
うつ・閉じこもりの進行が心配なため	61	10.7	9.7	11.1	11.2	10.0	12.6	12.9	7.7	6.5	10.1	10.9	11.9	15.5
衛生状態の悪化が心配なため	172	30.3	30.4	27.8	33.1	30.0	37.1	34.5	21.6	26.0	28.1	33.7	33.1	31.8
家族等の介護負担の増加が心配なため	106	18.7	19.3	15.0	21.9	28.3	21.7	17.0	14.9	23.4	20.9	20.7	19.5	9.1
家族等の介護者が不在なため	219	38.6	37.2	38.3	40.4	38.3	36.4	38.0	40.7	40.3	42.4	44.6	39.0	30.9
その他	22	3.9	3.9	3.3	4.5	1.7	5.6	1.8	5.2	3.9	2.9	5.4	2.5	5.5
必要性を感じない時もある	9	1.6	1.9	0.6	2.2	1.7	2.1	1.8	1.0	1.3	2.2	3.3	1.7	0.0
全体	568	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q34_3 必要性を感じない理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=9	n=4	n=1	n=4	n=1	n=3	n=3	n=2	n=1	n=3	n=3	n=2	n=0
利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていない	2	22.2	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	33.3	50.0	100.0	0.0	33.3	0.0	−
同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため	5	55.6	75.0	0.0	50.0	100.0	33.3	66.7	50.0	0.0	100.0	0.0	100.0	−
介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため	2	22.2	0.0	100.0	25.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	−
その他	1	11.1	0.0	0.0	25.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	−
全体	9	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q35_3 当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。(複数

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=568	n=207	n=180	n=178	n=60	n=143	n=171	n=194	n=77	n=139	n=92	n=118	n=110
ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できず	40	7.0	8.7	6.7	5.6	6.7	4.9	8.2	7.7	6.5	9.4	5.4	5.9	6.4
訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない	23	4.0	5.8	2.2	3.9	6.7	2.8	5.8	2.6	1.3	5.0	8.7	2.5	1.8
サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある	7	1.2	2.4	0.6	0.6	0.0	2.1	2.3	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	4.5
地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い	27	4.8	4.3	4.4	5.6	6.7	3.5	6.4	3.6	3.9	4.3	4.3	6.8	3.6
連携できる他の介護保険サービス事業所がない	18	3.2	2.4	5.0	2.2	5.0	4.2	4.1	1.0	3.9	3.6	1.1	2.5	3.6
近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい	5	0.9	1.4	1.1	0.0	1.7	1.4	0.6	0.5	1.3	2.2	0.0	0.8	0.0
その他	38	6.7	5.8	3.9	10.7	5.0	7.0	7.0	6.7	7.8	8.6	5.4	9.3	3.6
特に課題と考えていることはない	437	76.9	75.4	80.6	74.7	73.3	78.3	71.9	81.4	79.2	73.4	80.4	74.6	79.1
全体	568	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q28_4 貴事業所で生活援助を利用している要介護4の方(特定の方1名)についてお尋ねします。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
生活援助を利用している要介護4の方について回答する	439	51.3	57.3	54.9	42.4	39.6	46.1	55.8	55.3	32.4	49.8	52.4	58.0	61.3
該当する方がいない	417	48.7	42.7	45.1	57.6	60.4	53.9	44.2	44.7	67.6	50.2	47.6	42.0	38.7
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_4_1_1 年齢／歳(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
平均値	—	84.4	83.8	85.3	84.4	85.6	84.5	84.0	84.4	83.6	83.3	82.8	85.2	86.8
中央値	—	86.0	85.0	86.5	86.0	87.5	87.0	85.0	86.0	84.0	84.0	86.0	85.0	88.0
最小値	—	45.0	62.0	58.0	45.0	64.0	58.0	45.0	63.0	68.0	61.0	45.0	62.0	65.0
最大値	—	105.0	104.0	103.0	105.0	101.0	104.0	101.0	105.0	102.0	101.0	105.0	102.0	104.0

Q28_4_2 性別

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
男性	148	33.7	36.6	32.0	32.0	30.6	34.6	32.1	35.2	44.4	32.7	33.8	28.7	35.0
女性	291	66.3	63.4	68.0	68.0	69.4	65.4	67.9	64.8	55.6	67.3	66.2	71.3	65.0
全体	439	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_4_3 認知症の有無

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
なし	149	33.9	34.2	36.0	31.2	30.6	33.6	31.3	37.0	55.6	38.5	43.1	33.0	15.5
日常生活自立度Ⅰ	62	14.1	11.8	15.3	16.0	8.3	8.4	17.9	16.0	6.7	12.5	20.0	11.7	12.6
日常生活自立度Ⅱa	52	11.8	14.3	8.7	12.8	13.9	9.3	8.2	16.0	8.9	14.4	10.8	11.7	11.7
日常生活自立度Ⅱb	68	15.5	15.5	18.7	11.2	8.3	19.6	20.1	10.5	13.3	15.4	10.8	17.0	19.4
日常生活自立度Ⅲa	50	11.4	11.8	11.3	11.2	16.7	15.0	7.5	11.1	4.4	7.7	7.7	17.0	16.5
日常生活自立度Ⅲb	32	7.3	8.1	5.3	8.0	11.1	6.5	8.2	6.2	2.2	6.7	3.1	5.3	14.6
日常生活自立度Ⅳ	21	4.8	3.7	4.0	7.2	11.1	6.5	5.2	1.9	6.7	3.8	4.6	4.3	6.8
日常生活自立度M	5	1.1	0.6	0.7	2.4	0.0	0.9	1.5	1.2	2.2	1.0	0.0	0.0	2.9
全体	439	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_4_4 同居家族の有無(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
なし	307	69.9	70.8	74.0	64.8	63.9	68.2	70.9	71.6	68.9	53.8	63.1	71.3	91.3
配偶者	71	16.2	14.9	15.3	19.2	19.4	15.9	16.4	15.4	15.6	23.1	24.6	13.8	4.9
子	54	12.3	13.0	8.0	16.0	13.9	13.1	11.9	11.7	8.9	24.0	7.7	16.0	1.9
子の配偶者	7	1.6	0.0	1.3	3.2	5.6	0.9	2.2	0.6	2.2	2.9	0.0	2.1	1.0
孫	8	1.8	1.2	2.7	1.6	2.8	2.8	1.5	1.2	0.0	2.9	3.1	3.2	0.0
その他	12	2.7	1.9	3.3	3.2	8.3	2.8	2.2	1.9	6.7	2.9	3.1	1.1	1.9
全体	439	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q28_4_5 住まい

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
持ち家(戸建て)	186	42.4	41.0	44.7	40.8	52.8	46.7	43.3	36.4	66.7	62.5	60.0	34.0	9.7
持ち家(集合住宅)	26	5.9	7.5	6.0	4.0	0.0	1.9	6.7	9.3	2.2	4.8	6.2	8.5	2.9
賃貸住宅(戸建て)	12	2.7	1.2	4.0	3.2	2.8	3.7	2.2	2.5	4.4	3.8	1.5	2.1	0.0
賃貸住宅(集合住宅)	89	20.3	20.5	16.7	24.8	11.1	9.3	17.2	32.1	24.4	24.0	16.9	29.8	9.7
有料老人ホーム	62	14.1	15.5	12.0	15.2	16.7	15.9	12.7	13.6	0.0	0.0	7.7	8.5	45.6
軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)	4	0.9	0.6	0.0	2.4	5.6	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.1	1.0
養護老人ホーム	2	0.5	0.6	0.0	0.8	2.8	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
サービス付き高齢者向け住宅	51	11.6	11.2	15.3	7.2	8.3	18.7	17.2	3.1	2.2	2.9	7.7	12.8	26.2
その他	7	1.6	1.9	1.3	1.6	0.0	1.9	0.7	2.5	0.0	0.0	0.0	3.2	3.9
全体	439	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_4_6 基礎疾患の有無(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
慢性の呼吸器の病気	40	9.1	8.7	8.7	9.6	2.8	8.4	9.0	11.1	11.1	6.7	12.3	9.6	9.7
慢性の心臓病(高血圧を含む。)	154	35.1	33.5	30.7	42.4	44.4	38.3	29.1	35.8	26.7	30.8	32.3	36.2	42.7
慢性の腎臓病	41	9.3	6.8	8.0	13.6	5.6	13.1	6.7	9.9	13.3	8.7	7.7	11.7	9.7
慢性の肝臓病(肝硬変等)	13	3.0	1.9	3.3	3.2	0.0	2.8	4.5	2.5	6.7	2.9	4.6	3.2	1.0
糖尿病	95	21.6	18.0	22.0	26.4	19.4	29.9	20.1	17.9	33.3	23.1	21.5	24.5	12.6
血液の病気(鉄欠乏性貧血を除く。)	11	2.5	1.9	2.0	3.2	0.0	3.7	3.7	1.2	2.2	1.0	0.0	6.4	2.9
免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む。)	17	3.9	4.3	4.0	3.2	2.8	2.8	6.0	3.1	6.7	3.8	6.2	3.2	1.9
ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている	10	2.3	1.9	2.0	3.2	0.0	0.9	3.0	3.1	0.0	2.9	4.6	3.2	1.0
免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患	13	3.0	1.9	4.0	3.2	0.0	4.7	1.5	3.7	2.2	1.9	3.1	4.3	3.9
神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)	22	5.0	6.2	3.3	5.6	8.3	4.7	4.5	4.9	11.1	3.8	4.6	6.4	3.9
染色体異常	1	0.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)	14	3.2	2.5	1.3	6.4	5.6	2.8	4.5	1.9	8.9	3.8	4.6	1.1	1.0
睡眠時無呼吸症候群	1	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0
重い精神疾患(治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害)	5	1.1	0.0	2.0	1.6	0.0	1.9	1.5	0.6	0.0	0.0	6.2	0.0	0.0
BMI30以上の肥満	5	1.1	1.9	1.3	0.0	0.0	1.9	0.7	1.2	0.0	1.9	0.0	2.1	1.0
該当するものはない	151	34.4	39.8	36.7	25.6	36.1	27.1	39.6	34.6	31.1	35.6	36.9	28.7	36.9
全体	439	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q29_4_1 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／身体介護(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
平均値	—	52.8	56.5	50.8	50.1	52.9	51.6	53.4	53.0	46.0	44.4	45.4	50.1	70.2
中央値	—	50.0	55.0	50.0	50.0	56.0	55.0	56.0	50.0	45.0	50.0	50.0	50.0	80.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_4_2 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／生活援助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
平均値	—	46.0	42.1	48.6	48.2	43.7	47.8	44.4	46.7	52.6	53.4	53.5	48.8	29.2
中央値	—	44.0	40.0	47.0	50.0	34.0	45.0	40.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	20.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_4_3 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／通院等乗降介助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
平均値	—	1.2	1.4	0.6	1.7	3.3	0.6	2.1	0.3	1.4	2.2	1.1	1.1	0.5
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	60.0	40.0	100.0	100.0	40.0	100.0	10.0	50.0	100.0	40.0	100.0	20.0

Q30_4_1 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ時間／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=403	n=149	n=133	n=118	n=35	n=97	n=125	n=146	n=41	n=96	n=58	n=89	n=93
平均値	—	1360.0	1596.3	1286.6	1146.6	1090.4	1512.5	1373.4	1312.0	1437.0	1158.3	1079.2	1362.4	1805.7
中央値	—	960.0	1210.0	1080.0	742.5	720.0	1220.0	1080.0	834.5	930.0	750.0	720.0	870.0	1800.0
最小値	—	28.0	60.0	28.0	30.0	30.0	28.0	60.0	40.0	40.0	30.0	60.0	150.0	28.0
最大値	—	5810.0	5810.0	4850.0	4890.0	4200.0	4890.0	5810.0	5760.0	4980.0	4890.0	3720.0	5810.0	5640.0

Q30_4_2 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ回数／回(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=403	n=149	n=133	n=118	n=35	n=97	n=125	n=146	n=41	n=96	n=58	n=89	n=93
平均値	—	34.7	40.1	34.6	27.9	27.6	40.7	36.7	30.6	27.8	22.7	21.2	29.9	65.4
中央値	—	21.0	24.0	21.0	17.0	15.0	25.0	23.0	18.5	21.0	14.0	13.5	18.0	75.0
最小値	—	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	3.0	4.0
最大値	—	147.0	147.0	143.0	111.0	88.0	129.0	143.0	147.0	104.0	102.0	93.0	106.0	147.0

Q31_4 当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
排泄・食事介助	240	54.7	63.4	50.7	48.0	55.6	52.3	57.5	53.7	48.9	51.9	49.2	45.7	72.8
清拭・入浴、身体整容	232	52.8	60.9	48.0	48.8	55.6	52.3	57.5	48.8	51.1	43.3	50.8	48.9	72.8
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	163	37.1	38.5	38.7	33.6	30.6	36.4	32.1	43.2	46.7	27.9	29.2	30.9	50.5
起床及び就寝介助	95	21.6	26.1	16.7	21.6	19.4	24.3	20.1	21.6	8.9	9.6	10.8	22.3	47.6
服薬介助	176	40.1	42.2	40.7	36.0	36.1	39.3	38.1	43.2	35.6	40.4	27.7	44.7	44.7
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	89	20.3	16.8	23.3	20.0	16.7	19.6	17.9	23.5	28.9	15.4	24.6	19.1	18.4
掃除	346	78.8	80.7	78.7	76.8	80.6	78.5	77.6	79.6	68.9	73.1	75.4	78.7	93.2
洗濯	239	54.4	55.9	56.7	50.4	44.4	55.1	62.7	49.4	55.6	36.5	47.7	53.2	80.6
ベッドメイク	185	42.1	44.7	43.3	37.6	44.4	38.3	44.8	42.0	33.3	26.0	35.4	42.6	69.9
衣類の整理・被服の補修	95	21.6	23.6	20.7	20.8	30.6	25.2	24.6	14.8	22.2	12.5	9.2	17.0	44.7
一般的な調理、配下膳	171	39.0	42.9	36.0	37.6	38.9	41.1	36.6	39.5	66.7	46.2	40.0	41.5	17.5
買い物・薬の受け取り	148	33.7	33.5	35.3	32.0	22.2	32.7	26.1	43.2	44.4	39.4	36.9	37.2	21.4
通院等乗降介助	14	3.2	4.3	3.3	1.6	5.6	1.9	4.5	2.5	4.4	2.9	3.1	3.2	3.9
全体	439	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q32_4 当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
排泄・食事介助	206	46.9	54.0	44.7	40.8	50.0	42.1	48.5	48.1	40.0	43.3	43.1	35.1	66.0
清拭・入浴、身体整容	174	39.6	44.1	36.7	38.4	38.9	39.3	45.5	35.2	46.7	31.7	33.8	37.2	54.4
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	74	16.9	14.9	20.7	14.4	8.3	14.0	15.7	21.6	17.8	10.6	15.4	13.8	24.3
起床及び就寝介助	37	8.4	8.7	9.3	6.4	5.6	15.0	9.0	4.3	0.0	1.0	4.6	11.7	20.4
服薬介助	77	17.5	17.4	20.7	14.4	19.4	15.9	13.4	21.6	13.3	21.2	10.8	23.4	13.6
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	43	9.8	7.5	9.3	12.0	8.3	15.0	6.0	9.9	17.8	8.7	12.3	11.7	3.9
掃除	203	46.2	39.1	49.3	52.0	50.0	49.5	41.0	47.5	31.1	41.3	47.7	45.7	56.3
洗濯	84	19.1	16.8	20.0	21.6	11.1	26.2	22.4	13.6	22.2	10.6	16.9	18.1	29.1
ベッドメイク	22	5.0	3.1	4.7	8.0	5.6	2.8	4.5	6.8	4.4	4.8	3.1	9.6	2.9
衣類の整理・被服の補修	7	1.6	0.0	3.3	1.6	5.6	1.9	1.5	0.6	0.0	1.0	0.0	3.2	2.9
一般的な調理、配下膳	114	26.0	31.7	24.0	20.8	25.0	30.8	26.9	22.2	40.0	34.6	30.8	30.9	3.9
買い物・薬の受け取り	74	16.9	14.9	16.7	20.0	16.7	12.1	13.4	22.8	24.4	27.9	23.1	13.8	3.9
通院等乗降介助	6	1.4	1.9	0.7	1.6	2.8	0.9	2.2	0.6	2.2	1.9	1.5	1.1	1.0
全体	439	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q33_4 当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
ADLの低下が心配なため	257	58.5	60.9	58.7	55.2	52.8	56.1	59.7	60.5	55.6	48.1	58.5	61.7	68.0
IADLの低下が心配なため	123	28.0	25.5	32.7	26.4	30.6	29.9	21.6	31.5	31.1	19.2	21.5	34.0	35.9
生活満足度の低下が心配なため	70	15.9	16.1	18.0	12.8	8.3	18.7	13.4	17.9	6.7	16.3	16.9	14.9	19.4
認知機能の低下が心配なため	138	31.4	32.9	35.3	24.0	30.6	29.9	32.1	32.1	13.3	24.0	24.6	33.0	51.5
基礎疾患の悪化が心配なため	112	25.5	23.0	24.7	29.6	22.2	26.2	17.2	32.7	31.1	26.9	16.9	30.9	27.2
口腔機能の低下が心配なため	17	3.9	3.1	6.0	2.4	0.0	5.6	3.7	3.7	2.2	1.9	3.1	3.2	7.8
栄養状態の悪化が心配なため	83	18.9	19.3	20.0	17.6	16.7	22.4	17.2	18.5	31.1	20.2	18.5	19.1	14.6
外出や社会参加の機会の減少が心配なため	50	11.4	9.9	16.0	7.2	8.3	13.1	11.2	11.1	11.1	11.5	13.8	9.6	9.7
うつ・閉じこもりの進行が心配なため	31	7.1	5.6	8.7	6.4	5.6	8.4	6.7	6.8	2.2	8.7	9.2	3.2	9.7
衛生状態の悪化が心配なため	130	29.6	31.7	29.3	27.2	30.6	35.5	29.9	25.3	24.4	22.1	33.8	34.0	37.9
家族等の介護負担の増加が心配なため	99	22.6	21.1	20.0	27.2	33.3	19.6	24.6	20.4	15.6	33.7	27.7	24.5	8.7
家族等の介護者が不在なため	175	39.9	39.1	38.7	42.4	38.9	40.2	41.0	38.9	48.9	40.4	46.2	45.7	29.1
その他	16	3.6	2.5	4.0	4.8	0.0	4.7	1.5	5.6	11.1	3.8	1.5	4.3	1.9
必要性を感じない時もある	6	1.4	2.5	1.3	0.0	0.0	0.0	2.2	1.9	0.0	1.9	1.5	2.1	0.0
全体	439	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q34_4 必要性を感じない理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=6	n=4	n=2	n=0	n=0	n=0	n=3	n=3	n=0	n=2	n=1	n=2	n=0
利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていない	1	16.7	25.0	0.0	−	−	−	0.0	33.3	−	50.0	0.0	0.0	−
同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため	3	50.0	25.0	100.0	−	−	−	66.7	33.3	−	0.0	0.0	100.0	−
介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため	1	16.7	25.0	0.0	−	−	−	33.3	0.0	−	0.0	100.0	0.0	−
その他	1	16.7	25.0	0.0	−	−	−	0.0	33.3	−	50.0	0.0	0.0	−
全体	6	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q35_4 当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。(複数

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=439	n=161	n=150	n=125	n=36	n=107	n=134	n=162	n=45	n=104	n=65	n=94	n=103
ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できて	28	6.4	6.8	6.0	6.4	2.8	5.6	3.0	10.5	2.2	13.5	6.2	3.2	3.9
訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない	14	3.2	1.9	4.0	4.0	2.8	4.7	3.0	2.5	2.2	4.8	4.6	1.1	1.0
サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある	8	1.8	3.7	0.0	1.6	0.0	1.9	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	4.9
地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い	23	5.2	7.5	3.3	4.8	5.6	7.5	5.2	3.7	4.4	8.7	4.6	3.2	4.9
連携できる他の介護保険サービス事業所がない	13	3.0	3.1	4.7	0.8	2.8	4.7	2.2	2.5	0.0	5.8	0.0	2.1	2.9
近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい	5	1.1	1.9	0.7	0.8	2.8	1.9	0.7	0.6	2.2	1.0	0.0	2.1	1.0
その他	22	5.0	6.8	4.0	4.0	5.6	1.9	3.0	8.6	4.4	2.9	7.7	10.6	1.0
特に課題と考えていることはない	349	79.5	73.9	84.7	80.0	83.3	79.4	80.6	77.8	84.4	72.1	80.0	79.8	84.5
全体	439	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q28_5 貴事業所で生活援助を利用している要介護5の方(特定の方1名)についてお尋ねします。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
生活援助を利用している要介護5の方について回答する	328	38.3	42.0	43.2	29.8	29.7	33.6	39.6	43.7	30.9	31.1	33.1	41.4	54.8
該当する方がいない	528	61.7	58.0	56.8	70.2	70.3	66.4	60.4	56.3	69.1	68.9	66.9	58.6	45.2
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_5_1_1 年齢／歳(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
平均値	—	82.6	83.1	81.8	83.1	86.9	82.5	82.9	81.5	81.3	80.4	78.5	83.8	86.2
中央値	—	84.0	85.0	82.0	85.0	88.0	84.5	84.0	82.0	83.0	80.0	81.0	85.0	87.5
最小値	—	49.0	56.0	49.0	52.0	68.0	49.0	57.0	54.0	65.0	59.0	49.0	54.0	55.0
最大値	—	102.0	102.0	101.0	98.0	101.0	102.0	99.0	100.0	98.0	102.0	96.0	101.0	99.0

Q28_5_2 性別

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
男性	111	33.8	37.3	42.4	18.2	33.3	34.6	31.6	35.2	32.6	30.8	46.3	32.8	30.4
女性	217	66.2	62.7	57.6	81.8	66.7	65.4	68.4	64.8	67.4	69.2	53.7	67.2	69.6
全体	328	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_5_3 認知症の有無

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
なし	99	30.2	28.8	33.9	26.1	11.1	21.8	33.7	36.7	46.5	33.8	48.8	23.9	12.0
日常生活自立度Ⅰ	32	9.8	8.5	8.5	13.6	22.2	6.4	10.5	8.6	11.6	18.5	7.3	6.0	4.3
日常生活自立度Ⅱa	23	7.0	10.2	5.1	5.7	7.4	9.0	3.2	8.6	4.7	9.2	4.9	7.5	8.7
日常生活自立度Ⅱb	33	10.1	8.5	10.2	12.5	3.7	7.7	10.5	12.5	7.0	9.2	12.2	11.9	12.0
日常生活自立度Ⅲa	40	12.2	10.2	13.6	12.5	18.5	14.1	16.8	6.3	4.7	10.8	7.3	20.9	13.0
日常生活自立度Ⅲb	24	7.3	6.8	8.5	6.8	7.4	15.4	3.2	5.5	4.7	3.1	4.9	3.0	16.3
日常生活自立度Ⅳ	51	15.5	17.8	14.4	13.6	14.8	19.2	13.7	14.8	7.0	9.2	12.2	19.4	23.9
日常生活自立度M	26	7.9	9.3	5.9	9.1	14.8	6.4	8.4	7.0	14.0	6.2	2.4	7.5	9.8
全体	328	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_5_4 同居家族の有無(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
なし	207	63.1	68.6	63.6	55.7	40.7	70.5	62.1	64.1	39.5	49.2	43.9	70.1	90.2
配偶者	83	25.3	23.7	24.6	28.4	25.9	21.8	28.4	25.0	39.5	32.3	46.3	19.4	7.6
子	44	13.4	8.5	14.4	19.3	33.3	10.3	12.6	11.7	23.3	18.5	24.4	10.4	1.1
子の配偶者	8	2.4	0.0	3.4	4.5	11.1	0.0	3.2	1.6	9.3	3.1	0.0	1.5	0.0
孫	6	1.8	0.0	2.5	3.4	3.7	2.6	3.2	0.0	7.0	1.5	4.9	0.0	0.0
その他	10	3.0	3.4	0.8	4.5	7.4	2.6	1.1	3.9	7.0	3.1	2.4	1.5	2.2
全体	328	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q28_5_5 住まい

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
持ち家(戸建て)	136	41.5	37.3	40.7	46.6	51.9	41.0	47.4	35.2	58.1	67.7	58.5	37.3	8.7
持ち家(集合住宅)	17	5.2	6.8	4.2	4.5	0.0	3.8	3.2	8.6	7.0	7.7	7.3	4.5	1.1
賃貸住宅(戸建て)	5	1.5	2.5	0.8	1.1	3.7	1.3	2.1	0.8	4.7	1.5	2.4	0.0	0.0
賃貸住宅(集合住宅)	69	21.0	21.2	23.7	18.2	14.8	10.3	10.5	36.7	27.9	18.5	19.5	34.3	12.0
有料老人ホーム	58	17.7	20.3	13.6	20.5	18.5	23.1	16.8	14.8	0.0	0.0	4.9	11.9	50.0
軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)	3	0.9	0.0	1.7	1.1	0.0	2.6	0.0	0.8	0.0	0.0	2.4	0.0	2.2
養護老人ホーム	1	0.3	0.8	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
サービス付き高齢者向け住宅	38	11.6	11.0	14.4	8.0	7.4	17.9	18.9	3.1	2.3	4.6	4.9	11.9	23.9
その他	1	0.3	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
全体	328	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28_5_6 基礎疾患の有無(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
慢性の呼吸器の病気	43	13.1	16.1	11.0	12.5	25.9	11.5	9.5	14.1	14.0	13.8	17.1	9.0	14.1
慢性の心臓病(高血圧を含む。)	97	29.6	28.8	29.7	31.8	25.9	41.0	26.3	25.8	27.9	27.7	26.8	34.3	34.8
慢性の腎臓病	20	6.1	6.8	5.9	5.7	14.8	9.0	3.2	4.7	2.3	10.8	4.9	4.5	7.6
慢性の肝臓病(肝硬変等)	7	2.1	2.5	0.8	2.3	0.0	1.3	2.1	3.1	2.3	3.1	2.4	0.0	3.3
糖尿病	55	16.8	16.9	20.3	12.5	25.9	17.9	15.8	14.8	18.6	23.1	7.3	17.9	17.4
血液の病気(鉄欠乏性貧血を除く。)	9	2.7	0.8	3.4	3.4	0.0	2.6	3.2	3.1	4.7	1.5	4.9	3.0	2.2
免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む。)	18	5.5	5.1	4.2	6.8	7.4	7.7	6.3	3.1	7.0	3.1	14.6	4.5	2.2
ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている	8	2.4	0.0	4.2	3.4	0.0	1.3	2.1	3.9	4.7	0.0	0.0	7.5	1.1
免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患	16	4.9	4.2	5.1	5.7	3.7	5.1	7.4	3.1	7.0	4.6	4.9	7.5	3.3
神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)	22	6.7	5.1	7.6	8.0	0.0	5.1	9.5	7.0	9.3	9.2	9.8	7.5	1.1
染色体異常	1	0.3	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0
重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)	34	10.4	9.3	10.2	12.5	14.8	6.4	8.4	13.3	20.9	7.7	12.2	4.5	8.7
睡眠時無呼吸症候群	1	0.3	0.0	0.8	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0
重い精神疾患(治療のため入院、精神障害者保健福祉手帳を所持、又は自立支援医療や知的障害)	8	2.4	2.5	3.4	1.1	3.7	2.6	2.1	2.3	2.3	1.5	2.4	0.0	4.3
BMI30以上の肥満	8	2.4	2.5	2.5	2.3	3.7	3.8	1.1	2.3	2.3	1.5	4.9	3.0	2.2
該当するものはない	106	32.3	35.6	30.5	30.7	25.9	30.8	36.8	31.3	27.9	36.9	22.0	29.9	33.7
全体	328	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q29_5_1 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／身体介護(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
平均値	—	69.7	71.2	67.9	69.6	74.3	71.2	72.4	65.9	70.3	65.2	69.9	63.2	76.5
中央値	—	80.0	80.0	75.6	80.0	80.0	80.0	80.0	70.0	75.0	68.0	80.0	70.0	80.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_5_2 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／生活援助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
平均値	—	29.5	28.7	31.5	28.5	23.9	28.7	25.9	33.9	29.3	34.8	30.1	34.6	23.3
中央値	—	20.0	20.0	22.0	20.0	20.0	20.0	20.0	30.0	25.0	32.0	20.0	30.0	20.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29_5_3 当該利用者に関して、訪問介護サービスの提供時間の概ねの構成比を教えてください。／通院等乗降介助(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
平均値	—	0.7	0.1	0.6	1.9	1.9	0.1	1.7	0.2	0.5	0.1	0.0	2.2	0.2
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	100.0	7.0	50.0	100.0	50.0	7.0	100.0	10.0	10.0	3.0	0.0	100.0	7.0

Q30_5_1 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ時間／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=292	n=107	n=101	n=80	n=23	n=68	n=88	n=113	n=37	n=59	n=36	n=62	n=80
平均値	—	1718.2	1926.4	1505.1	1709.9	1725.4	1700.3	1725.5	1721.7	1655.2	1445.4	1004.9	2043.7	2199.9
中央値	—	1335.0	1440.0	1260.0	1477.5	1275.0	1415.0	1447.5	1320.0	1080.0	900.0	615.0	1695.0	2233.0
最小値	—	4.0	4.0	14.0	60.0	114.0	4.0	20.0	40.0	60.0	4.0	60.0	62.0	20.0
最大値	—	7200.0	7200.0	4710.0	6120.0	6120.0	4950.0	7200.0	5220.0	6600.0	5160.0	3790.0	7200.0	6135.0

Q30_5_2 当該利用者に関して、サービス提供時間や訪問回数について教えてください。／2023年7月の延べ回数／回(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=292	n=107	n=101	n=80	n=23	n=68	n=88	n=113	n=37	n=59	n=36	n=62	n=80
平均値	—	45.7	51.3	42.6	42.6	49.7	47.5	48.8	41.4	31.8	25.9	24.7	45.1	79.8
中央値	—	31.0	35.0	26.0	39.0	46.0	35.0	30.5	29.0	22.0	16.0	14.0	40.5	85.5
最小値	—	1.0	1.0	2.0	3.0	8.0	1.0	1.0	3.0	2.0	1.0	3.0	3.0	2.0
最大値	—	173.0	167.0	173.0	119.0	127.0	162.0	173.0	167.0	93.0	120.0	93.0	104.0	173.0

Q31_5 当該利用者に関して、サービス提供の内容について教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
排泄・食事介助	268	81.7	86.4	74.6	86.4	96.3	78.2	80.0	82.0	76.7	75.4	75.6	88.1	88.0
清拭・入浴、身体整容	216	65.9	69.5	59.3	70.5	77.8	62.8	66.3	64.8	72.1	58.5	56.1	59.7	80.4
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	210	64.0	62.7	63.6	65.9	85.2	57.7	61.1	65.6	67.4	56.9	51.2	68.7	69.6
起床及び就寝介助	129	39.3	39.8	39.8	38.6	51.9	42.3	38.9	35.2	34.9	23.1	22.0	35.8	66.3
服薬介助	161	49.1	54.2	50.8	40.9	59.3	50.0	38.9	53.9	51.2	35.4	48.8	52.2	57.6
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	55	16.8	11.0	20.3	19.3	18.5	10.3	20.0	18.0	18.6	13.8	17.1	19.4	14.1
掃除	216	65.9	74.6	62.7	59.1	70.4	65.4	56.8	71.9	48.8	53.8	53.7	67.2	90.2
洗濯	181	55.2	63.6	50.8	50.0	55.6	59.0	47.4	58.6	46.5	38.5	39.0	61.2	78.3
ベッドメイク	156	47.6	54.2	44.1	43.2	74.1	42.3	48.4	44.5	34.9	29.2	31.7	41.8	78.3
衣類の整理・被服の補修	87	26.5	30.5	22.9	27.3	44.4	24.4	25.3	25.0	25.6	10.8	14.6	16.4	53.3
一般的な調理、配下膳	130	39.6	42.4	33.9	44.3	33.3	42.3	27.4	48.4	32.6	50.8	48.8	50.7	22.8
買い物・薬の受け取り	98	29.9	36.4	23.7	29.5	29.6	23.1	18.9	42.2	34.9	30.8	26.8	40.3	22.8
通院等乗降介助	9	2.7	2.5	2.5	2.3	7.4	0.0	4.2	2.3	2.3	3.1	0.0	3.0	3.3
全体	328	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q32_5 当該利用者に関して、中心的に行っているサービス提供内容を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
排泄・食事介助	243	74.1	77.1	68.6	78.4	88.9	70.5	74.7	72.7	60.5	70.8	70.7	74.6	85.9
清拭・入浴、身体整容	148	45.1	51.7	39.0	44.3	63.0	44.9	43.2	43.0	53.5	40.0	43.9	37.3	53.3
体位変換、移動・移乗介助、外出介助	111	33.8	32.2	33.9	35.2	40.7	30.8	40.0	29.7	37.2	32.3	34.1	22.4	38.0
起床及び就寝介助	48	14.6	13.6	17.8	12.5	14.8	23.1	11.6	11.7	9.3	1.5	4.9	17.9	29.3
服薬介助	54	16.5	17.8	16.9	14.8	18.5	16.7	11.6	19.5	11.6	15.4	17.1	22.4	12.0
自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	15	4.6	2.5	7.6	3.4	3.7	6.4	3.2	4.7	2.3	9.2	7.3	1.5	2.2
掃除	89	27.1	26.3	28.0	27.3	18.5	26.9	24.2	31.3	25.6	18.5	24.4	28.4	34.8
洗濯	39	11.9	10.2	11.0	15.9	7.4	15.4	11.6	10.9	16.3	4.6	2.4	16.4	17.4
ベッドメイク	11	3.4	1.7	3.4	5.7	3.7	3.8	2.1	3.9	4.7	1.5	2.4	3.0	4.3
衣類の整理・被服の補修	1	0.3	0.0	0.8	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0
一般的な調理、配下膳	76	23.2	25.4	22.0	21.6	22.2	21.8	12.6	32.0	18.6	35.4	29.3	35.8	5.4
買い物・薬の受け取り	16	4.9	6.8	4.2	3.4	3.7	3.8	6.3	4.7	4.7	9.2	4.9	6.0	2.2
通院等乗降介助	5	1.5	0.0	1.7	2.3	3.7	0.0	3.2	0.8	0.0	1.5	0.0	3.0	1.1
全体	328	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q33_5 当該利用者に対し、生活援助の提供が必要と考える理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
ADLの低下が心配なため	199	60.7	66.9	61.0	54.5	77.8	62.8	47.4	65.6	55.8	50.8	43.9	68.7	70.7
IADLの低下が心配なため	92	28.0	28.8	28.0	28.4	40.7	33.3	22.1	26.6	32.6	26.2	17.1	32.8	31.5
生活満足度の低下が心配なため	58	17.7	18.6	15.3	20.5	29.6	19.2	15.8	15.6	23.3	18.5	12.2	25.4	13.0
認知機能の低下が心配なため	118	36.0	40.7	33.1	34.1	59.3	41.0	29.5	32.8	25.6	27.7	14.6	34.3	62.0
基礎疾患の悪化が心配なため	89	27.1	28.8	24.6	29.5	33.3	29.5	25.3	25.8	37.2	24.6	17.1	26.9	29.3
口腔機能の低下が心配なため	37	11.3	14.4	7.6	12.5	22.2	11.5	12.6	7.8	14.0	10.8	2.4	7.5	15.2
栄養状態の悪化が心配なため	75	22.9	20.3	25.4	21.6	44.4	17.9	17.9	25.0	20.9	23.1	17.1	25.4	25.0
外出や社会参加の機会の減少が心配なため	31	9.5	8.5	9.3	11.4	14.8	5.1	8.4	11.7	9.3	7.7	9.8	11.9	9.8
うつ・閉じこもりの進行が心配なため	22	6.7	4.2	6.8	10.2	14.8	3.8	4.2	8.6	9.3	7.7	4.9	6.0	6.5
衛生状態の悪化が心配なため	108	32.9	32.2	30.5	38.6	37.0	33.3	35.8	29.7	34.9	27.7	31.7	29.9	41.3
家族等の介護負担の増加が心配なため	88	26.8	28.0	23.7	28.4	33.3	24.4	23.2	29.7	37.2	38.5	31.7	22.4	14.1
家族等の介護者が不在なため	104	31.7	27.1	31.4	37.5	29.6	30.8	27.4	35.9	37.2	36.9	31.7	37.3	20.7
その他	23	7.0	6.8	5.9	8.0	0.0	6.4	8.4	7.8	7.0	10.8	12.2	9.0	2.2
必要性を感じない時もある	6	1.8	0.8	3.4	1.1	0.0	1.3	5.3	0.0	2.3	1.5	2.4	1.5	1.1
全体	328	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q34_5 必要性を感じない理由を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=6	n=1	n=4	n=1	n=0	n=1	n=5	n=0	n=1	n=1	n=1	n=1	n=1
利用者が自分でできることまで支援してしまい、結果的に自立支援に繋がっていない	1	16.7	0.0	25.0	0.0	–	0.0	20.0	–	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
同居の家族等による介護の体制が整っていると考えられるため	4	66.7	100.0	50.0	100.0	–	100.0	60.0	–	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0
介護保険外のサービスで対応可能な場合もあるため	1	16.7	0.0	25.0	0.0	–	0.0	20.0	–	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	–	0.0	0.0	–	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	6	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q35_5 当該利用者の状態に即した訪問介護サービスの提供に関して、課題と考えていることはありますか。(複数

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=328	n=118	n=118	n=88	n=27	n=78	n=95	n=128	n=43	n=65	n=41	n=67	n=92
ケアマネジャーのアセスメントの能力や経験の不足により、適切なプランが策定できて	15	4.6	2.5	5.1	6.8	3.7	6.4	3.2	4.7	7.0	4.6	9.8	3.0	1.1
訪問介護事業所の提案力不足により適切なサービスが提供できていない	13	4.0	3.4	3.4	5.7	3.7	5.1	2.1	4.7	2.3	6.2	7.3	3.0	1.1
サ高住などの高齢者住宅の利用者が必要以上にサービスを利用する傾向がある	7	2.1	3.4	0.8	2.3	0.0	2.6	4.2	0.8	2.3	0.0	0.0	1.5	4.3
地域にボランティアや配食サービス等の社会資源がなく訪問介護がやらざるを得ないことが多い	13	4.0	5.1	3.4	3.4	7.4	5.1	4.2	2.3	4.7	3.1	7.3	1.5	4.3
連携できる他の介護保険サービス事業所がない	10	3.0	2.5	2.5	4.5	7.4	6.4	2.1	0.8	7.0	6.2	2.4	0.0	1.1
近隣にクリニック等がなく医療連携が難しい	8	2.4	4.2	2.5	0.0	7.4	3.8	1.1	1.6	4.7	6.2	0.0	1.5	1.1
その他	15	4.6	5.9	2.5	5.7	7.4	2.6	4.2	5.5	4.7	4.6	7.3	7.5	1.1
特に課題と考えていることはない	267	81.4	78.8	86.4	77.3	74.1	76.9	82.1	85.2	81.4	75.4	75.6	83.6	88.0
全体	328	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q36 貴事業所で定めている運営規程において、通常の事業の実施地域の範囲はどのように決められていますか。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
自事業所で決めている	781	91.2	91.5	89.4	92.5	83.5	91.4	93.3	91.8	93.5	87.1	89.5	95.1	92.9
自治体との協議等により決めている	46	5.4	4.6	5.5	6.1	16.5	4.3	3.8	4.1	5.0	5.7	6.5	3.7	3.6
社会福祉協議会との協議等により決めている	23	2.7	2.1	2.6	3.4	5.5	2.6	2.9	1.7	2.2	5.3	3.2	0.6	1.2
利用者からの申し出の状況等により決めている	103	12.0	9.6	13.2	13.6	11.0	13.8	8.3	14.0	12.2	11.5	6.5	13.0	14.3
その他	23	2.7	3.9	2.9	1.4	1.1	3.4	2.5	2.7	2.9	4.3	1.6	2.5	1.2
全体	856	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q37 貴事業所の運営規程に定める通常の事業の実施地域の範囲はどの程度ですか。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
主に事業所に併設の住居・施設	69	8.1	6.0	11.7	6.8	3.3	9.9	8.8	7.5	4.3	2.4	0.0	6.2	25.0
主に事業所の近隣(同一敷地内含む)に位置する住居・施設	81	9.5	7.1	12.5	9.2	6.6	7.3	6.3	14.7	7.9	6.7	8.1	8.6	16.7
1つの市区町村の、1つの日常生活圏域内	82	9.6	10.0	9.2	9.8	7.7	11.2	7.5	10.6	9.4	10.5	9.7	9.9	9.5
1つの市区町村の、複数の日常生活圏域内	113	13.2	14.2	12.5	13.2	6.6	12.9	6.7	20.8	11.5	12.4	13.7	19.8	8.3
1つの市区町村の全域	179	20.9	21.4	18.3	23.1	29.7	22.0	20.0	18.1	25.9	23.4	23.4	17.3	16.7
複数の市区町村	328	38.3	40.9	35.9	37.3	45.1	36.2	50.4	28.0	40.3	44.0	45.2	37.7	23.8
その他広域圏域	4	0.5	0.4	0.0	0.7	1.1	0.4	0.4	0.3	0.7	0.5	0.0	0.6	0.0
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q38 訪問介護サービスの提供に関する訪問経路について、どのように作成していますか。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
指定訪問介護サービスの利用者のみでルートを作成している	526	61.4	58.7	58.2	67.1	47.3	59.9	65.8	63.5	59.0	54.5	62.9	69.8	67.3
指定訪問介護のほか、その他の訪問系サービスの利用者も組み合わせてルートを作成している	299	34.9	37.7	37.0	30.2	52.7	35.8	30.0	32.8	39.6	44.0	37.1	28.4	20.2
その他	31	3.6	3.6	4.8	2.7	0.0	4.3	4.2	3.8	1.4	1.4	0.0	1.9	12.5
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q39_1 通常の事業の実施地域は、事業所からどのくらいの時間及び距離の範囲で設定していますか。／利用者宅までの一般的な移動時間　片道約／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=270	n=292	n=90	n=232	n=237	n=291	n=139	n=208	n=124	n=161	n=166
平均値	—	15.0	15.1	14.7	15.2	13.3	14.2	14.7	16.6	16.6	17.0	17.2	14.9	9.6
中央値	—	15.0	15.0	15.0	15.0	10.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	5.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	1.0	0.0
最大値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	30.0	45.0	50.0	60.0	40.0	45.0	60.0	60.0	60.0

Q39_2 通常の事業の実施地域は、事業所からどのくらいの時間及び距離の範囲で設定していますか。／利用者宅までの一般的な移動距離　片道約／キロメートル(小数点以下第2位を四捨五入)(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=270	n=292	n=90	n=232	n=237	n=291	n=139	n=208	n=124	n=161	n=166
平均値	—	5.3	5.2	4.9	5.7	7.4	6.3	5.4	3.8	6.6	6.5	6.3	4.5	3.1
中央値	—	4.0	4.0	3.0	4.8	5.0	5.0	4.0	2.0	5.0	5.0	5.0	3.0	1.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	60.5	60.5	30.0	40.0	40.0	30.0	60.5	30.0	30.0	40.0	30.0	25.0	60.5

Q39_3 通常の事業の実施地域は、事業所からどのくらいの時間及び距離の範囲で設定していますか。／通常の事業の実施地域の範囲内で最も遠い利用者宅までの移動時間　片道約／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=270	n=292	n=90	n=232	n=237	n=291	n=139	n=208	n=124	n=161	n=166
平均値	—	25.7	27.1	24.9	25.1	25.4	24.5	24.6	27.7	28.3	29.5	30.1	26.3	14.7
中央値	—	25.0	30.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	30.0	30.0	30.0	25.0	10.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	10.0	1.0	0.0
最大値	—	90.0	90.0	90.0	90.0	60.0	90.0	70.0	90.0	90.0	80.0	90.0	80.0	80.0

Q39_4 通常の事業の実施地域は、事業所からどのくらいの時間及び距離の範囲で設定していますか。／通常の事業の実施地域の範囲内で最も遠い利用者宅までの距離　　片道約／キロメートル(小数点以下第2位を四捨五入)(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=850	n=281	n=270	n=292	n=90	n=232	n=237	n=291	n=139	n=208	n=124	n=161	n=166
平均値	—	10.3	10.8	9.4	10.7	16.7	12.1	10.0	7.2	12.9	13.0	11.6	9.3	5.2
中央値	—	8.0	8.0	7.3	8.0	15.0	10.0	9.0	5.0	10.0	10.0	10.0	7.0	2.2
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	90.0	90.0	70.0	55.0	60.0	70.0	90.0	50.0	70.0	55.0	40.0	30.7	90.0

Q40 利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
自動車(自家用車)	285	33.3	35.6	30.8	33.2	42.9	45.7	35.0	19.1	40.3	42.6	37.1	29.6	16.1
自動車(事業所の車)	216	25.2	21.4	21.6	31.5	48.4	33.2	26.7	10.6	26.6	28.7	27.4	27.8	18.5
自転車(電動でないもの)	47	5.5	2.8	6.2	7.5	0.0	1.3	2.5	13.0	7.2	5.3	4.8	8.0	3.0
電動自転車	151	17.6	21.0	17.6	14.9	0.0	0.4	16.7	37.5	16.5	17.2	20.2	25.3	10.1
バイク・原付	46	5.4	6.0	7.3	3.1	1.1	3.0	7.9	6.5	6.5	5.7	6.5	4.9	1.8
電車・バス＋徒歩	16	1.9	0.7	4.0	1.0	0.0	0.9	0.0	4.8	1.4	0.0	3.2	1.2	3.0
徒歩のみ	87	10.2	11.7	10.3	8.8	7.7	12.9	11.3	7.8	0.7	0.0	0.8	3.1	44.6
その他	8	0.9	0.7	2.2	0.0	0.0	2.6	0.0	0.7	0.7	0.5	0.0	0.0	3.0
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q41_1 2023年7月現在の利用者のうち、通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数を教えてください。／人(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=847	n=278	n=269	n=293	n=91	n=229	n=237	n=290	n=137	n=208	n=123	n=160	n=167
平均値	—	48.7	49.3	57.0	41.0	46.0	47.1	46.3	52.9	29.5	54.4	79.8	50.3	35.5
中央値	—	36.0	39.5	36.0	30.0	36.0	34.0	39.0	35.0	22.0	44.0	47.0	40.0	28.0
最小値	—	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0
最大値	—	2865.0	222.0	2865.0	310.0	222.0	376.0	180.0	2865.0	215.0	191.0	2865.0	182.0	222.0

Q42 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超えるサービス提供地域はありますか。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
ある	51	6.0	6.4	7.0	4.4	7.7	3.4	5.8	7.5	8.6	9.1	5.6	4.9	1.2
ない	805	94.0	93.6	93.0	95.6	92.3	96.6	94.2	92.5	91.4	90.9	94.4	95.1	98.8
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q43_1 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供について、事業所からその範囲の利用者の居宅までの時間及び距離はどのくらいですか。／一般的な移動時間　片道約／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=49	n=18	n=18	n=12	n=5	n=8	n=14	n=22	n=12	n=19	n=6	n=8	n=2
平均値	—	23.2	21.5	23.3	24.8	24.0	25.4	22.1	22.8	26.0	20.9	25.8	21.9	22.5
中央値	—	20.0	20.0	20.0	22.5	20.0	22.5	22.5	20.0	25.0	20.0	27.5	20.0	22.5
最小値	—	5.0	5.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	5.0	10.0	15.0	10.0	20.0
最大値	—	50.0	50.0	40.0	43.0	50.0	43.0	40.0	40.0	50.0	43.0	35.0	40.0	25.0

Q43_2 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供について、事業所からその範囲の利用者の居宅までの時間及び距離はどのくらいですか。／一般的な移動距離　片道約／キロメートル(小数点以下第2位を四捨五入)(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=49	n=18	n=18	n=12	n=5	n=8	n=14	n=22	n=12	n=19	n=6	n=8	n=2
平均値	—	8.9	10.6	8.2	7.9	21.0	11.5	8.5	5.6	12.5	7.8	9.7	6.8	8.8
中央値	—	6.0	5.2	6.3	6.0	15.0	10.0	6.3	4.9	6.8	5.4	8.5	4.0	8.8
最小値	—	1.5	1.5	1.5	2.0	7.0	3.0	3.0	1.5	3.0	1.5	3.5	1.5	7.5
最大値	—	50.0	50.0	30.0	24.5	50.0	24.5	30.0	23.0	50.0	25.0	20.0	23.0	10.0

Q43_3 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供について、事業所からその範囲の利用者の居宅までの時間及び距離はどのくらいですか。／最も遠い利用者宅までの移動時間　片道約／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=49	n=18	n=18	n=12	n=5	n=8	n=14	n=22	n=12	n=19	n=6	n=8	n=2
平均値	—	28.7	29.3	26.6	30.1	35.2	31.6	27.5	27.0	30.3	28.9	29.2	27.5	22.5
中央値	—	30.0	30.0	29.0	30.0	30.0	30.0	30.0	27.5	30.0	30.0	30.0	22.5	22.5
最小値	—	10.0	15.0	10.0	20.0	28.0	20.0	15.0	10.0	10.0	15.0	20.0	15.0	20.0
最大値	—	50.0	50.0	40.0	43.0	50.0	43.0	50.0	40.0	50.0	43.0	35.0	50.0	25.0

Q43_4 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供について、事業所からその範囲の利用者の居宅までの時間及び距離はどのくらいですか。／最も遠い利用者宅までの移動距離　片道約／キロメートル(小数点以下第2位を四捨五入)(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=49	n=18	n=18	n=12	n=5	n=8	n=14	n=22	n=12	n=19	n=6	n=8	n=2
平均値	—	11.5	13.0	9.8	12.2	25.6	17.6	10.2	6.9	13.8	12.0	11.8	8.6	8.8
中央値	—	8.0	10.0	7.7	8.3	22.0	16.5	9.0	5.0	10.0	8.0	10.5	5.0	8.8
最小値	—	1.5	2.5	1.5	2.5	13.0	5.0	3.0	1.5	3.0	2.5	7.0	1.5	7.5
最大値	—	50.0	50.0	30.0	35.0	50.0	35.0	30.0	23.0	50.0	35.0	20.0	23.0	10.0

Q44 運営規程に定める通常の事業の実施地域を超える地域へのサービス提供について、通常の事業の実施地域外の利用者に対してサービス提供をしている理由は何かを教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=51	n=18	n=19	n=13	n=7	n=8	n=14	n=22	n=12	n=19	n=7	n=8	n=2
自事業所以外に当該利用者へサービスを提供する事業所がいないため	22	43.1	50.0	31.6	46.2	28.6	37.5	57.1	40.9	41.7	47.4	14.3	62.5	50.0
当該利用者の周辺の住民がいずれ当事業所を活用することを見越しているため(営業的な側面)	8	15.7	16.7	10.5	23.1	14.3	12.5	14.3	18.2	25.0	15.8	0.0	0.0	0.0
訪問介護員が当該利用者の近くに住んでいるため	20	39.2	44.4	42.1	30.8	14.3	50.0	35.7	45.5	16.7	31.6	42.9	62.5	50.0
自治体や地域包括支援センター等の行政からの依頼のため	11	21.6	11.1	21.1	30.8	42.9	37.5	7.1	18.2	8.3	36.8	28.6	12.5	0.0
市町村合併により事業実施地域が拡大したため	4	7.8	5.6	10.5	7.7	14.3	25.0	0.0	4.5	8.3	5.3	28.6	0.0	0.0
以前は通常の事業実施地域内であったが、事業実施地域を縮小したため範囲外と	5	9.8	16.7	10.5	0.0	14.3	12.5	7.1	9.1	16.7	10.5	0.0	12.5	0.0
その他	8	15.7	16.7	10.5	23.1	28.6	12.5	21.4	9.1	16.7	5.3	28.6	25.0	50.0
全体	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q45_1 2023年7月現在の利用者のうち、通常の事業の実施地域外に居住する利用登録者数を教えてください。また、2023年7月の当該利用者への訪問回数(累計)を教えてください。／通常の事業の実施地域外に居住する利用登録者数／人(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=42	n=16	n=15	n=10	n=5	n=6	n=12	n=19	n=10	n=17	n=3	n=8	n=2
平均値	—	7.6	4.7	8.7	10.5	15.0	3.3	3.4	9.7	6.6	12.1	2.3	3.0	3.0
中央値	—	2.5	2.5	2.0	3.0	9.0	2.0	2.5	3.0	3.5	3.0	2.0	1.5	3.0
最小値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
最大値	—	60.0	17.0	60.0	42.0	38.0	8.0	8.0	60.0	20.0	60.0	4.0	8.0	5.0

Q45_2 2023年7月現在の利用者のうち、通常の事業の実施地域外に居住する利用登録者数を教えてください。また、2023年7月の当該利用者への訪問回数(累計)を教えてください。／当該利用者への訪問回数(2023年7月の累計)／回(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=42	n=16	n=15	n=10	n=5	n=6	n=12	n=19	n=10	n=17	n=3	n=8	n=2
平均値	—	77.6	74.0	66.7	104.7	148.8	30.7	56.1	87.3	94.5	115.2	20.0	24.0	24.5
中央値	—	21.0	21.0	20.0	22.0	103.0	14.0	21.0	27.0	30.0	27.0	7.0	15.5	24.5
最小値	—	1.0	1.0	5.0	2.0	3.0	2.0	4.0	1.0	3.0	1.0	5.0	8.0	5.0
最大値	—	500.0	353.0	300.0	500.0	372.0	83.0	186.0	500.0	353.0	500.0	48.0	63.0	44.0

Q46_1 サービス提供時の利用者宅間の移動について、一般的な時間及び距離を教えてください。また、サービス提供時の利用者宅間の移動について、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／一般的な移動時間　1区間あたり片道約／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=765	n=259	n=239	n=260	n=80	n=206	n=216	n=263	n=118	n=204	n=118	n=151	n=128
平均値	—	12.2	12.2	12.3	12.2	10.3	11.4	12.1	13.5	14.1	14.0	13.4	12.0	5.5
中央値	—	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	14.0	15.0	15.0	15.0	10.0	2.5
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	3.0	0.0	0.0
最大値	—	60.0	30.0	60.0	40.0	30.0	30.0	45.0	60.0	45.0	40.0	60.0	30.0	30.0

Q46_2 サービス提供時の利用者宅間の移動について、一般的な時間及び距離を教えてください。また、サービス提供時の利用者宅間の移動について、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／一般的な移動距離　1区間あたり片道約／キロメートル(小数点以下第2位を四捨五入)(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=765	n=259	n=239	n=260	n=80	n=206	n=216	n=263	n=118	n=204	n=118	n=151	n=128
平均値	—	4.1	3.8	4.1	4.5	6.1	5.1	3.8	2.9	5.7	5.0	4.6	3.3	1.5
中央値	—	3.0	3.0	3.0	3.5	5.0	5.0	3.0	2.0	5.0	4.0	5.0	2.6	0.2
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	30.0	30.0	30.0	25.0	30.0	25.0	25.0	30.0	30.0	20.0	20.0	25.0	10.0

Q46_3 サービス提供時の利用者宅間の移動について、一般的な時間及び距離を教えてください。また、サービス提供時の利用者宅間の移動について、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／最も長い移動時間　1区間あたり片道約／分(数値での回答)

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=765	n=259	n=239	n=260	n=80	n=206	n=216	n=263	n=118	n=204	n=118	n=151	n=128
平均値	—	25.0	26.2	23.9	24.7	24.5	23.7	23.5	27.3	26.4	29.1	28.4	26.4	10.8
中央値	—	25.0	25.0	25.0	25.0	20.5	25.0	25.0	25.0	25.5	30.0	30.0	25.0	3.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	10.0	1.0	0.0
最大値	—	305.0	305.0	60.0	90.0	60.0	60.0	60.0	305.0	60.0	80.0	90.0	305.0	60.0

Q46_4 サービス提供時の利用者宅間の移動について、一般的な時間及び距離を教えてください。また、サービス提供時の利用者宅間の移動について、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／最も長い移動距離 1区間あたり片道約／キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
		n=765	黒字 n=259	収支均衡 n=239	赤字 n=260	地域区分A n=80	地域区分B n=206	地域区分C n=216	地域区分D n=263	いない n=118	1割未満 n=204	3割未満 n=118	7割未満 n=151	7割以上 n=128
平均値	—	10.0	9.7	9.4	10.8	17.1	12.4	9.0	6.7	12.0	13.4	10.3	8.8	3.5
中央値	—	8.0	7.4	7.0	8.0	15.0	10.0	8.0	5.0	10.0	10.0	9.0	7.0	0.5
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.8	0.0	0.1	0.0
最大値	—	60.0	60.0	60.0	52.0	60.0	54.0	30.0	60.0	60.0	60.0	40.0	30.7	30.0

Q47_1_1 2023年7月の状況を踏まえて、常勤の訪問介護員（※）1人・1日当たりの勤務の状況等について教えてください。／1日あたりの一般的な訪問件数／件（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
		n=493	黒字 n=162	収支均衡 n=155	赤字 n=171	地域区分A n=58	地域区分B n=142	地域区分C n=132	地域区分D n=161	いない n=82	1割未満 n=121	3割未満 n=66	7割未満 n=85	7割以上 n=105
平均値	—	5.4	6.2	5.2	5.0	5.7	5.6	5.5	5.2	4.5	4.8	5.6	5.7	6.8
中央値	—	5.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0
最小値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0
最大値	—	25.0	20.0	25.0	20.0	12.0	20.0	25.0	20.0	20.0	10.0	25.0	19.0	20.0

Q47_2_1 1日あたりの一般的なサービス提供時間（1日の合計）／時間（分）（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
		n=493	黒字 n=162	収支均衡 n=155	赤字 n=171	地域区分A n=58	地域区分B n=142	地域区分C n=132	地域区分D n=161	いない n=82	1割未満 n=121	3割未満 n=66	7割未満 n=85	7割以上 n=105
平均値	—	264.2	279.9	259.3	255.2	284.5	256.3	272.2	257.2	263.1	260.0	281.1	271.3	262.2
中央値	—	275.0	300.0	280.0	270.0	300.0	270.0	300.0	240.0	300.0	300.0	300.0	300.0	240.0
最小値	—	15.0	30.0	30.0	29.0	54.0	29.0	15.0	30.0	50.0	15.0	60.0	60.0	29.0
最大値	—	720.0	720.0	480.0	720.0	480.0	720.0	670.0	720.0	720.0	480.0	600.0	480.0	720.0

Q47_3_1 1日あたりの一般的な移動時間（1日の合計）／時間（分）（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
		n=493	黒字 n=162	収支均衡 n=155	赤字 n=171	地域区分A n=58	地域区分B n=142	地域区分C n=132	地域区分D n=161	いない n=82	1割未満 n=121	3割未満 n=66	7割未満 n=85	7割以上 n=105
平均値	—	66.9	65.7	64.4	70.6	74.8	66.4	70.1	62.0	70.0	85.5	71.0	70.3	32.2
中央値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	80.0	60.0	60.0	20.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0
最大値	—	300.0	300.0	270.0	300.0	270.0	240.0	300.0	180.0	240.0	270.0	180.0	300.0	300.0

Q47_4_1 2023年7月の状況を踏まえて、常勤の訪問介護員（※）1人・1日当たりの勤務の状況等について教えてください。／1日あたりの一般的な移動距離（1日の合計）／キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
		n=493	黒字 n=162	収支均衡 n=155	赤字 n=171	地域区分A n=58	地域区分B n=142	地域区分C n=132	地域区分D n=161	いない n=82	1割未満 n=121	3割未満 n=66	7割未満 n=85	7割以上 n=105
平均値	—	17.0	17.0	14.0	19.7	25.9	22.6	16.0	9.6	20.2	22.9	21.8	16.4	4.7
中央値	—	12.0	12.0	8.4	15.0	25.5	20.0	12.5	6.0	15.3	20.0	20.0	10.0	1.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.6	0.0	0.0
最大値	—	130.0	130.0	100.0	80.0	80.0	100.0	130.0	65.0	100.0	130.0	85.0	65.0	80.0

Q47_5_1 2023年7月の状況を踏まえて、常勤の訪問介護員（※）1人・1日当たりの勤務の状況等について教えてください。／1日あたりの最長移動距離（1日の合計）／キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
		n=431	黒字 n=140	収支均衡 n=140	赤字 n=146	地域区分A n=54	地域区分B n=124	地域区分C n=116	地域区分D n=137	いない n=76	1割未満 n=103	3割未満 n=55	7割未満 n=71	7割以上 n=97
平均値	—	27.7	29.5	22.2	31.2	46.7	35.1	26.6	14.6	31.1	42.4	35.8	25.8	7.1
中央値	—	20.0	20.0	11.0	25.0	43.5	30.0	20.0	10.0	30.0	40.0	30.0	19.0	2.0
最小値	—	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.1	0.1	0.2	1.5	1.0	0.8	0.1	0.1
最大値	—	210.0	210.0	120.0	120.0	100.0	120.0	210.0	85.0	100.0	210.0	115.0	100.0	100.0

Q48 利用者宅への訪問に関し、課題となっていることがあれば教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
移動時間が長く業務負担が大きい	233	27.2	30.6	25.3	25.4	33.0	28.0	25.4	26.3	28.8	37.3	33.9	25.3	8.3
十分に整備されていない道など、悪路が多い	76	8.9	9.3	6.6	10.5	24.2	10.8	7.5	3.8	10.1	12.9	8.9	8.6	1.2
天候不順時の負担・不安が大きい	401	46.8	48.8	45.4	47.1	50.5	37.5	43.8	55.6	56.1	55.0	47.6	59.9	19.0
訪問介護員の高齢化に伴い移動の負担・不安が大きい	424	49.5	53.7	44.3	50.8	42.9	41.4	57.1	51.9	50.4	61.2	61.3	60.5	20.2
積雪時の雪かきの負担が大きい	139	16.2	16.0	15.0	17.6	36.3	23.3	11.3	8.5	19.4	19.6	19.4	15.4	7.7
訪問先での駐車場所の確保が難しい	336	39.3	39.1	36.6	41.4	39.6	38.8	42.5	36.9	43.2	47.4	43.5	43.2	18.5
ガソリン代の負担が大きい	394	46.0	44.5	43.2	49.2	56.0	59.5	50.4	28.7	52.5	64.1	54.8	41.4	15.5
必要な台数の社用車を保有・維持することが難しい	170	19.9	18.1	18.7	22.0	29.7	19.8	23.8	13.7	25.2	28.7	20.2	16.7	8.3
訪問介護員の自家用車に対する費用負担軽減策を講じることが難しい	186	21.7	21.0	20.1	23.4	27.5	29.7	22.5	13.0	29.5	32.5	25.8	18.5	4.8
その他	18	2.1	1.8	1.5	3.1	1.1	1.7	1.3	3.4	3.6	3.8	1.6	0.0	1.8
特に課題はない	150	17.5	17.4	20.1	15.3	14.3	19.0	16.7	18.1	5.0	2.9	3.2	11.1	58.9
全体	856	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q49 天候不順や積雪が生じた場合、利用者宅を訪問する際の主な交通手段に変更がありますか。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=445	n=150	n=141	n=153	n=54	n=110	n=111	n=170	n=86	n=127	n=67	n=104	n=37
ある	145	32.6	38.0	32.6	27.5	9.3	17.3	33.3	49.4	26.7	34.6	31.3	36.5	35.1
ない	300	67.4	62.0	67.4	72.5	90.7	82.7	66.7	50.6	73.3	65.4	68.7	63.5	64.9
全体	445	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q50 利用者宅への移動時間や距離を理由として、サービス提供を断ることはありますか。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
ある	235	27.5	28.8	25.3	28.5	20.9	22.4	29.2	32.1	25.2	38.3	33.9	30.2	12.5
ない	621	72.5	71.2	74.7	71.5	79.1	77.6	70.8	67.9	74.8	61.7	66.1	69.8	87.5
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q50_SNT1_1 利用者宅への移動時間や距離を理由として、サービス提供を断ることはありますか。／ある(数値で

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=235	n=81	n=69	n=84	n=19	n=52	n=70	n=94	n=35	n=80	n=42	n=49	n=21
平均値	—	3.8	4.7	3.1	3.6	3.6	4.0	3.4	4.0	3.1	3.4	4.4	4.5	3.9
中央値	—	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0
最小値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
最大値	—	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	12.0	20.0	20.0	20.0	10.0

Q51 サービス提供のための移動を効率的に行うために、工夫していることはありますか。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
可能な限り利用者宅の近くに住む職員が訪問するよう調整	431	50.4	58.4	47.3	45.1	30.8	44.4	54.6	57.7	57.6	64.6	57.3	55.6	16.7
利用者宅との直行直帰を多くするよう調整	352	41.1	42.0	39.9	41.0	28.6	35.8	40.8	49.5	46.0	49.8	41.9	46.9	21.4
事業所から訪問する際の効率的なルートの設定	441	51.5	54.8	48.0	51.2	52.7	50.9	53.8	49.8	53.2	61.2	64.5	60.5	21.4
他の訪問系サービスと一体的なシフトの作成	136	15.9	18.1	14.7	15.3	24.2	13.8	13.8	16.7	20.1	21.1	19.4	11.7	5.4
高齢者住宅の併設等による効率化	54	6.3	6.0	7.0	5.8	8.8	9.1	6.3	3.4	0.0	1.4	4.0	9.9	16.7
サテライト事業所の設置	5	0.6	0.7	0.4	0.7	1.1	1.3	0.4	0.0	0.7	1.0	0.8	0.6	0.0
遠方の利用者からの訪問依頼は断っている	140	16.4	19.2	14.7	15.6	5.5	13.4	17.1	21.5	20.1	18.2	16.9	21.0	7.7
利用者の処遇に支障がない範囲で、できるだけ同じ方面の利用者が同じ提供日となるよう調整	273	31.9	33.8	28.6	33.2	39.6	30.6	35.4	27.6	28.8	40.7	42.7	37.0	11.9
その他	13	1.5	1.1	0.7	2.7	1.1	2.2	1.7	1.0	0.7	1.9	0.8	0.6	3.0
特に工夫等は実施していない	113	13.2	12.1	15.4	12.5	18.7	15.1	12.1	10.9	7.9	1.9	4.0	3.7	45.8
全体	856	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q53_1_1 離職者数／常勤／人（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
平均値	—	0.8	0.9	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.8	0.5	0.4	0.7	0.6	1.4
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	25.0	13.0	25.0	16.0	25.0	16.0	11.0	13.0	4.0	4.0	16.0	6.0	13.0

Q53_1_2 離職者数／非常勤／人（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
平均値	—	1.3	1.6	1.2	1.2	1.1	1.4	1.4	1.3	1.0	1.2	1.2	1.3	1.9
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	20.0	20.0	15.0	10.0	12.0	20.0	18.0	14.0	18.0	10.0	14.0	15.0	20.0

Q53_2 離職率

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
5%未満	458	53.5	51.6	60.8	48.1	56.0	49.1	55.0	54.9	61.2	63.2	49.2	55.6	38.7
5%以上10%未満	108	12.6	16.7	11.4	10.2	5.5	15.1	12.9	12.6	9.4	12.4	12.1	14.2	14.9
10%以上15%未満	77	9.0	9.3	6.6	11.2	6.6	9.9	10.4	7.8	7.9	6.2	15.3	9.9	10.7
15%以上20%未満	32	3.7	5.0	2.2	4.1	6.6	3.9	2.1	4.1	3.6	2.4	4.0	3.1	5.4
20%以上25%未満	30	3.5	3.6	2.2	4.7	5.5	3.9	2.9	3.1	5.0	2.9	4.8	2.5	3.6
25%以上	55	6.4	6.0	5.1	8.1	7.7	6.0	7.1	5.8	5.0	5.3	7.3	4.3	10.1
わからない	96	11.2	7.8	11.7	13.6	12.1	12.1	9.6	11.6	7.9	7.7	7.3	10.5	16.7
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q53_3_1 新規入職者数／人（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
平均値	—	1.6	2.1	1.3	1.4	1.0	1.4	1.6	1.8	0.9	1.3	2.0	1.3	2.6
中央値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	2.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	50.0	27.0	11.0	50.0	10.0	11.0	15.0	50.0	11.0	11.0	50.0	10.0	20.0

Q54 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の収支差の状況を教えてください。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
黒字	281	32.8	100.0	0.0	0.0	33.0	29.3	35.8	33.1	29.5	34.0	32.3	35.2	35.7
収支均衡	273	31.9	0.0	100.0	0.0	19.8	34.5	31.3	34.1	30.9	26.8	31.5	33.3	35.1
赤字	295	34.5	0.0	0.0	100.0	47.3	35.3	31.7	32.1	39.6	37.3	36.3	30.2	28.6
2023年度に事業所を開設したため、回答不可	7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.3	0.7	0.0	1.9	0.0	1.2	0.6
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q55_1 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の収入額（事業活動収入合計または売上高（全ての事業活動収入））を教えてください。／年間の事業活動収入合計または売上高（全ての事業活動収入）／円（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=651	n=238	n=191	n=220	n=71	n=175	n=179	n=226	n=113	n=166	n=93	n=136	n=115
平均値	—	40104123.7	53859720.5	34902806.4	30040486.4	29183316.0	35660030.1	42200417.8	45315880.7	30112969.0	34408119.2	34875576.9	42141291.2	63368376.6
中央値	—	25051136.0	35654342.0	24573299.0	17944500.0	20275516.0	22440000.0	26161612.0	28455861.5	17521000.0	26846751.0	25310807.0	23500000.0	45845220.0
最小値	—	400000.0	1536796.0	400000.0	1000000.0	900000.0	500000.0	1000000.0	400000.0	400000.0	500000.0	1584800.0	1529702.0	1000000.0
最大値	—	701780000.0	384000000.0	447127369.0	701780000.0	336000000.0	310510775.0	352150940.0	701780000.0	352150940.0	384000000.0	229120000.0	701780000.0	447127369.0

Q56_2_1 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額（事業活動支出合計）を教えてください。また、支出のうち、車両に関する費用（ガソリン代、修理費、車検費、リース代等）について教えてください。／車両保険料（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=534	n=198	n=146	n=189	n=63	n=152	n=148	n=171	n=103	n=143	n=77	n=108	n=81
平均値	—	125239.1	128103.0	110412.5	134354.9	199683.7	126384.0	148891.3	76323.6	128619.6	159003.0	77593.8	132912.4	102616.9
中央値	—	50000.0	40000.0	26850.5	64800.0	104400.0	50000.0	66840.0	0.0	50280.0	64800.0	15000.0	50000.0	26760.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	2023090.0	2000000.0	1617000.0	2023090.0	2023090.0	2000000.0	1087634.0	1200000.0	2023090.0	1617641.0	500000.0	2000000.0	1200000.0

Q56_2_2 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額（事業活動支出合計）を教えてください。また、支出のうち、車両に関する費用（ガソリン代、修理費、車検費、リース代等）について教えてください。／車両購入費用（減価償却費用）又はリース代（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=534	n=198	n=146	n=189	n=63	n=152	n=148	n=171	n=103	n=143	n=77	n=108	n=81
平均値	—	285190.6	274478.1	196496.6	364246.8	322290.0	267755.2	358071.7	223942.3	305430.7	330101.0	199617.5	329763.6	192266.0
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14679.5	0.0	0.0	0.0	59900.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	5300000.0	5135000.0	2000000.0	5300000.0	2889998.0	1952354.0	5300000.0	4513701.0	5135000.0	4860000.0	2000000.0	4441000.0	1640000.0

Q56_2_3 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額（事業活動支出合計）を教えてください。また、支出のうち、車両に関する費用（ガソリン代、修理費、車検費、リース代等）について教えてください。／車両諸経費用（従業員へのガソリン代補助を含む）（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=534	n=198	n=146	n=189	n=63	n=152	n=148	n=171	n=103	n=143	n=77	n=108	n=81
平均値	—	369900.3	343236.4	296143.4	455777.8	494254.3	418243.9	409129.4	247160.7	424786.0	496609.0	269187.4	301510.0	267663.4
中央値	—	144250.0	100000.0	88000.0	200000.0	244491.0	193976.5	157290.5	9000.0	158000.0	237337.0	90000.0	147517.0	48000.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	6500000.0	4648897.0	5000000.0	6500000.0	4200000.0	6500000.0	4315000.0	4648897.0	4320000.0	6500000.0	3583369.0	3360000.0	5000000.0

Q56_2_4 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額（事業活動支出合計）を教えてください。また、支出のうち、車両に関する費用（ガソリン代、修理費、車検費、リース代等）について教えてください。／駐車料金（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=534	n=198	n=146	n=189	n=63	n=152	n=148	n=171	n=103	n=143	n=77	n=108	n=81
平均値	—	90898.1	103281.4	56131.2	105262.9	40958.7	51482.7	74320.8	158680.2	122664.9	94586.6	73980.2	92029.6	59636.0
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	6000000.0	4968000.0	1686073.0	6000000.0	780000.0	1686073.0	1152000.0	6000000.0	4968000.0	6000000.0	1152000.0	1686073.0	790000.0

Q56_2_5 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額（事業活動支出合計）を教えてください。また、支出のうち、車両に関する費用（ガソリン代、修理費、車検費、リース代等）について教えてください。／自動車税（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=534	n=198	n=146	n=189	n=63	n=152	n=148	n=171	n=103	n=143	n=77	n=108	n=81
平均値	—	41125.5	30152.1	59407.5	38653.0	34977.3	31508.4	63334.4	32717.5	48924.7	48979.4	11857.1	23450.9	75505.6
中央値	—	0.0	0.0	0.0	6500.0	0.0	0.0	7200.0	0.0	0.0	1290.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	3960000.0	1000000.0	3960000.0	1362170.0	609836.0	1617000.0	3960000.0	1362170.0	1362170.0	1617000.0	300000.0	300000.0	3960000.0

Q56_2_6 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額（事業活動支出合計）を教えてください。また、支出のうち、車両に関する費用（ガソリン代、修理費、車検費、リース代等）について教えてください。／車両点検、修繕費用（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=534	n=198	n=146	n=189	n=63	n=152	n=148	n=171	n=103	n=143	n=77	n=108	n=81
平均値	—	83532.5	71302.6	81169.4	98612.2	139243.6	77561.3	103509.6	51025.0	110578.7	79390.4	62936.2	92732.7	55550.2
中央値	—	0.0	0.0	0.0	20000.0	59720.0	0.0	21000.0	0.0	20000.0	12436.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	1125500.0	1000000.0	950000.0	1125500.0	1125500.0	800000.0	1000000.0	535900.0	1125500.0	800000.0	531886.0	1000000.0	530000.0

Q56_2_7 2022年度決算期における、貴事業所の訪問介護事業の支出額（事業活動支出合計）を教えてください。また、支出のうち、車両に関する費用（ガソリン代、修理費、車検費、リース代等）について教えてください。／その他車両関連費用（数値での回答）

		全体	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=534	n=198	n=146	n=189	n=63	n=152	n=148	n=171	n=103	n=143	n=77	n=108	n=81
平均値	—	80860.4	60003.8	70372.0	111240.1	134002.5	49974.2	154089.8	25356.3	56767.0	140389.5	62364.4	54460.7	46661.0
中央値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	12885000.0	1607629.0	3000000.0	12885000.0	1607629.0	3000000.0	12885000.0	755849.0	804000.0	12885000.0	1607629.0	1200000.0	3000000.0

Q57 今後、現在事業を展開されている地域において、訪問介護サービスの需要をどのように見込んでいますか。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
大きく増加する	52	6.1	7.1	7.0	4.4	5.5	4.7	4.6	8.5	7.2	9.1	9.7	4.3	1.8
増加する	302	35.3	44.5	32.6	28.8	22.0	34.9	38.8	36.9	29.5	37.3	45.2	38.3	32.1
あまり変化しない	267	31.2	28.8	30.4	34.6	37.4	33.2	29.2	29.4	39.6	25.4	24.2	32.1	37.5
減少する	106	12.4	10.7	13.2	13.2	22.0	14.7	10.4	9.2	9.4	17.2	13.7	11.7	8.3
大きく減少する	15	1.8	0.4	1.8	2.7	4.4	1.7	2.5	0.3	2.9	1.0	0.8	2.5	1.8
わからない	114	13.3	8.5	15.0	16.3	8.8	10.8	14.6	15.7	11.5	10.0	6.5	11.1	18.5
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q58 今後5年程度の期間について、訪問介護サービスの提供を続けていくことができると考えていますか。

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
問題なく、続けていける	137	16.0	24.6	17.9	6.4	9.9	12.9	17.5	19.1	12.9	18.2	11.3	14.2	22.0
問題はあるが、続けていける	478	55.8	61.9	59.3	46.8	54.9	58.2	55.4	54.6	51.1	53.1	66.1	58.6	55.4
続けていくことは難しい	134	15.7	6.4	11.0	28.5	22.0	14.7	15.4	14.7	20.9	18.7	16.1	14.8	7.7
どちらともいえない	107	12.5	7.1	11.7	18.3	13.2	14.2	11.7	11.6	15.1	10.0	6.5	12.3	14.9
全体	856	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q59 今後の事業継続や事業運営において課題と考えていることを教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
訪問介護員の確保・定着難	758	88.6	92.5	86.4	86.8	87.9	89.2	90.4	86.7	83.5	89.5	94.4	92.0	85.7
訪問介護員の高齢化	702	82.0	81.9	80.2	84.4	82.4	81.0	85.0	80.2	79.9	88.0	87.9	87.7	69.6
地域の要介護者の減少	96	11.2	8.2	9.2	15.9	22.0	12.1	8.8	9.2	15.8	14.8	10.5	6.2	7.7
他の事業所の訪問介護サービスとの競合の激化	140	16.4	11.7	17.6	19.7	7.7	15.5	16.3	19.8	11.5	14.4	16.1	17.9	19.6
小規模多機能型居宅介護など在宅サービス(訪問介護以外)との競合の激化	55	6.4	3.6	7.3	8.5	6.6	6.9	5.8	6.5	5.8	6.2	4.8	6.2	7.7
特養や特定施設などの施設・居住系サービスとの競合の激化	83	9.7	11.0	9.2	8.5	13.2	12.5	8.8	7.2	9.4	8.6	8.1	6.8	14.9
訪問介護に対する、ケアマネジャーの理解の不足	117	13.7	13.9	12.5	14.6	11.0	10.3	15.0	16.0	10.1	15.3	14.5	14.8	10.7
利用者数や訪問回数の減少などによる収入の減少	250	29.2	19.6	27.8	39.7	33.0	28.9	30.4	27.3	33.1	30.6	24.2	30.2	26.2
人件費の増加	433	50.6	45.9	48.0	57.3	46.2	50.9	49.6	52.6	48.9	48.8	46.8	50.6	61.3
賃料や燃料費、水道光熱費など費用の増加	396	46.3	47.0	41.0	50.2	50.5	50.0	46.7	41.6	43.2	47.8	47.6	40.1	54.2
雪や台風などの気象・気候条件の厳しさ	156	18.2	21.4	16.5	16.9	26.4	17.7	15.0	18.8	23.0	21.5	16.9	19.1	9.5
地域内の連携できる多職種や他サービス、社会資源の少なさ	43	5.0	6.0	2.6	6.4	12.1	6.5	2.9	3.4	7.2	6.2	8.1	1.9	2.4
感染症対策に関する負担の増大	332	38.8	43.4	35.2	38.0	45.1	39.2	40.0	35.5	38.8	40.2	36.3	35.8	42.9
業務継続計画(BCP)への対応に関する負担の増大	268	31.3	34.2	28.9	30.8	30.8	33.2	30.8	30.4	33.8	28.7	31.5	35.2	29.8
その他	11	1.3	1.4	0.7	1.4	0.0	0.4	0.8	2.7	0.7	2.4	1.6	1.2	0.6
特に課題はない	14	1.6	1.4	2.2	1.4	1.1	1.3	1.3	2.4	0.0	0.5	0.8	0.6	3.6
全体	856	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q60 今後の事業継続や業務効率の改善等に向けて、取り組んでいることはありますか。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=856	n=281	n=273	n=295	n=91	n=232	n=240	n=293	n=139	n=209	n=124	n=162	n=168
身体介護や重度者への注力	282	32.9	41.6	30.4	26.4	35.2	30.2	34.2	33.4	25.2	40.7	37.9	33.3	26.2
ケアマネジャー等への営業訪問の強化による新規利用者の確保	270	31.5	32.0	28.6	33.2	25.3	33.2	32.5	31.4	27.3	32.1	40.3	34.6	24.4
特定事業所加算等の各種加算の積極的な算定	209	24.4	26.0	26.0	21.7	29.7	22.8	23.8	24.6	23.0	24.9	25.0	27.2	20.8
アセスメントの強化やADLの改善を通じたサービスの見直し	196	22.9	30.2	19.4	19.7	19.8	21.6	22.9	24.9	18.0	23.4	27.4	28.4	16.7
訪問介護員の介護技術の育成・多様な状況に臨機応変に対応できる対応力の強化	428	50.0	59.1	46.5	44.7	49.5	49.1	52.5	48.8	46.0	53.6	53.2	54.9	48.2
サービス提供責任者の確保・育成	348	40.7	45.9	42.5	34.9	31.9	35.8	46.7	42.3	33.1	41.6	43.5	46.3	36.9
訪問介護員の定着に向けた働きやすい環境づくり	562	65.7	71.9	67.4	59.3	65.9	60.3	68.3	67.6	64.0	64.1	69.4	75.3	63.1
家事援助等を行う地域のボランティア団体等との連携の強化	34	4.0	2.5	4.0	5.1	3.3	3.4	4.6	4.1	5.8	4.8	3.2	2.5	2.4
ICT機器等の活用による業務効率化・負担軽減	220	25.7	33.8	21.6	21.0	24.2	27.2	25.0	25.6	19.4	29.2	26.6	29.0	25.6
地域の介護事業所間での連携の強化(人材育成やノウハウ共有、共通書式の作成)	60	7.0	8.5	6.6	5.8	6.6	7.8	6.7	6.8	7.9	6.2	8.1	9.3	5.4
その他	6	0.7	0.4	0.4	1.4	2.2	0.4	0.4	0.7	1.4	0.0	1.6	0.6	0.0
取り組んでいるものはない	64	7.5	3.2	7.7	11.5	8.8	10.8	5.0	6.5	10.8	4.8	3.2	6.2	8.3
全体	856	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q61 訪問介護サービスの提供に当たり貴事業所が利用しているICT機器やサービスを教えてください。（複数回

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=220	n=95	n=59	n=62	n=22	n=63	n=60	n=75	n=27	n=61	n=33	n=47	n=43
Zoom等のWEB会議システムを活用したリモートでの研修や会議の開催	157	71.4	76.8	71.2	62.9	81.8	73.0	71.7	66.7	70.4	78.7	72.7	63.8	65.1
チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有	93	42.3	44.2	49.2	32.3	13.6	36.5	35.0	61.3	51.9	45.9	51.5	38.3	30.2
記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用	121	55.0	53.7	57.6	51.6	36.4	54.0	58.3	58.7	40.7	52.5	69.7	57.4	53.5
訪問シフト・訪問ルートの効率化・自動化を図るアプリの活用	42	19.1	21.1	16.9	17.7	4.5	20.6	18.3	22.7	29.6	19.7	15.2	19.1	14.0
職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用	67	30.5	28.4	28.8	32.3	36.4	27.0	26.7	34.7	29.6	32.8	33.3	36.2	16.3
スマートフォンやタブレット等で常時視聴できる動画マニュアルの活用	65	29.5	30.5	27.1	27.4	13.6	31.7	23.3	37.3	29.6	32.8	15.2	29.8	34.9
見守り支援ロボット・センサーの活用	6	2.7	4.2	1.7	1.6	0.0	3.2	3.3	2.7	0.0	0.0	0.0	2.1	11.6
服薬管理ロボットの活用	1	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
利用者が事業所とすぐに連絡が取れるようなコール端末の設置	12	5.5	6.3	5.1	4.8	13.6	1.6	6.7	5.3	0.0	3.3	3.0	6.4	14.0
その他	6	2.7	3.2	0.0	4.8	9.1	3.2	3.3	0.0	3.7	3.3	0.0	2.1	2.3
全体	220	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q62_1 貴事業所で利用しているICT機器やサービスについて、訪問介護員の移動に関する業務負担の軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。／チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=93	n=42	n=29	n=20	n=3	n=23	n=21	n=46	n=14	n=28	n=17	n=18	n=13
大きな効果が出ている	16	17.2	14.3	17.2	25.0	0.0	4.3	14.3	26.1	14.3	17.9	17.6	16.7	15.4
効果が出ている	55	59.1	59.5	58.6	60.0	100.0	65.2	47.6	58.7	42.9	57.1	70.6	50.0	76.9
どちらともいえない	18	19.4	21.4	20.7	10.0	0.0	21.7	38.1	10.9	42.9	17.9	11.8	22.2	7.7
あまり効果が出ていない	2	2.2	0.0	3.4	5.0	0.0	4.3	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
まったく効果が出ていない	2	2.2	4.8	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	2.2	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
全体	93	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q62_2 貴事業所で利用しているICT機器やサービスについて、訪問介護員の移動に関する業務負担の軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。／記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=121	n=51	n=34	n=32	n=8	n=34	n=35	n=44	n=11	n=32	n=23	n=27	n=23
大きな効果が出ている	25	20.7	15.7	20.6	31.3	25.0	14.7	17.1	27.3	9.1	25.0	17.4	22.2	17.4
効果が出ている	71	58.7	68.6	47.1	56.3	62.5	64.7	62.9	50.0	54.5	59.4	65.2	55.6	60.9
どちらともいえない	23	19.0	15.7	26.5	12.5	12.5	20.6	17.1	20.5	27.3	15.6	17.4	18.5	21.7
あまり効果が出ていない	2	1.7	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	2.9	2.3	9.1	0.0	0.0	3.7	0.0
まったく効果が出ていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	121	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q62_3 貴事業所で利用しているICT機器やサービスについて、訪問介護員の移動に関する業務負担の軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。／訪問シフト・訪問ルートの効率化・自動化を図るアプリの活用

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=42	n=20	n=10	n=11	n=1	n=13	n=11	n=17	n=8	n=12	n=5	n=9	n=6
大きな効果が出ている	8	19.0	20.0	10.0	27.3	0.0	7.7	9.1	35.3	12.5	16.7	40.0	22.2	16.7
効果が出ている	25	59.5	50.0	80.0	54.5	0.0	69.2	63.6	52.9	50.0	58.3	60.0	55.6	66.7
どちらともいえない	7	16.7	25.0	10.0	9.1	0.0	15.4	27.3	11.8	25.0	16.7	0.0	22.2	16.7
あまり効果が出ていない	2	4.8	5.0	0.0	9.1	100.0	7.7	0.0	0.0	12.5	8.3	0.0	0.0	0.0
まったく効果が出ていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	42	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q62_4 貴事業所で利用しているICT機器やサービスについて、訪問介護員の移動に関する業務負担の軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。／職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
			黒字	収支均衡	赤字	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	いない	1割未満	3割未満	7割未満	7割以上
		n=67	n=27	n=17	n=20	n=8	n=17	n=16	n=26	n=8	n=20	n=11	n=17	n=7
大きな効果が出ている	18	26.9	29.6	35.3	20.0	25.0	29.4	12.5	34.6	50.0	20.0	27.3	23.5	28.6
効果が出ている	38	56.7	59.3	47.1	55.0	62.5	47.1	75.0	50.0	37.5	60.0	63.6	58.8	57.1
どちらともいえない	10	14.9	11.1	17.6	20.0	12.5	17.6	12.5	15.4	12.5	20.0	9.1	11.8	14.3
あまり効果が出ていない	1	1.5	0.0	0.0	5.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
まったく効果が出ていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	67	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q64 貴事業所において、現在、活用している自治体等の支援策がありましたら教えてください。(複数回答)

	件数	割合	収支差の状況別			地域区分別				集合住宅割合別				
		n=856	黒字 n=281	収支均衡 n=273	赤字 n=295	地域区分A n=91	地域区分B n=232	地域区分C n=240	地域区分D n=293	いない n=139	1割未満 n=209	3割未満 n=124	7割未満 n=162	7割以上 n=168
職員採用に対する補助金	72	8.4	8.2	10.3	7.1	9.9	6.5	7.5	10.2	9.4	8.6	8.1	9.3	7.1
資格取得に対する補助金	133	15.5	16.7	18.3	12.2	14.3	12.9	16.7	17.1	18.0	18.7	17.7	15.4	8.9
研修参加に対する補助金	64	7.5	6.4	10.3	6.1	8.8	6.9	6.7	8.2	8.6	7.2	7.3	6.8	7.1
介護職員奨学金返済補助金	14	1.6	0.7	3.3	1.0	1.1	1.7	2.1	1.4	2.2	1.4	1.6	1.2	0.6
福祉機器購入に対する補助金	14	1.6	1.8	2.6	0.7	1.1	1.7	1.7	1.7	2.2	1.0	0.8	1.2	2.4
ICT・介護ロボット購入補助金	52	6.1	8.5	5.9	3.7	4.4	6.9	5.4	6.5	7.9	3.8	4.0	9.3	6.0
その他の補助金	73	8.5	7.8	8.1	9.8	11.0	8.6	9.2	7.2	8.6	7.2	11.3	11.1	6.0
介護人材紹介支援(マッチング支援・人材バンク設置)	40	4.7	6.4	5.1	2.4	1.1	4.7	5.4	5.1	0.7	4.8	8.1	4.9	6.0
事業所との協働による就職フェアの開催	38	4.4	5.7	4.4	3.4	2.2	4.7	6.7	3.1	3.6	5.3	4.8	6.2	3.0
介護助手等のボランティアの紹介	4	0.5	0.4	0.7	0.3	0.0	0.4	0.4	0.7	0.7	0.5	0.0	0.0	1.2
介護現場におけるハラスメントの相談窓口等の活用	41	4.8	5.3	6.2	3.1	3.3	6.9	5.4	3.1	1.4	8.6	5.6	4.3	2.4
マネジメント層・リーダー層の育成支援	27	3.2	3.9	3.7	2.0	3.3	4.7	3.3	1.7	3.6	2.9	3.2	4.9	1.8
元介護職・離職者の復職支援	21	2.5	4.3	1.8	1.4	3.3	4.3	1.3	1.7	1.4	2.4	2.4	3.7	1.8
他法人との交流機会確保に関する企画	18	2.1	1.4	2.6	2.4	4.4	3.9	0.8	1.0	2.2	3.8	0.8	1.2	2.4
ICT・ロボット介護機器等の情報提供・試用機会の確保	16	1.9	2.8	2.2	0.7	1.1	2.6	2.1	1.4	2.9	1.4	2.4	0.6	3.0
医療・介護の連携支援(連携システムの構築等)	50	5.8	6.0	6.6	5.1	8.8	7.3	6.3	3.4	4.3	7.7	8.1	4.9	4.2
災害に関する支援(BCP策定・災害時の相互支援の仕組構築等)	52	6.1	7.5	6.6	4.1	3.3	7.3	4.2	7.5	2.9	5.3	6.5	8.6	7.1
感染症対策・対応に関する支援	141	16.5	18.9	14.7	15.9	12.1	19.4	15.8	16.0	14.4	15.8	16.1	22.8	14.3
水道・光熱費に対する補助	103	12.0	14.9	11.7	9.5	14.3	15.9	11.7	8.5	10.1	12.9	13.7	11.1	14.9
一定の時間を超えた移動に対する補助金	8	0.9	0.4	2.2	0.3	0.0	0.9	0.8	1.4	0.7	1.0	0.8	0.6	0.6
中山間地域等へのサービス提供に対する補助・独自加算	8	0.9	1.1	1.1	0.7	3.3	1.3	0.4	0.3	0.7	2.9	0.0	0.0	0.6
燃料費の負担に関する補助金	83	9.7	11.7	8.4	8.8	9.9	11.2	10.4	7.8	10.1	11.5	14.5	10.5	4.8
その他、移動に関する補助金や支援施策	4	0.5	0.0	0.7	0.7	0.0	0.4	0.4	0.7	1.4	0.5	0.8	0.0	0.0
事業所(建物)の貸与	19	2.2	1.1	3.3	2.4	7.7	2.6	2.1	0.3	3.6	3.3	2.4	0.6	1.2
事業所の賃料補助	7	0.8	0.0	1.8	0.7	0.0	2.2	0.4	0.3	0.7	1.9	0.0	0.6	0.6
上記以外の支援	7	0.8	0.4	0.4	1.7	3.3	0.4	0.4	0.7	2.9	0.5	1.6	0.0	0.0
特にない	407	47.5	46.3	47.6	48.8	46.2	45.3	47.9	49.5	45.3	45.0	48.4	42.0	52.4
全体	856	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

【資料５】

訪問介護員向け調査

単純集計結果

地域区分

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,235	n=1,172	n=577	n=486	n=258	n=649	n=644	n=684	n=527	n=593	n=628	n=462
地域区分A	258	11.5	13.2	10.6	8.6	100.0	0.0	0.0	0.0	15.2	13.0	8.9	9.5
地域区分B	649	29.0	31.0	29.6	23.7	0.0	100.0	0.0	0.0	28.3	33.2	22.0	34.2
地域区分C	644	28.8	26.9	32.1	29.6	0.0	0.0	100.0	0.0	30.9	32.9	26.9	23.8
地域区分D	684	30.6	28.9	27.7	38.1	0.0	0.0	0.0	100.0	25.6	20.9	42.2	32.5
全体	2,235	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q1 あなたの年齢を教えてください。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
10歳代	4	0.1	0.1	0.3	0.2	0.0	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2
20歳代	113	3.8	5.4	2.8	0.9	4.3	4.2	2.2	3.4	2.1	3.0	3.3	7.4
30歳代	365	12.3	15.9	9.3	6.8	13.6	12.8	10.6	13.3	10.2	11.1	12.4	16.1
40歳代	766	25.8	29.3	25.7	17.4	22.1	26.0	28.4	24.3	24.0	27.5	25.7	25.7
50歳代	913	30.8	33.4	28.9	26.5	27.9	30.2	32.1	30.4	29.0	33.0	32.8	26.7
60歳代	619	20.9	14.5	24.6	32.4	24.8	22.3	18.9	19.7	25.1	20.5	19.7	18.6
70歳代	182	6.1	1.4	8.4	15.2	7.4	4.3	7.3	8.5	9.3	4.8	5.9	4.9
80歳代以上	5	0.2	0.1	0.0	0.6	0.0	0.0	0.2	0.4	0.1	0.0	0.1	0.3
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q2 あなたの性別を教えてください。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
男性	379	12.8	19.1	7.2	3.3	8.9	12.2	9.3	17.5	12.1	5.7	13.2	22.7
女性	2,546	85.8	79.0	91.4	96.2	89.5	86.4	88.8	80.3	87.1	93.7	85.4	74.3
回答しない	42	1.4	1.8	1.4	0.5	1.6	1.4	1.9	2.2	0.7	0.6	1.5	3.0
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q3 あなたの雇用形態について教えてください。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
常勤	1,598	53.9	100.0	0.0	0.0	60.1	55.9	48.9	49.6	45.1	57.0	53.4	58.3
非常勤	712	24.0	0.0	100.0	0.0	23.6	26.3	28.7	23.4	24.7	22.2	21.5	30.0
登録ヘルパー	657	22.1	0.0	0.0	100.0	16.3	17.7	22.4	27.0	30.2	20.9	25.1	11.7
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q4 あなたの訪問介護員としての経験年数を教えてください。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
1年未満	179	6.0	5.8	8.0	4.4	8.5	4.8	5.9	6.4	5.9	4.6	6.6	6.3
1年以上～3年未満	402	13.5	14.2	14.2	11.3	13.2	11.4	13.0	14.6	11.5	13.3	13.3	15.8
3年以上～5年未満	352	11.9	12.9	13.8	7.3	12.4	11.7	12.6	12.9	9.9	9.7	11.4	18.0
5年以上～7年未満	353	11.9	11.6	13.9	10.5	13.2	11.1	9.8	13.3	9.5	10.5	12.7	16.0
7年以上10年未満	433	14.6	15.5	11.8	15.5	13.2	16.8	13.2	14.6	14.6	14.4	13.5	16.5
10年以上	1,248	42.1	40.1	38.3	51.0	39.5	44.2	45.5	38.2	48.5	47.4	42.4	27.5
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q5_1 あなたが2023年7月に担当した、指定訪問介護の利用者数(実人数)を教えてください。／人(数値での回答)

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,935	n=1,571	n=710	n=654	n=257	n=642	n=637	n=674	n=676	n=839	n=813	n=607
平均値	—	23.6	29.4	20.7	13.0	30.3	24.7	25.1	15.3	17.5	30.7	22.0	22.8
中央値	—	15.0	20.0	14.0	9.0	23.0	17.0	16.0	10.0	10.0	20.0	15.0	16.0
最小値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	4.0	2.0	1.0
最大値	—	572.0	572.0	274.0	160.0	274.0	297.0	572.0	226.0	274.0	247.0	397.0	572.0

Q6_1 あなたが2023年7月に担当した利用者のうち、高齢者住宅(特定施設を除くサ高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス、A、Bなど)、シルバーハウジング等)や集合住宅(マンション・アパート・団地など)に住む利用者人数(実人数)を教えてください。／人(数値での回答)

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,935	n=1,571	n=710	n=654	n=257	n=642	n=637	n=674	n=676	n=839	n=813	n=607
平均値	—	9.4	12.0	8.9	3.8	8.9	9.7	10.5	7.5	0.0	3.8	13.0	22.8
中央値	—	3.0	5.0	4.0	1.0	3.0	4.0	3.0	3.0	0.0	2.0	8.0	16.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
最大値	—	572.0	572.0	186.0	160.0	120.0	290.0	572.0	186.0	0.0	50.0	342.0	572.0

集合住宅割合

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,935	n=1,571	n=710	n=654	n=257	n=642	n=637	n=674	n=676	n=839	n=813	n=607
0%	676	23.0	19.4	23.5	31.2	31.1	23.2	25.6	20.0	100.0	0.0	0.0	0.0
30%未満	839	28.6	30.4	26.2	26.8	30.0	30.7	30.6	18.4	0.0	100.0	0.0	0.0
30%以上100%未満	813	27.7	27.6	24.6	31.2	21.8	21.5	26.5	39.3	0.0	0.0	100.0	0.0
100%	607	20.7	22.5	25.6	10.9	17.1	24.6	17.3	22.3	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	2,935	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q7 あなたはサービス提供責任者と訪問介護員を兼務していますか。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
兼務している	986	33.2	55.6	12.1	1.8	30.6	32.8	33.2	33.2	32.0	42.6	34.1	20.9
兼務していない	1,981	66.8	44.4	87.9	98.2	69.4	67.2	66.8	66.8	68.0	57.4	65.9	79.1
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q8 あなたは、同一法人内で訪問介護以外の介護保険サービス事業所との兼務をしていますか。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
兼務している	360	12.1	14.0	11.4	8.5	10.9	15.1	12.3	10.8	12.7	10.6	11.8	13.3
兼務していない	2,607	87.9	86.0	88.6	91.5	89.1	84.9	87.7	89.2	87.3	89.4	88.2	86.7
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q9_1_1 あなたの業務内容について、1日当たりの一般的な状況を教えてください。／1日あたりの一般的な労働時間／時間(分)(数値での回答)

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,654	n=1,462	n=630	n=562	n=238	n=593	n=580	n=598	n=604	n=782	n=731	n=516
平均値	—	393.0	477.0	335.4	239.1	414.0	397.6	385.3	375.6	357.3	405.3	391.4	417.2
中央値	—	480.0	480.0	360.0	240.0	480.0	480.0	480.0	480.0	450.0	480.0	480.0	480.0
最小値	—	20.0	60.0	20.0	30.0	30.0	60.0	20.0	45.0	20.0	60.0	30.0	30.0
最大値	—	720.0	720.0	720.0	720.0	600.0	720.0	720.0	720.0	720.0	720.0	720.0	720.0

Q9_2_1 あなたの業務内容について、1日当たりの一般的な状況を教えてください。／1日あたりの一般的な訪問件数／件（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,654	n=1,462	n=630	n=562	n=238	n=593	n=580	n=598	n=604	n=782	n=731	n=516
平均値	—	4.8	5.4	4.6	3.3	5.5	4.7	4.7	4.2	3.8	4.7	4.5	6.5
中央値	—	4.0	5.0	4.0	3.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0
最小値	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
最大値	—	45.0	45.0	26.0	29.0	30.0	20.0	45.0	44.0	45.0	44.0	32.0	43.0

Q9_3_1 あなたの業務内容について、1日当たりの一般的な状況を教えてください。／1日あたりの一般的なサービス提供時間（1日の合計）／時間（分）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,654	n=1,462	n=630	n=562	n=238	n=593	n=580	n=598	n=604	n=782	n=731	n=516
平均値	—	228.8	250.6	210.4	193.0	238.8	224.4	220.4	226.4	207.8	243.3	229.9	230.4
中央値	—	240.0	240.5	210.0	180.0	240.0	240.0	240.0	240.0	210.0	240.0	240.0	240.0
最小値	—	15.0	15.0	15.0	30.0	19.0	15.0	15.0	20.0	19.0	20.0	29.0	15.0
最大値	—	720.0	720.0	720.0	720.0	480.0	600.0	600.0	720.0	720.0	600.0	570.0	720.0

Q9_4_1 あなたの業務内容について、1日当たりの一般的な状況を教えてください。／1日あたりの一般的な事務的業務の時間（1日の合計）／時間（分）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,654	n=1,462	n=630	n=562	n=238	n=593	n=580	n=598	n=604	n=782	n=731	n=516
平均値	—	94.1	137.9	57.1	21.7	101.2	92.1	94.4	89.6	93.2	94.8	95.0	92.4
中央値	—	60.0	120.0	30.0	10.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	600.0	600.0	480.0	390.0	480.0	480.0	510.0	600.0	600.0	480.0	545.0	480.0

Q9_5_1 あなたの業務内容について、1日当たりの一般的な状況を教えてください。／1日あたりの一般的な移動時間（1日の合計）／時間（分）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,654	n=1,462	n=630	n=562	n=238	n=593	n=580	n=598	n=604	n=782	n=731	n=516
平均値	—	66.0	74.4	55.1	56.3	62.1	62.8	68.0	63.5	66.9	81.6	70.4	35.5
中央値	—	60.0	60.0	50.0	50.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	20.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	480.0	480.0	360.0	360.0	300.0	480.0	360.0	480.0	420.0	480.0	420.0	480.0

Q9_6_1 あなたの業務内容について、1日当たりの一般的な状況を教えてください。／1日あたりの一般的な待機時間（1日の合計）／時間（分）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,654	n=1,462	n=630	n=562	n=238	n=593	n=580	n=598	n=604	n=782	n=731	n=516
平均値	—	46.5	44.0	46.4	52.9	45.6	46.2	49.9	42.2	48.3	51.7	43.5	40.2
中央値	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	15.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	420.0	420.0	330.0	420.0	330.0	330.0	420.0	420.0	420.0	330.0	300.0	420.0

Q9_7_1 あなたの業務内容について、1日当たりの一般的な状況を教えてください。／1日あたりの一般的な移動距離（1日の合計）／キロメートル（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,654	n=1,462	n=630	n=562	n=238	n=593	n=580	n=598	n=604	n=782	n=731	n=516
平均値	—	16.6	18.6	14.1	14.0	22.5	20.1	16.9	10.0	18.8	23.2	15.5	5.1
中央値	—	10.0	10.0	10.0	8.9	20.0	15.0	10.0	5.0	15.0	20.0	10.0	1.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	230.0	200.0	100.0	230.0	100.0	200.0	230.0	100.0	200.0	120.0	230.0	100.0

Q10 利用者宅への訪問について、自宅から直行直帰で行うことはありますか。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
ある(自宅から直行直帰のみである)	759	25.6	9.7	25.8	63.9	19.4	21.3	26.6	32.5	36.5	25.6	24.8	14.7
ある(自宅から直行直帰の場合と、勤務先の事業所から移動する場合等がある)	1,139	38.4	43.7	35.0	29.2	24.8	37.9	39.1	42.0	38.2	49.2	45.8	15.0
ない	1,069	36.0	46.6	39.2	6.8	55.8	40.8	34.3	25.6	25.3	25.1	29.4	70.3
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q11_1 ご自宅から勤務先事業所までの時間及び距離を教えてください。／片道約／分(数値での回答)

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,929	n=1,577	n=702	n=650	n=253	n=646	n=634	n=670	n=663	n=831	n=805	n=600
平均値	—	17.6	19.3	15.3	15.9	12.9	16.4	17.2	20.8	16.8	16.0	19.7	17.7
中央値	—	15.0	15.0	12.0	15.0	10.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0
最大値	—	153.0	153.0	100.0	90.0	45.0	90.0	153.0	120.0	100.0	90.0	153.0	120.0

Q11_2 ご自宅から勤務先事業所までの時間及び距離を教えてください。／片道約／キロメートル(小数点以下第2位を四捨五入)(数値での回答)

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,929	n=1,577	n=702	n=650	n=253	n=646	n=634	n=670	n=663	n=831	n=805	n=600
平均値	—	6.4	7.3	5.3	5.2	7.4	7.0	6.1	5.8	6.4	6.2	6.5	6.4
中央値	—	4.0	5.0	4.0	3.1	5.0	5.0	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.8
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
最大値	—	72.0	72.0	40.0	60.0	43.0	40.0	60.0	72.0	72.0	40.0	60.0	60.0

Q12 直行直帰の場合に利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=1,898	n=853	n=433	n=612	n=114	n=384	n=423	n=509	n=505	n=628	n=574	n=180
自動車(自家用車)	1,108	58.4	59.1	59.1	56.9	90.4	84.6	59.8	27.1	64.8	68.0	45.3	48.3
自動車(事業所の車)	89	4.7	8.4	2.5	1.0	4.4	6.0	5.4	2.8	5.3	4.5	4.9	2.8
自転車(電動でないもの)	158	8.3	5.4	10.6	10.8	0.0	1.3	6.1	18.3	8.5	5.7	11.5	6.7
電動自転車	318	16.8	13.6	18.5	19.9	0.0	2.3	17.0	33.6	14.5	13.1	22.1	18.9
バイク・原付	130	6.8	7.9	5.1	6.7	2.6	4.9	8.3	8.1	4.0	6.5	9.9	6.7
電車・バス＋徒歩	62	3.3	4.0	2.3	2.9	0.0	0.3	0.9	8.4	2.4	1.4	4.4	8.9
徒歩のみ	26	1.4	0.9	1.8	1.6	2.6	0.3	2.1	1.2	0.4	0.6	1.0	7.8
その他	7	0.4	0.7	0.0	0.2	0.0	0.3	0.2	0.6	0.2	0.2	0.9	0.0
全体	1,898	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q13 事業所から利用者宅を訪問する際の主な交通手段を教えてください。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,208	n=1,443	n=528	n=237	n=208	n=511	n=473	n=462	n=429	n=624	n=611	n=518
自動車(自家用車)	675	30.6	28.9	30.7	40.5	32.7	44.0	31.1	15.4	36.6	34.5	26.5	25.9
自動車(事業所の車)	636	28.8	32.4	25.4	14.3	51.4	33.7	29.0	8.4	39.9	39.9	26.8	8.9
自転車(電動でないもの)	111	5.0	3.7	7.4	7.6	1.0	1.8	2.3	14.9	4.9	3.0	7.4	4.6
電動自転車	310	14.0	12.8	11.7	26.6	0.0	1.6	15.2	33.3	13.1	12.5	23.4	5.8
バイク・原付	134	6.1	6.9	4.0	5.9	0.5	3.5	8.5	10.4	3.7	7.4	9.3	2.9
電車・バス＋徒歩	48	2.2	2.3	2.3	1.3	0.0	0.0	1.7	6.9	0.5	0.8	2.6	4.6
徒歩のみ	255	11.5	10.8	17.0	3.8	13.0	13.1	11.2	8.7	0.7	1.4	3.1	42.3
その他	39	1.8	2.1	1.5	0.0	1.4	2.3	1.1	1.9	0.7	0.5	0.8	5.0
全体	2,208	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q14_1 自宅から利用者宅までにかかる平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／平均で片道約／分（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=1,876	n=840	n=430	n=606	n=111	n=382	n=414	n=504	n=498	n=624	n=568	n=175
平均値	—	17.8	19.8	16.2	16.2	15.7	17.1	17.1	19.5	17.6	17.1	18.4	19.2
中央値	—	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	2.0	1.0	0.0	0.0
最大値	—	120.0	120.0	60.0	90.0	60.0	45.0	120.0	90.0	120.0	85.0	90.0	70.0

Q14_2 自宅から利用者宅までにかかる平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／平均で片道約／キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=1,876	n=840	n=430	n=606	n=111	n=382	n=414	n=504	n=498	n=624	n=568	n=175
平均値	—	6.5	7.7	5.5	5.5	9.2	7.8	6.1	5.1	6.8	6.7	6.1	6.1
中央値	—	5.0	5.0	4.0	4.0	8.0	6.4	4.5	3.0	5.0	5.0	4.0	4.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0
最大値	—	70.0	70.0	35.0	46.0	35.0	38.0	45.0	70.0	70.0	60.0	60.0	30.0

Q14_3 自宅から利用者宅までにかかる平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／最遠で片道約／分（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=1,878	n=841	n=430	n=607	n=112	n=383	n=413	n=504	n=501	n=624	n=568	n=174
平均値	—	26.3	29.9	23.6	23.1	23.5	26.6	25.7	27.3	25.8	26.7	26.9	23.7
中央値	—	25.0	30.0	20.0	20.0	20.0	25.0	25.0	22.5	20.0	25.0	25.0	20.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	2.0	1.0	0.0	0.0
最大値	—	180.0	180.0	90.0	90.0	60.0	90.0	180.0	100.0	180.0	90.0	100.0	90.0

Q14_4 自宅から利用者宅までにかかる平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／最遠で片道約／キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=1,878	n=841	n=430	n=607	n=112	n=383	n=413	n=504	n=501	n=624	n=568	n=174
平均値	—	10.3	12.5	8.6	8.4	15.2	13.1	10.0	7.2	10.7	11.5	9.4	7.7
中央値	—	8.0	10.0	6.2	6.0	15.0	11.0	7.0	4.3	8.0	10.0	6.0	5.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	0.0
最大値	—	80.0	80.0	50.0	50.0	62.0	80.0	73.0	70.0	73.0	60.0	80.0	40.0

Q15_1 勤務先の事業所から利用者宅までの移動について、平均的な時間及び距離について教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／平均で片道約／分（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,183	n=1,423	n=525	n=235	n=204	n=508	n=467	n=452	n=425	n=620	n=606	n=513
平均値	—	11.5	11.7	10.6	12.9	10.3	10.9	11.6	12.2	13.7	13.3	12.8	6.1
中央値	—	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0	14.0	10.0	2.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0
最大値	—	90.0	90.0	90.0	50.0	55.0	45.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0	90.0

Q15_2 勤務先の事業所から利用者宅までの移動について、平均的な時間及び距離について教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／平均で片道約／キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,183	n=1,423	n=525	n=235	n=204	n=508	n=467	n=452	n=425	n=620	n=606	n=513
平均値	—	4.4	4.6	3.9	4.3	6.5	4.8	4.3	2.8	5.8	5.6	4.3	1.8
中央値	—	3.0	3.0	3.0	3.0	5.0	4.0	3.0	2.0	4.4	5.0	3.0	0.2
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0
最大値	—	73.0	73.0	30.0	30.0	30.0	35.0	73.0	30.0	73.0	30.0	30.0	30.0

Q15_3 勤務先の事業所から利用者宅までの移動について、平均的な時間及び距離について教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／最遠で片道約／分（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,180	n=1,419	n=526	n=235	n=204	n=510	n=467	n=450	n=425	n=619	n=605	n=513
平均値	—	19.4	20.1	17.1	20.0	19.5	18.7	19.5	19.2	22.8	23.8	22.0	8.2
中央値	—	20.0	20.0	17.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	3.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	1.0	0.0	0.0
最大値	—	90.0	90.0	90.0	60.0	65.0	90.0	60.0	65.0	60.0	90.0	60.0	90.0

Q15_4 勤務先の事業所から利用者宅までの移動について、平均的な時間及び距離について教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／最遠で片道約／キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,180	n=1,419	n=526	n=235	n=204	n=510	n=467	n=450	n=425	n=619	n=605	n=513
平均値	—	8.2	8.7	7.0	7.4	13.7	9.1	7.6	4.7	10.8	11.0	8.0	2.8
中央値	—	6.0	7.0	5.0	5.0	13.0	8.0	6.0	3.2	9.0	10.0	5.7	0.3
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	0.0	0.0
最大値	—	90.0	90.0	45.0	45.0	58.0	45.0	73.0	30.0	73.0	45.0	35.0	90.0

Q16_1 サービス提供時の利用者宅間の移動について、平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／平均で1区間あたり片道約／分（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,481	n=1,355	n=578	n=548	n=221	n=514	n=563	n=542	n=558	n=799	n=721	n=379
平均値	—	11.6	11.4	11.0	12.9	10.0	11.7	11.4	12.5	12.9	12.8	12.5	6.1
中央値	—	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	2.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	70.0	70.0	45.0	60.0	60.0	32.0	45.0	70.0	70.0	60.0	60.0	60.0

Q16_2 サービス提供時の利用者宅間の移動について、平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／平均で1区間あたり片道約／キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,481	n=1,355	n=578	n=548	n=221	n=514	n=563	n=542	n=558	n=799	n=721	n=379
平均値	—	4.3	4.4	3.9	4.3	5.9	5.1	3.8	3.1	5.2	5.0	4.0	1.9
中央値	—	3.0	3.0	3.0	3.0	5.0	5.0	3.0	2.0	4.0	4.0	3.0	0.2
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	60.0	60.0	32.0	40.0	25.0	30.0	40.0	30.0	40.0	60.0	40.0	30.0

Q16.3 サービス提供時の利用者宅間の移動について、平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／最遠で1区間あたり片道約／分（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,477	n=1,356	n=574	n=547	n=220	n=517	n=560	n=540	n=557	n=798	n=719	n=379
平均値	—	20.8	21.8	18.6	20.7	20.5	21.6	20.1	20.7	22.9	23.9	22.0	9.2
中央値	—	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	3.0
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	90.0	90.0	70.0	90.0	60.0	60.0	60.0	90.0	90.0	90.0	60.0	60.0

Q16.4 サービス提供時の利用者宅間の移動について、平均的な時間及び距離を教えてください。また、最も長い場合の時間及び距離を教えてください。／最遠で1区間あたり片道約／キロメートル（小数点以下第2位を四捨五入）（数値での回答）

		全体	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,477	n=1,356	n=574	n=547	n=220	n=517	n=560	n=540	n=557	n=798	n=719	n=379
平均値	—	8.7	9.5	7.9	7.5	14.1	10.6	7.6	5.3	10.5	10.9	7.9	3.0
中央値	—	6.5	8.0	5.0	5.0	13.5	10.0	6.0	3.5	8.0	9.7	5.0	0.5
最小値	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大値	—	60.0	60.0	50.0	60.0	50.0	50.0	50.0	40.0	60.0	60.0	45.0	40.0

Q17 利用者宅への訪問に関し、課題となっていることがあれば教えてください。（複数回答）

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
移動時間が長く業務負担が大きい	517	17.4	18.5	16.4	16.0	19.0	17.6	17.4	14.3	20.1	21.1	19.9	6.6
十分に整備されていない道など、悪路が多い	223	7.5	8.0	6.5	7.5	12.8	6.9	7.1	5.4	8.1	8.8	9.2	2.6
天候不順時の負担・不安が大きい	1,240	41.8	40.4	42.0	44.9	38.4	34.1	41.3	50.7	44.1	51.7	51.8	13.2
移動の負担・不安が大きい	513	17.3	16.9	16.3	19.3	15.1	16.9	18.3	18.0	19.4	20.5	20.7	6.1
積雪時の雪かきの負担が大きい	445	15.0	16.1	15.7	11.6	31.8	18.0	12.4	7.3	19.1	23.5	10.9	4.6
訪問先での駐車場所の確保が難しい	674	22.7	27.8	15.6	18.1	23.3	21.4	25.5	15.2	26.3	30.8	23.1	7.6
ガソリン代の負担が大きい	830	28.0	25.2	25.7	37.1	33.7	37.9	29.0	13.3	36.5	36.1	26.9	8.9
社用車の維持費負担が大きい	157	5.3	8.0	3.4	0.8	10.9	5.2	5.9	1.6	8.4	6.3	3.9	2.1
訪問に使用する自家用車に関する費用負担が大きい	485	16.3	15.1	15.7	20.1	20.5	22.7	14.9	7.3	19.2	24.0	15.4	4.4
その他	111	3.7	3.2	5.2	3.5	2.7	2.2	4.7	3.8	4.1	5.4	3.8	1.2
特に課題はない	867	29.2	29.8	33.3	23.4	25.2	30.7	28.3	31.7	20.3	11.3	21.3	73.5
全体	2,967	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Q18 天候不順や積雪が生じた場合、利用者宅を訪問する際の主な交通手段に変更がありますか。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=1,385	n=733	n=333	n=319	n=129	n=263	n=289	n=354	n=344	n=492	n=447	n=94
ある	412	29.7	28.4	31.2	31.3	7.0	19.8	27.0	46.6	28.8	26.6	34.0	29.8
ない	973	70.3	71.6	68.8	68.7	93.0	80.2	73.0	53.4	71.2	73.4	66.0	70.2
全体	1,385	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q19 訪問介護サービスの提供に当たりあなたが利用しているICT機器やサービスを教えてください。(複数回答)

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
Zoom等のWEB会議システムを活用したリモートでの研修や会議の開催	764	25.7	35.2	16.9	12.3	26.4	25.3	25.3	24.7	27.7	29.7	26.7	17.0
チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有	636	21.4	24.5	19.1	16.4	14.3	18.6	19.1	23.5	20.7	23.1	22.3	18.1
記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用	767	25.9	28.8	20.1	25.0	17.1	18.5	32.5	26.6	23.5	25.1	27.2	28.3
訪問シフト・訪問ルートの効率化・自動化を図るアプリの活用	301	10.1	12.5	6.7	8.2	7.0	9.1	9.3	11.3	9.3	11.6	11.9	6.6
職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用	521	17.6	20.2	14.7	14.3	9.7	15.3	20.7	13.7	15.5	19.1	20.2	14.2
スマートフォンやタブレット等で常時視聴できる動画マニュアルの活用	320	10.8	11.5	10.0	10.0	8.5	11.7	10.6	11.7	11.2	10.5	12.2	9.1
見守り支援ロボット・センサーの活用	49	1.7	2.1	1.5	0.6	2.3	1.8	1.7	1.0	0.4	0.4	1.1	5.4
服薬管理ロボットの活用	17	0.6	0.8	0.3	0.5	0.4	0.3	0.6	0.7	0.4	1.0	0.1	0.8
利用者が事業所とすぐに連絡が取れるようなコール端末の設置	190	6.4	8.2	6.0	2.4	3.5	6.9	6.5	5.7	3.4	3.1	5.0	16.0
利用者宅への入退室管理の効率化を図るアプリの活用	221	7.4	8.0	3.9	9.9	2.7	6.2	6.2	11.1	7.8	6.2	10.3	4.8
その他	25	0.8	0.9	0.7	0.9	1.2	0.8	1.1	0.3	0.7	1.4	0.5	0.7
特になし	1,219	41.1	33.9	50.4	48.6	54.3	46.7	36.5	43.3	42.3	40.6	38.1	43.8
全体	2,967	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q20_1 利用しているICT機器やサービスについて、ご自身の移動に関する業務の負担軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。／チャットアプリなどによる職員間での利用者情報の共有

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=636	n=392	n=136	n=108	n=37	n=121	n=123	n=161	n=140	n=194	n=181	n=110
大きな効果が出ている	129	20.3	22.7	11.0	23.1	5.4	22.3	23.6	21.1	25.0	26.8	13.8	10.9
効果が出ている	337	53.0	51.0	55.9	56.5	35.1	53.7	51.2	53.4	50.0	52.6	55.2	54.5
どちらともいえない	142	22.3	23.5	24.3	15.7	45.9	19.0	22.0	23.6	20.7	15.5	27.1	30.0
あまり効果が出ていない	19	3.0	2.0	4.4	4.6	10.8	4.1	1.6	1.9	2.1	4.1	2.2	3.6
まったく効果が出ていない	9	1.4	0.8	4.4	0.0	2.7	0.8	1.6	0.0	2.1	1.0	1.7	0.9
全体	636	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q20_2 利用しているICT機器やサービスについて、ご自身の移動に関する業務の負担軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。／記録・日報作成の効率化を図るアプリの活用

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=767	n=460	n=143	n=164	n=44	n=120	n=209	n=182	n=159	n=211	n=221	n=172
大きな効果が出ている	165	21.5	22.2	14.7	25.6	11.4	21.7	25.4	20.9	20.1	23.7	19.5	22.7
効果が出ている	368	48.0	46.3	53.8	47.6	45.5	54.2	44.0	52.2	45.9	46.9	52.9	44.2
どちらともいえない	196	25.6	27.2	27.3	19.5	38.6	24.2	25.4	22.0	27.7	23.7	22.2	30.8
あまり効果が出ていない	28	3.7	3.3	2.1	6.1	4.5	0.0	4.3	2.7	5.7	3.8	3.6	1.7
まったく効果が出ていない	10	1.3	1.1	2.1	1.2	0.0	0.0	1.0	2.2	0.6	1.9	1.8	0.6
全体	767	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q20_3 利用しているICT機器やサービスについて、ご自身の移動に関する業務の負担軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。／訪問シフト・訪問ルートの効率化・自動化を図るアプリの活用

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=301	n=199	n=48	n=54	n=18	n=59	n=60	n=77	n=63	n=97	n=97	n=40
大きな効果が出ている	67	22.3	26.1	8.3	20.4	0.0	20.3	21.7	26.0	14.3	23.7	21.6	30.0
効果が出ている	159	52.8	48.7	66.7	55.6	61.1	61.0	50.0	49.4	61.9	44.3	55.7	55.0
どちらともいえない	58	19.3	20.1	18.8	16.7	27.8	15.3	25.0	18.2	17.5	23.7	18.6	12.5
あまり効果が出ていない	13	4.3	4.0	2.1	7.4	11.1	3.4	1.7	5.2	4.8	6.2	3.1	2.5
まったく効果が出ていない	4	1.3	1.0	4.2	0.0	0.0	0.0	1.7	1.3	1.6	2.1	1.0	0.0
全体	301	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q20_4 利用しているICT機器やサービスについて、ご自身の移動に関する業務の負担軽減に効果が出ていると感じるものはありますか。／職員との連絡調整や予定確認の効率化に向けたグループウェアの活用

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=521	n=322	n=105	n=94	n=25	n=99	n=133	n=94	n=105	n=160	n=164	n=86
大きな効果が出ている	109	20.9	23.9	10.5	22.3	12.0	17.2	24.8	23.4	25.7	23.1	16.5	17.4
効果が出ている	280	53.7	50.0	61.9	57.4	60.0	65.7	51.1	48.9	54.3	53.8	54.9	53.5
どちらともいえない	100	19.2	19.9	20.0	16.0	16.0	15.2	20.3	21.3	17.1	15.6	22.6	22.1
あまり効果が出ていない	19	3.6	4.0	3.8	2.1	12.0	1.0	3.0	5.3	1.0	5.0	3.0	4.7
まったく効果が出ていない	13	2.5	2.2	3.8	2.1	0.0	1.0	0.8	1.1	1.9	2.5	3.0	2.3
全体	521	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_1 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／仕事の内容・やりがい

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
満足	588	19.8	19.1	18.4	23.0	19.8	16.8	22.7	21.2	21.4	20.1	19.1	18.5
やや満足	975	32.9	30.9	35.1	35.3	32.9	32.7	35.1	32.0	33.4	35.5	34.4	26.7
普通	1,173	39.5	40.4	40.2	36.7	40.7	42.5	34.8	41.1	40.1	35.9	39.4	44.0
やや不満	177	6.0	7.5	4.5	3.8	5.4	6.5	5.1	4.2	3.7	7.2	5.3	7.7
不満	54	1.8	2.1	1.8	1.2	1.2	1.5	2.3	1.5	1.3	1.3	1.8	3.1
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_2 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／能力や仕事ぶりに応じた賃金の水準

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
満足	328	11.1	9.9	10.4	14.6	7.0	9.9	11.2	14.2	12.6	10.0	9.7	11.9
やや満足	537	18.1	16.6	19.5	20.1	16.3	16.8	18.8	19.0	19.1	17.4	18.2	18.0
普通	1,180	39.8	37.5	42.8	41.9	42.6	43.0	38.4	41.2	42.5	39.2	38.7	39.2
やや不満	553	18.6	20.6	16.3	16.4	22.9	18.5	20.7	15.4	16.4	20.6	19.9	16.8
不満	369	12.4	15.3	11.0	7.0	11.2	11.9	11.0	10.2	9.5	12.8	13.4	14.2
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_3 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／自身の利用者への対応力

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
満足	271	9.1	8.0	9.0	12.0	5.0	5.9	12.1	10.5	10.9	7.5	9.0	9.7
やや満足	806	27.2	26.1	27.8	29.1	21.7	23.7	29.3	30.4	28.4	28.1	29.4	22.2
普通	1,702	57.4	59.4	56.3	53.6	67.1	63.8	53.3	52.9	55.2	58.3	55.6	60.3
やや不満	166	5.6	5.7	6.0	4.9	5.8	6.0	5.0	5.1	4.6	5.8	5.7	6.1
不満	22	0.7	0.8	0.8	0.5	0.4	0.6	0.3	1.0	0.9	0.2	0.4	1.6
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_4 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／訪問介護員の仕事に対する社会的評価

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
満足	150	5.1	4.1	5.6	6.7	2.3	4.6	5.6	6.4	5.5	3.8	4.1	7.7
やや満足	310	10.4	9.5	11.7	11.4	10.5	10.2	12.4	9.5	13.0	9.8	9.2	10.0
普通	1,189	40.1	36.7	42.8	45.4	47.7	42.4	40.2	39.5	40.4	38.5	38.7	43.8
やや不満	870	29.3	30.9	27.8	27.2	27.9	30.5	28.0	28.7	27.7	33.1	30.4	24.4
不満	448	15.1	18.8	12.1	9.3	11.6	12.3	13.8	15.9	13.5	14.8	17.6	14.0
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_5 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／労働時間の長さ

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
負担が大きい	224	7.5	11.2	5.1	1.4	3.5	6.8	6.8	7.3	8.0	7.7	8.4	5.9
やや負担が大きい	563	19.0	24.5	15.9	9.0	18.6	19.3	20.8	16.1	15.8	21.7	20.5	17.3
普通	1,658	55.9	55.0	56.6	57.2	60.5	56.1	54.2	58.0	54.7	55.8	53.9	59.3
あまり負担はない	350	11.8	5.8	15.4	22.5	14.0	11.9	11.5	12.6	14.3	10.8	12.1	9.9
負担はない	172	5.8	3.6	7.0	9.9	3.5	6.0	6.7	6.0	7.1	3.9	5.2	7.6
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_6 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／通勤時間の長さ

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
負担が大きい	116	3.9	4.4	4.2	2.3	3.1	2.8	4.0	3.1	3.8	3.7	4.7	3.3
やや負担が大きい	339	11.4	11.0	12.4	11.4	8.1	13.9	11.5	10.8	10.9	13.1	12.2	8.6
普通	1,378	46.4	46.6	43.7	49.0	48.4	48.4	43.0	49.6	45.6	47.8	45.9	46.6
あまり負担はない	585	19.7	18.4	20.1	22.5	20.9	17.7	22.4	20.3	21.4	16.9	20.8	20.6
負担はない	549	18.5	19.5	19.7	14.8	19.4	17.3	19.1	16.2	18.2	18.5	16.5	20.9
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_7 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／訪問にかかる移動時間の長さ

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
負担が大きい	140	4.7	5.1	5.1	3.5	4.7	4.3	4.0	4.4	4.7	5.6	5.8	2.3
やや負担が大きい	505	17.0	16.0	17.4	19.2	18.6	18.3	18.0	13.5	19.5	21.3	19.8	4.9
普通	1,418	47.8	50.1	43.4	46.9	50.0	46.4	46.4	51.6	50.6	53.0	48.6	36.1
あまり負担はない	455	15.3	13.8	16.2	18.3	12.8	13.6	16.8	16.5	15.4	15.0	14.9	16.5
負担はない	449	15.1	15.1	18.0	12.2	14.0	17.4	14.8	14.0	9.8	5.0	10.9	40.2
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_8 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／移動の際の自動車等の運転

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
負担が大きい	136	4.6	5.2	4.6	3.0	5.0	5.4	4.3	3.1	5.3	5.7	5.0	1.6
やや負担が大きい	425	14.3	14.0	14.0	15.4	13.6	18.2	16.5	7.9	17.2	18.1	14.9	5.6
普通	1,115	37.6	39.1	36.5	35.0	48.1	39.3	33.4	36.1	41.1	42.8	36.3	28.0
あまり負担はない	371	12.5	12.9	13.1	11.0	13.6	14.2	14.6	10.5	15.2	14.2	11.8	8.2
負担はない	308	10.4	10.7	9.0	11.1	12.8	10.9	10.4	7.9	9.2	8.5	9.5	15.3
自動車等を運転することはない	612	20.6	18.1	22.8	24.5	7.0	12.0	20.8	34.5	12.0	10.7	22.5	41.2
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_9 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／身体的な負担の水準

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
負担が大きい	293	9.9	13.1	8.8	3.2	9.3	9.4	9.6	7.6	8.3	10.1	11.9	8.6
やや負担が大きい	865	29.2	31.0	27.2	26.8	25.2	29.6	30.9	27.0	30.2	32.1	28.4	25.7
普通	1,439	48.5	46.4	49.2	53.0	51.9	49.6	46.1	52.3	48.7	47.3	48.0	49.8
あまり負担はない	257	8.7	6.9	10.3	11.3	12.4	7.4	9.3	8.6	9.2	7.9	8.6	9.7
負担はない	113	3.8	2.7	4.5	5.8	1.2	4.0	4.0	4.4	3.7	2.6	3.1	6.3
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_10 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／精神的な負担の水準

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
負担が大きい	441	14.9	20.6	10.5	5.6	13.6	12.2	14.9	12.3	10.8	17.6	16.2	14.2
やや負担が大きい	986	33.2	34.6	33.7	29.4	36.8	36.2	34.9	29.2	34.5	36.9	30.4	30.3
普通	1,240	41.8	38.6	42.0	49.3	41.9	41.9	39.0	47.1	43.2	36.9	44.5	42.8
あまり負担はない	206	6.9	4.3	10.5	9.4	7.0	6.9	7.0	7.9	7.7	6.6	6.5	7.6
負担はない	94	3.2	1.9	3.2	6.2	0.8	2.8	4.2	3.5	3.8	1.9	2.3	5.1
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22_11 訪問介護の業務に関して、以下の項目についてどのように感じるか教えてください。／訪問介護員の仕事に対する総合的な満足感

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
満足	267	9.0	8.2	9.3	10.7	7.0	6.8	11.8	9.9	10.7	8.5	8.4	8.7
やや満足	760	25.6	24.2	26.7	27.9	24.4	24.0	28.1	24.9	25.7	29.3	25.2	21.4
普通	1,443	48.6	47.6	49.9	49.9	56.2	53.8	43.5	49.6	50.1	44.1	49.1	51.7
やや不満	376	12.7	14.5	11.5	9.6	10.1	11.9	12.4	12.4	10.1	14.4	13.0	12.9
不満	121	4.1	5.6	2.7	2.0	2.3	3.5	4.2	3.2	3.4	3.7	4.3	5.3
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q23 あなたの訪問介護員としての就業継続意向を教えてください。

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
			常勤	非常勤	登録ヘルパー	地域区分A	地域区分B	地域区分C	地域区分D	0%	30%未満	30%～100%未満	100%
		n=2,967	n=1,598	n=712	n=657	n=258	n=649	n=644	n=684	n=676	n=839	n=813	n=607
訪問介護員として働き続けたい	1,488	50.2	36.7	60.0	72.3	51.9	50.4	55.4	47.7	54.3	49.5	50.3	47.0
サービス提供責任者として働き続けたい	326	11.0	18.5	3.8	0.5	10.1	9.6	12.7	11.7	11.1	13.2	11.6	6.4
事業所の管理者として働き続けたい	58	2.0	3.4	0.1	0.3	0.4	1.4	1.2	2.3	1.9	1.5	1.4	3.3
訪問介護員以外のサービスで介護の仕事を続けたい	142	4.8	6.0	4.6	2.0	5.0	6.0	4.2	5.0	5.0	5.8	4.6	3.5
介護の仕事をやめたい	181	6.1	7.4	5.6	3.5	7.4	5.9	4.8	5.7	6.4	5.5	6.2	6.9
業界を問わず働くこと自体をやめたい	59	2.0	2.3	1.7	1.5	1.6	1.7	1.9	2.3	2.4	1.5	2.2	2.0
わからない	645	21.7	23.2	22.3	17.7	23.3	22.5	17.4	22.5	16.7	20.6	21.9	28.5
その他	68	2.3	2.5	1.8	2.3	0.4	2.6	2.3	2.8	2.2	2.3	2.0	2.5
全体	2,967	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q24 あなたが訪問介護員として働き始めた当初と比較して、最近、特に増加したと感じる業務の内容を教えてください。(複数回答)

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
		n=2,967	常勤 n=1,598	非常勤 n=712	登録ヘルパー n=657	地域区分A n=258	地域区分B n=649	地域区分C n=644	地域区分D n=684	0% n=676	30%未満 n=839	30%～100%未満 n=813	100% n=607
訪問宅への移動に要する時間の増加	361	12.2	12.4	11.1	12.8	14.7	12.2	13.7	8.2	11.8	16.6	13.8	4.6
訪問回数の増加	683	23.0	26.2	20.9	17.7	24.4	22.3	25.2	19.2	17.8	28.0	26.6	17.8
短時間の身体介護(20分未満)の増加	380	12.8	15.0	11.2	9.1	10.1	14.3	15.5	7.9	9.5	13.5	12.4	16.0
デイサービスを利用する際の送出し・お迎え	478	16.1	18.5	13.5	13.2	17.8	14.6	21.1	13.3	18.3	18.5	17.0	9.9
医療的ケアが必要な利用者、医療依存度の高い利用者へのケア	534	18.0	22.2	15.6	10.5	16.3	16.8	18.5	14.5	18.0	15.5	15.5	24.5
認知症のある利用者へのケア	1,168	39.4	42.1	36.2	36.2	37.2	39.8	41.8	33.9	33.0	42.9	40.6	40.5
独居の利用者へのケア	1,064	35.9	37.7	31.9	35.8	34.5	32.5	40.4	33.2	38.8	43.0	41.2	16.1
利用開始からすぐに施設や高齢者住宅へ入居するケース	304	10.2	12.8	7.9	6.5	12.0	10.0	11.0	9.8	11.4	11.9	11.7	4.9
家事を訪問介護員が代行するのではなく、要介護者とともに行うケース(見守り的援助)	379	12.8	13.6	11.8	11.9	15.9	14.8	12.6	9.9	12.6	18.2	14.5	3.5
その他	103	3.5	4.1	2.4	3.0	3.1	2.3	3.9	2.5	4.4	4.5	3.7	0.7
特に増加したと感じるものはない	515	17.4	12.8	19.5	26.2	14.7	16.3	14.6	24.9	19.7	12.5	16.7	21.7
わからない	224	7.5	6.3	10.7	7.3	6.6	7.7	7.6	10.1	7.1	3.7	6.8	14.0
全体	2,967	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

Q25 増加した要因として、該当するものの中で上位3つを回答してください。(複数回答)

	件数	割合	雇用形態別			地域区分別				集合住宅割合別			
		n=933	常勤 n=576	非常勤 n=202	登録ヘルパー n=155	地域区分A n=80	地域区分B n=208	地域区分C n=230	地域区分D n=162	0% n=165	30%未満 n=312	30%～100%未満 n=287	100% n=163
独居や老夫婦世帯が多くなり、在宅の介護力が低下している	645	69.1	69.4	69.8	67.1	63.8	64.4	70.9	74.1	77.0	76.3	72.1	41.7
医療的ケアが必要な利用者が多く、頻回な訪問が増えている	237	25.4	25.7	26.7	22.6	11.3	24.0	23.9	32.1	21.8	21.2	20.2	44.8
利用者自身が集団での過ごし方を望まない場合が増えている	236	25.3	24.8	25.2	27.1	25.0	25.0	26.5	29.0	27.3	22.8	27.2	25.8
利用者や家族、地域からの要望が多く、訪問回数が増えている	326	34.9	34.5	34.7	36.8	36.3	36.5	36.5	34.6	36.4	37.2	34.1	31.3
ケアマネジャーからの要望が多く、訪問回数が増えている	162	17.4	19.4	14.9	12.9	18.8	18.3	16.5	14.2	17.0	18.3	18.5	13.5
他事業所の休廃止による新規利用者の受入が増えている	94	10.1	13.9	4.0	3.9	10.0	9.1	10.0	9.3	13.9	12.5	9.8	2.5
生活全般を支える資源が地域に不足しているため	123	13.2	15.5	10.9	7.7	16.3	16.3	11.3	10.5	13.3	15.7	11.8	11.0
事業所が人員不足のため、短時間で効率的にサービス提供を行うよう求められている	248	26.6	28.1	26.7	20.6	32.5	26.4	26.1	24.7	22.4	23.4	25.4	39.9
法人の方針として、短時間で効率的にサービス提供を行うよう求められている	50	5.4	5.2	5.4	5.8	5.0	3.4	4.3	3.7	6.1	4.8	3.8	8.6
その他	30	3.2	3.1	2.5	4.5	1.3	3.8	3.5	4.9	3.6	3.2	3.5	2.5
全体	933	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

【資料６】

普及啓発用冊子

厚生労働省　令和５年度老人保健健康増進等事業

『訪問介護事業におけるサービス提供の実態等に関する調査研究事業』報告書【普及啓発版】

訪問介護事業の継続に向けて

― 調査結果と先進取組事例 ―

株式会社浜銀総合研究所

CONTENTS

はじめに：本冊子について 3

§1　アンケート調査結果にみる訪問介護事業の現状と課題　4

1．訪問介護事業継続にあたっての全般的な状況 5
2．地域性の違いに関連する課題 7
3．人材の確保・定着に関する課題 9
4．経営改善に向けた課題・方策 11
5．訪問介護事業の課題と対応事例 14

§2　ヒアリング先自治体及び事業者等での取組　15

1．移動負担/中山間地域でのサービス確保に向けた取組 15
（1）　移動に係る課題　…15
（2）　事業者による移動負担の軽減に向けた取組　…16
（3）　自治体による移動負担の軽減に向けた施策　…18

2．人材確保・定着・育成に向けた取組 21
（1）　人材に係る課題　…21
（2）　事業所による人材確保等に向けた取組　…21
（3）　自治体による人材確保等に向けた取組　…24

3．収支状況の改善に向けた取組 27
（1）　事業者による収支改善に係る課題　…27
（2）　事業者による収支改善に向けた取組　…28
（2）　自治体による収支改善等を支援する施策　…29

◇『訪問介護事業におけるサービス提供の実態等に関する調査研究事業』有識者研究員会 … 表4

はじめに：本冊子について

- 本冊子「訪問介護事業の継続に向けて ―調査結果と先進取組事例―」は、厚生労働省「令和５年度 老人保健健康増進等事業」において実施した「訪問介護事業におけるサービス提供の実態等に関する調査研究事業」の成果物の一つとして作成したものである。

- 地域包括ケアシステムを推進する上で訪問介護が在宅要介護者の生活を支える重要なサービスである一方で、訪問介護事業所においては、「近年利用者数が低下傾向にある」、「訪問介護員が人材不足で定着しにくい」、「訪問介護員が高齢化している」、などの課題が大きくなってきている状況にあると考えられる。

- また、特に中山間地域では訪問介護にかかる「移動」について他の地域よりも多く労力等を要する状況にあると考えられるが、その移動にかかるコストが報酬上に反映されにくく、地域によっては、訪問介護サービスの継続的な提供が困難になっているケースもあると考えられる。

- これらの状況を踏まえて、本調査研究事業は、訪問介護サービスの持続的な提供方策や、提供体制・経営安定等に関する取組・支援のあり方等に関する議論に資するデータを得ることを目的として実施した。

- 本調査研究事業においては、「訪問介護事業所（管理者）を対象としたアンケート調査」、「訪問介護員を対象としたアンケート調査」の２種類のアンケート調査と、訪問介護事業の事業継続に向けて先進的な取組を行っていると考えられる事業所や、効果的な施策を実施していると考えられる自治体を対象とした事例調査（ヒアリング調査）を実施した。

- 本冊子の§１では、アンケート調査結果から把握された、訪問介護サービスの提供状況・訪問介護員等の業務内容の実態や課題等の現状について、その一部を紹介する。そのうえで、§２では、事例調査から得られた、訪問介護事業の継続に向けた特徴的な取組事例を紹介する。

- 上記の本調査研究の実施の背景等を共有する、全国の訪問介護事業所の管理者の方や、自治体等の関係者の方の参考になれば幸いである。

§1 アンケート調査結果にみる訪問介護事業の現状と課題

ここでは、移動負担の問題やその他の事業運営上の課題等に着目し、訪問介護事業所の管理者ならびに訪問介護員を対象として実施したアンケート調査の結果を紹介する。

アンケート調査の実施概要

■ **調査の種類**
訪問介護事業所の管理者向け、ならびに訪問介護員向けの2種類の調査を実施した。
（以下、それぞれ「管理者向け調査」、「訪問介護員向け調査」と表記）

■ 実施時期
2023年8月・9月

■ 調査対象

【管理者向け調査】
- 厚生労働省ホームページに掲載されている訪問介護事業所の情報を母集団とした上で、事業所所在地（都道府県）別の構成比を踏まえ、5,000事業所を無作為に抽出した。
- 有効回答は856件であった。

【訪問介護員向け調査】
- 管理者向け調査の対象となった各事業所において、対象となる訪問介護員を最大5名選定していただき、調査回答のためのURL等をご案内いただいた。
- 有効回答は2,967件であった。

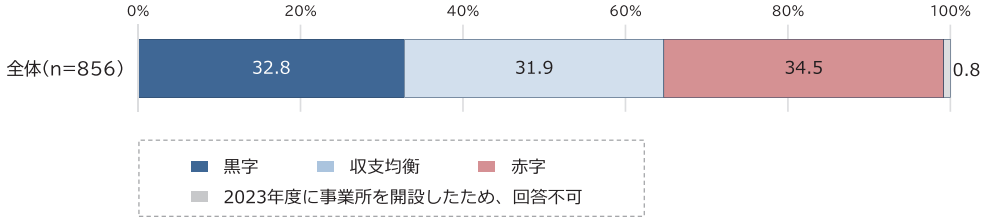
■ 調査票の配布方法
郵送により依頼状等を配布し、回答は管理者向け調査・訪問介護員向け調査いずれもWEB回答ページにより回答いただいた。

■ 地域区分の分類
- 地域性の違い等を把握するため、事業所の所在地の情報を踏まえ、地域についてA～Dの4区分で分類した。
- 地域区分Aは全域が「中山間地域」にあたると考えられる地域、地域区分Bはその市区町村の一部が中山間地域に該当すると考えられる地域、地域区分Dは都市部地域、地域区分Cはその他の全国的な地域として分類を行った。なお、いわゆる「離島」にあたる地域は今回の区分では地域区分Cに含まれる。

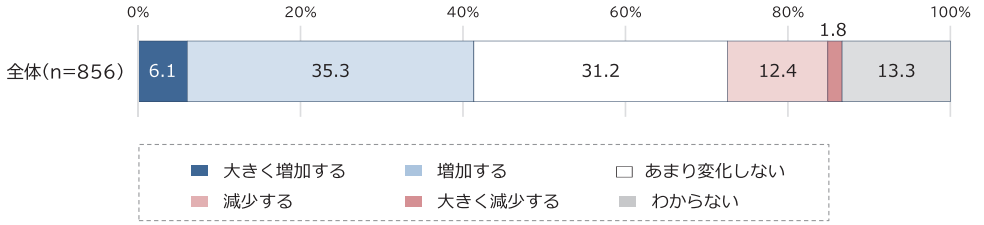
1 訪問介護事業継続にあたっての全般的な状況

- 訪問介護事業所の収支差の状況として、「赤字」との回答が34.5％と最も割合が高かった。
- 今後のサービス需要の見通しとして「減少する」と回答する割合や、事業継続の見通しとして「続けていくことは難しい」の回答割合も１割以上となっており、事業継続が難しい状況にある事業所が少なくない。
- 事業運営に関する課題意識として、「訪問介護員の確保・定着難」や「訪問介護員の高齢化」を挙げる事業者の割合は８割以上となっており、大きな課題となっている。
- 利用者宅への訪問に関する課題としては、「天候不順時の負担・不安が大きい」、「訪問介護員の高齢化に伴い移動の負担・不安が大きい」、「ガソリン代の負担が大きい」の回答割合が高くなっている。

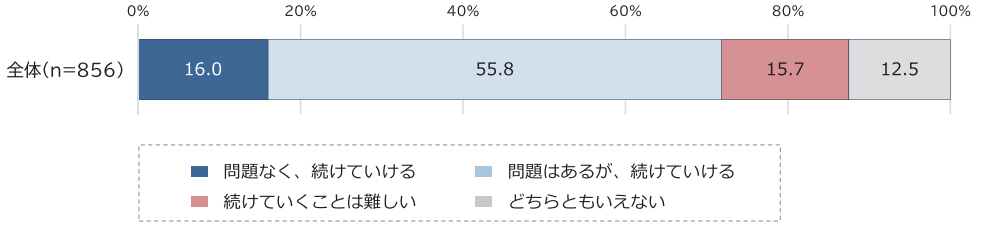
【図表1-1】 2022年度決算期の収支差



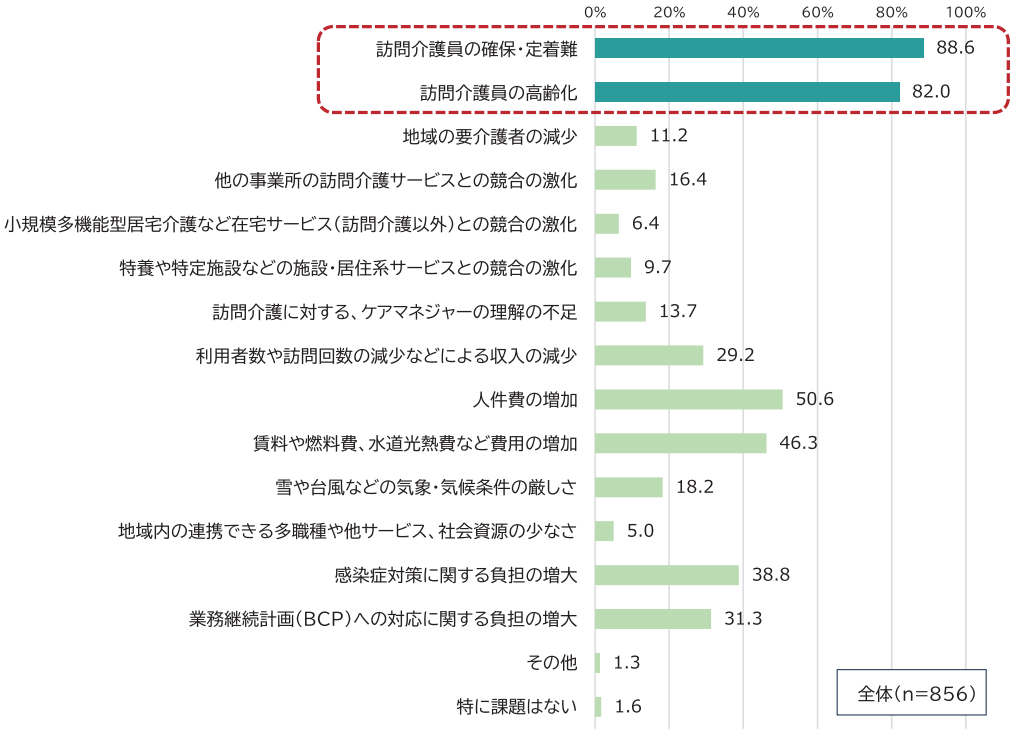
【図表1-2】 今後の訪問介護サービスの需要の見通し



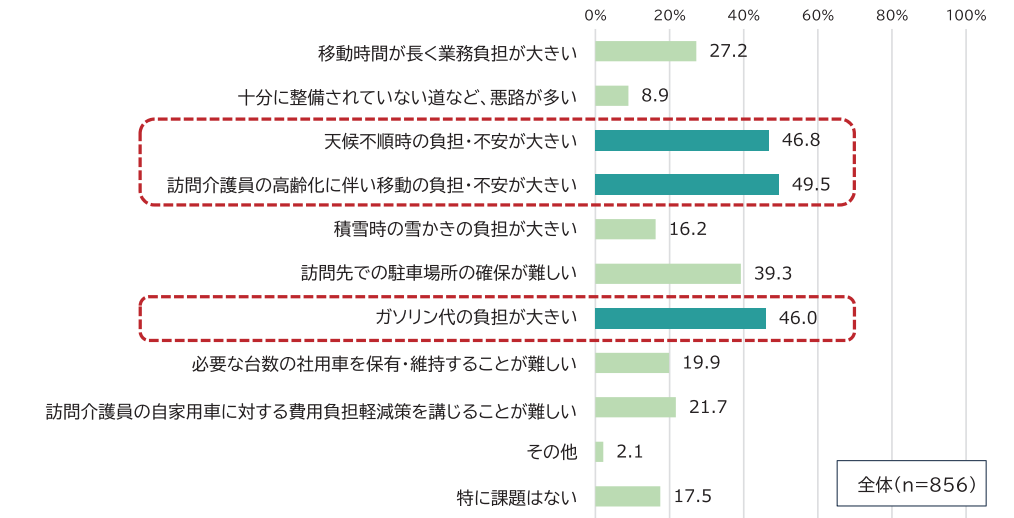
【図表1-３】 今後の事業継続の見通し



【図表1-４】　事業運営に関する課題意識



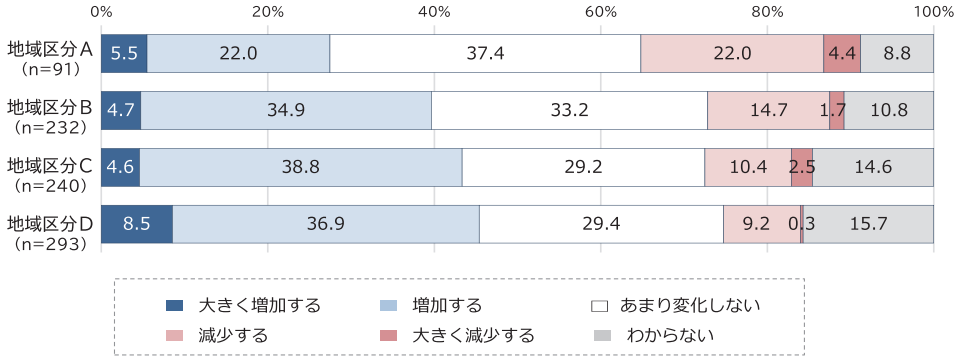
【図表1-５】　利用者宅への訪問に関する課題



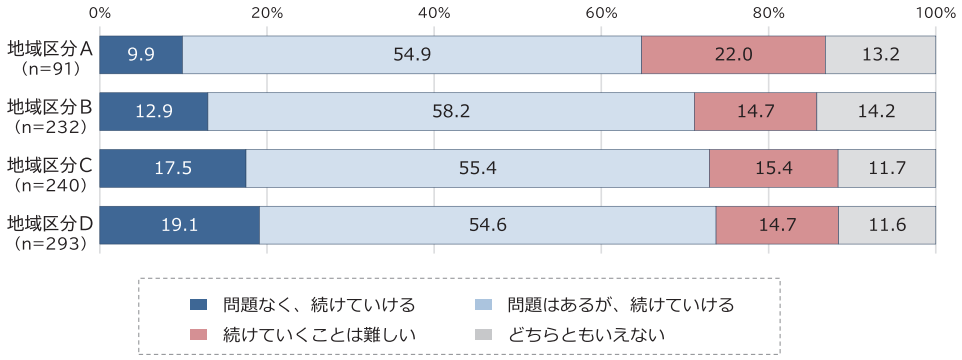
2 地域性の違いに関連する課題

- 地域区分別の集計の結果、特に中山間地域におけるサービス提供・事業継続上の課題が大きいことが明らかになった。
- 「地域区分Ａ（中山間地域【全域】）」の事業所では、今後のサービス需要の見通しとして「減少する」、事業継続の見通しとして「続けていくことは難しい」と回答する割合が他の地域と比べ高くなっている。
- また、「地域区分Ａ（中山間地域【全域】）」においては、「常勤の訪問介護員１人・１日当たりの一般的な移動時間（１日の合計）」や「常勤の訪問介護員１人・１日当たりの一般的な移動距離（１日の合計）」の平均値が高いという結果であった。
- 「地域区分Ａ（中山間地域【全域】）」の事業所では地域性の違いにより、移動にかかる効率化を図ることが難しい状況にあるとも考えられ、「可能な限り利用者宅の近くに住む職員が訪問するよう調整」や「利用者宅との直行直帰を多くするよう調整」の割合が他の地域区分と比べ低くなっている。

【図表1-６】　今後の訪問介護サービスの需要の見通し（地域区分別）

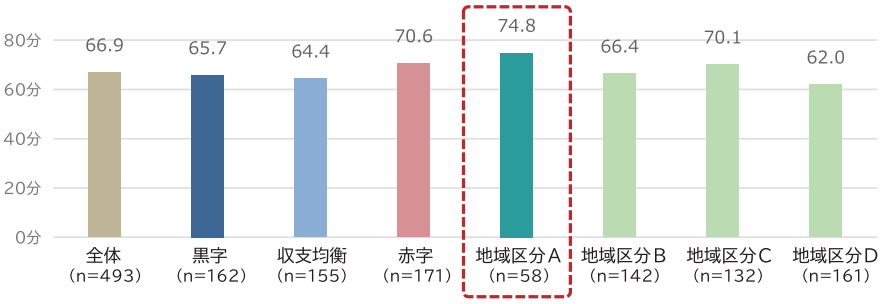


【図表1-7】　今後の事業継続の見通し（地域区分別）



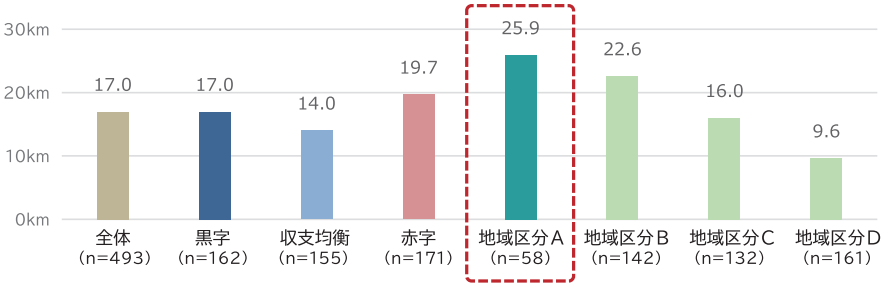
【図表1-８】 常勤の訪問介護員１人・１日当たりの一般的な移動時間（１日の合計）

（平均値、全体・収支差の状況別、地域区分別）

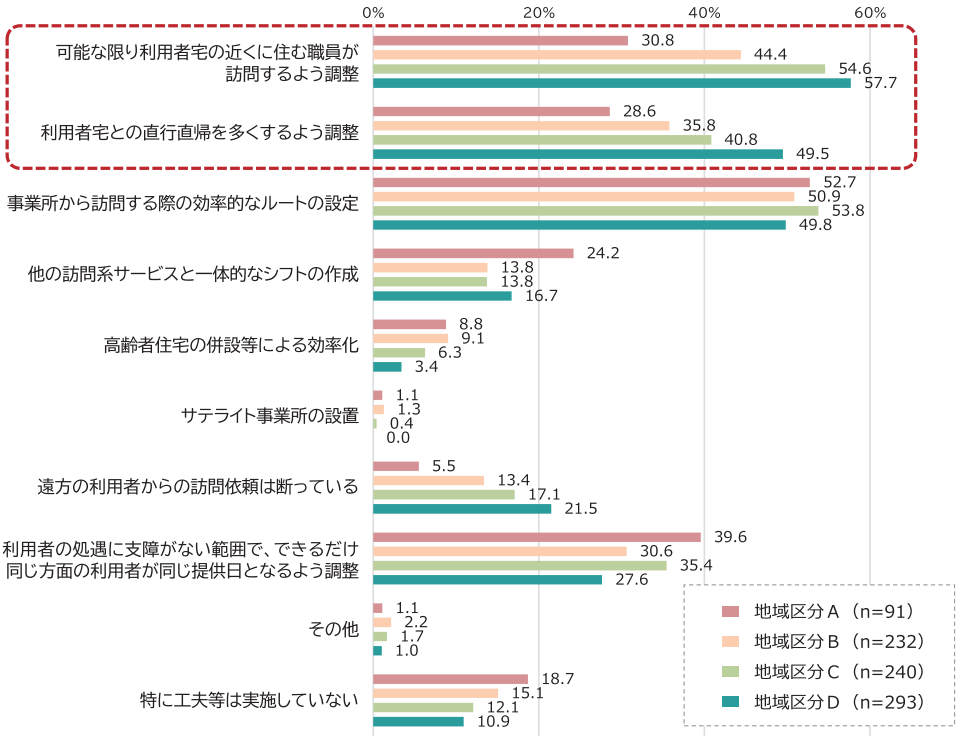


【図表1-９】 常勤の訪問介護員１人・１日当たりの一般的な移動距離（１日の合計）

（平均値、全体・収支差の状況別、地域区分別）



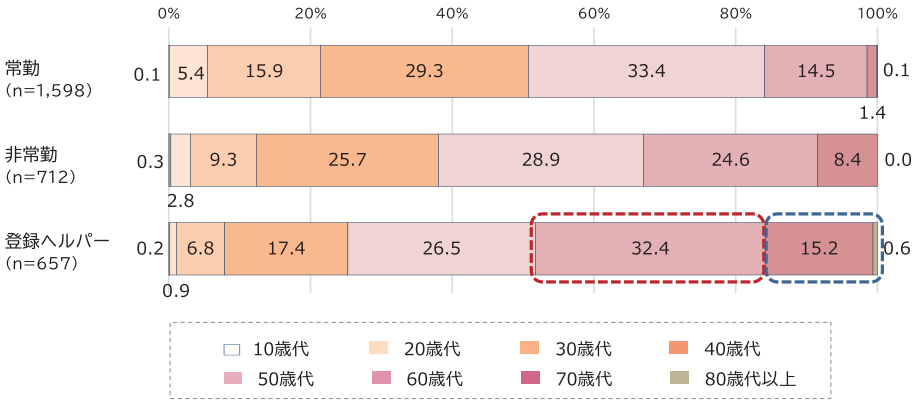
【図表1-10】 移動を効率的に行うための工夫等（地域区分別）



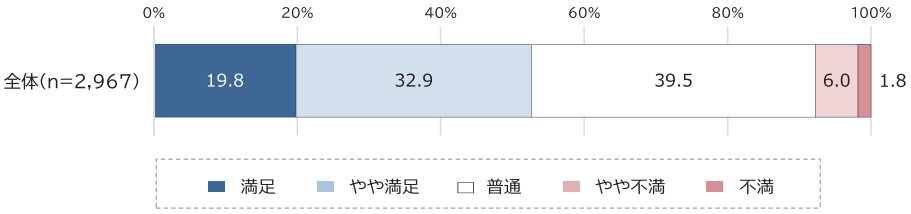
3 人材の確保・定着に関する課題

- 「訪問介護員の確保・定着難」や「訪問介護員の高齢化」といった、人材確保・定着に関する点が大きな課題の一つであるということは既に示したとおりである。この点に関して、今回実施した「訪問介護員向け調査」の結果を見ると、アンケート回答者の年齢について、「登録ヘルパー」の方については「60歳代」の割合が最も高いという状況であった。また、「70歳代」や「80歳代以上」の回答が合わせて15.8%となっている。
- 訪問介護員の業務に関する満足度に関する回答として、「仕事の内容・やりがい」については「満足」と「やや満足」を合わせた割合が５割を超えるが、負担感について、「身体的な負担の水準」については約４割、「精神的な負担の水準」については約５割の方が「負担が大きい」または「やや負担が大きい」という回答であった。

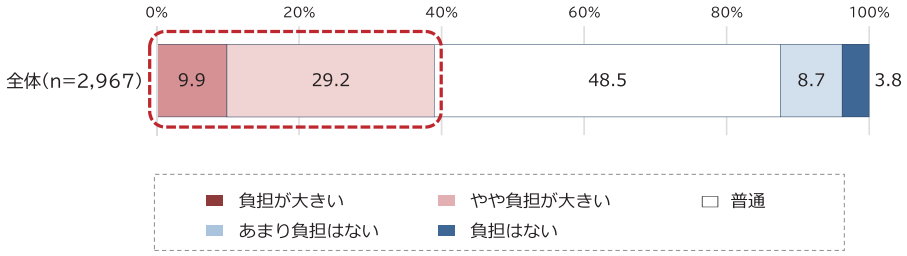
【図表1-11】 回答者の年齢（雇用形態別）



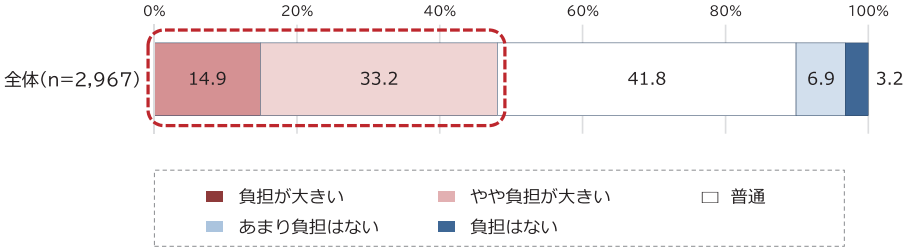
【図表1-12】 訪問介護の業務に関する満足度・負担感「仕事の内容・やりがい」



【図表1-13】　訪問介護の業務に関する満足度・負担感「身体的な負担の水準」



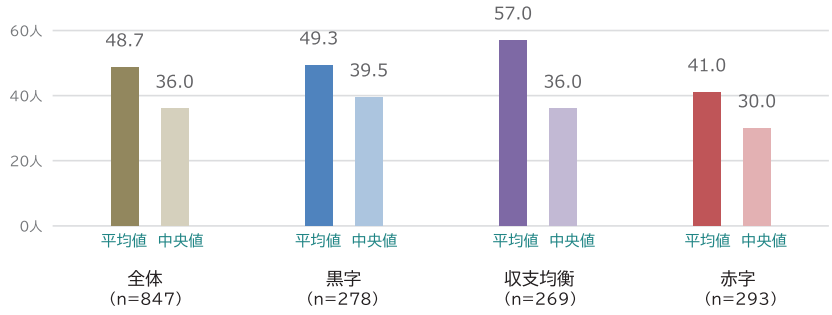
【図表1-14】　訪問介護の業務に関する満足度・負担感「精神的な負担の水準



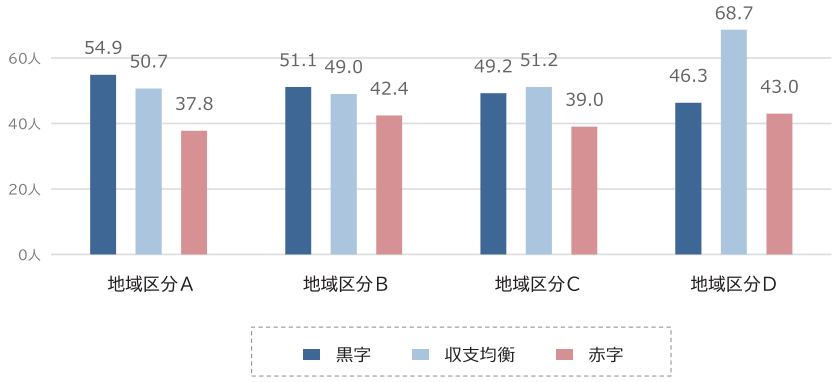
4 経営改善に向けた課題・方策

- 事業継続・経営改善の方策について探ることを目的に、収支差の状況別に集計を行った。
- 収支差が「黒字」の事業所においては、通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数が「赤字」の事業所に比べて多い傾向にあり、また、要介護度がより高い利用者の人数が相対的に多いという状況にあった。（なお、これらの傾向は地域区分別に集計を行っても同様にみられる。）
- また、「黒字」の事業所においては、事業継続や業務改善に向けて取り組んでいることとして、「身体介護や重度者への注力」、「アセスメントの強化やADLの改善を通じたサービスの見直し」、「訪問介護員の介護技術の育成・多様な状況に臨機応変に対応できる対応力の強化」、「サービス提供責任者の確保・育成」、「訪問介護員の定着に向けた働きやすい環境づくり」、「ICT機器等の活用による業務効率化・負担軽減」などの割合が他の事業所に比べて高くなっている。

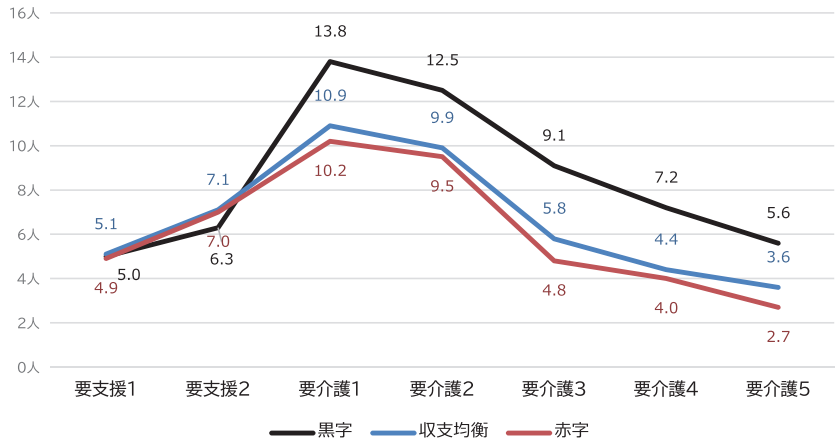
【図表1-15】 通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数（全体、収支差の状況別）



【図表1-16】 通常の事業の実施地域内に居住する利用登録者数の平均値（地域区分別、収支差の状況別）

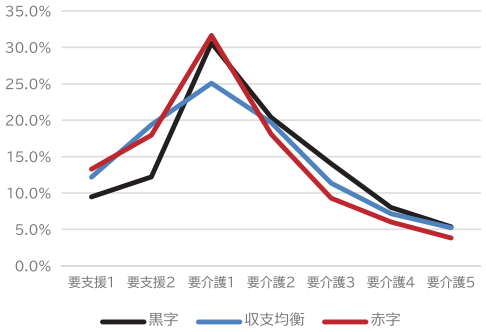


【図表1-17】 要介護度別利用者数（平均値、収支差の状況別）

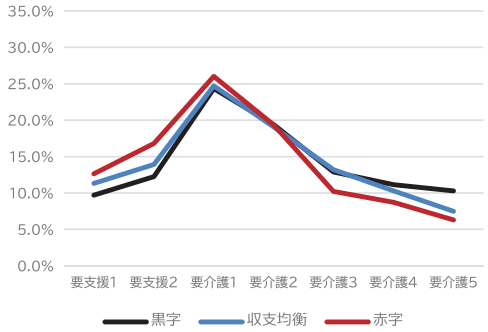


【図表1-18】 要介護度別利用者構成（地域区分別、収支差の状況別）

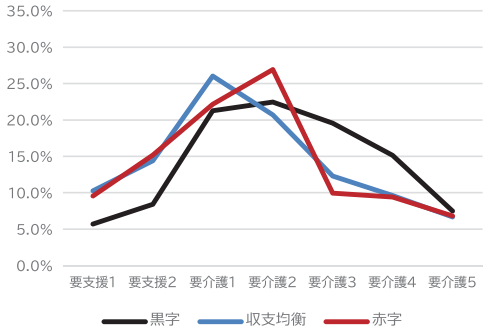
地域区分Ａ：構成比



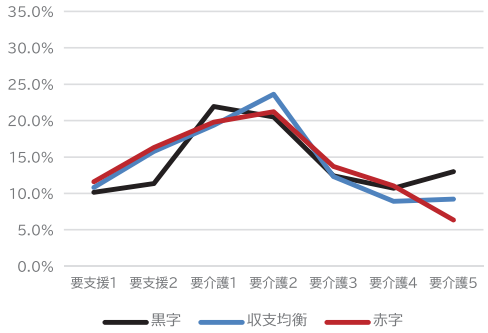
地域区分Ｂ：構成比



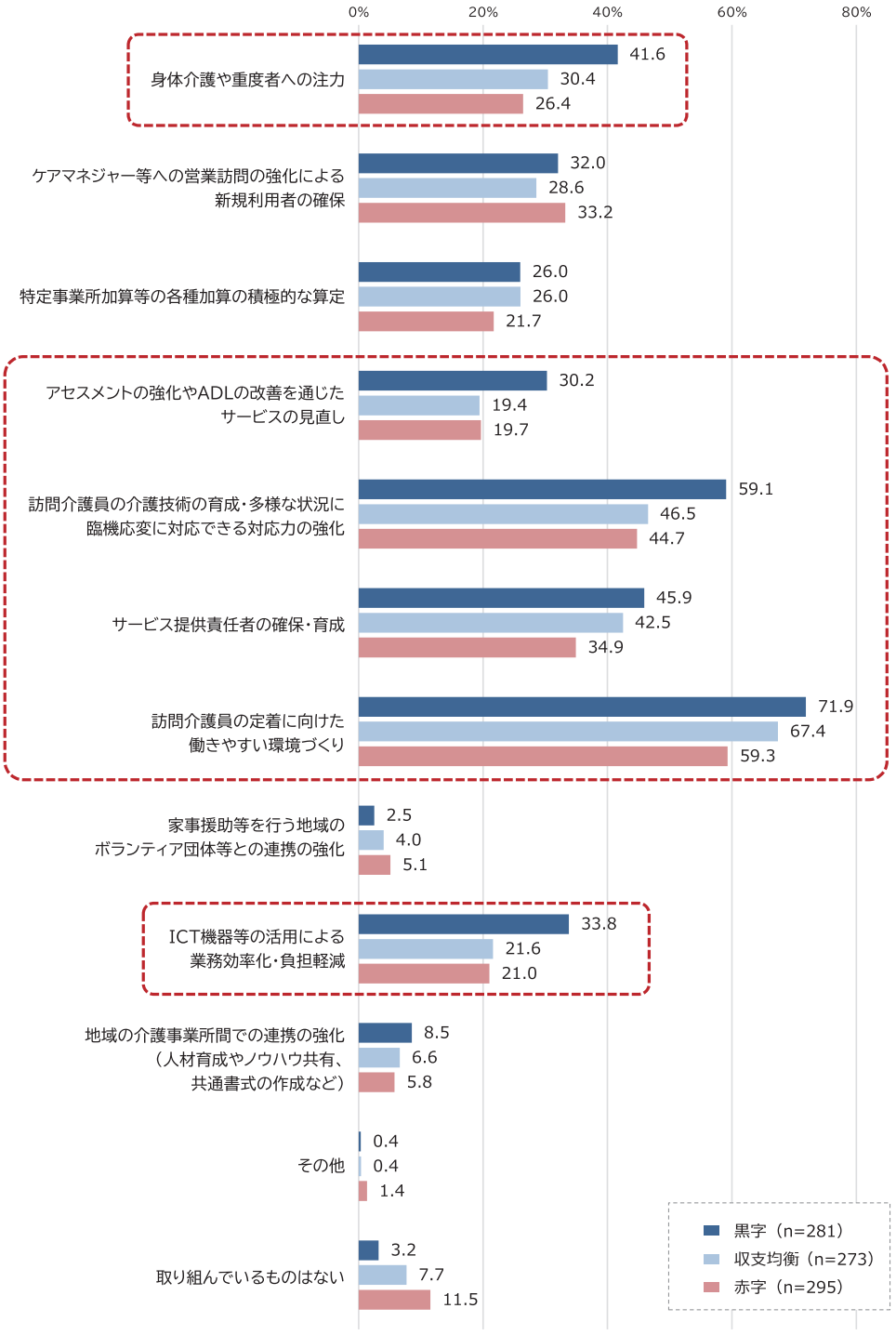
地域区分Ｃ：構成比



地域区分Ｄ：構成比



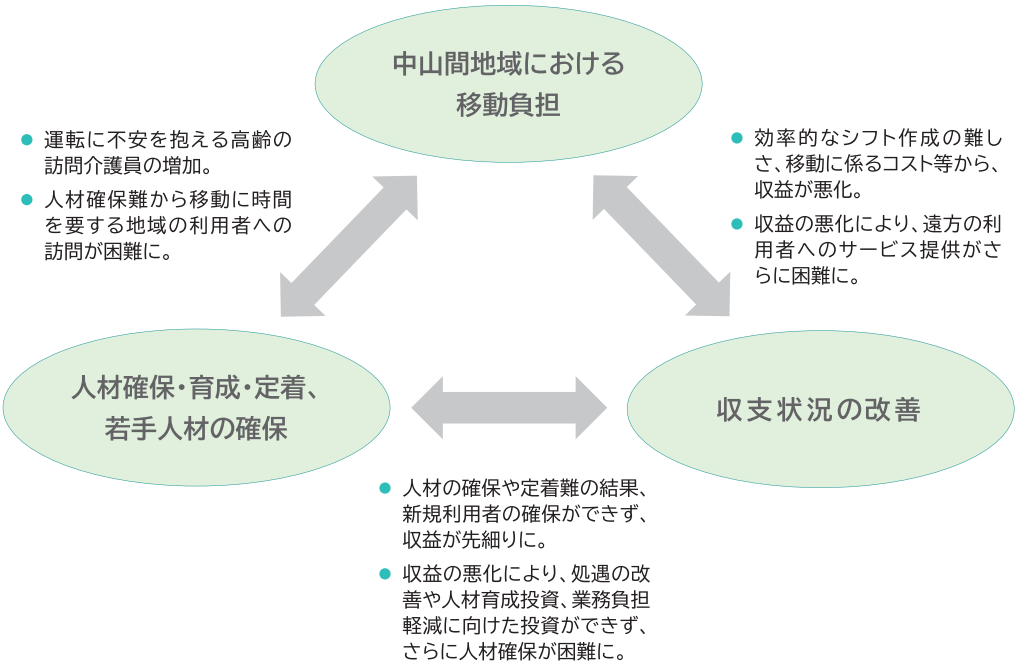
【図表1-19】 事業継続や業務改善に向けて取り組んでいること（収支差の状況別）



5 訪問介護事業の課題と対応事例

- 本セクションの**図表1-4**の結果を見ると、訪問介護事業の運営上の課題として、訪問介護員の確保や高齢化の問題、各種支出の増加に関するものが多くなっている。
- また、本調査研究の主要テーマの一つであった移動の問題についても、利用者宅への訪問に当たり、約８割の回答事業所が何らかの課題を有しているという結果が見られる（**図表1-5**）。
- アンケート調査による上記の課題については、別途実施した自治体や事業所向けのヒアリング調査においても同様の意見が聞かれた。
- これらの調査結果を踏まえ、本冊子では、訪問介護事業の継続に向けた課題として、「中山間地域における移動負担」「人材確保・育成・定着、若手人材の確保」「収支状況の改善」という３点に着目し、次のセクションにおいてこれらの課題への対応に係る先進事例を紹介していく。

【図表1-20】 本冊子で対応事例を紹介する課題



§2 ヒアリング先自治体及び事業者等での取組

ここでは、ヒアリング調査の結果を踏まえ、§１で整理した訪問介護事業の継続に向けた３つの課題に対し、各地の訪問介護事業者や自治体において実施されている対応策を紹介する。

1 移動負担/中山間地域でのサービス確保に向けた取組

（１）移動に係る課題

訪問介護事業は、利用者の居宅を訪問してケアを提供するというサービスの特性上、多くの場合、事業所から利用者宅への、あるいは利用者宅間での移動が発生する。

しかしながら、過疎化の進む中山間地域等においては、地域内の人口密度が低く利用者宅間の距離が離れていること、あるいは一部に道路事情の良くない地域があることなどの要因から、移動の効率化が極めて困難なケースが見られる。

また、中山間地域等を抱える自治体や当該地域に立地する事業所へのヒアリング調査によれば、同地域では都市部と比較して訪問介護事業所が少ない一方で、一定のサービスニーズがあるため、限られた事業所に離れた地域（例えば、自事業所のある自治体の隣の市町村など）の利用者への訪問が求められることもあり、上記の移動の問題に拍車をかけている。

加えて、訪問介護員の高齢化による運転負担の増加、積雪や路面の凍結などが生じる冬季の移動、車両のメンテナンスや損害保険に要するコストといった問題も中山間地域等の事業所において相対的に大きく、その結果、中山間地域等での訪問介護事業の継続に支障が生じている（**➡図表2-1**）。

【図表2-1】 中山間地域等の訪問介護事業における移動に係る課題（ヒアリング調査結果より）

移動に係る課題	内　容
利用者宅間等の 移動距離・移動時間	● 地域の訪問介護事業所が少なく、特定の事業所が隣の市町村や山間部など遠方の利用者を訪問しなければならないケースがある。 ● その結果、訪問介護員の移動距離や移動時間が長くなり、効率的なシフトを組むことが難しくなる。
道路事情	● 山間部などにおいて狭隘な道路や舗装がなされていない道路、崖地に隣接する道路なども多く、自動車の運転等にストレスを感じることも多い。
訪問介護員の高齢化等 による運転不安	● 訪問介護員の高齢化が進み、自動車の運転に不安を感じるケースも多い。そのため、道路事情の悪い利用者宅への訪問に対応できる職員の確保が困難になっている。
冬季等の 気候・気象条件	● 特に冬季において、路面の凍結や積雪の影響などにより移動に時間が取られる。 ● また、スリップ等の交通事故の防止や雪かき等の訪問介護員の負担が大きくなる。
ガソリン代や 高速道路代の負担	● 長距離移動が発生する場合において、高速道路代やガソリン代の負担が大きくなり、事業所の収支を圧迫する要因となる。
車両維持費	● 上記ガソリン代等の負担のほか、自動車での移動が必須の地域の場合、損害保険や自動車の修理代、駐車場代などの費用も発生し、収支に影響を及ぼす。

（２）事業者による移動負担の軽減に向けた取組

（１）に記載した課題は、事業所のある地域の地理的な状況や人口規模、交通インフラの状況などに起因する場合が多いと考えられ、単独の事業所がすべての課題を解決することは難しい面がある。

他方、独自に移動に係る問題への対応策を講じる事業者も見られ、対応の方向性としては、可能な範囲での利用者等との調整による「訪問ルートやシフトの効率化」及び「事業所と訪問先等との間の移動負担の軽減」という大きく２つが挙げられる。

① 訪問ルートやシフトの効率化

先に、中山間地域等においては、利用者の密度や地理的な特性のために訪問ルートやシフトの効率化が難しいと述べた。しかしながら、効率化の余地が皆無というわけではなく、今回ヒアリング調査を行った事業者においては、下記のような工夫がなされていた。

下記のような取組は基本的なものではあるが、継続的に実施することにより移動に係る負担をある程度軽減できるものと考えられる。

➡ 既存訪問先近辺の他利用者の確保

- 利用者宅間の移動の効率化を図るため、遠方の要介護者へのサービス提供依頼があった場合、ケアマネジャー等と調整して近隣の他の要介護者も合わせて紹介頂くようお願いしている。**【プレヒアリング調査】**

➡ 利用者等との訪問日時の調整

- 少数の遠方の利用者への訪問だけで訪問介護員の稼働時間の多くが取られることのないよう、自立支援やQOLの維持に支障のない範囲で訪問日時を利用者やその家族等と調整し、特定の方面の利用者への訪問日時等を固めるように工夫している。**【プレヒアリング調査】**

➡ 利用者宅の近隣に住まう訪問介護員による訪問

- 登録ヘルパーが自身の住まいの近隣の利用者を重点的に訪問するような訪問ルートを組み、移動負担の軽減等を図っている。**【プレヒアリング調査】**

② 事業所と訪問先等との間の移動負担の軽減

2点目の対応策である「事業所と訪問先との間の移動負担の軽減」は、介護記録や指示書といった書類の提出や確認、研修への参加などのために生じる事業所と訪問先（あるいは訪問介護員の自宅）との移動機会を減らすことを指し、ICT機器の活用がその主たる手段となっている。

下記のような取組を進めることで、移動距離・時間の削減（それに付随する残業時間の抑制や1日当たりの訪問件数の拡充）、ガソリン代等のコスト削減、交通事故のリスクの低減などの効果が期待される。

➡ ICT機器の導入・活用による書類等のやり取りの効率化

- ICT機器の導入補助金を活用して、職員1人に対して1台のタブレット端末を導入。書類提出のための遠方の利用者宅（訪問先）から事業所への移動に要する時間等の削減に繋げた。**【社会福祉法人御嵩町社会福祉協議会】**
- また、ICTを活用したリモート研修や研修動画の視聴などを進めることで、内部研修の受講等に要する移動時間の削減に繋げた。**【社会福祉法人御嵩町社会福祉協議会】**

（３）自治体による移動負担の軽減に向けた施策

中山間地域等に住む利用者へのサービス提供における移動負担の軽減と当該地域での訪問介護の確保に向けて、自治体も事業所を支援する施策を講じている。

施策の内容は、中山間地域等へのサービス提供に係る採算面の問題に対応するための自治体独自の加算のほか、長距離移動や高速道路を用いた移動に要する経費を補助するものなどが中心である。

➡ 高知県における「中山間地域介護サービス確保対策事業費補助金」

- 中山間地域等における介護サービスの充実と経営の安定のため、サービス対象者が点在する業務効率の悪い中山間地域に居住する利用者にサービス提供した事業者に対し、移動時間に応じた基本報酬への上乗せ補助等を実施（平成23年度～）。
- 訪問先が中山間地域（特別地域加算対象地域）であり、事業所から20分以上1時間未満の場合には基本報酬の15%、１時間以上の場合は35%の加算を行っている。

➡ 静岡市における「山間地域介護報酬加算補助金」

- 市域の大半を山間地域が占めるものの、サービス提供を受ける市民、サービス提供を行う事業者の大半は市街地にいることから、山間地域に住む市民へのサービスの確保・提供が課題となっている。
- 山間地域におけるサービス提供は、事業所から利用者居宅への移動距離が長く、また対象者が少数で地域的にも散在していることで事業効率が悪く、人件費負担等の負担により採算が合わないことがサービス提供を阻害する要因ではないかと考え、山間地域への介護サービス提供の確保を図ることを目的として開始（平成15年度～）。
- 山間地域（山村振興法（昭和40年法律第64号）第７条第１項の規定により振興山村の指定を受けた区域）に居住する居宅要介護被保険者等に関して、介護サービスの実施に係る事業所と当該介護サービスの対象となる対象者の居所との距離が20キロメートル以上ある場合、または地理的状況等により介護サービスの確保が困難であると市長が認める対象者については当該距離が10キロメートル以上ある場合に補助を行う制度を創設した（20キロメートル以上の場合は１回2,100円、10キロメートルの基準の場合は１回1,200円）。

本節の要旨

- 訪問介護サービスにおいては、事業所から利用者宅、あるいは利用者宅間の移動が発生する。その移動に係る負担（時間、距離、費用、事故等のリスク）などが中山間地域等においては相対的に大きく、同地域でのサービスの継続を困難にしている。
- 各事業所は、訪問ルートやシフトの効率化、ICT機器を活用した事業所と訪問先との間の移動の手間の解消といった方法により、移動負担の軽減を図っている。
- また、一部の自治体では移動に要する費用の補助や独自の加算を設け、中山間地域等でのサービスの確保を図っている。

《参考》令和６年度介護報酬改定における特定事業所加算の見直しについて

令和６年度介護報酬改定により新設される訪問介護の特定事業所加算Ⅴについて、算定要件に中山間地域等で継続的なサービス提供を適切に評価する項目が盛り込まれた。当該地域等でサービス提供を行う事業所は、同加算の算定を積極的に行い、経営基盤の強化を図ることが期待される。

＜訪問介護における特定事業所加算の見直し＞

ア　看取り期における対応を適切に評価する観点から、重度者対応要件として、「看取り期にある者」に関する要件を新たに追加する。

イ　**中山間地域等において、地域資源等の状況により、やむを得ず移動距離等を要し、事業運営が非効率にならざるを得ない場合があることから、利用者へ継続的なサービスを行っていることについて新たに評価を行う。**

ウ　重度要介護者等への対応における現行要件について、実態を踏まえ一部の現行区分について見直し等を行う。【告示改正】

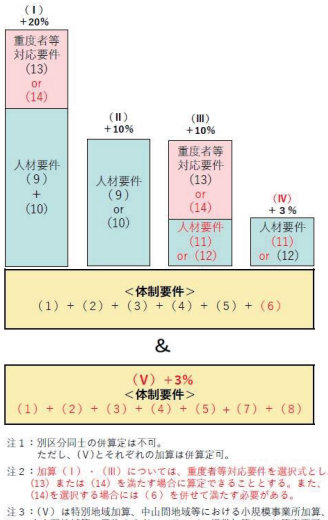
単位数

＜現行＞	
特定事業所加算（Ⅰ）	所定単位数の20%を加算
特定事業所加算（Ⅱ）	所定単位数の10%を加算
特定事業所加算（Ⅲ）	所定単位数の10%を加算
特定事業所加算（Ⅳ）	所定単位数の 5%を加算
特定事業所加算（Ⅴ）	所定単位数の 3%を加算

▶

＜改定後＞		
特定事業所加算（Ⅰ）	所定単位数の20%を加算	
特定事業所加算（Ⅱ）	所定単位数の10%を加算	
特定事業所加算（Ⅲ）	所定単位数の10%を加算	
~~特定事業所加算（Ⅳ）~~	~~所定単位数の 5%を加算~~	（廃止）
特定事業所加算（Ⅳ）	所定単位数の 3%を加算	（変更）
特定事業所加算（Ⅴ）	所定単位数の 3%を加算	（新設）

［各区分ごとの算定イメージ］



算定要件 現行の(6)を(1)に統合、(6)、(7)、(8)、(14)を新設、 現行の(12)を削除		（Ⅰ） 20%	（Ⅱ） 10%	（Ⅲ） 10%	（Ⅳ） 3%	（Ⅴ） 3%
体制要件	（1）訪問介護員等・サービス提供責任者ごとに作成された研修計画に基づく研修の実施 （2）利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項の伝達等を目的とした会議の定期的な開催 （3）利用者情報の文書等による伝達、訪問介護員等からの報告 （4）健康診断等の定期的な実施 （5）緊急時等における対応方法の明示	○	○	○	○	○
	（6）病院、診療所又は訪問看護ステーションの看護師との連携により、24時間連絡できる体制を確保しており、かつ、必要に応じて 訪問介護を行うことができる体制の整備、看取り期における対応 方針の策定、看取りに関する職員研修の実施等	○ (注2)		○ (注2)		
	（7）通常の事業の実施地域内であって中山間地域等（※1）に居住する者に対して、継続的にサービスを提供していること					○
	（8）利用者の心身の状況またはその家族等を取り巻く環境の変化に応じて、訪問介護事業所のサービス提供責任者等が起点となり随時介護支援専門員、医療関係職種等と共同し、訪問介護計画の見直しを行っていること					○
人材要件	（9）訪問介護員等のうち介護福祉士の占める割合が30%以上、又は介護福祉士、実務者研修修了者、並びに介護職員基礎研修課程修了者及び1級課程修了者の占める割合が50%以上	○	○ 又は			
	（10）全てのサービス提供責任者が３年以上の実務経験を有する介護福祉士、又は５年以上の実務経験を有する実務者研修修了者・介護職員基礎研修課程修了者・１級課程修了者	○	○			
	（11）サービス提供責任者を常勤により配置し、かつ、基準を上回る数の常勤のサービス提供責任者を１人以上配置していること			○ 又は	○ 又は	
	（12）訪問介護員等の総数のうち、勤続年数７年以上の者の占める割合が100分の30以上であること			○	○	
重度者等対応要件	（13）利用者のうち、要介護４、５である者、日常生活自立度（Ⅲ、Ⅳ、M）である者、たんの吸引等を必要とする者の占める割合が20%以上	○ 又は		○ 又は		
	（14）看取り期の利用者（※2）への対応実績が１人以上であること（併せて体制要件(6)の要件を満たすこと）	○ (注2)		○ (注2)		

注１：別区分同士の併算定は不可。
ただし、(Ⅴ)とそれぞれの加算は併算定可。

注２：加算（Ⅰ）・（Ⅲ）については、重度者等対応要件を選択式とし、(13) または (14) を満たす場合に算定できることとする。また、(14)を選択する場合には（６）を併せて満たす必要がある。

注３：(Ⅴ) は特別地域加算、中山間地域等における小規模事業所加算、中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算とは併算定不可。

（※１）中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算と同様の対象地域

（※２）医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者であること。

出所：『令和６年度介護報酬改定における改定事項について』（社会保障審議会 介護給付費分科会（第239回）参考資料１）厚生労働省老健局

2 人材確保・定着・育成に向けた取組

（１）人材に係る課題

訪問介護事業所では人材不足が課題となっている。人件費の高騰により人材確保が難しいことや、介護業界全体の人手が不足していることに加え、訪問介護特有の事情から、介護業界の中でもとりわけ求職者が少ない傾向にある。具体的には、訪問介護員１人で利用者の自宅に赴いてサービスを提供するという仕事の大変さや不安、介護職員初任者研修等を修了していなければ訪問介護員として業務に従事できない点、利用者宅までの移動負担等がハードルとなっている。

以上の理由等から、新たな人材を採用することが難しくなっていることに加え、若い世代の求職者も限定的であるため、訪問介護員が高齢化している現状がある。この結果、人材不足を理由に依頼を断らざるを得ない事態も発生している（**➡図表2-2**）。

【図表2-2】　訪問介護事業における人材に係る課題（ヒアリング調査結果より）

人材に係る課題	内　容
人材不足	● 人件費が高騰し、人材を確保できない。 ● 介護の仕事が求職者の意識に上らなくなっている。 ● 介護業界全体の人手が不足している。 ● 応募が毎年減少している。 ● 人材不足を理由に依頼を断るケースもある。
高齢化	● 訪問介護員が高齢化している。 ● 20 代の応募がほとんどなく、30～40 代の応募が多い。

（２）事業所による人材確保等に向けた取組

（１）に記載した課題は、訪問介護という仕事の特徴上、解決が難しい面もある。

しかしながら、人材に係る問題に対して、様々な取組を行う事業者も見られた。対応の方向性としては、大きく分けて「採用における取組」及び「定着における取組」という２つが挙げられる。

① 採用における取組

先に、訪問介護という仕事の特徴が、求職者のハードルとなっている面もあると述べた。しかしながら、ハードルを下げる余地は十分にある。加えて、基本的な採用に関する取組によっても、人材の確保を進めることが可能である。今回ヒアリング調査を行った事業者においては、下記のような工夫がなされていた。

➡ 正規職員等中心の採用

- 人材確保の方策として、いち早く正規職員中心の採用を実施。現在、正規職員と登録ヘルパーの比率は９対１。正規職員の方が管理工数が少なく、柔軟なシフトで働いてもらえる。さらに、正社員として入社すると様々なことを学べる他業種に引けを取らないよう、正規職員中心の採用を進めている。**【株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ】**
- 登録ヘルパーの採用が難しい中、常勤職員であれば多少の応募がある。他方、登録ヘルパーは高齢の方が多い、シフトに入れる時間が決まっているといった制約があり、常勤の採用を始めた。**【有限会社あらたケアサービス】**

➡ 採用チャネルの強化

- 毎年採用方法を変えているが、直近では、新卒者専門の人材紹介会社向けに、求める人材像に関する説明会を実施している。介護業界全体が人手不足のため、介護業界と親和性の高い業界（接客等）を希望する大学生に範囲を広げ、人材を紹介してもらっている。**【株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ】**
- 人手不足解消のため、紹介キャンペーンを実施している。職員の紹介で就職した方が実績を残した場合、紹介者と紹介された方に紹介料を支給している。**【ニチイケアセンター三沢】**
- 20～30代はSNSへの関心が非常に高いことから、採用活動にはInstagramを積極的に活用して情報を提供している。**【株式会社アカリエ】**

➡ 初任者研修受講の負担軽減

- 初任者研修受講の負担を減らすため、新卒採用の場合は、資格の有無に関わらず入職前研修として初任者研修を実施している。また、中途採用の場合は、資格保有者については実務を通じて指導を行い、資格未保有の場合は初任者研修を実施している。研修費について、新卒は無料、中途は1年以内に辞めた場合は受講者負担としている。**【株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ】**
- 初任者研修の資格保有者のみを採用していたが、人材が集まらないため、無資格でも採用することを決めた。加えて、補助金を活用して初任者研修を実施し、人材を募集した。ただ、研修開催はある程度の費用と日数がかかるため、頻繁に行うことは難しい。**【社会福祉法人御嵩町社会福祉協議会】**
- 人手不足解消のため、全社的に自社が運営する初任者研修の受講者への声掛けを通じた採用を進めている。受講者が自社に就職した場合、勤務時間や日数に応じたキャッシュバック制度も設けている。**【ニチイケアセンター三沢】**
- 若手人材確保のために、無資格や介護未経験者でも採用している。採用後、職員は初任者研修を受講するが、受講代は同法人が支払うため負担はない。**【株式会社アカリエ】**

② 定着における取組

２点目の対応策である「定着における取組」では、キャリアパスの多様化、給与・福利厚生の充実、ICTの活用による作業負担の軽減といった取組がなされていた。

下記のような取組を進めることで、既存の職員及び今後就職する職員の定着率を上げる効果が期待される。また、下記のような点に取り組み、対外的にアピールすることができれば、採用の面でも効果が期待できると考える。

➡ キャリアパスの多様化

- ポジションの変化が見せられないと社員が辞める可能性があるため、マネジャー志向の新卒者とそれ以外の新卒者それぞれの希望を踏まえたキャリアパスを用意している。**【株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ】**
- 「人材育成等に取り組む介護事業者の認証評価制度」を２年前に取得した。就職先を探す際に、同認証を取得しているか否かが一つの目安になっていると聞く。そこで約２年かけて多様なキャリアパスが実現できるキャリア制度も設計した。**【有限会社あらたケアサービス】**

➡ 給与・福利厚生の充実

- 新卒者については23万円/月、サービス提供責任者は年収400万円が見える額の給与額を設定。他業界と遜色のない額を意識している。**【株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ】**
- 訪問介護の給与を通所介護より１万円高く設定。訪問介護は１人仕事であることや求められるスキルが高いことを考慮している。**【株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ】**
- 稼働に応じて変動する賞与設定。労働が給与に反映されないとバーンアウトしてしまうので、年齢、社歴に関わらず評価することを意識している。**【株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ】**
- 待遇面において、介護業界平均の３割増しの年収を支払っている。単価の高い身体介護の比率を高め、身体介護をメインでサービスを組み立てる運用モデルを採用。顧客単価が高いKPIを設定することで、同年収を実現している。**【株式会社アカリエ】**
- ケアに入る時間が増える、いわゆる事業所の売上に貢献する時間が多いほど、賃金に反映する成果報酬型の仕組みを構築している。技術不足や不適切な接遇マナーにより担当から外れると給与に直接跳ね返るため、職員の意識やモチベーションの向上に繋がっている。**【株式会社アカリエ】**
- 福利厚生に力を入れている（図書購入制度：介護に関連する書籍は会社負担で購入可）。**【株式会社アカリエ】**
- 利用者に対する接遇マナーやホスピタリティを身に着けていれば、職員の服装や髪型に制限はない。**【株式会社アカリエ】**

➡ ICTの活用による作業負担の軽減

- ICTの活用にはかなり力を入れており、実際のケアを除く基本的な業務に関してはスマホで完結できるように行っている。**【株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ】**

（３）自治体による人材確保等に向けた取組

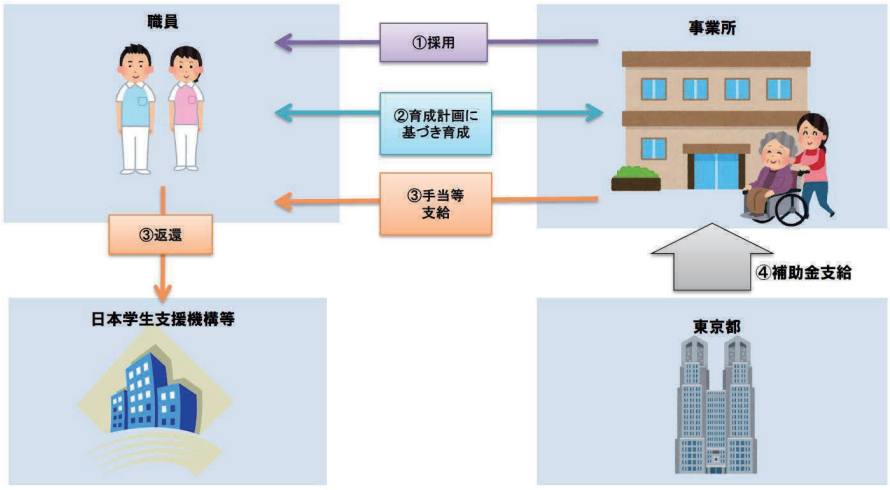
介護業界の人手不足という現状に対して、自治体も求職者へ介護業界を選択するインセンティブを付与するような施策を講じている。

施策の内容は、一定の条件を満たした常勤介護職員の奨学金の返済・育成支援及び、事業所への宿舎借り上げ支援である。

➡ 東京都における東京都介護職員奨学金返済・育成支援事業

- 介護保険事業所等が常勤介護職員（有期雇用を除く）として就職した介護業務未経験者等かつ、在学中に奨学金の貸与を受けた者に対して、返済金相当額を手当として支給する場合に、都が事業者に対して１人当たり月５万円、年60万円を上限として補助を行う。補助金対象期間は、連続した５年間である。育成計画を作成して計画的に育成するとともに、５年間で介護職員初任者研修、実務者研修を終了すること及び、介護福祉士資格を有さない者は介護福祉士国家資格を受験すること（合否問わず）が必要である。
- 平成30年度から実施し、令和４年度までの５年間で約500人の利用があった。

【図表2-3】事業の流れ

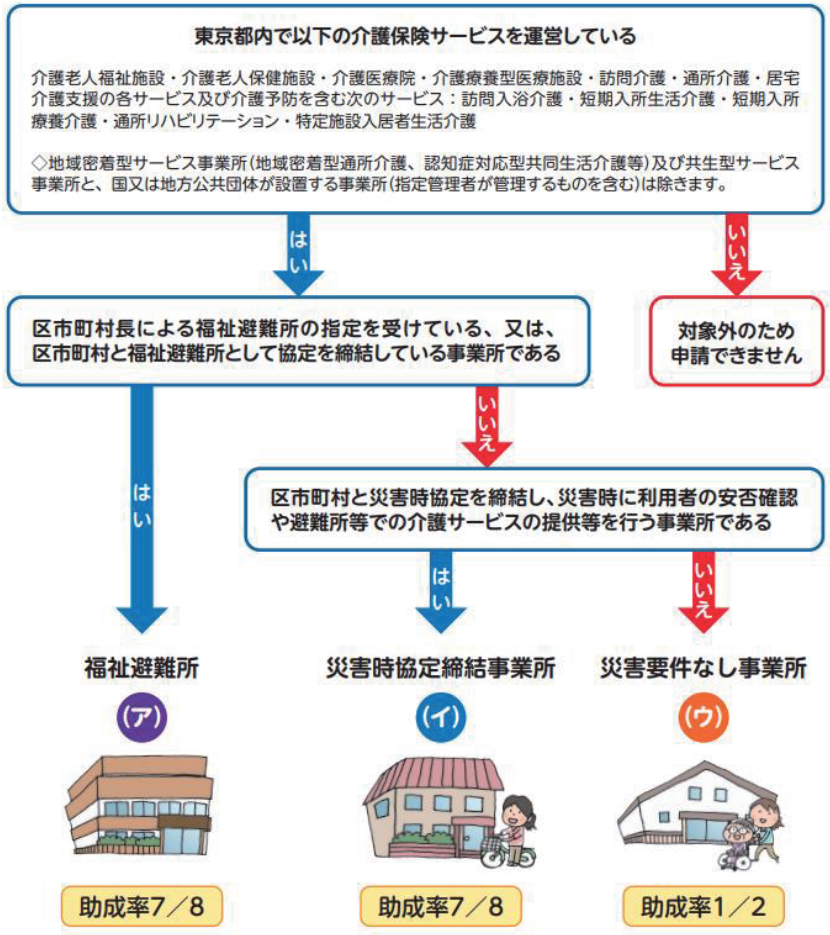


出所：『令和５年度介護職員奨学金返済・育成支援事業費補助金説明資料　Ⅱ補助金の申請手続き等について』東京都福祉局高齢者施策推進部介護保険課介護人材担当

➡ 東京都における東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業

- 本事業は介護保険サービスを提供する民間事業所等に対して、介護職員の宿舎の借り上げを支援し、住宅費負担を軽減することで、介護職員の働きやすい職場環境を実現し、介護人材の確保定着を図ることや事業所による防災の取組を計画的に進め、地域の災害福祉拠点として災害時の迅速な対応を推進することを目的とした事業である。
- 助成対象経費と助成基準額（１戸当たり月82,000円）を比較し、少ない方の額に助成率７/８を乗じた金額を助成、または、助成率１/２を乗じた金額を助成。訪問介護事業者が積極的に使うことは想定されておらず４戸が上限だが、令和４年度から在宅系のサービス事業者にも適用している。

【図表2-4】申請区分確認フローチャート



出所：公益財団法人東京都福祉保健財団ホームページ

本節の要旨

- 訪問介護サービスにおいては、人件費の高騰などを背景とした人材不足、あるいは訪問介護員の高齢化などが進行しており、事業の継続が困難となりつつある。
- 各事業所は、採用チャネルの多様化・強化や初任者研修の受講支援等の採用の取組と、給与・福利厚生の充実やICT導入による作業負担の軽減等の定着支援の取組により、人材確保や定着に努めている。
- また、一部の自治体では求職者が介護業界を選択するインセンティブとなる支援施策を設け、人材確保を後押ししている。

3 収支状況の改善に向けた取組

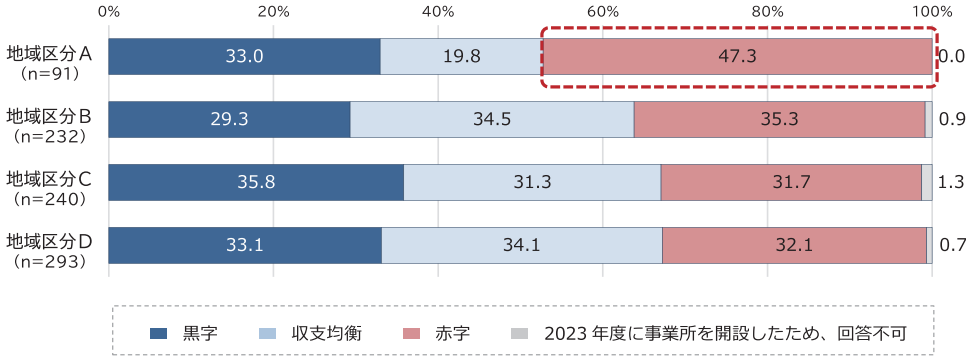
（１）事業者による収支改善に係る課題

介護事業者が訪問介護事業を安定的に提供していくためには、事業収支の黒字化を図ることも重要である。しかしながら、**図表1-1**のアンケート調査結果やヒアリング調査結果によれば、訪問介護員の確保難や一部の中山間地域等における高齢者人口の減少とそれに伴う利用者の減少などの影響により、収入の維持・拡大が難しい状況となっている**（➡図表2-６）**。

加えて、アンケート調査結果では、最近の物価高騰などを原因として、光熱費や燃料費の上昇が運営上の課題として挙げられており、支出も増加する傾向が見て取れる。

その結果、一部の事業所においては利益の確保が難しくなっているものと推察され、こうした状況は中山間地域等で顕著となっている**（➡図表2-５）**。

【図表2-５】2022年度決算期における、訪問介護事業の収支差の状況（地域区分別）



【図表2-６】訪問介護事業における売上や費用に係る課題（ヒアリング調査結果より）

収益に係る課題	内　容
利用者単価の低下	● 利用者１人当たりの平均単価が低下している。重度の方が施設に入所しやすくなったことや、総合事業の利用者の増加などが背景にある。 ● 総合事業について、対応に消極的な事業所があると、結果的に他事業所への同事業対象者に対するサービス提供依頼が多くなり、対応に係る負担が増大する。
訪問件数の伸び悩み	● 中山間地域が多いため、訪問回数を確保できず、非効率である。都市部に比べると訪問件数が限定されてしまう。
訪問スケジュールの非効率化	● 大雪により除雪作業が発生すると改めてスケジュールを組みなおす必要が生じ、結果として採算が悪化することがある。
経費の高騰	● 職員の処遇改善や最低賃金の引上げ等の影響を受け、人件費が高騰。結果的に利益の確保が厳しくなってきている。 ● 水道光熱費や燃料費が高騰しており、利益の確保が難しくなってきている。

（２）事業者による収支改善に向けた取組

① 加算の取得やサービスメニューの変更に伴う利用者単価の改善

今回のヒアリング調査によれば、（１）に記載した課題のうち、収入の拡大、とりわけ利用者単価の改善に向けて下記のような取組が行われていた。

➡ 特定事業所加算の取得

- これまで特定事業所加算を算定していなかったため、まずは特定事業所加算Ⅱを取得し、後にⅠを取得。同加算のⅠを取得するための工夫として、重度の利用者の確保や、サービスメニューの充実化（服薬確認やトイレ等の声かけ等、利用者の健康状態を訪問時に確認してケアマネジャーに随時報告等）を行った。その結果、利用者単価が20%上昇し、収支改善に繋がった。**【社会福祉法人御嵩町社会福祉協議会】**

➡ 身体介護への重点化

- 生活介護より単価が高い身体介護の提供回数を増やすことを念頭に置いている。具体的には、身体介護をメインとして、サービスを組み立てて、その評価について、KPIを設定している。実際に成果を上回ることにより、売上単価を達成。その結果、収支が改善するとともに、賃金に反映させ、職員のモチベーションの維持に繋げている。**【株式会社アカリエ】**

② 新規獲得の利用者増や訪問ルートの効率化等による訪問件数の拡大

次に、利用者数、あるいは訪問件数の増加に向けては、下記のようなケアマネジャーとの信頼関係の構築による新規顧客の獲得が重視されている。

➡ ケアマネジャーとの関係構築

- 大手法人としての信頼感やこれまで長く事業を行ってきた実績などから、地域のケアマネジャーとは「何かあればまず当事業所に相談」という関係を構築できている。採算や効率性の観点からすれば厳しい依頼などを受けることもあるが、地域のために対応していきたいと考えている。**【ニチイケアセンター三沢】**

③ 経費の削減やアイドルタイムの短縮に伴うムダの縮小

収入の増加を図ることに加え、経費削減により、支出を抑制することも必要になる。また、訪問介護員のアイドルタイム（勤務時間中であるにも関わらず、仕事のない時間）の削減や事務効率化など

により、移動に係る時間・コストの抑制や訪問余力の捻出を図ることも収支の両面から重要と考えられる。今回ヒアリング調査を実施した事業者においては、経費やアイドルタイムの削減などに向けて下記のような工夫がなされていた。

➡ 訪問ルートの効率化によるアイドルタイムの短縮

- 訪問件数が多いため、30分支援して10分移動という形を基本としており、なるべくアイドルタイムが生じないように訪問ルートを決めている。また、訪問間の時間が空いた場合、事務所でのPC作業、出先での研修動画の視聴などをしてもらい、その時間が無駄にならないような工夫をしている。**【社会福祉法人御嵩町社会福祉協議会】**

➡ ICT機器の活用による業務の効率化

- コールセンターの設置。各事業所が２コール以内に電話に出ない場合、コールセンターに転送され、センターが対応（利用者データや職員の動きをセンターが把握できるようなシステムを構築）。加えて、自社独自の請求システムを構築し、業務効率化を行い、時間削減に繋がっている。**【株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ】**

（３）自治体による収支改善等を支援する施策

事業者の収支改善に向けた自治体の取組については、例えば、ICTに関する補助金等が挙げられる。また、直接的に収支の改善に直結はしないものの、事業者の新たな収益基盤・収益力の強化（身体介護の提供力の向上等）、あるいは利用者に対するサービスの質の向上に繋がる施策も講じられている。

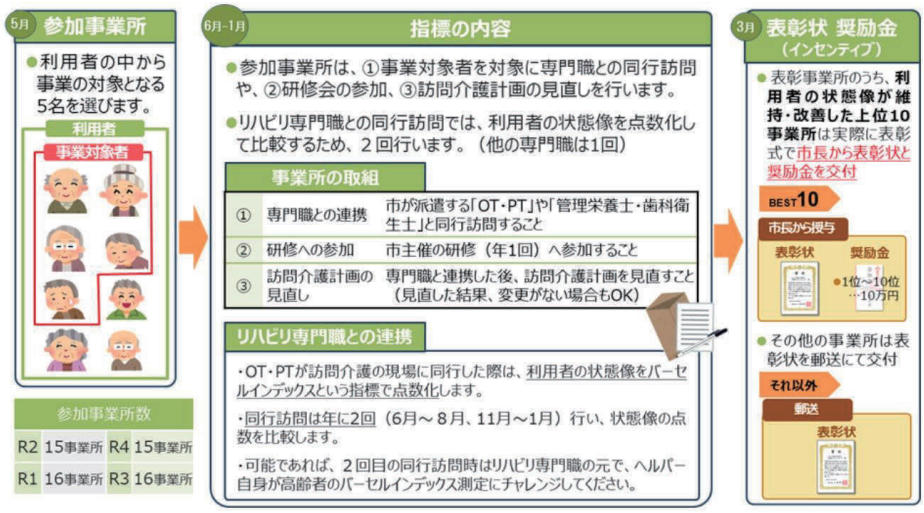
➡ 岐阜県における特徴的な訪問介護関連施策

- 岐阜県では、要介護者ができるだけ長く在宅で過ごすためには、身体介護を中心とした訪問介護が充実することが重要という考えの下、事業者が効果的な訪問サービスの展開（短時間巡回型訪問介護）ができるように、様々な施策を実施している。
- まず、平成26年度から令和２年度までは「短時間巡回型訪問介護基盤強化事業」を実施しており、短時間巡回型の訪問介護を盛り込んだケアプランに対し、１件につき新規申請時に1,000円、以後500円/月の助成金を給付、短時間巡回型訪問介護の普及及びサービス提供を行う事業者への運営資金の補助を行っていた（本事業は現時点では終了）。
- 現在は、訪問介護強化事業を実施しており、市町村・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所のケアマネジャー・訪問介護事業所の訪問介護員などを対象とし、圏域単位の会合（県内の全５圏域で実施）において、事例発表や意見交換等を通じ、短時間巡回型の訪問介護について普及促進を図っている。合わせて、市町村と連携し、20分未満の短時間訪問介護サービス導入を希望する事業所等に対し、岐阜県居宅介護支援事業協議会との連携の下、アドバイサーの派遣等を実施している。

➡ 岡山市における「訪問介護インセンティブ事業」

- 岡山市においては、訪問介護員が様々な専門職との連携を通じてより適切に利用者の状態を見られるようになること、またその人に合ったサービス提供から利用者の状態維持・改善に繋がることを目的に、「訪問介護インセンティブ事業」を実施している。
- 事業の内容は、１つ目は「専門職との同行訪問」である。市が事業所に無償で派遣する専門職（OT・PT、歯科衛生士、管理栄養士）が訪問介護員とともに利用者訪問に同行し、実際に利用者の状態像を確認した上で、訪問介護員に対して利用者の状態維持・改善に繋がる助言をしている。同行訪問の回数は、利用者１人につき専門職によって１～２回であり、訪問時にはBarthel Indexを用いて利用者の状態を点数化する。２つ目は「事業所の評価」である。年間を通じて事業に取り組み、「専門職との同行訪問」等、市からの条件を達成した事業所を年度末に表彰している。特に改善度合いの高かった事業所には、表彰状と奨励金を授与する仕組みとなっている。
- 実際の成果として、事業に参加した事業所の訪問介護員からは、「今まで提供してきたサービスが利用者の自立に繋がっていたことがわかり、励みになる」「専門職の助言は参考になり、自立への意識を再認識することができた」という意見が見られたとのことであった。
- こうしたインセンティブを付与する取組については、訪問介護のサービスの質の向上等を促すと考えられる。

【図表2-７】訪問介護インセンティブ事業の概要



出所：岡山市ホームページ

本節の要旨

- 訪問介護サービスは、人材不足によるサービス提供難や利用者単価の低下、人件費や物価の高騰等などの影響から利益確保が困難になってきており、特に中山間地域等においてその状況が顕著に現れている。
- 各事業所においては、事業収入の拡大に向けて、特定事業所加算の取得やサービスメニューの見直し、経費の削減に向けて、訪問ルートの効率化やICT機器による業務効率化を図っている。
- なお、一部の自治体では事業者の新たな収益基盤の構築、あるいは利用者に対するサービスの質の向上を伴走する施策を講じている。

『訪問介護事業におけるサービス提供の実態等に関する調査研究事業』

有識者研究員会

有識者研究委員（敬称略・氏名五十音順・令和６年３月末時点）

井上 由起子	日本社会事業大学専門職大学院 教授
今井 準幸	ＪＡ高齢者福祉ネットワーク 事務局長
黒松 基子	日本ホームヘルパー協会 副会長
小中 凌	隠岐広域連合 介護保険課
田島 裕大	一般社団法人日本在宅介護協会 訪問介護部会 委員
鍋谷 晴子	全国ホームヘルパー協議会 副会長
馬袋 秀男	兵庫県立大学大学院社会科学研究科 客員教授（有識者研究委員会 委員長）
松田 吉時	一般社団法人全国介護事業者連盟 生産性向上推進委員会 副委員長

オブザーバー（敬称略）

山越 圭祐	一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会（民介協）本部理事 事務局長
厚生労働省老健局 認知症施策・地域介護推進課	

事務局

有海 拓巳	株式会社 浜銀総合研究所 地域戦略研究部 上席主任研究員
加藤 善崇	株式会社 浜銀総合研究所 地域戦略研究部 副主任研究員
樽田 俊祐	株式会社 浜銀総合研究所 地域戦略研究部 副主任研究員
古舘 茜	株式会社 浜銀総合研究所 地域戦略研究部 研究員
田中 知宏	株式会社 浜銀総合研究所 地域戦略研究部 上席主任研究員

厚生労働省 令和５年度老人保健健康増進等事業

訪問介護事業の継続に向けて ―調査結果と先進取組事例―

令和６年３月発行

発 行 株式会社浜銀総合研究所 地域戦略研究部

〒220-8616 横浜市西区みなとみらい３－１－１ 横浜銀行本店ビル

TEL. 045-225-2372 電子メールアドレス：kaigo@yokohama-ri.co.jp

厚生労働省「令和５年度 老人保健健康増進等事業」成果物

訪問介護事業における
サービス提供の実態等に関する調査研究事業
調査結果報告書

令和６年３月発行

株式会社浜銀総合研究所 地域戦略研究部

〒220-8616　横浜市西区みなとみらい３－１－１　横浜銀行本店ビル

TEL. 045-225-2372　　電子メールアドレス：kaigo@yokohama-ri.co.jp